

資料 3

泊発電所 3 号炉審査資料	
資料番号	DB09-9 r.4.2
提出年月日	令和5年2月1日

泊発電所 3 号炉

設置許可基準規則等への適合状況について
(設計基準対象施設等)
比較表

第9条 溢水による損傷の防止等

令和 5 年 2 月
北海道電力株式会社

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

比較結果等を取りまとめた資料

1. 先行審査実績等を踏まえた泊3号炉まとめ資料の変更状況(2017年3月以降)

1-1) 設計方針・運用・体制などを変更し、まとめ資料を修正した箇所と理由

- a. 大飯3/4号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : なし
- b. 女川2号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : なし
- c. 他社審査会合の指摘事項等を確認した結果、変更したもの : なし
- d. 当社が自主的に変更したもの: 下記3件。
 - ・屋外における溢水評価見直し
 - ・循環水ポンプ建屋の溢水評価見直し
 - ・タービン建屋からの溢水影響評価見直し

1-2) 設計方針・運用・体制を変更するものではないが、まとめ資料の記載の充実を行った事項

- a. 大飯3/4号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : なし
- b. 女川2号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : まとめ資料全般に対して、女川2号炉審査実績の反映を行った。
- c. 他社審査会合の指摘事項を確認した結果、変更したもの : なし
- d. 当社が自主的に変更したもの: 下記1件。
 - ・溢水評価条件の最新化(区画面積, 溢水量等)

1-3) バックフィット関連事項

- あり。
- ・内部溢水による管理区域外への漏えいの防止(別添1本文)

1-4) その他

女川2号炉まとめ資料に合わせて記載ぶりを修正し、結果として差異がなくなった箇所があるが、本比較表にはその該当箇所の識別はしていない。

2. 女川2号炉まとめ資料との比較結果の概要

- ・女川2号炉と泊3号炉の設計方針の相違点について、次頁以降に取り纏めた。
- ・評価方針等の相違点はあるが、原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド(以下、「評価ガイド」という。)に従い評価を実施し、基準適合性を確認していることに相違は無く、内部溢水に対する基本設計方針は女川2号炉と泊3号炉で相違は無い。

女川2号炉まとめ資料との比較結果（設計方針の相違）（1/5）

- 「女川」及び「泊」の欄にはまとめ資料（比較表）の記載を転記し、相違箇所を赤字で示している。
- No.16及び17については、女川審査実績の反映のため、現在まとめ資料の記載見直しを行っていることから、「女川」及び「泊」の欄には具体的な記載内容は転記せず、考え方を記載した。

No.	大項目	小項目	記載箇所	女川	泊	差異説明
1	①溢水源の想定	考慮すべき溢水事象 (号炉間で共用する 建屋)	【本文】 1.7.2 考慮すべき溢水事象 (9-12)	号炉間で共用する建屋及び一体構造の建屋に設置される機器にあっては、共用、非共用機器に係わらず、その建屋内で単一の溢水源を想定し、建屋全体の溢水経路を考慮する。	(該当記載なし)	・泊3には泊1/2号と共用する建屋は存在しない。 ・泊3では、想定破損又は消火放水による溢水評価における溢水源の想定に当たっては、連結する建屋内で単一の溢水源を想定するが、溢水防護区画内の水位が最も高くなるよう、連結された建屋全体の溢水経路だけでなく、単独建屋内の溢水経路も考慮している。
2	②溢水量の算出	消火放水の溢水量	【本文】 1.7.3.2 消火水の放水による溢水 (9-15) 1.7.9 手順等 (9-43) 【別添1本文】 6.2 消火水の放水による没水影響評価	消火設備等のうち、消火栓からの放水量については、3時間の放水により想定される溢水量を設定する。	消火設備等のうち、消火栓からの放水については、3時間の放水により想定される溢水量若しくは、火災源が小さい場合においては、その可燃性物質の量及び等価時間を考慮した消火活動に伴う放水により想定される溢水量を設定する。	・消火栓からの放水量について、女川は一律3時間の放水を想定し、溢水量を定めている。 ・泊は3時間の放水により想定される溢水量を基本とするが、火災源が小さいエリアについては、「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算定し、溢水量を設定しており、放水量の算定に用いた各区画の火災荷重を上回る量の可燃物が持ち込まれないよう現場管理している。
3	②溢水量の算出	地震時の隔離操作	【本文】 1.7.3.3 地震起因による溢水 (9-17) 【別添1本文】 7.2.2 地震起因による没水影響評価	漏えい検知による漏えい停止を期待する場合は、漏えい停止までの隔離時間を考慮し、配管の破損箇所から流出した漏水量と隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を合算して設定する。 ここで、漏水量は、配管の破損箇所からの流出流量に隔離時間を乗じて設定する。なお、地震による機器の破損が複数箇所ですべて同時に発生する可能性を考慮し、漏えい検知による自動隔離機能を有する場合を除き、隔離による漏えい停止は期待しない。	原子炉トリップを伴う地震発生時においては、運転員による中央制御室及び現場での隔離操作による漏えい停止を期待する場合は、漏えい停止までの隔離時間を考慮し、配管の破損箇所から流出した漏水量と隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を合算して設定する。 ここで、漏水量は、配管の破損箇所からの流出流量に隔離時間を乗じて設定する。	・女川は地震起因による溢水の漏えい停止を目的とした隔離において、漏えい検知による自動隔離のみに期待しているのに対して、泊では自動隔離に期待する系統はない。 ・一方、泊では運転員による隔離操作に期待して溢水量を設定している系統があることを記載している。 ・また、女川は漏えい検知により自動隔離され漏えい停止するが、泊は地震加速度大による原子炉トリップ時には漏えいの有無にかかわらず予め定めた隔離対象機器を全て隔離する運用としている。
4	②溢水量の算出	想定破損の溢水量	【本文】 1.7.5.1 没水の影響に対する設計方針 (9-24) 【別添1本文】 3.4.1 没水の影響に対する設計方針 5.1 想定破損による溢水源	想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外することにより溢水量を低減する。	想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外又は想定溢水量を低減することにより溢水による影響が発生しない設計とする。	泊では評価ガイドに従い、高エネルギー配管（補助蒸気系統および蒸気発生器ブローダウン系統（主蒸気管室以外））の応力評価を実施し、応力評価の結果により、発生応力Snが許容応力Saの0.4倍を超え0.8倍以下であれば破損形態を低エネルギー配管相当である貫通クラックとして想定し、発生応力Snが許容応力Saの0.4倍以下であれば、破損は想定していない。
5	②溢水量の算出	使用済燃料ピットの スロッシング (初期水位)	【本文】 1.7.5.5 使用済燃料ピットのスロッシング後の機能維持に関する設計方針 (9-36)	使用済燃料プールの初期水位は、スキマサージタンクへのオーバーフロー水位として評価する。	使用済燃料ピットの初期水位は、使用済燃料ピットの高水位レベルとして評価する。	プラント設計の相違により、三次元流動解析に用いる初期水位が異なる。なお、泊では初期条件として、使用済燃料ピットと接続されている燃料検査ピット、燃料取替チャンネル及びキャスクピットの全てが水張りされた状態として評価する。

女川2号炉まとめ資料との比較結果（設計方針の相違）（2/5）

No.	大項目	小項目	記載箇所	女川	泊	差異説明
6	③溢水経路の設定	溢水評価で考慮する設備 (床ドレンライン)	<p>【本文】</p> <p>1.基本方針 (9-5)</p> <p>【別添1本文】</p> <p>1.1 溢水防護に関する基本方針 (9-9)</p> <p>【別添1本文】</p> <p>4.3 溢水経路の設定</p>	<p>溢水評価において、溢水影響を軽減するための壁、扉、堰等の浸水防護設備、床ドレンライン、防護カバー、ブローアウトパネル等の設備については、必要により保守点検や水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p>	<p>溢水評価において、溢水影響を軽減するための壁、扉、堰等の浸水防護設備、保護カバー等の設備については、必要により保守点検や水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p>	<p>・女川は、溢水評価で考慮する設備として床ドレンラインに期待している。</p> <p>・泊は、同一区画内に床ドレンラインが複数ある場合でも、評価の保守性を大きくとる観点から目皿による溢水の流出は考慮していない。また、放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、床勾配及び側溝、床ドレンからの排水に期待していない。</p> <p>・「ブローアウトパネル」に係る差異説明については 3/5 (No.追加) に記載する。</p>
7	③溢水経路の設定	溢水経路の考え方 (機器ハッチ)	<p>【本文】</p> <p>1.7.4 溢水防護区画及び溢水経路を設定するための方針 (9-21)</p> <p>1.7.9 手順等 (9-43)</p> <p>【別添1本文】</p> <p>4.3 溢水経路の設定</p> <p>【添付・補足】</p> <p>補足説明資料 32 ハッチ開放時における溢水影響について</p>	<p>プラント停止中のスロッシングの発生やハッチ開放時における溢水影響について評価を行い、ハッチ開放時の堰の設置により、溢水影響が他に及ばない運用を行う。</p>	<p>プラント停止中のスロッシングの発生やハッチ開放時における溢水影響について評価を行い、溢水防護対象設備が安全機能を損なわないことを確認する。</p>	<p>・女川は溢水影響評価で溢水経路として想定していないハッチについて、定期検査時等にハッチが開放されることを考慮し、ハッチ開放時には堰を設置する等の運用を定めている。</p> <p>・泊の溢水評価では、床面に設置されたハッチによる止水には期待しておらず、ハッチから下階に溢水が伝播する条件として浸水評価を実施している。そのため、施設定期検査作業時であってもハッチの開閉状態が評価に影響することは無く、女川とは異なり施設定期検査作業時にハッチを溢水経路としないための運用は定める必要がない。</p>
8	④影響評価	浸水評価方針 (区画面積、床勾配)	<p>【本文】</p> <p>1.7.5.1 浸水の影響に対する設計方針 (9-23)</p>	<p>区画の床勾配については、設計上の最大水上高さ55mmを機能喪失高さに考慮して裕度を確保する設計とする。</p> <p>区画面積については、躯体寸法から算出した床面積に対して、機器占有率に応じた係数を乗じることで裕度を確保する。</p>	<p>区画の床勾配については、設計上の最大水上高さ50mmを機能喪失高さに考慮して裕度を確保する設計とする。</p> <p>区画面積については、躯体寸法から算出した床面積に対して、現場測定により算出した欠損面積を差引くことで算定し、欠損面積に対して一律に係数を乗じることで裕度を確保する。</p>	<p>・プラント設計の相違により最大水上高さが異なる。床勾配を考慮して裕度を確保する設計等していることに相違は無い。</p> <p>・泊では、区画面積及び区画内にある基礎等のコンクリート構造物は建築図面より算出し、評価に用いる滞留面積が現場の実態に即した精緻なものとなるよう、常設機器等の欠損面積は現場実測により算出している。</p> <p>・女川は床面積に対する機器占有率に応じた係数を乗じることで裕度を確保しているのに対し、泊は全区画の欠損面積を一律に25%割り増しすることで保守性を確保している。</p>

女川2号炉まとめ資料との比較結果（設計方針の相違）(3/5)

No.	大項目	小項目	記載箇所	女川	泊	差異説明
追加	④影響評価	没水評価方針 (機能喪失高さ)	【本文】 1.7.5.1 没水の影響に対する設計方針 (9-23) 第1.7.2表 溢水防護対象設備の機能喪失高さ設定における考え方(例示) (9-49) 【添付・補足】 添付資料5 機能喪失高さの考え方	(該当記載なし)	機能喪失高さは実力高さ（各溢水防護対象機器等の機能喪失部位の高さ）に余裕を考慮した評価高さを基本とするが、評価高さが没水する場合には、機能喪失高さの実力値である個別測定した高さをを用いて評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さ（設置レベル等）である「基本設定箇所」を標準としているが、基本設定箇所で没水してしまう機器については「個別測定箇所」を適用している。 上記の機能喪失高さの設定方針は、先行審査プラントである柏崎6、7号炉及び島根2号炉で実績があり、女川2号炉においても、溢水水位に対して防護対象設備の機能喪失高さの裕度が小さい場合には、実際の機能喪失高さを実測することで実際には十分な裕度が確保されていることを確認している。
9	④影響評価	蒸気影響評価	【本文】 1.7.5.3 蒸気放出の影響に対する評価及び防護設計方針 (9-27) 【別添1本文】 5.4 想定破損による蒸気影響評価	溢水防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがないことを評価する。	熱流体解析コード（GOTHICコード）を用い、実機を模擬した空調条件や解析区画を設定して解析を実施し、溢水防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがないことを評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 泊では蒸気伝播を解析し、全ての防護対象設備が機能喪失しないよう対策を施している。
10	④影響評価	蒸気影響評価	【本文】 1.7.5.3 蒸気放出の影響に対する評価及び防護設計方針 (9-29) 【別添1本文】 3.4.3 蒸気の影響に対する設計方針	また、自動検知・遠隔隔離システムだけでは溢水防護対象設備の健全性が確保されない場合には、破損想定箇所に防護カバーを設置することで漏えい蒸気量を抑制して、溢水防護区画内雰囲気温度への影響を軽減する設計とする。 さらに、信頼性向上の観点から、防護カバー近傍には小規模漏えい検知を目的とした特定配置温度検出器を設置し、蒸気の漏えいを早期検知する設計とする。	(該当記載なし)	泊3ではターミナルエンドが少ないため、蒸気影響緩和を目的とした「防護カバー」は設置せず、評価ガイドの要求に従って全周破断を想定した蒸気影響評価を実施し影響がないことを確認していることから、「防護カバー」の記載がない。
追加	④影響評価	蒸気影響評価	【本文】 1. 基本方針 (9-5) 1.7.5.3 蒸気放出の影響に対する評価及び防護設計方針 (9-29) 【別添1本文】 3.4.3 蒸気の影響に対する設計方針	(1. 基本方針) 溢水評価において、溢水影響を軽減するための壁、扉、堰等の浸水防護設備、床ドレンライン、防護カバー、ブローアウトパネル等の設備については、必要により保守点検や水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。 (1.7.5.3 蒸気放出の影響に対する評価及び防護設計方針) e. 主蒸気管破断事故時等には、建屋内外の差圧による原子炉建屋ブローアウトパネルの開放により、溢水防護区画内において蒸気影響を軽減する設計とする。	(1. 基本方針) 溢水評価において、溢水影響を軽減するための壁、扉、堰等の浸水防護設備、保護カバー等の設備については、必要により保守点検や水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。 (1.7.5.3 蒸気放出の影響に対する評価及び防護設計方針)	<ul style="list-style-type: none"> 女川は原子炉建屋原子炉棟の蒸気影響評価において、ブローアウトパネルが速やかに開放し、建屋内圧が著しく上昇することはないことを前提条件としている。 一方、泊の主蒸気管室における蒸気影響評価では、ブローアウトパネルの速やかな開放には期待せず、主蒸気管室が設計耐圧まで上昇する前提としている。よって、泊のブローアウトパネルは溢水影響を軽減するための設備には該当しないことから、ブローアウトパネルの記載は削除した。 なお、女川のブローアウトパネルは影響緩和系の機能(MS-2)を有しているが、泊のブローアウトパネルは本機能は有していない点でも女川と泊で差異がある。

女川2号炉まとめ資料との比較結果（設計方針の相違）（4/5）

No.	大項目	小項目	記載箇所	女川	泊	差異説明
11	④影響評価	使用済燃料ピットの スロッシング	【本文】 1.7.9 手順等（9-44） 【別添1本文】 8 使用済燃料ピット等のスロッシング後の機能維持評価 【添付・補足】 補足説明資料10 スロッシング後の使用済燃料プール冷却機能維持のための現場操作	(12) 燃料プール冷却浄化系、燃料プール補給水系が機能喪失した場合における、残留熱除去系による使用済燃料プールの冷却及び給水手順を定める。	(該当記載なし)	・女川は使用済燃料プールのスロッシング後、燃料プールの水位が一時的にオーバーフロー水位を下回るため、燃料プール冷却ポンプが停止し、使用済燃料プール冷却機能が喪失する。そのため、系統切替操作によるプールへの給水が必要であることから、スロッシング後の使用済燃料プール冷却・給水に係る手順を定めている。 ・泊では、使用済燃料ピットのスロッシング後においても使用済燃料ピットの冷却機能が喪失することはないため、女川のようなピットの冷却・給水機能を維持するための運用手順は不要である。
12	⑤評価の判定	溢水によって発生する 原子炉外乱に対する 評価方針	【本文】 1 基本方針（9-4、9-8） 1.7.5.1 溢水の影響に対する設計方針（9-23） 1.7.5.2 被水影響に対する設計方針（9-26） 1.7.5.3 蒸気放出の影響に対する評価及び防護設計方針（9-28） 1.7.8 溢水によって発生する外乱に対する評価方針（9-39） 【別添1本文】 1.1 溢水防護に関する基本方針（9-8） 【添付・補足】 補足説明資料95 内部溢水により想定される事象の確認結果	溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とする。	溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」（以下「安全評価指針」という。）に基づき必要な機器の単一故障を考慮しても、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生により、炉心損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とする。	・内部溢水により原子炉に外乱が及び場合について、女川はその溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行っている。 ・一方泊では、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生時でも、全ての溢水防護対象設備が溢水（地震・相定破損・消火放水）によって安全機能を損なうことのないよう、溢水防護対策を施すこととしている。そのため、溢水影響により一部の安全機能が喪失することを前提とした安全解析は行わない。 ・例外として、3台ある充てんポンプについては、各ポンプ室内の相定破損時に1台のポンプが機能喪失（浸水）する評価結果となるが、他の2台は健全であることを確認している。
13	⑤評価の判定	評価の判定の考え方 (多重性または多様性の考慮)	【本文】 1.7.5.2 被水影響に対する設計方針（9-26） 1.7.5.3 蒸気放出の影響に対する評価及び防護設計方針（9-30） 【別添1本文】 5.3 想定破損による被水影響評価 5.4 想定破損による蒸気影響評価 【添付・補足】 補足説明資料14 内部溢水影響評価における判定表	溢水防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、各々が同時に溢水の影響を受けないよう別区画に設置され、同時に安全機能を損なうことのないこと。	(該当記載なし)	・女川は、防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、同時に機能喪失しなければ、安全機能が損なわれないとしている。したがって、防護対象設備が機能喪失した場合でも、他の系統設備によって必要な安全機能が維持されるかどうかを判定基準としている。 ・泊は被水影響評価・蒸気影響評価では多重性や多様性を考慮せず、全ての溢水防護対象設備が機能喪失しないよう対策を施しており、浸水評価においても、全ての溢水防護対象設備を防護することを原則としている。 ・したがって、泊では女川のように防護対象設備の機能喪失を前提とした評価判定は行っていない。

女川2号炉まとめ資料との比較結果（設計方針の相違）(5/5)

No.	大項目	小項目	記載箇所	女川	泊	差異説明
14	⑥建屋外からの流入防止評価	海水ポンプエリアの溢水評価	【本文】(女川) 1.7.5.6 海水ポンプ室補機ポンプエリアの溢水評価に関する設計方針(9-36)	海水ポンプ室補機ポンプエリアの溢水評価に関する設計方針	(該当記載なし)	女川の海水ポンプ室は屋外にあるため海水ポンプ室の設計方針について記載しているが、泊の海水ポンプ室は建屋内であるため、これまでの設計方針の中に包絡される。
15	⑥建屋外からの流入防止評価	地下水の流入防止	【本文】 1.7.6 溢水防護区画を内包する建屋外からの流入防止に関する設計方針(9-38) 【別添1本文】 13. 地下水による影響評価	地下水に対しては、海水ポンプの停止により建屋周囲の水位が地表面まで上昇することを想定し、建屋外周部における壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包する建屋内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。なお、地下水位低下設備については、基準地震動 S_e による地震力に対して耐震性を確保する設計とする。	地下水に対しては、建屋外周部における壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包する建屋内への流入を防止する。また、原子炉補機建屋最下層の中面下にある湧水ピット天板からの地下水の流入を防止するため、湧水ピットポンプによる地下水の排水によって、湧水ピット水位を一定の範囲に保持する。以上により、地下水の流入によって、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。 湧水ピットポンプ、湧水ピットポンプ電源及び吐出ラインは、基準地震動 S_e による地震力に対して耐震性を確保するとともに、湧水ピットポンプ電源は非常用母線に接続することにより、その機能を損なうことのない設計とする。	泊3の湧水ピットは多数の溢水防護対象設備を内包する原子炉補機建屋の最下層に設置されていることから、湧水ピットの水位が上昇し湧水ピット天板に設置された湧水ピットポンプグラウンドの構造物等を介して原子炉補機建屋内へ地下水が流入しないよう、湧水ピットポンプによる排水によって湧水ピット水位を一定の範囲に保持する機能に期待している。 原子炉補機建屋への地下水の流入を防止するため、湧水ピットポンプの機能に期待することから、溢水防護の観点で排水機能に求められる信頼性について記載している。
16	⑥建屋外からの流入防止評価	タービン建屋	【別添1本文】 9. タービン建屋からの溢水影響評価	・津波が来襲する前に復水器水室出入口弁を全閉することにより、津波はタービン建屋内に侵入しない。	・地震により循環水管伸縮継手が破損し、タービン建屋内で溢水が発生した後、循環水ポンプ停止から津波来襲までの期間、サイフォン効果による海水の流入を想定考慮している。 ・津波来襲により、循環水管伸縮継手の破損部からの津波流入を考慮している。	タービン建屋内における溢水事象の考え方は異なるが、タービン建屋からの溢水について、防護対象設備が設置されている建屋に対する溢水経路を特定し、壁、扉、堰等又はそれらの組合せにより溢水が流入しない設計とする方針は女川と泊で同じである。 ※まとめ資料の記載見直し中
17	⑥建屋外からの流入防止評価	屋外タンク	【別添1本文】 12. 屋外タンクからの溢水影響評価	屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている建屋に及ぼす影響を確認している。	屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている建屋に及ぼす影響を確認している。 また、補機放水路が地震により崩落した場合、原子炉補機冷却海水系統からの排水が屋外に溢水する可能性がある。	屋外で発生する溢水が防護対象設備の設置されている建屋に流入しない設計とする方針は女川と泊で同じである。 泊の原子炉補機冷却海水系統からの排水を溢水資源として想定するか否かについては、現在検討中である。 ※まとめ資料の記載見直し中
18	⑦その他	手順等	【本文】 11.7.8 手順等(9-41~9-44)	(記載省略)	(記載省略)	女川とのプラント設計の相違点及び最新PWRプラントである大飯の審査実績を踏まえて運用手順を定めていることから、女川の手順と内容が異なる。

3. 差異の識別の省略

以下の相違箇所については、差異理由として抽出しないこととする。

- ・プラント名称の相違（記載の有無を含む）
- ・設備名称の相違（使用済燃料プールと使用済燃料ピット 等）
- ・章項番号及び資料番号の相違
- ・テニオハの相違
- ・意味を持たない相違（番号の前に「第」、送り仮名の相違、漢字ひらがなの相違）
- ・基準地震動「Ss」の記載の有無（記載表現の相違）

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第9条：溢水による損傷の防止等</p> <p><目次></p> <p>1. 基本方針</p> <p>1.1 要求事項の整理</p> <p>1.2 追加要求事項に対する適合性</p> <p>(1) 位置、構造及び設備</p> <p>(2) 安全設計方針</p> <p>(3) 適合性説明</p> <p>1.3 気象等</p> <p>1.4 設備等</p> <p>2. 溢水による損傷の防止等</p> <p>(別添資料1) 内部溢水の影響評価について</p>	<p>第9条：溢水による損傷の防止等</p> <p><目次></p> <p>1. 基本方針</p> <p>1.1 要求事項の整理</p> <p>1.2 追加要求事項に対する適合性</p> <p>(1) 位置、構造及び設備</p> <p>(2) 安全設計方針</p> <p>(3) 適合性の説明</p> <p>1.3 気象等</p> <p>1.4 設備等</p> <p>2. 溢水による損傷の防止等</p> <p>別添資料</p> <p>別添資料1 女川原子力発電所2号炉 内部溢水の影響評価について</p> <p>別添資料2 女川原子力発電所2号炉 運用、手順説明資料 溢水による損傷の防止等</p> <p>別添資料3 女川原子力発電所2号炉 内部溢水影響評価における確認プロセスについて</p>	<p>第9条：溢水による損傷の防止等</p> <p><目次></p> <p>1. 基本方針</p> <p>1.1 要求事項の整理</p> <p>1.2 追加要求事項に対する適合性</p> <p>(1) 位置、構造及び設備</p> <p>(2) 安全設計方針</p> <p>(3) 適合性説明</p> <p>1.3 気象等</p> <p>1.4 設備等</p> <p>2. 溢水による損傷の防止等</p> <p>別添資料</p> <p>別添資料1 泊発電所3号炉 内部溢水の影響評価について</p> <p>別添資料2 泊発電所3号炉 運用、手順説明資料 溢水による損傷の防止等</p> <p>別添資料3 泊発電所3号炉 内部溢水影響評価における確認プロセスについて</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">＜概要＞</p> <p>1. において、設計基準事故対処設備の設置許可基準規則、技術基準規則の追加要求事項を明確化するとともに、それら要求に対する大飯原子力発電所3号炉及び4号炉における適合性を示す。</p> <p>2. において、設計基準事故対処設備について、追加要求事項に適合するために必要となる機能を達成するための設備又は運用等について説明する。</p>	<p style="text-align: center;">＜概要＞</p> <p>1. において、設計基準対象施設の設置許可基準規則、技術基準規則の追加要求事項を明確化するとともに、それら要求事項に対する女川原子力発電所2号炉における適合性を示す。</p> <p>2. において、設計基準対象施設について、追加要求事項に適合するために必要となる機能を達成するための設備又は運用等について説明する。</p>	<p style="text-align: center;">＜概要＞</p> <p>1. において、設計基準対象施設の設置許可基準規則、技術基準規則の追加要求事項を明確化するとともに、それら要求事項に対する泊発電所3号炉における適合性を示す。</p> <p>2. において、設計基準対象施設について、追加要求事項に適合するために必要となる機能を達成するための設備又は運用等について説明する。</p>	

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1. 基本方針</p> <p>1.1 要求事項の整理</p> <p>溢水による損傷の防止等について、設置許可基準規則第9条及び技術基準規則第12条において、追加要求事項を明確化する（表1）。</p>	<p>1. 基本方針</p> <p>1.1 要求事項の整理</p> <p>設置許可基準規則第9条及び技術基準規則第12条を表1.1-1に示す。また、表1.1-1において、新規制基準に伴う追加要求事項を明確化する。</p>	<p>1. 基本方針</p> <p>1.1 要求事項の整理</p> <p>設置許可基準規則第9条及び技術基準規則第12条を表1.1-1に示す。また、表1.1-1において、新規制基準に伴う追加要求事項を明確化する。</p>	
<p>表1 設置許可基準規則第9条及び技術基準規則第12条 要求事項</p>	<p>表1.1-1 設置許可基準規則第9条及び技術基準規則第12条要求事項</p>	<p>表1.1-1 設置許可基準規則第9条及び技術基準規則第12条 要求事項</p>	
<p>設置許可基準規則 第9条 （溢水による損傷の防止等）</p>	<p>設置許可基準規則第9条 （溢水による損傷の防止等）</p>	<p>設置許可基準規則第9条 （溢水による損傷の防止等）</p>	
<p>安全施設は、発電用原子炉施設内においても安全機能を損なわないものでなければならない。</p>	<p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止等。</p>	<p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止等。</p>	
<p>2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管又は配管から放射性物質が漏れ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしないものではない。</p>	<p>2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内における放射性物質の発生によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置その他の適切な措置を講じなければならない。</p>	<p>2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内における放射性物質の発生によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置その他の適切な措置を講じなければならない。</p>	
<p>技術基準規則 第12条（発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止）</p>	<p>技術基準規則第12条 （発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止）</p>	<p>技術基準規則第12条 （発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止）</p>	
<p>設計基準対象施設が発電用原子炉施設内における放射性物質を含む液体を内包する容器、配管又は配管から放射性物質が漏れ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしないものではない。</p>	<p>設計基準対象施設が発電用原子炉施設内における放射性物質の発生によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置その他の適切な措置を講じなければならない。</p>	<p>設計基準対象施設が発電用原子炉施設内における放射性物質の発生によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置その他の適切な措置を講じなければならない。</p>	
<p>備考</p>	<p>備考</p>	<p>備考</p>	
<p>追加要求事項</p>	<p>追加要求事項</p>	<p>追加要求事項</p>	
<p>変更なし</p>	<p>追加要求事項</p>	<p>追加要求事項</p>	

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.2 追加要求事項に対する適合性</p> <p>(1) 位置、構造及び設備</p> <p>ロ. 原子炉施設の一般構造</p> <p>(3) その他の主要な構造</p> <p>(i) 本原子炉施設は、(1)耐震構造、(2)耐津波構造に加え、以下の基本的方針の基に安全設計を行う。</p> <p>a. 設計基準対象施設</p> <p>(d) 溢水による損傷の防止</p> <p>安全施設は、原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>そのために、原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。溢水の影響を受けて運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故が発生した場合に、それらに対処するために必要な機器の単一故障を考慮しても異常状態を収束できる設計とする。さらに、使用済燃料ピットにおいては、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。ここで、これらの機能を維持するために必要な設備を、以下「防護対象設備」という。</p> <p>なお、原子炉施設内における溢水として、原子炉施設内に設置された機器、配管の破損（地震起因を含む）、消火水系（スプリンクラーを含む）等の動作又は使用済燃料ピットのスロッシングにより発生した溢水を考慮する。</p>	<p>1.2 追加要求事項に対する適合性</p> <p>(1) 位置、構造及び設備</p> <p>(3) その他の主要な構造</p> <p>(i) 本発電用原子炉施設は、(1)耐震構造、(2)耐津波構造に加え、以下の基本的方針のもとに安全設計を行う。</p> <p>a. 設計基準対象施設</p> <p>(d) 溢水による損傷の防止等</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>そのために、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに、使用済燃料プールにおいては、使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能を維持できる設計とする。ここで、これらの機能を維持するために必要な設備（以下「溢水防護対象設備」という。）について、これら設備が、没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計（多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なわない設計）とする。</p> <p>また、溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とする。</p> <p>溢水評価では、溢水源として発生要因別に分類した以下の溢水を主として想定する。</p>	<p>1.2 追加要求事項に対する適合性</p> <p>(1) 位置、構造及び設備</p> <p>ロ. 発電用原子炉施設の一般構造</p> <p>(3) その他の主要な構造</p> <p>(i) 本発電用原子炉施設は、(1)耐震構造、(2)耐津波構造に加え、以下の基本的方針のもとに安全設計を行う。</p> <p>a. 設計基準対象施設</p> <p>(d) 溢水による損傷の防止等</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>そのために、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに、使用済燃料ピットにおいては、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。ここで、これらの機能を維持するために必要な設備（以下「溢水防護対象設備」という。）について、これら設備が、没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計（多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なわない設計）とする。</p> <p>また、溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とする。</p> <p>溢水評価では、溢水源として発生要因別に分類した以下の溢水を主として想定する。</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 設計方針の相違 内部溢水により原子炉に外乱が及びる場合について、女川はその溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行っている。 一方泊では、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生時でも、全ての溢水防護対象設備が溢水（地震・想定破損・消火放水）によって安全機能を損なうことのないよう、溢水防護対策を施すこととしている。そのため、溢水影響により一部の安全機能が喪失することを前提とした安全解析は行わない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>溢水の影響では、溢水源として発生要因別に分類した以下の溢水を想定する。</p> <p>また、溢水評価に当たっては、溢水防護区画を設定し、溢水評価が保守的になるように溢水経路を設定する。</p> <p>現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能な設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水 ・ 発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水 ・ 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水 <p>発生を想定するこれらの溢水に対し、防護対象設備が浸水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>また、溢水評価に当たっては、防護対象設備の機能喪失高さ（溢水の影響を受けて、防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ）、溢水防護区画を構成する壁、扉、堰等については、現場の設備等の設置状況を踏まえ、評価条件を設定する。</p> <p>溢水評価において、溢水影響を軽減するための壁、扉、堰等の浸水防護設備、床ドレンライン、防護カバー、ブローアウトパネル等の設備については、必要により保守点検や水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>なお、設計基準対象施設は、原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器又は配管の破損によって当該容器又は配管から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしない設計とする。</p> <p>【別添資料1(2-9-別1-4)】</p>	<p>また、溢水評価に当たっては、溢水防護区画を設定し、溢水評価が保守的になるように溢水経路を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水 ・ 発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水 ・ 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水（使用済燃料プール等のスロッシングにより発生する溢水を含む。） <p>溢水評価に当たっては、溢水防護対象設備の機能喪失高さ（溢水の影響を受けて、溢水防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ）及び溢水防護区画を構成する壁、扉、堰、設備等の設置状況を踏まえ、評価条件を設定する。</p> <p>溢水評価において、溢水影響を軽減するための壁、扉、堰等の浸水防護設備、床ドレンライン、防護カバー、ブローアウトパネル等の設備については、必要により保守点検や水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしない設計とする。</p>	<p>また、溢水評価に当たっては、溢水防護区画を設定し、溢水評価が保守的になるように溢水経路を設定する。</p> <p>現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能な設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水 ・ 発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水 ・ 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水（使用済燃料ピット等のスロッシングにより発生する溢水を含む。） <p>溢水評価に当たっては、溢水防護対象設備の機能喪失高さ（溢水の影響を受けて、溢水防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ）及び溢水防護区画を構成する壁、扉、堰、設備等の設置状況を踏まえ、評価条件を設定する。</p> <p>溢水評価において、溢水影響を軽減するための壁、扉、堰等の浸水防護設備、保護カバー、ブローアウトパネル等の設備については、必要により保守点検や水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしない設計とする。</p>	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊は、現場操作が必要な設備に対するアクセス性についても記載する方針としている。（大飯の審査実績を反映） <p>計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 溢水評価で考慮する設備として女川は床ドレンラインに期待しているが、泊では床ドレンラインが複数ある場合でも排水に期待せず評価を実施している。 ・ 女川は原子炉建屋原子炉棟の蒸気影響評価において、ブローアウトパネルが速やかに開放し、建屋内圧が著しく上昇することはないことを前提条件としている。 ・ 一方、泊の主蒸気管室における蒸気影響評価では、ブローアウトパネルの速やかな開放には期待せず、主蒸気管室が設計耐圧まで上昇する前提としている。よって、泊のブローアウトパネルは溢水影響を軽減するための設備には該当しないことから、ブローアウトパネルの記載は削除した。 ・ なお、女川のブローアウトパネルは影響緩和系の機能(MS-2)を有しているが、泊のブローアウトパネルは本機能は有していない点でも女川と泊で差異がある。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>ヌ. その他原子炉の付属施設の構造及び設備</p> <p>(3)その他の主要な事項</p> <p>(ii)浸水防護設備</p> <p>b. 内部溢水に対する防護設備</p> <p>安全施設は、原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なうことのない設計とする。そのために、原子炉施設内に設置された機器、配管の破損（地震起因を含む。）、消火水系（スプリンクラーを含む。）等の動作又は使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水が発生した場合においても、原子炉施設内における壁、扉、堰等により、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。また、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。</p> <p style="text-align: right;">【別添資料1(2-9-別1-4)】</p> <p>原子炉周辺建屋堰 個 数 7</p> <p>原子炉周辺建屋水密扉 個 数 17</p> <p>制御建屋水密扉 個 数 4</p>	<p>(3)その他の主要な事項</p> <p>「(ii)浸水防護設備」を以下のとおり追加する。</p> <p>(ii)浸水防護設備</p> <p>b. 内部溢水に対する防護設備</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。そのために、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む。）、消火系統等の作動、使用済燃料プール等のスロッシングその他の事象による溢水が発生した場合においても、発電用原子炉施設内における壁、扉、堰等により、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。また、使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能を維持できる設計とする。</p>	<p>ヌ. その他発電用原子炉の附属施設の構造及び設備</p> <p>(3)その他の主要な事項</p> <p>(ii)浸水防護設備</p> <p>b. 内部溢水に対する防護設備</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。そのために、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む。）、消火水系等の作動、使用済燃料ピット等のスロッシングその他の事象による溢水が発生した場合においても、発電用原子炉施設内における壁、扉、堰等により、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。また、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。</p>	<p><u>記載表現の相違</u></p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は防護対象設備が設置される建屋内にスプリンクラーが設置されているが、女川及び泊には設置されていない。 ・以下、スプリンクラーに関する記載については同様であるため、差異の説明は省略する。 <p>【大飯】 <u>記載方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 安全設計方針</p> <p>1.8 溢水防護に関する基本方針</p> <p>1.8.1 溢水防護に関する基本方針</p> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則（以下「設置許可基準規則」という。）第九條（溢水による損傷の防止等）」の要求事項を踏まえ、安全施設は、原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>そのために、原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。溢水の影響を受けて運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故が発生した場合に、それらに対処するために必要な機器の単一故障を考慮しても異常状態を収束できる設計とする。</p> <p>さらに、使用済燃料ピットにおいては、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。</p> <p>ここで、これらの機能を維持するために必要な設備を、以下「防護対象設備」という。設置許可基準規則第九條及び第十二條並びに「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド（平成26年8月6日原規技発第1408064号原子力規制委員会決定）」（以下「溢水ガイド」という。）の要求事項を踏まえ、以下の設備を防護対象設備とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備 ・プール冷却及びプールへの給水の機能を適切に維持するために必要な設備 <p>原子炉施設内における溢水として、原子炉施設内に設置された機器、配管の破損（地震起因を含む）、消火水系（スプリンクラーを含む）等の動作又は使用済燃料ピットのスロッシングにより発生した溢水を考慮し、防護対象設備が没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なうことのない設計（多重性又は多様性を有</p>	<p>(2) 安全設計方針</p> <p>1.7 溢水防護に関する基本方針</p> <p>設置許可基準規則の要求事項を踏まえ、安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>そのために、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。</p> <p>さらに、使用済燃料プールにおいては、使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能を維持できる設計とする。</p> <p>これらの機能を維持するために必要な設備（以下1.7では「溢水防護対象設備」という。）について、設置許可基準規則第九條及び第十二條の要求事項を踏まえ「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド（平成26年8月6日原規技発第1408064号原子力規制委員会決定）」（以下「溢水評価ガイド」という。）も参照し、以下のとおり選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備 ・プール冷却及びプールへの給水の機能を適切に維持するために必要な設備 <p>発電用原子炉施設内における溢水として、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む）、消火系統等の作動及び使用済燃料プール等のスロッシングその他の事象により発生した溢水を考慮し、溢水防護対象設備が没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計（多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なわない設計）とする。さらに、</p>	<p>(2) 安全設計方針</p> <p>1.7 溢水防護に関する基本方針</p> <p>設置許可基準規則の要求事項を踏まえ、安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>そのために、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。</p> <p>さらに、使用済燃料ピットにおいては、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。</p> <p>これらの機能を維持するために必要な設備（以下1.7では「溢水防護対象設備」という。）について、設置許可基準規則第九條及び第十二條の要求事項を踏まえ「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド（平成26年8月6日原規技発第1408064号原子力規制委員会決定）」（以下「溢水評価ガイド」という。）も参照し、以下のとおり選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備 ・プール冷却及びプールへの給水の機能を適切に維持するために必要な設備 <p>発電用原子炉施設内における溢水として、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む）、消火水系等の作動及び使用済燃料ピット等のスロッシングその他の事象により発生した溢水を考慮し、溢水防護対象設備が没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計（多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なうことのない設計）とす</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>する設備が同時にその安全機能を損なうことのない設計」とする。</p> <p>評価に当たっては、安全評価に関する審査指針に基づき、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故が発生した場合、それらに対処するために必要な機器の単一故障を考慮しても異常状態を収束できる設計とする。</p> <p>地震、津波、竜巻、地滑り等の自然現象による波及的影響により発生する溢水に関しては、防護対象設備、溢水源となる屋外タンク等の配置も踏まえて、最も厳しい条件となる自然現象による溢水の影響を考慮し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。具体的には、屋外にあるすべてのタンクについて地震起因によるタンクに付属する配管の破損、竜巻による飛来物の衝突及び地滑りによる屋外タンクの破損を考慮しても、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>地下水による溢水に関しては、建屋基礎下に設置している集水管により、建屋最下層にある湧水サンプルに集水する設計とする。また、周囲の地下水水位を考慮しても、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>また、放射性物質を含む液体を内包する容器又は配管が破損することにより、当該容器又は配管から放射性物質を含む液体の漏えいを想定する場合には、溢水が管理区域外へ漏えいしないよう、建屋内の壁、扉、堰等により伝播経路を制限する設計とする。</p> <p>具体的な溢水評価に関する設計方針を、「1.8.2 原子炉施設の溢水評価に関する設計方針」及び「1.8.3 使用済燃料ピットの溢水評価に関する設計方針」にて説明する。</p> <p>【別添資料1(2-9-別1-4)(2-9-別1補-4、520～541、573～587)】</p> <p>また、溢水防護のために実施する対策について「1.8.4 溢水防護に関する設計方針」にて説明する。</p>	<p>溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」（以下「安全評価指針」という。）に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とする。</p> <p>地震、津波、竜巻、降水等の自然現象による波及的影響により発生する溢水に関しては、溢水防護対象設備、溢水源となる屋外タンク等の配置も踏まえて、最も厳しい条件となる自然現象による溢水の影響を考慮し、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体の漏えいを想定する場合には、溢水が管理区域外へ漏えいしないよう、建屋内の壁、扉、堰等により伝播経路を制限する設計とする。</p>	<p>る。さらに、溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」（以下「安全評価指針」という。）に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とする。</p> <p>地震、津波、竜巻、降水等の自然現象による波及的影響により発生する溢水に関しては、溢水防護対象設備、溢水源となる屋外タンク等の配置も踏まえて、最も厳しい条件となる自然現象による溢水の影響を考慮し、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体の漏えいを想定する場合には、溢水が管理区域外へ漏えいしないよう、建屋内の壁、扉、堰等により伝播経路を制限する設計とする。</p>	<p>相違理由</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・内部溢水により原子炉に外乱が及び場合について、女川はその溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行っている。</p> <p>・一方泊では、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生時でも、全ての溢水防護対象設備が溢水（地震・想定破損・消火放水）によって安全機能を損なうことのないよう、溢水防護対策を施すこととしている。そのため、溢水影響により一部の安全機能が喪失することを前提とした安全解析は行っていない。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.8.2.2 防護対象設備の設定</p> <p>防護対象設備は、原子炉施設内で発生した溢水に対し、重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を損なうことのない設計（原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計。）とするために必要な設備とする。</p> <p>具体的には、原子炉の停止、高温停止、低温停止及びその維持に必要な系統設備として、以下を選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①原子炉停止：原子炉停止系 ②ほう酸添加：原子炉停止系（化学体積制御系のほう酸注入機能等） ③崩壊熱除去：補助給水系、主蒸気系、余熱除去系 ④1次系減圧：1次冷却系統の減圧機能 ⑤上記系統の関連系（原子炉補機冷却系、制御用空気系、換気空調系、非常用電源系、冷水系、電気盤） ⑥その他 <p>以上の系統設備に加え、原子炉施設の安全評価に関する審査指針に基づき、運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故を対象として、溢水により発生し得る原子炉外乱及び溢水の原因となり得る原子炉外乱に対処する設備を抽出する。抽出に当たっては溢水事象となり得る運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故も評価対象とする。</p> <p>原子炉外乱としては、以下の溢水により発生し得る原子炉外乱及び溢水の原因となり得る原子炉外乱を考慮する。地震に対しては溢水だけでなく、地震に起因</p>	<p>1.7.1 設計上対処すべき施設を抽出するための方針</p> <p>溢水によってその安全機能が損なわれないことを確認する必要がある施設を、「発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針」（以下「重要度分類審査指針」という。）における分類のクラス1、クラス2及びクラス3に属する構築物、系統及び機器とする。</p> <p>この中から、溢水防護上必要な機能を有する構築物、系統及び機器を選定する。具体的には、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持するために必要な設備、また、停止状態にある場合は引き続きその状態を維持するため並びに使用済燃料プールの冷却機能及び給水機能を維持するために必要となる、重要度分類審査指針における分類のクラス1、2に属する構築物、系統及び機器に加え、安全評価上その機能を期待するクラス3に属する構築物、系統及び機器を抽出する。</p> <p>以上を踏まえ、溢水防護対象設備として、重要度の特に高い安全機能を有する構築物、系統及び機器並びに使用済燃料プールの冷却機能及び給水機能を維持するために必要な構築物、系統及び機器を抽出する。</p> <p>なお、上記に含まれない構築物、系統及び機器は、溢水により損傷した場合であっても、代替手段があること等により安全機能は損なわれない。</p> <p>以上の考えに基づき選定された溢水から防護すべき系統設備を第1.7-1表に示す。</p>	<p>1.7.1 設計上対処すべき施設を抽出するための方針</p> <p>溢水によってその安全機能が損なわれないことを確認する必要がある施設を、「発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針」（以下「重要度分類審査指針」という。）における分類のクラス1、クラス2及びクラス3に属する構築物、系統及び機器とする。</p> <p>この中から、溢水防護上必要な機能を有する構築物、系統及び機器を選定する。具体的には、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持するために必要な設備、また、停止状態にある場合は引き続きその状態を維持するため並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を維持するために必要となる、重要度分類審査指針における分類のクラス1、2に属する構築物、系統及び機器に加え、安全評価上その機能を期待するクラス3に属する構築物、系統及び機器を抽出する。</p> <p>以上を踏まえ、溢水防護対象設備として、重要度の特に高い安全機能を有する構築物、系統及び機器並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を維持するために必要な構築物、系統及び機器を抽出する。</p> <p>なお、上記に含まれない構築物、系統及び機器は、溢水により損傷した場合であっても、代替手段があること等により安全機能は損なわれない。</p> <p>以上の考えに基づき選定された溢水から防護すべき系統設備を第1.7.1表に示す。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>する原子炉外乱（主給水流量喪失、外部電源喪失等）も考慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定破損による溢水（単一機器の破損を想定） ・消火水の放水による溢水（単一の溢水源を想定） ・地震起因による溢水（耐震B、Cクラスの機器の破損を想定） <p>溢水評価上想定する起因事象として抽出する運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故を第1.8.2表及び第1.8.3表に示す。また、溢水評価上想定する事象とその対処系統を第1.8.4表に示す。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-8、9、97～125）（2-9-別1補-4～31、508～519）】</p> <p>なお、抽出された防護対象設備のうち、以下の設備は溢水影響を受けても、必要とされる安全機能を損なわないことではない。</p> <p>(1) フェイルポジションで安全機能に影響しない設備 「フェイル アズ イズ」でも安全機能に影響しない電動弁、「フェイル ポジション」でも安全機能に影響しない空気作動弁等、動作機能喪失によっても安全機能へ影響しない設備。</p> <p>(2) 原子炉格納容器内の設備 原子炉冷却材喪失（LOCA）時の原子炉格納容器内の状態（圧力、温度及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様を有する設備又は溢水事象が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でない設備。</p> <p>(3) 溢水の影響を受けない設備 溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失しない容器、熱交換器、フィルタ、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器。</p>	<p>なお、抽出された溢水防護対象設備のうち、以下の設備は溢水影響を受けても、必要とされる安全機能を損なわないことから、溢水による影響評価の対象として抽出しない。</p> <p>(1) 溢水の影響を受けない静的機器 構造が単純で外部から動力の供給を必要としないことから、溢水の影響を受けて安全機能を損なわない容器、熱交換器、フィルタ、安全弁、逆止弁、手動弁、配管及び没水に対する耐性を有するケーブル。</p> <p>(2) 原子炉格納容器内に設置されている機器 原子炉格納容器内で想定される溢水である原子炉冷却材喪失時の原子炉格納容器内の状態を考慮しても、没水、被水及び蒸気の影響を受けないことを試験も含めて確認している機器。</p> <p>(3) 動作機能の喪失により安全機能に影響しない機器 機能要求のない電動弁及び状態が変わらず安全機能に影響しない電動弁。 フェイル-セーフ設計となっている機器であり、溢水の影響により動作機能を損なった場合においても、安全機能に影響がない機器。</p>	<p>なお、抽出された溢水防護対象設備のうち、以下の設備は溢水影響を受けても、必要とされる安全機能を損なわないことから、溢水による影響評価の対象として抽出しない。</p> <p>(1) 溢水の影響を受けない静的機器 構造が単純で外部から動力の供給を必要としないことから、溢水の影響を受けて安全機能を損なわない容器、熱交換器、フィルタ、安全弁、逆止弁、手動弁、配管及び没水に対する耐性を有するケーブル。</p> <p>(2) 原子炉格納容器内に設置されている機器 原子炉格納容器内で想定される溢水である原子炉冷却材喪失時の原子炉格納容器内の状態を考慮しても、没水、被水及び蒸気の影響を受けないことを試験も含めて確認している機器。</p> <p>(3) 動作機能の喪失により安全機能に影響しない機器 機能要求のない電動弁及び状態が変わらず安全機能に影響しない電動弁。 フェイル-セーフ設計となっている機器であり、溢水の影響により動作機能を損なった場合においても、安全機能に影響がない機器。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・大飯と泊では溢水防護対象設備から除外する設備の記載順が異なる（(1)と(3)が逆）が、防護対象設備から除外する考え方に相違は無い。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

第9条 溢水による損傷の防止等

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(4) その他設備で代替できる設備 補助給水隔離弁の隔離機能は、補助給水流量調節弁の隔離機能により代替。</p> <p>以上の考えに基づき選定された溢水から防護すべき系統設備を第1.8.5表に示す。 【別添資料1（2-9-別1-9～12） （2-9-別1 補-11～13、32～53）】</p> <p>1.8.2 原子炉施設の溢水評価に関する設計方針 1.8.2.1 溢水源及び溢水量の想定 溢水源及び溢水量としては、発生要因別に分類した以下の溢水を想定して評価する。</p> <p>①溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水（以下「想定破損による溢水」という。） ②発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水（以下「消火水の放水による溢水」という。） ③地震に起因する機器の破損等により生じる溢水（以下「地震起因による溢水」という。）</p> <p>防護対象設備が設置されている建屋内において、流体を内包する容器及び配管を溢水源となり得る機器として抽出する。ここで抽出された機器のうち、上記①又は③の評価において破損を想定するものは、それぞれの評価での溢水源として考慮する。</p>	<p>(4) 他の機器で代替できる機器 他の機器により要求機能が代替できる機器。ただし、代替する他の機器が同時に機能喪失しない場合に限る。</p> <p>（第1.7-1表 溢水から防護すべき系統）</p> <p>1.7.2 考慮すべき溢水事象</p> <p>溢水源及び溢水量としては、発生要因別に分類した以下の溢水を想定して評価することとし、評価条件については溢水評価ガイドを参照する。</p> <p>a. 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水（以下「想定破損による溢水」という。） b. 発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水（以下「消火水の放水による溢水」という。） c. 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水（使用済燃料プール等のスロッシングにより発生する溢水を含む。）（以下「地震起因による溢水」という。） d. その他の要因（地下水の流入、地震以外の自然現象、機器の誤作動等）により生じる溢水（以下「その他の溢水」という。）</p> <p>溢水源となり得る機器は、流体を内包する容器及び配管とし、a.又はc.の評価において破損を想定するものは、それぞれの評価での溢水源として設定する。</p> <p>a.又はb.の溢水源の想定に当たっては、一系統における単一の機器の破損又は単一箇所での異常状態の発生とし、他の系統及び機器は健全なものと仮定する。また、一系統にて多重性又は多様性を有する機器がある場合においても、そのうち単一の機器が破損すると仮定する。</p>	<p>(4) 他の機器で代替できる機器 他の機器により要求機能が代替できる機器。ただし、代替する他の機器が同時に機能喪失しない場合に限る。</p> <p>1.7.2 考慮すべき溢水事象</p> <p>溢水源及び溢水量としては、発生要因別に分類した以下の溢水を想定して評価することとし、評価条件については溢水評価ガイドを参照する。</p> <p>a. 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水（以下「想定破損による溢水」という。） b. 発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水（以下「消火水の放水による溢水」という。） c. 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水（使用済燃料ピット等のスロッシングにより発生する溢水を含む。）（以下「地震起因による溢水」という。） d. その他の要因（地下水の流入、地震以外の自然現象、機器の誤作動等）により生じる溢水（以下「その他の溢水」という。）</p> <p>溢水源となり得る機器は、流体を内包する容器及び配管とし、a.又はc.の評価において破損を想定するものはそれぞれの評価での溢水源として設定する。</p> <p>a.又はb.の溢水源の想定に当たっては、一系統における単一の機器の破損又は単一箇所での異常状態の発生とし、他の系統及び機器は健全なものと仮定する。また、一系統にて多重性又は多様性を有する機器がある場合においても、そのうち単一の機器が破損すると仮定する。</p>	<p>記載箇所の相違 女川は1.7.1項の最後に第1.7-1表があるが、泊は資料の最終段に掲載しているため、比較表後段の9-47頁に記載している。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>なお、海水ポンプエリア及び防護対象設備が設置されている建屋外の溢水源については、地震、津波、竜巻、地滑り等を考慮する。具体的には、「1.8.2.5 海水ポンプエリアにおける溢水評価に関する設計方針」及び「1.8.2.6 防護対象設備設置建屋外からの溢水評価に関する設計方針」にて説明する。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-6～7）】</p> <p>(1) 想定破損による溢水</p> <p>以下で定義する高エネルギー配管及び低エネルギー配管に分類して破損を想定し浸水、被水及び蒸気による影響を評価する。</p> <p>※1 「高エネルギー配管」は、呼び径 25A(1B)を超える配管でプラントの通常運転時に運転温度が95℃を超えるか又は運転圧力が1.9MPa[gage]を超える配管。ただし、被水、蒸気については配管径に関係なく影響を評価する。</p> <p>※2 「低エネルギー配管」は、呼び径 25A(1B)を超える配管でプラントの通常運転時に運転温度が95℃以下で、かつ、運転圧力が1.9MPa[gage]以下の配管。(ただし、静水頭圧の配管は除く。)</p> <p>※3 高エネルギー配管として運転している割合が当該系統の運転している時間の2%又はプラント運転期間の1%より小さければ、低エネルギー配管として扱う。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-16～18）】</p>	<p>号炉間で共用する建屋及び一体構造の建屋に設置される機器にあつては、共用、非共用機器に係わらず、その建屋内で単一の溢水源を想定し、建屋全体の溢水経路を考慮する。</p> <p>1.7.3 溢水源及び溢水量の想定</p> <p>1.7.3.1 想定破損による溢水</p> <p>(1) 想定破損における溢水源の想定</p> <p>想定破損による溢水については、単一の配管の破損による溢水を想定して、配管の破損箇所を溢水源として設定する。</p> <p>また、破損を想定する配管は、内包する流体のエネルギーに応じて、以下で定義する高エネルギー配管又は低エネルギー配管に分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「高エネルギー配管」とは、呼び径 25A(1B)を超える配管であつて、プラントの通常運転時に運転温度が95℃を超えるか又は運転圧力が1.9MPa[gage]を超える配管。ただし、被水及び蒸気の影響については配管径に関係なく評価する。 「低エネルギー配管」とは、呼び径 25A(1B)を超える配管であつて、プラントの通常運転時に運転温度が95℃以下で、かつ運転圧力が1.9MPa[gage]以下の配管。ただし、被水の影響については配管径に関係なく評価する。なお、運転圧力が静水頭圧の配管は除く。 高エネルギー配管として運転している割合が当該系統の運転している時間の2%又はプラント運転期間の1%より小さければ、低エネルギー配管として扱う。 	<p>1.7.3 溢水源及び溢水量の想定</p> <p>1.7.3.1 想定破損による溢水</p> <p>(1) 想定破損における溢水源の想定</p> <p>想定破損による溢水については、単一の配管の破損による溢水を想定して、配管の破損箇所を溢水源として設定する。</p> <p>また、破損を想定する配管は、内包する流体のエネルギーに応じて、以下で定義する高エネルギー配管又は低エネルギー配管に分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「高エネルギー配管」とは、呼び径 25A(1B)を超える配管であつて、プラントの通常運転時に運転温度が95℃を超えるか又は運転圧力が1.9MPa[gage]を超える配管。ただし、被水及び蒸気の影響については配管径に関係なく評価する。 「低エネルギー配管」とは、呼び径 25A(1B)を超える配管であつて、プラントの通常運転時に運転温度が95℃以下で、かつ運転圧力が1.9MPa[gage]以下の配管。ただし、被水の影響については配管径に関係なく評価する。なお、運転圧力が静水頭圧の配管は除く。 高エネルギー配管として運転している割合が当該系統の運転している時間の2%又はプラント運転期間の1%より小さければ、低エネルギー配管として扱う。 	<p>相違理由</p> <p><u>設備の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 泊3には泊1/2号と共用する建屋は存在しない。 泊3では、a.又はb.の溢水源の想定に当たっては、連結する建屋内で単一の溢水源を想定するが、溢水防護区画内の水位が最も高くなるよう、連結された建屋全体の溢水経路だけでなく、単独建屋内の溢水経路も考慮している。 <p>【大飯】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 女川審査実績の反映 <p>【大飯】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 女川審査実績の反映

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2-9-別1 補-170～171)</p> <p>破損を想定する位置は、安全機能への影響が最も大きくなる位置とする。</p> <p>配管の破損形状の想定に当たっては、「溢水ガイド附属書A」にしたがい、高エネルギー配管は、原則「完全全周破断」、低エネルギー配管は、原則「貫通クラック」を想定する。ただし、溢水ガイドでは、以下のとおり、応力評価の結果により、破損形状を想定できることが定められている。</p> <p>溢水ガイドでは、配管の一次+二次応力S_nが許容応力S_aに対し以下の条件を満足すれば、それに応じた破損形状の想定が可能であることを規定している。</p> <p>【高エネルギー配管（ターミナルエンドを除く。）】</p> <p>$S_n \leq 0.4S_a$ 破損想定不要 $0.4S_a < S_n \leq 0.8S_a$ 貫通クラック</p> <p>なお、高エネルギー配管のターミナルエンドは、応力評価の結果にかかわらず「完全全周破断」を想定する。</p>	<p>配管の破損形状の想定に当たっては、高エネルギー配管は、原則「完全全周破断」、低エネルギー配管は、原則「配管内径の1/2の長さで配管肉厚の1/2の幅を有する貫通クラック」（以下「貫通クラック」という。）を想定する。ただし、応力評価を実施する配管については、発生応力S_nと許容応力S_aの比により、以下で示した応力評価の結果に基づく破損形状を想定する。また、応力評価の結果により破損形状の想定を行う場合は、評価結果に影響するような減肉がないことを確認するために継続的な肉厚管理を実施する。</p> <p>【高エネルギー配管（ターミナルエンド部を除く。）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリの配管 <ul style="list-style-type: none"> (a) クラス1配管 <ul style="list-style-type: none"> $S_n \leq 0.8 \times \text{許容応力}^{*1}$, 疲れ累積係数$\leq 0.1$ ⇒破損想定不要 (b) クラス2配管 <ul style="list-style-type: none"> $S_n \leq 0.8 \times \text{許容応力}^{*1}$ ⇒破損想定不要 ※1 クラス1配管は2.4S_m以下、クラス2配管は0.8S_a以下 原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリ以外の配管 <ul style="list-style-type: none"> (a) クラス1配管 <ul style="list-style-type: none"> $S_n \leq 0.4 \times \text{許容応力}^{*2}$, 疲れ累積係数$\leq 0.1$ ⇒破損想定不要 $0.4 \times \text{許容応力}^{*2} < S_n \leq 0.8 \times \text{許容応力}^{*2}$, 疲れ累積係数$\leq 0.1$ ⇒貫通クラック (b) クラス2, 3又は非安全系配管 <ul style="list-style-type: none"> $S_n \leq 0.4 \times \text{許容応力}^{*2}$ ⇒破損想定不要 $0.4 \times \text{許容応力}^{*2} < S_n \leq 0.8 \times \text{許容応力}^{*2}$ ⇒貫通クラック ※2 クラス1配管は1.2S_m以下、クラス2, 3又は非安全系配管は0.4S_a以下 ※3 クラス1配管は2.4S_m以下、クラス2, 3又は非安全系配管は0.8S_a以下 	<p>配管の破損形状の想定に当たっては、高エネルギー配管は、原則「完全全周破断」、低エネルギー配管は、原則「配管内径の1/2の長さで配管肉厚の1/2の幅を有する貫通クラック（以下「貫通クラック」という。）」を想定する。ただし、応力評価を実施する配管については、発生応力S_nと許容応力S_aの比により、以下で示した応力評価の結果に基づく破損形状を想定する。また、応力評価の結果により破損形状の想定を行う場合は、評価結果に影響するような減肉がないことを確認するために継続的な肉厚管理を実施する。</p> <p>【高エネルギー配管（ターミナルエンド部を除く。）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリの配管 <ul style="list-style-type: none"> (a) クラス1配管 <ul style="list-style-type: none"> $S_n \leq 0.8 \times \text{許容応力}^{*1}$, 疲れ累積係数$\leq 0.1$ ⇒破損想定不要 (b) クラス2配管 <ul style="list-style-type: none"> $S_n \leq 0.8 \times \text{許容応力}^{*1}$ ⇒破損想定不要 ※1 クラス1配管は2.4S_m以下、クラス2配管は0.8S_a以下 原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリ以外の配管 <ul style="list-style-type: none"> (a) クラス1配管 <ul style="list-style-type: none"> $S_n \leq 0.4 \times \text{許容応力}^{*2}$, 疲れ累積係数$\leq 0.1$ ⇒破損想定不要 $0.4 \times \text{許容応力}^{*2} < S_n \leq 0.8 \times \text{許容応力}^{*2}$, 疲れ累積係数$\leq 0.1$ ⇒貫通クラック (b) クラス2, 3又は非安全系配管 <ul style="list-style-type: none"> $S_n \leq 0.4 \times \text{許容応力}^{*2}$ ⇒破損想定不要 $0.4 \times \text{許容応力}^{*2} < S_n \leq 0.8 \times \text{許容応力}^{*2}$ ⇒貫通クラック ※2 クラス1配管は1.2S_m以下、クラス2, 3又は非安全系配管は0.4S_a以下 ※3 クラス1配管は2.4S_m以下、クラス2, 3又は非安全系配管は0.8S_a以下 	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【低エネルギー配管】</p> <p>$S_n \leq 0.4S_a$ 破損想定不要</p> <p>【別添資料1(2-9-別1-19、20、21)(2-9-別1補-172~194)】</p> <p>高エネルギー配管の溢水評価では、応力評価の結果により想定した破損形状による溢水を想定し、異常の検知、事象の判断、漏えい箇所の特定、漏えい箇所の隔離等により漏えい停止するまでの時間（運転員の状況確認及び隔離操作を含む。）に保守性を考慮して設定し、溢水量を算出する。</p> <p>また、隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を考慮する。想定する破損箇所は防護対象設備への溢水影響が最も大きくなる位置とする。</p> <p>低エネルギー配管の溢水評価では、貫通クラックによる溢水を想定し、隔離による漏えい停止に必要な時間から溢水量を算出する。また、隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を考慮する。想定する破損箇所は防護対象設備への溢水影響が最も大きくなる位置とする。ただし、応力評価結果により、一次＋二次応力 S_n が許容応力 S_a に対して、判定条件 ($S_n \leq 0.4S_a$) を満足する配管については破損を想定しない。</p> <p>応力評価の結果により破損形状の想定を行う場合は、評価結果に影響するような減肉がないことを確認するために継続的な肉厚管理を実施する。</p> <p>【別添資料1(2-9-別1補-76~169、195、498~507)】</p>	<p>【低エネルギー配管】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉冷却材圧力バウダリ及び原子炉格納容器バウダリの配管 $S_n \leq 0.4S_a \Rightarrow$ 破損想定不要 原子炉冷却材圧力バウダリ及び原子炉格納容器バウダリ以外の配管 $S_n \leq 0.4 \times \text{許容応力}^{*4} \Rightarrow$ 破損想定不要 <p>※4クラス1配管は1.2Sm以下、クラス2、3又は非安全系配管は0.4Sa以下</p> <p>ここで S_n、S_m 及び S_a は日本機械学会「発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005)」による。</p> <p>(2) 想定破損における溢水量の設定</p> <p>想定する破損箇所は溢水防護対象設備への溢水影響が最も大きくなる位置とし、溢水量は、異常の検知、事象の判断及び漏えい箇所の特定並びに現場又は中央制御室からの隔離により漏えい停止するまでの時間（運転員の状況確認及び隔離操作含む。）を適切に考慮し、想定する破損箇所から流出した漏水量と隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を合算して設定する。なお、手動による漏えい停止の手順は、保安規定又はその下位規定に定める。</p> <p>ここで、漏水量は、配管の破損形状を考慮した流出流量に漏水箇所の隔離までに必要な時間（以下「隔離時間」という。）を乗じて設定する。</p>	<p>【低エネルギー配管】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉冷却材圧力バウダリ及び原子炉格納容器バウダリの配管 $S_n \leq 0.4S_a \Rightarrow$ 破損想定不要 原子炉冷却材圧力バウダリ及び原子炉格納容器バウダリ以外の配管 $S_n \leq 0.4 \times \text{許容応力}^{*4} \Rightarrow$ 破損想定不要 <p>※4クラス1配管は1.2Sm以下、クラス2、3又は非安全系配管は0.4Sa以下</p> <p>ここで S_n、S_m 及び S_a は日本機械学会「発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005)」による。</p> <p>(2) 想定破損における溢水量の設定</p> <p>想定する破損箇所は溢水防護対象設備への溢水影響が最も大きくなる位置とし、溢水量は、異常の検知、事象の判断及び漏えい箇所の特定並びに現場又は中央制御室からの隔離により漏えい停止するまでの時間（運転員の状況確認及び隔離操作含む。）を適切に考慮し、想定する破損箇所から流出した漏水量と隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を合算して設定する。なお、手動による漏えい停止の手順は、保安規定又はその下位規定に定める。</p> <p>ここで、漏水量は、配管の破損形状を考慮した流出流量に漏水箇所の隔離までに必要な時間（以下「隔離時間」という。）を乗じて設定する。</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川審査実績の反映 <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川審査実績の反映

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 消火水の放水による溢水</p> <p>消火栓からの放水については、3時間の放水により想定される溢水量若しくは、火災源が小さい場合においては、その可燃性物質の量及び等価火災時間を考慮した消火活動に伴う放水により想定される溢水量を設定する。</p> <p>スプリンクラーからの放水については、「1.7 火災防護に関する基本方針」で示されている放水量を用い、放水停止に要する時間については、火災発生時の中央制御室での警報発信後から、現場到着までの時間、状況確認及びスプリンクラーの放水停止までの時間に保守性を考慮して設定し、溢水量を算出する。スプリンクラーには自動起動及び手動起動があるが、溢水評価においては両者を区別せずに溢水量を算出する。なお、高エネルギー配管破断時の環境温度よりも高い動作温度のスプリンクラーヘッドを適用することで高エネルギー配管の破損によってもスプリンクラーが誤って動作しないため、高エネルギー配管破断とスプリンクラーからの放水による溢水をあわせて想定しない。</p>	<p>1.7.3.2 消火水の放水による溢水</p> <p>(1) 消火水の放水による溢水源の想定</p> <p>消火水の放水による溢水については、発電用原子炉施設内に設置される消火設備等からの放水を溢水源として設定する。</p> <p>消火栓以外の設備としては、スプリンクラーや格納容器スプレー冷却系があるが、溢水防護対象設備が設置されている建屋には、スプリンクラーは設置しない設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とすることから溢水源として想定しない。</p> <p>また、原子炉格納容器内の溢水防護対象設備については、格納容器スプレー冷却系の作動によって発生する溢水により安全機能を損なわない設計とする。なお、格納容器スプレー冷却系は、単一故障による誤作動が発生しないように設計上考慮されていることから誤作動による溢水は想定しない。</p> <p>(2) 消火水の放水による溢水量の想定</p> <p>消火設備等からの単位時間当たりの放水量と放水時間から溢水量を設定する。</p> <p>消火設備等のうち、消火栓からの放水については、3時間の放水により想定される溢水量を設定する。</p>	<p>1.7.3.2 消火水の放水による溢水</p> <p>(1) 消火水の放水による溢水源の想定</p> <p>消火水の放水による溢水については、発電用原子炉施設内に設置される消火設備等からの放水を溢水源として設定する。</p> <p>消火栓以外の設備としては、スプリンクラーや格納容器スプレー系統があるが、溢水防護対象設備が設置されている建屋には、スプリンクラーは設置しない設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とすることから溢水源として想定しない。</p> <p>また、原子炉格納容器内の溢水防護対象設備については、格納容器スプレー系統の作動により発生する溢水により安全機能を損なわない設計とする。なお、格納容器スプレー系統の作動回路は、単一故障による誤作動が発生しないように設計上考慮されていることから誤作動による溢水は想定しない。</p> <p>(2) 消火水の放水による溢水量の想定</p> <p>消火設備等からの単位時間当たりの放水量と放水時間から溢水量を設定する。</p> <p>消火設備等のうち、消火栓からの放水については、3時間の放水により想定される溢水量若しくは、火災源が小さい場合においては、その可燃性物質の量及び等価時間を考慮した消火活動に伴う放水により想定される溢水量を設定する。</p>	<p>相違理由</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は3時間の放水により想定される溢水量を基本とするが、火災源が小さいエリアについては、「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算定し、溢水量を設定しており、放水量の算定に用いた各区画の火災荷重を上回る量の可燃物が持ち込まれないよう現場管理している。 (記載は大阪の審査実績を反映) <p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪は防護対象設備が設置される建屋内にスプリンクラーが設置されているため、スプリンクラーからの溢水量の算定方針について記載している。女川及び泊にはスプリンクラーは設置されていない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>スプリンクラー設備は消防法施行規則に定める設置及び維持に関する技術上の基準を満足した設計とする。したがって、スプリンクラーヘッド、感知器、予作動弁は消防認定品とする。さらに、感知器から予作動弁に信号を送るケーブルは消防法施行規則第12条及び消防庁告示第11号により認められた耐熱電線を使用することで、耐熱仕様による保護がされているため、予作動弁の開動作に影響を及ぼさず、火災によりケーブルが損傷し、直ちに信号が遮断されることはない設計とする。</p> <p>スプリンクラーからの放水によって、同時に2系統の防護対象設備が機能喪失するおそれがあるエリアにはハロン消火設備又は二酸化炭素消火設備を設置することで、防護対象設備の安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>ハロン消火設備又は二酸化炭素消火設備を設置したエリアでは溢水量を考慮しないが、隣接するエリアでの消火栓からの放水及びスプリンクラーからの放水による溢水の伝播を考慮する。</p> <p>なお、高エネルギー配管の破損によるスプリンクラーの誤動作については防止対策を図る設計とする。</p> <p>発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水のうち、消火栓からの放水、スプリンクラーからの放水及び格納容器スプレイ系からの放水があるが、格納容器スプレイ系については原子炉格納容器内でのみ生じ、防護対象設備は耐環境性があることから格納容器スプレイ系の動作により発生する溢水により原子炉格納容器内の防護対象設備が安全機能を損なうことはない。なお、格納容器スプレイ系の作動回路は、チャンネルの単一故障を想定してもその機能を失うことがなく、かつ、誤信号発生による誤作動を防止する設計とする。</p> <p>具体的には、原子炉格納容器圧力異常高の「2 out of 4」信号による自動作動又は中央制御盤上の操作スイッチ2個を同時に操作することによる手動作動としていることを確認する方針とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-43～46、289～310） （2-9-別1補-316～348）】</p>			

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 地震起因による溢水</p> <p>溢水源となり得る機器（流体を内包する機器）のうち、基準地震動による地震力により破損が生じる機器を溢水源として想定する。</p> <p>耐震Sクラスの機器については、基準地震動による地震力によって破損は生じないことから溢水源として想定しない。また、耐震B、Cクラスの機器のうち、耐震Sクラスの機器と同様に基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されるもの（水位制限によるものを含む。）又は耐震対策工事により、耐震性を確保するものについては溢水源として想定しない。</p> <p>耐震B、Cクラスの機器が、耐震性を確保する耐震B、Cクラスの機器に対して、波及的影響を及ぼさないことを確認する方針とする。耐震強度評価又は耐震対策工事により耐震性が確保される機器を第1.8.1表に示す。</p> <p>溢水量の算出に当たっては、漏水が生じるとした機器のうち防護対象設備への溢水の影響が最も大きくなる位置で漏水が生じるものとして評価する。溢水源となる容器については全保有水量を考慮し、溢水源となる配管については完全全周破断による溢水量を考慮する。また、運転員による手動操作により漏えい停止を行う溢水源に対して、異常の検知、事象の判断、漏えい箇所の特定、漏えい箇所の隔離等により漏えい停止するまでの時間（運転員の状況確認及び隔離操作を含む。）に保守性を考慮して設定し、溢水量を算出するとともに、隔離後の隔離範囲内の系統の保有水量を溢水量に考慮する。</p>	<p>1.7.3.3 地震起因による溢水</p> <p>(1) 発電所内に設置された機器の破損による漏水</p> <p>①地震起因による溢水源の想定</p> <p>地震起因による溢水については、溢水源となり得る機器（流体を内包する機器）のうち、基準地震動S_sによる地震力により破損が生じる機器を溢水源として設定する。</p> <p>耐震Sクラス機器については、基準地震動S_sによる地震力によって破損は生じないことから溢水源として想定しない。また、耐震B及びCクラス機器のうち耐震対策工事の実施又は設計上の裕度の考慮により、基準地震動S_sによる地震力に対して耐震性が確保されているものについては溢水源として想定しない。</p> <p>②地震起因による溢水量の設定</p> <p>溢水量の算出に当たっては、漏水が生じるとした機器のうち溢水防護対象設備への溢水の影響が最も大きくなる位置で漏水が生じるものとして評価する。溢水源となる配管については破断形状を完全全周破断とし、溢水源となる容器については全保有水量を考慮した上で、溢水量を算出する。</p> <p>また、漏えい検知による漏えい停止を期待する場合は、漏えい停止までの隔離時間を考慮し、配管の破損箇所から流出した漏水量と隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を合算して設定する。</p> <p>ここで、漏水量は、配管の破損箇所からの流出流量に隔離時間を乗じて設定する。なお、地震による機器の破損が複数箇所でも同時に発生する可能性を考慮し、漏えい検知による自動隔離機能を有する場合を除き、隔離による漏えい停止は期待しない。</p>	<p>1.7.3.3 地震起因による溢水</p> <p>(1) 発電所内に設置された機器の破損による漏水</p> <p>① 地震起因による溢水源の想定</p> <p>地震起因による溢水については、溢水源となり得る機器（流体を内包する機器）のうち、基準地震動による地震力により破損が生じる機器を溢水源として設定する。</p> <p>耐震Sクラス機器については、基準地震動による地震力によって破損は生じないことから溢水源として想定しない。また、耐震B、Cクラスの機器のうち耐震対策工事の実施又は設計上の裕度の考慮により、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されているものについては溢水源として想定しない。</p> <p>② 地震起因による溢水量の設定</p> <p>溢水量の算出に当たっては、漏水が生じるとした機器のうち溢水防護対象設備への溢水の影響が最も大きくなる位置で漏水が生じるものとして評価する。溢水源となる配管については破断形状を完全全周破断とし、溢水源となる容器については全保有水量を考慮した上で、溢水量を算出する。</p> <p>また、原子炉トリップを伴う地震発生時においては、運転員による中央制御室及び現場での隔離操作による漏えい停止を期待する場合は、漏えい停止までの隔離時間を考慮し、配管の破損箇所から流出した漏水量と隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を合算して設定する。</p> <p>ここで、漏水量は、配管の破損箇所からの流出流量に隔離時間を乗じて設定する。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>設計方針の相違 ・女川は地震起因による溢水の漏えい停止を目的とした隔離において、漏えい検知による自動隔離に期待しているのに対して、泊では漏えい検知による自動隔離に期待する系統はない。 ・また、女川は漏えい検知を起点に自動隔離され漏えい停止するが、泊は地震加速度大による原子炉トリップ時に、実際の漏えいの有無にかかわらず予め定めた隔離対象機器を全て手動隔離して漏えい停止する運用として</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量の算出に当たっては、基準地震動による地震力によって生じるスロッシング現象を3次元流動解析により評価し、使用済燃料ピット外へ漏えいする水量を考慮する。</p> <p>また、使用済燃料ピットの初期水位等の評価条件は保守的となるように設定する。</p> <p>水密化区画内には防護対象設備が設置されておらず、かつ、地震起因により水密化区画内で発生が想定される溢水は、区画外へ漏えいしない設計とすることから、防護対象設備への溢水の影響はなく、水密化区画内で発生する溢水は溢水源として想定しない。</p>	<p>基準地震動 S_s による地震力に対して、耐震性が確保されない循環水配管については、伸縮継手の全円周状の破損を想定し、循環水ポンプを停止するまでの間に生じる溢水量を設定する。</p> <p>(2) 使用済燃料プールのスロッシングによる溢水</p> <p>①使用済燃料プールのスロッシングによる溢水源の想定 使用済燃料プールのスロッシングによる溢水については、基準地震動 S_s による地震力により生じる使用済燃料プールのスロッシングによる漏えい水を溢水源として設定する。</p> <p>②使用済燃料プールのスロッシングによる溢水量の設定 使用済燃料プールのスロッシングによる溢水量の算出に当たっては、基準地震動 S_s による地震力により生じるスロッシング現象を3次元流動解析により評価し、使用済燃料プール外へ漏えいする水量を考慮する。</p> <p>また、施設定期検査中の使用済燃料プール、原子炉ウエル及び蒸気乾燥機・気水分離器ピットのスロッシングについても評価を実施する。</p>	<p>基準地震動による地震力に対して、耐震性が確保されない循環水管については、伸縮継手の全円周状の破損を想定し、循環水ポンプを停止するまでの間に生じる溢水量を設定する。</p> <p>(2) 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水</p> <p>① 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水源の想定 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水については、基準地震動による地震力により生じる使用済燃料ピットのスロッシングによる漏えい水を溢水源として設定する。</p> <p>② 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量の設定 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量の算出に当たっては、基準地震動による地震力により生じるスロッシング現象を3次元流動解析により評価し、使用済燃料ピット外へ漏えいする水量を考慮する。</p> <p>また、スロッシングによる溢水量の算出では、施設定期検査中の使用済燃料ピット、燃料検査ピット、燃料取替チャンネル及びキヤスクピットの水張り状態も考慮する。</p> <p>水密化区画内には防護対象設備が設置されておらず、かつ地震起因により水密化区画内で発生が想定される溢水は、区画外へ漏えいしない設計とすることから、防護対象設備への溢水の影響はなく、水密化区画内で発生する溢水は溢水源として想定しない。</p>	<p><u>記載方針の相違</u> PWR は原子炉ウエル及び蒸気乾燥機・気水分離器ピットが無いため、使用済燃料ピットに接続される燃料検査ピット等も含めた施設検査中の水張り状態を考慮して溢水量を算出していることを記載している。</p> <p>【大飯】 <u>記載方針の相違</u> ・女川審査実績の反映</p> <p><u>記載方針の相違</u> 泊は閉鎖区画内に設置されたタンク類が多数あるため、溢水源としてどのように扱うか明記している。(大飯と同じ) 溢水経路の設定の考え方については女川と泊で相違は無い。 (記載は大飯の審査実績を反映)</p>

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>耐震強度評価の具体的な考え方を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震強度評価に係る応答解析は、基準地震動を用いた動的解析によることとし、機器の応答性状を適切に表現できるモデルを設定する。 その上で、当該機器の据付床の水平方向及び鉛直方向それぞれの床応答を用いて応答解析を行い、それぞれの応答解析結果を適切に組み合わせる。 応答解析に用いる減衰定数は、安全上適切と認められる規格、基準、既往の振動実験、地震観測の調査結果等を考慮して適切な値を定める。 応力評価に当たり、簡易的な手法を用いる場合は評価結果が厳しい箇所については詳細評価を実施することで健全性を確保する。 <p>・基準地震動による発生応力に対する評価基準値は、安全上適切と認められる規格及び基準で規定されている値又は試験等で妥当性が確認されている値を用いる。</p> <p>・バウダリ機能確保の観点から、設備の実力を反映する場合には規格基準以外の評価基準値の適用も検討する。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-47～49、335～367、71～72、396～414）（2-9-別1 補-349～407）】</p> <p>(4)その他の溢水</p> <p>その他の溢水については、地下水の流入、竜巻による飛来物の衝突による屋外タンクの破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水、機器の誤動作、弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等を想定する。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-4、54、383～395）】</p>	<p>耐震評価の具体的な考え方を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造強度評価に係る応答解析は、基準地震動 S_s を用いた動的解析によることとし、機器の応答性状を適切に表現できるモデルを設定する。 その上で、当該機器の据付床の水平方向及び鉛直方向それぞれの床応答を用いて応答解析を行い、それぞれの応答解析結果を適切に組み合わせる。 応答解析に用いる減衰定数は、安全上適切と認められる規格及び基準、既往の振動実験、地震観測の調査結果等を考慮して適切な値を定める。 応力評価に当たり、簡易的な手法を用いる場合は詳細な評価手法に対して保守性を有するよう留意し、簡易的な手法での評価結果が厳しい箇所については詳細評価を実施することで健全性を確保する。 基準地震動 S_s による地震力に対する発生応力の評価基準値は、安全上適切と認められる規格及び基準で規定されている値又は試験等で妥当性が確認されている値を用いる。 バウダリ機能確保の観点から、設備の実力を反映する場合には規格基準以外の評価基準値の適用も検討する。 <p>1.7.3.4 その他の溢水</p> <p>その他の溢水については、地下水の流入、降水、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水、機器の誤動作、弁グランド部及び配管フランジ部からの漏えい事象等を想定する。</p>	<p>耐震評価の具体的な考え方を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造強度評価に係る応答解析は、基準地震動を用いた動的解析によることとし、機器の応答性状を適切に表現できるモデルを設定する。 その上で、当該機器の据付床の水平方向及び鉛直方向それぞれの床応答を用いて応答解析を行い、それぞれの応答解析結果を適切に組み合わせる。 応答解析に用いる減衰定数は、安全上適切と認められる規格及び基準、既往の振動実験、地震観測の調査結果等を考慮して適切な値を定める。 応力評価に当たり、簡易的な手法を用いる場合は詳細な評価手法に対して保守性を有するよう留意し、簡易的な手法での評価結果が厳しい箇所については詳細評価を実施することで健全性を確保する。 基準地震動による地震力に対する発生応力の評価基準値は、安全上適切と認められる規格及び基準で規定されている値又は試験等で妥当性が確認されている値を用いる。 バウダリ機能確保の観点から、設備の実力を反映する場合には規格基準以外の評価基準値の適用も検討する。 <p>1.7.3.4 その他の溢水</p> <p>その他の溢水については、地下水の流入、降水、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水、機器の誤動作、弁グランド部及び配管フランジ部からの漏えい事象等を想定する。</p>	

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.8.2.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>溢水防護に対する溢水防護区画は、防護対象設備が設置されているすべての区画並びに中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路について設定する。溢水防護区画は壁、扉、堰等又はそれらの組み合わせによって他の区画と分離される区画として設定し、溢水防護区画の水位が最も高くなるように保守的に溢水経路を設定する。</p> <p>現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能な設計とする。</p> <p>具体的には、溢水防護区画内で発生する溢水に対しては、床ドレン、床面開口部及び床貫通部、壁貫通部、扉から他区画への流出は想定しない条件で溢水経路を設定し、溢水防護区画内の溢水水位を算出する。ただし、床ドレン、床面開口部及び床貫通部、壁貫通部、扉から流出することを定量的に確認できる場合は他区画への流出を期待する。</p> <p>溢水防護区画外で発生する溢水に対しては、床ドレン、天井面開口部及び貫通部、壁貫通部、扉から溢水防護区画内への流入を想定した条件で溢水経路を設定し、溢水防護区画内の溢水水位を設定する。ただし、床ドレン、天井面開口部及び貫通部、壁貫通部、扉に流入防止対策が施されている場合は溢水防護区画外からの流入を考慮しない。</p> <p>上層階の溢水は階段あるいは機器ハッチを經由して下層階へ伝播する。</p> <p>溢水経路を構成する壁、扉、堰等は、基準地震動による地震力に対し健全性を確認できる場合は溢水の伝</p>	<p>1.7.4 溢水防護区画及び溢水経路を設定するための方針</p> <p>(1) 溢水防護区画の設定</p> <p>溢水防護に対する評価対象区画を溢水防護区画とし、溢水防護対象設備が設置されている全ての区画並びに中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路について設定する。溢水防護区画は壁、扉、堰、床段差等、又はそれらの組み合わせによって他の区画と分離される区画として設定し、溢水防護区画を構成する壁、扉、堰、床段差等については、現場の設備等の設置状況を踏まえ、溢水の伝播に対する評価条件を設定する。</p> <p>(2) 溢水経路の設定</p> <p>溢水影響評価において考慮する溢水経路は、溢水防護区画とその他の区画との間における伝播経路となる扉、壁貫通部、天井貫通部、床面貫通部、床ドレン等の接続状況及びこれらに対する溢水防護措置を踏まえ、溢水防護区画内の水位が最も高くなるよう保守的に設定する。</p> <p>具体的には、溢水防護区画内で発生する溢水に対しては、床ドレン、貫通部及び扉から他区画への流出は想定しない（床ファンネル、機器ハッチ、開口扉等、定量的に他区画への流出を確認できる場合は除く。）保守的な条件で溢水経路を設定し、溢水防護区画内の溢水水位を算出する。</p> <p>溢水防護区画外で発生する溢水に対しては、床ドレン、開口部、貫通部及び扉を通じた溢水防護区画内への流入が最も多くなるよう（流入防止対策が施されている場合は除く。）保守的な条件で溢水経路を設定し、溢水防護区画内の溢水水位を算出する。</p> <p>なお、上層階から下層階への伝播に関しては、全量が伝播するものとする。</p> <p>溢水経路を構成する壁、扉、堰、床段差等は、基準地震動 S_s による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生</p>	<p>1.7.4 溢水防護区画及び溢水経路を設定するための方針</p> <p>(1) 溢水防護区画の設定</p> <p>溢水防護に対する評価対象区画を溢水防護区画とし、溢水防護対象設備が設置されている全ての区画並びに中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路について設定する。溢水防護区画は壁、扉、堰、床段差等、又はそれらの組み合わせによって他の区画と分離される区画として設定し、溢水防護区画を構成する壁、扉、堰、床段差等については、現場の設備等の設置状況を踏まえ、溢水の伝播に対する評価条件を設定する。</p> <p>(2) 溢水経路の設定</p> <p>溢水影響評価において考慮する溢水経路は、溢水防護区画とその他の区画との間における伝播経路となる扉、壁貫通部、天井貫通部、床面貫通部、床ドレン等の接続状況及びこれらに対する溢水防護措置を踏まえ、溢水防護区画内の水位が最も高くなるよう保守的に設定する。</p> <p>具体的には、溢水防護区画内で発生する溢水に対しては、床ドレン、開口部、貫通部及び扉から他区画への流出は想定しない（定量的に他区画への流出を確認できる場合は除く。）保守的な条件で溢水経路を設定し、溢水防護区画内の溢水水位を算出する。</p> <p>溢水防護区画外で発生する溢水に対しては、床ドレン、開口部、貫通部及び扉を通じた溢水防護区画内への流入が最も多くなるよう（流入防止対策が施されている場合は除く。）保守的な条件で溢水経路を設定し、溢水防護区画内の溢水水位を算出する。</p> <p>なお、上層階から下層階への伝播に関しては、全量が伝播するものとする。</p> <p>溢水経路を構成する壁、扉、堰、床段差等は、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じ</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 記載箇所の相違 ・泊及び女川は、「1.7.5 溢水防護対象設備を防護するための設計方針」に当該内容を記載している。</p> <p>記載方針の相違 ・泊は床ドレン及び機器ハッチから他区画への流出は考慮しておらず、区画番号：3RB-D-N51（主蒸気管室）の床開口部からの流出のみを考慮していることから、記載内容が異なる。 ・女川も泊も、定量的に他区画への流出を確認出来る場合のみ、溢水防護区画内で生じる溢水が、他区画に流出する評価条件を記載していることに相違は無い。</p>

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>播防止を期待する。溢水が長期間滞留する水密区画境界の壁にひび割れが生じる場合は、ひび割れからの浸水量を算出し溢水評価に影響を与えないことを確認する方針とする。</p> <p>貫通部に実施した流出及び流入防止対策は、基準地震動による地震力に対し健全性を確認できる場合は溢水の伝播防止を期待する。</p> <p>消火活動により区画の扉を開放する場合は、開放した扉からの消火水の伝播を考慮する。</p> <p>なお、溢水の影響を受けて防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ（以下「機能喪失高さ」という。）、溢水防護区画を構成する壁、扉、堰等については、現場の設備等の設置状況を踏まえ、評価条件を設定する。</p> <p>防護対象設備の機能喪失高さの考え方を第1.8.6表に示す。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-13～15、126～155）】</p>	<p>じる荷重や環境に対し、必要な健全性を維持できるとともに、保守管理及び水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより溢水の伝播を防止できるものとする。なお、溢水が長期間滞留する区画境界の壁にひび割れが生じる場合は、ひび割れからの浸水量を算出し、溢水評価に影響を与えないことを確認する。</p> <p>また、貫通部に実施した流出及び流入防止対策も同様に、基準地震動 S_s による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対し、必要な健全性を維持できるとともに、保守管理を適切に実施することにより溢水の伝播を防止できるものとする。</p> <p>なお、火災により貫通部の止水機能が損なわれる場合には、当該貫通部からの消火水の流入を考慮する。</p> <p>消火活動により区画の扉を開放する場合は、開放した扉からの消火水の伝播を考慮する。</p> <p>また、施設定期検査作業に伴う溢水防護対象設備の待機除外や扉の開放等、プラントの保守管理上やむを得ぬ措置の実施により、影響評価上設定したプラント状態と一時的に異なる状態となった場合も想定する。</p> <p>具体的には、プラント停止中のスロッシングの発生やハッチ開放時における溢水影響について評価を行い、ハッチ開放時の堰の設置により、溢水影響が他に及ばない運用を行う。</p>	<p>る荷重や環境に対し、必要な健全性を維持できるとともに、保守管理及び水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより溢水の伝播を防止できるものとする。なお、溢水が長期間滞留する区画境界の壁にひび割れが生じる場合は、ひび割れからの浸水量を算出し、溢水評価に影響を与えないことを確認する。</p> <p>また、貫通部に実施した流出及び流入防止対策も同様に、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対し、必要な健全性を維持できるとともに、保守管理を適切に実施することにより溢水の伝播を防止できるものとする。</p> <p>なお、火災により貫通部の止水機能が損なわれる場合には、当該貫通部からの消火水の流入を考慮する。</p> <p>消火活動により区画の扉を開放する場合は、開放した扉からの消火水の伝播を考慮する。</p> <p>また、施設定期検査作業に伴う溢水防護対象設備の待機除外や扉の開放等、プラントの保守管理上やむを得ぬ措置の実施により、影響評価上設定したプラント状態と一時的に異なる状態となった場合も想定する。</p> <p>具体的には、プラント停止中のスロッシングの発生やハッチ開放時における溢水影響について評価を行い、溢水防護対象設備が安全機能を損なわないことを確認する。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>設計方針の相違 ・女川は溢水影響評価で溢水経路として想定していないハッチについて、定期検査時等にハッチが開放されることを考慮し、ハッチ開放時には堰を設置する等の運用を定めている。 ・泊の溢水評価では、床面に設置されたハッチによる止水には期待しておらず、ハッチから下階に溢水が伝播する条件として没水評価を実施している。そのため、施設定期検査作業時であってもハッチの閉鎖状態が評価に影響することは無く、女川とは異なり施設定期検査作業時にハッチを溢水経路としないための運用は定める必要がない。</p>

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.8.2.4 防護対象設備設置建屋内における溢水評価に関する設計方針</p> <p>想定破損による溢水、消火水の放水による溢水、地震起因による溢水に対して、防護対象設備が以下に示す没水、被水及び蒸気の影響を受けて、安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>また、発生した溢水については、溢水の流入状態、溢水源からの距離、運転員のアクセス等により一時的な水位変動が生じることが考えられることから、防護対象設備の機能喪失高さは、発生した溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p> <p>具体的には、防護対象設備に対して溢水防護区画ごとに算出される溢水水位にゆらぎの影響を踏まえた裕度 100mm を確保する。</p> <p style="text-align: center;">【別添資料1 (2-9-別1-4) (2-9-別1 補-4、547～554)】</p> <p>1.8.2.4.1 想定破損による溢水影響に対する設計方針</p> <p>想定される配管の破損形状に基づいた没水、被水及び蒸気の影響により防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>(1) 没水による影響に対する設計方針</p> <p>高エネルギー配管の没水評価では、完全全周破断による溢水を想定し溢水量を算出する。</p> <p>低エネルギー配管の没水評価では、貫通クラックによる溢水を想定し溢水量を算出する。ただし、応力評価結果より一次+二次応力 S_n が許容応力 S_a に対して判定条件 ($S_n \leq 0.4S_a$) を満足する配管については破損を想定しない。</p>	<p>1.7.5 溢水防護対象設備を防護するための設計方針</p> <p>想定破損による溢水、消火水の放水による溢水、地震起因による溢水及びその他の溢水に対して、溢水防護対象設備が以下に示す没水、被水及び蒸気の影響を受けても、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とするとともに、使用済燃料プールのスロッシングにおける水位低下を考慮しても、使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能等が維持できる設計とする。</p> <p>また、溢水評価において、現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて区画の溢水水位、環境の温度及び放射線量を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能な設計とする。</p> <p>1.7.5.1 没水の影響に対する設計方針</p> <p>(1) 没水の影響に対する評価方針</p> <p>「1.7.2 考慮すべき溢水事象」にて設定した溢水源から発生する溢水量と「1.7.4 溢水防護区画及び溢水経路を設定するための方針」にて設定した溢水防護区画及び溢水経路から算出した溢水水位に対し、溢水防護対象設備が安全機能を損なうおそれがないことを評価する。</p> <p>具体的には、以下に示す要求のいずれかを満足していれば溢水防護対象設備が安全機能を損なうおそれはない。</p>	<p>1.7.5 溢水防護対象設備を防護するための設計方針</p> <p>想定破損による溢水、消火水の放水による溢水、地震起因による溢水及びその他の溢水に対して、溢水防護対象設備が以下に示す没水、被水及び蒸気の影響を受けても、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とするとともに、使用済燃料ピットのスロッシングにおける水位低下を考慮しても、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能等が維持できる設計とする。</p> <p>また、溢水評価において、現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて区画の溢水水位、環境の温度及び放射線量を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能な設計とする。</p> <p>1.7.5.1 没水の影響に対する設計方針</p> <p>(1) 没水の影響に対する評価方針</p> <p>「1.7.2 考慮すべき溢水事象」にて設定した溢水源から発生する溢水量と「1.7.4 溢水防護区画及び溢水経路を設定するための方針」にて設定した溢水防護区画及び溢水経路から算出した溢水水位に対し、溢水防護対象設備が安全機能を損なうおそれがないことを評価する。</p> <p>具体的には、以下に示す要求のいずれかを満足していれば溢水防護対象設備が安全機能を損なうおそれはない。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 記載箇所の相違 ・泊及び女川は、「1.7.5.1 没水の影響に対する設計方針」に当該内容を記載している。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>算出された溢水量、設定した溢水防護区画及び溢水経路から算出した溢水水位に対し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>具体的には、以下に示す設計方針のいずれかを満足することで、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。また、いずれの設計方針も満足しない場合は、壁、扉、堰等による没水対策を実施する。</p> <p>a. 溢水水位が防護対象設備の機能喪失高さを上回らないこと。</p> <p>b. 防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、各々が別区画に設置され、同時に安全機能を損なうことのないこと。</p> <p>c. 溢水が到達する前に、各々の系統で閉止を期待する弁が自動閉止するために、当該系統の隔離状態が維持されること。</p> <p>d. 当該系統の想定破損発生時に没水する防護対象設備に機能要求がないこと。</p> <p>なお、防護対象設備の機能喪失高さは、発生した溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-22～32、158～210） （2-9-別1 補-76～169）】</p>	<p>a. 発生した溢水による水位が、溢水の影響を受けて溢水防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ（以下「機能喪失高さ」という。）を上回らないこと。このとき、溢水による水位の算出に当たっては、区画の床勾配、区画面積、系統保有水量、流入状態、溢水源からの距離、人員のアクセス等による一時的な水位変動を考慮し、保有水量や伝播経路の設定において十分な保守性を確保するとともに、人員のアクセスルートにおいて発生した溢水による水位に対して100mm以上の裕度が確保されていることとする。なお、区画の床勾配については、設計上の最大水上高さ55mmを機能喪失高さに考慮して裕度を確保する設計とする。区画面積については、躯体寸法から算出した床面積に対して、機器占有率に応じた係数を乗じることによって裕度を確保する。系統保有水量については、公称値による算出結果に10%を加味することで裕度を確保する。さらに、溢水防護区画への資機材の持ち込み等による床面積への影響を考慮することとする。</p> <p>機能喪失高さについては、溢水防護対象設備の各付属品の設置状況も踏まえ、没水によって安全機能を損なうおそれのある最低の高さを設定する。</p> <p>b. 溢水防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、各々が同時に溢水の影響を受けないような別区画に設置され、同時に安全機能を損なうことのないこと。</p> <p>その際、溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要</p>	<p>a. 発生した溢水による水位が、溢水の影響を受けて溢水防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ（以下「機能喪失高さ」という。）を上回らないこと。このとき、溢水による水位の算出に当たっては、区画の床勾配、区画面積、系統保有水量、流入状態、溢水源からの距離、人員のアクセス等による一時的な水位変動を考慮し、保有水量や伝播経路の設定において十分な保守性を確保するとともに、人員のアクセスルートにおいて発生した溢水による水位に対して100mm以上の裕度が確保されていることとする。なお、区画の床勾配については、設計上の最大水上高さ50mmを機能喪失高さに考慮して裕度を確保する設計とする。区画面積については、躯体寸法から算出した床面積に対して、現場測定により確認した欠損面積を差引くことで算定し、欠損面積に対して一律に係数を乗じることによって裕度を確保する。系統保有水量については、公称値による算出結果に10%を加味することで裕度を確保する。さらに、溢水防護区画への資機材の持ち込み等による床面積への影響を考慮することとする。</p> <p>機能喪失高さについては、溢水防護対象設備の各付属品の設置状況も踏まえ、没水によって安全機能を損なうおそれのある最低の高さを設定する。</p> <p>機能喪失高さは実力高さ（各溢水防護対象機器等の機能喪失部位の高さ）に余裕を考慮した評価高さを基本とするが、評価高さが没水する場合には、機能喪失高さの実力値である個別測定した高さを用いて評価する。</p> <p>溢水防護対象設備の機能喪失高さ設定における考え方の例を第1.7.2表に示す。</p> <p>b. 溢水防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、各々が同時に溢水の影響を受けないような別区画に設置され、同時に安全機能を損なうことのないこと。</p> <p>その際、溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>設計方針の相違 ・プラント設計の相違により最大水上高さが異なる。床勾配を考慮して裕度を確保する設計としていることに相違は無い。</p> <p>設計方針の相違 ・泊では、区画面積及び区画内にある基礎等のコンクリート構造物による欠損を設計図面類から読み取った寸法から算出している。 ・更に、常設機器等の欠損面積を現場で実測した上で、設計図面類から算出した区画面積から差し引き、没水評価で使用する滞留面積としている。 ・また、全区画の欠損面積を一律に25%割り増しすることで保守性を確保している。</p> <p>設計方針の相違 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「基本設定箇所」を標準としているが、基本設定箇所でも没水してしまう機器については「個別測定箇所」を適用している。 ・上記の機能喪失高さの設定方針は、先行審査プラントである柏崎6、7号炉及び島根2号炉で実績があり、女川2号炉においても、溢水水位に対して防護対象設備の機能喪失高さの裕度が小さい場合に</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行うこと。</p> <p>(2) 没水の影響に対する防護設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が没水により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>① 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 漏えい検知システム等により溢水の発生を早期に検知し、中央制御室からの遠隔操作（自動又は手動）又は現場操作により漏えい箇所を早期に隔離できる設計とする。</p> <p>b. 溢水防護区画外の溢水に対して、壁、扉、堰等による流入防止対策を図り溢水の流入を防止する設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉、堰等は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 S_s による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>c. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外することにより溢水量を低減する。</p> <p>d. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動 S_s による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより溢水量を低減する。</p> <p>e. その他の溢水のうち機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等に対しては、漏えい検知システムや床ドレンファンネルからの排水等により早期に検知し、溢水防護対象設備の安全機能が損なわれない設計とする。</p>	<p>求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行うこと。</p> <p>(2) 没水の影響に対する防護設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が没水により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>① 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 漏えい検知システム等により溢水の発生を早期に検知し、中央制御室からの遠隔操作（自動又は手動）又は現場操作により漏えい箇所を早期に隔離できる設計とする。</p> <p>b. 溢水防護区画外の溢水に対して、壁、扉、堰等による流入防止対策を図り溢水の流入を防止する設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉、堰等は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>c. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外又は想定溢水量を低減することにより溢水による影響が発生しない設計とする。</p> <p>d. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより溢水量を低減する。</p> <p>e. その他の溢水のうち機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等に対しては、漏えい検知システムや床ドレン排水管からの排水等により早期に検知し、溢水防護対象設備の安全機能が損なわれない設計とする。</p>	<p>求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行うこと。</p> <p>(2) 没水の影響に対する防護設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が没水により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>① 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 漏えい検知システム等により溢水の発生を早期に検知し、中央制御室からの遠隔操作（自動又は手動）又は現場操作により漏えい箇所を早期に隔離できる設計とする。</p> <p>b. 溢水防護区画外の溢水に対して、壁、扉、堰等による流入防止対策を図り溢水の流入を防止する設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉、堰等は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>c. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外又は想定溢水量を低減することにより溢水による影響が発生しない設計とする。</p> <p>d. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより溢水量を低減する。</p> <p>e. その他の溢水のうち機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等に対しては、漏えい検知システムや床ドレン排水管からの排水等により早期に検知し、溢水防護対象設備の安全機能が損なわれない設計とする。</p>	<p>は、実際の機能喪失高さを実測することで実際には十分な裕度が確保されていることを確認している。</p> <p>設計方針の相違</p> <p>一内部溢水により原子炉に外乱が及ぶ場合について、女川はその溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行っている。</p> <p>一一方泊では、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生時でも、全ての溢水防護対象設備が溢水（地震・想定破損・消火放水）によって安全機能を損なうことのないよう、溢水防護対策を施すこととしている。そのため、溢水影響により一部の安全機能が喪失することを前提とした安全解析は行わない。</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では評価ガイドに従い、高エネルギー配管（補助蒸気系統および蒸気発生器ブローダウン系統（主蒸気管室以外））の応力評価を実施し、応力評価の結果により、発生応力 S_n が許容応力 S_a の 0.4 倍を超え 0.8 倍以下であれば破損形態を低エネルギー配管相当である貫通クラックとして想定し、発生応力 S_n が許容応力 S_a の 0.4 倍以下であれば、破損は想定していない。</p>

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 被水による影響に対する設計方針 溢水源となる機器からの直線軌道及び放物線軌道の飛散による被水又は天井面開口部若しくは貫通部からの被水による影響を受けて、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。ここで、溢水防護区画内において、被水による影響を評価するための区画を評価対象区画という。</p> <p>a. 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されている場合は、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていること。 b. 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されていない場合は、天井面に開口部又は貫通部が存在しないこと。 c. 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、かつ、天井面に開口部又は貫通部が存在する場合は、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていること。 d. 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、天井面に開口部又は貫通部が存在し、かつ、当該開口部及び貫通部に密封処理等</p>	<p>② 溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 溢水防護対象設備の設置高さを嵩上げし、評価の各段階における保守性と併せて考慮した上で、溢水防護対象設備の機能喪失高さが、発生した溢水による水位を十分な裕度を持って上回る設計とする。</p> <p>b. 溢水防護対象設備周囲に浸水防止堰を設置し、溢水防護対象設備が没水しない設計とする。設置する浸水防止堰については、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できる設計とするとともに、溢水の要因となる地震や火災等により生じる環境や荷重条件に対して当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>1.7.5.2 被水影響に対する設計方針 (1) 被水の影響に対する評価方針 「1.7.2 考慮すべき溢水事象」にて設定した溢水源からの直線軌道及び放物線軌道の飛散による被水並びに天井面の開口部又は貫通部からの被水の影響を受ける範囲内にある溢水防護対象設備が被水により安全機能を損なうおそれがないことを評価する。 具体的には、以下に示す要求のいずれかを満足していれば溢水防護対象設備が安全機能を損なうおそれはない。</p> <p>a. 溢水防護対象設備があらゆる方向からの水の飛まつによっても有害な影響を生じないよう、以下に示すいずれかの保護構造を有していること。 (a) 「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級 (IP コード)」における第二特性数字4以上相当の保護等級を有すること。 (b) 実機での被水条件を考慮しても安全機能を損なわないことを被水試験等により確認した保護カバーやパッキン等による被水防護措置がなされていること。 b. 溢水防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、各々が同時に溢水の影響を受けないような</p>	<p>② 溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 溢水防護対象設備の設置高さを嵩上げし、評価の各段階における保守性と併せて考慮した上で、溢水防護対象設備の機能喪失高さが、発生した溢水による水位を十分な裕度を持って上回る設計とする。</p> <p>b. 溢水防護対象設備周囲に浸水防止堰を設置し、溢水防護対象設備が没水しない設計とする。設置する浸水防止堰については、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できる設計とするとともに、溢水の要因となる地震や火災等により生じる環境や荷重条件に対して当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>1.7.5.2 被水影響に対する設計方針 (1) 被水の影響に対する評価方針 「1.7.2 考慮すべき溢水事象」にて設定した溢水源からの直線軌道及び放物線軌道の飛散による被水並びに天井面の開口部又は貫通部からの被水の影響を受ける範囲内にある溢水防護対象設備が被水により安全機能を損なうおそれがないことを評価する。 具体的には、以下に示す要求のいずれかを満足していれば溢水防護対象設備が安全機能を損なうおそれはない。</p> <p>a. 溢水防護対象設備があらゆる方向からの水の飛まつによっても有害な影響を生じないよう、以下に示すいずれかの保護構造を有していること。 (a) 「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級 (IP コード)」における第二特性数字4以上相当の保護等級を有すること。 (b) 実機での被水条件を考慮しても安全機能を損なわないことを被水試験等により確認した保護カバーやパッキン等による被水防護措置がなされていること。 b. 溢水防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、各々が同時に溢水の影響を受けないような</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>設計方針の相違 →泊は被水評価では多重性や多様性を考慮せず、全ての溢水防護対象設備が機能喪失しないよう対策</p>

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>の流出防止対策がなされていない場合にあっては、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていること。</p> <p>e. 上記a.～d.を満足しない場合は、防護対象設備が防滴仕様であること。</p> <p>f. 上記a.～e.を満足しない場合は、被水防護対策を実施する。</p> <p>ただし、多重性又は多様性を有し各々を別区画に設置している防護対象設備で、同時にその機能を失わない場合は、機能が維持されるものとする。</p> <p>なお、被水評価において、保護カバーやパッキンにより安全機能を損なうことのない設計としている設備については、実機での被水条件を考慮しても安全機能を損なうことのないことを被水試験により確認する方針とする。</p> <p>保護カバー等の概要を第1.8.1図に示す。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-33～38、211～232）（2-9-別1補-459～481）】</p>	<p>別区画に設置され、同時に安全機能を損なうことのないこと。</p> <p>その際、溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行うこと。</p> <p>(2) 被水の影響に対する防護設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が被水により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>①溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 溢水防護区画外の溢水に対して、壁、扉、堰等による流入防止対策を図り溢水の流入を防止することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉、堰等は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動S_sによる地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>b. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>c. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動S_sによる地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p>	<p>別区画に設置され、同時に安全機能を損なうことのないこと。</p> <p>その際、溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行うこと。</p> <p>(2) 被水の影響に対する防護設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が被水により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>① 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 溢水防護区画外の溢水に対して、壁、扉、堰等による流入防止対策を図り溢水の流入を防止することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉、堰等は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>b. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>c. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p>	<p>を施している。</p> <p>泊では、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生時でも、全ての溢水防護対象設備が溢水（地震・想定破損・消火放水）により安全機能を損なうことのないよう、溢水防護対策を施すこととしている。そのため、溢水影響により一部の安全機能が喪失することを前提とした安全解析は行わない。</p>

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 蒸気による影響に対する設計方針</p> <p>溢水源となる配管のうち高エネルギー配管に対して、一般部については応力評価に応じて貫通クラック又は完全全周破断、ターミナルエンドについては完全全周破断を想定し、蒸気の影響を受けて防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>a. 蒸気拡散影響に対する設計方針</p> <p>防護対象設備に対する、漏えい蒸気の拡散による影響を確認するために、熱流体解析コード（GOTHICコード）を用い、実機を模擬した空調条件や解析区画を設定して解析を実施する。</p>	<p>d. 消火水の放水による溢水に対しては、溢水防護対象設備が設置されている溢水防護区画において固定式消火設備等の水消火を行わない消火手段を採用することにより、被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>また、水消火を行う場合には、水消火による被水の影響を最小限にとどめるため、溢水防護対象設備に対して不用意な放水を行わないことを消火活動における運用及び留意事項として「火災防護計画」に定める。</p> <p>②溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級（IPコード）」における第二特性数字4以上相当の保護等級を有する機器への取替を行う。</p> <p>b. 溢水防護対象設備に対し、実機での被水条件を考慮しても安全機能を損なわないことを被水試験等により確認した保護カバーやパッキン等による被水防護措置を行う。</p> <p>1.7.5.3 蒸気放出の影響に対する設計方針</p> <p>(1) 蒸気放出の影響に対する評価方針</p> <p>「1.7.2 考慮すべき溢水事象」にて設定した溢水源からの漏えい蒸気の直接噴出及び拡散による影響を受ける範囲内にある溢水防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがないことを評価する。</p>	<p>d. 消火水の放水による溢水に対しては、溢水防護対象設備が設置されている溢水防護区画においてガス消火設備による水消火を行わない消火手段を採用することにより、被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>また、水消火を行う場合には、水消火による被水の影響を最小限にとどめるため、溢水防護対象設備に対して不用意な放水を行わないことを消火活動における運用及び留意事項として「火災防護計画」に定める。</p> <p>② 溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級（IPコード）」における第二特性数字4以上相当の保護等級を有する機器への取替を行う。</p> <p>b. 溢水防護対象設備に対し、実機での被水条件を考慮しても安全機能を損なわないことを被水試験等により確認した保護カバーやパッキン等による被水防護措置を行う。</p> <p>1.7.5.3 蒸気放出の影響に対する設計方針</p> <p>(1) 蒸気放出の影響に対する評価方針</p> <p>「1.7.2 考慮すべき溢水事象」にて設定した溢水源からの漏えい蒸気の直接噴出及び拡散による影響を確認するために、熱流体解析コード（GOTHICコード）を用い、実機を模擬した空調条件や解析区画を設定して解析を実施し、溢水防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがないことを評価する。</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 ・泊では蒸気伝播を解析し、全ての防護対象設備が機能喪失しないよう対策を施している。 （記載は大飯の審査実績を反映）</p>

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>想定破損発生区画内での漏えい蒸気による防護対象設備への影響及び区画間を拡散する漏えい蒸気による防護対象設備への影響が、蒸気曝露試験及び机上評価によって防護対象設備の健全性が確認されている条件(圧力、温度及び湿度)を超えることがなく、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>蒸気影響を緩和するための対策として、蒸気の漏えいを自動検知し、隔離（直ちに環境温度が上昇し健全性が確認されている条件を超えるおそれがある場合は自動隔離、それ以外は中央制御室からの遠隔手動隔離）を行うために蒸気漏えい検知システムを設置する。システムを構成するものとして、温度センサ、蒸気止め弁、漏えい検知監視盤及び漏えい検知制御盤を設置する。</p> <p>さらに、自動検知、遠隔隔離対策だけでは防護対象設備の健全性が確保されない破損想定箇所については、防護カバーを設置し、配管と防護カバーのすき間を流出面積と設定することで漏えい蒸気量を抑制して、環境への温度影響を軽減する設計とする。</p> <p>また、信頼性向上の観点から、防護カバー近傍には小規模漏えい検知を目的とした特定配置温度センサを設置し、蒸気の漏えいを早期自動検知する設計とする。</p> <p>防護カバーの概要を第1.8.2図に示す。</p> <p>b. 蒸気の直接噴出影響に対する設計方針</p> <p>破損想定箇所の近傍に防護対象設備が設置されている場合は、漏えい蒸気の直接噴出による防護対象設備への影響を考慮する。破損想定箇所と防護対象設備との位置関係を踏まえ、漏えい蒸気の直接噴出による影響が、蒸気曝露試験及び机上評価によって防護対象設備の健全性が確認されている条件(圧力、温度及び湿度)を超えることがなく、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>蒸気の直接噴出による影響により、防護対象設備が安全機能を損なうおそれがある場合には、蒸気の影響を緩和する対策、防護対象設備の配置を見直す</p>	<p>具体的には、以下に示す要求のいずれかを満足していれば溢水防護対象設備が安全機能を損なうおそれはない。</p> <p>a. 溢水防護対象設備が溢水源からの漏えい蒸気を考慮した耐蒸気仕様を有すること。</p> <p>b. 溢水防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、各々が同時に溢水の影響を受けないような別区画に設置され、同時に安全機能を損なうことのないこと。</p> <p>その際、溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行うこと。</p> <p>(2) 蒸気放出の影響に対する防護設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>①溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 溢水防護区画外の蒸気放出に対して、壁、扉等による流入防止対策を図り蒸気の流入を防止する設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉等は、溢水により発生する蒸気に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 S_s による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p>	<p>具体的には、以下に示す要求のいずれかを満足していれば溢水防護対象設備が安全機能を損なうおそれはない。</p> <p>a. 溢水防護対象設備が溢水源からの漏えい蒸気を考慮した耐蒸気仕様を有すること。</p> <p>b. 溢水防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、各々が同時に溢水の影響を受けないような別区画に設置され、同時に安全機能を損なうことのないこと。</p> <p>その際、溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行うこと。</p> <p>(2) 蒸気放出の影響に対する防護設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>① 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 溢水防護区画外の蒸気放出に対して、壁、扉等による流入防止対策を図り蒸気の流入を防止する設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉等は、溢水により発生する蒸気に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>設計方針の相違 ・泊は蒸気評価では多重性や多様性を考慮せず、全ての溢水防護対象設備が機能喪失しないよう対策を施している。 ・泊では、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生時でも、全ての溢水防護対象設備が溢水（地震・想定破損・消火放水）によって安全機能を損なうことのないよう、溢水防護対策を施すこととしている。そのため、溢水影響により一部の安全機能が喪失することを前提とした安全解析は行っていない。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>対策等を実施することで、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>なお、各系統の蒸気の影響評価における想定破損評価条件を第1.8.7表に示す。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-39～42、233～288）（2-9-別1補-196～315）】</p> <p>1.8.2.4.2 消火水の放水による溢水影響に対する設計方針</p> <p>火災時の消火水系（スプリンクラーを含む。）等からの放水による没水及び被水の影響を受けて、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>なお、スプリンクラーからの放水については、「1.7 火災防護に関する基本方針」で示されている放水量を用い、放水停止に要する時間については、火災発生時の中央制御室での警報発信後から、現場到着までの時間、状況確認及びスプリンクラーの放水停止までの時間に保守性を考慮して設定し、溢水量を算出する。スプリンクラーには自動起動及び手動起動があるが、溢水評価においては両者を区別せずに溢水量を算出する。</p>	<p>b. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、破損形状を特定することにより蒸気放出による影響を軽減する設計とする。</p> <p>c. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動 S_s による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより蒸気放出による影響が発生しない設計とする。</p> <p>d. 蒸気の漏えいを検知し、中央制御室からの遠隔隔離（自動又は手動）を行うための自動検知・遠隔隔離システムを設置し、漏えい蒸気を早期隔離することで蒸気影響を緩和する設計とする。</p> <p>また、自動検知・遠隔隔離システムだけでは溢水防護対象設備の健全性が確保されない場合には、破損想定箇所に防護カバーを設置することで漏えい蒸気量を抑制して、溢水防護区画内雰囲気温度への影響を軽減する設計とする。</p> <p>さらに、信頼性向上の観点から、防護カバー近傍には小規模漏えい検知を目的とした特定配置温度検出器を設置し、蒸気の漏えいを早期検知する設計とする。</p> <p>e. 主蒸気管破断事故時等には、建屋内外の差圧による原子炉建屋ブローアウトパネルの開放により、溢水防護区画内において蒸気影響を軽減する設計とする。</p> <p>②溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 蒸気放出の影響に対して耐性を有しない溢水防護対象設備については、蒸気曝露試験又は机上評価によって蒸気放出の影響に対して耐性を有することが確認された機器への取替えを行う。</p>	<p>b. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、破損形状を特定することにより蒸気放出による影響を軽減する設計とする。</p> <p>c. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより蒸気放出による影響が発生しない設計とする。</p> <p>d. 蒸気の漏えいを検知し、中央制御室からの遠隔隔離（自動又は手動）を行うための配管漏えい検知システムを設置し、漏えい蒸気を早期隔離することで蒸気影響を緩和する設計とする。</p> <p>e. 主蒸気管破断事故時等には、建屋内外の差圧による原子炉建屋ブローアウトパネルの開放により、溢水防護区画内において蒸気影響を軽減する設計とする。</p> <p>② 溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 蒸気放出の影響に対して耐性を有しない溢水防護対象設備については、蒸気曝露試験又は机上評価によって蒸気放出の影響に対して耐性を有することが確認された機器への取替えを行う。</p>	<p>相違理由</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊3ではターミナルエンドが少ないため、蒸気影響緩和を目的とした「防護カバー」は設置せず、評価ガイドの要求に従って全周破断を想定した蒸気影響評価を実施し影響がないことを確認していることから、「防護カバー」の記載がない。</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・女川は原子炉建屋原子炉棟の蒸気影響評価において、ブローアウトパネルが速やかに開放し、建屋内圧が著しく上昇することはないことを前提条件としている。</p> <p>・一方、泊の主蒸気管室における蒸気影響評価では、ブローアウトパネルの速やかな開放には期待せず、主蒸気管室が設計耐圧まで上昇する前提としている。よって、泊のブローアウトパネルは溢水影響を軽減するための設備には該当しないことから、ブローアウトパネルの記載は削除した。</p> <p>・なお、女川のブローアウトパネルは影響緩和系の機能(MS-2)を有しているが、泊のブローアウトパネルは本機能は有していない点でも女川と泊で差異がある。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(1) 没水による影響に対する設計方針</p> <p>消火活動に伴う放水により想定される溢水量を算出する。算出された溢水量、設定した溢水防護区画及び溢水経路から算出した溢水水位に対し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。なお、消火活動により区画の扉を開放する場合は、開放した扉からの消火水の伝播を考慮して溢水水位を算出する。</p> <p>具体的には、以下に示す設計方針のいずれかを満足することで、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。また、いずれの設計方針も満足しない場合は、壁、扉、堰等による没水対策を実施する。</p> <p>a. 溢水水位が防護対象設備の機能喪失高さを上回らないこと。</p> <p>b. 防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、各々が別区画に設置され、同時に安全機能を損なうことのないこと。</p> <p>なお、防護対象設備の機能喪失高さは、発生した溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p> <p>また、消火水放水時の溢水量が評価条件を満足するように、消火活動における注意事項に関する教育及び消火活動後の設備点検を行うことにより防護対象設備が安全機能を損なうことのない運用を行う設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-43～46、289～334）（2-9-別1補-316～348）】</p> <p>(2) 被水による影響に対する設計方針</p> <p>消火栓による被水影響に対しては、防護対象設備が設置されている建屋内の防護対象設備に対して、消火水による不用意な放水を行わないことで防護対象設備が、被水の影響を受けて安全機能を損なうことのない運用を行う設計とする。</p> <p>スプリンクラーによる被水影響に対しては、「1.8.2.4.1 想定破損による溢水影響に対する設計方針」のうち「(2) 被水による影響に対する設計方針」と同じ設計とする。</p> <p>なお、スプリンクラーからの放水によって、同時に2系統の防護対象設備が機能喪失するおそれがあるエリアにはハロン消火設備又は二酸化炭素消火設備を設</p>	<p>b. 溢水防護対象設備に対し、実機での蒸気条件を考慮しても安全機能を損なわないことを蒸気曝露試験等により確認した保護カバーやパッキン等による蒸気防護措置を行う。</p>	<p>b. 溢水防護対象設備に対し、実機での蒸気条件を考慮しても安全機能を損なわないことを蒸気曝露試験等により確認した保護カバーやパッキン等による蒸気防護措置を行う。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>置することで、防護対象設備の安全機能を損なうことのない設計とする。ハロン消火設備又は二酸化炭素消火設備を設置したエリアでは溢水量を考慮しないが、隣接するエリアでの消火栓からの放水及びスプリンクラーからの放水による溢水の伝播を考慮する。</p> <p>また、火災により貫通部の流出及び流入防止対策の止水機能を損なうおそれがある場合には、当該貫通部からの消火水の伝播による溢水影響を考慮する。溢水評価の結果、防護対象設備が安全機能を損なうおそれがある場合には、壁、扉、堰等による溢水伝播を制限する対策等を実施する。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-43～46、289～334）（2-9-別1補-316～348、459～481）】</p> <p>1.8.2.4.3 地震起因による溢水影響に対する設計方針（使用済燃料ピットのスロッシングを含む。）</p> <p>溢水源となり得る機器（流体を内包する機器）のうち、基準地震動による地震力によって破損が生じる機器を溢水源として溢水を想定し、没水、被水及び蒸気影響により防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>耐震Sクラスの機器については、基準地震動による地震力によって破損は生じないことから溢水源として想定しない。</p> <p>また、耐震B、Cクラスの機器のうち、耐震Sクラスの機器と同様に基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されるもの（水位制限によるものを含む。）又は耐震対策工事により耐震性を確保するものについては溢水源として想定しない。</p> <p>耐震B、Cクラスの機器が、耐震性を確保する耐震B、Cクラスの機器に対して、波及的影響を及ぼさないことを確認する方針とする。</p> <p>耐震強度評価又は耐震対策工事により耐震性が確保される機器を第1.8.1表に示す。</p> <p>(1) 没水による影響に対する設計方針</p> <p>流体を内包する耐震B、Cクラスの機器のうち、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されないものについては、系統や容器内の保有水量に基づき溢</p>			<p>【大飯】 <u>記載方針の相違</u> ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>水量を算出する。また、基準地震動による地震力によって生じるスロッシングにより、使用済燃料ピット外へ漏えいする水量を溢水量として算出する。</p> <p>算出された溢水量、設定した溢水防護区画及び溢水経路から算出した溢水水位に対し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>具体的には、以下に示す設計方針のいずれかを満足することで、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。また、いずれの設計方針も満足しない場合は、壁、扉、堰等による没水対策を実施する。</p> <p>a. 溢水水位が防護対象設備の機能喪失高さを上回らないこと。</p> <p>b. 防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、各々が別区画に設置され、同時に安全機能を損なうことのないこと。</p> <p>なお、防護対象設備の機能喪失高さは、発生した溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-47～51、335～401） （2-9-別1補-349～407）】</p> <p>(2) 被水による影響に対する設計方針</p> <p>地震による被水影響に対しては、「1.8.2.4.1 想定破損による溢水影響に対する設計方針」のうち「(2) 被水による影響に対する設計方針」と同じ設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-33～38、211～232） （2-9-別1補-459～481）】</p> <p>(3) 蒸気による影響に対する設計方針</p> <p>流体を内包する耐震B、Cクラスの機器のうち、基準地震動による地震力によって耐震性が確保されないものについては、破損する機器から発生する蒸気の影響を受けて、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>a. 蒸気拡散影響に対する設計方針</p> <p>防護対象設備に対する、漏えい蒸気の拡散による影響を確認するために、熱流体解析コード（GOTHICコード）を用い、実機を模擬した空調条件や解析区画を設定して解析を実施する。</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>想定破損発生区画内での漏えい蒸気による防護対象設備への影響及び区画間を拡散する漏えい蒸気による防護対象設備への影響が、蒸気曝露試験及び机上評価によって防護対象設備の健全性が確認されている条件(圧力、温度及び湿度)を超えることがなく、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>蒸気影響を緩和するための対策として、蒸気の漏えいを自動検知し、隔離（直ちに環境温度が上昇し健全性が確認されている条件を超えるおそれがある場合は自動隔離、それ以外は中央制御室からの遠隔手動隔離）を行うために蒸気漏えい検知システムを設置する。システムを構成するものとして、温度センサ、蒸気止め弁、漏えい検知監視盤及び漏えい検知制御盤を設置する。さらに、自動検知、遠隔隔離対策だけでは防護対象設備の健全性が確保されない破損想定箇所については、防護カバーを設置し、配管と防護カバーのすき間を流出面積と設定することで漏えい蒸気量を抑制して、環境への温度影響を軽減する設計とする。</p> <p>また、信頼性向上の観点から、防護カバー近傍には小規模漏えい検知を目的とした特定配置温度センサを設置し、蒸気の漏えいを早期自動検知する設計とする。</p> <p>防護カバーの概要を第 1.8.2 図に示す。</p> <p>b. 蒸気の直接噴出影響に対する設計方針</p> <p>破損想定箇所の近傍に防護対象設備が設置されている場合は、漏えい蒸気の直接噴出による防護対象設備への影響を考慮する。破損想定箇所と防護対象設備との位置関係を踏まえ、漏えい蒸気の直接噴出による影響が、蒸気曝露試験及び机上評価によって防護対象設備の健全性が確認されている条件（圧力、温度及び湿度）を超えることがなく、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>蒸気の直接噴出による影響により、防護対象設備が安全機能を損なうおそれがある場合には、蒸気影響を緩和する対策、防護対象設備の配置を見直す対策等を実施することで、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【別添資料1 (2-9-別1-39~42、233~288) (2-9-別1補-196~315)】</p> <p>1.8.3 使用済燃料ピットの溢水評価に関する設計方針</p> <p>1.8.3.1 溢水源及び溢水量の想定</p> <p>溢水源及び溢水量は、「1.8.2.1 溢水源及び溢水量の想定」の溢水源及び溢水量と同じ想定とする。</p> <p>【別添資料1 (2-9-別1-55)】</p> <p>1.8.3.2 防護対象設備の設定</p> <p>防護対象設備は、使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能の維持に必要な設備とする。</p> <p>使用済燃料ピットを定められた水温（65℃以下）に維持する必要があるため、使用済燃料ピットの冷却機能の維持に必要な設備を抽出する。</p> <p>また、使用済燃料の放射線に対する遮蔽機能（水面の設計基準線量率$\leq 0.02\text{mSv/h}$）の維持に必要な水位が確保されるように、使用済燃料ピットへの給水機能の維持に必要な設備を抽出する。</p> <p>具体的には、燃料取替用水系の設備及び燃料ピット冷却浄化系の設備を抽出する。</p> <p>【別添資料1 (2-9-別1-57)】</p> <p>1.8.3.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>溢水防護区画及び溢水経路は、「1.8.2.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定」と同じ方法で設定する。【別添資料1 (2-9-別1-57~60)】</p>	<p>1.7.5.4 その他の溢水に対する設計方針</p> <p>地下水の流入、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水が、溢水防護区画に流入するおそれがある場合には、壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包するエリア内及び建屋内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えいに対して、漏えい検知システムや床ドレンファンネルからの排水等により早期に検知し、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p>	<p>1.7.5.4 その他の溢水に対する設計方針</p> <p>地下水の流入、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水が、溢水防護区画に流入するおそれがある場合には、壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包するエリア内及び建屋内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えいに対して、漏えい検知システムや床ドレン排水管からの排水等により早期に検知し、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.8.3.4 使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能の維持に必要な設備の溢水影響に関する設計方針</p> <p>使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能の維持に必要な設備が、想定破損による溢水、消火水の放水による溢水、地震起因による溢水に対して、以下に示す没水、被水及び蒸気の影響を受けて、安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>また、発生した溢水については、溢水の流入状態、溢水源からの距離、運転員のアクセス等により一時的な水位変動が生じることが考えられることから、防護対象設備の機能喪失高さは、発生した溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p> <p>具体的には、防護対象設備に対して溢水防護区画ごとに算出される溢水水位にゆらぎの影響を踏まえた裕度100mmを確保する。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-4、55）（2-9-別1 補-547～554）】</p> <p>1.8.3.4.1 想定破損による溢水影響に対する設計方針</p> <p>想定破損による防護対象設備への溢水影響は、</p> <p>1.8.2.4.1 想定破損による溢水影響に対する設計方針」と同様の設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-61～67）】</p> <p>1.8.3.4.2 消火水の放水による溢水影響に対する設計方針</p> <p>消火水の放水による防護対象設備への溢水影響は、</p> <p>1.8.2.4.2 消火水の放水による溢水影響に対する設計方針」と同様の設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-67）】</p> <p>1.8.3.4.3 地震起因による溢水影響に対する設計方針（使用済燃料ピットのスロッシングを含む。）</p> <p>a. 地震起因による防護対象設備への溢水影響地震起因による防護対象設備への溢水影響は、</p> <p>「1.8.2.4.3 地震起因による溢水影響に対する設計方針（使用済燃料ピットのスロッシングを含む。）」と同様の設計とする。</p>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>・女川審査実績の反映</p> <p>設計方針の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 使用済燃料ピットのスロッシング後の機能維持に関する設計方針</p> <p>使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量の算出に当たっては、基準地震動による地震力によって生じるスロッシング現象を3次元流動解析により評価し、使用済燃料ピット外へ漏えいする水量を考慮する。また、使用済燃料ピットの初期水位等の評価条件は保守的となるように設定する。算出した溢水量からスロッシング後の使用済燃料ピット水位を求め、使用済燃料ピットの冷却機能（水温65℃以下）及び使用済燃料の放射線に対する遮蔽機能（水面の設計基準線量率$\leq 0.02\text{mSv/h}$）の維持に必要な水位が確保される設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-68～75、396～414）】</p> <p>1.8.2.5 海水ポンプエリアにおける溢水評価に関する設計方針</p> <p>海水ポンプエリア内にある防護対象設備が海水ポンプエリア内及びエリア外で発生する溢水の影響を受けて、安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>具体的には、海水ポンプエリア外で発生する溢水が、海水ポンプエリアに伝播しないことを確認する方針とする。</p> <p>海水ポンプエリア内で発生する想定破損による低エネルギー配管の貫通クラックによる溢水、消火水の放水による溢水及び降水による溢水を海水ポンプエリアから海水ポンプエリア浸水防止蓋によって排出できる設計とし、海水ポンプエリア内の防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。なお、溢水ガイドに基づき、海水ポンプエリア浸水防止蓋のうち排出量が最も大きい1箇所からの流出は期待しないものとして排出量を算出する。</p> <p>また、防護対象設備の機能喪失高さは、発生した溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-80～81、450～454）】</p>	<p>1.7.5.5 使用済燃料プールのスロッシング後の機能維持に関する設計方針</p> <p>基準地震動S_sによる地震力によって生じるスロッシング現象を三次元流動解析により評価し、使用済燃料プール外へ漏えいする水量を考慮する。その際、使用済燃料プールの初期水位は、スキマサージタンクへのオーバーフロー水位として評価する。算出した溢水量からスロッシング後の使用済燃料プールの水位低下を考慮しても、使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能が確保されるため、それらを用いることにより適切な水温（水温65℃以下）及び遮蔽水位を維持できる設計とする。</p> <p>1.7.5.6 海水ポンプ室補機ポンプエリアの溢水評価に関する設計方針</p> <p>海水ポンプ室補機ポンプエリア（以下1.7.5.6では「海水ポンプ室」という。）内にある溢水防護対象設備が海水ポンプ室内及び室外で発生する溢水の影響を受けて、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>具体的には、波及的影響防止及び津波の浸水を防止する目的での低耐震設備の耐震補強対策に加え、海水ポンプ室外で発生する地震に起因する屋外タンク破損による溢水が、海水ポンプ室へ流入しないようにするために、壁、扉、堰等による溢水伝播防止対策を図る設計とする。</p> <p>海水ポンプ室内で発生する想定破損による溢水、消火水の放水による溢水及び降水による溢水についても、壁、扉、堰等による溢水伝播防止対策を図る設計とする。さらに、海水ポンプ室内の多重性を有する溢水防護対象設備を別区画に設置することにより、没水により同時に機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>また、溢水防護対象設備の機能喪失高さは、発生した溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p>	<p>1.7.5.5 使用済燃料ピットのスロッシング後の機能維持に関する設計方針</p> <p>基準地震動による地震力によって生じるスロッシング現象を三次元流動解析により評価し、使用済燃料ピット外へ漏えいする水量を考慮する。その際、使用済燃料ピットの初期水位は、使用済燃料ピットの高水位レベルとして評価する。算出した溢水量からスロッシング後の使用済燃料ピットの水位低下を考慮しても、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能が確保されるため、それらを用いることにより適切な水温（水温65℃以下）及び遮蔽機能（水面の設計基準線量率$\leq 0.01\text{mSv/h}$）の維持に必要な水位を維持できる設計とする。</p>	<p>プラント設計の相違により、三次元流動解析に用いる初期水位が異なる。なお、泊では初期条件として、使用済燃料ピットと接続されている燃料検査ピット、燃料取替チャンネル及びキャスクピットの全てが水張りされた状態として評価する。</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>泊では遮蔽水位について、使用済燃料の放射線に対する遮蔽機能（水面の設計基準線量率）を明記している。</p> <p>（記載は大飯の審査実績を反映）</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>女川及び大飯の海水ポンプ室は屋外にあるため海水ポンプ室の設計方針について記載しているが、泊の海水ポンプ室は建屋内であるため、これまでの設計方針の中に包絡される。</p>

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.8.2.6 防護対象設備設置建屋外からの溢水評価に関する設計方針</p> <p>防護対象設備が設置されている建屋に隣接する廃棄物処理建屋及びタービン建屋からの溢水並びに屋外タンク及び地下水からの溢水について、防護対象設備が設置されている建屋に対する溢水経路を特定し、壁、扉、堰等又はそれらの組合せにより溢水が流入しない設計とする。</p> <p>(1) 廃棄物処理建屋からの溢水影響に対する設計方針</p> <p>廃棄物処理建屋で発生する溢水が、原子炉周辺建屋へ流入しない設計とするために、以下の対策を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理建屋から防護対象設備が設置されている原子炉周辺建屋への流入経路に原子炉周辺建屋堰及び原子炉周辺建屋水密扉を設置する。 <p>【別添資料1 (2-9-別1-76~79、415~449) (2-9-別1補-482~496)】</p> <p>(2) タービン建屋からの溢水影響に関する設計方針</p> <p>タービン建屋で発生する溢水が、防護対象設備が設置されている制御建屋へ流入しない設計とする。</p> <p>タービン建屋における溢水評価では、想定破損及び地震起因による影響を考慮し、循環水管の伸縮継手部の全円周状の破損及び2次系機器の破損を想定した溢水量を評価する。循環水ポンプを停止するまでの間に生じる溢水量、2次系機器の保有水による溢水量及び屋外タンクからの溢水量を合算した溢水量が、タービン建屋空間部に滞留するものとして溢水水位を算出する。上記に加え、循環水管の損傷箇所からの津波による海水の流入については、別途実施する「1.6 耐津波設計」の津波浸水量を考慮する。なお、取水側又は放水側からタービン建屋への流入を想定しても、津波到達前のタービン建屋内の溢水による水頭圧により、津波の流入がないことを確認する方針とする。</p>	<p>1.7.6 溢水防護区画を内包するエリア外及び建屋外からの流入防止に関する設計方針</p> <p>溢水防護区画を内包するエリア外及び建屋外で発生を想定する溢水が、溢水防護区画に流入するおそれがある場合には、壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包するエリア内及び建屋内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、地下水に対しては、揚水ポンプの停止により建屋周囲の水位が地表面まで上昇することを想定し、建屋外周部における壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包する建屋内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。なお、地下水位低下設備については、基準地震動S_sによる地震力に対して耐震性を確保する設計とする。</p>	<p>1.7.6 溢水防護区画を内包する建屋外からの流入防止に関する設計方針</p> <p>溢水防護区画を内包する建屋外で発生を想定する溢水が、溢水防護区画に流入するおそれがある場合には、壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包する建屋内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、地下水に対しては、湧水ピットポンプの停止により建屋周囲の水位が地表面まで上昇することを想定し、建屋外周部における壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包する建屋内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。なお、地下水排水設備については、基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する設計とする。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>女川では海水ポンプ室が建屋外にあるのに対し、泊では海水ポンプ室は建屋内にあるため「エリア外」の記載は不要である。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>タービン建屋で発生する溢水が、防護対象設備が設置されている制御建屋へ流入しないことを確認する方針とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-82～85、455～465）】</p> <p>(3) 屋外タンクからの溢水影響に対する設計方針 自然現象による屋外タンクからの溢水影響については、地震、設計竜巻、地滑り及び降水による溢水を考慮する。</p> <p>地震については、基準地震動による地震力に対して耐震性を有していない屋外タンクからの溢水が、防護対象設備が設置されている原子炉周辺建屋及び制御建屋へ流入しない設計とする。</p> <p>地滑りについては、「1.2.7.1「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則（平成25年6月19日制定）」に対する適合 第六条 外部からの衝撃による損傷の防止 第1項 (8) 地滑り」に示す地滑り地形に対して、地滑りにより溢水が発生しない設計とする。</p> <p>設計竜巻については、「1.9 竜巻防護に関する基本方針」において設定した設計竜巻による飛来物により、屋外タンクが破損した場合に発生する溢水が、防護対象設備が設置されている原子炉周辺建屋及び制御建屋に流入しない設計とする。</p> <p>降水については、「1.2.7.1「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則（平成25年6月19日制定）」に対する適合 第六条外部からの衝撃による損傷の防止 第1項 (5) 降水」において設定した降水による溢水が、防護対象設備が設置されている原子炉周辺建屋及び制御建屋に流入しない設計とする。</p> <p>自然現象による屋外タンクからの溢水の影響については、竜巻による飛来物、地滑り及び降水による溢水を除き、地震時の評価に含まれるが、防護対象設備が設置されている原子炉周辺建屋及び制御建屋へ流入しないようにするために、以下の対策を実施する。</p>	<p>1.7.7 放射性物質を含んだ液体の管理区域外への漏えいを防止するための設計方針</p> <p>管理区域内で発生した溢水の管理区域外への伝播経路となる箇所については、壁、扉、堰等による漏えい防止対策を行うことにより、機器の破損等により生じた放射性物質を内包する液体が管理区域外に漏えいすることを防止する設計とする。</p> <p>1.7.8 溢水によって発生する外乱に対する評価方針</p> <p>溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とし、これらの機能を維持するために必要な設備（溢水防護対象設備）が、没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計（多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なわない設計）とする。</p>	<p>1.7.7 放射性物質を含んだ液体の管理区域外への漏えいを防止するための設計方針</p> <p>管理区域内で発生した溢水の管理区域外への伝播経路となる箇所については、壁、扉、堰等による漏えい防止対策を行うことにより、機器の破損等により生じた放射性物質を内包する液体が管理区域外に漏えいすることを防止する設計とする。</p> <p>1.7.8 溢水によって発生する外乱に対する評価方針</p> <p>溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とし、これらの機能を維持するために必要な設備（溢水防護対象設備）が、没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計（多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なわない設計）とする。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>設計方針の相違 ・泊では運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生時でも、全ての溢水防護対象設備が溢水（地震・想定破損・消火放水）によって安全機能を損なうことのないよう、必要に応じて溢水防護対策を施すこととされている。</p> <p>そのため、溢水の影響を考慮、即ち溢水影響により一部の安全機能を喪失することを前提とした安全解析は行わない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>・淡水タンク、2次系純水タンク等の水位を制限する。</p> <p>・屋外タンクから防護対象設備が設置されている建屋への流入経路には、原子炉周辺建屋水密扉及び制御建屋水密扉を設置する。</p> <p>・鯨谷タンクエリアに立坑及び排水トンネルを設置し、溢水を構外へ排水する。</p> <p>また、地表面以下にある燃料油貯蔵タンク及び建屋との貫通部は、屋外タンクからの溢水の影響を受けても安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-86～91、466～535）（2-9-別1 補-520～546）】</p> <p>(4) 地下水による溢水影響に対する設計方針</p> <p>地下水は、建屋基礎下に設置している集水管により、建屋最下層にある湧水サンプに集水する設計とする。また、周囲の地下水水位を考慮しても防護対象設備が設置されている建屋へ地下水が流入しない設計とする。</p> <p>湧水サンプポンプ、湧水サンプポンプ電源及び吐出ラインは、基準地震動による地震力に対して耐震性を確保するとともに、湧水サンプポンプ電源は非常用母線に接続することにより、その機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-92、538～540）】</p> <p>1.8.4 溢水防護に関する設計方針</p> <p>想定破損による溢水、消火水の放水による溢水及び地震起因による溢水が発生した場合においても、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、壁、扉、堰等により浸水を防止するための対策を実施する。</p> <p>(1)原子炉周辺建屋堰</p> <p>廃棄物処理建屋で発生する溢水が原子炉周辺建屋へ伝播することを防止し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、原子炉周辺建屋堰を</p>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>原子炉周辺建屋に設置する。堰の配置図を第1.8.3図に示す。</p> <p>(2) 原子炉周辺建屋水密扉 廃棄物処理建屋、燃料取替用水ビット及び復水ビットで発生する溢水、屋外タンクからの溢水等が原子炉周辺建屋へ伝播することを防止し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、原子炉周辺建屋水密扉を原子炉周辺建屋に設置する。</p> <p>(3) 制御建屋水密扉 屋外タンクからの溢水等が制御建屋へ伝播することを防止し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、制御建屋水密扉を制御建屋に設置する。 水密扉の配置図を第1.8.4図に示す。</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>10.6.2.6 手順等</p> <p>溢水評価において、期待する壁、扉、堰等の浸水防護設備、保護カバー、防護カバー、立坑、排水トンネル等の設備については、継続的な保守管理、水密扉閉止等の運用を適切に実施するためにその手順を明確にする。</p> <p>また、溢水評価において、溢水量を制限するために漏えい停止操作に期待する場合は、その手順を明確にする。さらに、それらの手順を確実に実施するために、継続的な教育訓練を実施する。</p> <p>(10) 配管の想定破損評価において、応力評価の結果により破損形状の想定を行う場合は、評価結果に影響するような減肉がないことを確認するために継続的な肉厚管理を実施する。</p> <p>(1) 配管の想定破損による溢水、スプリンクラーからの放水による溢水及び地震による溢水が発生する場合においては、的確に操作を行うために手順等を整備する。</p> <p>(2) 溢水防護区画において、各種対策設備の追加、資機材の持込み等により評価条件としている可燃性物質の量及び滞留面積に見直しがある場合は、溢水評価への影響確認を行う。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1 補-588～592）】</p> <p>(3) 水密扉については、開放後の確実な閉止操作、中央制御室における閉止状態の確認及び閉止されていない状態が確認された場合の閉止操作を的確に行うために手順を整備する。また、水密扉の閉止状態を的確に管理するために社内ルール等の運用を適切に実施する。</p>	<p>1.7.9 手順等</p> <p>溢水評価に関して、以下の内容を含む手順を定め、適切な管理を行う。</p> <p>(1) 配管の想定破損評価において、応力評価の結果により破損形状の想定を行う場合は、評価結果に影響するような減肉がないことを継続的な肉厚管理で確認する。</p> <p>(2) 配管の想定破損による溢水が発生する場合及び基準地震動 S_s による地震力により耐震B、Cクラスの機器が破損し溢水が発生する場合においては、隔離手順を定める。</p>	<p>1.7.9 手順等</p> <p>溢水評価に関して、以下の内容を含む手順を定め、適切な管理を行う。</p> <p>(1) 配管の想定破損評価において、応力評価の結果により破損形状の想定を行う場合は、評価結果に影響するような減肉がないことを継続的な肉厚管理で確認する。</p> <p>(2) 配管の想定破損による溢水、消火栓からの放水による溢水及び地震による溢水が発生する場合においては、的確に操作を行うために手順等を整備する。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 項目の記載順序が異なるが、比較のため大飯の記載を入れ替えた。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・泊は想定破損、地震起因に加えて消火水の放水に係る手順を整備することを記載している。（大飯の審査実績反映） ・また、地震起因による溢水の漏えい停止を目的とした隔離においては、泊は震加速度大による原子炉トリップ時には漏えいの有無にかかわらず予め定めた隔離対象機器を全て隔離する運用としていることから、記載方針が異なる。</p> <p>【大飯】 記載箇所の相違 ・女川は (6)、泊は (10) に記載している。</p> <p>【大飯】 記載箇所の相違 ・女川は (9)、泊は (12) に記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(4) 運転実績（高エネルギー配管として運転している割合が当該系統の運転している時間の2%又はプラント運転期間の1%より小さい。）により、低エネルギー配管としている設備の運転時間実績管理を行う。</p> <p>(5) 機能喪失高さが低い防護対象設備が消火水の放水による溢水により機能喪失することのないよう、消火水放水時の注意事項を現場に表示する。 【別添資料1（2-9-別1 補-328）】</p> <p>(6) 火災時に消火水を放水した場合は、消火水による防護対象設備の安全機能への影響の有無を確認するために、防護対象設備の安全機能が損なわれていないことを保守管理で確認する。</p> <p>(7) 消火活動の結果を踏まえ、放水後の放水量の内部溢水評価に係る妥当性について検証を行う。</p> <p>(8) 配管の想定破損により、防護対象設備が蒸気環境に曝された場合は、防護対象設備の安全機能が損なわれていないことを保守管理で確認する。</p> <p>(9) 海水ポンプエリア内及びエリア外の溢水を受けて、海水ポンプエリア内の防護対象設備が機能喪失しないように海水ポンプエリア浸水防止蓋の適切な保守管理を実施する。</p> <p>(11) 浸水防護設備及び「1.8 溢水防護に関する基本方針」で示す防護対象設備の機能維持に必要な設備に対して、要求される機能を維持するため、適切な保守管理を実施する。また、故障時には補修を実施する。</p>	<p>(3) 運転実績（高エネルギー配管として運転している割合が当該系統の運転している時間の2%又はプラント運転期間の1%より小さい）により低エネルギー配管としている設備については、運転時間管理を行う。</p> <p>(4) 内部溢水評価で用いる屋外タンクの水量を管理する。</p>	<p>(3) 運転実績（高エネルギー配管として運転している割合が当該系統の運転している時間の2%又はプラント運転期間の1%より小さい）により低エネルギー配管としている設備については、運転時間管理を行う。</p> <p>(4) 機能喪失高さが低い防護対象設備が消火水の放水による溢水により機能喪失することのないよう、消火水放水時の注意事項を現場に表示する。</p> <p>(5) 火災時に消火水を放水した場合は、消火水による防護対象設備の安全機能への影響の有無を確認するために、防護対象設備の安全機能が損なわれていないことを保守管理で確認する。</p> <p>(6) 消火活動の結果を踏まえ、放水後の放水量の内部溢水評価に係る妥当性について検証を行う。</p> <p>(7) 配管の想定破損により、防護対象設備が蒸気環境に曝された場合は、防護対象設備の安全機能が損なわれていないことを保守管理で確認する。</p> <p>(8) 浸水防護設備及び防護対象設備の機能維持に必要な設備に対して、要求される機能を維持するため、適切な保守管理を実施する。また、故障時には補修を実施する。</p> <p>(9) 内部溢水評価で用いる屋外タンクの水量を管理する。</p>	<p><u>運用の相違</u> 泊は消火水放水に係る運用手順について、(4)～(6)の通り具体的な内容を定めている。(大飯の審査実績反映)</p> <p><u>運用の相違</u> 泊は防護対象設備が蒸気環境に曝された場合に保守管理を行うことを手順として定めている。(大飯の審査実績反映)</p> <p>【大飯】 <u>運用の相違</u> 泊には該当する設備が無い。</p> <p><u>運用の相違</u> 泊は浸水防護設備及び防護対象設備の機能維持に必要な設備に対する保守管理について手順として定めている。 (大飯の審査実績反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(12) 内部溢水全般（評価内容並びに溢水経路、防護対象設備、水密扉、堰等の設置の考え方等）について教育を定期的実施する。</p> <p>(13) 火災が発生した場合の初期消火活動及び自衛消防隊による消火活動時の放水に関する注意事項について、教育を定期的実施する。</p>	<p>(5) 地震起因による溢水において、溢水源となる機器のうち運用によって溢水を考慮しない機器について、プラント運転中及び停止中において系統運用を停止し、隔離（水抜き）する。</p> <p>(6) 溢水防護区画において、各種対策設備の追加、資機材の持込み等により評価条件としている床面積に見直しがある場合は、あらかじめ定めた手順により溢水評価への影響確認を行う。</p> <p>(7) 排水を期待する箇所からの排水を阻害する要因に対し、それを防止するための運用を実施する。</p> <p>(8) 施設定期検査作業に伴う溢水防護対象設備の不待機や扉の開放等、影響評価上設定したプラント状態の一時的な変更時においても、その状態を踏まえた必要な安全機能が損なわれない運用とする。</p> <p>(9) 水密扉については、開放後の確実な閉止操作、閉止状態の確認及び閉止されていない状態が確認された場合の閉止操作の手順等を定める。</p> <p>(10) 溢水発生後の滞留区画等での排水作業手順を定める。</p> <p>(11) 溢水防護対象設備に対する消火水の影響を最小限に止めるため、消火活動における運用及び留意事項と、それらに関する教育について「火災防護計画」に定める。</p>	<p>(10) 溢水防護区画において、各種対策設備の追加、資機材の持込み等により評価条件としている可燃性物質の量及び床面積に見直しがある場合は、あらかじめ定めた手順により溢水評価への影響確認を行う。</p> <p>(11) 排水を期待する箇所からの排水を阻害する要因に対し、それを防止するための運用を実施する。</p> <p>(12) 水密扉については、開放後の確実な閉止操作、閉止状態の確認及び閉止されていない状態が確認された場合の閉止操作の手順等を定める。</p> <p>(13) 溢水発生後の滞留区画等での排水作業手順を定める。</p> <p>(14) 溢水防護対象設備に対する消火水の影響を最小限に止めるため、消火活動における運用及び留意事項と、それらに関する教育について「火災防護計画」に定める。</p> <p>(15) 内部溢水全般（評価内容並びに溢水経路、防護対象設備、水密扉、堰等の設置の考え方等）について教育を定期的実施する。</p> <p>(16) 火災が発生した場合の初期消火活動及び自衛消防隊による消火活動時の放水に関する注意事項について、教育を定期的実施する。</p>	<p><u>運用の相違</u> 泊は地震起因による溢水において、運用によって溢水源から除外している機器はない。</p> <p><u>設計方針の相違</u> 泊では、火災荷重及び等価時間に基づき消火水の放水量を算定しており、放水量の算定に用いた各区画の火災荷重を上回る量の可燃物が持ち込まれないよう現場管理している。</p> <p><u>設計方針の相違</u> ・女川は溢水影響評価で溢水経路として想定していないハッチについて、定期検査時等にハッチが開放されることを考慮し、ハッチ開放時には堰を設置する等の運用を定めている。 ・泊の溢水評価では、床面に設置されたハッチによる止水には期待しておらず、ハッチから下階に溢水が伝播する条件として没水評価を実施している。そのため、施設定期検査作業時であってもハッチの開閉状態が評価に影響することは無く、女川とは異なり施設定期検査作業時にハッチを溢水経路としないための運用は定める必要がない。</p> <p><u>運用の相違</u> 泊は、(15)～(17)の通り内部溢水に係る教育及び訓練の実施について運用手順を定めている。（大飯の審査実績反映）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
<p>(14) 運転員が内部溢水発生時に的確な判断、操作等が実施できるよう、内部溢水発生時の対処に係る訓練を定期的を実施する。</p> <p>(15) タンクにおいて、水位制限を設ける場合は手順等を整備する。</p>	<p>(12) 燃料プール冷却浄化系、燃料プール補給水系が機能喪失した場合における、残留熱除去系による使用済燃料プールの冷却及び給水手順を定める。</p>	<p>(17) 運転員が内部溢水発生時に的確な判断、操作等が実施できるよう、内部溢水発生時の対処に係る訓練を定期的を実施する。</p>	<p>【大飯】 <u>記載箇所の相違</u> ・女川は(4)、泊は(9)に記載している。</p> <p><u>設計方針の相違</u> ・女川は使用済燃料プールのスロッシング後、燃料プールの水位が一時的にオーバーフロー水位を下回るため、燃料プール冷却ポンプが停止し、使用済燃料プール冷却機能が喪失する。そのため、系統切替操作によるプールへの給水が必要であることから、スロッシング後の使用済燃料プール冷却・給水に係る手順を定めている。 ・泊では、使用済燃料ピットのスロッシング後においても使用済燃料ピットの冷却機能が喪失することはないため、女川のようなピットの冷却・給水機能を維持するための運用手順は不要である。</p> <p>【大飯】 <u>記載方針の相違</u> ・女川審査実績の反映</p>																																																
<p>第1.8.1表 耐震強度評価又は耐震対策工事により耐震性が確保される機器</p> <table border="1" data-bbox="250 726 582 1284"> <thead> <tr> <th>設備名称</th> <th>耐震対策工事^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>使用済燃料ピット脱塩塔</td><td>○</td></tr> <tr><td>使用済燃料ピットフィルタ</td><td>-</td></tr> <tr><td>ブローダウンタンク</td><td>○</td></tr> <tr><td>封水冷却器</td><td>-</td></tr> <tr><td>体積制御タンク</td><td>-</td></tr> <tr><td>ほう酸補給タンク</td><td>○</td></tr> <tr><td>非再生冷却器</td><td>○</td></tr> <tr><td>試料冷却器</td><td>○</td></tr> <tr><td>ブローダウン試料冷却器</td><td>○</td></tr> <tr><td>使用済燃料ピット冷却器</td><td>-</td></tr> <tr><td>空調用冷水膨張タンク</td><td>-</td></tr> <tr><td>出入管理室温水タンク</td><td>○</td></tr> <tr><td>空調用冷凍機</td><td>-</td></tr> <tr><td>格納容器冷却ユニット</td><td>-</td></tr> <tr><td>安全補機室冷却ユニット</td><td>-</td></tr> <tr><td>中央制御室空調ユニット</td><td>-</td></tr> <tr><td>安全補機間閉鎖室空調ユニット</td><td>-</td></tr> <tr><td>放射線管理室冷却ユニット</td><td>-</td></tr> <tr><td>使用済燃料ピットポンプ</td><td>-</td></tr> <tr><td>空調用冷水ポンプ</td><td>-</td></tr> <tr><td>出入管理室温水ポンプ</td><td>-</td></tr> <tr><td>1次系純水タンク^{※2}</td><td>○</td></tr> <tr><td>廃液蒸留水タンク^{※2}</td><td>○</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 耐震対策工事を実施するものを「○」、実施しないものを「-」とする。 ※2 耐震性確保には水位制限を含む。</p>	設備名称	耐震対策工事 ^{※1}	使用済燃料ピット脱塩塔	○	使用済燃料ピットフィルタ	-	ブローダウンタンク	○	封水冷却器	-	体積制御タンク	-	ほう酸補給タンク	○	非再生冷却器	○	試料冷却器	○	ブローダウン試料冷却器	○	使用済燃料ピット冷却器	-	空調用冷水膨張タンク	-	出入管理室温水タンク	○	空調用冷凍機	-	格納容器冷却ユニット	-	安全補機室冷却ユニット	-	中央制御室空調ユニット	-	安全補機間閉鎖室空調ユニット	-	放射線管理室冷却ユニット	-	使用済燃料ピットポンプ	-	空調用冷水ポンプ	-	出入管理室温水ポンプ	-	1次系純水タンク ^{※2}	○	廃液蒸留水タンク ^{※2}	○			
設備名称	耐震対策工事 ^{※1}																																																		
使用済燃料ピット脱塩塔	○																																																		
使用済燃料ピットフィルタ	-																																																		
ブローダウンタンク	○																																																		
封水冷却器	-																																																		
体積制御タンク	-																																																		
ほう酸補給タンク	○																																																		
非再生冷却器	○																																																		
試料冷却器	○																																																		
ブローダウン試料冷却器	○																																																		
使用済燃料ピット冷却器	-																																																		
空調用冷水膨張タンク	-																																																		
出入管理室温水タンク	○																																																		
空調用冷凍機	-																																																		
格納容器冷却ユニット	-																																																		
安全補機室冷却ユニット	-																																																		
中央制御室空調ユニット	-																																																		
安全補機間閉鎖室空調ユニット	-																																																		
放射線管理室冷却ユニット	-																																																		
使用済燃料ピットポンプ	-																																																		
空調用冷水ポンプ	-																																																		
出入管理室温水ポンプ	-																																																		
1次系純水タンク ^{※2}	○																																																		
廃液蒸留水タンク ^{※2}	○																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																													
<p style="text-align: center;">第 1.8.2 表 溢水評価上想定する起回事象 (運転時の異常な過渡変化)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">原子炉外乱の事象</th> <th style="width: 10%;">考慮要否</th> <th style="width: 60%;">スクリーンアウトする理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出力運転中の制御棒の異常な引き抜き</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>制御棒の落下及び不整合</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材流量の部分喪失</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材系の停止ループの誤起動</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>誤起動の場合、停止ループの低温の冷却材が炉心に注入され、炉心に正の反応度が添加された後の反応度フィードバック効果により原子炉出力は低下し整定する。このように、本事象では対処設備は不要であるため、溢水評価上考慮不要</td> </tr> <tr> <td>外部電源喪失</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>外部電源喪失により常用電源が喪失するが、常用電源喪失は「主給水流量喪失」及び「原子炉冷却材流量の喪失」に包絡</td> </tr> <tr> <td>主給水流量喪失</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気負荷の異常な増加</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>蒸気負荷が増加した場合、炉心に正の反応度が添加された後の反応度フィードバック効果により原子炉出力は抑制され整定する。このように、本事象では対処設備は不要であるため、溢水評価上考慮不要</td> </tr> <tr> <td>2次冷却系の異常な減圧</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器への過剰給水</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負荷の喪失</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材系の異常な減圧</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出力運転中の非常用炉心冷却系の誤起動</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	原子炉外乱の事象	考慮要否	スクリーンアウトする理由	原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	○		出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	○		制御棒の落下及び不整合	○		原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈	○		原子炉冷却材流量の部分喪失	○		原子炉冷却材系の停止ループの誤起動	-	誤起動の場合、停止ループの低温の冷却材が炉心に注入され、炉心に正の反応度が添加された後の反応度フィードバック効果により原子炉出力は低下し整定する。このように、本事象では対処設備は不要であるため、溢水評価上考慮不要	外部電源喪失	○	外部電源喪失により常用電源が喪失するが、常用電源喪失は「主給水流量喪失」及び「原子炉冷却材流量の喪失」に包絡	主給水流量喪失	○		蒸気負荷の異常な増加	-	蒸気負荷が増加した場合、炉心に正の反応度が添加された後の反応度フィードバック効果により原子炉出力は抑制され整定する。このように、本事象では対処設備は不要であるため、溢水評価上考慮不要	2次冷却系の異常な減圧	○		蒸気発生器への過剰給水	○		負荷の喪失	○		原子炉冷却材系の異常な減圧	○		出力運転中の非常用炉心冷却系の誤起動	○				<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>
原子炉外乱の事象	考慮要否	スクリーンアウトする理由																																														
原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	○																																															
出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	○																																															
制御棒の落下及び不整合	○																																															
原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈	○																																															
原子炉冷却材流量の部分喪失	○																																															
原子炉冷却材系の停止ループの誤起動	-	誤起動の場合、停止ループの低温の冷却材が炉心に注入され、炉心に正の反応度が添加された後の反応度フィードバック効果により原子炉出力は低下し整定する。このように、本事象では対処設備は不要であるため、溢水評価上考慮不要																																														
外部電源喪失	○	外部電源喪失により常用電源が喪失するが、常用電源喪失は「主給水流量喪失」及び「原子炉冷却材流量の喪失」に包絡																																														
主給水流量喪失	○																																															
蒸気負荷の異常な増加	-	蒸気負荷が増加した場合、炉心に正の反応度が添加された後の反応度フィードバック効果により原子炉出力は抑制され整定する。このように、本事象では対処設備は不要であるため、溢水評価上考慮不要																																														
2次冷却系の異常な減圧	○																																															
蒸気発生器への過剰給水	○																																															
負荷の喪失	○																																															
原子炉冷却材系の異常な減圧	○																																															
出力運転中の非常用炉心冷却系の誤起動	○																																															
<p style="text-align: center;">第 1.8.3 表 溢水評価上想定する起回事象 (設計基準事故)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">原子炉外乱の事象</th> <th style="width: 10%;">考慮要否</th> <th style="width: 60%;">スクリーンアウトする理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却材喪失 (LOCA)</td> <td style="text-align: center;">○*</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材流量の喪失</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材ポンプの軸固着</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>溢水の発生によって原子炉冷却材ポンプの回転軸は固着しない。</td> </tr> <tr> <td>主給水管破断</td> <td style="text-align: center;">○*</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主蒸気管破断</td> <td style="text-align: center;">○*</td> <td></td> </tr> <tr> <td>制御棒飛び出し</td> <td style="text-align: center;">○*</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器伝熱管破損</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>溢水の発生によって蒸気発生器の伝熱管は破損しない。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※溢水事象であるため対象として考慮する。</p>	原子炉外乱の事象	考慮要否	スクリーンアウトする理由	原子炉冷却材喪失 (LOCA)	○*		原子炉冷却材流量の喪失	○		原子炉冷却材ポンプの軸固着	-	溢水の発生によって原子炉冷却材ポンプの回転軸は固着しない。	主給水管破断	○*		主蒸気管破断	○*		制御棒飛び出し	○*		蒸気発生器伝熱管破損	-	溢水の発生によって蒸気発生器の伝熱管は破損しない。			<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>																					
原子炉外乱の事象	考慮要否	スクリーンアウトする理由																																														
原子炉冷却材喪失 (LOCA)	○*																																															
原子炉冷却材流量の喪失	○																																															
原子炉冷却材ポンプの軸固着	-	溢水の発生によって原子炉冷却材ポンプの回転軸は固着しない。																																														
主給水管破断	○*																																															
主蒸気管破断	○*																																															
制御棒飛び出し	○*																																															
蒸気発生器伝熱管破損	-	溢水の発生によって蒸気発生器の伝熱管は破損しない。																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
<p>第1.8.4表 溢水評価上想定する事象とその対処系統</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>溢水評価上想定する事象</th> <th>左記事象に 対する対処機能</th> <th>対処系統</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①「原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き」「出力運転中の制御棒の異常な引き抜き」「制御棒の落下及び不整合」</td> <td>・原子炉トリップ ・補助給水</td> <td>・安全保護系 ・原子炉停止系 ・補助給水系</td> </tr> <tr> <td>②「原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈」（ほう素濃度制御系異常）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③「原子炉冷却材流量の部分喪失」及び「原子炉冷却材流量の喪失」（1次冷却材ポンプ停止）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④蒸気発生器への過剰給水（主給水制御弁開他^{※1}）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤主給水流量喪失（主給水ポンプ停止他^{※2}）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥負荷の喪失（主蒸気隔離弁開他^{※3}）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦出力運転中の非常用炉心冷却系の再起動</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑧主給水管破断</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑨外部電源喪失</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑩2次冷却系の異常な減圧（タービンバイパス弁開他^{※4}）</td> <td>上記機能に加え、 ・高圧注入</td> <td>上記系統に加え、 ・高圧注入系</td> </tr> <tr> <td>⑪原子炉冷却材系の異常な減圧（加圧器遮断がし弁開他^{※5}）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑫主蒸気管破断</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑬「原子炉冷却材喪失（LOCA）」及び「制御棒飛び出し」</td> <td>上記機能に加え、 ・低圧注入 ・格納容器スプレー ・格納容器隔離</td> <td>上記系統に加え、 ・低圧注入系 ・格納容器スプレー系 ・アンユラス循環系 ・原子炉格納容器隔離弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 主給水ポンプへの制御弁開 ※2 復水ポンプ停止、主給水制御弁・隔離弁開 ※3 タービントリップ ※4 主蒸気遮断がし弁開、タービン蒸気加減弁開 ※5 加圧器スプレー弁開、加圧器補助スプレー弁開</p>	溢水評価上想定する事象	左記事象に 対する対処機能	対処系統	①「原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き」「出力運転中の制御棒の異常な引き抜き」「制御棒の落下及び不整合」	・原子炉トリップ ・補助給水	・安全保護系 ・原子炉停止系 ・補助給水系	②「原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈」（ほう素濃度制御系異常）			③「原子炉冷却材流量の部分喪失」及び「原子炉冷却材流量の喪失」（1次冷却材ポンプ停止）			④蒸気発生器への過剰給水（主給水制御弁開他 ^{※1} ）			⑤主給水流量喪失（主給水ポンプ停止他 ^{※2} ）			⑥負荷の喪失（主蒸気隔離弁開他 ^{※3} ）			⑦出力運転中の非常用炉心冷却系の再起動			⑧主給水管破断			⑨外部電源喪失			⑩2次冷却系の異常な減圧（タービンバイパス弁開他 ^{※4} ）	上記機能に加え、 ・高圧注入	上記系統に加え、 ・高圧注入系	⑪原子炉冷却材系の異常な減圧（加圧器遮断がし弁開他 ^{※5} ）			⑫主蒸気管破断			⑬「原子炉冷却材喪失（LOCA）」及び「制御棒飛び出し」	上記機能に加え、 ・低圧注入 ・格納容器スプレー ・格納容器隔離	上記系統に加え、 ・低圧注入系 ・格納容器スプレー系 ・アンユラス循環系 ・原子炉格納容器隔離弁			<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>
溢水評価上想定する事象	左記事象に 対する対処機能	対処系統																																											
①「原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き」「出力運転中の制御棒の異常な引き抜き」「制御棒の落下及び不整合」	・原子炉トリップ ・補助給水	・安全保護系 ・原子炉停止系 ・補助給水系																																											
②「原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈」（ほう素濃度制御系異常）																																													
③「原子炉冷却材流量の部分喪失」及び「原子炉冷却材流量の喪失」（1次冷却材ポンプ停止）																																													
④蒸気発生器への過剰給水（主給水制御弁開他 ^{※1} ）																																													
⑤主給水流量喪失（主給水ポンプ停止他 ^{※2} ）																																													
⑥負荷の喪失（主蒸気隔離弁開他 ^{※3} ）																																													
⑦出力運転中の非常用炉心冷却系の再起動																																													
⑧主給水管破断																																													
⑨外部電源喪失																																													
⑩2次冷却系の異常な減圧（タービンバイパス弁開他 ^{※4} ）	上記機能に加え、 ・高圧注入	上記系統に加え、 ・高圧注入系																																											
⑪原子炉冷却材系の異常な減圧（加圧器遮断がし弁開他 ^{※5} ）																																													
⑫主蒸気管破断																																													
⑬「原子炉冷却材喪失（LOCA）」及び「制御棒飛び出し」	上記機能に加え、 ・低圧注入 ・格納容器スプレー ・格納容器隔離	上記系統に加え、 ・低圧注入系 ・格納容器スプレー系 ・アンユラス循環系 ・原子炉格納容器隔離弁																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

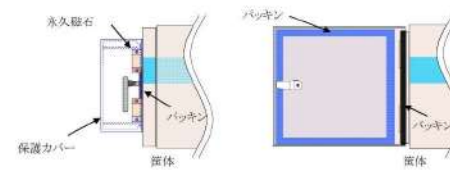

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																												
<p>第1.8.5表 溢水から防護すべき系統設備</p> <table border="1" data-bbox="138 193 651 667"> <tr><td>補助給水系</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td></tr> <tr><td>安全注入系</td></tr> <tr><td>主蒸気系</td></tr> <tr><td>余熱除去系</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却系</td></tr> <tr><td>制御用空気系</td></tr> <tr><td>換気空調系</td></tr> <tr><td>非常用電源系（ディーゼル発電機を含む。）</td></tr> <tr><td>格納容器スプレイ系</td></tr> <tr><td>冷水系</td></tr> <tr><td>電気盤</td></tr> <tr><td>燃料ビット冷却浄化系</td></tr> <tr><td>燃料取替用水系</td></tr> </table>	補助給水系	化学体積制御系	安全注入系	主蒸気系	余熱除去系	原子炉補機冷却系	制御用空気系	換気空調系	非常用電源系（ディーゼル発電機を含む。）	格納容器スプレイ系	冷水系	電気盤	燃料ビット冷却浄化系	燃料取替用水系	<p>第1.7-1表 溢水から防護すべき系統</p> <table border="1" data-bbox="689 188 1189 943"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉の緊急停止機能</td><td>制御棒及び制御棒駆動系</td><td>MS-1</td></tr> <tr><td>未臨界維持機能</td><td>ほう酸水注入系</td><td>PS-1</td></tr> <tr><td></td><td>制御棒及び制御棒駆動系</td><td>MS-1</td></tr> <tr><td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td><td>主蒸気逃がし安全弁（安全弁機能）</td><td>MS-1</td></tr> <tr><td rowspan="4">原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能</td><td>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）</td><td rowspan="4">MS-1</td></tr> <tr><td>高圧炉心スプレイ系</td></tr> <tr><td>主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）</td></tr> <tr><td>残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード）</td></tr> <tr><td rowspan="3">原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</td><td>原子炉隔離時冷却系</td><td rowspan="3">MS-1</td></tr> <tr><td>高圧炉心スプレイ系</td></tr> <tr><td>主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）</td></tr> <tr><td rowspan="4">事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能</td><td>残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード）</td><td rowspan="4">MS-1</td></tr> <tr><td>高圧炉心スプレイ系</td></tr> <tr><td>主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）</td></tr> <tr><td>低圧炉心スプレイ系</td></tr> <tr><td rowspan="3">事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能</td><td>残留熱除去系（低圧注水モード）</td><td rowspan="3">MS-1</td></tr> <tr><td>高圧炉心スプレイ系</td></tr> <tr><td>高圧炉心スプレイ系</td></tr> <tr><td rowspan="1">事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を起動させる機能</td><td>自動減圧系</td><td>MS-1</td></tr> </tbody> </table>	機能	対象系統・機器	重要度分類	原子炉の緊急停止機能	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1	未臨界維持機能	ほう酸水注入系	PS-1		制御棒及び制御棒駆動系	MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	主蒸気逃がし安全弁（安全弁機能）	MS-1	原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能	残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）	MS-1	高圧炉心スプレイ系	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）	残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード）	原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	原子炉隔離時冷却系	MS-1	高圧炉心スプレイ系	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能	残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード）	MS-1	高圧炉心スプレイ系	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）	低圧炉心スプレイ系	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能	残留熱除去系（低圧注水モード）	MS-1	高圧炉心スプレイ系	高圧炉心スプレイ系	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を起動させる機能	自動減圧系	MS-1	<p>第1.7.1表 溢水から防護すべき系統</p> <table border="1" data-bbox="1249 188 1787 850"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉の緊急停止機能</td><td>原子炉停止系（制御棒及び制御棒駆動系）</td><td>MS-1</td></tr> <tr><td>未臨界維持機能</td><td>原子炉停止系（制御棒及び制御棒駆動系） （化学体積制御設備のほう酸水注入機能）</td><td>MS-1</td></tr> <tr><td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td><td>1次冷却系統（加圧器安全弁）</td><td>MS-1</td></tr> <tr><td>原子炉停止後における除熱のための</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>残留熱除去機能</td><td>余熱除去設備</td><td>MS-1</td></tr> <tr><td>二次系からの発熱機能</td><td>主蒸気設備</td><td>MS-1</td></tr> <tr><td>二次系への補給水機能</td><td>補給給水設備</td><td>MS-1</td></tr> <tr><td>事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>原子炉内高圧時における注水機能</td><td>非常用炉心冷却設備（高圧注入系）</td><td>MS-1</td></tr> <tr><td>原子炉内低圧時における注水機能</td><td>非常用炉心冷却設備（蓄圧注入系・低圧注入系）</td><td>MS-1</td></tr> <tr><td>格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出た場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能</td><td>格納容器隔離弁 換気空調設備（アニュラス空気浄化設備） 原子炉格納容器スプレイ設備</td><td>MS-1</td></tr> <tr><td>格納容器の冷却機能</td><td>原子炉格納容器スプレイ設備</td><td>MS-1</td></tr> <tr><td>格納容器内の可燃性ガス制御機能</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td><td>非常用所内電源系（交流）</td><td>MS-1</td></tr> <tr><td>非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td><td>非常用所内電源系（直流）</td><td>MS-1</td></tr> <tr><td>非常用の交流電源機能</td><td>ディーゼル発電機</td><td>MS-1</td></tr> <tr><td>非常用の直流電源機能</td><td>直流電源設備</td><td>MS-1</td></tr> </tbody> </table>	機能	対象系統・機器	重要度分類	原子炉の緊急停止機能	原子炉停止系（制御棒及び制御棒駆動系）	MS-1	未臨界維持機能	原子炉停止系（制御棒及び制御棒駆動系） （化学体積制御設備のほう酸水注入機能）	MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	1次冷却系統（加圧器安全弁）	MS-1	原子炉停止後における除熱のための			残留熱除去機能	余熱除去設備	MS-1	二次系からの発熱機能	主蒸気設備	MS-1	二次系への補給水機能	補給給水設備	MS-1	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための			原子炉内高圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）	MS-1	原子炉内低圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（蓄圧注入系・低圧注入系）	MS-1	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出た場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	格納容器隔離弁 換気空調設備（アニュラス空気浄化設備） 原子炉格納容器スプレイ設備	MS-1	格納容器の冷却機能	原子炉格納容器スプレイ設備	MS-1	格納容器内の可燃性ガス制御機能			非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（交流）	MS-1	非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（直流）	MS-1	非常用の交流電源機能	ディーゼル発電機	MS-1	非常用の直流電源機能	直流電源設備	MS-1	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>
補助給水系																																																																																																															
化学体積制御系																																																																																																															
安全注入系																																																																																																															
主蒸気系																																																																																																															
余熱除去系																																																																																																															
原子炉補機冷却系																																																																																																															
制御用空気系																																																																																																															
換気空調系																																																																																																															
非常用電源系（ディーゼル発電機を含む。）																																																																																																															
格納容器スプレイ系																																																																																																															
冷水系																																																																																																															
電気盤																																																																																																															
燃料ビット冷却浄化系																																																																																																															
燃料取替用水系																																																																																																															
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																													
原子炉の緊急停止機能	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1																																																																																																													
未臨界維持機能	ほう酸水注入系	PS-1																																																																																																													
	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1																																																																																																													
原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	主蒸気逃がし安全弁（安全弁機能）	MS-1																																																																																																													
原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能	残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）	MS-1																																																																																																													
	高圧炉心スプレイ系																																																																																																														
	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）																																																																																																														
	残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード）																																																																																																														
原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	原子炉隔離時冷却系	MS-1																																																																																																													
	高圧炉心スプレイ系																																																																																																														
	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）																																																																																																														
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能	残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード）	MS-1																																																																																																													
	高圧炉心スプレイ系																																																																																																														
	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）																																																																																																														
	低圧炉心スプレイ系																																																																																																														
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能	残留熱除去系（低圧注水モード）	MS-1																																																																																																													
	高圧炉心スプレイ系																																																																																																														
	高圧炉心スプレイ系																																																																																																														
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を起動させる機能	自動減圧系	MS-1																																																																																																													
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																													
原子炉の緊急停止機能	原子炉停止系（制御棒及び制御棒駆動系）	MS-1																																																																																																													
未臨界維持機能	原子炉停止系（制御棒及び制御棒駆動系） （化学体積制御設備のほう酸水注入機能）	MS-1																																																																																																													
原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	1次冷却系統（加圧器安全弁）	MS-1																																																																																																													
原子炉停止後における除熱のための																																																																																																															
残留熱除去機能	余熱除去設備	MS-1																																																																																																													
二次系からの発熱機能	主蒸気設備	MS-1																																																																																																													
二次系への補給水機能	補給給水設備	MS-1																																																																																																													
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための																																																																																																															
原子炉内高圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）	MS-1																																																																																																													
原子炉内低圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（蓄圧注入系・低圧注入系）	MS-1																																																																																																													
格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出た場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	格納容器隔離弁 換気空調設備（アニュラス空気浄化設備） 原子炉格納容器スプレイ設備	MS-1																																																																																																													
格納容器の冷却機能	原子炉格納容器スプレイ設備	MS-1																																																																																																													
格納容器内の可燃性ガス制御機能																																																																																																															
非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（交流）	MS-1																																																																																																													
非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（直流）	MS-1																																																																																																													
非常用の交流電源機能	ディーゼル発電機	MS-1																																																																																																													
非常用の直流電源機能	直流電源設備	MS-1																																																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																		
	<p>(つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能</td> <td>非常用ガス処理系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器の冷却機能</td> <td>残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器内の可燃性ガス制御機能</td> <td>可燃性ガス濃度制御系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用直流電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の交流電源機能</td> <td>非常用ディーゼル発電機 (高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機を含む。)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の直流電源機能</td> <td>蓄電池 (非常用)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の計測制御用直流電源機能</td> <td>計測制御用電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>補機冷却機能</td> <td>原子炉補機冷却水系 高圧炉心スプレイ補機冷却水系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>冷却用海水供給機能</td> <td>原子炉補機冷却海水系 高圧炉心スプレイ補機冷却海水系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉制御室非常用換気空調機能</td> <td>中央制御室換気空調系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気供給機能</td> <td>主蒸気逃がし安全弁の駆動用圧縮空気源 主蒸気隔離弁の駆動用圧縮空気源</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉格納容器隔離弁</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止系に対する作動信号 (常用系として作動させるものを除く) の発生機能</td> <td>原子炉保護系の安全保護回路</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能</td> <td>非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 主蒸気隔離の安全保護回路 原子炉格納容器隔離の安全保護回路 非常用ガス処理系作動の安全保護回路</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の停止状態の把握機能</td> <td>起動前域モニタ* 原子炉スクラム用電磁接点器の状態及び制御棒位置</td> <td>MS-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">事故時の炉心冷却状態の把握機能</td> <td>原子炉水位 (広帯域) *</td> <td rowspan="3">MS-2</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域) *</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力*</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能</td> <td>ドライウェル圧力*</td> <td rowspan="5">MS-2</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室圧力*</td> </tr> <tr> <td>セプレッションプール水温度*</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気放射線モニタ*</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域) *</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">事故時のプラント操作のための情報の把握機能</td> <td>原子炉水位 (燃料域) *</td> <td rowspan="5">MS-2</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力*</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル圧力*</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室圧力*</td> </tr> <tr> <td>セプレッションプール水温度*</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">直接関連系</td> <td>計測制御室換気空調系</td> <td rowspan="4">MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機換気空調系</td> </tr> <tr> <td>換気空調補機非常用冷却水系</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">プール冷却機能</td> <td>残留熱除去系</td> <td rowspan="2">PS-3</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール水温度*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">プールへの給水機能</td> <td>燃料プール補給水系</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系</td> <td>MS-3</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 計装設備については計装ループ全体を示すため要素名を記載</p>	機能	対象系統・機器	重要度分類	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	非常用ガス処理系	MS-1	格納容器の冷却機能	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)	MS-1	格納容器内の可燃性ガス制御機能	可燃性ガス濃度制御系	MS-1	非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用交流電源設備	MS-1	非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用直流電源設備	MS-1	非常用の交流電源機能	非常用ディーゼル発電機 (高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機を含む。)	MS-1	非常用の直流電源機能	蓄電池 (非常用)	MS-1	非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1	補機冷却機能	原子炉補機冷却水系 高圧炉心スプレイ補機冷却水系	MS-1	冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水系 高圧炉心スプレイ補機冷却海水系	MS-1	原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室換気空調系	MS-1	圧縮空気供給機能	主蒸気逃がし安全弁の駆動用圧縮空気源 主蒸気隔離弁の駆動用圧縮空気源	MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁	PS-1	原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1	原子炉停止系に対する作動信号 (常用系として作動させるものを除く) の発生機能	原子炉保護系の安全保護回路	MS-1	工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 主蒸気隔離の安全保護回路 原子炉格納容器隔離の安全保護回路 非常用ガス処理系作動の安全保護回路	MS-1	事故時の原子炉の停止状態の把握機能	起動前域モニタ* 原子炉スクラム用電磁接点器の状態及び制御棒位置	MS-2	機能	対象系統・機器	重要度分類	事故時の炉心冷却状態の把握機能	原子炉水位 (広帯域) *	MS-2	原子炉水位 (燃料域) *	原子炉圧力*	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	ドライウェル圧力*	MS-2	圧力抑制室圧力*	セプレッションプール水温度*	格納容器内雰囲気放射線モニタ*	原子炉水位 (広帯域) *	事故時のプラント操作のための情報の把握機能	原子炉水位 (燃料域) *	MS-2	原子炉圧力*	ドライウェル圧力*	圧力抑制室圧力*	セプレッションプール水温度*	直接関連系	計測制御室換気空調系	MS-1	原子炉補機換気空調系	換気空調補機非常用冷却水系	燃料プール冷却浄化系	プール冷却機能	残留熱除去系	PS-3	使用済燃料プール水温度*	プールへの給水機能	燃料プール補給水系	MS-2	残留熱除去系	MS-3	<p>(つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">非常用の計測制御用直流電源機能</td> <td>計測制御用電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>補機冷却機能</td> <td>原子炉補機冷却水設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>冷却用海水供給機能</td> <td>原子炉補機冷却海水設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉制御室非常用換気空調機能</td> <td>換気空調設備 (中央制御室空調装置)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気供給機能</td> <td>制御用圧縮空気設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>1次冷却系統 (原子炉冷却材圧力バウンダリ)</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>格納容器隔離弁</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止系に対する作動信号 (常用系として作動させるものを除く) の発生機能</td> <td>安全保護系 (原子炉保護設備) タービン保安装置 主蒸気止め弁 (閉機能)</td> <td>MS-1 MS-3</td> </tr> <tr> <td>工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能</td> <td>安全保護系 (工学的安全施設作動設備)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>直接関連系</td> <td>空調用冷水設備 換気空調設備 電気盤 等</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事故時の原子炉の停止状態の把握機能</td> <td>原子炉トリップ遮断器の状態</td> <td rowspan="2">MS-2</td> </tr> <tr> <td>ほう素濃度 (サンプリング分析) *</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事故時の炉心冷却状態の把握機能</td> <td>1次冷却材圧力*</td> <td rowspan="3">MS-2</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材高温側/低温側温度 (広域) *</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能</td> <td>格納容器圧力*</td> <td rowspan="2">MS-2</td> </tr> <tr> <td>格納容器高レンジエアモニタ (低レンジ/高レンジ) *</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 計装設備については計装ループ全体を示すため要素名を記載</p> <p>(つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">事故時のプラント操作のための情報の把握機能</td> <td>ほう素タンク水位*</td> <td rowspan="7">MS-2</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (広域、狭域) *</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力*</td> </tr> <tr> <td>補助給水ライン流量*</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット水位*</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット水位*</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンパ水位 (広域、狭域) *</td> </tr> <tr> <td>異常状態の緩和機能</td> <td>加圧器逃がし弁 (手動閉閉機能)</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>制御室外からの安全停止機能</td> <td>中央制御室外原子炉停止盤</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ビット冷却機能</td> <td>使用済燃料ビット</td> <td rowspan="2">PS-2 PS-3</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット水浄化冷却設備 使用済燃料ビット温度*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ビット給水機能</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td rowspan="2">MS-2</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ポンプ 使用済燃料ビット水補給ライン 使用済燃料ビット水位*</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 計装設備については計装ループ全体を示すため要素名を記載</p>	機能	対象系統・機器	重要度分類	非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1	補機冷却機能	原子炉補機冷却水設備	MS-1	冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水設備	MS-1	原子炉制御室非常用換気空調機能	換気空調設備 (中央制御室空調装置)	MS-1	圧縮空気供給機能	制御用圧縮空気設備	MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	1次冷却系統 (原子炉冷却材圧力バウンダリ)	PS-1	原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	格納容器隔離弁	MS-1	原子炉停止系に対する作動信号 (常用系として作動させるものを除く) の発生機能	安全保護系 (原子炉保護設備) タービン保安装置 主蒸気止め弁 (閉機能)	MS-1 MS-3	工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	安全保護系 (工学的安全施設作動設備)	MS-1	直接関連系	空調用冷水設備 換気空調設備 電気盤 等	MS-1	事故時の原子炉の停止状態の把握機能	原子炉トリップ遮断器の状態	MS-2	ほう素濃度 (サンプリング分析) *	事故時の炉心冷却状態の把握機能	1次冷却材圧力*	MS-2	1次冷却材高温側/低温側温度 (広域) *	加圧器水位*	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	格納容器圧力*	MS-2	格納容器高レンジエアモニタ (低レンジ/高レンジ) *	機能	対象系統・機器	重要度分類	事故時のプラント操作のための情報の把握機能	ほう素タンク水位*	MS-2	蒸気発生器水位 (広域、狭域) *	主蒸気ライン圧力*	補助給水ライン流量*	補助給水ビット水位*	燃料取替用水ビット水位*	格納容器再循環サンパ水位 (広域、狭域) *	異常状態の緩和機能	加圧器逃がし弁 (手動閉閉機能)	MS-2	制御室外からの安全停止機能	中央制御室外原子炉停止盤	MS-2	ビット冷却機能	使用済燃料ビット	PS-2 PS-3	使用済燃料ビット水浄化冷却設備 使用済燃料ビット温度*	ビット給水機能	燃料取替用水ビット	MS-2	燃料取替用水ポンプ 使用済燃料ビット水補給ライン 使用済燃料ビット水位*
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																																																																																			
格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	非常用ガス処理系	MS-1																																																																																																																																																																			
格納容器の冷却機能	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)	MS-1																																																																																																																																																																			
格納容器内の可燃性ガス制御機能	可燃性ガス濃度制御系	MS-1																																																																																																																																																																			
非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用交流電源設備	MS-1																																																																																																																																																																			
非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用直流電源設備	MS-1																																																																																																																																																																			
非常用の交流電源機能	非常用ディーゼル発電機 (高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機を含む。)	MS-1																																																																																																																																																																			
非常用の直流電源機能	蓄電池 (非常用)	MS-1																																																																																																																																																																			
非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1																																																																																																																																																																			
補機冷却機能	原子炉補機冷却水系 高圧炉心スプレイ補機冷却水系	MS-1																																																																																																																																																																			
冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水系 高圧炉心スプレイ補機冷却海水系	MS-1																																																																																																																																																																			
原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室換気空調系	MS-1																																																																																																																																																																			
圧縮空気供給機能	主蒸気逃がし安全弁の駆動用圧縮空気源 主蒸気隔離弁の駆動用圧縮空気源	MS-1																																																																																																																																																																			
原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁	PS-1																																																																																																																																																																			
原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1																																																																																																																																																																			
原子炉停止系に対する作動信号 (常用系として作動させるものを除く) の発生機能	原子炉保護系の安全保護回路	MS-1																																																																																																																																																																			
工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 主蒸気隔離の安全保護回路 原子炉格納容器隔離の安全保護回路 非常用ガス処理系作動の安全保護回路	MS-1																																																																																																																																																																			
事故時の原子炉の停止状態の把握機能	起動前域モニタ* 原子炉スクラム用電磁接点器の状態及び制御棒位置	MS-2																																																																																																																																																																			
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																																																																																			
事故時の炉心冷却状態の把握機能	原子炉水位 (広帯域) *	MS-2																																																																																																																																																																			
	原子炉水位 (燃料域) *																																																																																																																																																																				
	原子炉圧力*																																																																																																																																																																				
事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	ドライウェル圧力*	MS-2																																																																																																																																																																			
	圧力抑制室圧力*																																																																																																																																																																				
	セプレッションプール水温度*																																																																																																																																																																				
	格納容器内雰囲気放射線モニタ*																																																																																																																																																																				
	原子炉水位 (広帯域) *																																																																																																																																																																				
事故時のプラント操作のための情報の把握機能	原子炉水位 (燃料域) *	MS-2																																																																																																																																																																			
	原子炉圧力*																																																																																																																																																																				
	ドライウェル圧力*																																																																																																																																																																				
	圧力抑制室圧力*																																																																																																																																																																				
	セプレッションプール水温度*																																																																																																																																																																				
直接関連系	計測制御室換気空調系	MS-1																																																																																																																																																																			
	原子炉補機換気空調系																																																																																																																																																																				
	換気空調補機非常用冷却水系																																																																																																																																																																				
	燃料プール冷却浄化系																																																																																																																																																																				
プール冷却機能	残留熱除去系	PS-3																																																																																																																																																																			
	使用済燃料プール水温度*																																																																																																																																																																				
プールへの給水機能	燃料プール補給水系	MS-2																																																																																																																																																																			
	残留熱除去系	MS-3																																																																																																																																																																			
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																																																																																			
非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1																																																																																																																																																																			
	補機冷却機能	原子炉補機冷却水設備	MS-1																																																																																																																																																																		
冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水設備	MS-1																																																																																																																																																																			
原子炉制御室非常用換気空調機能	換気空調設備 (中央制御室空調装置)	MS-1																																																																																																																																																																			
圧縮空気供給機能	制御用圧縮空気設備	MS-1																																																																																																																																																																			
原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	1次冷却系統 (原子炉冷却材圧力バウンダリ)	PS-1																																																																																																																																																																			
原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	格納容器隔離弁	MS-1																																																																																																																																																																			
原子炉停止系に対する作動信号 (常用系として作動させるものを除く) の発生機能	安全保護系 (原子炉保護設備) タービン保安装置 主蒸気止め弁 (閉機能)	MS-1 MS-3																																																																																																																																																																			
工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	安全保護系 (工学的安全施設作動設備)	MS-1																																																																																																																																																																			
直接関連系	空調用冷水設備 換気空調設備 電気盤 等	MS-1																																																																																																																																																																			
事故時の原子炉の停止状態の把握機能	原子炉トリップ遮断器の状態	MS-2																																																																																																																																																																			
	ほう素濃度 (サンプリング分析) *																																																																																																																																																																				
事故時の炉心冷却状態の把握機能	1次冷却材圧力*	MS-2																																																																																																																																																																			
	1次冷却材高温側/低温側温度 (広域) *																																																																																																																																																																				
	加圧器水位*																																																																																																																																																																				
事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	格納容器圧力*	MS-2																																																																																																																																																																			
	格納容器高レンジエアモニタ (低レンジ/高レンジ) *																																																																																																																																																																				
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																																																																																			
事故時のプラント操作のための情報の把握機能	ほう素タンク水位*	MS-2																																																																																																																																																																			
	蒸気発生器水位 (広域、狭域) *																																																																																																																																																																				
	主蒸気ライン圧力*																																																																																																																																																																				
	補助給水ライン流量*																																																																																																																																																																				
	補助給水ビット水位*																																																																																																																																																																				
	燃料取替用水ビット水位*																																																																																																																																																																				
	格納容器再循環サンパ水位 (広域、狭域) *																																																																																																																																																																				
異常状態の緩和機能	加圧器逃がし弁 (手動閉閉機能)	MS-2																																																																																																																																																																			
制御室外からの安全停止機能	中央制御室外原子炉停止盤	MS-2																																																																																																																																																																			
ビット冷却機能	使用済燃料ビット	PS-2 PS-3																																																																																																																																																																			
	使用済燃料ビット水浄化冷却設備 使用済燃料ビット温度*																																																																																																																																																																				
ビット給水機能	燃料取替用水ビット	MS-2																																																																																																																																																																			
	燃料取替用水ポンプ 使用済燃料ビット水補給ライン 使用済燃料ビット水位*																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																											
<p>第1.8.6表 機器と機能喪失高さの考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁</td> <td>①電動弁：電動弁駆動装置下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ダンパ</td> <td>各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ（操作盤含む）</td> <td>①ポンプ又はモータでいずれか低い箇所 ②ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い部位</td> </tr> <tr> <td>ファン</td> <td>モータは下端部又は端子箱下端の低い部位</td> </tr> <tr> <td>盤</td> <td>盤内の計器類の最下部</td> </tr> <tr> <td>計器</td> <td>計器本体又は伝送器の下端部</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1.8.7表 蒸気影響評価における配管の想定破損評価条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系</th> <th>統</th> <th>破損想定</th> <th>隔離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">補助蒸気系</td> <td>一般部（25Aを超える。）</td> <td rowspan="2">貫通クラック</td> <td rowspan="2">自動／手動</td> </tr> <tr> <td>ターミナルエンド部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">化学体積制御系（抽出）</td> <td>一般部（25A以下）</td> <td rowspan="2">完全全周破断</td> <td rowspan="2">手動</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブローダウンサンプル系</td> </tr> </tbody> </table>  <p>第1.8.1図 保護カバー等の概要</p>  <p>第1.8.2図 防護カバーの概要</p>	機器	機能喪失高さ	弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ポンプ（操作盤含む）	①ポンプ又はモータでいずれか低い箇所 ②ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い部位	ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い部位	盤	盤内の計器類の最下部	計器	計器本体又は伝送器の下端部	系	統	破損想定	隔離	補助蒸気系	一般部（25Aを超える。）	貫通クラック	自動／手動	ターミナルエンド部	化学体積制御系（抽出）	一般部（25A以下）	完全全周破断	手動	蒸気発生器ブローダウンサンプル系	<p>第1.7.2表 溢水防護対象設備の機能喪失高さ設定における考え方（例示）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁類</td> <td>弁が設置される配管の中心レベル</td> </tr> <tr> <td>ポンプ類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> </tr> <tr> <td>ファン類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> </tr> <tr> <td>電気盤類</td> <td>対象機器の設置レベル</td> </tr> <tr> <td>計器関係</td> <td>計器下端レベル</td> </tr> </tbody> </table>	機器	機能喪失高さ	弁類	弁が設置される配管の中心レベル	ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ファン類	コンクリート基礎の高さ	電気盤類	対象機器の設置レベル	計器関係	計器下端レベル	<p>第1.7.2表 溢水防護対象設備の機能喪失高さ設定における考え方（例示）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">弁類</td> <td>基本設定箇所* 弁が設置される配管の中心レベル</td> <td>個別測定箇所 ①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>コンクリート基礎の高さ</td> <td>ポンプあるいは電動機のいずれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> <td>電動機の下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>ファン類</td> <td>対象機器の設置レベル</td> <td>盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部</td> </tr> <tr> <td>電気盤類（操作盤含む）</td> <td>計器下端レベル</td> <td>計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>計器関係</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>* 保守的に機能喪失すると仮定した部位</p>	機器	機能喪失高さ	弁類	基本設定箇所* 弁が設置される配管の中心レベル	個別測定箇所 ①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部	コンクリート基礎の高さ	ポンプあるいは電動機のいずれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部	ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	電動機の下端部又は端子箱下端の低い方	ファン類	対象機器の設置レベル	盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部	電気盤類（操作盤含む）	計器下端レベル	計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方	計器関係			<p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さ（設置レベル等）である「基本設定箇所」を標準としているが、基本設定箇所で没水してしまう機器については「個別測定箇所」を適用している。 ・ 上記の機能喪失高さの設定方針は、先行審査プラントである柏崎6、7号炉及び島根2号炉で実績があり、女川2号炉においても、溢水水位に対して防護対象設備の機能喪失高さの裕度が小さい場合には、実際の機能喪失高さを実測することで実際には十分な裕度が確保されていることを確認している。 <p>【大飯】 記載方針の相違 ・ 女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・ 女川審査実績の反映</p>
機器	機能喪失高さ																																																													
弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																																																													
ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																																																													
ポンプ（操作盤含む）	①ポンプ又はモータでいずれか低い箇所 ②ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い部位																																																													
ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い部位																																																													
盤	盤内の計器類の最下部																																																													
計器	計器本体又は伝送器の下端部																																																													
系	統	破損想定	隔離																																																											
補助蒸気系	一般部（25Aを超える。）	貫通クラック	自動／手動																																																											
	ターミナルエンド部																																																													
化学体積制御系（抽出）	一般部（25A以下）	完全全周破断	手動																																																											
	蒸気発生器ブローダウンサンプル系																																																													
機器	機能喪失高さ																																																													
弁類	弁が設置される配管の中心レベル																																																													
ポンプ類	コンクリート基礎の高さ																																																													
ファン類	コンクリート基礎の高さ																																																													
電気盤類	対象機器の設置レベル																																																													
計器関係	計器下端レベル																																																													
機器	機能喪失高さ																																																													
弁類	基本設定箇所* 弁が設置される配管の中心レベル	個別測定箇所 ①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部																																																												
	コンクリート基礎の高さ	ポンプあるいは電動機のいずれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部																																																												
ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	電動機の下端部又は端子箱下端の低い方																																																												
ファン類	対象機器の設置レベル	盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部																																																												
電気盤類（操作盤含む）	計器下端レベル	計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方																																																												
計器関係																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 161 600 735" style="border: 1px solid black; height: 360px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="349 735 461 751" style="font-size: small;">第1.8.3図 機配置図</div> <div data-bbox="264 756 622 772" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: x-small;">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <div data-bbox="181 823 600 1337" style="border: 1px solid black; height: 322px; margin-top: 10px;"></div> <div data-bbox="320 1353 465 1369" style="font-size: small;">第1.8.4図 水密扉配置図</div> <div data-bbox="264 1374 622 1390" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: x-small;">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div>			<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 適合性説明</p> <p>第九条 溢水による損傷の防止等</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>1 安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても安全機能を損なわないものでなければならない。</p> <p>2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器又は配管の破損によって当該容器又は配管から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしないものでなければならない。</p> </div> <p>適合のための設計方針</p> <p>第1項について</p> <p>安全施設は、<u>原子炉施設内</u>における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>そのために、<u>原子炉施設内</u>における溢水が発生した場合においても、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。</p> <p>また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに使用済燃料ピットにおいては、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。</p> <p>なお、<u>原子炉施設内</u>における溢水として、<u>原子炉施設内</u>に設置された機器、配管の破損（地震起因を含む。）、消火水系（<u>スプリンクラーを含む。</u>）等の動作又は使用済燃料ピットのスロッシングにより発生した溢水を考慮する。</p> <p style="text-align: right;">【別添資料1（2-9-別1-4）】</p>	<p>(3) 適合性説明</p> <p>1.10 発電用原子炉設置変更許可申請に係る安全設計の方針</p> <p>1.10.3 発電用原子炉設置変更許可申請（平成25年12月27日申請）に係る実用発電用原子炉及びその附属施設的位置、構造及び設備の基準に関する規則への適合</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(溢水による損傷の防止等)</p> <p>第九条 安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても安全機能を損なわないものでなければならない。</p> <p>2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしないものでなければならない。</p> </div> <p>適合のための設計方針</p> <p>第1項について</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>そのために、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに使用済燃料プールにおいては、<u>使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能を維持できる設計とする。</u></p> <p>なお、発電用原子炉施設内における溢水として、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む。）、消火系統等の作動、<u>使用済燃料プール</u>等のスロッシングその他の事象により発生した溢水を考慮する。</p>	<p>(3) 適合性説明</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(溢水による損傷の防止等)</p> <p>第九条 安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても安全機能を損なわないものでなければならない。</p> <p>2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしないものでなければならない。</p> </div> <p>適合のための設計方針</p> <p>第1項について</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>そのために、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに使用済燃料ピットにおいては、<u>使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。</u></p> <p>なお、発電用原子炉施設内における溢水として、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む。）、消火系統等の作動、<u>使用済燃料ピット</u>等のスロッシングその他の事象により発生した溢水を考慮する。</p>	<p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第2項について</p> <p>設計基準対象施設は、原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器又は配管の破損によって当該容器又は配管から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしない設計とする。</p> <p>【別添資料1(2-9-別1 補-573~587)】</p>	<p>第2項について</p> <p>設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしない設計とする。</p>	<p>第2項について</p> <p>設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしない設計とする。</p>	

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.3 気象等 該当なし</p> <p>1.4 設備等</p> <p>10.6.2 内部溢水に対する防護設備</p> <p>10.6.2.1 概要</p> <p>原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、原子炉施設内に設ける壁、扉、堰等により、防護対象設備がその安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>溢水評価に当たっては、溢水防護区画を設定し溢水防護区画の水位が最も高くなるように保守的に溢水経路を設定する。発生を想定する溢水に対し、防護対象設備が没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>【別添資料1(2-9-別1-4)】</p> <p>10.6.2.2 設計方針</p>	<p>1.3 気象等 該当なし。</p> <p>1.4 設備等</p> <p>10. その他発電用原子炉の附属施設</p> <p>10.6.2 内部溢水に対する防護設備</p> <p>10.6.2.1 概要</p> <p>発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、施設内に設ける壁、扉、堰等の浸水防護設備により、溢水防護対象設備が、その安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>10.6.2.2 設計方針</p> <p>浸水防護設備は、以下の方針で設計する。</p> <p>(1) 浸水防止堰は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 Ss による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。また、浸水防止堰の高さは、溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p> <p>(2) 水密扉は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 Ss による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>(3) 止水壁は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 Ss による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>(4) (1)～(3)以外の浸水防護設備についても、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 Ss による地震力等の溢水の要</p>	<p>1.3 気象等 該当なし</p> <p>1.4 設備等</p> <p>10. その他発電用原子炉の附属施設</p> <p>10.6.2 内部溢水に対する防護設備</p> <p>10.6.2.1 概要</p> <p>発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、施設内に設ける壁、扉、堰等の浸水防護設備により、溢水防護対象設備が、その安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>10.6.2.2 設計方針</p> <p>浸水防護設備は、以下の方針で設計する。</p> <p>(1) 浸水防止堰は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。また、浸水防止堰の高さは、溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p> <p>(2) 水密扉は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>(3) 水密区画壁は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>(4) (1)～(3)以外の浸水防護設備についても、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動による地震力等の溢水の要</p>	<p>相違理由</p> <p>設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>原子炉施設内で溢水が発生した場合において、原子炉施設内に設ける壁、扉、堰等の浸水防護設備により、防護対象設備がその安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>使用済燃料ピットにおいては、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。さらに、海水ポンプエリア及び防護対象設備が設置されている建屋外の溢水源については、地震、津波、竜巻、地滑り等を考慮する。具体的には、「10.6.2.2.3 海水ポンプエリアにおける溢水評価に関する設計方針」及び「10.6.2.2.4 防護対象設備設置建屋外からの溢水評価に関する設計方針」にて説明する。</p> <p>また、放射性物質を含む液体を内包する容器又は配管が破損することにより、当該容器又は配管から放射性物質を含む液体の漏えいを想定する場合には、溢水が管理区域外へ漏えいしないよう、建屋内の壁、扉、堰等により伝播経路を制限する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">【別添資料1（2-9-別1-4） （2-9-別1 補-4、520～541、573～587）】</p> <p>10.6.2.2.1 原子炉施設の溢水評価に関する設計方針 (1) 溢水源及び溢水量の想定 溢水源及び溢水量としては、発生要因別に分類した以下の溢水を想定して評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水（以下「想定破損による溢水」という。） b. 発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水（以下「消火水の放水による溢水」という。） c. 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水（以下「地震起因による溢水」という。） d. その他要因（地下水の流入、地震以外の自然現象、機器の誤動作等）により生じる溢水 <p>防護対象設備が設置されている建屋内において、流体を内包する容器及び配管を溢水源となり得る機器</p>	<p>要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p>	<p>因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>として抽出する。ここで抽出された機器のうち、上記 a. 又は c. の評価において破損を想定するものは、それぞれの評価での溢水源として考慮する。</p> <p style="text-align: center;">【別添資料1（2-9-別1-6、7）】</p> <p>(2) 防護対象設備の設定</p> <p>防護対象設備は、原子炉施設内で発生した溢水に対して、重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を損なうことのない設計（原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計。）とするために必要な設備とする。</p> <p>さらに、原子炉施設の安全評価に関する審査指針に基づき、運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故を対象として、溢水により発生し得る原子炉外乱及び溢水の原因となり得る原子炉外乱に対処する設備を抽出する。抽出に当たっては溢水事象となり得る運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故も評価対象とする。</p> <p style="text-align: center;">【別添資料1（2-9-別1-8～12、97～125） （2-9-別1 補-4～53、508～519）】</p> <p>(3) 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>溢水防護に対する溢水防護区画は、防護対象設備が設置されているすべての区画並びに中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路について設定する。溢水防護区画は壁、扉、堰等又はそれらの組み合わせによって他の区画と分離される区画として設定し、溢水防護区画の水位が最も高くなるように保守的に溢水経路を設定する。</p> <p style="text-align: center;">【別添資料1（2-9-別1-13～15、126～155）】</p> <p>(4) 防護対象設備設置建屋内における溢水評価に関する設計方針</p> <p>想定破損による溢水、消火水の放水による溢水、地震起因による溢水に対して、防護対象設備が以下に示す没水、被水及び蒸気の影響を受けて、安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>また、溢水評価において、現場操作が必要な設備に対</p>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>しては、必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能な設計とする。</p> <p>a. 想定破損による溢水影響に対する設計方針 想定される配管の破損形状に基づいた溢水の影響を受けて、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>b. 消火水の放水による溢水影響に対する設計方針 火災時の消火水系（スプリンクラーを含む。）等からの放水による溢水を想定し、溢水の影響を受けて、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>また、格納容器スプレイ系については原子炉格納容器内でのみ生じ、防護対象設備は耐環境性があることから格納容器スプレイ系の動作により発生する溢水により原子炉格納容器内の防護対象設備が安全機能を損なうことはない。</p> <p>c. 地震起因による溢水影響に対する設計方針（使用済燃料ピットのスロッシングを含む。） 溢水源となり得る機器（流体を内包する機器）のうち、基準地震動による地震力によって破損が生じる機器を溢水源として想定し、溢水の影響を受けて、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>d. その他の溢水影響に対する設計方針 その他の溢水のうち機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等に対しては、漏えい検知システム等により早期に検知し、防護対象設備の安全機能が損なわれない程度の溢水に抑える設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-22～54、156～414） （2-9-別1 補-76～171、196～407、459～481）】</p> <p>10.6.2.2.2 使用済燃料ピットの溢水評価に関する設計方針</p> <p>(1) 溢水源及び溢水量の想定 溢水源及び溢水量は、「10.6.2.2.1 原子炉施設の溢水評価に関する設計方針」と同じ想定とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-55）】</p>			<p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 防護対象設備の設定 防護対象設備は、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能の維持に必要な設備とする。 【別添資料1 (2-9-別1-57)】</p> <p>(3) 溢水防護区画及び溢水経路の設定 溢水防護区画及び溢水経路は、「10.6.2.2.1 原子炉施設の溢水評価に関する設計方針」と同じ設定とする。 【別添資料1 (2-9-別1-57～60)】</p> <p>(4) 溢水評価に関する設計方針 溢水評価に対する設計方針は、「10.6.2.2.1 原子炉施設の溢水評価に関する設計方針」と同様とする。 なお、基準地震動での使用済燃料ピットのスロッシングにより、使用済燃料ピット外へ漏えいする溢水量を考慮しても、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料の放射線に対する遮蔽機能の維持に必要な水位が確保される設計とする。 【別添資料1 (2-9-別1-4、55、60～75、396～414) (2-9-別1 補-547～554)】</p> <p>10.6.2.2.3 海水ポンプエリアにおける溢水評価に関する設計方針 海水ポンプエリア内にある防護対象設備が、海水ポンプエリア内及びエリア外で発生する溢水の影響を受けて、安全機能を損なうことのない設計とする。また、防護対象設備の機能喪失高さは、発生した溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。 【別添資料1 (2-9-別1-80～81、450～454)】</p> <p>10.6.2.2.4 防護対象設備設置建屋外からの溢水評価に関する設計方針 防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、廃棄物処理建屋からの溢水、タービン建屋からの溢水及び屋外タンクからの溢水は、防護対象設備が設置される建屋へ流入しない設計とする。 鯨谷タンクエリアで発生する溢水は、立坑及び排水</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>トンネルを設置し、構外へ排水する設計とする。</p> <p>地下水は建屋基礎下に設置している集水管により、建屋最下層にある湧水サンプに集水する設計とする。また、地下水水位を考慮しても防護対象設備が設置されている建屋へ地下水が流入しない設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-76～79、82～92、415～449、450～540）（2-9-別1補-520～546）】</p> <p>10.6.2.3 主要設備</p> <p>(1) 原子炉周辺建屋堰</p> <p>廃棄物処理建屋で発生する溢水が原子炉周辺建屋へ伝播することを防止し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、原子炉周辺建屋堰を原子炉周辺建屋に設置する。</p> <p>原子炉周辺建屋堰の設計においては、基準地震動による地震力に対して溢水の伝播を防止する機能が十分に保持できる設計とする。</p> <p>堰の配置図を第1.8.3図に示す。</p> <p>(2) 原子炉周辺建屋水密扉</p> <p>廃棄物処理建屋、燃料取替用水ビット及び復水ビットで発生する溢水、屋外タンクからの溢水等が原子炉周辺建屋へ伝播することを防止し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、原子炉周辺建屋水密扉を原子炉周辺建屋に設置する。</p> <p>原子炉周辺建屋水密扉の設計においては、基準地震動による地震力に対して浸水を防止する機能が十分に保持できる設計とする。また、溢水により発生する水圧に対して水密性を有する設計とする。</p> <p>(3) 制御建屋水密扉</p> <p>屋外タンクからの溢水等が制御建屋へ伝播することを防止し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、制御建屋水密扉を制御建屋に設置する。</p> <p>制御建屋水密扉の設計においては、基準地震動による地震力に対して浸水を防止する機能が十分に保持できる設計とする。また、溢水により発生する水圧に対して水密性を有する設計とする。</p>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>水密扉の配置図を第1.8.4図に示す。</p> <p>10.6.2.4 主要仕様 主要設備の仕様を第10.6.2.1表に示す。</p> <p>10.6.2.5 試験検査 浸水防護設備は、健全性及び性能を確認するため、原子炉の運転中又は停止中に、定期的に試験又は検査を実施する。</p> <p>第10.6.2.1表 浸水防護設備の設備仕様</p> <p>(1) 原子炉周辺建屋堰 種類 堰 材料 炭素鋼又は鉄筋コンクリート 個数 7</p> <p>(2) 原子炉周辺建屋水密扉 種類 片開扉 材料 炭素鋼又はステンレス鋼 個数 17</p> <p>(3) 制御建屋水密扉 種類 片開扉 材料 炭素鋼又はステンレス鋼 個数 4</p>	<p>10.6.2.3 試験検査 浸水防護設備は、健全性及び性能を確認するため、発電用原子炉の運転中又は停止中に、定期的に試験又は検査を実施する。</p>	<p>10.6.2.3 試験検査 浸水防護設備は、健全性及び性能を確認するため、発電用原子炉の運転中又は停止中に、定期的に試験又は検査を実施する。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">別添資料1</p> <p style="text-align: center;">大阪3号炉及び4号炉 内部溢水の影響評価について</p>	<p style="text-align: right;">別添資料1</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 内部溢水の影響評価について</p>	<p style="text-align: right;">別添資料1</p> <p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 内部溢水の影響評価について</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
目次	目次	目次	
1 原子炉施設の安全確保 1.1 溢水源の想定 1.2 防護対象設備の設定	1 評価の概要 1.1 溢水防護に関する基本方針 1.2 溢水影響評価フロー 2 溢水源の想定 3 防護対象設備の設定 3.1 溢水防護上必要な機能を有する系統の抽出 3.2 系統機能を維持する上で必要となる設備の抽出 3.3 溢水影響評価上の防護対象設備の選定	1 評価の概要 1.1 溢水防護に関する基本方針 1.2 溢水影響評価フロー 2 溢水源の想定 3 防護対象設備の設定 3.1 溢水防護上必要な機能を有する系統の抽出 3.2 系統機能を維持する上で必要となる設備の抽出 3.3 溢水影響評価上の防護対象設備の選定	今回のご説明範囲
1.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定 1.4 評価に用いる各項目の溢水影響評価 1.4.1 想定破損による溢水 1.4.1.1 想定破損による溢水源 1.4.1.2 想定破損による溢水影響評価 1.4.1.2.1 想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価 1.4.1.2.2 想定破損による溢水影響評価のうち被水影響評価 1.4.1.2.3 想定破損による溢水影響評価のうち蒸気影響評価 1.4.2 放水による溢水 1.4.2.1 放水による溢水源 1.4.2.2 放水による溢水影響評価 1.4.2.2.1 放水による溢水影響評価のうち没水影響評価 1.4.3 地震による溢水 1.4.3.1 地震による溢水源 1.4.3.2 地震による溢水影響評価 1.4.3.2.1 地震による溢水影響評価のうち没水影響評価 1.4.3.2.2 地震による溢水影響評価のうち被水影響評価 1.4.3.2.3 地震による溢水影響評価のうち蒸気影響評価 1.4.4 その他の溢水	3.4 防護対象設備を防護するための設計方針 3.4.1 没水の影響に対する設計方針 3.4.2 被水の影響に対する設計方針 3.4.3 蒸気の影響に対する設計方針 3.4.4 その他の溢水に対する設計方針 4 溢水防護区画及び溢水経路の設定 4.1 溢水防護区画の設定 4.2 滞留面積の算出 4.3 溢水経路 5 想定破損評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価 5.1 想定破損による溢水源 5.2 想定破損による没水影響評価 5.3 想定破損による被水影響評価 5.4 想定破損による蒸気影響評価 6 消火水の放水評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価 6.1 消火水の放水による溢水源 6.2 消火水の放水による没水影響評価 6.3 消火水の放水による被水影響評価	3.4 防護対象設備を防護するための設計方針 3.4.1 没水の影響に対する設計方針 3.4.2 被水の影響に対する設計方針 3.4.3 蒸気の影響に対する設計方針 3.4.4 その他の溢水に対する設計方針 4 溢水防護区画及び溢水経路の設定 4.1 溢水防護区画の設定 4.2 滞留面積の算出 4.3 溢水経路 5 想定破損評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価 5.1 想定破損による溢水源 5.2 想定破損による没水影響評価 5.3 想定破損による被水影響評価 5.4 想定破損による蒸気影響評価 6 消火水の放水評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価 6.1 消火水の放水による溢水源 6.2 消火水の放水による没水影響評価 6.3 消火水の放水による被水影響評価	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
2 使用済燃料ピットの安全確保 2.1 溢水源の想定 2.2 防護対象設備の設定 2.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定 2.4 評価に用いる各項目の溢水影響評価 2.4.1 想定破損による溢水 2.4.1.1 想定破損による溢水源 2.4.1.2 想定破損による溢水影響評価 2.4.1.2.1 想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価 2.4.1.2.2 想定破損による溢水影響評価のうち被水影響評価 2.4.1.2.3 想定破損による溢水影響評価のうち蒸気影響評価 2.4.2 放水による溢水 2.4.2.1 放水による溢水源 2.4.2.2 放水による溢水影響評価 2.4.2.2.1 放水による溢水影響評価のうち没水影響評価 2.4.3 地震による溢水 2.4.3.1 地震による溢水源 2.4.3.2 地震による溢水影響評価 2.4.3.2.1 地震による溢水影響評価のうち没水影響評価 2.4.3.2.2 地震による溢水影響評価のうち被水影響評価 2.4.3.2.3 地震による溢水影響評価のうち蒸気影響評価 2.4.4 使用済燃料ピットのスロッシングによる水位低下の評価 2.4.5 使用済燃料ピットのスロッシングに対する冷却機能及び給水機能の維持の確認 3 廃棄物処理建屋の溢水影響評価 4 海水ポンプエリアの溢水影響評価 5 防護対象設備が設置されている建屋の外からの溢水影響評価 6 経年劣化事象の検討 7 溢水影響評価の判定	7 地震時評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価 7.1 地震起因による溢水源 7.2 地震起因による没水影響評価 7.2.1 地震起因による没水影響評価の前提条件 7.2.2 地震起因による没水影響評価 7.3 地震起因による被水影響評価 7.4 地震起因による蒸気影響評価 8 使用済燃料プール等のスロッシング後の機能維持評価 8.1 解析評価 8.2 スロッシングによる溢水量(解析結果) 8.3 使用済燃料プール等のスロッシングに対する冷却機能・給水機能・遮蔽機能維持の確認 9 タービン建屋からの溢水影響評価 9.1 評価条件 9.2 評価に用いる各項目の算出 9.2.1 タービン建屋における溢水源 9.2.2 タービン建屋における溢水量 9.2.3 タービン建屋における溢水経路 9.3 評価結果 9.3.1 タービン建屋からの溢水影響評価結果 9.3.2 タービン建屋からの溢水影響を防止する対策内容 10 原子炉建屋付属棟(廃棄物処理エリア(管理区域))からの溢水影響評価 11 補助ボイラー建屋からの溢水影響評価 12 1号炉制御建屋からの溢水影響評価 13 屋外タンクからの溢水影響評価 14 地下水による影響評価 15 放射性物質を含む液体の漏えいの防止	7 地震時評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価 7.1 地震起因による溢水源 7.2 地震起因による没水影響評価 7.2.1 地震起因による没水影響評価の前提条件 7.2.2 地震起因による没水影響評価 7.3 地震起因による被水影響評価 7.4 地震起因による蒸気影響評価 8 使用済燃料ピット等のスロッシング後の機能維持評価 8.1 解析評価 8.2 スロッシングによる溢水量(解析結果) 8.3 使用済燃料ピット等のスロッシングに対する冷却機能・給水機能・遮蔽機能維持の確認 9 タービン建屋からの溢水影響評価 9.1 評価条件 9.2 評価に用いる各項目の算出 9.2.1 タービン建屋における溢水源 9.2.2 タービン建屋における溢水量 9.2.3 タービン建屋における溢水経路 9.3 評価結果 9.3.1 タービン建屋からの溢水影響評価結果 9.3.2 タービン建屋からの溢水影響を防止する対策内容 10 電気建屋からの溢水影響評価 11 出入管理建屋からの溢水影響評価 12 屋外タンクからの溢水影響評価 13 地下水による影響評価 14 放射性物質を含む液体の漏えいの防止	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.1 溢水源（原子炉周辺建屋、制御建屋） 1.2-1 重要度の特に高い安全機能を有する系統並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統	添付資料1 発生要因及び評価項目毎に想定する溢水源 添付資料2 溢水源となりうる機器のリスト 添付資料3 想定する溢水量一覧	添付資料1 発生要因及び評価項目毎に想定する溢水源 添付資料2 溢水源となりうる機器のリスト 添付資料3 想定する溢水量一覧	
1.2-2 防護対象設備と機能喪失高さ一覧 （補足説明資料） 2-1 防護対象設備の抽出の考え方 4-2 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響について 4-3 原子炉格納容器内機器の耐環境性試験におけるスプレイ条件について	添付資料4 防護対象設備一覧 添付資料5 機能喪失高さの考え方 添付資料6 溢水影響評価の対象外とした設備について	添付資料4 防護対象設備一覧 添付資料5 機能喪失高さの考え方 添付資料6 溢水影響評価の対象外とした設備について	今回のご説明範囲
	添付資料7 溢水防護区画図	添付資料7 溢水防護区画図	
	添付資料8 滞留面積の算出について	添付資料8 滞留面積の算出について	今回のご説明範囲
1.3-1 溢水防護区画の設定 1.3-2 溢水経路と溢水経路概念図 1.3-3 溢水影響評価で止水を期待できる設備 1.4.1-1 想定破損による溢水源 1.4.1-2 想定破損による溢水影響評価(没水影響評価) 1.4.1-3 想定破損による溢水影響評価(被水影響評価) 1.4.1-4 想定破損による溢水影響評価(蒸気影響評価) 1.4.2-1 消火活動に係る時間設定の考え方 1.4.2-2 消火活動に係る放水による溢水影響評価 1.4.2-3 消火活動に係る放水による溢水経路図（代表） 1.4.3-1 地震時の溢水源（原子炉周辺建屋、制御建屋） 1.4.3-2 耐震B、Cクラスの機器の耐震強度評価方法及び評価結果 1.4.3-3 地震に起因する溢水影響評価結果及び溢水経路図 1.4.4 その他の溢水に対する確認について 2 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価 3 廃棄物処理建屋の溢水影響評価 4 海水ポンプエリアの溢水影響評価	添付資料9 溢水影響評価において止水を期待できる設備 添付資料10 溢水伝播経路図(平面図) 添付資料11 溢水伝播フロー図 添付資料12 開口部等からの流出流量の評価 添付資料13 溢水源となる対象系統について 添付資料14 高エネルギー配管の想定破損除外について 添付資料15 低エネルギー配管の想定破損除外について 添付資料16 減肉等による破損評価について 添付資料17 系統別溢水量算出結果 添付資料18 想定破損による没水影響評価結果 添付資料19 想定破損による没水影響評価結果から必要となる設備対策について 添付資料20 想定破損による被水影響評価結果 添付資料21 想定破損による被水影響評価結果から必要となる設備対策について 添付資料22 想定破損による蒸気影響評価結果 添付資料23 想定破損による蒸気影響評価結果から必要となる設備対策について 添付資料24 消火水の放水による溢水影響評価対象区画 添付資料25 消火水の放水における放水量について 添付資料26 消火水の放水による溢水影響評価結果 添付資料27 地震に起因する溢水源リスト 添付資料28 地震起因による没水影響評価結果 添付資料29 耐震B、Cクラス機器の耐震評価	添付資料9 溢水影響評価において止水を期待できる設備 添付資料10 溢水伝播経路図(平面図) 添付資料11 開口部等からの流出流量の評価 添付資料12 溢水源となる対象系統について 添付資料13 高エネルギー配管の想定破損除外について 添付資料14 低エネルギー配管の想定破損除外について 添付資料15 減肉等による破損評価について 添付資料16 系統別溢水量算出結果 添付資料17 想定破損による没水影響評価結果 添付資料18 想定破損による没水影響評価結果から必要となる設備対策について 添付資料19 想定破損による被水影響評価結果 添付資料20 想定破損による被水影響評価結果から必要となる設備対策について 添付資料21 想定破損による蒸気影響評価結果 添付資料22 想定破損による蒸気影響評価結果から必要となる設備対策について 添付資料23 消火水の放水による溢水影響評価対象区画 添付資料24 消火水の放水における放水量について 添付資料25 消火水の放水による溢水影響評価結果 添付資料26 地震に起因する溢水源リスト 添付資料27 地震起因による没水影響評価結果 添付資料28 耐震B、Cクラス機器の耐震評価	記載方針の相違 ・女川との設計方針の相違等により作成していない又は泊特有で作成している添付資料・補足説明資料については、各資料の比較表を作成し、相違理由について説明する。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
5.1 タービン建屋からの溢水影響評価 5.2 屋外タンクからの溢水影響評価 5.3 湧水サンプからの溢水影響評価 6 経年劣化事象の検討 参考 原子力発電所の内部溢水影響評価	添付資料 30 タービン建屋における溢水経路図 添付資料 31 原子炉建屋付属棟(廃棄物処理エリア(管理区域))における溢水経路図 添付資料 32 補助ボイラー建屋における溢水経路図 添付資料 33 放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備の設置場所 添付資料 34 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」への適合状況 補足説明資料 1 防護区画内の溢水源となりうる系統 補足説明資料 7 保有水量・系統別溢水量算出要領 補足説明資料 25 内部溢水により想定される事象の確認及び解析確認結果 補足説明資料 14 内部溢水影響評価における判定表 補足説明資料 37 気体廃棄物処理設備エリア排気放射線モニタの内部溢水に対する防護について 補足説明資料 2 溢水影響評価上の防護対象設備の配置について 補足説明資料 3 溢水影響評価の対象外とした設備に関する補足 補足説明資料 16 止水を期待する設備の止水性能等について 補足説明資料 17 溢水防護対策の主要な施工対象範囲 補足説明資料 13 溢水伝播フロー図について	添付資料 29 タービン建屋における溢水経路図 添付資料 30 電気建屋における溢水経路図 添付資料 31 出入管理建屋における溢水経路図 添付資料 32 放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備の設置場所 添付資料 33 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」への適合状況 補足説明資料 1 防護区画内の溢水源となりうる系統 補足説明資料 2 保有水量・系統別溢水量算出要領 補足説明資料 3 内部溢水により想定される事象の確認結果 補足説明資料 4 防護対象設備の選定について 補足説明資料 5 タービントリップ機能を有するMS-3設備の内部溢水に対する防護について 補足説明資料 6 溢水影響評価上の防護対象設備の配置について 補足説明資料 7 溢水影響評価の対象外とした設備に関する補足 補足説明資料 8 止水を期待する設備の止水性能等について 補足説明資料 9 溢水防護対策の主要な施工対象範囲	
補足説明資料 10 A, B, C 充てんポンプの没水影響評価			今回のご説明範囲
	補足説明資料 9 運転員のアクセス性 補足説明資料 30 ほう酸水等薬品の漏えいによる影響について 補足説明資料 8 想定破損評価における隔離時間の妥当性について 補足説明資料 15 防護対象設備における機能喪失高さの裕度が小さい場合のゆらぎ影響評価 補足説明資料 34 貫通クラック等微小漏えい時の影響について 補足説明資料 6 防滴仕様の被水評価における妥当性について 補足説明資料 4 原子炉建屋原子炉棟(二次格納施設)内防護対象設備の蒸気影響について 補足説明資料 5 耐蒸気仕様の確認について	補足説明資料 11 運転員のアクセス性 補足説明資料 12 ほう酸水等薬品の漏えいによる影響について 補足説明資料 13 想定破損評価における隔離時間の妥当性について 補足説明資料 14 防護対象設備における機能喪失高さの裕度が小さい場合のゆらぎ影響評価 補足説明資料 15 貫通クラック等微小漏えい時の影響について 補足説明資料 16 防滴仕様の被水評価における妥当性について 補足説明資料 17 主蒸気管内防護対象設備の蒸気影響について 補足説明資料 18 内部溢水のうち想定破損による蒸気影響評価 補足説明資料 19 蒸気漏えいの自動検知および隔離について 補足説明資料 20 環境影響解析による蒸気影響評価結果 補足説明資料 21 耐蒸気仕様の確認について 補足説明資料 22 破損配管からの蒸気噴流の影響等について 補足説明資料 23 環境温度の許容値が120℃未満の防護対象設備に対する評価について	

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		補足説明資料 24 蒸気影響評価で期待する換気空調設備の健全性について	
	補足説明資料 18 配管の耐震評価の考え方	補足説明資料 25 配管の耐震評価の考え方	
	補足説明資料 19 定ピッチスパン法に基づく配管の耐震評価	補足説明資料 26 標準支持間隔法に基づく配管の耐震評価	
	補足説明資料 20 耐震B、Cクラス機器の補強工事の実施内容について	補足説明資料 27 耐震B、Cクラス機器の補強工事の実施内容について	
	補足説明資料 22 溢水影響評価における耐震B、Cクラス機器の抽出方法について	補足説明資料 28 溢水影響評価における耐震B、Cクラス機器の抽出方法について	
	補足説明資料 24 内部溢水評価における耐震壁等の確認について	補足説明資料 29 内部溢水評価における耐震壁等の確認について	
	補足説明資料 33 その他の漏えい事象に対する確認について	補足説明資料 30 その他の漏えい事象に対する確認について	
	補足説明資料 36 漏えい検知性について	補足説明資料 31 漏えい検知性について	
	補足説明資料 10 スロッシング後の使用済燃料プール冷却機能維持のための現場操作		
	補足説明資料 23 使用済燃料プール等のスロッシング評価における保守性について	補足説明資料 32 使用済燃料プール等のスロッシング評価における保守性について	
	補足説明資料 21 スロッシング評価に用いた汎用熱流体解析コードの概要	補足説明資料 33 スロッシング評価に用いた汎用熱流体解析コードの概要	
		補足説明資料 34 循環水ポンプ建屋における溢水影響評価について	
	補足説明資料 11 タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について	補足説明資料 35 タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について	
	補足説明資料 12 循環水系及びタービン補機冷却海水系におけるインターロックの追加について	補足説明資料 36 循環水ポンプの自動停止インターロックについて	
	補足説明資料 31 屋外タンクからの溢水影響評価について	補足説明資料 37 屋外タンクからの溢水影響評価について	
	補足説明資料 28 別のハザードからの溢水影響について	補足説明資料 38 別のハザードからの溢水影響について	
	補足説明資料 29 過去の不具合事例への対応について	補足説明資料 39 過去の不具合事例への対応について	
	補足説明資料 32 ハッチ開放時における溢水影響について		
	補足説明資料 35 溢水発生後の復旧について	補足説明資料 40 溢水発生後の復旧について	
	補足説明資料 26 内部溢水影響評価における確認内容について	補足説明資料 41 内部溢水影響評価における確認内容について	
		補足説明資料 42 内部溢水影響評価における継続的な管理	今回のご説明範囲
	補足説明資料 27 内部溢水影響評価における評価の保守性について	補足説明資料 43 内部溢水影響評価における評価の保守性について	
	補足説明資料 38 重大事故等対処設備を対象とした溢水防護の基本方針について	補足説明資料 44 重大事故等対処設備を対象とした溢水防護の基本方針について	
	主な系統及び略語 (省略)		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>「大阪3号炉及び4号炉の内部溢水影響評価」の概要</p> <p>大阪3号炉及び4号炉については、溢水影響を考慮した設計を実施している。具体的には系統の独立した区画への分散配置、区画の入口堰、機器の基礎高さ等の考慮、各建屋最下層に設置されたサンプへの集積及び排水が可能な設計としている。</p> <p>今回、「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」（以下、「溢水ガイド」という。）にしたがい、発電用原子炉施設（以下、「原子炉施設」という。）内に設置された機器及び配管の想定破損、火災時の消火水の放水、地震による機器の破損（使用済燃料ピットのスロッシング含む。）により発生する溢水により設計基準対象施設が安全機能を損なうことのないよう防護措置その他適切な措置が講じられていることを確認するものである。</p>	<p>1 評価の概要</p> <p>女川原子力発電所2号炉については、発電所建設の設計段階において溢水影響を考慮した機器配置、配管設計を実施している。具体的には、独立した区画への分散配置、区画の入口堰及び機器の基礎高さ等の考慮、各建屋最下層に設置されたサンプに集積し排水が可能な設計としている。</p> <p>本資料は、「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則（以下「設置許可基準規則」という。）第九条（溢水による損傷の防止等）」の要求事項を踏まえ、安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なうことのないように防護措置、その他適切な措置が講じられていることを確認するものである。</p>	<p>1 評価の概要</p> <p>泊発電所3号炉については、発電所建設の設計段階において溢水影響を考慮した機器配置、配管設計を実施している。具体的には、独立した区画への分散配置、区画の入口堰及び機器の基礎高さ等の考慮、各建屋最下層に設置されたサンプに集積し排水が可能な設計としている。</p> <p>本資料は、「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則（以下「設置許可基準規則」という。）第九条（溢水による損傷の防止等）」の要求事項を踏まえ、安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なうことのないように防護措置、その他適切な措置が講じられていることを確認するものである。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>
<p>溢水防護に関する基本方針</p> <p>原子炉施設内における溢水による損傷を防止するために、以下のような措置を講じる設計とする。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水により、原子炉施設の安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水により、原子炉施設の安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>(3) 地震による機器の破損等により生じる溢水（使用済燃料ピットのスロッシングを含む。）により、原子炉施設の安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>(4) その他の溢水については、地下水の流入、竜巻による飛来物の衝突による屋外タンクの破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水、機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等を想定する。</p>	<p>1.1 溢水防護に関する基本方針</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とするために、溢水が発生した場合でも、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに使用済燃料プールにおいては、使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能を維持できる設計とする。ここで、これらの機能を維持するために必要な設備を、以下「防護対象設備」という。設置許可基準規則第九条及び第十二条並びに「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」（以下「溢水ガイド」という。）の要求事項を踏まえ、以下の設備を防護対象設備とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備 ・プール冷却及びプールへの給水の機能を適切に維持するために必要な設備 	<p>1.1 溢水防護に関する基本方針</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とするために、溢水が発生した場合でも、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに使用済燃料ピットにおいては、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。ここで、これらの機能を維持するために必要な設備を、以下「防護対象設備」という。設置許可基準規則第九条及び第十二条並びに「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」（以下「溢水ガイド」という。）の要求事項を踏まえ、以下の設備を防護対象設備とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備 ・プール冷却及びプールへの給水の機能を適切に維持するために必要な設備 	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

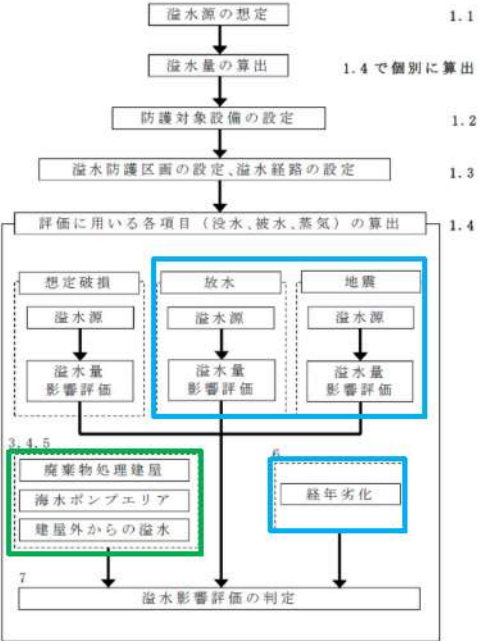
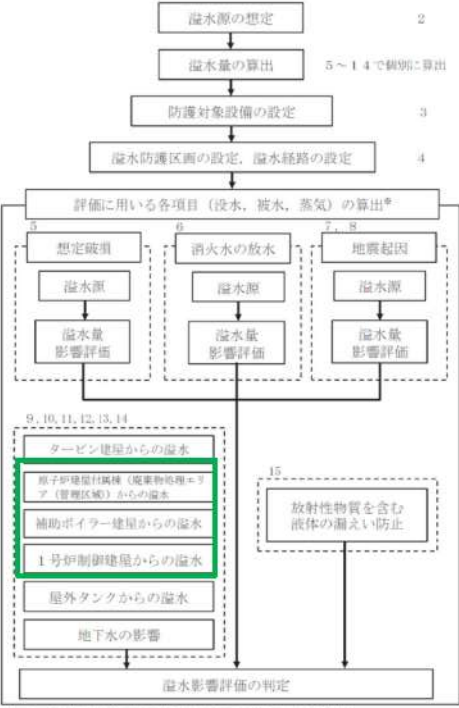
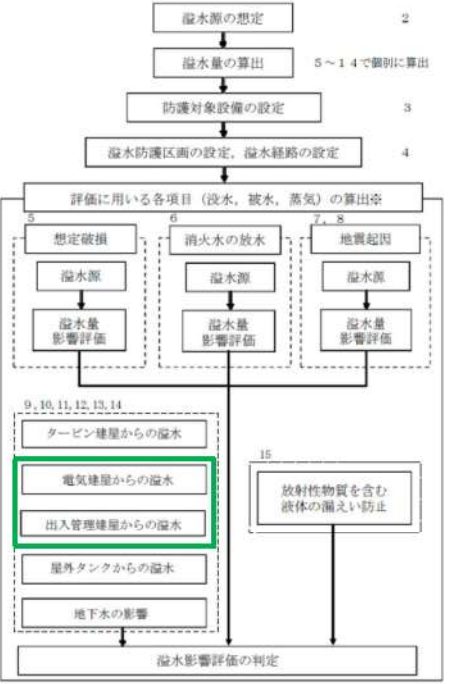
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>発電用原子炉施設内における溢水として、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損(地震起因を含む。)、消火系統等の作動又は使用済燃料プール等のスロッシング、その他の事象により発生した溢水を考慮し、防護対象設備が没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計(多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なわない設計)とする。</p> <p>地震、津波、竜巻、降水等の自然現象による波及的影響により生じる溢水に関しては、防護対象設備、溢水源となる屋外タンク等の配置を踏まえて最も厳しい条件となる自然現象による溢水の影響を考慮し、防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体の漏えいを想定する場合には、溢水が管理区域外へ漏えいしないよう、建屋内の壁、扉、堰等により伝播経路を制限する設計とする。</p> <p>溢水防護を考慮した設計にあたり、基本設計方針を以下のとおりとする。</p> <p>(1) 発電用原子炉施設内で溢水が発生した場合においても、原子炉を高温停止し、引き続き低温停止、並びに放射性物質の閉じ込め機能を維持するために必要となる設備、原子炉が停止状態にある場合は引き続きその状態を維持するために必要となる設備、使用済燃料プールの冷却及び給水機能を維持するための設備について、以下の設計上の配慮を行う。</p> <p>a. 内部溢水の発生を防止するため、発電用原子炉施設内の系統及び機器は、その内部流体の種類や温度、圧力等に従い、適切な構造、強度を有するよう設計する。</p>	<p>発電用原子炉施設内における溢水として、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損(地震起因を含む。)、消火系統等の作動又は使用済燃料ピット等のスロッシング、その他の事象により発生した溢水を考慮し、防護対象設備が没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計(多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なわない設計)とする。</p> <p>地震、津波、竜巻、降水等の自然現象による波及的影響により生じる溢水に関しては、防護対象設備、溢水源となる屋外タンク等の配置を踏まえて最も厳しい条件となる自然現象による溢水の影響を考慮し、防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体の漏えいを想定する場合には、溢水が管理区域外へ漏えいしないよう、建屋内の壁、扉、堰等により伝播経路を制限する設計とする。</p> <p>溢水防護を考慮した設計にあたり、基本設計方針を以下のとおりとする。</p> <p>(1) 発電用原子炉施設内で溢水が発生した場合においても、原子炉を高温停止し、引き続き低温停止、並びに放射性物質の閉じ込め機能を維持するために必要となる設備、原子炉が停止状態にある場合は引き続きその状態を維持するために必要となる設備、使用済燃料ピットの冷却及び給水機能を維持するための設備について、以下の設計上の配慮を行う。</p> <p>a. 内部溢水の発生を防止するため、発電用原子炉施設内の系統及び機器は、その内部流体の種類や温度、圧力等に従い、適切な構造、強度を有するよう設計する。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>b. 発電用原子炉施設内での溢水事象(地震に起因するものを含む。)を想定し、発電用原子炉施設内での溢水の伝播経路及び滞留を考慮して、機器の多重性、多様性、各系統相互の隔離距離の確保、障壁等の設置により、同時に複数区分の安全機能が損なわれない設計とする。さらに、溢水の影響により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」（以下、「安全評価指針」という。）に基づき発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心が損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とする。なお、安全解析にあたっては、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故を収束させるために必要な設備の単一故障を考慮する。</p> <p>(2) 発電用原子炉施設内で溢水が発生した場合において、放射性物質によって汚染された液体が管理されない状態で管理区域外へ漏えいしないよう、以下のような設計とする。</p> <p>a. 放射性物質を含む液体を扱う大容量ポンプの設置区域や、廃液処理設備の設置区域に対して、放射性液体の管理区域外への流出、拡大を防止する設計とする。</p> <p>b. 放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、伝播経路となる箇所について、壁、扉、堰等による漏えい防止対策を行う設計とする。</p> <p>c. 放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、床勾配及び側溝を設置し、漏えいした放射性液体を床ドレンに確実に導く設計とする。</p>	<p>b. 発電用原子炉施設内での溢水事象(地震に起因するものを含む。)を想定し、発電用原子炉施設内での溢水の伝播経路及び滞留を考慮して、機器の多重性、多様性、各系統相互の隔離距離の確保、障壁等の設置により、安全機能が損なわれない設計とする。</p> <p>さらに、溢水の影響により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」（以下「安全評価指針」という。）に基づき発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心が損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とする。なお、安全解析にあたっては、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故を収束させるために必要な設備の単一故障を考慮する。</p> <p>(2) 発電用原子炉施設内で溢水が発生した場合において、放射性物質によって汚染された液体が管理されない状態で管理区域外へ漏えいしないよう、以下のような設計とする。</p> <p>a. 放射性物質を含む液体を扱う大容量ポンプの設置区域や、放射性廃棄物の処理施設及び貯蔵施設の設置区域に対して、放射性液体の管理区域外への流出、拡大を防止する設計とする。</p> <p>b. 放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、伝播経路となる箇所について、壁、扉、堰等による漏えい防止対策を行う設計とする。</p>	<p><u>記載方針の相違</u></p> <p>・女川は高温停止機能において3区分のうち2区分以上の機能が維持される必要があるため、同時に複数区分の安全機能が損なわれない設計とする必要があるが、PWRでは高温停止機能を含め、止める・冷やす・閉じ込める機能に対して、同時に複数の系統機能を維持する必要がないことから、泊では単に「安全機能が損なわれない設計」と記載している。</p> <p>・内部溢水により原子炉に外乱が及び場合について、女川はその溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行っている。</p> <p>・一方泊では、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生時でも、全ての溢水防護対策設備が溢水（地震・想定破損・消火給水）によって安全機能を損なうことがないよう、溢水防護対策を実施することとしている。そのため、溢水影響により一部の安全機能が喪失することを前提とした安全解析は行っていない。</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊は放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、床勾配及び側溝、床ドレンからの排水に期待していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1 原子炉施設の安全確保</p> <p>溢水ガイドにしたがい、以下のフローにて溢水影響評価を行った。</p>  <p>1.1 溢水源の想定</p> <p>1.4で個別に算出 溢水量の算出</p> <p>1.2 防護対象設備の設定</p> <p>1.3 溢水防護区画の設定、溢水経路の設定</p> <p>1.4 評価に用いる各項目（浸水、被水、蒸気）の算出</p> <p>想定破損、放水、地震</p> <p>廃棄物処理建屋、海水ポンプエリア、建屋外からの溢水</p> <p>経年劣化</p> <p>7 溢水影響評価の判定</p>	<p>1.2 溢水影響評価フロー</p> <p>以下のフローにて溢水影響評価を行う。</p>  <p>2 溢水源の想定</p> <p>5～14で個別に算出 溢水量の算出</p> <p>3 防護対象設備の設定</p> <p>4 溢水防護区画の設定、溢水経路の設定</p> <p>評価に用いる各項目（浸水、被水、蒸気）の算出*</p> <p>5 想定破損、6 消火水の放水、7, 8 地震起因</p> <p>9, 10, 11, 12, 13, 14 タービン建屋からの溢水、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水、補助ボイラー建屋からの溢水、1号制御建屋からの溢水、屋外タンクからの溢水、地下水の影響</p> <p>15 放射性物質を含む液体の漏えい防止</p> <p>溢水影響評価の判定</p> <p>※ 5～8は防護対象設備が設置されているエリアに対する評価を、9～14は防護対象設備が設置されているエリア外及び建屋外からの評価をそれぞれ示す。</p>	<p>1.2 溢水影響評価フロー</p> <p>以下のフローにて溢水影響評価を行う。</p>  <p>2 溢水源の想定</p> <p>5～14で個別に算出 溢水量の算出</p> <p>3 防護対象設備の設定</p> <p>4 溢水防護区画の設定、溢水経路の設定</p> <p>評価に用いる各項目（浸水、被水、蒸気）の算出※</p> <p>5 想定破損、6 消火水の放水、7, 8 地震起因</p> <p>9, 10, 11, 12, 13, 14 タービン建屋からの溢水、電気建屋からの溢水、出入管理建屋からの溢水、屋外タンクからの溢水、地下水の影響</p> <p>15 放射性物質を含む液体の漏えい防止</p> <p>溢水影響評価の判定</p> <p>※ 5～8は防護対象設備が設置されているエリアに対する評価を、9～14は防護対象設備が設置されているエリア外及び建屋外からの評価をそれぞれ示す。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>記載表現の相違 建屋名称の相違</p>
<p>図1-1 溢水影響評価の全体（原子炉施設の安全確保）</p>	<p>図 1-1 溢水影響評価フロー</p>	<p>図 1-1 溢水影響評価フロー</p>	

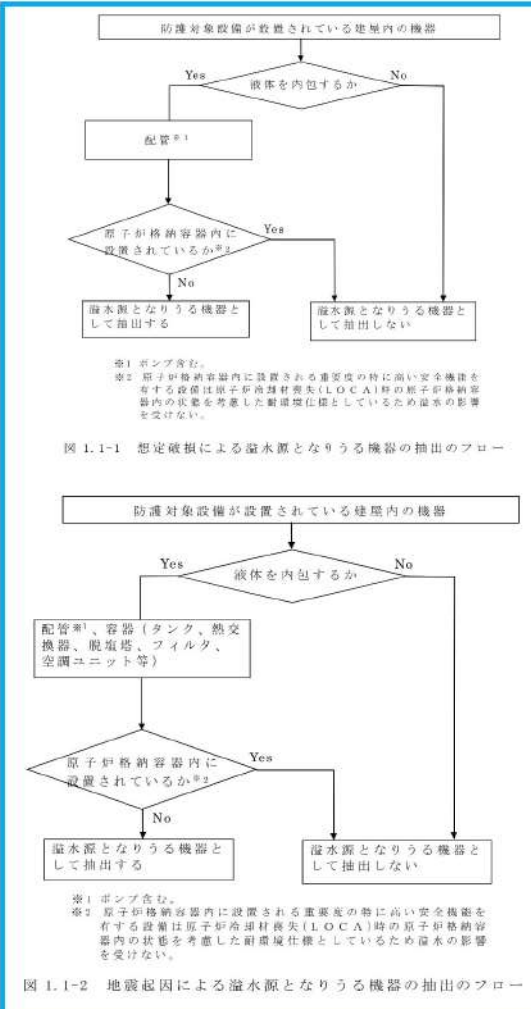
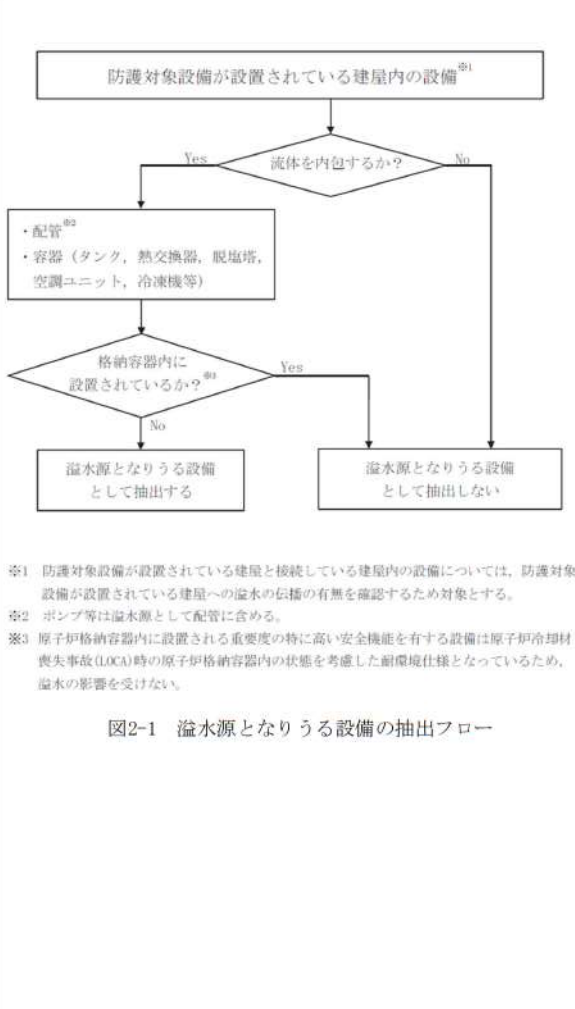
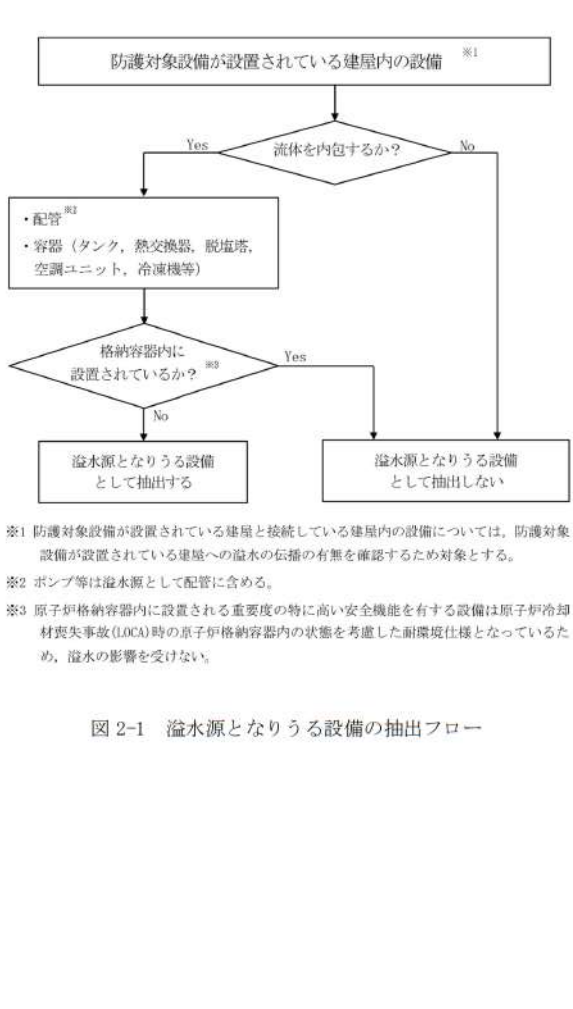
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.1 溢水源の想定</p> <p>溢水ガイドに記載のとおり、溢水の発生要因別に以下の溢水について影響を評価した。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態（火災を含む）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水</p> <p>(3) 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>溢水源となりうる機器の抽出フローを図1.1-1、2に示す。なお、放水による溢水は、消火栓、スプリンクラーからの放水とする。</p>	<p>2 溢水源の想定</p> <p>溢水源としては、発生要因別に分類した以下の溢水について影響を評価した。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水(以下「想定破損による溢水」という。)</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態(火災含む)の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水(以下「消火水の放水による溢水」という。)</p> <p>(3) 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水(以下「地震起因による溢水」という。)</p> <p>(4) その他の要因(地下水、地震以外の自然現象、機器の誤作動等)により生じる溢水(以下「その他の溢水」という。)</p> <p>防護対象設備の設置建屋内において流体を内包する配管及び容器を、溢水源となりうる設備として配管計装線図(P&ID)より抽出した。ここで抽出された設備が想定破損時及び地震時の評価において破損する場合、それぞれの評価での溢水源となる。想定破損による溢水源の想定に当たっては、一系統における単一の機器の破損とし、他の系統及び機器は健全なものと仮定した。また、一系統にて多重性又は多様性を有する機器がある場合においても、そのうち単一の機器が破損すると仮定した。地震時の評価においては、使用済燃料プール等のスロッシングについても溢水源として想定した。</p> <p>火災時における溢水源としては、自動作動するスプリンクラーは設置されていないことから、消火栓からの放水を考慮する。</p> <p>格納容器スプレイについては、単一故障による誤作動が発生しないように設計上考慮されていることから(インターロック等の誤作動や運転員の人的過誤がそれぞれ単独で発生しても誤動作しない)、溢水源として考慮しない。</p> <p>その他の溢水については、地下水、降水、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水、機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等を想定する。</p> <p>溢水源となりうる設備の抽出フローを図2-1に、溢水源の全体像を図2-2に、発生要因及び評価項目毎に想定する溢水源を添付資料1に、溢水源となりうる機器のリストを添付資料2に、想定する溢水量一覧を添付資料3に示す。</p>	<p>2 溢水源の想定</p> <p>溢水源としては、発生要因別に分類した以下の溢水について影響を評価した。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水(以下「想定破損による溢水」という。)</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態(火災含む)の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水(以下「消火水の放水による溢水」という。)</p> <p>(3) 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水(以下「地震起因による溢水」という。)</p> <p>(4) その他の要因(地下水、地震以外の自然現象、機器の誤作動等)により生じる溢水(以下「その他の溢水」という。)</p> <p>防護対象設備の設置建屋内において流体を内包する配管及び容器を、溢水源となりうる設備として系統図より抽出した。ここで抽出された設備が想定破損時及び地震時の評価において破損する場合、それぞれの評価での溢水源となる。想定破損による溢水源の想定に当たっては、一系統における単一の機器の破損とし、他の系統及び機器は健全なものと仮定した。また、一系統にて多重性又は多様性を有する機器がある場合においても、そのうち単一の機器が破損すると仮定した。地震時の評価においては、使用済燃料ピット等のスロッシングについても溢水源として想定した。</p> <p>火災時における溢水源としては、自動作動するスプリンクラーは設置されていないことから、消火栓からの放水を考慮する。</p> <p>格納容器スプレイについては、単一故障による誤作動が発生しないように設計上考慮されていることから(インターロック等の誤作動や運転員の人的過誤がそれぞれ単独で発生しても誤動作しない)、溢水源として考慮しない。</p> <p>その他の溢水については、地下水、降水、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水、機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等を想定する。</p> <p>溢水源となりうる設備の抽出フローを図2-1に、溢水源の全体像を図2-2に、発生要因及び評価項目毎に想定する溢水源を添付資料1に、溢水源となりうる機器のリストを添付資料2に、想定する溢水量一覧を添付資料3に示す。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

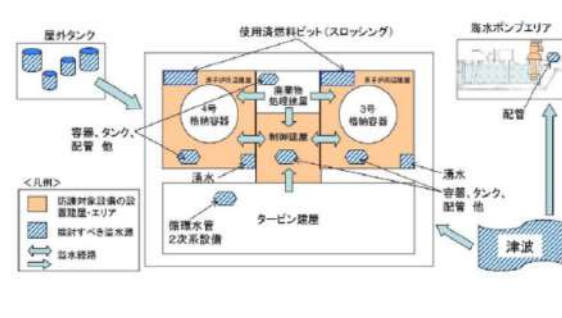
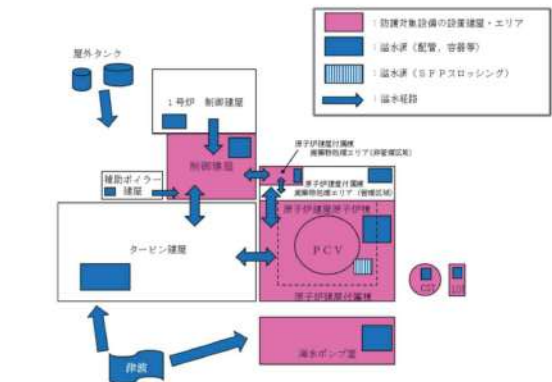
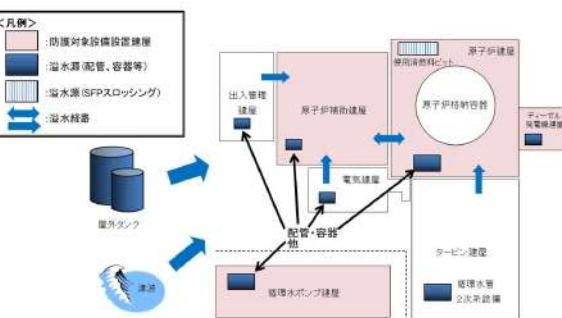
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図 1.1-1 想定破損による溢水源となりうる機器の抽出のフロー</p> <p>図 1.1-2 地震起因による溢水源となりうる機器の抽出のフロー</p>	 <p>図 2-1 溢水源となりうる設備の抽出フロー</p>	 <p>図 2-1 溢水源となりうる設備の抽出フロー</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>
<p>溢水源の候補は原子炉周辺建屋、制御建屋、海水ポンプエリア、廃棄物処理建屋、タービン建屋及び屋外にある。 このうち、廃棄物処理建屋から原子炉周辺建屋への流入経路は止水されていることを確認し、「3 廃棄物処理建屋の溢水影響評価」に検討内容と結果を記載した。 海水ポンプエリアについては「4 海水ポンプエリアの溢水影響評価」に記載した。 また、タービン建屋（循環水管、津波）、屋外タンク、湧水</p>	<p>溢水源は原子炉建屋原子炉棟、原子炉建屋付属棟、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア）、1号及び2号炉制御建屋、海水ポンプ室、復水貯蔵タンク（CST）エリア、軽油タンク（LOT）エリア、タービン建屋、補助ボイラー建屋及び屋外にある。</p>	<p>溢水源は原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋、循環水ポンプ建屋、タービン建屋、出入管理建屋、電気建屋及び屋外にある。</p>	<p>記載表現の相違 建屋名称の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(原子炉周辺建屋) については「5 防護対象設備が設置されている建屋の外からの溢水影響評価」に記載した。</p>  <p>図1.1-2 溢水源の全体像</p>	 <p>図2-2 溢水源の全体像</p>	 <p>図2-2 溢水源の全体像</p>	
<p>(添付資料1：1) 溢水源（原子炉周辺建屋、制御建屋）</p> <p>1.2 防護対象設備の設定</p> <p>溢水ガイドは、(1)重要度の特に高い安全機能を有するシステムがその安全機能を適切に維持するために必要な設備並びに(2)使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を適切に維持するために必要な設備を防護対象設備とすることを求めている。また、防護対象設備は重要度の特に高い安全機能を有する設備が内部溢水により原子炉に外乱が生じ、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合に、それを達成するために必要な設備についても抽出する。</p> <p>以下に、それぞれに対応する防護対象設備の選定方法を示す。</p> <p>なお、検討する防護対象設備が設置されている建屋及びエリアは原子炉周辺建屋、制御建屋及び海水ポンプエリアである。</p>	<p>3 防護対象設備の設定</p> <p>設置許可基準規則第九条において、「発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても安全機能を損なわないものでなければならない」と規定されている。</p> <p>上記の「安全機能を損なわないもの」とは、同規則の解釈において、「発電用原子炉施設内部で発生が想定される溢水に対し、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できること、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できることをいう。さらに、使用済燃料貯蔵槽においては、プール冷却機能及びプールへの給水機能を維持できること」と解されている。</p> <p>また、溢水ガイドにおいては、「重要度の特に高い安全機能を有するシステムが、その安全機能を適切に維持するために必要な設備」及び「「プール冷却」及び「プールへの給水」の機能を適切に維持するために必要な設備」を防護対象設備として選定している。さらに設置許可基準規則第十二条では、安全施設が安全機能を果たすための要求が記載されている。</p> <p>上記の要求事項を踏まえ、以下の手順により防護対象設備を選定する。</p>	<p>3 防護対象設備の設定</p> <p>設置許可基準規則第九条において、「発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても安全機能を損なわないものでなければならない」と規定されている。</p> <p>上記の「安全機能を損なわないもの」とは、同規則の解釈において、「発電用原子炉施設内部で発生が想定される溢水に対し、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できること、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できることをいう。さらに、使用済燃料貯蔵槽においては、プール冷却機能及びプールへの給水機能を維持できること」と解されている。</p> <p>また、溢水ガイドにおいては、「重要度の特に高い安全機能を有するシステムが、その安全機能を適切に維持するために必要な設備」及び「「プール冷却」及び「プールへの給水」の機能を適切に維持するために必要な設備」を防護対象設備として選定している。さらに設置許可基準規則第十二条では、安全施設が安全機能を果たすための要求が記載されている。</p> <p>上記の要求事項を踏まえ、以下の手順により防護対象設備を選定する。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(1) 重要度の特に高い安全機能を有する系統</p> <p>原子炉停止、高温停止、低温停止及びその維持に必要な以下の機能、系統を抽出し、これらの機能を達成するために必要な設備を防護対象設備として選定した。</p> <p>①原子炉停止：原子炉停止系</p> <p>②ほう酸添加：原子炉停止系（化学体積制御系のほう酸注入機能等）</p> <p>③崩壊熱除去：補助給水系、主蒸気系、余熱除去系</p> <p>④1次系減圧：1次冷却系の減圧機能</p> <p>⑤上記系統の関連系：原子炉補機冷却系、制御用空気系、換気空調系、非常用電源系、冷水系、電気盤</p> <p>⑥その他</p> <p>上記系統に加え、原子炉施設の安全評価に関する審査指針に基づき、運転時の異常な過度変化又は設計基準事故を対象として、溢水により発生し得る原子炉の外乱及び溢水の原因となり得る原子炉外乱に対処する設備を抽出する。抽出に当たっては溢水事象となり得る運転時の異常な過度変化及び設計基準事故も評価対象とする。</p> <p>原子炉外乱としては、以下の溢水により発生し得る原子炉外乱及び溢水の原因となり得る原子炉外乱を考慮する。地震に対しては溢水だけでなく、地震に起因する原子炉外乱（主給水流量喪失、外部電源喪失等）も考慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定破損による溢水（単一機器の破損を想定） ・消火水の放水による溢水（単一の溢水源を想定） ・地震起因による溢水（耐震B、Cクラスの機器の破損を想定） <p>なお、原子炉格納容器内に設置される重要度の特に高い安全機能を有する設備は、原子炉冷却材喪失（以下、「LOCA」という。）を考慮した耐環境仕様としているため、これ以降の検討から除外した。</p>	<p>3.1 溢水防護上必要な機能を有する系統の抽出</p> <p>溢水防護上必要な機能を有する系統として、安全施設のうち、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持するため、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持するため、並びに使用済燃料プールにおいてはプール冷却機能及びプールへの給水機能を維持するために必要となる、発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針(以下「重要度分類審査指針」という。)における分類でクラス1及び2に属する構築物、系統及び機器に加え、安全評価上その機能を期待するクラス3に属する構築物、系統及び機器を抽出する。</p> <p>その上で、「重要度の特に高い安全機能を有する系統」として、重要度分類審査指針及び設置許可基準規則第十二条より、表3-1のとおり抽出する。</p>	<p>3.1 溢水防護上必要な機能を有する系統の抽出</p> <p>溢水防護上必要な機能を有する系統として、安全施設のうち、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持するため、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持するため、並びに使用済燃料ピットにおいてはピット冷却機能及びピットへの給水機能を維持するために必要となる、発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針(以下「重要度分類審査指針」という。)における分類でクラス1及び2に属する構築物、系統及び機器に加え、安全評価上その機能を期待するクラス3に属する構築物、系統及び機器を抽出する。</p> <p>その上で、「重要度の特に高い安全機能を有する系統」として、重要度分類審査指針及び設置許可基準規則第十二条より、表3-1のとおり抽出する。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統</p> <p>使用済燃料ピットを保安規定で定められた水温（6.5℃以下）に維持する必要があるため、使用済燃料ピットの冷却機能の維持に必要な設備を防護対象設備として選定した。</p> <p>また、使用済燃料からの放射線に対する遮蔽機能の維持に必要な水位が確保されるように、使用済燃料ピットの給水機能の維持に必要な設備を防護対象設備として選定した。</p>	<p>また使用済燃料プールについて、「プール冷却」及び「プールへの給水」機能を有する系統を表3-2のとおり抽出する。</p> <p>なお、安全施設の全体像は、重要度分類審査指針における分類でクラス1, 2, 3に該当する構築物、系統及び機器であり、これら安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性について表3-3に示す。また、クラス1, 2及び安全評価上その機能を期待するクラス3に該当する安全施設であって、重要度の特に高い安全機能を有する系統に該当しないものについては、溢水防護上必要な機能を有する系統として考慮するものの、溢水により損傷した場合であっても代替手段があること等により安全機能が損なわれないことが確認できることから後段の影響評価の対象から除外することとし、各構築物・系統又は機器について溢水影響評価上の扱いを整理した結果についても表3-3にて示す。</p>	<p>また使用済燃料ピットについて、「ピット冷却」及び「ピットへの給水」機能を有する系統を表3-2のとおり抽出する。</p> <p>なお、安全施設の全体像は、重要度分類審査指針における分類でクラス1, 2, 3に該当する構築物、系統及び機器であり、これら安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性について表3-3に示す。また、クラス1, 2及び安全評価上その機能を期待するクラス3に該当する安全施設であって、重要度の特に高い安全機能を有する系統に該当しないものについては、溢水防護上必要な機能を有する系統として考慮するものの、溢水により損傷した場合であっても代替手段があること等により安全機能が損なわれないことが確認できることから後段の影響評価の対象から除外することとし、各構築物・系統又は機器について溢水影響評価上の扱いを整理した結果についても表3-3にて示す。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>
<p>(3) 防護対象設備のうち溢水影響評価対象の選定について</p> <p>防護対象設備として選定した設備のうち、溢水影響評価を行う設備のスクリーニングの考え方について、図1.2-1に溢水影響評価対象の選定フローを、表1.2-1に溢水影響評価の対象外とする理由についてまとめた。</p> <p>防護対象設備としては、LOCAのような溢水事象そのものによって安全解析上の事故や異常な過渡変化が発生した場合に、プラントを安全停止させるために必要な設備は、防護対象設備として抽出し、溢水の影響を受けても必要な安全機能を損なわないものを除き評価対象とした。</p> <p>なお、防護対象設備リストにはプラント停止の対処設備を明確にするために該当する系統の容器（タンク）、熱交換器、フィルタ等の主要な静的機器についても記載したが、これらの設備は溢水影響を受けないため、機能喪失高さは「一」と記載した。</p>	<p>3.2 系統機能を維持する上で必要となる設備の抽出</p> <p>3.1で抽出した各系統について、系統図等に基づき、当該系統の機能を維持する上で必要な設備を抽出する。以上により抽出された設備を防護対象設備とする。</p> <p>3.3 溢水影響評価上の防護対象設備の選定</p> <p>3.2で抽出した防護対象設備について、溢水による設備機能への影響の有無（設備の種類別、耐環境仕様等）を考慮したスクリーニングを行い、溢水影響評価上の防護対象設備として選定した。評価対象選定フロー及びスクリーニング理由を、それぞれ図3-1及び表3-4に示す。なお、以下ではこの“溢水影響評価上の防護対象設備”を単に“防護対象設備”と読み替えることとする。抽出した防護対象設備を添付資料4に、防護対象設備の機能喪失高さ（溢水の影響を受けて、溢水防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ）の考え方について添付資料5に、溢水影響評価対象外とした設備を添付資料6にそれぞれ示す。</p>	<p>3.2 系統機能を維持する上で必要となる設備の抽出</p> <p>3.1で抽出した各系統について、系統図等に基づき、当該系統の機能を維持する上で必要な設備を抽出する。以上により抽出された設備を防護対象設備とする。</p> <p>3.3 溢水影響評価上の防護対象設備の選定</p> <p>3.2で抽出した防護対象設備について、溢水による設備機能への影響の有無（設備の種類別、耐環境仕様等）を考慮したスクリーニングを行い、溢水影響評価上の防護対象設備として選定した。評価対象選定フロー及びスクリーニング理由を、それぞれ図3-1及び表3-4に示す。なお、以下ではこの“溢水影響評価上の防護対象設備”を単に“防護対象設備”と読み替えることとする。抽出した防護対象設備を添付資料4に、防護対象設備の機能喪失高さ（溢水の影響を受けて、溢水防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ）の考え方について添付資料5に、溢水影響評価対象外とした設備を添付資料6にそれぞれ示す。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																			
	<p>表 3-1 設置許可基準規則第十二条の要求を踏まえた防護対象系統の抽出結果（1/3）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉の緊急停止機能</td> <td>制御棒及び制御棒駆動系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">未臨界維持機能</td> <td>ほう酸水注入系</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td>制御棒及び制御棒駆動系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> <td>主蒸気逃がし安全弁（安全弁機能）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能</td> <td>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）</td> <td rowspan="6">MS-1</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード）</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</td> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能</td> <td>主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> <td rowspan="4">MS-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能</td> <td>主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレイ系</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能</td> <td>残留熱除去系（低圧注水モード）</td> <td rowspan="3">MS-1</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレイ系</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能</td> <td>残留熱除去系（低圧注水モード）</td> <td rowspan="2">MS-1</td> </tr> <tr> <td>自動減圧系</td> </tr> </tbody> </table>	機能	対象系統・機器	重要度分類	原子炉の緊急停止機能	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1	未臨界維持機能	ほう酸水注入系	PS-1	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	主蒸気逃がし安全弁（安全弁機能）	MS-1	原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能	残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）	MS-1	高圧炉心スプレイ系	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）	残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード）	原子炉隔離時冷却系	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）	原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	原子炉隔離時冷却系	MS-1	高圧炉心スプレイ系		原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）	MS-1	高圧炉心スプレイ系	MS-1	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）	低圧炉心スプレイ系	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能	残留熱除去系（低圧注水モード）	MS-1	低圧炉心スプレイ系	高圧炉心スプレイ系	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能	残留熱除去系（低圧注水モード）	MS-1	自動減圧系	<p>表 3-1 設置許可基準規則第十二条の要求を踏まえた防護対象系統の抽出結果（1/2）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉の緊急停止機能</td> <td>原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">未臨界維持機能</td> <td>原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）（化学体積制御設備のほう酸注入機能）</td> <td rowspan="2">MS-1</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> <td>加圧器安全弁（開機能）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止後における除熱のための</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>残留熱除去機能</td> <td>余熱除去設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>二次系からの除熱機能</td> <td>主蒸気設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>二次系への補給水機能</td> <td>補助給水設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉内高圧時における注水機能</td> <td>非常用炉心冷却設備（高圧注入系）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉内低圧時における注水機能</td> <td>非常用炉心冷却設備（蓄圧注入系・低圧注入系）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出た場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能</td> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 アニュラス空気浄化設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器の冷却機能</td> <td>原子炉格納容器スプレイ設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器内の可燃性ガス制御機能</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用所内電源系（交流）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用所内電源系（直流）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の交流電源機能</td> <td>ディーゼル発電機</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の直流電源機能</td> <td>直流電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の計測制御用直流電源機能</td> <td>計測制御用電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>補機冷却機能</td> <td>原子炉補機冷却水設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>冷却用海水供給機能</td> <td>原子炉補機冷却海水設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉制御室非常用換気空調機能</td> <td>中央制御室空調装置</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気供給機能</td> <td>制御用圧縮空気設備</td> <td>MS-1</td> </tr> </tbody> </table>	機能	対象系統・機器	重要度分類	原子炉の緊急停止機能	原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）	MS-1	未臨界維持機能	原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）（化学体積制御設備のほう酸注入機能）	MS-1		原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	加圧器安全弁（開機能）	MS-1	原子炉停止後における除熱のための			残留熱除去機能	余熱除去設備	MS-1	二次系からの除熱機能	主蒸気設備	MS-1	二次系への補給水機能	補助給水設備	MS-1	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための			原子炉内高圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）	MS-1	原子炉内低圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（蓄圧注入系・低圧注入系）	MS-1	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出た場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	原子炉格納容器スプレイ設備 アニュラス空気浄化設備	MS-1	格納容器の冷却機能	原子炉格納容器スプレイ設備	MS-1	格納容器内の可燃性ガス制御機能			非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（交流）	MS-1	非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（直流）	MS-1	非常用の交流電源機能	ディーゼル発電機	MS-1	非常用の直流電源機能	直流電源設備	MS-1	非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1	補機冷却機能	原子炉補機冷却水設備	MS-1	冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水設備	MS-1	原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室空調装置	MS-1	圧縮空気供給機能	制御用圧縮空気設備	MS-1	
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																																				
原子炉の緊急停止機能	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1																																																																																																																				
未臨界維持機能	ほう酸水注入系	PS-1																																																																																																																				
	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1																																																																																																																				
原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	主蒸気逃がし安全弁（安全弁機能）	MS-1																																																																																																																				
原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能	残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）	MS-1																																																																																																																				
	高圧炉心スプレイ系																																																																																																																					
	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）																																																																																																																					
	残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード）																																																																																																																					
	原子炉隔離時冷却系																																																																																																																					
	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）																																																																																																																					
原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	原子炉隔離時冷却系	MS-1																																																																																																																				
	高圧炉心スプレイ系																																																																																																																					
原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）	MS-1																																																																																																																				
	高圧炉心スプレイ系	MS-1																																																																																																																				
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）																																																																																																																					
	低圧炉心スプレイ系																																																																																																																					
	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）																																																																																																																					
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能	残留熱除去系（低圧注水モード）	MS-1																																																																																																																				
	低圧炉心スプレイ系																																																																																																																					
	高圧炉心スプレイ系																																																																																																																					
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能	残留熱除去系（低圧注水モード）	MS-1																																																																																																																				
	自動減圧系																																																																																																																					
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																																				
原子炉の緊急停止機能	原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）	MS-1																																																																																																																				
未臨界維持機能	原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）（化学体積制御設備のほう酸注入機能）	MS-1																																																																																																																				
原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	加圧器安全弁（開機能）	MS-1																																																																																																																				
原子炉停止後における除熱のための																																																																																																																						
残留熱除去機能	余熱除去設備	MS-1																																																																																																																				
二次系からの除熱機能	主蒸気設備	MS-1																																																																																																																				
二次系への補給水機能	補助給水設備	MS-1																																																																																																																				
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための																																																																																																																						
原子炉内高圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）	MS-1																																																																																																																				
原子炉内低圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（蓄圧注入系・低圧注入系）	MS-1																																																																																																																				
格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出た場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	原子炉格納容器スプレイ設備 アニュラス空気浄化設備	MS-1																																																																																																																				
格納容器の冷却機能	原子炉格納容器スプレイ設備	MS-1																																																																																																																				
格納容器内の可燃性ガス制御機能																																																																																																																						
非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（交流）	MS-1																																																																																																																				
非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（直流）	MS-1																																																																																																																				
非常用の交流電源機能	ディーゼル発電機	MS-1																																																																																																																				
非常用の直流電源機能	直流電源設備	MS-1																																																																																																																				
非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1																																																																																																																				
補機冷却機能	原子炉補機冷却水設備	MS-1																																																																																																																				
冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水設備	MS-1																																																																																																																				
原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室空調装置	MS-1																																																																																																																				
圧縮空気供給機能	制御用圧縮空気設備	MS-1																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																	
	<p>表 3-1 設置許可基準規則第十二条の要求を踏まえた防護対象系統の抽出結果(2/3)</p> <table border="1" data-bbox="734 252 1240 938"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能</td> <td>非常用ガス処理系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器の冷却機能</td> <td>残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器内の可燃性ガス制御機能</td> <td>可燃性ガス濃度制御系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用直流電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の交流電源機能</td> <td>非常用ディーゼル発電機(高圧中心スプレイ系ディーゼル発電機を含む)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の直流電源機能</td> <td>蓄電池(非常用)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の計測制御用直流電源機能</td> <td>計測制御用電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>補機冷却機能</td> <td>原子炉補機冷却海水系 高圧中心スプレイ補機冷却海水系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>冷却用海水供給機能</td> <td>原子炉補機冷却海水系 高圧中心スプレイ補機冷却海水系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉制御系非常用換気空調機能</td> <td>中央制御室換気空調系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気供給機能</td> <td>主蒸気連がし安全弁の駆動用圧縮空気源 主蒸気隔離弁の駆動用圧縮空気源</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉格納容器隔離弁</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止系に対する作動信号(常用系として作動させるものを除く)の発生機能</td> <td>原子炉保護系の安全保護回路</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能</td> <td>・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 ・主蒸気隔離の安全保護回路 ・原子炉格納容器隔離の安全保護回路 ・非常用ガス処理系作動の安全保護回路</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の停止状態の把握機能</td> <td>圧動領域モニタ^{※1}</td> <td>MS-2</td> </tr> </tbody> </table>	機能	対象系統・機器	重要度分類	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	非常用ガス処理系	MS-1	格納容器の冷却機能	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)	MS-1	格納容器内の可燃性ガス制御機能	可燃性ガス濃度制御系	MS-1	非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用交流電源設備	MS-1	非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用直流電源設備	MS-1	非常用の交流電源機能	非常用ディーゼル発電機(高圧中心スプレイ系ディーゼル発電機を含む)	MS-1	非常用の直流電源機能	蓄電池(非常用)	MS-1	非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1	補機冷却機能	原子炉補機冷却海水系 高圧中心スプレイ補機冷却海水系	MS-1	冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水系 高圧中心スプレイ補機冷却海水系	MS-1	原子炉制御系非常用換気空調機能	中央制御室換気空調系	MS-1	圧縮空気供給機能	主蒸気連がし安全弁の駆動用圧縮空気源 主蒸気隔離弁の駆動用圧縮空気源	MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁	PS-1	原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1	原子炉停止系に対する作動信号(常用系として作動させるものを除く)の発生機能	原子炉保護系の安全保護回路	MS-1	工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 ・主蒸気隔離の安全保護回路 ・原子炉格納容器隔離の安全保護回路 ・非常用ガス処理系作動の安全保護回路	MS-1	事故時の原子炉の停止状態の把握機能	圧動領域モニタ ^{※1}	MS-2	<p>表 3-1 設置許可基準規則第十二条の要求を踏まえた防護対象系統の抽出結果(2/2)</p> <table border="1" data-bbox="1301 252 1845 911"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ(隔離弁)</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉格納容器隔離弁</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止系に対する作動信号(常用系として作動させるものを除く)の発生機能</td> <td>安全保護系(原子炉保護設備) タービン保安装置^{※2} 主蒸気止め弁(閉機能)^{※2}</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能</td> <td>安全保護系(工学的安全施設作動設備)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の停止状態の把握機能</td> <td>原子炉トリップ遮断器の状態 ほう素濃度(サンプリング分析)^{※1}</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>事故時の炉心冷却状態の把握機能</td> <td>1次冷却材圧力^{※1} 1次冷却材高温側/低温側温度(広域)^{※1} 加圧器水位^{※1}</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能</td> <td>格納容器圧力^{※1} 格納容器高レンジエリアモニタ(低レンジ/高レンジ)^{※1}</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>事故時のプラント操作のための情報の把握機能</td> <td>ほう酸タンク水位^{※1} 蒸気発生器水位(広域, 狭域)^{※1} 主蒸気ライン圧力^{※1} 補助給水ライン流量^{※1} 補助給水ピット水位^{※1} 燃料取扱用ピット水位^{※1} 格納容器再循環サンブ水位(広域, 狭域)^{※1}</td> <td>MS-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 計装設備については計装ループ全体を示すため要素名を記載 ※2 「タービントリップ機能」に属する設備であるが、運転時の異常な過渡変化の蒸気発生器への過剰給水時において期待していることから「原子炉停止系に対する作動信号(常用系として作動させるものを除く)の発生機能」に分類。詳細な評価を補足説明資料35にて実施した。</p>	機能	対象系統・機器	重要度分類	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ(隔離弁)	PS-1	原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1	原子炉停止系に対する作動信号(常用系として作動させるものを除く)の発生機能	安全保護系(原子炉保護設備) タービン保安装置 ^{※2} 主蒸気止め弁(閉機能) ^{※2}	MS-1	工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	安全保護系(工学的安全施設作動設備)	MS-1	事故時の原子炉の停止状態の把握機能	原子炉トリップ遮断器の状態 ほう素濃度(サンプリング分析) ^{※1}	MS-2	事故時の炉心冷却状態の把握機能	1次冷却材圧力 ^{※1} 1次冷却材高温側/低温側温度(広域) ^{※1} 加圧器水位 ^{※1}	MS-2	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	格納容器圧力 ^{※1} 格納容器高レンジエリアモニタ(低レンジ/高レンジ) ^{※1}	MS-2	事故時のプラント操作のための情報の把握機能	ほう酸タンク水位 ^{※1} 蒸気発生器水位(広域, 狭域) ^{※1} 主蒸気ライン圧力 ^{※1} 補助給水ライン流量 ^{※1} 補助給水ピット水位 ^{※1} 燃料取扱用ピット水位 ^{※1} 格納容器再循環サンブ水位(広域, 狭域) ^{※1}	MS-2	
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																		
格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	非常用ガス処理系	MS-1																																																																																		
格納容器の冷却機能	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)	MS-1																																																																																		
格納容器内の可燃性ガス制御機能	可燃性ガス濃度制御系	MS-1																																																																																		
非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用交流電源設備	MS-1																																																																																		
非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用直流電源設備	MS-1																																																																																		
非常用の交流電源機能	非常用ディーゼル発電機(高圧中心スプレイ系ディーゼル発電機を含む)	MS-1																																																																																		
非常用の直流電源機能	蓄電池(非常用)	MS-1																																																																																		
非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1																																																																																		
補機冷却機能	原子炉補機冷却海水系 高圧中心スプレイ補機冷却海水系	MS-1																																																																																		
冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水系 高圧中心スプレイ補機冷却海水系	MS-1																																																																																		
原子炉制御系非常用換気空調機能	中央制御室換気空調系	MS-1																																																																																		
圧縮空気供給機能	主蒸気連がし安全弁の駆動用圧縮空気源 主蒸気隔離弁の駆動用圧縮空気源	MS-1																																																																																		
原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁	PS-1																																																																																		
原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1																																																																																		
原子炉停止系に対する作動信号(常用系として作動させるものを除く)の発生機能	原子炉保護系の安全保護回路	MS-1																																																																																		
工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 ・主蒸気隔離の安全保護回路 ・原子炉格納容器隔離の安全保護回路 ・非常用ガス処理系作動の安全保護回路	MS-1																																																																																		
事故時の原子炉の停止状態の把握機能	圧動領域モニタ ^{※1}	MS-2																																																																																		
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																		
原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ(隔離弁)	PS-1																																																																																		
原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1																																																																																		
原子炉停止系に対する作動信号(常用系として作動させるものを除く)の発生機能	安全保護系(原子炉保護設備) タービン保安装置 ^{※2} 主蒸気止め弁(閉機能) ^{※2}	MS-1																																																																																		
工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	安全保護系(工学的安全施設作動設備)	MS-1																																																																																		
事故時の原子炉の停止状態の把握機能	原子炉トリップ遮断器の状態 ほう素濃度(サンプリング分析) ^{※1}	MS-2																																																																																		
事故時の炉心冷却状態の把握機能	1次冷却材圧力 ^{※1} 1次冷却材高温側/低温側温度(広域) ^{※1} 加圧器水位 ^{※1}	MS-2																																																																																		
事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	格納容器圧力 ^{※1} 格納容器高レンジエリアモニタ(低レンジ/高レンジ) ^{※1}	MS-2																																																																																		
事故時のプラント操作のための情報の把握機能	ほう酸タンク水位 ^{※1} 蒸気発生器水位(広域, 狭域) ^{※1} 主蒸気ライン圧力 ^{※1} 補助給水ライン流量 ^{※1} 補助給水ピット水位 ^{※1} 燃料取扱用ピット水位 ^{※1} 格納容器再循環サンブ水位(広域, 狭域) ^{※1}	MS-2																																																																																		
	<p>表 3-1 設置許可基準規則第十二条の要求を踏まえた防護対象系統の抽出結果(3/3)</p> <table border="1" data-bbox="734 1034 1240 1417"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事故時の炉心冷却状態の把握機能</td> <td>原子炉水位(広帯域)^{※1} 原子炉水位(燃料域)^{※1} 原子炉圧力^{※1}</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能</td> <td>ドライウェル圧力^{※1} 圧力抑制室圧力^{※1} サブプレッションプール水温度^{※1} 格納容器内雰囲気放射線モニタ^{※1}</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>事故時のプラント操作のための情報の把握機能</td> <td>原子炉水位(広帯域)^{※1} 原子炉水位(燃料域)^{※1} 原子炉圧力^{※1} ドライウェル圧力^{※1} 圧力抑制室圧力^{※1} サブプレッションプール水温度^{※1} 格納容器内雰囲気水素濃度^{※1} 格納容器内雰囲気酸素濃度^{※1} 気体廃棄物処理設備エアリフ排気放射線モニタ^{※1}</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>直接関連系</td> <td>計測制御電源室換気空調系 原子炉補機室換気空調系 換気空調補機非常用冷却水</td> <td>MS-1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 計装設備については計装ループ全体を示すため要素名を記載 ※2 「緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能」に属する設備であるが、設計基準事故の放射性気体廃棄物処理施設の破損時において期待していることから「事故時のプラント操作のための情報の把握機能」に分類。詳細な評価を補足説明資料37にて実施した。</p>	機能	対象系統・機器	重要度分類	事故時の炉心冷却状態の把握機能	原子炉水位(広帯域) ^{※1} 原子炉水位(燃料域) ^{※1} 原子炉圧力 ^{※1}	MS-2	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	ドライウェル圧力 ^{※1} 圧力抑制室圧力 ^{※1} サブプレッションプール水温度 ^{※1} 格納容器内雰囲気放射線モニタ ^{※1}	MS-2	事故時のプラント操作のための情報の把握機能	原子炉水位(広帯域) ^{※1} 原子炉水位(燃料域) ^{※1} 原子炉圧力 ^{※1} ドライウェル圧力 ^{※1} 圧力抑制室圧力 ^{※1} サブプレッションプール水温度 ^{※1} 格納容器内雰囲気水素濃度 ^{※1} 格納容器内雰囲気酸素濃度 ^{※1} 気体廃棄物処理設備エアリフ排気放射線モニタ ^{※1}	MS-2	直接関連系	計測制御電源室換気空調系 原子炉補機室換気空調系 換気空調補機非常用冷却水	MS-1																																																																				
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																		
事故時の炉心冷却状態の把握機能	原子炉水位(広帯域) ^{※1} 原子炉水位(燃料域) ^{※1} 原子炉圧力 ^{※1}	MS-2																																																																																		
事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	ドライウェル圧力 ^{※1} 圧力抑制室圧力 ^{※1} サブプレッションプール水温度 ^{※1} 格納容器内雰囲気放射線モニタ ^{※1}	MS-2																																																																																		
事故時のプラント操作のための情報の把握機能	原子炉水位(広帯域) ^{※1} 原子炉水位(燃料域) ^{※1} 原子炉圧力 ^{※1} ドライウェル圧力 ^{※1} 圧力抑制室圧力 ^{※1} サブプレッションプール水温度 ^{※1} 格納容器内雰囲気水素濃度 ^{※1} 格納容器内雰囲気酸素濃度 ^{※1} 気体廃棄物処理設備エアリフ排気放射線モニタ ^{※1}	MS-2																																																																																		
直接関連系	計測制御電源室換気空調系 原子炉補機室換気空調系 換気空調補機非常用冷却水	MS-1																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																										
	<p>表 3-2 「プール冷却」及び「プールへの給水」機能を有する系統の抽出結果</p> <table border="1" data-bbox="698 258 1270 443"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プール冷却機能</td> <td>燃料プール冷却浄化系 残留熱除去系 使用済燃料プール水温度^{※1}</td> <td>PS-3</td> </tr> <tr> <td>プール給水機能</td> <td>燃料プール補給水系 残留熱除去系 使用済燃料プール水位^{※1}</td> <td>MS-2 MS-3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 計装設備については計装ループ全体を示すため要素名を記載</p>	機能	対象系統・機器	重要度分類	プール冷却機能	燃料プール冷却浄化系 残留熱除去系 使用済燃料プール水温度 ^{※1}	PS-3	プール給水機能	燃料プール補給水系 残留熱除去系 使用済燃料プール水位 ^{※1}	MS-2 MS-3	<p>表 3-2 「ピット冷却」及び「ピットへの給水」機能を有する系統の抽出結果</p> <table border="1" data-bbox="1288 258 1859 443"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・設備</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ピット冷却機能</td> <td>使用済燃料ピット 使用済燃料ピット水浄化冷却設備 使用済燃料ピット温度[※]</td> <td>PS-2 PS-3</td> </tr> <tr> <td>ピット給水機能</td> <td>燃料取替用水ピット 燃料取替用水ポンプ 使用済燃料ピット水補給ライン 使用済燃料ピット水位[※]</td> <td>MS-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 計装設備については計装ループ全体を示すため要素名を記載</p>	機能	対象系統・設備	重要度分類	ピット冷却機能	使用済燃料ピット 使用済燃料ピット水浄化冷却設備 使用済燃料ピット温度 [※]	PS-2 PS-3	ピット給水機能	燃料取替用水ピット 燃料取替用水ポンプ 使用済燃料ピット水補給ライン 使用済燃料ピット水位 [※]	MS-2																																																									
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																											
プール冷却機能	燃料プール冷却浄化系 残留熱除去系 使用済燃料プール水温度 ^{※1}	PS-3																																																																											
プール給水機能	燃料プール補給水系 残留熱除去系 使用済燃料プール水位 ^{※1}	MS-2 MS-3																																																																											
機能	対象系統・設備	重要度分類																																																																											
ピット冷却機能	使用済燃料ピット 使用済燃料ピット水浄化冷却設備 使用済燃料ピット温度 [※]	PS-2 PS-3																																																																											
ピット給水機能	燃料取替用水ピット 燃料取替用水ポンプ 使用済燃料ピット水補給ライン 使用済燃料ピット水位 [※]	MS-2																																																																											
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (1/17)</p> <table border="1" data-bbox="698 630 1270 1228"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="17">PS-1</td> <td rowspan="17">その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="17">①炉心冷却材圧力バウンダリ機能 ②過剰反応度の抑制防止機能 ③炉心形状の維持機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能として、左記機器は静的機器又は原子炉格納容器内機器であるため、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>原子炉再循環ポンプ</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> </tbody> </table>	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	PS-1	その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器	①炉心冷却材圧力バウンダリ機能 ②過剰反応度の抑制防止機能 ③炉心形状の維持機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能として、左記機器は静的機器又は原子炉格納容器内機器であるため、溢水による影響を受けない。	原子炉再循環ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (1/13)</p> <table border="1" data-bbox="1288 630 1859 1257"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">PS-1</td> <td rowspan="13">その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="13">①炉心冷却材圧力バウンダリ機能 ②過剰反応度の抑制防止機能 ③炉心形状の維持機能</td> <td>原子炉格納容器</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能として、左記機器は静的機器又は原子炉格納容器内機器であるため、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却ポンプ</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却ポンプ</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却ポンプ</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却ポンプ</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却ポンプ</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却ポンプ</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却ポンプ</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却ポンプ</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却ポンプ</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却ポンプ</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却ポンプ</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却ポンプ</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器については、溢水影響評価上の扱いを（ ）内に整理。</p>	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	PS-1	その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器	①炉心冷却材圧力バウンダリ機能 ②過剰反応度の抑制防止機能 ③炉心形状の維持機能	原子炉格納容器	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能として、左記機器は静的機器又は原子炉格納容器内機器であるため、溢水による影響を受けない。	燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																									
PS-1	その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器	①炉心冷却材圧力バウンダリ機能 ②過剰反応度の抑制防止機能 ③炉心形状の維持機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能として、左記機器は静的機器又は原子炉格納容器内機器であるため、溢水による影響を受けない。																																																																									
			原子炉再循環ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																						
PS-1	その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器	①炉心冷却材圧力バウンダリ機能 ②過剰反応度の抑制防止機能 ③炉心形状の維持機能	原子炉格納容器	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能として、左記機器は静的機器又は原子炉格納容器内機器であるため、溢水による影響を受けない。																																																																									
			燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									
			燃料冷却ポンプ	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能を構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																					
<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (2/17)</p> <table border="1" data-bbox="696 247 1272 877"> <thead> <tr> <th colspan="3">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td>1) 原子炉の緊急停止機能</td> <td>原子炉停止系の制御棒による系（制御棒及び制御棒駆動系（スクラム機能））</td> <td>制御棒 制御棒案内管 制御棒駆動機構 制御棒駆動機構カップリング</td> <td>原子炉の緊急停止機能</td> </tr> <tr> <td>2) 未臨界維持機能</td> <td>原子炉停止系（制御棒による系、ほう酸水注入系）</td> <td>制御棒 制御棒カップリング 直接関連系（制御棒駆動系、制御棒駆動機構ハウジング、水圧系）</td> <td>未臨界維持機能</td> </tr> <tr> <td>3) 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> <td>過がし安全弁（安全弁としての関機能）</td> <td>主要気流がし安全弁（安全弁としての関機能）</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> </tr> <tr> <td>4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td>残留熱を除去する系統（残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレィ系、過がし安全弁（手動過がし機能）、自動減圧系（手動過がし機能））</td> <td>直接関連系（残留熱除去系） 熱交換器バイパス配管及び弁</td> <td>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器	MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	1) 原子炉の緊急停止機能	原子炉停止系の制御棒による系（制御棒及び制御棒駆動系（スクラム機能））	制御棒 制御棒案内管 制御棒駆動機構 制御棒駆動機構カップリング	原子炉の緊急停止機能	2) 未臨界維持機能	原子炉停止系（制御棒による系、ほう酸水注入系）	制御棒 制御棒カップリング 直接関連系（制御棒駆動系、制御棒駆動機構ハウジング、水圧系）	未臨界維持機能	3) 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	過がし安全弁（安全弁としての関機能）	主要気流がし安全弁（安全弁としての関機能）	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統（残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレィ系、過がし安全弁（手動過がし機能）、自動減圧系（手動過がし機能））	直接関連系（残留熱除去系） 熱交換器バイパス配管及び弁	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (2/13)</p> <table border="1" data-bbox="1279 247 1863 949"> <thead> <tr> <th colspan="3">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">MS-1</td> <td rowspan="3">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td>1) 原子炉の緊急停止機能</td> <td>原子炉停止系の制御棒による系（制御棒駆動系（スクラム機能）及び制御棒駆動系（スクラム機能））</td> <td>制御棒 制御棒クワスタ案内管 制御棒駆動装置（トリップ機能） 直接関連系 ・制御棒駆動系 ・制御棒駆動機構ハウジング</td> <td>原子炉の緊急停止機能</td> </tr> <tr> <td>2) 未臨界維持機能</td> <td>原子炉停止系（制御棒による系、化学体積別調整系及び非常用炉心冷却系、ほう酸水注入機能）</td> <td>制御棒 直接関連系（制御棒駆動系） 化学体積別調整系（ほう酸水注入機能） ・充てんポンプ ・ほう酸ポンプ ・ほう酸タンク ・ほう酸フィルタ ・再生熱交換器 ・配管及び弁（ほう酸タンクからほう酸ポンプ、再生熱交換器を経て1次冷却系までの範囲）</td> <td>未臨界維持機能</td> </tr> <tr> <td>3) 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> <td>加圧器安全弁（関機能）</td> <td>加圧器安全弁（関機能）</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器	MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	1) 原子炉の緊急停止機能	原子炉停止系の制御棒による系（制御棒駆動系（スクラム機能）及び制御棒駆動系（スクラム機能））	制御棒 制御棒クワスタ案内管 制御棒駆動装置（トリップ機能） 直接関連系 ・制御棒駆動系 ・制御棒駆動機構ハウジング	原子炉の緊急停止機能	2) 未臨界維持機能	原子炉停止系（制御棒による系、化学体積別調整系及び非常用炉心冷却系、ほう酸水注入機能）	制御棒 直接関連系（制御棒駆動系） 化学体積別調整系（ほう酸水注入機能） ・充てんポンプ ・ほう酸ポンプ ・ほう酸タンク ・ほう酸フィルタ ・再生熱交換器 ・配管及び弁（ほう酸タンクからほう酸ポンプ、再生熱交換器を経て1次冷却系までの範囲）	未臨界維持機能	3) 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	加圧器安全弁（関機能）	加圧器安全弁（関機能）	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	<p>相違理由</p>
	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉			重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																	
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																				
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	1) 原子炉の緊急停止機能	原子炉停止系の制御棒による系（制御棒及び制御棒駆動系（スクラム機能））	制御棒 制御棒案内管 制御棒駆動機構 制御棒駆動機構カップリング	原子炉の緊急停止機能																																																			
		2) 未臨界維持機能	原子炉停止系（制御棒による系、ほう酸水注入系）	制御棒 制御棒カップリング 直接関連系（制御棒駆動系、制御棒駆動機構ハウジング、水圧系）	未臨界維持機能																																																			
		3) 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	過がし安全弁（安全弁としての関機能）	主要気流がし安全弁（安全弁としての関機能）	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能																																																			
		4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統（残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレィ系、過がし安全弁（手動過がし機能）、自動減圧系（手動過がし機能））	直接関連系（残留熱除去系） 熱交換器バイパス配管及び弁	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能																																																			
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																			
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																				
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	1) 原子炉の緊急停止機能	原子炉停止系の制御棒による系（制御棒駆動系（スクラム機能）及び制御棒駆動系（スクラム機能））	制御棒 制御棒クワスタ案内管 制御棒駆動装置（トリップ機能） 直接関連系 ・制御棒駆動系 ・制御棒駆動機構ハウジング	原子炉の緊急停止機能																																																			
		2) 未臨界維持機能	原子炉停止系（制御棒による系、化学体積別調整系及び非常用炉心冷却系、ほう酸水注入機能）	制御棒 直接関連系（制御棒駆動系） 化学体積別調整系（ほう酸水注入機能） ・充てんポンプ ・ほう酸ポンプ ・ほう酸タンク ・ほう酸フィルタ ・再生熱交換器 ・配管及び弁（ほう酸タンクからほう酸ポンプ、再生熱交換器を経て1次冷却系までの範囲）	未臨界維持機能																																																			
		3) 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	加圧器安全弁（関機能）	加圧器安全弁（関機能）	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能																																																			
		<p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、溢水影響評価上の扱いを（ ）内に整理。</p>																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																			
<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (3/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="4">4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td>残留熱を除去する系統（残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイス系、手動過がし機能）、自動減圧系（手動過がし機能）</td> <td>原子炉隔離時冷却系（ポンプ、サブプレッションチェンバ、タービン、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁）</td> <td rowspan="4"> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉停止後における除熱のための隔離熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能 </td> </tr> <tr> <td>直接関連系（原子炉隔離時冷却系）</td> <td>タービンへの蒸気供給配管、弁 ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッションチェンバ内のストレーナ 復水貯蔵タンク ポンプの復水貯蔵タンクからの送込配管、弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁 潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイス系（ポンプ、サブプレッションチェンバからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスレーズヤ）</td> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッションチェンバ内のストレーナ 復水貯蔵タンク ポンプの復水貯蔵タンクからの送込配管、弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（高圧炉心スプレイス系）</td> <td>主蒸気過がし安全弁（手動過がし機能）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>直接関連系（手動過がし機能）</td> <td>原子炉圧力容器から主蒸気過がし安全弁までの主蒸気配管</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉停止後における除熱のための隔離熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力過がし機能 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>直接関連系（手動過がし機能）</td> <td>駆動用蒸気源（アキュムレータ、アキュムレータから主蒸気過がし安全弁までの配管、弁）</td> <td>圧縮空気供給機能</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統（残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイス系、手動過がし機能）、自動減圧系（手動過がし機能）	原子炉隔離時冷却系（ポンプ、サブプレッションチェンバ、タービン、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁）	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉停止後における除熱のための隔離熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能 	直接関連系（原子炉隔離時冷却系）	タービンへの蒸気供給配管、弁 ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッションチェンバ内のストレーナ 復水貯蔵タンク ポンプの復水貯蔵タンクからの送込配管、弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁 潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管	高圧炉心スプレイス系（ポンプ、サブプレッションチェンバからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスレーズヤ）	ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッションチェンバ内のストレーナ 復水貯蔵タンク ポンプの復水貯蔵タンクからの送込配管、弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁	直接関連系（高圧炉心スプレイス系）	主蒸気過がし安全弁（手動過がし機能）				直接関連系（手動過がし機能）	原子炉圧力容器から主蒸気過がし安全弁までの主蒸気配管	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉停止後における除熱のための隔離熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力過がし機能 				直接関連系（手動過がし機能）	駆動用蒸気源（アキュムレータ、アキュムレータから主蒸気過がし安全弁までの配管、弁）	圧縮空気供給機能	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (3/13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="4">4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td>残留熱を除去する系統（残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイス系、手動過がし機能）、自動減圧系（手動過がし機能）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 非冷却設備 ・余熱除去ポンプ ・余熱除去冷却器 ・配管及び弁（余熱除去運転モードのルートとなる範囲） </td> <td rowspan="4"> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための二次系への供給機能 原子炉停止後における除熱のための二次系への供給機能 原子炉停止後における除熱のための二次系への供給機能 </td> </tr> <tr> <td>直接関連系（原子炉隔離時冷却系）</td> <td>タービンへの蒸気供給配管、弁 ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッションチェンバ内のストレーナ 復水貯蔵タンク ポンプの復水貯蔵タンクからの送込配管、弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁 潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイス系（ポンプ、サブプレッションチェンバからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスレーズヤ）</td> <td>タービン駆動補助水ポンプ ・タービン補助給水ポンプ ・補助給水ピット ・配管及び弁（補助給水ピットから補助給水ポンプを経て主給水配管との合流部までの範囲）</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（高圧炉心スプレイス系）</td> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁 ポンプミニマムフローラインの配管、弁 ポンプミニマムフローラインの配管、弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>直接関連系（手動過がし機能）</td> <td>原子炉圧力容器から主蒸気過がし安全弁までの主蒸気配管</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉停止後における除熱のための隔離熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力過がし機能 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>直接関連系（手動過がし機能）</td> <td>駆動用蒸気源（アキュムレータ、アキュムレータから主蒸気過がし安全弁までの配管、弁）</td> <td>圧縮空気供給機能</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統（残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイス系、手動過がし機能）、自動減圧系（手動過がし機能）	<ul style="list-style-type: none"> 非冷却設備 ・余熱除去ポンプ ・余熱除去冷却器 ・配管及び弁（余熱除去運転モードのルートとなる範囲） 	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための二次系への供給機能 原子炉停止後における除熱のための二次系への供給機能 原子炉停止後における除熱のための二次系への供給機能 	直接関連系（原子炉隔離時冷却系）	タービンへの蒸気供給配管、弁 ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッションチェンバ内のストレーナ 復水貯蔵タンク ポンプの復水貯蔵タンクからの送込配管、弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁 潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管	高圧炉心スプレイス系（ポンプ、サブプレッションチェンバからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスレーズヤ）	タービン駆動補助水ポンプ ・タービン補助給水ポンプ ・補助給水ピット ・配管及び弁（補助給水ピットから補助給水ポンプを経て主給水配管との合流部までの範囲）	直接関連系（高圧炉心スプレイス系）	ポンプミニマムフローラインの配管、弁 ポンプミニマムフローラインの配管、弁 ポンプミニマムフローラインの配管、弁				直接関連系（手動過がし機能）	原子炉圧力容器から主蒸気過がし安全弁までの主蒸気配管	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉停止後における除熱のための隔離熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力過がし機能 				直接関連系（手動過がし機能）	駆動用蒸気源（アキュムレータ、アキュムレータから主蒸気過がし安全弁までの配管、弁）	圧縮空気供給機能	<p>相違理由</p> <p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、配水影響評価上の扱いを（ ）内に整理。</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																		
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																																			
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統（残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイス系、手動過がし機能）、自動減圧系（手動過がし機能）	原子炉隔離時冷却系（ポンプ、サブプレッションチェンバ、タービン、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁）	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉停止後における除熱のための隔離熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能 																																																																	
			直接関連系（原子炉隔離時冷却系）	タービンへの蒸気供給配管、弁 ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッションチェンバ内のストレーナ 復水貯蔵タンク ポンプの復水貯蔵タンクからの送込配管、弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁 潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管																																																																		
			高圧炉心スプレイス系（ポンプ、サブプレッションチェンバからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスレーズヤ）	ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッションチェンバ内のストレーナ 復水貯蔵タンク ポンプの復水貯蔵タンクからの送込配管、弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁																																																																		
			直接関連系（高圧炉心スプレイス系）	主蒸気過がし安全弁（手動過がし機能）																																																																		
			直接関連系（手動過がし機能）	原子炉圧力容器から主蒸気過がし安全弁までの主蒸気配管	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉停止後における除熱のための隔離熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力過がし機能 																																																																	
			直接関連系（手動過がし機能）	駆動用蒸気源（アキュムレータ、アキュムレータから主蒸気過がし安全弁までの配管、弁）	圧縮空気供給機能																																																																	
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																		
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																																			
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統（残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイス系、手動過がし機能）、自動減圧系（手動過がし機能）	<ul style="list-style-type: none"> 非冷却設備 ・余熱除去ポンプ ・余熱除去冷却器 ・配管及び弁（余熱除去運転モードのルートとなる範囲） 	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための二次系への供給機能 原子炉停止後における除熱のための二次系への供給機能 原子炉停止後における除熱のための二次系への供給機能 																																																																	
			直接関連系（原子炉隔離時冷却系）	タービンへの蒸気供給配管、弁 ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッションチェンバ内のストレーナ 復水貯蔵タンク ポンプの復水貯蔵タンクからの送込配管、弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁 潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管																																																																		
			高圧炉心スプレイス系（ポンプ、サブプレッションチェンバからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスレーズヤ）	タービン駆動補助水ポンプ ・タービン補助給水ポンプ ・補助給水ピット ・配管及び弁（補助給水ピットから補助給水ポンプを経て主給水配管との合流部までの範囲）																																																																		
			直接関連系（高圧炉心スプレイス系）	ポンプミニマムフローラインの配管、弁 ポンプミニマムフローラインの配管、弁 ポンプミニマムフローラインの配管、弁																																																																		
			直接関連系（手動過がし機能）	原子炉圧力容器から主蒸気過がし安全弁までの主蒸気配管	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉停止後における除熱のための隔離熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力過がし機能 																																																																	
			直接関連系（手動過がし機能）	駆動用蒸気源（アキュムレータ、アキュムレータから主蒸気過がし安全弁までの配管、弁）	圧縮空気供給機能																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																			
<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(4/17)</p> <table border="1" data-bbox="696 252 1249 1010"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td rowspan="2">残留熱を除去する系統（残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイ系、透過し安全弁（手動透過し機能）、自動減圧系（手動透過し機能））</td> <td>残留熱除去系（高圧注水モード）（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁（熱交換器バイパスライン含む）、注水ヘッド）</td> <td>自動減圧系（手動透過し機能）</td> <td>・原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力透過し機能</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却系（低圧炉心スプレイ系、高圧炉心スプレイ系、自動減圧系）</td> <td>直線関連系（自動減圧系（手動透過し機能））</td> <td>圧縮空気供給機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="4">5) 炉心冷却機能</td> <td>残留熱除去系（低圧注水モード）（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁（熱交換器バイパスライン含む）、注水ヘッド）</td> <td>直線関連系（残留熱除去系（低圧注水モード））</td> <td rowspan="4">・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における圧力透過し機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における圧力透過し機能</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレイ先までの配管、弁、スプレイスバーージャ）</td> <td>直線関連系（高圧炉心スプレイ系）</td> </tr> <tr> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁</td> <td>直線関連系（ポンプミニマムフローラインの配管、弁）</td> </tr> <tr> <td>ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込弁、ポンプからの吸込配管、弁</td> <td>直線関連系（高圧炉心スプレイ系）</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-1	4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統（残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイ系、透過し安全弁（手動透過し機能）、自動減圧系（手動透過し機能））	残留熱除去系（高圧注水モード）（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁（熱交換器バイパスライン含む）、注水ヘッド）	自動減圧系（手動透過し機能）	・原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力透過し機能	非常用炉心冷却系（低圧炉心スプレイ系、高圧炉心スプレイ系、自動減圧系）	直線関連系（自動減圧系（手動透過し機能））	圧縮空気供給機能	MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	残留熱除去系（低圧注水モード）（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁（熱交換器バイパスライン含む）、注水ヘッド）	直線関連系（残留熱除去系（低圧注水モード））	・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における圧力透過し機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における圧力透過し機能	高圧炉心スプレイ系（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレイ先までの配管、弁、スプレイスバーージャ）	直線関連系（高圧炉心スプレイ系）	ポンプミニマムフローラインの配管、弁	直線関連系（ポンプミニマムフローラインの配管、弁）	ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込弁、ポンプからの吸込配管、弁	直線関連系（高圧炉心スプレイ系）	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (4/13)</p> <table border="1" data-bbox="1285 252 1854 922"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">6) 放射線物質の閉じ込め機能、放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td>非常用炉心冷却系（低圧注水モード）（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁（熱交換器バイパスライン含む）、注水ヘッド）</td> <td>原子炉格納容器、原子炉格納容器スプレイ系、原子炉格納容器スプレイヘッド</td> <td>・原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力透過し機能</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却系（高圧注水モード）（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁（熱交換器バイパスライン含む）、注水ヘッド）</td> <td>原子炉格納容器、原子炉格納容器スプレイ系、原子炉格納容器スプレイヘッド</td> <td>圧縮空気供給機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="4">6) 放射線物質の閉じ込め機能、放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td>高圧炉心スプレイ系（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレイ先までの配管、弁、スプレイスバーージャ）</td> <td>原子炉格納容器スプレイ系、原子炉格納容器スプレイヘッド</td> <td rowspan="4">・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における圧力透過し機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における圧力透過し機能</td> </tr> <tr> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁</td> <td>原子炉格納容器スプレイ系、原子炉格納容器スプレイヘッド</td> </tr> <tr> <td>ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込弁、ポンプからの吸込配管、弁</td> <td>原子炉格納容器スプレイ系、原子炉格納容器スプレイヘッド</td> </tr> <tr> <td>直線関連系（高圧炉心スプレイ系）</td> <td>原子炉格納容器スプレイ系、原子炉格納容器スプレイヘッド</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、溢水影響評価上の扱いを（ ）内に整理。</p>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	6) 放射線物質の閉じ込め機能、放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	非常用炉心冷却系（低圧注水モード）（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁（熱交換器バイパスライン含む）、注水ヘッド）	原子炉格納容器、原子炉格納容器スプレイ系、原子炉格納容器スプレイヘッド	・原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力透過し機能	非常用炉心冷却系（高圧注水モード）（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁（熱交換器バイパスライン含む）、注水ヘッド）	原子炉格納容器、原子炉格納容器スプレイ系、原子炉格納容器スプレイヘッド	圧縮空気供給機能	MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	6) 放射線物質の閉じ込め機能、放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	高圧炉心スプレイ系（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレイ先までの配管、弁、スプレイスバーージャ）	原子炉格納容器スプレイ系、原子炉格納容器スプレイヘッド	・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における圧力透過し機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における圧力透過し機能	ポンプミニマムフローラインの配管、弁	原子炉格納容器スプレイ系、原子炉格納容器スプレイヘッド	ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込弁、ポンプからの吸込配管、弁	原子炉格納容器スプレイ系、原子炉格納容器スプレイヘッド	直線関連系（高圧炉心スプレイ系）	原子炉格納容器スプレイ系、原子炉格納容器スプレイヘッド	<p>相違理由</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																		
MS-1	4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統（残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイ系、透過し安全弁（手動透過し機能）、自動減圧系（手動透過し機能））	残留熱除去系（高圧注水モード）（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁（熱交換器バイパスライン含む）、注水ヘッド）	自動減圧系（手動透過し機能）	・原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力透過し機能																																																																	
			非常用炉心冷却系（低圧炉心スプレイ系、高圧炉心スプレイ系、自動減圧系）	直線関連系（自動減圧系（手動透過し機能））	圧縮空気供給機能																																																																	
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	残留熱除去系（低圧注水モード）（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁（熱交換器バイパスライン含む）、注水ヘッド）	直線関連系（残留熱除去系（低圧注水モード））	・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における圧力透過し機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における圧力透過し機能																																																																	
			高圧炉心スプレイ系（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレイ先までの配管、弁、スプレイスバーージャ）	直線関連系（高圧炉心スプレイ系）																																																																		
			ポンプミニマムフローラインの配管、弁	直線関連系（ポンプミニマムフローラインの配管、弁）																																																																		
			ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込弁、ポンプからの吸込配管、弁	直線関連系（高圧炉心スプレイ系）																																																																		
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																		
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	6) 放射線物質の閉じ込め機能、放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	非常用炉心冷却系（低圧注水モード）（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁（熱交換器バイパスライン含む）、注水ヘッド）	原子炉格納容器、原子炉格納容器スプレイ系、原子炉格納容器スプレイヘッド	・原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力透過し機能																																																																	
			非常用炉心冷却系（高圧注水モード）（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁（熱交換器バイパスライン含む）、注水ヘッド）	原子炉格納容器、原子炉格納容器スプレイ系、原子炉格納容器スプレイヘッド	圧縮空気供給機能																																																																	
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	6) 放射線物質の閉じ込め機能、放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	高圧炉心スプレイ系（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレイ先までの配管、弁、スプレイスバーージャ）	原子炉格納容器スプレイ系、原子炉格納容器スプレイヘッド	・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における圧力透過し機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における圧力透過し機能																																																																	
			ポンプミニマムフローラインの配管、弁	原子炉格納容器スプレイ系、原子炉格納容器スプレイヘッド																																																																		
			ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込弁、ポンプからの吸込配管、弁	原子炉格納容器スプレイ系、原子炉格納容器スプレイヘッド																																																																		
			直線関連系（高圧炉心スプレイ系）	原子炉格納容器スプレイ系、原子炉格納容器スプレイヘッド																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																												
	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(5/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">5) 炉心冷却機能</td> <td rowspan="2">非常用炉心冷却系（低圧炉心スプレイス系、高圧炉心スプレイス系、自動減圧系）</td> <td>自動減圧系（主蒸気過熱し安全弁）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 事故時の原子炉の状態で定じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能 事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能 </td> </tr> <tr> <td>直接関連系（自動減圧系（主蒸気過熱し安全弁））</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 駆動用空車庫（アキムレータ、アキムレータから主蒸気過熱し安全弁までの配管、弁） </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器、原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレイス冷却系、原子炉格納容器、非常用ガス処理系、非常用再循環ガス処理系、可燃性ガス濃度制御系</td> <td>原子炉格納容器（格納容器本体、貫通部、尚且用エアロック、機器搬出入用ハッチ）</td> <td rowspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> 真空破壊弁及び原子炉格納容器排気隔離弁については、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能として考慮、それ以外は静的機器であるため、溢水による影響を受けない） </td> </tr> <tr> <td>直接関連系（原子炉格納容器）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ベント管 スプレイス管 真空破壊弁 主蒸気過熱し安全弁排気管のクエンチヤ </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器、非常用ガス処理系、非常用再循環ガス処理系、可燃性ガス濃度制御系</td> <td>原子炉格納容器（原子炉格納容器）</td> <td rowspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能 圧縮空気供給機能 </td> </tr> <tr> <td>直接関連系（原子炉格納容器）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 主蒸気隔離弁駆動用空気又は空車庫（アキムレータ、アキムレータから主蒸気隔離弁までの配管、弁） </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>主蒸気流量制限器</td> <td>（放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない）</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-1	5) 炉心冷却機能	非常用炉心冷却系（低圧炉心スプレイス系、高圧炉心スプレイス系、自動減圧系）	自動減圧系（主蒸気過熱し安全弁）	<ul style="list-style-type: none"> 事故時の原子炉の状態で定じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能 事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能 	直接関連系（自動減圧系（主蒸気過熱し安全弁））	<ul style="list-style-type: none"> 駆動用空車庫（アキムレータ、アキムレータから主蒸気過熱し安全弁までの配管、弁） 	MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	原子炉格納容器、原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレイス冷却系、原子炉格納容器、非常用ガス処理系、非常用再循環ガス処理系、可燃性ガス濃度制御系	原子炉格納容器（格納容器本体、貫通部、尚且用エアロック、機器搬出入用ハッチ）	<ul style="list-style-type: none"> 真空破壊弁及び原子炉格納容器排気隔離弁については、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能として考慮、それ以外は静的機器であるため、溢水による影響を受けない） 	直接関連系（原子炉格納容器）	<ul style="list-style-type: none"> ベント管 スプレイス管 真空破壊弁 主蒸気過熱し安全弁排気管のクエンチヤ 	MS-1	6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	原子炉格納容器、非常用ガス処理系、非常用再循環ガス処理系、可燃性ガス濃度制御系	原子炉格納容器（原子炉格納容器）	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能 圧縮空気供給機能 	直接関連系（原子炉格納容器）	<ul style="list-style-type: none"> 主蒸気隔離弁駆動用空気又は空車庫（アキムレータ、アキムレータから主蒸気隔離弁までの配管、弁） 				主蒸気流量制限器	（放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない）	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(5/13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設が安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">1) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能</td> <td rowspan="2">安全監視系</td> <td>原子炉有電圧監視</td> <td rowspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉停止系に対する作動信号（停炉停止して作動させるものを除く）の発生機能 工学的安全施設に分類される機器群しくは系統に対する作動信号の発生機能 </td> </tr> <tr> <td>原子炉トリップ安全監視装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">2) 安全上必要な設備</td> <td>非常用炉心冷却系</td> <td rowspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> 非常用炉心冷却系 ディーゼル機関 発電機 発電機から供給可能な圧力調整装置及び電機 非常用炉心冷却系機器 非常用炉心冷却系機器から非常用の負荷に対し電力が供給される機能 </td> </tr> <tr> <td>直接関連系（非常用炉心冷却系）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 送電線 送電線 非常用炉心冷却系（自動供給）からディーゼル機関まで 冷却材系 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">2) 安全上必要な設備</td> <td>原子炉格納容器冷却水、原子炉格納容器隔離弁冷却水、非常用再循環ガス、非常用圧縮空気設備</td> <td rowspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> （安全上特に重要な機器として、中央制御室及び中央制御室4層水影響評価上の溢水が現地に前記設定し、炉心格納容器冷却水として設計、中央制御室へは計測的施設であるため、溢水による影響を受けない） </td> </tr> <tr> <td>中央制御室隔離弁</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器冷却水 原子炉格納容器隔離弁冷却水 非常用再循環ガス 非常用圧縮空気設備 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>原子炉格納容器冷却水</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器冷却水 原子炉格納容器隔離弁冷却水 非常用再循環ガス 非常用圧縮空気設備 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>直接関連系（非常用炉心冷却系）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器冷却水 原子炉格納容器隔離弁冷却水 非常用再循環ガス 非常用圧縮空気設備 </td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設が安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	安全監視系	原子炉有電圧監視	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉停止系に対する作動信号（停炉停止して作動させるものを除く）の発生機能 工学的安全施設に分類される機器群しくは系統に対する作動信号の発生機能 	原子炉トリップ安全監視装置	MS-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上必要な設備	非常用炉心冷却系	<ul style="list-style-type: none"> 非常用炉心冷却系 ディーゼル機関 発電機 発電機から供給可能な圧力調整装置及び電機 非常用炉心冷却系機器 非常用炉心冷却系機器から非常用の負荷に対し電力が供給される機能 	直接関連系（非常用炉心冷却系）	<ul style="list-style-type: none"> 送電線 送電線 非常用炉心冷却系（自動供給）からディーゼル機関まで 冷却材系 	MS-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上必要な設備	原子炉格納容器冷却水、原子炉格納容器隔離弁冷却水、非常用再循環ガス、非常用圧縮空気設備	<ul style="list-style-type: none"> （安全上特に重要な機器として、中央制御室及び中央制御室4層水影響評価上の溢水が現地に前記設定し、炉心格納容器冷却水として設計、中央制御室へは計測的施設であるため、溢水による影響を受けない） 	中央制御室隔離弁	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器冷却水 原子炉格納容器隔離弁冷却水 非常用再循環ガス 非常用圧縮空気設備 				原子炉格納容器冷却水	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器冷却水 原子炉格納容器隔離弁冷却水 非常用再循環ガス 非常用圧縮空気設備 				直接関連系（非常用炉心冷却系）	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器冷却水 原子炉格納容器隔離弁冷却水 非常用再循環ガス 非常用圧縮空気設備 	<p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器については、溢水影響評価上の扱いを（ ）内に整理。</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																											
分類	定義	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																												
MS-1	5) 炉心冷却機能	非常用炉心冷却系（低圧炉心スプレイス系、高圧炉心スプレイス系、自動減圧系）	自動減圧系（主蒸気過熱し安全弁）	<ul style="list-style-type: none"> 事故時の原子炉の状態で定じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能 事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能 																																																																											
			直接関連系（自動減圧系（主蒸気過熱し安全弁））	<ul style="list-style-type: none"> 駆動用空車庫（アキムレータ、アキムレータから主蒸気過熱し安全弁までの配管、弁） 																																																																											
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	原子炉格納容器、原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレイス冷却系、原子炉格納容器、非常用ガス処理系、非常用再循環ガス処理系、可燃性ガス濃度制御系	原子炉格納容器（格納容器本体、貫通部、尚且用エアロック、機器搬出入用ハッチ）	<ul style="list-style-type: none"> 真空破壊弁及び原子炉格納容器排気隔離弁については、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能として考慮、それ以外は静的機器であるため、溢水による影響を受けない） 																																																																											
			直接関連系（原子炉格納容器）		<ul style="list-style-type: none"> ベント管 スプレイス管 真空破壊弁 主蒸気過熱し安全弁排気管のクエンチヤ 																																																																										
MS-1	6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	原子炉格納容器、非常用ガス処理系、非常用再循環ガス処理系、可燃性ガス濃度制御系	原子炉格納容器（原子炉格納容器）	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能 圧縮空気供給機能 																																																																											
			直接関連系（原子炉格納容器）		<ul style="list-style-type: none"> 主蒸気隔離弁駆動用空気又は空車庫（アキムレータ、アキムレータから主蒸気隔離弁までの配管、弁） 																																																																										
			主蒸気流量制限器	（放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない）																																																																											
発電用軽水型原子炉施設が安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																											
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																																												
MS-1	1) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	安全監視系	原子炉有電圧監視	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉停止系に対する作動信号（停炉停止して作動させるものを除く）の発生機能 工学的安全施設に分類される機器群しくは系統に対する作動信号の発生機能 																																																																											
			原子炉トリップ安全監視装置																																																																												
MS-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上必要な設備	非常用炉心冷却系	<ul style="list-style-type: none"> 非常用炉心冷却系 ディーゼル機関 発電機 発電機から供給可能な圧力調整装置及び電機 非常用炉心冷却系機器 非常用炉心冷却系機器から非常用の負荷に対し電力が供給される機能 																																																																											
			直接関連系（非常用炉心冷却系）		<ul style="list-style-type: none"> 送電線 送電線 非常用炉心冷却系（自動供給）からディーゼル機関まで 冷却材系 																																																																										
MS-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上必要な設備	原子炉格納容器冷却水、原子炉格納容器隔離弁冷却水、非常用再循環ガス、非常用圧縮空気設備	<ul style="list-style-type: none"> （安全上特に重要な機器として、中央制御室及び中央制御室4層水影響評価上の溢水が現地に前記設定し、炉心格納容器冷却水として設計、中央制御室へは計測的施設であるため、溢水による影響を受けない） 																																																																											
			中央制御室隔離弁		<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器冷却水 原子炉格納容器隔離弁冷却水 非常用再循環ガス 非常用圧縮空気設備 																																																																										
			原子炉格納容器冷却水	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器冷却水 原子炉格納容器隔離弁冷却水 非常用再循環ガス 非常用圧縮空気設備 																																																																											
			直接関連系（非常用炉心冷却系）	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器冷却水 原子炉格納容器隔離弁冷却水 非常用再循環ガス 非常用圧縮空気設備 																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																															
	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(6/17)</p> <table border="1" data-bbox="696 247 1256 1013"> <thead> <tr> <th colspan="3">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの変圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="4">6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能</td> <td rowspan="4">原子炉格納容器、原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレイクォーラ、原子炉格納容器スプレイクォーラ、原子炉格納容器、非常用ガス処理系、非常用再循環ガス処理系、可燃性ガス濃度制御系</td> <td>残留熱除去系（格納容器スプレイクォーラ）（ポンプ、熱交換機、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレイクォーラ（ドライウェル）及びサブプレッションチェンバ配管部）までの配管、弁、スプレイクォーラ（ドライウェル）及びサブプレッションチェンバ）</td> <td>格納容器の冷却機能</td> </tr> <tr> <td>直線型連系（残留熱除去（格納容器スプレイクォーラ））</td> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁</td> <td>格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能</td> </tr> <tr> <td>非常用ガス処理系（乾燥装置、排風機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉吸込口から排気口までの配管、弁）</td> <td>サブプレッションチェンバ内のストレート</td> <td>格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系（再結合装置、格納容器から再結合装置までの配管、弁、再結合装置から格納容器までの配管、弁）</td> <td>乾燥装置（乾燥機能部分）</td> <td>格納容器内の可燃性ガス制御機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">1) 工学的安全施設及び原子炉停止の作動信号の発生機能</td> <td>直線型連系（可燃性ガス濃度制御系）</td> <td>残留熱除去系（再結合装置への冷却水供給をつかさどる部分）</td> <td>(放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能として、左記機器は静的機器であるため、揺動による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>原子炉保護系への作動信号の発生機構 ・原子炉保護系の安全保護回路</td> <td>工学的安全施設への作動信号の発生機構 ・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 ・主要欠陥の安全保護回路 ・原子炉格納容器隔離の安全保護回路 ・非常用ガス処理系作動の安全保護回路</td> <td>原子炉保護系への作動信号の発生機構 ・原子炉保護系の安全保護回路</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器	MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの変圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	原子炉格納容器、原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレイクォーラ、原子炉格納容器スプレイクォーラ、原子炉格納容器、非常用ガス処理系、非常用再循環ガス処理系、可燃性ガス濃度制御系	残留熱除去系（格納容器スプレイクォーラ）（ポンプ、熱交換機、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレイクォーラ（ドライウェル）及びサブプレッションチェンバ配管部）までの配管、弁、スプレイクォーラ（ドライウェル）及びサブプレッションチェンバ）	格納容器の冷却機能	直線型連系（残留熱除去（格納容器スプレイクォーラ））	ポンプミニマムフローラインの配管、弁	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	非常用ガス処理系（乾燥装置、排風機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉吸込口から排気口までの配管、弁）	サブプレッションチェンバ内のストレート	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス濃度制御系（再結合装置、格納容器から再結合装置までの配管、弁、再結合装置から格納容器までの配管、弁）	乾燥装置（乾燥機能部分）	格納容器内の可燃性ガス制御機能	MS-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	1) 工学的安全施設及び原子炉停止の作動信号の発生機能	直線型連系（可燃性ガス濃度制御系）	残留熱除去系（再結合装置への冷却水供給をつかさどる部分）	(放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能として、左記機器は静的機器であるため、揺動による影響を受けない)	原子炉保護系への作動信号の発生機構 ・原子炉保護系の安全保護回路	工学的安全施設への作動信号の発生機構 ・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 ・主要欠陥の安全保護回路 ・原子炉格納容器隔離の安全保護回路 ・非常用ガス処理系作動の安全保護回路	原子炉保護系への作動信号の発生機構 ・原子炉保護系の安全保護回路	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(6/13)</p> <table border="1" data-bbox="1285 247 1861 981"> <thead> <tr> <th colspan="3">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">2) 安全上特に重要な関連機能</td> <td rowspan="2">非常用炉内冷却、制御室及びその遮へい、換気設備、原子炉格納容器注水、原子炉格納容器冷却、水素、水素発生機、非常用圧縮空気設備を有せし、MS-1関連のもの</td> <td>原子炉格納容器冷却設備 ・原子炉格納容器冷却ポンプ ・原子炉格納容器冷却ポンプ配管（格納容器から格納容器入口ストレート） ・原子炉格納容器冷却ポンプ配管（格納容器から格納容器入口ストレート） ・原子炉格納容器冷却ポンプ配管 ・配管及び弁 MS-1関連機器への格納容器ラインの接続</td> <td>冷却材の圧力調整機能</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器冷却ポンプ出口ストレート</td> <td>冷却材の圧力調整機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">PS-2</td> <td rowspan="2">1) その他又は故障により発生する事象によって、深刻な著しい損傷又は燃料の大量の破損を直ちに引き起こすおそれはないが、冷却材への過度の放射性物質の放出のおそれのある構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">1) 原子炉冷却材を内蔵する機能 ただし、原子炉冷却材圧力パウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びパウンダリに直接接続されないものは除く。</td> <td rowspan="2">化学体積制御装置の抽出、再処理</td> <td>化学体積制御装置の抽出、再処理</td> <td>化学体積制御装置の抽出、再処理 ・再処理装置 ・再処理装置の配管 ・冷却材格納入口フィルタ ・体積調整タンク ・充てんポンプ ・対入フィルタ ・対入ストレート ・配管及び弁</td> <td>原子炉冷却材を内蔵する機能としては、左記装置は格納容器又は再処理装置の喪失により安全機能に影響しないため、設計による影響を低減する</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材を内蔵する機能</td> <td>原子炉冷却材を内蔵する機能</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器	MS-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上特に重要な関連機能	非常用炉内冷却、制御室及びその遮へい、換気設備、原子炉格納容器注水、原子炉格納容器冷却、水素、水素発生機、非常用圧縮空気設備を有せし、MS-1関連のもの	原子炉格納容器冷却設備 ・原子炉格納容器冷却ポンプ ・原子炉格納容器冷却ポンプ配管（格納容器から格納容器入口ストレート） ・原子炉格納容器冷却ポンプ配管（格納容器から格納容器入口ストレート） ・原子炉格納容器冷却ポンプ配管 ・配管及び弁 MS-1関連機器への格納容器ラインの接続	冷却材の圧力調整機能	原子炉格納容器冷却ポンプ出口ストレート	冷却材の圧力調整機能	PS-2	1) その他又は故障により発生する事象によって、深刻な著しい損傷又は燃料の大量の破損を直ちに引き起こすおそれはないが、冷却材への過度の放射性物質の放出のおそれのある構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材を内蔵する機能 ただし、原子炉冷却材圧力パウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びパウンダリに直接接続されないものは除く。	化学体積制御装置の抽出、再処理	化学体積制御装置の抽出、再処理	化学体積制御装置の抽出、再処理 ・再処理装置 ・再処理装置の配管 ・冷却材格納入口フィルタ ・体積調整タンク ・充てんポンプ ・対入フィルタ ・対入ストレート ・配管及び弁	原子炉冷却材を内蔵する機能としては、左記装置は格納容器又は再処理装置の喪失により安全機能に影響しないため、設計による影響を低減する	原子炉冷却材を内蔵する機能	原子炉冷却材を内蔵する機能	<p>※1. 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、従来影響評価上の扱いを（ ）内に整理。</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																													
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																														
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの変圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	原子炉格納容器、原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレイクォーラ、原子炉格納容器スプレイクォーラ、原子炉格納容器、非常用ガス処理系、非常用再循環ガス処理系、可燃性ガス濃度制御系	残留熱除去系（格納容器スプレイクォーラ）（ポンプ、熱交換機、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレイクォーラ（ドライウェル）及びサブプレッションチェンバ配管部）までの配管、弁、スプレイクォーラ（ドライウェル）及びサブプレッションチェンバ）	格納容器の冷却機能																																																													
				直線型連系（残留熱除去（格納容器スプレイクォーラ））	ポンプミニマムフローラインの配管、弁	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能																																																												
				非常用ガス処理系（乾燥装置、排風機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉吸込口から排気口までの配管、弁）	サブプレッションチェンバ内のストレート	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能																																																												
				可燃性ガス濃度制御系（再結合装置、格納容器から再結合装置までの配管、弁、再結合装置から格納容器までの配管、弁）	乾燥装置（乾燥機能部分）	格納容器内の可燃性ガス制御機能																																																												
MS-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	1) 工学的安全施設及び原子炉停止の作動信号の発生機能	直線型連系（可燃性ガス濃度制御系）	残留熱除去系（再結合装置への冷却水供給をつかさどる部分）	(放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能として、左記機器は静的機器であるため、揺動による影響を受けない)																																																													
			原子炉保護系への作動信号の発生機構 ・原子炉保護系の安全保護回路	工学的安全施設への作動信号の発生機構 ・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 ・主要欠陥の安全保護回路 ・原子炉格納容器隔離の安全保護回路 ・非常用ガス処理系作動の安全保護回路	原子炉保護系への作動信号の発生機構 ・原子炉保護系の安全保護回路																																																													
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																													
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																														
MS-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上特に重要な関連機能	非常用炉内冷却、制御室及びその遮へい、換気設備、原子炉格納容器注水、原子炉格納容器冷却、水素、水素発生機、非常用圧縮空気設備を有せし、MS-1関連のもの	原子炉格納容器冷却設備 ・原子炉格納容器冷却ポンプ ・原子炉格納容器冷却ポンプ配管（格納容器から格納容器入口ストレート） ・原子炉格納容器冷却ポンプ配管（格納容器から格納容器入口ストレート） ・原子炉格納容器冷却ポンプ配管 ・配管及び弁 MS-1関連機器への格納容器ラインの接続	冷却材の圧力調整機能																																																													
				原子炉格納容器冷却ポンプ出口ストレート	冷却材の圧力調整機能																																																													
PS-2	1) その他又は故障により発生する事象によって、深刻な著しい損傷又は燃料の大量の破損を直ちに引き起こすおそれはないが、冷却材への過度の放射性物質の放出のおそれのある構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材を内蔵する機能 ただし、原子炉冷却材圧力パウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びパウンダリに直接接続されないものは除く。	化学体積制御装置の抽出、再処理	化学体積制御装置の抽出、再処理	化学体積制御装置の抽出、再処理 ・再処理装置 ・再処理装置の配管 ・冷却材格納入口フィルタ ・体積調整タンク ・充てんポンプ ・対入フィルタ ・対入ストレート ・配管及び弁	原子炉冷却材を内蔵する機能としては、左記装置は格納容器又は再処理装置の喪失により安全機能に影響しないため、設計による影響を低減する																																																												
				原子炉冷却材を内蔵する機能	原子炉冷却材を内蔵する機能																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(7/17)</p> <table border="1" data-bbox="703 256 1265 975"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">2)安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">2)安全上特に重要な関連機能</td> <td rowspan="2">非常用内電源系、制御室及びその連へい、非常用換気空調系、非常用機械冷却水系、直流電源系(いずれも、MS-1関連のもの)</td> <td colspan="2">非常用交流電源設備(ディーゼル機関、発電機、発電機から非常用負荷までの配電設備及び配線)</td> <td rowspan="2"> ・非常用の交流電源機能 ・非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">燃料系(ダイタンクからディーゼル機関まで) 起動用空気系(空気だめからディーゼル機関まで) 直結関連系(非常用交流電源設備) 換気系 冷却水系 潤滑油系 燃料移送系(軽油タンクからダイタンクまで) 軽油タンク</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td colspan="2">中央制御室及び中央制御室連動</td> <td>(安全上特に重要な関連機能として、中央制御室は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出。中央制御室連動は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">中央制御室換気空調系(放射線防護機能及び有毒ガス防護機能)(再循環送風機、再循環フィルタ装置、空気調和装置、送風機、排風機、ダクト及びダンパ)</td> <td>原子炉制御室非常用換気空調機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-2</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td colspan="2">原子炉機械冷却水系(ポンプ、熱交換器、非常用負荷冷却ライン配置、弁(弁-1関連))</td> <td rowspan="2">機械冷却機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">直結関連系(原子炉機械冷却水系)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-2</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td colspan="2">高圧炉心スプレイ補機冷却水系(ポンプ、熱交換器、配管、弁)</td> <td rowspan="2">補機冷却機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">直結関連系(高圧炉心スプレイ補機冷却水系)</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-1	2)安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2)安全上特に重要な関連機能	非常用内電源系、制御室及びその連へい、非常用換気空調系、非常用機械冷却水系、直流電源系(いずれも、MS-1関連のもの)	非常用交流電源設備(ディーゼル機関、発電機、発電機から非常用負荷までの配電設備及び配線)		・非常用の交流電源機能 ・非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	燃料系(ダイタンクからディーゼル機関まで) 起動用空気系(空気だめからディーゼル機関まで) 直結関連系(非常用交流電源設備) 換気系 冷却水系 潤滑油系 燃料移送系(軽油タンクからダイタンクまで) 軽油タンク		MS-1				中央制御室及び中央制御室連動		(安全上特に重要な関連機能として、中央制御室は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出。中央制御室連動は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)	中央制御室換気空調系(放射線防護機能及び有毒ガス防護機能)(再循環送風機、再循環フィルタ装置、空気調和装置、送風機、排風機、ダクト及びダンパ)		原子炉制御室非常用換気空調機能	MS-2				原子炉機械冷却水系(ポンプ、熱交換器、非常用負荷冷却ライン配置、弁(弁-1関連))		機械冷却機能	直結関連系(原子炉機械冷却水系)		MS-2				高圧炉心スプレイ補機冷却水系(ポンプ、熱交換器、配管、弁)		補機冷却機能	直結関連系(高圧炉心スプレイ補機冷却水系)		<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(7/13)</p> <table border="1" data-bbox="1285 248 1854 991"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PS-2</td> <td rowspan="2">1)その設備又は故障により発生する事象によって、炉心の著しい損傷又は燃料の大量の破損を著しに引き起こすおそれはないが、炉心への過剰の放射性物質の放出のおそれのある構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">3)燃料を安全に取り扱う機能</td> <td rowspan="2">燃料系</td> <td colspan="2">燃料系</td> <td rowspan="2"> (放射性物質を貯蔵する機能としては、左記施設は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) ・燃料貯蔵タンク ・燃料貯蔵タンク ・燃料貯蔵タンク ・燃料貯蔵タンク </td> </tr> <tr> <td colspan="2">燃料系</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">PS-2</td> <td rowspan="2">2)通常運転時及び過渡時の異常な過渡変化時に作動を要求されるものの為、その故障により、炉心冷却が阻害される可能性の高い構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">1)安全弁及び過剰し弁の吹き止まり機能</td> <td rowspan="2">加圧器安全弁、加圧器安全弁、吹き止まり機能に属する部分</td> <td colspan="2">加圧器安全弁、吹き止まり機能</td> <td rowspan="2"> (安全弁の吹き止まり機能として、右記施設は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) ・加圧器安全弁 ・加圧器安全弁 ・加圧器安全弁 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">加圧器安全弁、吹き止まり機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-2</td> <td rowspan="2">1)PS-2の構築物、系統及び機器の損傷又は故障により敷地周辺公衆に与える放射線の影響を十分小さくするようとする構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">2)放射性物質放出の防止機能</td> <td rowspan="2">放射線防護</td> <td colspan="2">放射線防護</td> <td rowspan="2"> (放射性物質放出の防止機能としては、放射性物質貯蔵容器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) ・放射性物質貯蔵容器 ・放射性物質貯蔵容器 ・放射性物質貯蔵容器 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">放射線防護</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		PS-2	1)その設備又は故障により発生する事象によって、炉心の著しい損傷又は燃料の大量の破損を著しに引き起こすおそれはないが、炉心への過剰の放射性物質の放出のおそれのある構築物、系統及び機器	3)燃料を安全に取り扱う機能	燃料系	燃料系		(放射性物質を貯蔵する機能としては、左記施設は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) ・燃料貯蔵タンク ・燃料貯蔵タンク ・燃料貯蔵タンク ・燃料貯蔵タンク	燃料系		PS-2	2)通常運転時及び過渡時の異常な過渡変化時に作動を要求されるものの為、その故障により、炉心冷却が阻害される可能性の高い構築物、系統及び機器	1)安全弁及び過剰し弁の吹き止まり機能	加圧器安全弁、加圧器安全弁、吹き止まり機能に属する部分	加圧器安全弁、吹き止まり機能		(安全弁の吹き止まり機能として、右記施設は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) ・加圧器安全弁 ・加圧器安全弁 ・加圧器安全弁	加圧器安全弁、吹き止まり機能		MS-2	1)PS-2の構築物、系統及び機器の損傷又は故障により敷地周辺公衆に与える放射線の影響を十分小さくするようとする構築物、系統及び機器	2)放射性物質放出の防止機能	放射線防護	放射線防護		(放射性物質放出の防止機能としては、放射性物質貯蔵容器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) ・放射性物質貯蔵容器 ・放射性物質貯蔵容器 ・放射性物質貯蔵容器	放射線防護		<p>相違理由</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																																																							
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																																									
MS-1	2)安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2)安全上特に重要な関連機能	非常用内電源系、制御室及びその連へい、非常用換気空調系、非常用機械冷却水系、直流電源系(いずれも、MS-1関連のもの)	非常用交流電源設備(ディーゼル機関、発電機、発電機から非常用負荷までの配電設備及び配線)		・非常用の交流電源機能 ・非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能																																																																																							
				燃料系(ダイタンクからディーゼル機関まで) 起動用空気系(空気だめからディーゼル機関まで) 直結関連系(非常用交流電源設備) 換気系 冷却水系 潤滑油系 燃料移送系(軽油タンクからダイタンクまで) 軽油タンク																																																																																									
MS-1				中央制御室及び中央制御室連動		(安全上特に重要な関連機能として、中央制御室は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出。中央制御室連動は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)																																																																																							
				中央制御室換気空調系(放射線防護機能及び有毒ガス防護機能)(再循環送風機、再循環フィルタ装置、空気調和装置、送風機、排風機、ダクト及びダンパ)		原子炉制御室非常用換気空調機能																																																																																							
MS-2				原子炉機械冷却水系(ポンプ、熱交換器、非常用負荷冷却ライン配置、弁(弁-1関連))		機械冷却機能																																																																																							
				直結関連系(原子炉機械冷却水系)																																																																																									
MS-2				高圧炉心スプレイ補機冷却水系(ポンプ、熱交換器、配管、弁)		補機冷却機能																																																																																							
				直結関連系(高圧炉心スプレイ補機冷却水系)																																																																																									
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																																																							
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																																									
PS-2	1)その設備又は故障により発生する事象によって、炉心の著しい損傷又は燃料の大量の破損を著しに引き起こすおそれはないが、炉心への過剰の放射性物質の放出のおそれのある構築物、系統及び機器	3)燃料を安全に取り扱う機能	燃料系	燃料系		(放射性物質を貯蔵する機能としては、左記施設は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) ・燃料貯蔵タンク ・燃料貯蔵タンク ・燃料貯蔵タンク ・燃料貯蔵タンク																																																																																							
				燃料系																																																																																									
PS-2	2)通常運転時及び過渡時の異常な過渡変化時に作動を要求されるものの為、その故障により、炉心冷却が阻害される可能性の高い構築物、系統及び機器	1)安全弁及び過剰し弁の吹き止まり機能	加圧器安全弁、加圧器安全弁、吹き止まり機能に属する部分	加圧器安全弁、吹き止まり機能		(安全弁の吹き止まり機能として、右記施設は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) ・加圧器安全弁 ・加圧器安全弁 ・加圧器安全弁																																																																																							
				加圧器安全弁、吹き止まり機能																																																																																									
MS-2	1)PS-2の構築物、系統及び機器の損傷又は故障により敷地周辺公衆に与える放射線の影響を十分小さくするようとする構築物、系統及び機器	2)放射性物質放出の防止機能	放射線防護	放射線防護		(放射性物質放出の防止機能としては、放射性物質貯蔵容器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) ・放射性物質貯蔵容器 ・放射性物質貯蔵容器 ・放射性物質貯蔵容器																																																																																							
				放射線防護																																																																																									
<p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、溢水影響評価上の扱いを()内に整理。</p>																																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																				
<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (9/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th>女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">PS-2</td> <td rowspan="3">1) その構造又は故障により発生する事象によっては、炉心の新しい損傷又は燃料の大量の破損を直ちに引き起こすおそれはないが、敷地外への過度の放射性物質の放出のおそれのある構築物、系統及び機器</td> <td>1) 原子炉冷却材を内蔵する機能（ただし、原子炉冷却材圧力バウナダリから除外されている許容等の小口径のもの及びバウナダリに直接接続されていないものは除く。）</td> <td>原子炉冷却材浄化系（原子炉冷却材圧力バウナダリ以外の部分）</td> <td>原子炉冷却材浄化系（原子炉冷却材圧力バウナダリ以外の部分）</td> <td rowspan="3">[原子炉冷却材を内蔵する機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない]</td> </tr> <tr> <td>2) 原子炉冷却材圧力バウナダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能</td> <td>放射性廃棄物処理系（放射性廃棄物処理設備（放射能インベントリに直接接続されたもの）、使用済燃料プール（使用済燃料貯蔵ラックを含む））</td> <td>放射性廃棄物処理系（放射性廃棄物処理設備（放射能インベントリに直接接続されたもの）、使用済燃料貯蔵ラック（使用済燃料貯蔵ラックを含む））</td> <td>[放射性物質を貯蔵する機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない]</td> </tr> <tr> <td>3) 燃料を安全に取り扱う機能</td> <td>燃料取扱設備</td> <td>燃料交換機 原子炉建屋クレーン 直接関連系（燃料取扱設備） 原子炉ウエル</td> <td>[燃料を安全に取り扱う機能としては、左記機器はフェイル・セイフ設計のため溢水による影響を受けない]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">PS-3</td> <td rowspan="2">2) 通常運転時及び運転時の異常な過渡変化時に作動を要求されるものであって、その故障により、炉心冷却が損なわれる可能性の高い構築物、系統及び機器</td> <td>1) 安全弁及び過がし弁の吹き止まり機能</td> <td>過がし安全弁（吹き止まり機能に関連する部分）</td> <td>過がし安全弁（吹き止まり機能）</td> <td rowspan="2">[安全弁及び過がし弁の吹き止まり機能として、安全弁機能は外部からの電圧供給や電氣信号を必要とせず、溢水による影響を受けない。過がし弁機能はフェイル・セイフ設計のため溢水による影響を受けない]</td> </tr> <tr> <td>2) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の機器、系統に属する</td> <td>4) 電源供給機能（非常用を除く。）</td> <td>注：電源系（隔離弁）、給水系統（隔離弁）、送電線、変圧器、開閉所</td> <td>注：電源系（隔離弁）、給水系統（隔離弁）、送電線、変圧器、開閉所</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉	重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		PS-2	1) その構造又は故障により発生する事象によっては、炉心の新しい損傷又は燃料の大量の破損を直ちに引き起こすおそれはないが、敷地外への過度の放射性物質の放出のおそれのある構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材を内蔵する機能（ただし、原子炉冷却材圧力バウナダリから除外されている許容等の小口径のもの及びバウナダリに直接接続されていないものは除く。）	原子炉冷却材浄化系（原子炉冷却材圧力バウナダリ以外の部分）	原子炉冷却材浄化系（原子炉冷却材圧力バウナダリ以外の部分）	[原子炉冷却材を内蔵する機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない]	2) 原子炉冷却材圧力バウナダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能	放射性廃棄物処理系（放射性廃棄物処理設備（放射能インベントリに直接接続されたもの）、使用済燃料プール（使用済燃料貯蔵ラックを含む））	放射性廃棄物処理系（放射性廃棄物処理設備（放射能インベントリに直接接続されたもの）、使用済燃料貯蔵ラック（使用済燃料貯蔵ラックを含む））	[放射性物質を貯蔵する機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない]	3) 燃料を安全に取り扱う機能	燃料取扱設備	燃料交換機 原子炉建屋クレーン 直接関連系（燃料取扱設備） 原子炉ウエル	[燃料を安全に取り扱う機能としては、左記機器はフェイル・セイフ設計のため溢水による影響を受けない]	PS-3	2) 通常運転時及び運転時の異常な過渡変化時に作動を要求されるものであって、その故障により、炉心冷却が損なわれる可能性の高い構築物、系統及び機器	1) 安全弁及び過がし弁の吹き止まり機能	過がし安全弁（吹き止まり機能に関連する部分）	過がし安全弁（吹き止まり機能）	[安全弁及び過がし弁の吹き止まり機能として、安全弁機能は外部からの電圧供給や電氣信号を必要とせず、溢水による影響を受けない。過がし弁機能はフェイル・セイフ設計のため溢水による影響を受けない]	2) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の機器、系統に属する	4) 電源供給機能（非常用を除く。）	注：電源系（隔離弁）、給水系統（隔離弁）、送電線、変圧器、開閉所	注：電源系（隔離弁）、給水系統（隔離弁）、送電線、変圧器、開閉所	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (9/13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th>泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">PS-3</td> <td rowspan="3">1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の機器、系統に属する</td> <td rowspan="3">2) 原子炉冷却材の循環機能</td> <td>1) 冷却ポンプ及びその関連系</td> <td>1) 冷却ポンプ 2) 冷却ポンプ用電源</td> <td rowspan="3">[左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない]</td> </tr> <tr> <td>3) 放射性物質の貯蔵機能</td> <td>放射性廃棄物処理設備（放射能インベントリ）の小さいもの</td> <td>放射性廃棄物処理設備（放射能インベントリ）の小さいもの</td> </tr> <tr> <td>4) 電源供給機能（非常用を除く。）</td> <td>注：電源系（隔離弁）、給水系統（隔離弁）、送電線、変圧器、開閉所</td> <td>注：電源系（隔離弁）、給水系統（隔離弁）、送電線、変圧器、開閉所</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉	重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の機器、系統に属する	2) 原子炉冷却材の循環機能	1) 冷却ポンプ及びその関連系	1) 冷却ポンプ 2) 冷却ポンプ用電源	[左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない]	3) 放射性物質の貯蔵機能	放射性廃棄物処理設備（放射能インベントリ）の小さいもの	放射性廃棄物処理設備（放射能インベントリ）の小さいもの	4) 電源供給機能（非常用を除く。）	注：電源系（隔離弁）、給水系統（隔離弁）、送電線、変圧器、開閉所	注：電源系（隔離弁）、給水系統（隔離弁）、送電線、変圧器、開閉所	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (9/13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th>泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">PS-3</td> <td rowspan="3">1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の機器、系統に属する</td> <td rowspan="3">2) 原子炉冷却材の循環機能</td> <td>1) 冷却ポンプ及びその関連系</td> <td>1) 冷却ポンプ 2) 冷却ポンプ用電源</td> <td rowspan="3">[左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない]</td> </tr> <tr> <td>3) 放射性物質の貯蔵機能</td> <td>放射性廃棄物処理設備（放射能インベントリ）の小さいもの</td> <td>放射性廃棄物処理設備（放射能インベントリ）の小さいもの</td> </tr> <tr> <td>4) 電源供給機能（非常用を除く。）</td> <td>注：電源系（隔離弁）、給水系統（隔離弁）、送電線、変圧器、開閉所</td> <td>注：電源系（隔離弁）、給水系統（隔離弁）、送電線、変圧器、開閉所</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉	重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の機器、系統に属する	2) 原子炉冷却材の循環機能	1) 冷却ポンプ及びその関連系	1) 冷却ポンプ 2) 冷却ポンプ用電源	[左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない]	3) 放射性物質の貯蔵機能	放射性廃棄物処理設備（放射能インベントリ）の小さいもの	放射性廃棄物処理設備（放射能インベントリ）の小さいもの	4) 電源供給機能（非常用を除く。）	注：電源系（隔離弁）、給水系統（隔離弁）、送電線、変圧器、開閉所	注：電源系（隔離弁）、給水系統（隔離弁）、送電線、変圧器、開閉所	<p>相違理由</p> <p>(左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)</p> <p>(左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)</p> <p>(左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉	重要度が特に高い安全機能*																																																																																		
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																																			
PS-2	1) その構造又は故障により発生する事象によっては、炉心の新しい損傷又は燃料の大量の破損を直ちに引き起こすおそれはないが、敷地外への過度の放射性物質の放出のおそれのある構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材を内蔵する機能（ただし、原子炉冷却材圧力バウナダリから除外されている許容等の小口径のもの及びバウナダリに直接接続されていないものは除く。）	原子炉冷却材浄化系（原子炉冷却材圧力バウナダリ以外の部分）	原子炉冷却材浄化系（原子炉冷却材圧力バウナダリ以外の部分）	[原子炉冷却材を内蔵する機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない]																																																																																		
		2) 原子炉冷却材圧力バウナダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能	放射性廃棄物処理系（放射性廃棄物処理設備（放射能インベントリに直接接続されたもの）、使用済燃料プール（使用済燃料貯蔵ラックを含む））	放射性廃棄物処理系（放射性廃棄物処理設備（放射能インベントリに直接接続されたもの）、使用済燃料貯蔵ラック（使用済燃料貯蔵ラックを含む））		[放射性物質を貯蔵する機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない]																																																																																	
		3) 燃料を安全に取り扱う機能	燃料取扱設備	燃料交換機 原子炉建屋クレーン 直接関連系（燃料取扱設備） 原子炉ウエル		[燃料を安全に取り扱う機能としては、左記機器はフェイル・セイフ設計のため溢水による影響を受けない]																																																																																	
PS-3	2) 通常運転時及び運転時の異常な過渡変化時に作動を要求されるものであって、その故障により、炉心冷却が損なわれる可能性の高い構築物、系統及び機器	1) 安全弁及び過がし弁の吹き止まり機能	過がし安全弁（吹き止まり機能に関連する部分）	過がし安全弁（吹き止まり機能）	[安全弁及び過がし弁の吹き止まり機能として、安全弁機能は外部からの電圧供給や電氣信号を必要とせず、溢水による影響を受けない。過がし弁機能はフェイル・セイフ設計のため溢水による影響を受けない]																																																																																		
		2) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の機器、系統に属する	4) 電源供給機能（非常用を除く。）	注：電源系（隔離弁）、給水系統（隔離弁）、送電線、変圧器、開閉所		注：電源系（隔離弁）、給水系統（隔離弁）、送電線、変圧器、開閉所																																																																																	
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉	重要度が特に高い安全機能*																																																																																		
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																																			
PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の機器、系統に属する	2) 原子炉冷却材の循環機能	1) 冷却ポンプ及びその関連系	1) 冷却ポンプ 2) 冷却ポンプ用電源	[左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない]																																																																																		
			3) 放射性物質の貯蔵機能	放射性廃棄物処理設備（放射能インベントリ）の小さいもの		放射性廃棄物処理設備（放射能インベントリ）の小さいもの																																																																																	
			4) 電源供給機能（非常用を除く。）	注：電源系（隔離弁）、給水系統（隔離弁）、送電線、変圧器、開閉所		注：電源系（隔離弁）、給水系統（隔離弁）、送電線、変圧器、開閉所																																																																																	
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉	重要度が特に高い安全機能*																																																																																		
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																																			
PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の機器、系統に属する	2) 原子炉冷却材の循環機能	1) 冷却ポンプ及びその関連系	1) 冷却ポンプ 2) 冷却ポンプ用電源	[左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない]																																																																																		
			3) 放射性物質の貯蔵機能	放射性廃棄物処理設備（放射能インベントリ）の小さいもの		放射性廃棄物処理設備（放射能インベントリ）の小さいもの																																																																																	
			4) 電源供給機能（非常用を除く。）	注：電源系（隔離弁）、給水系統（隔離弁）、送電線、変圧器、開閉所		注：電源系（隔離弁）、給水系統（隔離弁）、送電線、変圧器、開閉所																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
	表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(10/17)	表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (10/13)																																		
<p>発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PS-2</td> <td rowspan="2">1) PS-2 の構築物、系統及び機器の損傷又は故障により敷地周辺公衆に与える放射線の影響を十分小さくするようとする構築物、系統及び機器</td> <td>1) 燃料プールの補給機能</td> <td>非常用補給水系 (燃料プール水の補給機能として、 (燃料プール水の補給機能として、 溢水影響評価上の防護対象設備として抽出) 直接関連系 (西留熱除去系) ボンプレニウムフローラインの配管、弁 サプレッションチェン(内のストレーナ</td> <td>(燃料プール水の補給機能として、 溢水影響評価上の防護対象設備として抽出)</td> </tr> <tr> <td>2) 放射性物質放出の防止機能</td> <td>放射性気体廃棄物処理系の隔離弁 排気筒 (非常用ガス処理系排気筒の支持機能以外) 燃料プール冷却浄化系の燃料プール注入停止弁 原子炉建屋 (原子炉建屋原子炉棟 (プロアクティブ/バル付き)) 原子炉棟給排気隔離弁 (放射性物質放出の防止機能として考慮) 非常用ガス処理系 (乾燥装置、排気機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉棟吸込口から排気筒までの配管、弁) 直接関連系 (非常用ガス処理系) 乾燥装置 (乾燥機能部分)</td> <td>(放射性物質放出の防止機能として、 放射性気体廃棄物処理系隔離弁は主要気隔離弁により代替が可能であり、それ以外は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) (放射性物質放出の防止機能として、 左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) (放射性物質放出の防止機能として、 MO-1で抽出済み)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">PS-1</td> <td rowspan="2">2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">1) 事故時のプラント状態の把握機能</td> <td>・中性子束 (起動領域モニタ) ・原子炉スクラム用電磁接触器の状態 ・制御棒位置 ・原子炉水位 (応答域) ・原子炉水位 (燃料架) ・原子炉圧力 ・圧力制御室圧力 ・ドライウェル圧力 ・サプレッションプール水温度 ・格納容器内空間気放射線モニタ</td> <td>事故時の原子炉の停止状態の把握機能 事故時の炉心冷却状態の把握機能 事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td>・中性子束 (起動領域モニタ) ・原子炉スクラム用電磁接触器の状態 ・制御棒位置 ・原子炉水位 (応答域) ・原子炉水位 (燃料架) ・原子炉圧力 ・圧力制御室圧力 ・ドライウェル圧力 ・サプレッションプール水温度 ・格納容器内空間気放射線モニタ</td> <td>事故時の原子炉の停止状態の把握機能 事故時の炉心冷却状態の把握機能 事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能</td> </tr> </tbody> </table>	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	PS-2	1) PS-2 の構築物、系統及び機器の損傷又は故障により敷地周辺公衆に与える放射線の影響を十分小さくするようとする構築物、系統及び機器	1) 燃料プールの補給機能	非常用補給水系 (燃料プール水の補給機能として、 (燃料プール水の補給機能として、 溢水影響評価上の防護対象設備として抽出) 直接関連系 (西留熱除去系) ボンプレニウムフローラインの配管、弁 サプレッションチェン(内のストレーナ	(燃料プール水の補給機能として、 溢水影響評価上の防護対象設備として抽出)	2) 放射性物質放出の防止機能	放射性気体廃棄物処理系の隔離弁 排気筒 (非常用ガス処理系排気筒の支持機能以外) 燃料プール冷却浄化系の燃料プール注入停止弁 原子炉建屋 (原子炉建屋原子炉棟 (プロアクティブ/バル付き)) 原子炉棟給排気隔離弁 (放射性物質放出の防止機能として考慮) 非常用ガス処理系 (乾燥装置、排気機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉棟吸込口から排気筒までの配管、弁) 直接関連系 (非常用ガス処理系) 乾燥装置 (乾燥機能部分)	(放射性物質放出の防止機能として、 放射性気体廃棄物処理系隔離弁は主要気隔離弁により代替が可能であり、それ以外は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) (放射性物質放出の防止機能として、 左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) (放射性物質放出の防止機能として、 MO-1で抽出済み)	PS-1	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	・中性子束 (起動領域モニタ) ・原子炉スクラム用電磁接触器の状態 ・制御棒位置 ・原子炉水位 (応答域) ・原子炉水位 (燃料架) ・原子炉圧力 ・圧力制御室圧力 ・ドライウェル圧力 ・サプレッションプール水温度 ・格納容器内空間気放射線モニタ	事故時の原子炉の停止状態の把握機能 事故時の炉心冷却状態の把握機能 事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	・中性子束 (起動領域モニタ) ・原子炉スクラム用電磁接触器の状態 ・制御棒位置 ・原子炉水位 (応答域) ・原子炉水位 (燃料架) ・原子炉圧力 ・圧力制御室圧力 ・ドライウェル圧力 ・サプレッションプール水温度 ・格納容器内空間気放射線モニタ	事故時の原子炉の停止状態の把握機能 事故時の炉心冷却状態の把握機能 事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	<p>発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PS-3</td> <td rowspan="2">1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の系統及び機器</td> <td rowspan="2">4) 電源供給機能 (非常用を除く。)</td> <td>主要電源 (制御室内用) 給水系 (制御室用) 送電機、変圧機、開閉器</td> <td>(左記機能が機能喪失した場合に於いても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)</td> </tr> <tr> <td>5) プラント制御・監視機能 (非常用を除く。)</td> <td>原子炉制御機、原子炉監視機、プロセス計装 原子炉制御機の一部 プロセス計装の一部</td> <td>(左記機能が機能喪失した場合に於いても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)</td> </tr> </tbody> </table>	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の系統及び機器	4) 電源供給機能 (非常用を除く。)	主要電源 (制御室内用) 給水系 (制御室用) 送電機、変圧機、開閉器	(左記機能が機能喪失した場合に於いても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)	5) プラント制御・監視機能 (非常用を除く。)	原子炉制御機、原子炉監視機、プロセス計装 原子炉制御機の一部 プロセス計装の一部	(左記機能が機能喪失した場合に於いても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)	<p>相違理由</p> <p>PS-3 1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の系統及び機器</p> <p>4) 電源供給機能 (非常用を除く。)</p> <p>5) プラント制御・監視機能 (非常用を除く。)</p> <p>注1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、溢水影響評価上の扱いを()内に整理。</p>
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																
PS-2	1) PS-2 の構築物、系統及び機器の損傷又は故障により敷地周辺公衆に与える放射線の影響を十分小さくするようとする構築物、系統及び機器	1) 燃料プールの補給機能	非常用補給水系 (燃料プール水の補給機能として、 (燃料プール水の補給機能として、 溢水影響評価上の防護対象設備として抽出) 直接関連系 (西留熱除去系) ボンプレニウムフローラインの配管、弁 サプレッションチェン(内のストレーナ	(燃料プール水の補給機能として、 溢水影響評価上の防護対象設備として抽出)																																
		2) 放射性物質放出の防止機能	放射性気体廃棄物処理系の隔離弁 排気筒 (非常用ガス処理系排気筒の支持機能以外) 燃料プール冷却浄化系の燃料プール注入停止弁 原子炉建屋 (原子炉建屋原子炉棟 (プロアクティブ/バル付き)) 原子炉棟給排気隔離弁 (放射性物質放出の防止機能として考慮) 非常用ガス処理系 (乾燥装置、排気機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉棟吸込口から排気筒までの配管、弁) 直接関連系 (非常用ガス処理系) 乾燥装置 (乾燥機能部分)	(放射性物質放出の防止機能として、 放射性気体廃棄物処理系隔離弁は主要気隔離弁により代替が可能であり、それ以外は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) (放射性物質放出の防止機能として、 左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) (放射性物質放出の防止機能として、 MO-1で抽出済み)																																
PS-1	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	・中性子束 (起動領域モニタ) ・原子炉スクラム用電磁接触器の状態 ・制御棒位置 ・原子炉水位 (応答域) ・原子炉水位 (燃料架) ・原子炉圧力 ・圧力制御室圧力 ・ドライウェル圧力 ・サプレッションプール水温度 ・格納容器内空間気放射線モニタ	事故時の原子炉の停止状態の把握機能 事故時の炉心冷却状態の把握機能 事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能																																
			2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	・中性子束 (起動領域モニタ) ・原子炉スクラム用電磁接触器の状態 ・制御棒位置 ・原子炉水位 (応答域) ・原子炉水位 (燃料架) ・原子炉圧力 ・圧力制御室圧力 ・ドライウェル圧力 ・サプレッションプール水温度 ・格納容器内空間気放射線モニタ	事故時の原子炉の停止状態の把握機能 事故時の炉心冷却状態の把握機能 事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能																															
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																
PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の系統及び機器	4) 電源供給機能 (非常用を除く。)	主要電源 (制御室内用) 給水系 (制御室用) 送電機、変圧機、開閉器	(左記機能が機能喪失した場合に於いても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)																																
			5) プラント制御・監視機能 (非常用を除く。)	原子炉制御機、原子炉監視機、プロセス計装 原子炉制御機の一部 プロセス計装の一部	(左記機能が機能喪失した場合に於いても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																													
	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(12/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">PS-3</td> <td rowspan="4">1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器</td> <td>1) 原子炉冷却材保持機能 (PS-1、PS-2以外のもの)</td> <td>原子炉冷却材圧力バウナンドリから除外される許容等の小口径配管、弁 計装配置、弁 燃料採取系配管、弁 ドレン配管、弁 ベント配管、弁</td> <td>原子炉冷却材保持機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない (当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)</td> </tr> <tr> <td>2) 原子炉冷却材の循環機能</td> <td>原子炉再循環ポンプ、配管、弁、ライザー管 (炉内)、ジェットポンプ (炉内)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3) 放射性物質の貯蔵機能</td> <td>サブプレッショングループ水排水系、復水貯蔵タンク、放射性廃棄物処理施設 (放射能インベントリの小さいもの)</td> <td>液体廃棄物処理系 (BCW 収集タンク、BCW 調整タンク、BCW サンプルタンク、LW 収集槽、LW サンプル槽) 固体廃棄物処理系 (プラスチック固化式固化装置、浄化系以降分離槽、使用済燃料貯蔵槽、濃縮廃液貯蔵タンク、固体廃棄物貯蔵所 (ドラム缶)、固体廃棄物焼却設備、サイトバンク設備、固体廃棄物保管室) 新燃料貯蔵ラック</td> <td>(放射性物質の貯蔵機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>4) 電源供給機能 (非常用を除く)</td> <td>タービン、発電機及びその励磁装置、復水系 (復水器を含む)、給排水系、循環水系、送電機、変圧器、開閉所</td> <td>タービン発電機固定子巻線冷却水系統 タービン発電機ガス系 タービン発電機密封油系 励磁装置 蒸気タービン (主タービン、主要弁、配管) 主蒸気系 (主蒸気/駆動機) タービン制御系 タービン潤滑油系 復水系 (復水器、復水ポンプ、配管/弁) 復水貯蔵空気抽出系 (蒸気式空気抽出系、配管/弁)</td> <td>(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材保持機能 (PS-1、PS-2以外のもの)	原子炉冷却材圧力バウナンドリから除外される許容等の小口径配管、弁 計装配置、弁 燃料採取系配管、弁 ドレン配管、弁 ベント配管、弁	原子炉冷却材保持機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない (当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)	2) 原子炉冷却材の循環機能	原子炉再循環ポンプ、配管、弁、ライザー管 (炉内)、ジェットポンプ (炉内)		3) 放射性物質の貯蔵機能	サブプレッショングループ水排水系、復水貯蔵タンク、放射性廃棄物処理施設 (放射能インベントリの小さいもの)	液体廃棄物処理系 (BCW 収集タンク、BCW 調整タンク、BCW サンプルタンク、LW 収集槽、LW サンプル槽) 固体廃棄物処理系 (プラスチック固化式固化装置、浄化系以降分離槽、使用済燃料貯蔵槽、濃縮廃液貯蔵タンク、固体廃棄物貯蔵所 (ドラム缶)、固体廃棄物焼却設備、サイトバンク設備、固体廃棄物保管室) 新燃料貯蔵ラック	(放射性物質の貯蔵機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)	4) 電源供給機能 (非常用を除く)	タービン、発電機及びその励磁装置、復水系 (復水器を含む)、給排水系、循環水系、送電機、変圧器、開閉所	タービン発電機固定子巻線冷却水系統 タービン発電機ガス系 タービン発電機密封油系 励磁装置 蒸気タービン (主タービン、主要弁、配管) 主蒸気系 (主蒸気/駆動機) タービン制御系 タービン潤滑油系 復水系 (復水器、復水ポンプ、配管/弁) 復水貯蔵空気抽出系 (蒸気式空気抽出系、配管/弁)	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (12/13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MS-3</td> <td rowspan="4">1) 異常状態への対応に必要な構築物、系統及び機器</td> <td>1) 原子炉冷却材の上昇の抑制機能</td> <td>加圧器及び弁 加圧器制御系 加圧器制御弁 加圧器制御弁</td> <td>原子炉冷却材の上昇の抑制機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない (当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)</td> </tr> <tr> <td>2) 出力上昇の抑制機能</td> <td>タービンプラントガス制御弁 タービン制御弁</td> <td>タービンプラントガス制御弁 タービン制御弁</td> </tr> <tr> <td>3) 原子炉冷却材の補給機能</td> <td>化学体積制御装置の充てん系、1次冷却系補給弁 給水貯蔵タンク</td> <td>化学体積制御装置の充てん系、1次冷却系補給弁 給水貯蔵タンク 1次冷却系補給弁 1次冷却系補給弁</td> <td>化学体積制御装置の充てん系、1次冷却系補給弁 給水貯蔵タンク 1次冷却系補給弁 1次冷却系補給弁 (当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)</td> </tr> <tr> <td>4) 原子炉冷却材の再循環流量低下の抑制機能</td> <td>PSV及び2次冷却系補給弁</td> <td>PSV及び2次冷却系補給弁</td> <td>PSV及び2次冷却系補給弁</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">2) 異常状態への対応に必要な構築物、系統及び機器</td> <td>5) タービントリップ機能</td> <td>タービン保護装置 タービン保護装置 主蒸気止め弁 (閉鎖)</td> <td>タービントリップ機能 タービン保護装置 主蒸気止め弁 (閉鎖)</td> </tr> <tr> <td>1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能</td> <td>原子力発電所緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置 緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置 緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置</td> <td>原子力発電所緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置 緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置 緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置</td> <td>原子力発電所緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置 緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置 緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-3	1) 異常状態への対応に必要な構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材の上昇の抑制機能	加圧器及び弁 加圧器制御系 加圧器制御弁 加圧器制御弁	原子炉冷却材の上昇の抑制機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない (当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)	2) 出力上昇の抑制機能	タービンプラントガス制御弁 タービン制御弁	タービンプラントガス制御弁 タービン制御弁	3) 原子炉冷却材の補給機能	化学体積制御装置の充てん系、1次冷却系補給弁 給水貯蔵タンク	化学体積制御装置の充てん系、1次冷却系補給弁 給水貯蔵タンク 1次冷却系補給弁 1次冷却系補給弁	化学体積制御装置の充てん系、1次冷却系補給弁 給水貯蔵タンク 1次冷却系補給弁 1次冷却系補給弁 (当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)	4) 原子炉冷却材の再循環流量低下の抑制機能	PSV及び2次冷却系補給弁	PSV及び2次冷却系補給弁	PSV及び2次冷却系補給弁		2) 異常状態への対応に必要な構築物、系統及び機器	5) タービントリップ機能	タービン保護装置 タービン保護装置 主蒸気止め弁 (閉鎖)	タービントリップ機能 タービン保護装置 主蒸気止め弁 (閉鎖)	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子力発電所緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置 緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置 緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置	原子力発電所緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置 緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置 緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置	原子力発電所緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置 緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置 緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置	<p>相違理由</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																												
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																													
PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材保持機能 (PS-1、PS-2以外のもの)	原子炉冷却材圧力バウナンドリから除外される許容等の小口径配管、弁 計装配置、弁 燃料採取系配管、弁 ドレン配管、弁 ベント配管、弁	原子炉冷却材保持機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない (当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)																																																												
		2) 原子炉冷却材の循環機能	原子炉再循環ポンプ、配管、弁、ライザー管 (炉内)、ジェットポンプ (炉内)																																																													
		3) 放射性物質の貯蔵機能	サブプレッショングループ水排水系、復水貯蔵タンク、放射性廃棄物処理施設 (放射能インベントリの小さいもの)	液体廃棄物処理系 (BCW 収集タンク、BCW 調整タンク、BCW サンプルタンク、LW 収集槽、LW サンプル槽) 固体廃棄物処理系 (プラスチック固化式固化装置、浄化系以降分離槽、使用済燃料貯蔵槽、濃縮廃液貯蔵タンク、固体廃棄物貯蔵所 (ドラム缶)、固体廃棄物焼却設備、サイトバンク設備、固体廃棄物保管室) 新燃料貯蔵ラック	(放射性物質の貯蔵機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)																																																											
		4) 電源供給機能 (非常用を除く)	タービン、発電機及びその励磁装置、復水系 (復水器を含む)、給排水系、循環水系、送電機、変圧器、開閉所	タービン発電機固定子巻線冷却水系統 タービン発電機ガス系 タービン発電機密封油系 励磁装置 蒸気タービン (主タービン、主要弁、配管) 主蒸気系 (主蒸気/駆動機) タービン制御系 タービン潤滑油系 復水系 (復水器、復水ポンプ、配管/弁) 復水貯蔵空気抽出系 (蒸気式空気抽出系、配管/弁)	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)																																																											
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																												
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																													
MS-3	1) 異常状態への対応に必要な構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材の上昇の抑制機能	加圧器及び弁 加圧器制御系 加圧器制御弁 加圧器制御弁	原子炉冷却材の上昇の抑制機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない (当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)																																																												
		2) 出力上昇の抑制機能	タービンプラントガス制御弁 タービン制御弁	タービンプラントガス制御弁 タービン制御弁																																																												
		3) 原子炉冷却材の補給機能	化学体積制御装置の充てん系、1次冷却系補給弁 給水貯蔵タンク	化学体積制御装置の充てん系、1次冷却系補給弁 給水貯蔵タンク 1次冷却系補給弁 1次冷却系補給弁	化学体積制御装置の充てん系、1次冷却系補給弁 給水貯蔵タンク 1次冷却系補給弁 1次冷却系補給弁 (当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)																																																											
		4) 原子炉冷却材の再循環流量低下の抑制機能	PSV及び2次冷却系補給弁	PSV及び2次冷却系補給弁	PSV及び2次冷却系補給弁																																																											
	2) 異常状態への対応に必要な構築物、系統及び機器	5) タービントリップ機能	タービン保護装置 タービン保護装置 主蒸気止め弁 (閉鎖)	タービントリップ機能 タービン保護装置 主蒸気止め弁 (閉鎖)																																																												
		1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子力発電所緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置 緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置 緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置	原子力発電所緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置 緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置 緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置	原子力発電所緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置 緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置 緊急時対策用 2号炉 蒸気発生装置																																																											

※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、溢水影響評価上の扱いを () 内に整理。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																														
	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(13/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th>女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">PS-3</td> <td rowspan="3">1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">4) 電源供給機能（非常用を除く。）</td> <td rowspan="3">タービン、発電機及びその励磁装置、復水系（復水弁を含む）、給水系、循環水系、送電線、変圧器、開閉所</td> <td>給水系（電動機駆動原子炉給水ポンプ、タービン駆動原子炉給水ポンプ、給水加熱器、配管ノ弁）</td> <td rowspan="3">〔当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している〕</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（給水系）</td> <td>駆動用蒸気</td> </tr> <tr> <td>循環系（循環水ポンプ、配管ノ弁）</td> <td>取水設備（屋外トレンチを含む）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">PS-3</td> <td rowspan="3">5) プラント計画・制御機能（安全保護機能を除く。）</td> <td rowspan="3">原子炉制御系</td> <td>原子炉制御系（制御棒駆動ミニマイザを含む）</td> <td>原子炉制御系（制御棒駆動ミニマイザを含む）</td> <td rowspan="3">〔当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している〕</td> </tr> <tr> <td>運転監視補助装置（制御棒駆動ミニマイザ）</td> <td>原子炉制御系の一部</td> </tr> <tr> <td>原子炉設計の一部、原子炉プラントプロセス計画の一部</td> <td>原子炉設計系の一部 ・原子炉プラントプロセス計画の一部</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">PS-3</td> <td rowspan="3">6) プラント運転補助機能</td> <td rowspan="3">原子炉設計の一部、原子炉プラントプロセス計画の一部</td> <td>補助ボイラー設備（補助ボイラー、給水タンク、給水ポンプ、配管ノ弁）</td> <td>補助ボイラー設備（補助ボイラー、給水タンク、給水ポンプ、配管ノ弁）</td> <td rowspan="3">〔左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止することで対応可能である。なお、プラントを停止するための機能は原子炉影響評価上の防護対象設備として抽出済み〕</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（補助ボイラー設備）</td> <td>電気設備（変圧器）</td> </tr> <tr> <td>加熱蒸気系及び復水戻り系（ポンプ、配管ノ弁）</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>計装用圧縮空気系（空気圧縮機、中間治却器、配管、弁）</td> <td>計装用圧縮空気系（空気圧縮機、中間治却器、配管、弁）</td> <td rowspan="3">〔当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している〕</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>直接関連系（後部冷却器）</td> <td>後部冷却器</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>計装用圧縮空気系</td> <td>気水分離器 空気貯槽</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉	重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	4) 電源供給機能（非常用を除く。）	タービン、発電機及びその励磁装置、復水系（復水弁を含む）、給水系、循環水系、送電線、変圧器、開閉所	給水系（電動機駆動原子炉給水ポンプ、タービン駆動原子炉給水ポンプ、給水加熱器、配管ノ弁）	〔当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している〕	直接関連系（給水系）	駆動用蒸気	循環系（循環水ポンプ、配管ノ弁）	取水設備（屋外トレンチを含む）	PS-3	5) プラント計画・制御機能（安全保護機能を除く。）	原子炉制御系	原子炉制御系（制御棒駆動ミニマイザを含む）	原子炉制御系（制御棒駆動ミニマイザを含む）	〔当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している〕	運転監視補助装置（制御棒駆動ミニマイザ）	原子炉制御系の一部	原子炉設計の一部、原子炉プラントプロセス計画の一部	原子炉設計系の一部 ・原子炉プラントプロセス計画の一部	PS-3	6) プラント運転補助機能	原子炉設計の一部、原子炉プラントプロセス計画の一部	補助ボイラー設備（補助ボイラー、給水タンク、給水ポンプ、配管ノ弁）	補助ボイラー設備（補助ボイラー、給水タンク、給水ポンプ、配管ノ弁）	〔左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止することで対応可能である。なお、プラントを停止するための機能は原子炉影響評価上の防護対象設備として抽出済み〕	直接関連系（補助ボイラー設備）	電気設備（変圧器）	加熱蒸気系及び復水戻り系（ポンプ、配管ノ弁）					計装用圧縮空気系（空気圧縮機、中間治却器、配管、弁）	計装用圧縮空気系（空気圧縮機、中間治却器、配管、弁）	〔当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している〕				直接関連系（後部冷却器）	後部冷却器				計装用圧縮空気系	気水分離器 空気貯槽	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (13/13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th>泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">MS-3</td> <td rowspan="3">2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能</td> <td rowspan="3">原子炉緊急時対策用電源供給設備 給電用電源供給設備 事故時監視装置の一部 消火用安全通報装置 非常用照明</td> <td>設備監視装置の一部</td> <td rowspan="3">〔左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能である。設備による影響評価の対象から除外する〕</td> </tr> <tr> <td>原子炉制御の一部</td> </tr> <tr> <td>プロセス計画の一部</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">MS-3</td> <td rowspan="3">2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能</td> <td rowspan="3">原子炉緊急時対策用電源供給設備 給電用電源供給設備 事故時監視装置の一部 消火用安全通報装置 非常用照明</td> <td>消火設備 ・水消火設備 ・泡消火設備 ・消防タンク ・消防設備 ・二酸化炭素消火設備</td> <td>〔左記機器が他の消火設備により代替が可能である〕</td> </tr> <tr> <td>消火設備 ・水消火設備 ・泡消火設備 ・消防タンク ・消防設備 ・二酸化炭素消火設備</td> <td>〔消火ポンプなどの消火設備により代替が可能であり、火災発生原因については復旧により対応可能である。それ以外については建設段階であるため放水による影響を考慮する。〕</td> </tr> <tr> <td>安全通報装置 設備形式（安全機器） 連絡 安全機器回路</td> <td>〔左記機器が他の機器のため放水による影響を考慮する。〕</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>非常用照明</td> <td>非常用照明</td> <td>〔左記機器が他の消火設備により代替が可能である〕</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器については、原子炉影響評価上の表を（ ）内に整理。</p>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉	重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子炉緊急時対策用電源供給設備 給電用電源供給設備 事故時監視装置の一部 消火用安全通報装置 非常用照明	設備監視装置の一部	〔左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能である。設備による影響評価の対象から除外する〕	原子炉制御の一部	プロセス計画の一部	MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子炉緊急時対策用電源供給設備 給電用電源供給設備 事故時監視装置の一部 消火用安全通報装置 非常用照明	消火設備 ・水消火設備 ・泡消火設備 ・消防タンク ・消防設備 ・二酸化炭素消火設備	〔左記機器が他の消火設備により代替が可能である〕	消火設備 ・水消火設備 ・泡消火設備 ・消防タンク ・消防設備 ・二酸化炭素消火設備	〔消火ポンプなどの消火設備により代替が可能であり、火災発生原因については復旧により対応可能である。それ以外については建設段階であるため放水による影響を考慮する。〕	安全通報装置 設備形式（安全機器） 連絡 安全機器回路	〔左記機器が他の機器のため放水による影響を考慮する。〕				非常用照明	非常用照明	〔左記機器が他の消火設備により代替が可能である〕	
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉	重要度が特に高い安全機能*																																																																																												
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																																													
PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	4) 電源供給機能（非常用を除く。）	タービン、発電機及びその励磁装置、復水系（復水弁を含む）、給水系、循環水系、送電線、変圧器、開閉所	給水系（電動機駆動原子炉給水ポンプ、タービン駆動原子炉給水ポンプ、給水加熱器、配管ノ弁）	〔当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している〕																																																																																												
				直接関連系（給水系）		駆動用蒸気																																																																																											
				循環系（循環水ポンプ、配管ノ弁）		取水設備（屋外トレンチを含む）																																																																																											
PS-3	5) プラント計画・制御機能（安全保護機能を除く。）	原子炉制御系	原子炉制御系（制御棒駆動ミニマイザを含む）	原子炉制御系（制御棒駆動ミニマイザを含む）	〔当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している〕																																																																																												
			運転監視補助装置（制御棒駆動ミニマイザ）	原子炉制御系の一部																																																																																													
			原子炉設計の一部、原子炉プラントプロセス計画の一部	原子炉設計系の一部 ・原子炉プラントプロセス計画の一部																																																																																													
PS-3	6) プラント運転補助機能	原子炉設計の一部、原子炉プラントプロセス計画の一部	補助ボイラー設備（補助ボイラー、給水タンク、給水ポンプ、配管ノ弁）	補助ボイラー設備（補助ボイラー、給水タンク、給水ポンプ、配管ノ弁）	〔左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止することで対応可能である。なお、プラントを停止するための機能は原子炉影響評価上の防護対象設備として抽出済み〕																																																																																												
			直接関連系（補助ボイラー設備）	電気設備（変圧器）																																																																																													
			加熱蒸気系及び復水戻り系（ポンプ、配管ノ弁）																																																																																														
			計装用圧縮空気系（空気圧縮機、中間治却器、配管、弁）	計装用圧縮空気系（空気圧縮機、中間治却器、配管、弁）	〔当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している〕																																																																																												
			直接関連系（後部冷却器）	後部冷却器																																																																																													
			計装用圧縮空気系	気水分離器 空気貯槽																																																																																													
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉	重要度が特に高い安全機能*																																																																																												
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																																													
MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子炉緊急時対策用電源供給設備 給電用電源供給設備 事故時監視装置の一部 消火用安全通報装置 非常用照明	設備監視装置の一部	〔左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能である。設備による影響評価の対象から除外する〕																																																																																												
				原子炉制御の一部																																																																																													
				プロセス計画の一部																																																																																													
MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子炉緊急時対策用電源供給設備 給電用電源供給設備 事故時監視装置の一部 消火用安全通報装置 非常用照明	消火設備 ・水消火設備 ・泡消火設備 ・消防タンク ・消防設備 ・二酸化炭素消火設備	〔左記機器が他の消火設備により代替が可能である〕																																																																																												
				消火設備 ・水消火設備 ・泡消火設備 ・消防タンク ・消防設備 ・二酸化炭素消火設備	〔消火ポンプなどの消火設備により代替が可能であり、火災発生原因については復旧により対応可能である。それ以外については建設段階であるため放水による影響を考慮する。〕																																																																																												
				安全通報装置 設備形式（安全機器） 連絡 安全機器回路	〔左記機器が他の機器のため放水による影響を考慮する。〕																																																																																												
			非常用照明	非常用照明	〔左記機器が他の消火設備により代替が可能である〕																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																										
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(14/17)</p> <table border="1" data-bbox="696 252 1263 774"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PS-3</td> <td>1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構築物、系統及び機器</td> <td>4) プラント運転補助機能</td> <td>炉内ボイラ設備、計装用圧縮空気系</td> <td>原子炉補機冷却水系 (MS-1 関連以外) (配管/弁) タービン補機冷却水系 (タービン補機冷却水ポンプ、熱交換器、配管/弁) 直線関連系 (タービン補機冷却水系) タービン補機冷却海水系 (タービン補機冷却海水ポンプ、配管/弁、ストレーナ) 復水補給水系 (復水移送ポンプ、配管/弁) 直線関連系 (復水補給水 復水貯蔵タンク)</td> <td>サージタンク</td> <td>(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)</td> </tr> <tr> <td>2) 原子炉冷却材中放射線物質濃度を通常運転に支障のない程度に低く節える構築物、系統及び機器</td> <td>1) 核分裂生成物の原子炉冷却材中への放射防止機能 2) 原子炉冷却材の浄化機能</td> <td>燃料被覆管 原子炉冷却材の浄化系</td> <td>燃料被覆管 上/下部階段 タイロッド 原子炉冷却材浄化系 (再生熱交換器、非再生熱交換器、ポンプ、ろ過脱塩装置、配管、弁) 復水浄化系 (復水ろ過装置、復水脱塩装置、配管、弁)</td> <td></td> <td>(左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) (左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止することで対応可能である。なお、プラントを停止するための機能は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出済み)</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構築物、系統及び機器	4) プラント運転補助機能	炉内ボイラ設備、計装用圧縮空気系	原子炉補機冷却水系 (MS-1 関連以外) (配管/弁) タービン補機冷却水系 (タービン補機冷却水ポンプ、熱交換器、配管/弁) 直線関連系 (タービン補機冷却水系) タービン補機冷却海水系 (タービン補機冷却海水ポンプ、配管/弁、ストレーナ) 復水補給水系 (復水移送ポンプ、配管/弁) 直線関連系 (復水補給水 復水貯蔵タンク)	サージタンク	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)	2) 原子炉冷却材中放射線物質濃度を通常運転に支障のない程度に低く節える構築物、系統及び機器	1) 核分裂生成物の原子炉冷却材中への放射防止機能 2) 原子炉冷却材の浄化機能	燃料被覆管 原子炉冷却材の浄化系	燃料被覆管 上/下部階段 タイロッド 原子炉冷却材浄化系 (再生熱交換器、非再生熱交換器、ポンプ、ろ過脱塩装置、配管、弁) 復水浄化系 (復水ろ過装置、復水脱塩装置、配管、弁)		(左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) (左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止することで対応可能である。なお、プラントを停止するための機能は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出済み)		
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*																							
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																									
PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構築物、系統及び機器	4) プラント運転補助機能	炉内ボイラ設備、計装用圧縮空気系	原子炉補機冷却水系 (MS-1 関連以外) (配管/弁) タービン補機冷却水系 (タービン補機冷却水ポンプ、熱交換器、配管/弁) 直線関連系 (タービン補機冷却水系) タービン補機冷却海水系 (タービン補機冷却海水ポンプ、配管/弁、ストレーナ) 復水補給水系 (復水移送ポンプ、配管/弁) 直線関連系 (復水補給水 復水貯蔵タンク)	サージタンク	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)																							
	2) 原子炉冷却材中放射線物質濃度を通常運転に支障のない程度に低く節える構築物、系統及び機器	1) 核分裂生成物の原子炉冷却材中への放射防止機能 2) 原子炉冷却材の浄化機能	燃料被覆管 原子炉冷却材の浄化系	燃料被覆管 上/下部階段 タイロッド 原子炉冷却材浄化系 (再生熱交換器、非再生熱交換器、ポンプ、ろ過脱塩装置、配管、弁) 復水浄化系 (復水ろ過装置、復水脱塩装置、配管、弁)		(左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) (左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止することで対応可能である。なお、プラントを停止するための機能は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出済み)																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																													
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(15/17)</p> <table border="1" data-bbox="703 256 1272 1075"> <thead> <tr> <th colspan="3">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MS-3</td> <td rowspan="4">1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能</td> <td rowspan="4">1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能</td> <td rowspan="4">透過し安全弁（透過し弁機能）、タービンバイパス弁</td> <td>主蒸気透過し安全弁（透過し弁機能）</td> <td>原子炉圧力容器から主蒸気透過し安全弁までの主蒸気配管 駆動用遮断弁（アキユムレータ、アキユムレータから主蒸気透過し安全弁までの配管、弁）</td> <td>（原子炉圧力の上昇の緩和機能としては、左記機器は自動減圧系により代替が可能である）</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（主蒸気透過し安全弁（透過し弁機能））</td> <td>タービンバイパス弁</td> <td>原子炉圧力容器からタービンバイパス弁までの主蒸気配管 駆動用遮断弁（アキユムレータ、アキユムレータからタービンバイパス弁までの配管、弁）</td> <td>（当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材再循環系（再循環ポンプトリップ機能）、制御棒引抜監視装置</td> <td>原子炉再循環流量制御系（ポンプトリップ機能） 制御棒引抜監視装置（制御棒引抜阻止インターロック） 選択制御棒挿入機構</td> <td>（当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している）</td> </tr> <tr> <td>2) 出力上昇の抑制機能</td> <td>原子炉冷却材の補給機能</td> <td>制御棒駆動水圧系（冷却材の補給）（ポンプ、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから制御棒駆動機構までの配管、弁） 直接関連系（制御棒駆動水圧系（冷却材の補給）） ポンプセクションフィルタ ポンプミニマムフローラインの配管、弁</td> <td>（原子炉冷却材の補給機能としては、非常用炉心冷却系により代替が可能である）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">3) 原子炉冷却材の補給機能</td> <td rowspan="2">原子炉隔離時冷却系</td> <td rowspan="2">原子炉隔離時冷却系（冷却材の補給）（ポンプ、タービン、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから注水先までの配管、弁）</td> <td>タービンへの蒸気供給配管、弁 直接関連系（原子炉隔離時冷却系（冷却材の補給）） ポンプミニマムフローラインの配管、弁 潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管</td> <td>（原子炉隔離時冷却系としてMS-1で抽出済み）</td> </tr> <tr> <td>4) 原子炉冷却材の再循環流量低下の緩和機能</td> <td>原子炉再循環ポンプM/Gセット</td> <td>DRKには対象機能なし。（ADRKのみ）</td> <td>（対象外）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>5) タービントリップ</td> <td>DRKには対象機能なし</td> <td>（対象外）</td> <td>（対象外）</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器	MS-3	1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能	1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能	透過し安全弁（透過し弁機能）、タービンバイパス弁	主蒸気透過し安全弁（透過し弁機能）	原子炉圧力容器から主蒸気透過し安全弁までの主蒸気配管 駆動用遮断弁（アキユムレータ、アキユムレータから主蒸気透過し安全弁までの配管、弁）	（原子炉圧力の上昇の緩和機能としては、左記機器は自動減圧系により代替が可能である）	直接関連系（主蒸気透過し安全弁（透過し弁機能））	タービンバイパス弁	原子炉圧力容器からタービンバイパス弁までの主蒸気配管 駆動用遮断弁（アキユムレータ、アキユムレータからタービンバイパス弁までの配管、弁）	（当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している）	原子炉冷却材再循環系（再循環ポンプトリップ機能）、制御棒引抜監視装置	原子炉再循環流量制御系（ポンプトリップ機能） 制御棒引抜監視装置（制御棒引抜阻止インターロック） 選択制御棒挿入機構	（当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している）	2) 出力上昇の抑制機能	原子炉冷却材の補給機能	制御棒駆動水圧系（冷却材の補給）（ポンプ、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから制御棒駆動機構までの配管、弁） 直接関連系（制御棒駆動水圧系（冷却材の補給）） ポンプセクションフィルタ ポンプミニマムフローラインの配管、弁	（原子炉冷却材の補給機能としては、非常用炉心冷却系により代替が可能である）	MS-1	3) 原子炉冷却材の補給機能	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系（冷却材の補給）（ポンプ、タービン、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから注水先までの配管、弁）	タービンへの蒸気供給配管、弁 直接関連系（原子炉隔離時冷却系（冷却材の補給）） ポンプミニマムフローラインの配管、弁 潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管	（原子炉隔離時冷却系としてMS-1で抽出済み）	4) 原子炉冷却材の再循環流量低下の緩和機能	原子炉再循環ポンプM/Gセット	DRKには対象機能なし。（ADRKのみ）	（対象外）			5) タービントリップ	DRKには対象機能なし	（対象外）	（対象外）		
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*																																											
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																												
MS-3	1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能	1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能	透過し安全弁（透過し弁機能）、タービンバイパス弁	主蒸気透過し安全弁（透過し弁機能）	原子炉圧力容器から主蒸気透過し安全弁までの主蒸気配管 駆動用遮断弁（アキユムレータ、アキユムレータから主蒸気透過し安全弁までの配管、弁）	（原子炉圧力の上昇の緩和機能としては、左記機器は自動減圧系により代替が可能である）																																										
				直接関連系（主蒸気透過し安全弁（透過し弁機能））	タービンバイパス弁	原子炉圧力容器からタービンバイパス弁までの主蒸気配管 駆動用遮断弁（アキユムレータ、アキユムレータからタービンバイパス弁までの配管、弁）	（当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している）																																									
				原子炉冷却材再循環系（再循環ポンプトリップ機能）、制御棒引抜監視装置	原子炉再循環流量制御系（ポンプトリップ機能） 制御棒引抜監視装置（制御棒引抜阻止インターロック） 選択制御棒挿入機構	（当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している）																																										
				2) 出力上昇の抑制機能	原子炉冷却材の補給機能	制御棒駆動水圧系（冷却材の補給）（ポンプ、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから制御棒駆動機構までの配管、弁） 直接関連系（制御棒駆動水圧系（冷却材の補給）） ポンプセクションフィルタ ポンプミニマムフローラインの配管、弁	（原子炉冷却材の補給機能としては、非常用炉心冷却系により代替が可能である）																																									
MS-1	3) 原子炉冷却材の補給機能	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系（冷却材の補給）（ポンプ、タービン、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから注水先までの配管、弁）	タービンへの蒸気供給配管、弁 直接関連系（原子炉隔離時冷却系（冷却材の補給）） ポンプミニマムフローラインの配管、弁 潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管	（原子炉隔離時冷却系としてMS-1で抽出済み）																																											
				4) 原子炉冷却材の再循環流量低下の緩和機能	原子炉再循環ポンプM/Gセット	DRKには対象機能なし。（ADRKのみ）	（対象外）																																									
		5) タービントリップ	DRKには対象機能なし	（対象外）	（対象外）																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(16/17)</p> <table border="1" data-bbox="698 252 1270 906"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">MS-3</td> <td rowspan="6">2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="6">1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能</td> <td rowspan="6">原子力発電所緊急時対策所、試料採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明</td> <td>緊急時対策所</td> <td>空調系 データ収集装置 通信連絡設備 資料及び図材 連絡設備</td> <td>(緊急時対策所及びその直接関連系の機器については、水密化されかつ漏水源がない緊急時対策装置内に設置されるため、漏水の影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>放射線監視設備（放射線監視モニタ）</td> <td>放射線監視設備（放射線監視モニタ）</td> <td>(左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能にて代替可能である)</td> </tr> <tr> <td>放射線監視設備（上記以外）</td> <td>放射線監視設備（上記以外）</td> <td>(左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)</td> </tr> <tr> <td>事故時監視計器の一部</td> <td>事故時監視計器の一部</td> <td>(左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)</td> </tr> <tr> <td>通信連絡設備（1つの専用回路を含む複数の回路を有する通信連絡設備）</td> <td>通信連絡設備（1つの専用回路を含む複数の回路を有する通信連絡設備）</td> <td>(左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能にて代替可能である)</td> </tr> <tr> <td>放射線監視設備（気体廃棄物処理設備エアラ排気放射線モニタ）</td> <td>放射線監視設備（気体廃棄物処理設備エアラ排気放射線モニタ）</td> <td>(左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能として考慮)</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(17/17)</p> <table border="1" data-bbox="698 1038 1270 1449"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MS-3</td> <td rowspan="4">2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="4">1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能</td> <td rowspan="4">原子力発電所緊急時対策所、試料採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明</td> <td>消火系（水消火設備、ガス消火設備）</td> <td>消火ポンプ 消火水罐、消火タンク 火災検出装置（受信機含む） 防火扉、防火ダンパ、耐火壁、隔壁（消火設備の機能を維持担保するために必要なもの）</td> <td>(左記機器は他の消火設備により代替可能である) (消火ポンプは他の消火設備により代替可能であり、火災検出装置については復旧により対応が可能である。それ以外については静的機器であるため漏水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>安全避難通路</td> <td>安全避難通路</td> <td>(左記機器は静的機器のため漏水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>非常用照明</td> <td>非常用照明</td> <td>(左記機器は懐中電灯等の可搬型照明により代替可能である)</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（消火系）</td> <td>安全避難用扉</td> <td>(左記機器は他の静的機器のため漏水による影響を受けない)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器については、漏水影響評価上の扱いを（ ）内に整理。</p>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子力発電所緊急時対策所、試料採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明	緊急時対策所	空調系 データ収集装置 通信連絡設備 資料及び図材 連絡設備	(緊急時対策所及びその直接関連系の機器については、水密化されかつ漏水源がない緊急時対策装置内に設置されるため、漏水の影響を受けない)	放射線監視設備（放射線監視モニタ）	放射線監視設備（放射線監視モニタ）	(左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能にて代替可能である)	放射線監視設備（上記以外）	放射線監視設備（上記以外）	(左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)	事故時監視計器の一部	事故時監視計器の一部	(左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)	通信連絡設備（1つの専用回路を含む複数の回路を有する通信連絡設備）	通信連絡設備（1つの専用回路を含む複数の回路を有する通信連絡設備）	(左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能にて代替可能である)	放射線監視設備（気体廃棄物処理設備エアラ排気放射線モニタ）	放射線監視設備（気体廃棄物処理設備エアラ排気放射線モニタ）	(左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能として考慮)	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子力発電所緊急時対策所、試料採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明	消火系（水消火設備、ガス消火設備）	消火ポンプ 消火水罐、消火タンク 火災検出装置（受信機含む） 防火扉、防火ダンパ、耐火壁、隔壁（消火設備の機能を維持担保するために必要なもの）	(左記機器は他の消火設備により代替可能である) (消火ポンプは他の消火設備により代替可能であり、火災検出装置については復旧により対応が可能である。それ以外については静的機器であるため漏水による影響を受けない)	安全避難通路	安全避難通路	(左記機器は静的機器のため漏水による影響を受けない)	非常用照明	非常用照明	(左記機器は懐中電灯等の可搬型照明により代替可能である)	直接関連系（消火系）	安全避難用扉	(左記機器は他の静的機器のため漏水による影響を受けない)		
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																													
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																															
MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子力発電所緊急時対策所、試料採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明	緊急時対策所	空調系 データ収集装置 通信連絡設備 資料及び図材 連絡設備	(緊急時対策所及びその直接関連系の機器については、水密化されかつ漏水源がない緊急時対策装置内に設置されるため、漏水の影響を受けない)																																																													
				放射線監視設備（放射線監視モニタ）	放射線監視設備（放射線監視モニタ）	(左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能にて代替可能である)																																																													
				放射線監視設備（上記以外）	放射線監視設備（上記以外）	(左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)																																																													
				事故時監視計器の一部	事故時監視計器の一部	(左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)																																																													
				通信連絡設備（1つの専用回路を含む複数の回路を有する通信連絡設備）	通信連絡設備（1つの専用回路を含む複数の回路を有する通信連絡設備）	(左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能にて代替可能である)																																																													
				放射線監視設備（気体廃棄物処理設備エアラ排気放射線モニタ）	放射線監視設備（気体廃棄物処理設備エアラ排気放射線モニタ）	(左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能として考慮)																																																													
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																													
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																															
MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子力発電所緊急時対策所、試料採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明	消火系（水消火設備、ガス消火設備）	消火ポンプ 消火水罐、消火タンク 火災検出装置（受信機含む） 防火扉、防火ダンパ、耐火壁、隔壁（消火設備の機能を維持担保するために必要なもの）	(左記機器は他の消火設備により代替可能である) (消火ポンプは他の消火設備により代替可能であり、火災検出装置については復旧により対応が可能である。それ以外については静的機器であるため漏水による影響を受けない)																																																													
				安全避難通路	安全避難通路	(左記機器は静的機器のため漏水による影響を受けない)																																																													
				非常用照明	非常用照明	(左記機器は懐中電灯等の可搬型照明により代替可能である)																																																													
				直接関連系（消火系）	安全避難用扉	(左記機器は他の静的機器のため漏水による影響を受けない)																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>防護対象設備 (1) 重要度の特に関し高い安全機能を有する設備 (2) 使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能の維持に必要な設備 (3) 電源盤等の関連設備も含む</p> <p>①フェイルポジションで安全機能に影響しない設備か YES → 評価対象 NO → ②原子炉格納容器内の設備か YES → 評価対象 NO → ③水の影響を受けない設備か YES → 評価対象 NO → ④他の設備で代替できる設備か YES → 評価対象 NO → 評価対象外</p> <p>※水の影響を受けても必要な安全機能を損なわないと評価</p>	<p>発電所構内の構築物、系統及び機器 防護対象設備の抽出※</p> <p>※以下、1、2、を抽出 1. 安全重要度クラス1,2,3に属する設備のうち原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる機能。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる機能を有する設備 2. 「使用済燃料プール冷却」及び「使用済燃料プールへの給水」機能を有する設備</p> <p>① 溢水により機能を喪失しない Yes → 評価対象 No → ② PCV内耐環境仕様の設備 Yes → 評価対象 No → ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない Yes → 評価対象 No → ④ 他の設備で代替できる Yes → 評価対象 No → 評価対象外</p>	<p>発電所構内の構築物、系統及び機器 防護対象設備の抽出※</p> <p>※以下、1、2、を抽出 1. 安全重要度クラス1,2,3に属する設備のうち原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる機能。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる機能を有する設備 2. 「使用済燃料ピット冷却」及び「使用済燃料ピットへの給水」機能を有する設備</p> <p>① 溢水により機能を喪失しない Yes → 評価対象 No → ② 原子炉格納容器内耐環境仕様の設備 Yes → 評価対象 No → ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない Yes → 評価対象 No → ④ 他の設備で代替できる Yes → 評価対象 No → 評価対象外</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>
<p>図 1.2-1 防護対象設備のうち溢水影響評価対象の選定フロー</p>	<p>図 3-1 防護対象設備のうち溢水影響評価対象の選定フロー</p>	<p>図 3-1 防護対象設備のうち溢水影響評価対象の選定フロー</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
表 1.2-1 溢水影響評価の対象外とする理由		表 3-4 溢水影響評価の対象外とする理由		表 3-4 溢水影響評価の対象外とする理由		<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>・女川審査実績の反映</p>
各ステップの項目	理由	各ステップの項目	理由	各ステップの項目	理由	
①フェイルポジションで安全機能に影響しない設備	フェイルアブイズでも安全機能に影響しない電動弁、フェイルポジションでも安全機能に影響しない空気作動弁等、動作機能喪失によっても安全機能へ影響しない設備は溢水影響がないと評価した。	① 溢水により機能喪失しない	容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないと評価した。	① 溢水により機能喪失しない	容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないと評価した。	
②原子炉格納容器内の設備	原子炉格納容器内に設置される設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、原子炉冷却材喪失（LOCA）時の原子炉格納容器内の状態（温度、圧力及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様としているため、溢水影響はないと評価した。又は、溢水事象が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないものは溢水影響がないと評価した。	② PCV内耐環境仕様様の設備	PCV内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、原子炉冷却材喪失（LOCA）時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様としているため、溢水影響はないと評価した。 なお、対象設備が耐環境仕様であることの確認は、メーカ試験等で行った事故時の環境条件を模擬した試験結果を確認することにより行った。	②原子炉格納容器内耐環境仕様様の設備	原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、原子炉冷却材喪失（LOCA）時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様としているため、溢水影響はないと評価した。 なお、対象設備が耐環境仕様であることの確認は、メーカ試験等で行った事故時の環境条件を模擬した試験結果を確認することにより行った。	
③水の影響を受けない設備	容器、熱交換器、フィルタ、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、静的機器は溢水影響がないと評価した。	③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない	状態監視のみの現場指示計、フェイル・アブ・イズでも安全機能に影響しない電動弁、あるいはフェイル・ポジションでも安全機能に影響しない空気作動弁など、動作機能喪失によっても安全機能へ影響しない設備は、溢水影響がないと評価した。	③動作機能の喪失により安全機能に影響しない	状態監視のみの現場指示計、フェイル・アブ・イズでも安全機能に影響しない電動弁、あるいはフェイル・ポジションでも安全機能に影響しない空気作動弁など、動作機能喪失によっても安全機能へ影響しない設備は、溢水影響がないと評価した。	
④他の設備で代替できる設備	他の設備により機能が代替できる設備は機能喪失しても安全機能に影響しない。具体的には、補助給水隔離弁が機能喪失しても上流側に設置されている補助給水流量調節弁は補助給水隔離弁と別区画にあり隔離機能を有する。	④ 他の設備で代替できる	他の設備により機能が代替できる設備は、機能喪失しても安全機能に影響しない。	④ 他の設備で代替できる	他の設備により機能が代替できる設備は、機能喪失しても安全機能に影響しない。	
<p>（添付資料 1.2-1）重要度の特に高い安全機能を有する系統並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統</p> <p>（添付資料 1.2-2）防護対象設備と機能喪失高さ一覧</p>						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由																		
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(1/9)												表1 防護対象設備一覧 (3/27)												表1 防護対象設備一覧 (3/35)												
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上 [m]		系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. + [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ K1(m)	個別設定高さ K2(m)	設定 箇所	安全 機能	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ K1(m)	個別設定高さ K2(m)	設定 箇所	安全 機能	相違理由								
補助給水系	3A, 3B電動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.60	0.60	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ入口圧力伝達器 (331-F001B)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	1.215 ^①	④	化学体積 制御系統	体積制御タンク出口第2止め弁 (3LCV-121C)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.67	1.02	基本	②	化学体積 制御系統	充てんポンプ入口燃料取替用水 ビット側入口弁A(3LCV-121B)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②									
補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.16	0.66	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ出口圧力伝達器 (331-F001C)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	1.245 ^①	④	化学体積 制御系統	充てんポンプ入口燃料取替用水 ビット側入口弁B(3LCV-121E)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②	化学体積 制御系統	充てんポンプ入口燃料取替用水 ビット側入口弁A(3LCV-121B)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②									
補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (3V-MS-570A, B)	原子炉 周辺建屋	33.6	34.74	1.14	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量力伝達器 (331-F001D)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	1.215 ^①	④	化学体積 制御系統	充てんラインCV外側止水弁 (3V-CS-175)	3BB-E-2	原子炉建屋	0.66	0.97	基本	②	化学体積 制御系統	充てんラインCV外側止水弁 (3V-CS-175)	3BB-E-2	原子炉建屋	0.66	0.97	基本	②									
補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (3TDF-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.26	0.26	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量力伝達器 (331-F001E)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	0.305	④	化学体積 制御系統	充てんラインCV外側隔離弁 (3V-CS-177)	3BB-E-2	原子炉建屋	0.66	0.97	基本	②③	化学体積 制御系統	充てんラインCV外側隔離弁 (3V-CS-177)	3BB-E-2	原子炉建屋	0.66	0.97	基本	②③									
補助給水系	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助 給水流量 (3FT-3716, 3726, 3736, 3746)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.16	1.06	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量力伝達器 (331-F001F)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	1.195	④⑤	化学体積 制御系統	A-ほう酸ポンプ(3CSP2A)	3AB-F-21	原子炉補助 建屋	0.43	0.59	基本	②	化学体積 制御系統	A-ほう酸ポンプ(3CSP2A)	3AB-F-21	原子炉補助 建屋	0.43	0.59	基本	②									
補助給水系	3復水ビット水位III, IV (3LT-3760, 3761)	原子炉 周辺建屋	26.0	26.45	0.45	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量力伝達器 (331-F001G)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	0.465	④⑤	化学体積 制御系統	B-ほう酸ポンプ(3CSP2B)	3AB-F-20	原子炉補助 建屋	0.43	0.59	基本	②	化学体積 制御系統	B-ほう酸ポンプ(3CSP2B)	3AB-F-20	原子炉補助 建屋	0.43	0.59	基本	②									
補助給水系	3復水ビット	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量力伝達器 (331-F001H)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	0.305	④⑤	化学体積 制御系統	緊急ほう酸注入弁(3V-CS-54)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.59	0.75	基本	②	化学体積 制御系統	緊急ほう酸注入弁(3V-CS-54)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.59	0.75	基本	②									
化学体積制 御系	3A, 3B充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.64	0.64	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量力伝達器 (331-F001I)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	1.165	④⑤	化学体積 制御系統	A-ほう酸タンク水位 (I) (3LT-206)	3AB-F-1	原子炉補助 建屋	1.03	1.00	個別	②③	化学体積 制御系統	A-ほう酸タンク水位 (I) (3LT-206)	3AB-F-1	原子炉補助 建屋	1.03	1.00	個別	②③									
化学体積制 御系	3C充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.31	0.31	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量力伝達器 (331-F001J)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	1.155	④⑤	化学体積 制御系統	B-ほう酸タンク水位 (II) (3LT-208)	3AB-F-1	原子炉補助 建屋	1.03	0.99	個別	②③	化学体積 制御系統	B-ほう酸タンク水位 (II) (3LT-208)	3AB-F-1	原子炉補助 建屋	1.03	0.99	個別	②③									
化学体積制 御系	3C充てんポンプ速度制御盤 (3CSC)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.00	1.00	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量力伝達器 (331-F001K)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	1.165	④⑤	化学体積 制御系統	1次冷却材ポンプ封水戻りライ ンCV外側隔離弁(3V-CS-255)	3BB-E-2	原子炉建屋	0.86	0.89	基本	⑤	化学体積 制御系統	1次冷却材ポンプ封水戻りライ ンCV外側隔離弁(3V-CS-255)	3BB-E-2	原子炉建屋	0.86	0.89	基本	⑤									
化学体積制 御系	3C充てんポンプ速度制御補助 盤 (3CSAC)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.80	0.80	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量力伝達器 (331-F001L)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	1.155	④⑤	化学体積 制御系統	余熱除去 系A-余熱除去ポンプ(3RFP1A)	3AB-L-6	原子炉補助 建屋	0.75	0.83	基本	③④	化学体積 制御系統	余熱除去 系A-余熱除去ポンプ(3RFP1A)	3AB-L-6	原子炉補助 建屋	0.75	0.83	基本	③④									
化学体積制 御系	3A, 3B, 3C1, 3C2充てんポンプ 現場操作箱 (3LB-5, 6, 7, 8)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量力伝達器 (331-F001M)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	0.825	④	化学体積 制御系統								化学体積 制御系統																
化学体積制 御系	3充てんポンプ入口燃料取替 用水ビット側補助弁A, B (3LCV-121D, E)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量力伝達器 (331-F001N)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	0.825	④	化学体積 制御系統									化学体積 制御系統															
化学体積制 御系	3A, 3Bほう酸ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.57	0.57	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量力伝達器 (331-F001O)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	0.905	④	化学体積 制御系統									化学体積 制御系統															
化学体積制 御系	3A, 3Bほう酸ポンプ現場操作 箱 (3LB-9, 10)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量力伝達器 (331-F001P)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	0.905	④	化学体積 制御系統									化学体積 制御系統															
化学体積制 御系	3充てんライン止め弁 (3V-CS-155)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.03	1.03	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量力伝達器 (331-F001Q)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	0.905	④⑤	化学体積 制御系統									化学体積 制御系統															
化学体積制 御系	3体積制御タンク出口第1止め 弁 (3LCV-121B)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.24	1.14	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量力伝達器 (331-F001R)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	0.415	⑤	化学体積 制御系統									化学体積 制御系統															
化学体積制 御系	3体積制御タンク出口第2止め 弁 (3LCV-121C)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.23	1.13	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量力伝達器 (331-F001S)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	0.605	④⑤	化学体積 制御系統									化学体積 制御系統															
化学体積制 御系	3緊急ほう酸注入ライン補給 弁 (3V-CS-573)	原子炉 周辺建屋	17.1	21.64	4.54	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量力伝達器 (331-F001T)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	0.595	④⑤	化学体積 制御系統									化学体積 制御系統															
化学体積制 御系	3充てんライン格納容器隔離 弁 (3V-CS-157)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.14	5.04	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量力伝達器 (331-F001U)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	0.895	④⑤⑥⑦	化学体積 制御系統									化学体積 制御系統															
化学体積制 御系	3-1次冷却材ポンプ封水戻り ライン格納容器第2隔離弁 (3V-CS-312)	原子炉 周辺建屋	17.1	20.98	3.88	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量力伝達器 (331-F001V)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	0.895	④⑤⑥⑦	化学体積 制御系統									化学体積 制御系統															
化学体積制 御系	3封水冷却器	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量力伝達器 (331-F001W)	0-03F-2	原子炉建屋 原子炉室	0.895	④⑤⑥⑦	化学体積 制御系統									化学体積 制御系統															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由				
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（2/9）					表1 防護対象設備一覧（4/27）					表1 防護対象設備一覧（4/35）									
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [※] [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ #1(m)	個別設定高さ #2(m)	設定 箇所	安全 機能	
化学体積制御系	3A,3B封水注入フィルタ	原子炉 周辺建屋	26.0	-	残留除去系	3A 3B封水注入フィルタ (31-1900B)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.420	②④⑤⑥	残留除去系	B-余熱除去ポンプ(3RP1B)	3AB-L-5	原子炉補助 建屋	0.75	0.83	基本	②④	
化学体積制御系	3封水ストレーナ	原子炉 周辺建屋	17.1	-	残留除去系	3B 3封水注入隔離弁 (31-1900A)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.560	②④⑤⑥	残留除去系	A-余熱除去ポンプミニ フロー弁(3FCY-601)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	2.95	3.25	基本	②④	
化学体積制御系	3体積制御タンク	原子炉 周辺建屋	17.1	-	残留除去系	3A 3B封水注入隔離弁 (31-1900B)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.560	②④⑤⑥	残留除去系	B-余熱除去ポンプミニ フロー弁(3FCY-611)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	2.95	3.23	基本	②④	
化学体積制御系	3A,3Bほう酸タンク水位 (3LT-206,208)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.21	1.11	残留除去系	3B 3封水注入隔離弁 (31-1900A)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.560	②④⑤⑥	残留除去系	A-余熱除去ポンプ出口流量 (I) (3FT-601)	3AB-K-4	原子炉補助 建屋	1.05	1.01	個別	②④
化学体積制御系	3A,3Bほう酸タンク	原子炉 周辺建屋	10.0	-	残留除去系	3A 3Bほう酸タンク (31-1901B)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	4.195	②④⑤⑥	残留除去系	B-余熱除去ポンプ出口流量 (II) (3FT-611)	3AB-K-4	原子炉補助 建屋	1.03	1.00	個別	②④	
化学体積制御系	3ほう酸フィルタ	原子炉 周辺建屋	10.0	-	残留除去系	3B ほう酸タンク冷却水配管 (31-1901A)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	10.217	②④⑤⑥	残留除去系	A-余熱除去ポンプKSP側 入口弁(3V-BH-051A)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	0.70	1.75	個別	②	
余熱除去系	3A,3B余熱除去ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.31	0.81	残留除去系	3B ほう酸タンク冷却水配管 (31-1901A)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	11.203	②④⑤⑥	残留除去系	B-余熱除去ポンプKSP側 入口弁(3V-BH-051B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	0.70	1.78	個別	②
余熱除去系	3A,3B余熱除去ポンプ現場操 作箱(31B-14,15)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.70	1.20	残留除去系	3A 3B余熱除去ポンプ (31-1901B)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	11.203	②④⑤⑥	残留除去系	A-余熱除去ポンプ再循環 環サンプ側入口弁(3V-BH-055A)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	0.70	1.77	個別	②
余熱除去系	3A,3B余熱除去ポンプ出口流 量(3FT-601,611)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.60	1.10	残留除去系	3B 余熱除去ポンプ (31-1901A)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	11.203	②④⑤⑥	残留除去系	B-余熱除去ポンプ再循環 環サンプ側入口弁(3V-BH-055B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	0.70	1.78	個別	②
余熱除去系	3A,3B余熱除去ポンプミニマ ムフローライン止め弁 (3FCY-601,611)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.96	0.86	残留除去系	3A 3B余熱除去ポンプ (31-1901B)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.370	②④⑤⑥	制御用 空気系統	A-制御用空気圧縮機(31AE1A)	3RB-J1-2	原子炉建屋	2.90	4.08	基本	②③
余熱除去系	3A,3B余熱除去冷却器	原子炉 周辺建屋	10.0	-	残留除去系	3B 余熱除去ポンプ (31-1901A)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	1.180	②④⑤⑥	制御用 空気系統	3A-C,3B-C制御用空気母管連 絡弁(3V-1A-501A,B)	3RB-J-1	原子炉建屋	2.90	3.85	個別	②③	
制御用空気系	3A,3B制御用空気圧縮機制御 盤(31AC-A,B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.54	0.44	残留除去系	3A 3B余熱除去冷却器 (31-1901B)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.615	②④	制御用 空気系統	3A,3B制御用空気供給母管圧 力(3PT-1800,1810)	3RB-J-1	原子炉建屋	2.90	3.85	個別	②③
制御用空気系	3A,3B制御用空気圧縮機	原子炉 周辺建屋	17.1	17.70	0.60	残留除去系	3B 余熱除去冷却器 (31-1901A)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.615	②④	制御用 空気系統	3A,3B余熱除去冷却器冷却水 サージタンク水位III,IV (3LT-1200,1201)	3RB-J-2	原子炉建屋	0.40	0.44	基本	②
制御用空気系	3A,3B制御用空気乾燥器 (31AH1A,B)	原子炉 周辺建屋	17.1	-	残留除去系	3A 3B余熱除去冷却器 (31-1901B)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.615	②④	制御用 空気系統	3原子炉補機冷却水サージ タンク	原子炉 周辺建屋	42.0	-	-	-	-	
制御用空気系	3A,3B制御用空気ため 系(31AT1A,B)	原子炉 周辺建屋	17.1	-	残留除去系	3B 余熱除去冷却器 (31-1901A)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.615	②④	制御用 空気系統								
制御用空気系	3A-C,3B-C制御用空気母管連 絡弁(3V-1A-501A,B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.80	0.70	残留除去系	3A 3B余熱除去冷却器 (31-1901B)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.370	②④	制御用 空気系統							
制御用空気系	3A,3B制御用空気蒸気逃が し弁等供給ライン止め弁 (3V-1A-505A,B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.77	0.67	残留除去系	3B 余熱除去冷却器 (31-1901A)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.370	②④	制御用 空気系統							
制御用空気系	3A,3B 制御用空気格納容器隔 離弁(3V-1A-508A,B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.99	0.89	残留除去系	3A 3B余熱除去冷却器 (31-1901B)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	1.900 [※]	②④	制御用 空気系統							
制御用空気系	3A,3B制御用空気供給母管圧 力(3PT-1800,1810)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.05	0.95	残留除去系	3B 余熱除去冷却器 (31-1901A)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	1.900 [※]	②④	制御用 空気系統							
原子炉補機 冷却系	3A,3B余熱除去冷却器冷却水 止め弁(3V-CC-114A,B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.72	1.72	残留除去系	3A 3B余熱除去冷却器 (31-1901B)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	1.000	②④	残留除去系							
原子炉補機 冷却系	3原子炉補機冷却水サージ タンク水位III,IV (3LT-1200,1201)	原子炉 周辺建屋	39.0	40.09	1.09	残留除去系	3B 余熱除去冷却器 (31-1901A)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	2.375	②④	残留除去系							
原子炉補機 冷却系	3原子炉補機冷却水サージ タンク	原子炉 周辺建屋	42.0	-	-	残留除去系	3A 3B余熱除去冷却器 (31-1901B)	3-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	2.375	②④	残留除去系							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由								
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(3/9)				表1 防護対象設備一覧（5/27）				表1 防護対象設備一覧（5/35）												
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床高 [m]	系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床高 [m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ H1[m]	個別設定高さ H2[m]	設定箇所	安全機能	
原子炉補機冷却系	3A, 3B原子炉補機冷却水冷却器	制御建屋	7.0	-	-	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	9.540	9.540	9.540	制御用空気系統	B-制御用空気圧縮機(3TAE1B)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.40	0.45	基本	0	
原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水ポンプ	制御建屋	7.0	9.10	2.10	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	9.870	9.870	9.870	制御用空気系統	A-制御用空気Cヘッダ供給弁(3V-IA-501A)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.50	0.80	基本	0	
原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱(3LB-20, 21, 22, 23)	制御建屋	7.0	9.90	2.90	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	9.830	9.830	9.830	制御用空気系統	B-制御用空気Cヘッダ供給弁(3V-IA-501B)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.50	0.80	基本	0	
原子炉補機冷却系	3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁(3V-CC-043A, B)	制御建屋	7.0	9.29	2.29	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	1.170	1.170	1.170	制御用空気系統	A-制御用空気主蒸気逃がし弁供給弁(3V-IA-505A)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.50	0.78	基本	0	
原子炉補機冷却系	3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水供給母管連絡弁(3V-CC-056A, B)	制御建屋	7.0	9.28	2.28	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	1.510	1.510	1.510	制御用空気系統	B-制御用空気主蒸気逃がし弁供給弁(3V-IA-503B)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.50	0.77	基本	0	
原子炉補機冷却系	34廃棄物処理建屋冷却水供給ライン第1, 2止め弁(3号機側)(34V-CC-600, 601)	原子炉周辺建屋	17.1	18.09	0.99	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	0.490	0.490	0.490	制御用空気系統	A-制御用空気ヘッダ圧力(III) (3PT-1800)	3RB-F-2	原子炉建屋	1.03	1.02	個別	0	
原子炉補機冷却系	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器冷却水止め弁(3V-CC-178A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.89	1.89	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	0.800	0.800	0.800	制御用空気系統	B-制御用空気ヘッダ圧力(IV) (3PT-1810)	3RB-F-2	原子炉建屋	1.03	1.01	個別	0	
原子炉補機冷却系	3-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁(3V-CC-403)	原子炉周辺建屋	17.1	22.41	5.31	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	0.900	0.900	0.900	関連設備	A-制御用空気圧縮機盤(3TAP)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.30	0.30	基本	0	
原子炉補機冷却系	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第2隔離弁(3V-CC-429)	原子炉周辺建屋	17.1	22.42	5.32	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	0.120	0.120	0.120	関連設備	B-制御用空気圧縮機盤(3TAPB)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.30	0.30	基本	0	
原子炉補機冷却系	3-CEDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水供給ラインCV隔離弁(3V-CC-342)	原子炉周辺建屋	17.1	22.12	5.02	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	0.120	0.120	0.120	関連設備	A-制御用空気圧縮機容量調節盤(3TAPFA)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.80	0.79	個別	0	
原子炉補機冷却系	3-CEDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水戻りラインCV隔離弁(3V-CC-365)	原子炉周辺建屋	17.1	22.13	5.03	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	0.600	0.600	0.600	関連設備	B-制御用空気圧縮機容量調節盤(3TAPFB)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.80	0.80	基本	0	
原子炉補機冷却系	3A-D, 3B-C格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁(3V-CC-189A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	21.22	4.12	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	0.400	0.400	0.400	制御用空気系統	A-制御用空気C/外側隔離弁(3V-IA-510A)	3RB-F-2	原子炉建屋	0.75	0.75	基本	0	
原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C, 3D格納容器再循環ユニット冷却水戻りライン格納容器隔離弁(3V-CC-198A, B, C, D)	原子炉周辺建屋	17.1	21.12	4.02	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	0.440	0.440	0.440									
原子炉補機冷却系	3A, 3B原子炉補機冷却水冷却器海水止め弁(3V-SW-570A, B)	制御建屋	7.0	9.70	2.70	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	0.120	0.120	0.120									
原子炉補機冷却系	3海水ポンプ出口3A, 3B, 3C, 3D海水ストレーナ(3S-SW-01A, B, C, D)	海水ポンプエリア	1.0	-	-	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	0.120	0.120	0.120									
原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C海水ポンプ	海水ポンプエリア	2.5	4.65	2.15	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	1.000	1.000	1.000									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由	
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(4/9)						表1 防護対象設備一覧 (6/27)						表1 防護対象設備一覧 (6/35)							
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]		系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. + [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ #1[m]	個別高さ #2[m]	設定 箇所	安全 機能
原子炉補機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現機操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	海水ポンプ建屋	2.5	6.50	4.00	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却系	3-2F-1	原子炉建屋	1.065	①	制御用空気系統	B-制御用空気C/V外側隔離弁 (3V-1A-510B)	3RB-F-2	原子炉建屋	6.75	0.75	基本	⑤⑥
電気盤	3主盤（原子炉盤）(3MCB)	制御建屋	21.8	21.96	0.16	原子炉格納容器隔離弁	3号炉ドレンライン第二隔離弁 (3D-1006)	3-2F-3	原子炉建屋	6.570	①	原子炉補機冷却水系統	A-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCP1A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.80	2.87	基本	⑦
電気盤	3原子炉補助盤 (3RAB)	制御建屋	21.8	21.98	0.18	原子炉格納容器隔離弁	3号炉ドレンライン第二隔離弁 (3D-1106)	3-2F-10	原子炉建屋	11.254	①	原子炉補機冷却水系統	B-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCP1B)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.80	2.87	基本	⑦
電気盤	3原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV (3RPF-I, II, III, IV)	制御建屋	21.8	21.96	0.16	原子炉格納容器隔離弁	3号炉ドレンライン第二隔離弁 (3D-1206)	3-2F-10	原子炉建屋	9.963	①	原子炉補機冷却水系統	C-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCP1C)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.80	2.58	基本	⑦
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D原子炉安全保護ロジック盤 (3RPL-A, B, C, D)	制御建屋	21.8	21.95	0.15	原子炉格納容器隔離弁	3号炉ドレンライン第二隔離弁 (3D-1306)	3-2F-10	原子炉建屋	6.645	①	原子炉補機冷却水系統	D-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCP1D)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.80	2.87	基本	⑦
電気盤	3安全保護シーケンス盤 AG1, AG2, BG1, BG2 (3SFS-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	21.8	22.00	0.20	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁(1) (3B-1005A)	3-2F-1-2	原子炉建屋	6.660	①	原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水戻り母管A側連絡弁 (3V-CC-044A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	1.30	2.65	基本	⑦
電気盤	3所内盤 (3HSB)	制御建屋	21.8	21.90	0.10	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁(2) (3B-1005B)	3-2F-1-2	原子炉建屋	6.660	①	原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水戻り母管B側連絡弁 (3V-CC-044B)	3RB-K-N1	原子炉建屋	1.30	2.66	基本	⑦
電気盤	事故時放射線監視盤 3RMS (3PRMS-III, IV)	制御建屋	21.8	21.87	0.07	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁空気継ぎ装置 (A) (3B-1005A)	3-2F-1-2	原子炉建屋	6.140	①	原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水供給母管A側連絡弁 (3V-CC-055A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.65	3.99	基本	⑦
電気盤	3原子炉トリップ遮断器盤 (3RTS)	原子炉隣接建屋	17.1	17.14	0.04	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁空気継ぎ装置 (B) (3B-1005B)	3-2F-1-2	原子炉建屋	6.140	①	原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水供給母管B側連絡弁 (3V-CC-055B)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.65	4.00	基本	⑦
電気盤	3A1, 3A2, 3A3, 3A4, 3B1, 3B2, 3B3, 3B4ソレノイド分電盤 (3SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁フィルタ装置 (3B-1005)	3-2F-1-2	原子炉建屋	6.130	①								
電気盤	3A, 3Bドロップ盤 (3BCP-A-DRP, 3BCP-B-DRP)	制御建屋	15.8	15.92	0.12	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁(1) (3B-1005A)	3-2F-1	原子炉建屋	1.230	①								
電気盤	3A, 3B直流電盤 (3DDP-A, B)	制御建屋	15.8	15.92	0.12	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁(2) (3B-1005B)	3-2F-1	原子炉建屋	1.230	①								
電気盤	3A, 3B直流分電盤 (3DDP-A, B)	制御建屋	15.8	16.28	0.48	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁(1) (3B-1005A)	3-2F-1	原子炉建屋	3.430	①								
電気盤	3A, 3B蓄電池	制御建屋	15.8	16.60	0.80	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁空気継ぎ装置 (A) 入口 (3B-1005A)	3-2F-1-2	原子炉建屋	1.440	①								
電気盤	3A, 3B充電器盤 (3BCP-A, B)	制御建屋	15.8	15.92	0.12	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁空気継ぎ装置 (B) 入口 (3B-1005B)	3-2F-1-2	原子炉建屋	1.440	①								
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2メタルクランプスイッチギア (3MC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.95	0.15	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁フィルタ装置 (1) (3B-1005)	3-2F-1-2	原子炉建屋	1.460	①								
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2パワーセンタ (3PC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.86	0.06	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁フィルタ装置 (2) (3B-1005)	3-2F-1-2	原子炉建屋	1.470	①								
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2原子炉コントロールセンタ (3RCC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	16.01	0.21	非常用ゾナ隔離弁	3号炉ドレンライン排気機 (3B-1005A)	3-2F-1	原子炉建屋	1.240	①								
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D計装用電源盤 (1) ~ (3) (3IBC-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	15.90	0.10	非常用ゾナ隔離弁	3号炉ドレンライン排気機 (3B-1005B)	3-2F-1	原子炉建屋	1.230	①								
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2, 3C1, 3C2, 3D1, 3D2計装用分電盤 (3IPD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2)	制御建屋	15.8	16.09	0.29														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由				
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（5/9）					表1 防護対象設備一覧（7/27）					表1 防護対象設備一覧（7/35）									
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ #1[m]	個別測定高さ #2[m]	設定 箇所	安全 機能	
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D計装用交流電源切替盤 (3ISP-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	16.13	0.33	保安用電源系	保安用電源系(4) 電気制御入口扉扉	3-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.955	①	原子炉 補機冷却 水系統	A-余熱除去冷却器補機冷却水 出口弁(3V-CC-117A)	3AB-K-4	原子炉補助 建屋	0.60	1.28	基本	③④
電気盤	3AC, 3BD計装用後備分電盤 (3IBD-AC, BD)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	保安用電源系	保安用電源系(3) 電気制御入口扉扉	3-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.945	①	原子炉 補機冷却 水系統	B-余熱除去冷却器補機冷却水 出口弁(3V-CC-117B)	3AB-K-4	原子炉補助 建屋	0.60	1.29	基本	③④
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機コントロールセンタ (3GCC-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.24	0.24	保安用電源系	フィード装置チャコールニアフィード入口扉扉(4)	3-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.275	①	原子炉 補機冷却 水系統	A-格納容器スプレイ冷却器 補機冷却水出口弁(3V-CC-177A)	3AB-K-4	原子炉補助 建屋	0.60	1.27	基本	⑤
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル機関	原子炉 周辺建屋	3.5 (本体は10.0)	3.91	0.41	保安用電源系	フィード装置チャコールニアフィード入口扉扉(3)	3-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.965	①	原子炉 補機冷却 水系統	B-格納容器スプレイ冷却器 補機冷却水出口弁(3V-CC-177B)	3AB-K-4	原子炉補助 建屋	0.60	1.30	基本	⑤
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機	原子炉 周辺建屋	3.5 (本体は10.0)	3.84	0.34	保安用電源系	フィード装置チャコールニアフィード扉扉(4)	3-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.100	①	原子炉 補機冷却 水系統	A-使用済燃料ピット冷却器 補機冷却水入口弁(3V-CC-151A)	3RB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機制御盤 (3DGC-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.10	0.10	保安用電源系	フィード装置チャコールニアフィード扉扉(3)	3-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.100	①	原子炉 補機冷却 水系統	B-使用済燃料ピット冷却器 補機冷却水入口弁(3V-CC-151B)	3RB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	保安用電源系	フィード装置チャコールニアフィード扉扉(4)	3-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.265	①	原子炉 補機冷却 水系統	A-使用済燃料ピット冷却器 補機冷却水出口弁(3V-CC-151A)	3RB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥
格納容器スプレイ系	3よう素除去薬品タンク	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	保安用電源系	フィード装置チャコールニアフィード扉扉(3)	3-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.975	①	原子炉 補機冷却 水系統	B-使用済燃料ピット冷却器 補機冷却水出口弁(3V-CC-151B)	3RB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥
格納容器スプレイ系	3格納容器圧力 (広域) I, II, III, IV (3PT-950, 951, 952, 953)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.08	4.98	可動性ガス濃度制御系(A)	PC5 3D濃度調整弁	3-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.900	①	原子炉 補機冷却 水系統	A-使用済燃料ピット冷却器 補機冷却水出口弁(3V-CC-159A)	3RB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.31	0.81	可動性ガス濃度制御系(B)	PC2濃度調整弁(4) 用圧調整弁	3-2F-2-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.975	①	原子炉 補機冷却 水系統	B-使用済燃料ピット冷却器 補機冷却水出口弁(3V-CC-159B)	3RB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイポンプ現場操作箱 (3LB-18, 19)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.70	1.20	可動性ガス濃度制御系(C)	可動性ガス濃度制御系内組合型調整弁(4) (電気ヒータ)	3-2F-2-3	原子炉建屋 原子炉棟	0.145	①	原子炉 補機冷却 水系統	戻りライン第1止め弁	3AB-F-1	原子炉補助 建屋	0.62	1.02	基本	⑦
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイポンプ燃料取替用水ピット側入口止め弁 (3V-CP-001A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.95	1.95	可動性ガス濃度制御系(D)	可動性ガス濃度制御系内組合型調整弁(3) (L)	3-2F-2-3	原子炉建屋 原子炉棟	0.115	①	原子炉 補機冷却 水系統	戻りライン第1止め弁	3AB-F-1	原子炉補助 建屋	0.62	1.02	基本	⑦
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイポンプ再循環サンプリング側入口格納容器隔離弁 (3V-CP-003A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	12.08	2.08	可動性ガス濃度制御系(E)	PC5 A系入口調整弁	3-2F-3	原子炉建屋 原子炉棟	0.440	①	原子炉 補機冷却 水系統							
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイヘッド冷却器出口格納容器隔離弁 (3V-CP-024A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.97	1.87	可動性ガス濃度制御系(F)	PC5 A系入口調整弁	3-2F-3	原子炉建屋 原子炉棟	0.900	①	原子炉 補機冷却 水系統							
格納容器スプレイ系	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.65	0.55	可動性ガス濃度制御系(G)	PC5 A系高圧注入弁	3-2F-3	原子炉建屋 原子炉棟	0.115	①	原子炉 補機冷却 水系統							
格納容器スプレイ系	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第2止め弁 (3V-CP-056A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.65	0.55	可動性ガス濃度制御系(H)	PC5 A系17流量調整弁	3-2F-3	原子炉建屋 原子炉棟	0.115	①	原子炉 補機冷却 水系統							
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.00	0.50	可動性ガス濃度制御系(I)	PC5 A系17流量調整弁	3-2F-3	原子炉建屋 原子炉棟	0.115	①	原子炉 補機冷却 水系統							
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ現場操作箱 (3LB-12, 13)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.70	1.20	可動性ガス濃度制御系(J)	PC5 A系17流量調整弁	3-2F-3	原子炉建屋 原子炉棟	0.115	①	原子炉 補機冷却 水系統							
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ燃料取替用水ピット側入口弁 (3V-SI-002A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.93	1.93	可動性ガス濃度制御系(K)	PC5 A系17流量調整弁	3-2F-3	原子炉建屋 原子炉棟	0.115	①	原子炉 補機冷却 水系統							
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁 (3V-SI-015A, B)	原子炉 周辺建屋	6.6	7.38	0.78	可動性ガス濃度制御系(L)	PC5 A系17流量調整弁	3-2F-3	原子炉建屋 原子炉棟	0.115	①	原子炉 補機冷却 水系統							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由									
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(6/9)				表1 防護対象設備一覧 (8/27)				表1 防護対象設備一覧 (8/35)													
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. +[m]	機能喪失高さ [※] E.L. +[m]	床高[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [※] [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ #1[m]	個別設定高さ #2[m]	設定 箇所	安全 機能	相違理由	
安全注入系	3A, 3B 3B 高压注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁 (3V-SI-016A, B)	原子炉 周辺建屋	6.6	7.38	0.78	可動性/高圧制御系 (A)	PCV 3号炉 (A) A21 減速駆動弁駆動線 (T49-070040)	B-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	6.115	①	原子炉 補機冷却 水系統	BA, 3B 及 C/A 再循環冷却水 戻りライン第2止め弁 (3V-CC-352)	3AB-F-1	原子炉補助 建屋	6.62	1.01	基本	⑤		
安全注入系	3A, 3B 3B 高压注入ポンプ格納容器再循環サンプ側入口格納容器隔離弁 (3V-SI-093A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.82	1.82	可動性/高圧制御系 (A)	PCV 3号炉 (A) A11 圧力伝送線 (T49-070040)	B-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	6.115	①	原子炉 補機冷却 水系統	原子炉補機冷却水サージタンク 水位 (III) (3LT-1200)	3BB-A-N2	原子炉建屋	1.03	1.02	個別	⑤		
安全注入系	3A, 3B 3B 余熱除去ポンプ RWS ピット及び再循環サンプ側入口弁 (3V-SI-096A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.93	1.93	可動性/高圧制御系 (A)	PCV 3号炉 (A) 20111 炉内圧力監視電対 (T49-30040-1)	B-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①	原子炉 補機冷却 水系統	原子炉補機冷却水サージタンク 水位 (IV) (3LT-1201)	3BB-A-N2	原子炉建屋	1.01	1.00	個別	⑤		
安全注入系	3A 3B 3B 高压注入流量 (I), 3B 3B 高压注入流量 (II) (3FT-962, 963)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.10	1.10	可動性/高圧制御系 (A)	PCV 3号炉 (A) 20112 炉内圧力監視電対 (T49-30040-2)	B-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①	原子炉 補機冷却 水系統	A, B-C/V 再循環ユニット補機 冷却水入口 C/V 外側隔離弁 (3V-CC-203A)	3BB-D-2	原子炉建屋	1.00	1.18	基本	⑤		
安全注入系	3 燃料取替用水ピット水位 I, II, III, IV (3LT-1400, 1401, 1402, 1403)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.18	1.08	可動性/高圧制御系 (A)	PCV 3号炉 (A) 20113 炉内圧力監視電対 (T49-30040-3)	B-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①	原子炉 補機冷却 水系統	C, D-C/V 再循環ユニット補機 冷却水入口 C/V 外側隔離弁 (3V-CC-203B)	3BB-D-3	原子炉建屋	1.20	1.39	基本	⑤		
安全注入系	3 燃料取替用水ピット	原子炉 周辺建屋	18.5	-	-	可動性/高圧制御系 (A)	PCV 3号炉 (A) 20114 炉内圧力監視電対 (T49-30040-4)	B-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①	原子炉 補機冷却 水系統	A-C/V 再循環ユニット補機 冷却水出口 C/V 外側隔離弁 (3V-CC-203A)	3BB-D-2	原子炉建屋	3.94	4.00	基本	⑤		
燃料取替用水系	3A, 3B 燃料取替用水ポンプ	原子炉 周辺建屋	17.1	17.57	0.47	可動性/高圧制御系 (A)	PCV 3号炉 (A) 20115 炉内圧力監視電対 (T49-30040-5)	B-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	6.115	①	原子炉 補機冷却 水系統	B-C/V 再循環ユニット補機 冷却水出口 C/V 外側隔離弁 (3V-CC-203B)	3BB-D-2	原子炉建屋	3.94	4.00	基本	⑤		
燃料取替用水系	3A, 3B 燃料取替用水ポンプ現場操作箱 (3LB-33, 34)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.30	1.20	可動性/高圧制御系 (A)	PCV 3号炉 (A) 20116 炉内圧力監視電対 (T49-30040-6)	B-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①	原子炉 補機冷却 水系統	C-C/V 再循環ユニット補機 冷却水出口 C/V 外側隔離弁 (3V-CC-203C)	3BB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤		
燃料ピット 冷却浄化系	3A, 3B 使用済燃料ピット冷却器	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	可動性/高圧制御系 (A)	PCV 3号炉 (A) 20117 炉内圧力監視電対 (T49-30040-7)	B-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①	燃料ピット 冷却浄化系	3A, 3B 使用済燃料ピット ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.71	0.71				
燃料ピット 冷却浄化系	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.71	0.71	可動性/高圧制御系 (A)	PCV 3号炉 (A) 20118 炉内圧力監視電対 (T49-30040-8)	B-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①	燃料ピット 冷却浄化系	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ 現場操作箱 (3LB-24, 25)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20				
燃料ピット 冷却浄化系	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ現場操作箱 (3LB-24, 25)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	可動性/高圧制御系 (A)	PCV 3号炉 (A) 20119 炉内圧力監視電対 (T49-30040-9)	B-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①	主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気逃がし弁 (3PCV-3610, 3620, 3630, 3640)	原子炉 周辺建屋	26.0	37.37	11.37				
主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気逃がし弁 (3PCV-3610, 3620, 3630, 3640)	原子炉 周辺建屋	26.0	37.37	11.37	可動性/高圧制御系 (A)	PCV 3号炉 (A) 20120 炉内圧力監視電対 (T49-30040-10)	B-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①	主蒸気系	I, II, III, IV, 3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気圧力 (3PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498)	原子炉 周辺建屋	29.0	30.00	1.00				
主蒸気系	I, II, III, IV, 3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気圧力 (3PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498)	原子炉 周辺建屋	29.0	30.00	1.00	可動性/高圧制御系 (A)	PCV 3号炉 (A) 20121 炉内圧力監視電対 (T49-30040-11)	B-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①	主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気隔離弁 (3V-MS-533A, B, C, D)	原子炉 周辺建屋	33.6	36.78	3.18				
主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気隔離弁 (3V-MS-533A, B, C, D)	原子炉 周辺建屋	33.6	36.78	3.18	可動性/高圧制御系 (A)	PCV 3号炉 (A) 20122 炉内圧力監視電対 (T49-30040-12)	B-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①	主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気隔離弁 (3V-MS-533A, B, C, D 付属 バルブ)	原子炉 周辺建屋	29.0	29.52	0.52				
主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気隔離弁 (3V-MS-533A, B, C, D 付属バルブ)	原子炉 周辺建屋	29.0	29.52	0.52	可動性/高圧制御系 (A)	PCV 3号炉 (A) 20123 炉内圧力監視電対 (T49-30040-13)	B-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①	冷水系	3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷凍機	制御建屋	10.0	10.59	0.59				
冷水系	3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷凍機	制御建屋	10.0	10.59	0.59	可動性/高圧制御系 (A)	PCV 3号炉 (A) 20124 炉内圧力監視電対 (T49-30040-14)	B-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①	冷水系	3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷水 ポンプ	制御建屋	10.0	10.54	0.54				
冷水系	3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷水ポンプ	制御建屋	10.0	10.54	0.54	可動性/高圧制御系 (A)	PCV 3号炉 (A) 20125 炉内圧力監視電対 (T49-30040-15)	B-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①	冷水系	3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷水 ポンプ現場操作箱 (3LB-103, 104, 105, 106)	制御建屋	10.0	11.20	1.20				
冷水系	3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷水ポンプ現場操作箱 (3LB-103, 104, 105, 106)	制御建屋	10.0	11.20	1.20	可動性/高圧制御系 (A)	PCV 3号炉 (A) 20126 炉内圧力監視電対 (T49-30040-16)	B-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	6.145	①										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由		
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(7/9)						表1 防護対象設備一覧（9/27）						表1 防護対象設備一覧（9/35）								
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]		系統	設備	設置番号	設置建屋	E.L. [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設置高さ *1[m]	個別設置高さ *2[m]	設定場所	安全機能	
冷水系	3空調用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止め弁 (3V-CH-032, 033)	制御建屋	10.0	11.21	1.21	可動性プラ保護制御系	PC3 3号炉再循環流量調整弁 (34P-PT002)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.105	①	原子炉補機冷却水系統	余剰抽出冷却器等補機冷却水入口C/A外側隔離弁 (3V-CC-422)	3RB-E-1	原子炉建屋	1.38	1.45	基本	⑤	
冷水系	3A, 3B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2878, 2879)	制御建屋	26.1	27.32	1.22	可動性プラ保護制御系	PC2 プラウ (2) 入口流量調整弁 (34P-PT002)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.105	①	原子炉補機冷却水系統	余剰抽出冷却器等補機冷却水出口C/A外側隔離弁 (3V-CC-430)	3RB-E-1	原子炉建屋	0.88	0.90	基本	⑤	
冷水系	34C, 34D安全補機開閉器室空調ユニット冷水温度制御弁 (34TCV-2800, 2801)	制御建屋	26.1	27.58	1.48	可動性プラ保護制御系	PC2 プラウ (2) 入口流量調整弁 (34P-PT002)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.105	①	原子炉補機冷却水系統	1次冷却材ポンプ補機冷却水入口止め弁 (3V-CC-501)	3RB-E-1	原子炉建屋	1.12	1.27	基本	⑤	
換気空調系	3換気空調盤 (3VB)	制御建屋	21.8	21.97	0.17	可動性プラ保護制御系	PC2 プラウ (2) 入口流量調整弁 (34P-PT002)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.105	①	原子炉補機冷却水系統	1次冷却材ポンプ補機冷却水入口C/A外側隔離弁 (3V-CC-503)	3RB-E-1	原子炉建屋	1.12	1.28	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン	制御建屋	26.1	27.35	1.25	可動性プラ保護制御系	PC3 制御室 (2) 内ガム温度監視電対 (34P-33049-1)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.143	①	原子炉補機冷却水系統	1次冷却材ポンプ補機冷却水出口C/A外側隔離弁 (3V-CC-528)	3RB-E-1	原子炉建屋	1.12	1.25	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン現場操作箱 (3LB-101, 102)	制御建屋	26.1	27.30	1.20	可動性プラ保護制御系	PC3 制御室 (2) 内ガム温度監視電対 (34P-33049-2)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.143	①	関連設備	A-充電器室 (3CPA)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥	
換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン出口ダンパ (3D-VS-603A, B)	制御建屋	26.1	30.03	3.93	可動性プラ保護制御系	PC3 制御室 (2) 内ガム温度監視電対 (34P-33049-1)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.143	①	関連設備	B-充電器室 (3CPB)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥	
換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン出口流量 (3FS-2910, 2911)	制御建屋	26.1	27.42	1.32	可動性プラ保護制御系	PC3 制御室 (2) 内ガム温度監視電対 (34P-33049-2)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.143	①	関連設備	運転コンソール (3MCB)	3AB-F-NS	原子炉補助建屋	0.20	0.20	基本	⑥	
換気空調系	3中央制御室温度 (1), (2) (3TS-2908, 2909)	制御建屋	21.8	23.21	1.41	可動性プラ保護制御系	PC3 制御室 (2) 内ガム温度監視電対 (34P-33049-1)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.143	①	関連設備	共通要因故障対策EP室操作盤 (3CMFLP)						⑥	
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン	制御建屋	26.1	26.34	0.24	可動性プラ保護制御系	PC3 制御室 (2) 内ガム温度監視電対 (34P-33049-2)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.143	①	関連設備	A-共通要因故障対策操作盤 (3CMPA)	3AB-F-NR	原子炉補助建屋	0.37	0.33	個別	⑥	
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン現場操作箱 (3LB-95, 96)	制御建屋	26.1	27.30	1.20	可動性プラ保護制御系	PC3 制御室 (2) 内ガム温度監視電対 (34P-33049-1)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.143	①									
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A, B)	制御建屋	26.1	27.53	1.43	可動性プラ保護制御系	PC3 制御室 (2) 内ガム温度監視電対 (34P-33049-2)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.143	①									
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環流量調節ダンパ (3HCD-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.52	1.42	可動性プラ保護制御系	PC3 制御室 (2) 内ガム温度監視電対 (34P-33049-1)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.143	①									
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ダンパ流量設定 (3HC-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.85	1.75	可動性プラ保護制御系	PC3 制御室 (2) 内ガム温度監視電対 (34P-33049-2)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.143	①									
換気空調系	34A, 34B安全補機開閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78	可動性プラ保護制御系	PC3 制御室 (2) 内ガム温度監視電対 (34P-33049-1)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.143	①									
換気空調系	34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78	可動性プラ保護制御系	PC3 制御室 (2) 内ガム温度監視電対 (34P-33049-2)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.143	①									
換気空調系	34A, 34B, 34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン現場操作箱 (34LB-13, 14, 20, 21)	制御建屋	26.1	27.33	1.23	可動性プラ保護制御系	PC3 制御室 (2) 内ガム温度監視電対 (34P-33049-1)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.143	①									
換気空調系	3安全系電気盤室給気止めダンパ A, B (3D-VS-532, 533)	制御建屋	26.1	29.36	3.26	可動性プラ保護制御系	PC3 制御室 (2) 内ガム温度監視電対 (34P-33049-2)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.143	①									
換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパ A (3D-VS-536)	制御建屋	28.7	30.96	2.26	可動性プラ保護制御系	PC3 制御室 (2) 内ガム温度監視電対 (34P-33049-1)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.143	①									
換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパ B (3D-VS-537)	制御建屋	26.1	29.50	3.40	可動性プラ保護制御系	PC3 制御室 (2) 内ガム温度監視電対 (34P-33049-2)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.143	①									
換気空調系	3A, 3B安全補機開閉器室温度 (3TS-2817, 2818)	制御建屋	15.8	17.20	1.40	可動性プラ保護制御系	PC3 制御室 (2) 内ガム温度監視電対 (34P-33049-1)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.143	①									
換気空調系	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.40	0.30	可動性プラ保護制御系	PC3 制御室 (2) 内ガム温度監視電対 (34P-33049-2)	B-2P-2-4	原子炉建屋	9.143	①									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉							女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉							相違理由	
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(8/9)							表1 防護対象設備一覧（10/27）							表1 防護対象設備一覧（10/35）								
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L.+[m]	機能喪失高さ [※] E.L.+[m] 床上[m]			系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L.+[m]	機能喪失高さ [※] E.L.+[m] 床上[m]			系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ 訂正高さ 訂正高さ 訂正高さ	個別高 訂正高さ 訂正高さ	設定 高さ	安全 機能	相違理由
換気空調系	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン現場操作箱 (3LB-90, 91)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.30	1.20	換気空調系	原子炉本位(伝導機)等 (3D-470020)	原子炉建屋 原子炉棟	9.402-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.300	①	換気空調系	B-共通要因故障対策操作盤 (3CMPB)	3AB-F-N8	原子炉補助 建屋	0.31	0.33	個別	①		
換気空調系	3制御用空気圧縮機室排気ダンパA, B (3D-VS-431A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	21.65	4.55	換気空調系	2号機室中(シンプA)制御弁 (3D2-19001A)	原子炉建屋 原子炉棟	9-2F-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.300	①	換気空調系	A-中央制御室外原子炉停止盤 (3EPA)						②		
換気空調系	3制御用空気圧縮機室温度(1), (2), (3), (4) (3TS-2771, 2772, 2773, 2774)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.50	1.40	換気空調系	2号機室中(シンプA)制御弁 (3D2-19002A)	原子炉建屋 原子炉棟	9-2F-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.310	①	換気空調系	B-中央制御室外原子炉停止盤 (3EPB)						②		
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン	原子炉 周辺建屋	17.1	17.43	0.33	換気空調系	2号機室中(シンプA)制御弁 (3D2-19003A)	原子炉建屋 原子炉棟	9-2F-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.430	①	換気空調系	A-換気空調系集中現場盤 (3LVPA)						③		
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン現場操作箱 (3LB-86, 87)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.30	1.20	換気空調系	2号機室中(シンプA)制御弁 (3D2-19004A)	原子炉建屋 原子炉棟	9-2F-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.500	①	換気空調系	B-換気空調系集中現場盤 (3LVPB)						③		
換気空調系	3電動補助給水ポンプ室排気ダンパA, B (3D-VS-411A, B)	原子炉 周辺建屋	21.3	23.30	2.00	換気空調系	2号機室中(シンプA)制御弁 (3D2-19005A)	原子炉建屋 原子炉棟	9-2F-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.210	①	換気空調系	工学的な安全施設作動盤 (トレンA) (3EPA)	3AB-F-N13	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	④		
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室温度(1), (2) (3TS-2741, 2742, 2743, 2744)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.40	1.40	換気空調系	2号機室中(ハイパス)弁 (3D2-1911)	原子炉建屋 原子炉棟	9-2F-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	2.010	①	換気空調系	工学的な安全施設作動盤 (トレンB) (3EPB)	3AB-F-N2	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	④		
換気空調系	3A1, 3A2, 3B1, 3B2ディーゼル発電機室給気ファン	原子炉 周辺建屋	33.6	33.91	0.31	換気空調系	2号機室中(圧力調整)弁(圧り止め弁) (3D2-1912)	原子炉建屋 原子炉棟	9-2F-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	2.100	①	換気空調系	A-1次冷却材ポンプ母線計測盤(3RBI A)	3RB-H-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	⑤		
換気空調系	3A1-A2, 3B1-B2ディーゼル発電機室給気ファン現場操作箱 (3LB-84, 85)	原子炉 周辺建屋	33.6	34.82	1.22	換気空調系	2号機室中(圧力調整)弁(圧り止め弁) (3D2-1913)	原子炉建屋 原子炉棟	9-2F-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	2.200	①	換気空調系	B-1次冷却材ポンプ母線計測盤(3RBI B)	3RB-H-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	⑤		
換気空調系	3ディーゼル発電機室排気ダンパ(A1, A2, B1, B2) (3D-VS-401A, B, 403A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	13.59	3.59	換気空調系	2号機室中(圧力調整)弁(圧り止め弁) (3D2-1914)	原子炉建屋 原子炉棟	9-2F-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.040	①	換気空調系	C-1次冷却材ポンプ母線計測盤(3RBI C)	3RB-H-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	⑤		
換気空調系	3A, 3Bディーゼル発電機室温度(1), (2), (3), (4) (3TS-2701, 2702, 2703, 2704, 2711, 2712, 2713, 2714)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.18	1.18	換気空調系	2号機室中(圧力調整)弁(圧り止め弁) (3D2-1915)	原子炉建屋 原子炉棟	9-2F-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.000	①	換気空調系	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルI) (SRTI)	3RB-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑥		
換気空調系	3A, 3B安全補機室冷却ファン	原子炉 周辺建屋	17.1	17.93	0.83	換気空調系	2号機室中(圧力調整)弁(圧り止め弁) (3D2-1916)	原子炉建屋 原子炉棟	9-2F-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.500	①	換気空調系	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルII) (SRTII)	3RB-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑥		
換気空調系	3A, 3B安全補機室冷却ファン現場操作箱 (3LB-82, 83)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.30	1.20	換気空調系	2号機室中(圧力調整)弁(圧り止め弁) (3D2-1917)	原子炉建屋 原子炉棟	9-2F-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.000	①	換気空調系									
換気空調系	3A, 3B安全補機室温度(1), (2) (3TS-2680, 2681, 2690, 2691)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.28	1.28	換気空調系	2号機室中(圧力調整)弁(圧り止め弁) (3D2-1918)	原子炉建屋 原子炉棟	9-2F-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.000	①	換気空調系									
換気空調系	3A, 3B安全補機室排気ダンパ (3D-VS-105A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.61	5.51	換気空調系	2号機室中(圧力調整)弁(圧り止め弁) (3D2-1919)	原子炉建屋 原子炉棟	9-2F-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.000	①	換気空調系									
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン	原子炉 周辺建屋	10.0	10.59	0.59	換気空調系	2号機室中(圧力調整)弁(圧り止め弁) (3D2-1920)	原子炉建屋 原子炉棟	9-2F-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.000	①	換気空調系									
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン現場操作箱 (3LB-77, 78)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	換気空調系	2号機室中(圧力調整)弁(圧り止め弁) (3D2-1921)	原子炉建屋 原子炉棟	9-2F-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.000	①	換気空調系									
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン給気加熱コイル	原子炉 周辺建屋	10.0	10.46	0.46	換気空調系	2号機室中(圧力調整)弁(圧り止め弁) (3D2-1922)	原子炉建屋 原子炉棟	9-2F-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.100	①	換気空調系									
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室温度調節計 (3TC-2601, 2611)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.70	0.70	換気空調系	2号機室中(圧力調整)弁(圧り止め弁) (3D2-1923)	原子炉建屋 原子炉棟	9-2F-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.010	①	換気空調系									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由		
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(9/9)						表1 防護対象設備一覧（11/27）						表1 防護対象設備一覧（11/35）								
系統	設備	設置建屋	設置高さ		機能喪失高さ [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ¹⁾ [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1)} [m]	個別設定高さ ^{※2)} [m]	設定箇所	安全機能	相違理由
			E.L. + [m]	E.L. + [m]																
換気空調系	3号炉酸タンク室温度(1),(2),(3),(4) (3TS-2602, 2603, 2612, 2613)	原子炉周辺建屋	10.0	11.29	1.29	原子炉格納容器	2号炉冷却水ポンプ	3号炉建屋	2.945	④	関連設備	原子炉トリップ遮断装置(チャンネルIII) (SRTIII)	3BB-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	④		
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン	制御建屋	29.3	29.90	0.60	原子炉格納容器	2号炉冷却水ポンプ	3号炉建屋	7.065	④	関連設備	原子炉トリップ遮断装置(チャンネルIV) (SRTIV)	3BB-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	④		
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン現場操作箱 (3LB-97, 98)	制御建屋	29.3	30.50	1.20	原子炉格納容器	2号炉冷却水ポンプ	3号炉建屋	1.795	④	関連設備	原子炉安全保護盤(チャンネルI) (SPI)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	④		
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-VS-602A, B)	制御建屋	29.3	29.66	0.36	原子炉格納容器	2号炉冷却水ポンプ	3号炉建屋	3.445	④	関連設備	原子炉安全保護盤(チャンネルII) (SPII)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	④		
換気空調系	3A, 3B中央制御室外気取入流量調節ダンパ (3HCD-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.76	1.46	原子炉格納容器	2号炉冷却水ポンプ	3号炉建屋	10.245	④	関連設備	原子炉安全保護盤(チャンネルIII) (SPIII)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	④		
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ (3HCD-2889, 2890)	制御建屋	29.3	29.67	0.37	原子炉格納容器	2号炉冷却水ポンプ	3号炉建屋	3.915	④	関連設備	原子炉安全保護盤(チャンネルIV) (SPIV)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	④		
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時循環流量調節ダンパ (3HCD-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.29	1.99	原子炉格納容器	2号炉冷却水ポンプ	3号炉建屋	3.235	④	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤(SSFMA)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	④		
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン出口流量 (3FS-2904, 2905)	制御建屋	26.1	27.44	1.34	原子炉格納容器	2号炉冷却水ポンプ	3号炉建屋	1.055	④	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤(SSFMB)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	④		
換気空調系	3A, 3B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定 (3HC-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.90	1.60	原子炉格納容器	2号炉冷却水ポンプ	3号炉建屋	9.005	④	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤(SSFOA)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.06	0.05	個別	④		
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時外気取入調節ダンパ流量設定 (3HC-2889, 2890)	制御建屋	29.3	30.49	1.19	原子炉格納容器	2号炉冷却水ポンプ	3号炉建屋	9.005	④	関連設備	安全系マルチプレクサ(トレンA) (SSMCA)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	④		
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時循環ダンパ流量設定 (3HC-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.45	2.15	原子炉格納容器	2号炉冷却水ポンプ	3号炉建屋	9.005	④	関連設備	安全系マルチプレクサ(トレンB) (SSMCB)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	④		
換気空調系	3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン (3VSFA, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.47	0.57	原子炉格納容器	2号炉冷却水ポンプ	3号炉建屋	9.005	④										
換気空調系	3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン現場操作箱 (3LB-52, 53)	原子炉周辺建屋	20.9	22.10	1.20	原子炉格納容器	2号炉冷却水ポンプ	3号炉建屋	9.005	④										
換気空調系	3A, 3Bアニュラス排気ダンパ (3D-VS-101A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.37	0.47	原子炉格納容器	2号炉冷却水ポンプ	3号炉建屋	9.005	④										
換気空調系	3A, 3Bアニュラス戻りダンパ (3D-VS-104A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	19.24	2.14	原子炉格納容器	2号炉冷却水ポンプ	3号炉建屋	9.005	④										
換気空調系	3A, 3Bアニュラス全量排気弁 (3V-VS-102A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	22.97	2.07	原子炉格納容器	2号炉冷却水ポンプ	3号炉建屋	9.005	④										
換気空調系	3A, 3Bアニュラス少量排気弁 (3V-VS-103A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	23.25	2.35	原子炉格納容器	2号炉冷却水ポンプ	3号炉建屋	9.005	④										

※ 没水しても機能喪失しない設備は、機能喪失高さを「-」とする。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(1/9)				表1 防護対象設備一覧（12/27）				表1 防護対象設備一覧（12/35）					
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床高 [※] E.L. + [m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ E.L. + [m]	個別測定高さ E.L. + [m]	設定高さ E.L. + [m]	安全機能
補助給水系	4A, 4B電動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.60	0.60	制御系統	原子炉格納容器	3B-F-N13	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑤
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.16	0.66	制御系統	原子炉格納容器	3B-F-N13	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑤
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (4V-MS-570A, B)	原子炉 周辺建屋	33.6	34.75	1.15	制御系統	原子炉格納容器	3B-F-N13	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑤
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (4TDF-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.26	0.26	制御系統	原子炉格納容器	3B-F-N2	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑤
補助給水系	4A, 4B, 4C, 4D蒸気発生器補助 給水量 (4FT-3716, 3726, 3736, 3746)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.21	1.11	制御系統	原子炉格納容器	3B-F-N2	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑤
補助給水系	4復水ビット水位Ⅲ, IV (4LT-3760, 3761)	原子炉 周辺建屋	26.0	26.45	0.45	制御系統	原子炉格納容器	3B-F-N2	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑤
補助給水系	4復水ビット	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-	制御系統	原子炉格納容器	3B-F-N2	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑤
化学体積制御系	4A, 4B充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.65	0.65	制御系統	原子炉格納容器	3B-F-N6	原子炉補助 建屋	0.10	0.10	個別	⑤
化学体積制御系	4C充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.29	0.29	制御系統	原子炉格納容器	3B-F-N1	原子炉補助 建屋	0.10	0.10	個別	⑤
化学体積制御系	4C充てんポンプ速度制御盤 (4CSC)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.00	1.00	制御系統	原子炉格納容器	3B-F-N6	原子炉補助 建屋	0.10	0.10	個別	⑤
化学体積制御系	4C充てんポンプ速度制御補助 盤 (4CSAC)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.80	0.80	制御系統	原子炉格納容器	3B-F-N1	原子炉補助 建屋	0.10	0.10	個別	⑤
化学体積制御系	4A, 4B, 4C1, 4C2充てんポンプ 現場操作箱 (4LB-5, 6, 7, 8)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	制御系統	原子炉格納容器	3B-F-N6	原子炉補助 建屋	0.21	0.23	基本	⑤
化学体積制御系	4充てんポンプ入口燃料取替 用水ビット側補給弁A, B (4LCV-121D, E)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.19	1.19	制御系統	原子炉格納容器	3B-F-N6	原子炉補助 建屋	0.21	0.22	基本	⑤
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.62	0.62	制御系統	原子炉格納容器						
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸ポンプ現場操作 箱 (4LB-9, 10)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	制御系統	原子炉格納容器						
化学体積制御系	4充てんライン止め弁 (4V-CS-155)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.03	1.03	制御系統	原子炉格納容器						
化学体積制御系	4体積制御タンク出口第1止め 弁 (4LCV-121B)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.26	1.16	制御系統	原子炉格納容器						
化学体積制御系	4体積制御タンク出口第2止め 弁 (4LCV-121C)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.27	1.17	制御系統	原子炉格納容器						
化学体積制御系	4緊急ほう酸注入ライン補給 弁 (4V-CS-573)	原子炉 周辺建屋	17.1	21.57	4.47	制御系統	原子炉格納容器						
化学体積制御系	4充てんライン格納容器隔離 弁 (4V-CS-157)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.14	5.04	制御系統	原子炉格納容器						
化学体積制御系	4-1次冷却材ポンプ封水戻り ライン格納容器第2隔離弁 (4V-CS-312)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.00	4.90	制御系統	原子炉格納容器						
化学体積制御系	4封水冷却器	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	制御系統	原子炉格納容器						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由	
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（2/9）						表1 防護対象設備一覧（13/27）						表1 防護対象設備一覧（13/35）							
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [*] E.L. + [m] 床上[m]		系統	設備	設備番号	設置建屋	E.L. [m]	機能 ^注	系統	設備	設備番号	設置建屋	基本設定高さ E1(m)	積算高さ E2(m)	設定箇所	安全機能
化学体積制御系	4A, 4B封水注入フィルタ	原子炉周辺建屋	26.0	-	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ターニングポンプ	B-2P-1	原子炉補機 付建屋	9.00	①②③④	関連設備	B1-計装用交流分電盤 (3IDPB1)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.21	0.20	個別	⑥
化学体積制御系	4封水ストレーナ	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ターニングポンプ	B-2P-1	原子炉補機 付建屋	9.00	①②③④⑤	関連設備	B2-計装用交流分電盤 (3IDPB2)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.21	0.21	基本	⑥
化学体積制御系	4体積制御タンク	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	電気空調系	中央制御室給水ターニングポンプ	C-42P-1	制御室	9.00	⑤	関連設備	C1-計装用交流分電盤 (3IDPC1)	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.21	0.22	基本	⑥
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸タンク水位 (4LT-206, 208)	原子炉周辺建屋	17.1	18.18	1.08	電気空調系	中央制御室給水ターニングポンプ	C-42P-2	制御室	9.00	⑤	関連設備	C2-計装用交流分電盤 (3IDPC2)	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.21	0.22	基本	⑥
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸タンク	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	電気空調系	3号炉ポンプ(4)東空調機 (T10-603)	B-2P-2	原子炉補機 付建屋	9.10	⑤	関連設備	D1-計装用交流分電盤 (3IDPD1)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.21	0.20	個別	⑥
化学体積制御系	4ほう酸フィルタ	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	電気空調系	3号炉ポンプ(4)東空調機 (T10-603)	B-2P-2	原子炉補機 付建屋	9.10	①②③④⑤	関連設備	D2-計装用交流分電盤 (3IDPD2)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.21	0.20	個別	⑥
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.31	0.81	電気空調系	3号炉ポンプ(4)東空調機 (T10-603)	B-2P-2	原子炉補機 付建屋	9.00	①②③④⑤	関連設備	A-計装用交流電源切替器盤 (3ISPA)	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.34	0.35	基本	⑥
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ現場操作箱 (4LB-14, 15)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	電気空調系	3号炉ポンプ(4)東空調機 (T10-603)	B-2P-2	原子炉補機 付建屋	9.10	⑤	関連設備	B-計装用交流電源切替器盤 (3ISPB)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.34	0.23	個別	⑥
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ出口流量 (4FT-601, 611)	原子炉周辺建屋	3.5	4.61	1.11	電気空調系	3号炉ポンプ(4)東空調機 (T10-603)	B-2P-2	原子炉補機 付建屋	9.10	⑤	関連設備	C-計装用交流電源切替器盤 (3ISPC)	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.34	0.35	基本	⑥
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプミニマム フローライン止め弁 (4FCV-601, 611)	原子炉周辺建屋	17.1	17.98	0.88	電気空調系	3号炉ポンプ(4)東空調機 (T10-603)	B-2P-2	原子炉補機 付建屋	9.10	⑤	関連設備	D-計装用交流電源切替器盤 (3ISPD)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.34	0.33	個別	⑥
余熱除去系	4A, 4B余熱除去冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	電気空調系	3号炉ポンプ(4)東空調機 (T10-603)	B-2P-2	原子炉補機 付建屋	9.10	⑤	関連設備	A-補助建屋直流分電盤(300PA)	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.22	0.23	基本	⑥
制御用空気系	4A, 4B制御用空気圧縮機制御盤 (4IAC-A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.54	0.44	電気空調系	3号炉ポンプ(4)東空調機 (T10-603)	B-2P-2	原子炉補機 付建屋	9.10	⑤	関連設備	B-補助建屋直流分電盤(300PB)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.22	0.22	基本	⑥
制御用空気系	4A, 4B制御用空気圧縮機	原子炉周辺建屋	17.1	17.72	0.62	電気空調系	3号炉ポンプ(4)東空調機 (T10-603)	B-2P-2	原子炉補機 付建屋	9.10	⑤								
制御用空気系	4A, 4B制御用空気乾燥器 (4IAHA, B)	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	電気空調系	3号炉ポンプ(4)東空調機 (T10-603)	B-2P-2	原子炉補機 付建屋	9.10	⑤								
制御用空気系	4A, 4B制御用空気だめ (4IATA, B)	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	電気空調系	3号炉ポンプ(4)東空調機 (T10-603)	B-2P-2	原子炉補機 付建屋	9.10	⑤								
制御用空気系	4A-C, 4B-C制御用空気母管連絡弁 (4V-1A-501A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.78	0.68	電気空調系	3号炉ポンプ(4)東空調機 (T10-603)	B-2P-2	原子炉補機 付建屋	9.00	⑤								
制御用空気系	4A, 4B制御用空気格納容器隔離弁 (4V-1A-505A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.76	0.66	電気空調系	3号炉ポンプ(4)東空調機 (T10-603)	B-2P-2	原子炉補機 付建屋	9.10	⑤								
制御用空気系	4A, 4B制御用空気供給母管圧力 (4PT-1800, 1810)	原子炉周辺建屋	17.1	18.20	1.10	電気空調系	原子炉補機(3)東空調機(3) (T11-001A)	B-2P-4	原子炉補機 付建屋	9.10	⑤⑥⑦⑧								
原子炉補機冷却系	4A, 4B余熱除去冷却器冷却水止め弁 (4V-CC-114A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.69	1.69	電気空調系	原子炉補機(3)東空調機(3) (T11-001B)	B-2P-4	原子炉補機 付建屋	9.10	⑤⑥⑦⑧								
原子炉補機冷却系	4原子炉補機冷却水サージ タンク水位III, IV (4LT-1200, 1201)	原子炉周辺建屋	39.0	39.99	0.99	電気空調系	原子炉補機(3)東空調機(3) (T11-001A)	B-2P-4	原子炉補機 付建屋	9.10	⑤⑥⑦⑧								
原子炉補機冷却系	4原子炉補機冷却水サージ タンク	原子炉周辺建屋	42.0	-	-	電気空調系	原子炉補機(3)東空調機(3) (T11-001B)	B-2P-4	原子炉補機 付建屋	9.10	⑤⑥⑦⑧								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由		
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(3/9)						表1 防護対象設備一覧（14/27）						表1 防護対象設備一覧（14/35）								
系統	設備	設置建屋	設置高さ	機能喪失高さ [※]		系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※3} [m]	個別高 ^{※4} [m]	設定箇所	安全機能	相違理由
			E.L. + [m]	E.L. + [m]	床土[m]															
原子炉補機冷却系	4A, 4B原子炉補機冷却水冷却器	制御建屋	7.0	-	-	原子炉補機冷却系	原子炉補機(A)冷却機(1)(11-0002)	B-402-2	原子炉補機冷却機	0.140	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却器	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.19	0.20	個別	①	
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ	制御建屋	7.0	9.08	2.08	原子炉補機冷却系	原子炉補機(B)冷却機(1)(11-0003)	B-02-13	原子炉補機冷却機	0.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却器	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.19	0.20	個別	①	
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱(4LB-20, 21, 22, 23)	制御建屋	7.0	9.90	2.90	原子炉補機冷却系	原子炉補機(C)冷却機(1)(11-0004)	B-02-13	原子炉補機冷却機	0.120	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却器	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.19	0.20	個別	①	
原子炉補機冷却系	4A・C, 4B・C原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁(4V-CC-043A, B)	制御建屋	7.0	9.33	2.33	原子炉補機冷却系	原子炉補機(D)冷却機(1)(11-0005)	B-02-13	原子炉補機冷却機	0.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却器	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.19	0.20	個別	①	
原子炉補機冷却系	4A・C, 4B・C原子炉補機冷却水供給母管連絡弁(4V-CC-056A, B)	制御建屋	7.0	9.33	2.33	原子炉補機冷却系	原子炉補機(E)冷却機(1)(11-0006)	B-02-11	原子炉補機冷却機	0.110	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却器	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.19	0.20	個別	①	
原子炉補機冷却系	4廃棄物処理建屋冷却水供給ライン第1, 2止め弁(4号機側)(4V-CC-605, 606)	原子炉周辺建屋	17.1	17.97	0.87	原子炉補機冷却系	原子炉補機(F)冷却機(1)(11-0007)	B-02-11	原子炉補機冷却機	0.110	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却器	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.19	0.18	個別	①	
原子炉補機冷却系	4A, 4B格納容器スプレイ冷却器冷却水止め弁(4V-CC-178A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.85	1.85	原子炉補機冷却系	原子炉補機(G)冷却機(1)(11-0008)	B-02-11	原子炉補機冷却機	0.110	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却器	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.19	0.19	個別	①	
原子炉補機冷却系	4-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁(4V-CC-403)	原子炉周辺建屋	17.1	22.40	5.30	原子炉補機冷却系	原子炉補機(H)冷却機(1)(11-0009)	B-02-11	原子炉補機冷却機	0.110	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却器	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.19	0.18	個別	①	
原子炉補機冷却系	4-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第2隔離弁(4V-CC-429)	原子炉周辺建屋	17.1	22.40	5.30	原子炉補機冷却系	原子炉補機(I)冷却機(1)(11-0010)	B-02-13	原子炉補機冷却機	0.120	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却器	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	①	
原子炉補機冷却系	4 CRDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水供給ラインCV隔離弁(4V-CC-342)	原子炉周辺建屋	17.1	22.11	5.01	原子炉補機冷却系	原子炉補機(J)冷却機(1)(11-0011)	B-02-13	原子炉補機冷却機	0.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却器	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	①	
原子炉補機冷却系	4 CRDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水戻りラインCV隔離弁(4V-CC-365)	原子炉周辺建屋	17.1	22.13	5.03	原子炉補機冷却系	原子炉補機(K)冷却機(1)(11-0012)	B-02-14	原子炉補機冷却機	0.060	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却器	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	①	
原子炉補機冷却系	4A・D, 4B・C 格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁(4V-CC-189A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	22.20	5.10	原子炉補機冷却系	原子炉補機(L)冷却機(1)(11-0013)	B-02-14	原子炉補機冷却機	0.060	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却器	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	①	
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D 格納容器再循環ユニット冷却水戻りライン格納容器隔離弁(4V-CC-198A, B, C, D)	原子炉周辺建屋	17.1	22.08	4.98	原子炉補機冷却系	原子炉補機(M)冷却機(1)(11-0014)	B-02-14	原子炉補機冷却機	1.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却器	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	①	
原子炉補機冷却系	4A, 4B原子炉補機冷却水冷却器海水止め弁(4V-SW-570A, B)	制御建屋	7.0	9.69	2.69	原子炉補機冷却系	原子炉補機(N)冷却機(1)(11-0015)	B-02-14	原子炉補機冷却機	1.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却器	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	①	
原子炉補機冷却系	4海水ポンプ出口4A, 4B, 4C, 4D海水ストレーナ(4S-SW-01A, B, C, D)	海水ポンプエリア	1.0	-	-	原子炉補機冷却系	原子炉補機(O)冷却機(1)(11-0016)	B-02-14	原子炉補機冷却機	0.110	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却器	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	①	
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C海水ポンプ	海水ポンプエリア	2.5	4.65	2.15	原子炉補機冷却系	原子炉補機(P)冷却機(1)(11-0017)	B-02-14	原子炉補機冷却機	0.110	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却器	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	①	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由				
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（4/9）						表1 防護対象設備一覧（15/27）						表1 防護対象設備一覧（15/35）										
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]	系統	設備	設備番号	設置建屋	E.L. [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ E.L. [m]	個別設定高さ E.L. [m]	設定箇所	安全機能	相違理由		
原子炉補機冷却系	4A, 4B1, 4B2, 4C海水ポンプ現場操作箱 (41B-25, 27, 28, 29)	海水ポンプ	2.5	6.40	3.90	電気空調系	原子炉補機(3PC)電源機(1) (313-0001)	B-2F-7	原子炉補機付風機	5.125	③④⑤⑥	関連設備	B1-原子炉コントロールセンタ (3RCC-B1)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥			
電気盤	4主盤（原子炉盤）(4MCR)	制御建屋	21.8	21.96	0.16	電気空調系	原子炉補機(3PC)電源機(4) (313-0004)	B-2F-7	原子炉補機付風機	5.140	③④⑤⑥	関連設備	B2-原子炉コントロールセンタ (3RCC-B2)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥			
電気盤	4原子炉補助盤 (4RAB)	制御建屋	21.8	21.98	0.18	電気空調系	原子炉補機(3PC)電源機(2) (313-0002)	B-2F-14	原子炉補機付風機	5.125	③④⑤⑥	関連設備	A1-パワールールセンタ (3PCC-A1)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.06	0.06	個別	⑥			
電気盤	4原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV (4RPP-I, II, III, IV)	制御建屋	21.8	21.97	0.17	電気空調系	原子炉補機(3PC)電源機(3) (313-0003)	B-2F-7	原子炉補機付風機	5.165	③④⑤⑥	関連設備	A2-パワールールセンタ (3PCC-A2)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.06	0.06	個別	⑥			
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D原子炉安全保護ロジック盤 (4RPL-A, B, C, D)	制御建屋	21.8	21.98	0.18	電気空調系	原子炉補機(3PC)電源機(5) (313-0005)	B-2F-14	原子炉補機付風機	5.125	③④⑤⑥	関連設備	B1-パワールールセンタ (3PCC-B1)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.06	0.06	個別	⑥			
電気盤	4安全保護シーケンス盤 AG1, AG2, BG1, BG2 (4SFS-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	21.8	21.97	0.17	電気空調系	原子炉補機(3PC)電源機(6) (313-0006)	B-2F-7	原子炉補機付風機	5.165	③④⑤⑥	関連設備	B2-パワールールセンタ (3PCC-B2)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.06	0.06	個別	⑥			
電気盤	4所内盤 (4HSB)	制御建屋	21.8	21.90	0.10	電気空調系	原子炉補機(3PC)電源機(7) (313-0007)	B-2F-14	原子炉補機付風機	5.125	③④⑤⑥	関連設備	A-6.6kVメタラ (3MC-A)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.15	0.15	個別	⑥			
電気盤	事故時放射線監視盤 4RMS (4PRMS-III, IV)	制御建屋	21.8	21.86	0.06	電気空調系	原子炉補機(3PC)電源機(8) (313-0008)	C-2F-1	制御建屋	5.071	⑥	関連設備	B-6.6kVメタラ (3MC-B)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.15	個別	⑥			
電気盤	4原子炉トリップ遮断器盤 (4RTS)	原子炉周辺建屋	17.1	17.15	0.05	電気空調系	原子炉補機(3PC)電源機(9) (313-0009)	C-2F-2	制御建屋	5.113	⑥	原子炉補機冷却海水系統	A-原子炉補機冷却海水ポンプ (3SMP1A)	3CP-A-N1	循環水ポンプ建屋	0.20	1.50	個別	⑥			
電気盤	4A1, 4A2, 4A3, 4A4, 4B1, 4B2, 4B3, 4B4フレノイド分電盤 (4SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	電気空調系	原子炉補機(3PC)電源機(10) (313-0010)	C-2F-1	制御建屋	5.110	⑥	原子炉補機冷却海水系統	B-原子炉補機冷却海水ポンプ (3SMP1B)	3CP-A-N1	循環水ポンプ建屋	0.20	1.50	個別	⑥			
電気盤	4A, 4Bドロップ盤 (4BCP-A-DRP, 4BCP-B-DRP)	制御建屋	15.8	15.89	0.09	電気空調系	原子炉補機(3PC)電源機(11) (313-0011)	C-2F-2	制御建屋	5.100	⑥	原子炉補機冷却海水系統	C-原子炉補機冷却海水ポンプ (3SMP1C)	3CP-A-N2	循環水ポンプ建屋	0.20	1.50	個別	⑥			
電気盤	4A, 4B直流き電盤 (4IMP-A, B)	制御建屋	15.8	15.89	0.09	電気空調系	原子炉補機(3PC)電源機(12) (313-0012)	C-2F-1	制御建屋	5.090	⑥											
電気盤	4A, 4B直流分電盤 (4DDP-A, B)	制御建屋	15.8	16.28	0.48	電気空調系	原子炉補機(3PC)電源機(13) (313-0013)	C-2F-2	制御建屋	5.092	⑥											
電気盤	4A, 4B蓄電池	制御建屋	15.8	16.60	0.80	電気空調系	原子炉補機(3PC)電源機(14) (313-0014)	C-2F-1	制御建屋	5.123	⑥											
電気盤	4A, 4B充電器盤 (4BCP-A, B)	制御建屋	15.8	15.89	0.09	電気空調系	原子炉補機(3PC)電源機(15) (313-0015)	C-2F-2	制御建屋	5.110	⑥											
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2メタルクランプスイッチギア (4MC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.95	0.15	電気空調系	原子炉補機(3PC)電源機(16) (313-0016)	C-2F-1	制御建屋	5.082	⑥											
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2原子炉コントロールセンタ (4RCC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.86	0.06	電気空調系	原子炉補機(3PC)電源機(17) (313-0017)	C-2F-2	制御建屋	5.703	⑥											
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2原子炉補助建屋 (4RAB)	制御建屋	15.8	16.01	0.21	電気空調系	原子炉補機(3PC)電源機(18) (313-0018)	C-2F-1	制御建屋	5.060	⑥											
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D計装用電源盤 (1)~(3) (41BC-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	15.90	0.10	電気空調系	原子炉補機(3PC)電源機(19) (313-0019)	C-2F-1	制御建屋	5.063	⑥											
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2, 4C1, 4C2, 4D1, 4D2計装用分電盤 (41PD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	電気空調系	原子炉補機(3PC)電源機(20) (313-0020)	C-2F-1	制御建屋	5.063	⑥											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由				
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(5/9)					表1 防護対象設備一覧（16/27）					表1 防護対象設備一覧（16/35）									
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]	系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本取 定高さ #1(m)	個別取 定高さ #2(m)	設定 箇所	安全 機能		
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D計装用交流電源切替盤 (4ISP-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	16.13	0.33	電気注入手系	原子炉格納容器圧力監視機 (F31-0003A)	C-02-2	制御建屋	0.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系	D-原子炉補機冷却海水ポンプ (3SP1D)	3CP-A-N2 階層水ポンプ建屋	0.20	1.50	個別	⑩	
電気盤	4A, 4BD計装用低備分電盤 (4IBD-AC, BD)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	電気注入手系	原子炉格納容器圧力監視機 (F31-0003B)	C-02-2	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系	A-原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水出口止め弁	3RB-K-N4	原子炉建屋	0.70	0.76	基本	⑩
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル発電機コントロールセンタ (4GCC-A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.26	0.26	電気注入手系	原子炉格納容器圧力監視機 (F31-0003C)	C-02-2	制御建屋	0.700	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系	B-原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水出口止め弁	3RB-K-N4	原子炉建屋	0.70	0.75	基本	⑩
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル機関 (本体10.0)	原子炉周辺建屋	3.5	3.91	0.41	電気注入手系	原子炉格納容器圧力監視機 (F31-0003D)	C-02-2	制御建屋	0.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系	C-原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水出口止め弁	3RB-K-N1	原子炉建屋	0.70	0.76	基本	⑩
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル発電機 (本体10.0)	原子炉周辺建屋	3.5	3.83	0.33	電気注入手系	原子炉格納容器圧力監視機 (F31-0003E)	C-02-2	制御建屋	0.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系	D-原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水出口止め弁	3RB-K-N1	原子炉建屋	0.70	0.75	基本	⑩
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル発電機制御盤 (4DGC-A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.10	0.10	電気注入手系	原子炉格納容器圧力監視機 (F31-0003F)	C-02-2	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用電源系	A-ディーゼル発電機 (3DGE2A)	3DG-J-N2 (3DG-H-N2)	ディーゼル発電機建屋	0.30	0.38	基本	⑩
格納容器スプレイス	4A, 4B格納容器スプレイス冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	電気注入手系	原子炉格納容器圧力監視機 (F31-0003G)	C-02-2	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用電源系	B-ディーゼル発電機 (3DGE2B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.30	0.37	基本	⑩
格納容器スプレイス	4よう素除去薬品タンク	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	電気注入手系	原子炉格納容器圧力監視機 (F31-0003H)	C-02-2	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用電源系	A-ディーゼル機関 (3DGE1A)	3DG-J-N2 (3DG-H-N2)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑩
格納容器スプレイス	4格納容器圧力 (広域) I, II, III, IV (4PT-950, 951, 952, 953)	原子炉周辺建屋	17.1	22.09	4.99	電気注入手系	原子炉格納容器圧力監視機 (F31-0003I)	C-02-2	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑩
格納容器スプレイス	4A, 4B格納容器スプレイスポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.33	0.83	電気注入手系	原子炉格納容器圧力監視機 (F31-0003J)	C-02-2	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用電源系	A-ディーゼル機関 (3DGE1A)	3DG-J-N2 (3DG-H-N2)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑩
格納容器スプレイス	4A, 4B格納容器スプレイスポンプ身連操作箱 (4LB-18, 19)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	電気注入手系	原子炉格納容器圧力監視機 (F31-0003K)	C-02-2	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑩
格納容器スプレイス	4A, 4B格納容器スプレイスポンプ燃料取替用水ビット側入口止め弁 (4V-CP-001A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.91	1.91	電気注入手系	原子炉格納容器圧力監視機 (F31-0003L)	C-02-2	制御建屋	0.340	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用電源系	A-ディーゼル機関 (3DGE1A)	3DG-J-N2 (3DG-H-N2)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑩
格納容器スプレイス	4A, 4B格納容器スプレイスポンプ再循環サンプル側入口格納容器隔離弁 (4V-CP-003A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	12.06	2.06	電気注入手系	原子炉格納容器圧力監視機 (F31-0003M)	C-02-2	制御建屋	0.380	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑩
格納容器スプレイス	4A, 4B格納容器スプレイスヘッド冷却器出口格納容器隔離弁 (4V-CP-024A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	18.96	1.86	電気注入手系	原子炉格納容器圧力監視機 (F31-0003N)	C-02-2	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用電源系	A-ディーゼル機関 (3DGE1A)	3DG-J-N2 (3DG-H-N2)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑩
格納容器スプレイス	4A, 4Bよう素除去薬品注入ライン第1止め弁 (4V-CP-054A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.64	0.54	電気注入手系	原子炉格納容器圧力監視機 (F31-0003O)	C-02-2	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑩
格納容器スプレイス	4A, 4Bよう素除去薬品注入ライン第2止め弁 (4V-CP-056A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.62	0.52	電気注入手系	原子炉格納容器圧力監視機 (F31-0003P)	C-02-2	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用電源系	A-ディーゼル機関 (3DGE1A)	3DG-J-N2 (3DG-H-N2)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑩
安全注入手系	4A, 4B高圧注入ポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.00	0.50	電気注入手系	原子炉格納容器圧力監視機 (F31-0003Q)	C-02-2	制御建屋	0.720	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑩
安全注入手系	4A, 4B高圧注入ポンプ現場操作箱 (4LB-12, 13)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	電気注入手系	原子炉格納容器圧力監視機 (F31-0003R)	C-02-2	制御建屋	0.720	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用電源系	A-ディーゼル機関 (3DGE1A)	3DG-J-N2 (3DG-H-N2)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑩
安全注入手系	4A, 4B高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット側入口弁 (4V-SI-002A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.94	1.94	電気注入手系	原子炉格納容器圧力監視機 (F31-0003S)	C-02-2	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑩
安全注入手系	4A, 4B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁 (4V-SI-015A, B)	原子炉周辺建屋	6.6	7.38	0.78	電気注入手系	原子炉格納容器圧力監視機 (F31-0003T)	C-02-2	制御建屋	2.320	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用電源系	A-ディーゼル機関 (3DGE1A)	3DG-J-N2 (3DG-H-N2)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑩

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由			
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(6/9)						表1 防護対象設備一覧（17/27）						表1 防護対象設備一覧（17/35）									
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. +[m]	機能喪失高さ [※] E.L. +[m] 床上[m]		系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設置高さ ^{※1} [m]	同別添表高さ ^{※2} [m]	設定運用	安全機能	相違理由	
安全注入系	4A, 4B 4C 4D 高圧注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁 (4V-SI-016A, B)	原子炉周辺建屋	6.6	7.38	0.78	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉ポンプタンク (A) 本体設置圧込装置 (F42-1301A)	0-01-1	原子炉建屋	6.118 [※]	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用電源系	A-蓄電池 (3BATA)	3AB-H-N7	原子炉補助建屋	0.57	0.57	基本	①		
安全注入系	4A, 4B 高圧注入ポンプ格納容器再循環サンプ側入口格納容器隔離弁 (4V-SI-093A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.83	1.83	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉ポンプタンク (A) 本体設置圧込装置 (F42-1301B)	0-01-1	原子炉建屋	6.118 [※]	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用電源系	B-蓄電池 (3BATB)	3AB-H-N3	原子炉補助建屋	0.57	0.57	基本	①		
安全注入系	4A, 4B 熱除去ポンプ RWS ビット及び再循環サンプ側入口弁 (4V-SI-096A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.99	1.99	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉ポンプタンク (A) 本体設置圧込装置 (F42-1301C)	0-01-1	原子炉建屋	6.118 [※]	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	関連設備	A-ディーゼル発電機 コントロールセンタ (3GCC-A)	3RB-H-N11	原子炉建屋	0.10	0.10	個別	①		
安全注入系	4A 高圧注入流量 (I), 4B 高圧注入流量 (II) (4PT-962, 963)	原子炉周辺建屋	10.0	11.08	1.08	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ (A) (F42-0301A)	0-02-1	原子炉建屋	6.275	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	関連設備	B-ディーゼル発電機 コントロールセンタ (3GCC-B)	3RB-H-N10	原子炉建屋	0.10	0.10	個別	①		
安全注入系	4 燃料取替用水ビット水位 I, II, III, IV (4LT-1400, 1401, 1402, 1403)	原子炉周辺建屋	17.1	18.10	1.00	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉ポンプタンク (A) 本体設置圧込装置 (F42-0301B)	0-02-1	原子炉建屋	6.275	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用電源系	A-ディーゼル発電機制御盤 (3EGBA)	3RB-H-N11	原子炉建屋	0.07	0.07	個別	①		
安全注入系、燃料取替用水系	4 燃料取替用水ビット	原子炉周辺建屋	18.5	-	-	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉ポンプタンク (A) 本体設置圧込装置 (F42-0301C)	0-02-1	原子炉建屋	6.275	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用電源系	B-ディーゼル発電機制御盤 (3EGBB)	3RB-H-N10	原子炉建屋	0.07	0.07	個別	①		
燃料取替用水系	4A, 4B 燃料取替用水ポンプ	原子炉周辺建屋	17.1	17.57	0.47	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉ポンプタンク (A) 本体設置圧込装置 (F42-0301A)	0-02-1	原子炉建屋	6.182	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器システム	A-格納容器スプレイポンプ (3CPPIA)	3AB-L-7	原子炉補助建屋	0.63	0.83	基本	①		
燃料取替用水系	4A, 4B 燃料取替用水ポンプ現場操作箱 (4LB-33, 34)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉ポンプタンク (A) 本体設置圧込装置 (F42-0301B)	0-02-1	原子炉建屋	6.182	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器システム	B-格納容器スプレイポンプ (3CPPIB)	3AB-L-4	原子炉補助建屋	0.63	0.82	基本	①		
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B 使用済燃料ビット冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉ポンプタンク (A) 本体設置圧込装置 (F42-0301C)	0-02-1	原子炉建屋	6.182	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器システム	A-格納容器スプレイ冷却器 出/入/外側隔離弁 (3V-CP-013A)	3RB-E-2	原子炉建屋	1.12	1.29	基本	①		
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B 使用済燃料ビット	原子炉周辺建屋	33.6	-	-	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉ポンプタンク (A) 本体設置圧込装置 (F42-0301A)	0-02-1	原子炉建屋	6.095	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：設水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧新設並外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能									
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B 使用済燃料ビットポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.72	0.72	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉ポンプタンク (A) 本体設置圧込装置 (F42-0301B)	0-02-1	原子炉建屋	6.095	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿										
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B 使用済燃料ビットポンプ現場操作箱 (4LB-24, 25)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉ポンプタンク (A) 本体設置圧込装置 (F42-0301C)	0-02-1	原子炉建屋	6.095	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿										
主蒸気系	4A, 4B, 4C, 4D 主蒸気逃がし弁 (4PCV-3610, 3620, 3630, 3640)	原子炉周辺建屋	26.0	37.33	11.33	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉ポンプタンク (A) 本体設置圧込装置 (F42-0301A)	0-02-1	原子炉建屋	6.642	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿										
主蒸気系	I, II, III, IV, 4A, 4B, 4C, 4D 主蒸気圧力 (4PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498)	原子炉周辺建屋	29.0	30.00	1.00	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉ポンプタンク (A) 本体設置圧込装置 (F42-0301B)	0-02-1	原子炉建屋	6.642	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿										
主蒸気系	4A, 4B, 4C, 4D 主蒸気隔離弁 (4V-MS-533A, B, C, D)	原子炉周辺建屋	33.6	36.78	3.18	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉ポンプタンク (A) 本体設置圧込装置 (F42-0301C)	0-02-1	原子炉建屋	6.642	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿										
主蒸気系	4A, 4B, 4C, 4D 主蒸気隔離弁 (4V-MS-533A, B, C, D 付属パネル)	原子炉周辺建屋	29.0	29.40	0.40	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉ポンプタンク (A) 本体設置圧込装置 (F42-0301A)	0-02-1	原子炉建屋	6.600	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿										
冷水系	4A, 4B, 4C, 4D 空調用冷凍機	制御建屋	10.0	10.59	0.59	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉ポンプタンク (A) 本体設置圧込装置 (F42-0301B)	0-02-1	原子炉建屋	6.555	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿										
冷水系	4A, 4B, 4C, 4D 空調用冷水ポンプ	制御建屋	10.0	10.55	0.55	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉ポンプタンク (A) 本体設置圧込装置 (F42-0301C)	0-02-1	原子炉建屋	6.555	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

Table with 4 columns: 大阪発電所3/4号炉, 女川原子力発電所2号炉, 泊発電所3号炉, 相違理由. Contains detailed equipment lists and specifications for various systems like cooling water, air conditioning, and containment pressure.

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(8/9)				表1 防護対象設備一覧（19/27）				表1 防護対象設備一覧（19/35）					
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ H[m]	個別測定高さ H2[m]	設定箇所	安全機能
換気空調系	4A, 4B制御用空気圧縮機室給気ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.41	0.31	換気空調系	格納容器スプレイ系統	3RB-F-2	原子炉建屋	0.85	1.12	基本	⑤⑦
換気空調系	4A, 4B制御用空気圧縮機室給気ファン現場操作箱	原子炉周辺建屋	17.1	18.40	1.30	換気空調系	使用済燃料ピット水浄化冷却系統	3RB-H-7	原子炉建屋	0.69	0.75	基本	⑧
換気空調系	4制御用空気圧縮機室排気ダンパA, B (4D-VS-431A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	21.50	4.40	換気空調系	使用済燃料ピット水浄化冷却系統	3RB-H-7	原子炉建屋	0.69	0.76	基本	⑧
換気空調系	4制御用空気圧縮機室温度(1), (2), (3), (4) (4TS-2771, 2772, 2773, 2774)	原子炉周辺建屋	17.1	18.48	1.38	高圧注入系統	A-高圧注入ポンプ(SSTPIA)	3AB-L-8 (3AB-L-9)	原子炉補助建屋	0.33	0.32	個別	②③
換気空調系	4A, 4B電動補助給水ポンプ室給気ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.43	0.33	高圧注入系統	B-高圧注入ポンプ(SSTPIB)	3AB-L-2 (3AB-L-3)	原子炉補助建屋	0.33	0.32	個別	②③
換気空調系	4A, 4B電動補助給水ポンプ室給気ファン現場操作箱	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	高圧注入系統	A-高圧注入ポンプ燃料取替用水ピット側入口弁(3V-SI-002A)	3AB-H-9	原子炉補助建屋	0.80	1.84	個別	⑤⑥
換気空調系	4電動補助給水ポンプ室排気ダンパA, B (4D-VS-411A, B)	原子炉周辺建屋	21.3	23.76	2.46	高圧注入系統	B-高圧注入ポンプ燃料取替用水ピット側入口弁(3V-SI-002B)	3AB-H-2	原子炉補助建屋	0.80	1.84	個別	⑤⑥
換気空調系	4A, 4B電動補助給水ポンプ室温度(1), (2) (4TS-2741, 2742, 2743, 2744)	原子炉周辺建屋	10.0	11.44	1.44	高圧注入系統	A-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁(3V-SI-014)	3AB-K-22	原子炉補助建屋	0.72	0.72	基本	②④
換気空調系	4A1, 4A2, 4B1, 4B2ディーゼル室給気ファン	原子炉周辺建屋	33.6	33.91	0.31								
換気空調系	4A1-A2, 4B1-B2ディーゼル発電機室給気ファン現場操作箱	原子炉周辺建屋	33.6	34.83	1.23								
換気空調系	4ディーゼル発電機室排気ダンパA1, A2, B1, B2 (4D-VS-401A, B, 403A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	14.00	4.00								
換気空調系	4A, 4Bディーゼル発電機室温度(1), (2), (3), (4) (4TS-2701, 2702, 2703, 2704, 2711, 2712, 2713, 2714)	原子炉周辺建屋	10.0	11.18	1.18								
換気空調系	4A, 4B安全補機室冷却ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.92	0.82								
換気空調系	4A, 4B安全補機室冷却ファン現場操作箱 (4LB-82, 83)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20								
換気空調系	4A, 4B安全補機室温度(1), (2) (4TS-2680, 2681, 2690, 2691)	原子炉周辺建屋	10.0	11.28	1.28								
換気空調系	4A, 4B安全補機室排気ダンパ (4D-VS-105A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	22.63	5.53								
換気空調系	4A, 4Bほう酸ポンプ室空調ファン	原子炉周辺建屋	10.0	10.59	0.59								
換気空調系	4A, 4Bほう酸ポンプ室空調ファン現場操作箱 (4LB-77, 78)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20								
換気空調系	4A, 4Bほう酸ポンプ室空調ファン給気加熱コイル	原子炉周辺建屋	10.0	10.46	0.46								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由								
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(9/9)				表1 防護対象設備一覧（20/27）				表1 防護対象設備一覧（20/35）												
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ* E.L. + [m]	床上[m]	系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ* E.L. + [m]	床上[m]	系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ* E.L. + [m]	床上[m]	相違理由		
換気空調系	4A, 4Bほう酸ポンプ室温度調節計 (4TC-2601, 2611)	原子炉周辺建屋	10.0	10.70	0.70	換気空調機非常用冷却水ポンプ (3)	303Cの冷却機 (3) 冷却水出口流量計 (3)	B-2F-4	原子炉建屋 計測層	0.60	0.00	0.00	高圧注入系統	A-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁 (3V-SI-015A)	3AB-K-22	原子炉補助建屋	0.72	0.72	基本	②④
換気空調系	4ほう酸タンク室温度(1), (2), (3), (4) (4TS-2602, 2603, 2612, 2613)	原子炉周辺建屋	10.0	11.30	1.30	換気空調機非常用冷却水ポンプ (3)	303Cの冷却機 (3) 冷却水出口流量計 (3)	B-2F-4	原子炉建屋 計測層	0.60	0.00	0.00	高圧注入系統	B-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁 (3V-SI-014B)	3AB-K-12	原子炉補助建屋	0.72	0.73	基本	②④
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン	制御建屋	29.3	29.93	0.63	中央制御室制御盤 (301)	中央制御室制御盤 (301)	C-2F-1	制御建屋	0.90	0.00	0.00	高圧注入系統	B-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁 (3V-SI-015B)	3AB-K-12	原子炉補助建屋	0.72	0.73	基本	②④
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン現場操作箱 (4LR-97, 98)	制御建屋	29.3	30.50	1.20	中央制御室端子盤 (302)	中央制御室端子盤 (302)	C-2F-1	制御建屋	0.20	0.00	0.00	高圧注入系統	A-高圧注入ポンプ出口C/V外側連絡弁 (3V-SI-020A)	3AB-K-21	原子炉補助建屋	0.93	1.01	基本	②④
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (4D-VS-602A, B)	制御建屋	29.3	29.65	0.35	中央制御室端子盤 (302)	中央制御室端子盤 (302)	C-2F-1	制御建屋	0.20	0.00	0.00	高圧注入系統	B-高圧注入ポンプ出口C/V外側連絡弁 (3V-SI-020B)	3AB-K-13	原子炉補助建屋	0.93	1.00	個別	②④
換気空調系	4A, 4B中央制御室外気取入流量調節ダンパ (4HC-D-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.79	1.49	中央制御室外端子炉停止装置盤 (303)	中央制御室外端子炉停止装置盤 (303)	C-2F-6	制御建屋	0.00	0.00	0.00	高圧注入系統	ほう酸注入タンク入口弁A (3V-SI-032A)	3AB-F-23	原子炉補助建屋	0.89	0.98	基本	②④
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ (4HC-D-2889, 2890)	制御建屋	29.3	29.68	0.38	排気機(A)	A: 3kW ノンフラムDC (323-F10)	B-31F-6	原子炉建屋 計測層	0.00	0.00	0.00	高圧注入系統	ほう酸注入タンク入口弁B (3V-SI-032B)	3AB-F-23	原子炉補助建屋	0.89	0.98	基本	②④
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時循環流量調節ダンパ (4HC-D-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.28	1.98	排気機(A)	A: 3kW 3相 MFC 30-0 (323-F10)	B-31F-6	原子炉建屋 計測層	0.00	0.00	0.00	高圧注入系統	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁A (3V-SI-036A)	3RB-E-2	原子炉建屋	0.60	1.10	基本	②④ ⑤
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン出口流量 (4FS-2904, 2905)	制御建屋	26.1	27.42	1.32	排気機(A)	A: 3kW 3相 MFC 30-0 (323-F10)	B-31F-6	原子炉建屋 計測層	0.00	0.00	0.00	高圧注入系統	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁B (3V-SI-036B)	3RB-E-2	原子炉建屋	0.60	1.09	基本	②④ ⑤
換気空調系	4A, 4B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定 (4HC-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.91	1.61	排気機(A)	A: 3kW 3相 MFC 30-0 (323-F10)	B-31F-6	原子炉建屋 計測層	0.00	0.00	0.00	高圧注入系統	補助高圧注入ラインC/V外側隔離弁 (3V-SI-051)	3RB-E-2	原子炉建屋	0.60	1.10	基本	②④ ⑤
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時外気取入調節ダンパ流量設定 (4HC-2889, 2890)	制御建屋	29.3	30.51	1.21	排気機(A)	A: 3kW 3相 MFC 30-0 (323-F10)	B-31F-6	原子炉建屋 計測層	0.00	0.00	0.00	高圧注入系統	A-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-084A)	3RB-J-2	原子炉建屋	2.90	3.86	基本	②⑤
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時循環ダンパ流量設定 (4HC-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.31	2.01	排気機(A)	A: 3kW 3相 MFC 30-0 (323-F10)	B-31F-6	原子炉建屋 計測層	0.00	0.00	0.00	高圧注入系統	B-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-084B)	3RB-J-1	原子炉建屋	2.90	4.07	個別	②⑤
換気空調系	4A, 4Bアンユラス空気浄化ファン (4VSP9A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.46	0.56	排気機(A)	A: 3kW 3相 MFC 30-0 (323-F10)	B-31F-6	原子炉建屋 計測層	0.00	0.00	0.00	燃料取替	A-燃料取替用水ポンプ (3RFP1A)	3RB-D-1	原子炉建屋	0.61	0.53	基本	⑤
換気空調系	4A, 4Bアンユラス空気浄化ファン現場操作箱 (4LB-52, 53)	原子炉周辺建屋	20.9	22.10	1.20	排気機(A)	A: 3kW ノンフラムDC (323-F10)	B-31F-10	原子炉建屋 計測層	0.00	0.00	0.00								
換気空調系	4A, 4Bアンユラス排気ダンパ (4D-VS-101A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.35	0.45	排気機(A)	A: 3kW 3相 MFC 30-0 (323-F10)	B-31F-10	原子炉建屋 計測層	0.00	0.00	0.00								
換気空調系	4A, 4Bアンユラス戻りダンパ (4D-VS-104A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	19.21	2.11	排気機(A)	A: 3kW 3相 MFC 30-0 (323-F10)	B-31F-10	原子炉建屋 計測層	0.00	0.00	0.00								
換気空調系	4A, 4Bアンユラス全量排気弁 (4V-VS-102A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	22.98	2.08	排気機(A)	A: 3kW 3相 MFC 30-0 (323-F10)	B-31F-10	原子炉建屋 計測層	0.00	0.00	0.00								
換気空調系	4A, 4Bアンユラス少量排気弁 (4V-VS-103A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	23.27	2.37	排気機(A)	A: 3kW 3相 MFC 30-0 (323-F10)	B-31F-10	原子炉建屋 計測層	0.00	0.00	0.00								

※ 没水しても機能喪失しない設備は、機能喪失高さを「-」とする。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																
	<p align="center">表1 防護対象設備一覧 (21/27)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置種類</th> <th>E.L.¹⁾(m)</th> <th>機能²⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>保安用AC(B)</td><td>6.5V 60W 電圧計 20-3 (E24-F110)</td><td>B-81F-12</td><td>原子炉建屋 付機器</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>保安用AC(B)</td><td>6.5V 60W 電圧計 20-4 (E24-F111)</td><td>B-81F-12</td><td>原子炉建屋 付機器</td><td>0.000</td><td>①②</td></tr> <tr><td>保安用AC(B)</td><td>6.5V 60W 電圧計 20-5 (E24-F112)</td><td>B-1F-16-1</td><td>原子炉建屋 付機器</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>保安用AC(B)</td><td>7.5V 60W 電圧計 20-1 (E24-F100)</td><td>C-81F-4</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>保安用AC(B)</td><td>7.5V 60W 電圧計 20-2 (E24-F100)</td><td>C-81F-4</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>保安用AC(B)</td><td>8.0V 電圧計 (E24-F100)</td><td>C-81F-4</td><td>制御建屋</td><td>0.075</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>保安用AC(B)</td><td>6.5V 60W 交流電圧計付電圧計 (E24-F70)</td><td>D-1F-2-3</td><td>重要物貯蔵付 付機器(設置)</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>保安用AC(B)PC(D)</td><td>6.5kV オメガブーム (E22-F100)</td><td>B-81F-8</td><td>原子炉建屋 付機器</td><td>0.000</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>保安用AC(B)PC(D)</td><td>60CV 電動力配電装置 (E22-F100)</td><td>B-81F-8</td><td>原子炉建屋 付機器</td><td>0.000</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>保安用AC(B)PC(D)</td><td>6.5V 60W 電圧計 (E24-F112)</td><td>B-1F-15-1</td><td>原子炉建屋 付機器</td><td>0.000</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>保安用AC(B)PC(D)</td><td>高圧中心、ホバレイ系120V交流分電盤 (E24-F100)</td><td>B-81F-8</td><td>原子炉建屋 付機器</td><td>0.140</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>保安用AC(B)PC(D)</td><td>60CV交流分電盤20用電圧計 (E24-F100)</td><td>B-81F-8</td><td>原子炉建屋 付機器</td><td>0.075</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>保安用電源系(電源)</td><td>保安用電圧監視用静止型無停電電源装置2A (E24-F001A)</td><td>C-81F-2</td><td>制御建屋</td><td>0.100</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>保安用電源系(電源)</td><td>保安用電圧監視用静止型無停電電源装置2B (E24-F001B)</td><td>C-81F-4</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>保安用電源系(電源)</td><td>20kV20W 保安用電圧監視装置1-1 (E24-F001)</td><td>C-81F-2</td><td>制御建屋</td><td>0.140</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>保安用電源系(電源)</td><td>20kV20W 保安用電圧監視装置1-1 (E24-F002)</td><td>C-81F-4</td><td>制御建屋</td><td>0.140</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>保安用電源系(電源)</td><td>中央制御室用電圧計付電圧計2A (E24-F001A)</td><td>C-81F-2</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>保安用電源系(電源)</td><td>中央制御室用電圧計付電圧計2B (E24-F001B)</td><td>C-81F-4</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>保安用電源系(電源)</td><td>中央制御室120V交流分電盤2A (E24-F001)</td><td>C-81F-2</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>保安用電源系(電源)</td><td>中央制御室120V交流分電盤2B (E24-F001)</td><td>C-81F-4</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>保安用DC(A)</td><td>120V 2A 蓄電池 (1)</td><td>C-81F-4</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>保安用DC(A)</td><td>120V 2A 蓄電池 (1)</td><td>C-81F-2</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>保安用DC(A)</td><td>120V 2A 蓄電池 (1)</td><td>C-81F-4</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> </tbody> </table> <p><small>※1：炉内より機能喪失する床面からの高さ（E.L.高さ0.000mを基準） ※2：安全機能 ①緊急停止機能 ②保護停止機能 ③緊急停止機能 ④原子炉建屋付機器 ⑤自動停止機能 ⑥停止防止機能 ⑦緊急停止機能 ⑧緊急停止機能 ⑨緊急停止機能 ⑩緊急停止機能 ⑪緊急停止機能 ⑫緊急停止機能 ⑬緊急停止機能 ⑭緊急停止機能 ⑮緊急停止機能 ⑯緊急停止機能 ⑰緊急停止機能 ⑱緊急停止機能 ⑲緊急停止機能 ⑳緊急停止機能 ㉑緊急停止機能 ㉒緊急停止機能 ㉓緊急停止機能 ㉔緊急停止機能 ㉕緊急停止機能 ㉖緊急停止機能 ㉗緊急停止機能 ㉘緊急停止機能 ㉙緊急停止機能 ㉚緊急停止機能 ㉛緊急停止機能 ㉜緊急停止機能 ㉝緊急停止機能 ㉞緊急停止機能 ㉟緊急停止機能 ※3：炉内制御室用電圧計付電圧計 ※4：炉内制御室用電圧計付電圧計</small></p>	系統	設備	区画番号	設置種類	E.L. ¹⁾ (m)	機能 ²⁾	保安用AC(B)	6.5V 60W 電圧計 20-3 (E24-F110)	B-81F-12	原子炉建屋 付機器	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	保安用AC(B)	6.5V 60W 電圧計 20-4 (E24-F111)	B-81F-12	原子炉建屋 付機器	0.000	①②	保安用AC(B)	6.5V 60W 電圧計 20-5 (E24-F112)	B-1F-16-1	原子炉建屋 付機器	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	保安用AC(B)	7.5V 60W 電圧計 20-1 (E24-F100)	C-81F-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	保安用AC(B)	7.5V 60W 電圧計 20-2 (E24-F100)	C-81F-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	保安用AC(B)	8.0V 電圧計 (E24-F100)	C-81F-4	制御建屋	0.075	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	保安用AC(B)	6.5V 60W 交流電圧計付電圧計 (E24-F70)	D-1F-2-3	重要物貯蔵付 付機器(設置)	0.000	①②③④⑤⑥	保安用AC(B)PC(D)	6.5kV オメガブーム (E22-F100)	B-81F-8	原子炉建屋 付機器	0.000	①②③④	保安用AC(B)PC(D)	60CV 電動力配電装置 (E22-F100)	B-81F-8	原子炉建屋 付機器	0.000	①②③④	保安用AC(B)PC(D)	6.5V 60W 電圧計 (E24-F112)	B-1F-15-1	原子炉建屋 付機器	0.000	①②③④	保安用AC(B)PC(D)	高圧中心、ホバレイ系120V交流分電盤 (E24-F100)	B-81F-8	原子炉建屋 付機器	0.140	①②③④	保安用AC(B)PC(D)	60CV交流分電盤20用電圧計 (E24-F100)	B-81F-8	原子炉建屋 付機器	0.075	①②③④	保安用電源系(電源)	保安用電圧監視用静止型無停電電源装置2A (E24-F001A)	C-81F-2	制御建屋	0.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	保安用電源系(電源)	保安用電圧監視用静止型無停電電源装置2B (E24-F001B)	C-81F-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	保安用電源系(電源)	20kV20W 保安用電圧監視装置1-1 (E24-F001)	C-81F-2	制御建屋	0.140	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	保安用電源系(電源)	20kV20W 保安用電圧監視装置1-1 (E24-F002)	C-81F-4	制御建屋	0.140	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	保安用電源系(電源)	中央制御室用電圧計付電圧計2A (E24-F001A)	C-81F-2	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	保安用電源系(電源)	中央制御室用電圧計付電圧計2B (E24-F001B)	C-81F-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	保安用電源系(電源)	中央制御室120V交流分電盤2A (E24-F001)	C-81F-2	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	保安用電源系(電源)	中央制御室120V交流分電盤2B (E24-F001)	C-81F-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	保安用DC(A)	120V 2A 蓄電池 (1)	C-81F-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	保安用DC(A)	120V 2A 蓄電池 (1)	C-81F-2	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	保安用DC(A)	120V 2A 蓄電池 (1)	C-81F-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	<p align="center">表1 防護対象設備一覧 (21/35)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設計高さ #1(m)</th> <th>個別設計高さ #2(m)</th> <th>設置箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>燃料取扱用水系統</td><td>B-燃料取扱用水ポンプ (CRFP1B)</td><td>3RB-D-1</td><td>原子炉建屋</td><td>0.51</td><td>0.53</td><td>基本</td><td>②</td></tr> <tr><td>燃料取扱用水系統</td><td>燃料取扱用水ピット水位 (I)</td><td>3RB-D-1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>1.04</td><td>基本</td><td>②④</td></tr> <tr><td>燃料取扱用水系統</td><td>燃料取扱用水ピット水位 (II)</td><td>3RB-D-1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>1.04</td><td>基本</td><td>②④</td></tr> <tr><td>主給水系統</td><td>A-主給水隔離弁 (3V-FW-538A)</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>1.30</td><td>2.39</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主給水系統</td><td>B-主給水隔離弁 (3V-FW-538B)</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>1.30</td><td>2.40</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主給水系統</td><td>C-主給水隔離弁 (3V-FW-538C)</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>1.30</td><td>2.40</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>A-主蒸気過がし弁 (3PCV-3610)</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>8.62</td><td>9.25</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>B-主蒸気過がし弁 (3PCV-3620)</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>8.62</td><td>9.24</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>C-主蒸気過がし弁 (3PCV-3630)</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>8.62</td><td>9.27</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>A-主蒸気過がし弁 (付属バルブ (-))</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>8.30</td><td>9.00</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>B-主蒸気過がし弁 (付属バルブ (-))</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>8.30</td><td>9.00</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>C-主蒸気過がし弁 (付属バルブ (-))</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>8.30</td><td>8.65</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>A-主蒸気隔離弁 (3V-MS-628A)</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>7.12</td><td>7.69</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> </tbody> </table> <p><small>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：設水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②緊急停止機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨炉心冷却機能 ⑩ピット冷却機能 ⑪ピット給水機能</small></p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設計高さ #1(m)	個別設計高さ #2(m)	設置箇所	安全機能	燃料取扱用水系統	B-燃料取扱用水ポンプ (CRFP1B)	3RB-D-1	原子炉建屋	0.51	0.53	基本	②	燃料取扱用水系統	燃料取扱用水ピット水位 (I)	3RB-D-1	原子炉建屋	1.03	1.04	基本	②④	燃料取扱用水系統	燃料取扱用水ピット水位 (II)	3RB-D-1	原子炉建屋	1.03	1.04	基本	②④	主給水系統	A-主給水隔離弁 (3V-FW-538A)	3RB-D-N51	原子炉建屋	1.30	2.39	基本	③⑤	主給水系統	B-主給水隔離弁 (3V-FW-538B)	3RB-D-N51	原子炉建屋	1.30	2.40	基本	③⑤	主給水系統	C-主給水隔離弁 (3V-FW-538C)	3RB-D-N51	原子炉建屋	1.30	2.40	基本	③⑤	主蒸気系統	A-主蒸気過がし弁 (3PCV-3610)	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.62	9.25	基本	③⑤	主蒸気系統	B-主蒸気過がし弁 (3PCV-3620)	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.62	9.24	基本	③⑤	主蒸気系統	C-主蒸気過がし弁 (3PCV-3630)	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.62	9.27	基本	③⑤	主蒸気系統	A-主蒸気過がし弁 (付属バルブ (-))	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.30	9.00	基本	③⑤	主蒸気系統	B-主蒸気過がし弁 (付属バルブ (-))	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.30	9.00	基本	③⑤	主蒸気系統	C-主蒸気過がし弁 (付属バルブ (-))	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.30	8.65	基本	③⑤	主蒸気系統	A-主蒸気隔離弁 (3V-MS-628A)	3RB-D-N51	原子炉建屋	7.12	7.69	基本	③⑤	
系統	設備	区画番号	設置種類	E.L. ¹⁾ (m)	機能 ²⁾																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用AC(B)	6.5V 60W 電圧計 20-3 (E24-F110)	B-81F-12	原子炉建屋 付機器	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用AC(B)	6.5V 60W 電圧計 20-4 (E24-F111)	B-81F-12	原子炉建屋 付機器	0.000	①②																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用AC(B)	6.5V 60W 電圧計 20-5 (E24-F112)	B-1F-16-1	原子炉建屋 付機器	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用AC(B)	7.5V 60W 電圧計 20-1 (E24-F100)	C-81F-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用AC(B)	7.5V 60W 電圧計 20-2 (E24-F100)	C-81F-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用AC(B)	8.0V 電圧計 (E24-F100)	C-81F-4	制御建屋	0.075	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用AC(B)	6.5V 60W 交流電圧計付電圧計 (E24-F70)	D-1F-2-3	重要物貯蔵付 付機器(設置)	0.000	①②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用AC(B)PC(D)	6.5kV オメガブーム (E22-F100)	B-81F-8	原子炉建屋 付機器	0.000	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用AC(B)PC(D)	60CV 電動力配電装置 (E22-F100)	B-81F-8	原子炉建屋 付機器	0.000	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用AC(B)PC(D)	6.5V 60W 電圧計 (E24-F112)	B-1F-15-1	原子炉建屋 付機器	0.000	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用AC(B)PC(D)	高圧中心、ホバレイ系120V交流分電盤 (E24-F100)	B-81F-8	原子炉建屋 付機器	0.140	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用AC(B)PC(D)	60CV交流分電盤20用電圧計 (E24-F100)	B-81F-8	原子炉建屋 付機器	0.075	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用電源系(電源)	保安用電圧監視用静止型無停電電源装置2A (E24-F001A)	C-81F-2	制御建屋	0.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用電源系(電源)	保安用電圧監視用静止型無停電電源装置2B (E24-F001B)	C-81F-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用電源系(電源)	20kV20W 保安用電圧監視装置1-1 (E24-F001)	C-81F-2	制御建屋	0.140	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用電源系(電源)	20kV20W 保安用電圧監視装置1-1 (E24-F002)	C-81F-4	制御建屋	0.140	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用電源系(電源)	中央制御室用電圧計付電圧計2A (E24-F001A)	C-81F-2	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用電源系(電源)	中央制御室用電圧計付電圧計2B (E24-F001B)	C-81F-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用電源系(電源)	中央制御室120V交流分電盤2A (E24-F001)	C-81F-2	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用電源系(電源)	中央制御室120V交流分電盤2B (E24-F001)	C-81F-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(A)	120V 2A 蓄電池 (1)	C-81F-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(A)	120V 2A 蓄電池 (1)	C-81F-2	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(A)	120V 2A 蓄電池 (1)	C-81F-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																														
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設計高さ #1(m)	個別設計高さ #2(m)	設置箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																												
燃料取扱用水系統	B-燃料取扱用水ポンプ (CRFP1B)	3RB-D-1	原子炉建屋	0.51	0.53	基本	②																																																																																																																																																																																																																																																												
燃料取扱用水系統	燃料取扱用水ピット水位 (I)	3RB-D-1	原子炉建屋	1.03	1.04	基本	②④																																																																																																																																																																																																																																																												
燃料取扱用水系統	燃料取扱用水ピット水位 (II)	3RB-D-1	原子炉建屋	1.03	1.04	基本	②④																																																																																																																																																																																																																																																												
主給水系統	A-主給水隔離弁 (3V-FW-538A)	3RB-D-N51	原子炉建屋	1.30	2.39	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主給水系統	B-主給水隔離弁 (3V-FW-538B)	3RB-D-N51	原子炉建屋	1.30	2.40	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主給水系統	C-主給水隔離弁 (3V-FW-538C)	3RB-D-N51	原子炉建屋	1.30	2.40	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	A-主蒸気過がし弁 (3PCV-3610)	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.62	9.25	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	B-主蒸気過がし弁 (3PCV-3620)	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.62	9.24	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	C-主蒸気過がし弁 (3PCV-3630)	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.62	9.27	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	A-主蒸気過がし弁 (付属バルブ (-))	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.30	9.00	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	B-主蒸気過がし弁 (付属バルブ (-))	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.30	9.00	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	C-主蒸気過がし弁 (付属バルブ (-))	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.30	8.65	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	A-主蒸気隔離弁 (3V-MS-628A)	3RB-D-N51	原子炉建屋	7.12	7.69	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																
	表1 防護対象設備一覧 (22/27)	表1 防護対象設備一覧 (22/35)																																																																																																																																																																																																																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置型式</th> <th>E.L.¹⁾(m)</th> <th>機能²⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>保安用DC(A)</td><td>120V 高感度電圧ワコーセンサ24 (342-P001A)</td><td>C-017-3</td><td>制御機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(A)</td><td>120V 高感度電圧24 (342-P001B)</td><td>C-017-3</td><td>制御機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(A)</td><td>120V 高感度電圧24(1P-C) (342-P001C)</td><td>C-017-3</td><td>制御機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(A)</td><td>120V 高感度電圧24(2P-C) (342-P001D)</td><td>C-017-3</td><td>制御機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(A)</td><td>120V 高感度電圧24-1 (342-P001E)</td><td>C-017-3</td><td>制御機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(A)</td><td>120V 高感度電圧24(1P-C) (342-P711A)</td><td>19-17-2-2</td><td>保安用機器(1P-C) (非常停止機)</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(A)</td><td>120V 高感度電圧ワコーセンサ24 (342-P001E)</td><td>C-017-4</td><td>制御機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(B)</td><td>120V 高感度電圧24 (342-P002)</td><td>C-017-5</td><td>制御機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(B)</td><td>120V 高感度電圧24(1P-C) (342-P002)</td><td>C-017-5</td><td>制御機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(B)</td><td>120V 高感度電圧24(2P-C) (342-P002)</td><td>C-017-5</td><td>制御機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(B)</td><td>120V 高感度電圧24-1 (342-P002)</td><td>C-017-5</td><td>制御機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(B)</td><td>120V 高感度電圧24 (342-P711B)</td><td>19-17-2-2</td><td>保安用機器(1P-C) (非常停止機)</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(BP(C))</td><td>120V 冷却電圧 (1P)</td><td>B-027-4</td><td>原子炉建屋 行具機</td><td>0.000</td><td>③④⑤⑥⑦</td></tr> <tr><td>保安用DC(BP(C))</td><td>120V 冷却電圧24 (342-P002)</td><td>B-017-9</td><td>原子炉建屋 行具機</td><td>0.000</td><td>③④⑤⑥⑦</td></tr> <tr><td>保安用DC(BP(C))</td><td>120V 高感度電圧24(1P-C) (342-P002)</td><td>B-017-9</td><td>原子炉建屋 行具機</td><td>0.000</td><td>③④⑤⑥⑦</td></tr> <tr><td>保安用DC(BP(C))</td><td>120V 高感度電圧24(2P-C) (342-P002)</td><td>B-017-9</td><td>原子炉建屋 行具機</td><td>0.000</td><td>③④⑤⑥⑦</td></tr> <tr><td>保安用DC(BP(C))</td><td>120V 高感度電圧24 (342-P002)</td><td>B-017-9</td><td>原子炉建屋 行具機</td><td>0.000</td><td>③④⑤⑥⑦</td></tr> <tr><td>保安用DC(BP(C))</td><td>120V 高感度電圧24 (342-P002)</td><td>B-017-9</td><td>原子炉建屋 行具機</td><td>0.000</td><td>③④⑤⑥⑦</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電機 (A)</td><td>保安用ディーゼル発電機(1)1号機調整器 (321-P271A)</td><td>B-117-13</td><td>原子炉建屋 行具機</td><td>0.000</td><td>③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電機 (A)</td><td>保安用ディーゼル発電機(1)2号機調整器 (321-P271B)</td><td>B-117-13</td><td>原子炉建屋 行具機</td><td>0.000</td><td>③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電機 (A)</td><td>保安用ディーゼル発電機(1)自動調整器 (321-P271C)</td><td>B-117-13</td><td>原子炉建屋 行具機</td><td>0.000</td><td>③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電機 (A)</td><td>保安用ディーゼル発電機(1)冷却制御器 (321-P271D)</td><td>B-117-13</td><td>原子炉建屋 行具機</td><td>0.000</td><td>③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電機 (A)</td><td>保安用ディーゼル発電機(1)制御器 (321-P271E)</td><td>B-117-13</td><td>原子炉建屋 行具機</td><td>0.000</td><td>③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置型式	E.L. ¹⁾ (m)	機能 ²⁾	保安用DC(A)	120V 高感度電圧ワコーセンサ24 (342-P001A)	C-017-3	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(A)	120V 高感度電圧24 (342-P001B)	C-017-3	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(A)	120V 高感度電圧24(1P-C) (342-P001C)	C-017-3	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(A)	120V 高感度電圧24(2P-C) (342-P001D)	C-017-3	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(A)	120V 高感度電圧24-1 (342-P001E)	C-017-3	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(A)	120V 高感度電圧24(1P-C) (342-P711A)	19-17-2-2	保安用機器(1P-C) (非常停止機)	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(A)	120V 高感度電圧ワコーセンサ24 (342-P001E)	C-017-4	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(B)	120V 高感度電圧24 (342-P002)	C-017-5	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(B)	120V 高感度電圧24(1P-C) (342-P002)	C-017-5	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(B)	120V 高感度電圧24(2P-C) (342-P002)	C-017-5	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(B)	120V 高感度電圧24-1 (342-P002)	C-017-5	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(B)	120V 高感度電圧24 (342-P711B)	19-17-2-2	保安用機器(1P-C) (非常停止機)	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(BP(C))	120V 冷却電圧 (1P)	B-027-4	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦	保安用DC(BP(C))	120V 冷却電圧24 (342-P002)	B-017-9	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦	保安用DC(BP(C))	120V 高感度電圧24(1P-C) (342-P002)	B-017-9	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦	保安用DC(BP(C))	120V 高感度電圧24(2P-C) (342-P002)	B-017-9	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦	保安用DC(BP(C))	120V 高感度電圧24 (342-P002)	B-017-9	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦	保安用DC(BP(C))	120V 高感度電圧24 (342-P002)	B-017-9	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦	保安用ディーゼル発電機 (A)	保安用ディーゼル発電機(1)1号機調整器 (321-P271A)	B-117-13	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用ディーゼル発電機 (A)	保安用ディーゼル発電機(1)2号機調整器 (321-P271B)	B-117-13	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用ディーゼル発電機 (A)	保安用ディーゼル発電機(1)自動調整器 (321-P271C)	B-117-13	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用ディーゼル発電機 (A)	保安用ディーゼル発電機(1)冷却制御器 (321-P271D)	B-117-13	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用ディーゼル発電機 (A)	保安用ディーゼル発電機(1)制御器 (321-P271E)	B-117-13	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置型式</th> <th>基本設定高さ #1(m)</th> <th>個別測定高さ #2(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>主蒸気系統</td><td>B-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528B)</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>7.12</td><td>7.57</td><td>基本</td><td>⑤⑥</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>C-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528C)</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>7.12</td><td>7.58</td><td>基本</td><td>⑤⑥</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>A-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)</td><td>3RB-C-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>0.60</td><td>0.63</td><td>基本</td><td>⑤⑥</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>B-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)</td><td>3RB-C-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>0.60</td><td>0.63</td><td>基本</td><td>⑤⑥</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>C-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)</td><td>3RB-C-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>0.60</td><td>0.63</td><td>基本</td><td>⑤⑥</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>A-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-465)</td><td>3RB-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>⑤⑥</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>A-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-466)</td><td>3RB-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>⑤⑥</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>A-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-467)</td><td>3RB-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>⑤⑥</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>A-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-468)</td><td>3RB-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.80</td><td>個別</td><td>⑤⑥</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>B-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-475)</td><td>3RB-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>⑤⑥</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>B-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-476)</td><td>3RB-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>⑤⑥</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>B-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-477)</td><td>3RB-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>⑤⑥</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>B-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-478)</td><td>3RB-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>⑤⑥</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置型式	基本設定高さ #1(m)	個別測定高さ #2(m)	設定箇所	安全機能	主蒸気系統	B-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528B)	3RB-D-N51	原子炉建屋	7.12	7.57	基本	⑤⑥	主蒸気系統	C-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528C)	3RB-D-N51	原子炉建屋	7.12	7.58	基本	⑤⑥	主蒸気系統	A-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)	3RB-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	⑤⑥	主蒸気系統	B-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)	3RB-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	⑤⑥	主蒸気系統	C-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)	3RB-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	⑤⑥	主蒸気系統	A-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-465)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	⑤⑥	主蒸気系統	A-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-466)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	⑤⑥	主蒸気系統	A-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-467)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	⑤⑥	主蒸気系統	A-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-468)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.80	個別	⑤⑥	主蒸気系統	B-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-475)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	⑤⑥	主蒸気系統	B-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-476)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	⑤⑥	主蒸気系統	B-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-477)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	⑤⑥	主蒸気系統	B-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-478)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	⑤⑥	<p>※1：保守的に機能喪失すると規定した床面からの高さ</p> <p>※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <p>①緊急時停止機能 ②冷却停止機能 ③冷却停止機能 ④原子炉停止後の除熱機能 ⑤原子炉冷却機能 ⑥放射線物質の閉じ込め機能</p> <p>⑦安全上特に重要な関連機能 ⑧事故時のフロン1状態の処理機能 ⑨制御室外からの安全停止機能 ⑩ピット冷却機能 ⑪ピット給水機能</p>
系統	設備	区画番号	設置型式	E.L. ¹⁾ (m)	機能 ²⁾																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(A)	120V 高感度電圧ワコーセンサ24 (342-P001A)	C-017-3	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(A)	120V 高感度電圧24 (342-P001B)	C-017-3	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(A)	120V 高感度電圧24(1P-C) (342-P001C)	C-017-3	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(A)	120V 高感度電圧24(2P-C) (342-P001D)	C-017-3	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(A)	120V 高感度電圧24-1 (342-P001E)	C-017-3	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(A)	120V 高感度電圧24(1P-C) (342-P711A)	19-17-2-2	保安用機器(1P-C) (非常停止機)	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(A)	120V 高感度電圧ワコーセンサ24 (342-P001E)	C-017-4	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(B)	120V 高感度電圧24 (342-P002)	C-017-5	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(B)	120V 高感度電圧24(1P-C) (342-P002)	C-017-5	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(B)	120V 高感度電圧24(2P-C) (342-P002)	C-017-5	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(B)	120V 高感度電圧24-1 (342-P002)	C-017-5	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(B)	120V 高感度電圧24 (342-P711B)	19-17-2-2	保安用機器(1P-C) (非常停止機)	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(BP(C))	120V 冷却電圧 (1P)	B-027-4	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(BP(C))	120V 冷却電圧24 (342-P002)	B-017-9	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(BP(C))	120V 高感度電圧24(1P-C) (342-P002)	B-017-9	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(BP(C))	120V 高感度電圧24(2P-C) (342-P002)	B-017-9	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(BP(C))	120V 高感度電圧24 (342-P002)	B-017-9	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(BP(C))	120V 高感度電圧24 (342-P002)	B-017-9	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用ディーゼル発電機 (A)	保安用ディーゼル発電機(1)1号機調整器 (321-P271A)	B-117-13	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用ディーゼル発電機 (A)	保安用ディーゼル発電機(1)2号機調整器 (321-P271B)	B-117-13	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用ディーゼル発電機 (A)	保安用ディーゼル発電機(1)自動調整器 (321-P271C)	B-117-13	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用ディーゼル発電機 (A)	保安用ディーゼル発電機(1)冷却制御器 (321-P271D)	B-117-13	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用ディーゼル発電機 (A)	保安用ディーゼル発電機(1)制御器 (321-P271E)	B-117-13	原子炉建屋 行具機	0.000	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
系統	設備	区画番号	設置型式	基本設定高さ #1(m)	個別測定高さ #2(m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	B-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528B)	3RB-D-N51	原子炉建屋	7.12	7.57	基本	⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	C-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528C)	3RB-D-N51	原子炉建屋	7.12	7.58	基本	⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	A-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)	3RB-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	B-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)	3RB-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	C-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)	3RB-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	A-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-465)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	A-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-466)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	A-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-467)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	A-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-468)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.80	個別	⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	B-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-475)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	B-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-476)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	B-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-477)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	B-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-478)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
	<p>※1：浸水により機能喪失する床面からの高さ（※3高さ0.000mを基準）</p> <p>※2：安全機能</p> <p>①緊急時停止機能 ②冷却停止機能 ③冷却停止機能 ④原子炉停止後の除熱機能 ⑤原子炉冷却機能 ⑥放射線物質の閉じ込め機能</p> <p>⑦安全上特に重要な関連機能 ⑧事故時のフロン1状態の処理機能 ⑨制御室外からの安全停止機能 ⑩ピット冷却機能 ⑪ピット給水機能</p>																																																																																																																																																																																																																																																																		

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

第9条 漏水による損傷の防止等 (別添1 添付資料4)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

Main comparison table with columns: 大阪発電所3/4号炉, 女川原子力発電所2号炉 (Table 1), 泊発電所3号炉 (Table 1), and 相違理由. It details various protection systems and equipment specifications across the different reactors.

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>表1 防護対象設備一覧 (26/27)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ #1(m)</th> <th>観測定高さ #2(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油加熱器 (344-303)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>高圧炉心コブレイスポンプ駆動機 (344-304)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>1.240</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>高圧炉心コブレイスポンプ機関 (344-305)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.960</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>排油油冷却ポンプ (344-306)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.950</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ (344-307)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ (344-308)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.970</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>燃料移送ポンプ (344-326)</td><td>107-2</td><td>燃焼炉付</td><td>0.440</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>オイルポンプ駆動スイッチ (344-43310)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.970</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43320)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>燃料ディシット装置 (344-43330)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43340)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.970</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>燃料ハンドリング装置ディシットスイッチ (344-43350)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.970</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43360)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43370)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43380)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43390)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43400)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43410)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43420)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43430)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43440)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43450)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43460)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43470)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43480)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43490)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43500)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43510)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43520)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43530)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43540)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43550)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43560)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43570)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43580)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43590)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43600)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43610)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43620)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43630)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43640)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43650)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43660)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43670)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43680)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43690)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43700)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43710)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43720)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43730)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43740)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43750)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43760)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43770)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43780)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43790)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43800)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43810)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43820)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43830)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43840)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43850)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43860)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43870)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43880)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43890)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43900)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43910)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43920)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43930)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43940)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43950)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43960)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43970)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43980)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43990)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>原子炉冷却系</td><td>潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-44000)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>0</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ #1(m)	観測定高さ #2(m)	設定箇所	安全機能	原子炉冷却系	潤滑油加熱器 (344-303)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	高圧炉心コブレイスポンプ駆動機 (344-304)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	1.240	0.000		0	原子炉冷却系	高圧炉心コブレイスポンプ機関 (344-305)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.960	0.000		0	原子炉冷却系	排油油冷却ポンプ (344-306)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.950	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ (344-307)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ (344-308)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.970	0.000		0	原子炉冷却系	燃料移送ポンプ (344-326)	107-2	燃焼炉付	0.440	0.000		0	原子炉冷却系	オイルポンプ駆動スイッチ (344-43310)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.970	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43320)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	燃料ディシット装置 (344-43330)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43340)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.970	0.000		0	原子炉冷却系	燃料ハンドリング装置ディシットスイッチ (344-43350)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.970	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43360)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43370)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43380)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43390)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43400)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43410)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43420)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43430)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43440)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43450)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43460)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43470)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43480)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43490)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43500)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43510)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43520)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43530)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43540)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43550)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43560)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43570)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43580)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43590)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43600)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43610)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43620)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43630)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43640)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43650)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43660)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43670)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43680)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43690)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43700)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43710)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43720)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43730)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43740)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43750)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43760)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43770)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43780)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43790)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43800)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43810)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43820)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43830)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43840)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43850)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43860)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43870)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43880)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43890)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43900)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43910)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43920)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43930)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43940)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43950)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43960)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43970)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43980)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43990)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-44000)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0	<p>表1 防護対象設備一覧 (26/35)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ #1(m)</th> <th>観測定高さ #2(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>B-ディーゼル発電機室内空気温度(2)(3TS-2750)</td><td>3DG-#N1</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>1.67</td><td>5.16</td><td>基本</td><td>0</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>B-ディーゼル発電機室内空気温度(3)(3TS-2753)</td><td>3DG-#N1</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>0.92</td><td>4.41</td><td>基本</td><td>0</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>B-ディーゼル発電機室内空気温度(4)(3TS-2754)</td><td>3DG-#N1</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>0.92</td><td>4.42</td><td>基本</td><td>0</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>A-電動補助給水ポンプ室給気ファン(3VSP40A)</td><td>3RB-#N6</td><td>原子炉建屋</td><td>4.4</td><td>4.55</td><td>基本</td><td>0</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>B-電動補助給水ポンプ室給気ファン(3VSP40B)</td><td>3RB-#N7</td><td>原子炉建屋</td><td>4.4</td><td>4.54</td><td>基本</td><td>0</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ(3HCD-2670)</td><td>3RB-#N6</td><td>原子炉建屋</td><td>4.90</td><td>4.53</td><td>観測</td><td>0</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ(3HCD-2680)</td><td>3RB-#N7</td><td>原子炉建屋</td><td>4.90</td><td>4.54</td><td>観測</td><td>0</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2670)</td><td>3RB-#N6</td><td>原子炉建屋</td><td>5.44</td><td>5.44</td><td>基本</td><td>0</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2680)</td><td>3RB-#N7</td><td>原子炉建屋</td><td>5.44</td><td>5.45</td><td>基本</td><td>0</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1)(3TS-2671)</td><td>3RB-#N6</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.39</td><td>基本</td><td>0</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2)(3TS-2672)</td><td>3RB-#N6</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.40</td><td>基本</td><td>0</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1)(3TS-2681)</td><td>3RB-#N7</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.40</td><td>基本</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：設水により機能喪失する床面からの高さ ※3：緊急時停止機能 ※4：本館昇降機機能 ※5：緊急停止機能 ※6：原子炉停止後の除熱機能 ※7：放射線物質の閉じ込め機能 ※8：安全上特に重要な関連機能 ※9：事故時のプラント状態把握機能 ※10：制御室外からの安全停止機能 ※11：中心冷却機能 ※12：ヒート冷却機能 ※13：ヒート給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ #1(m)	観測定高さ #2(m)	設定箇所	安全機能	換気空調設備系統	B-ディーゼル発電機室内空気温度(2)(3TS-2750)	3DG-#N1	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.16	基本	0	換気空調設備系統	B-ディーゼル発電機室内空気温度(3)(3TS-2753)	3DG-#N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.41	基本	0	換気空調設備系統	B-ディーゼル発電機室内空気温度(4)(3TS-2754)	3DG-#N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.42	基本	0	換気空調設備系統	A-電動補助給水ポンプ室給気ファン(3VSP40A)	3RB-#N6	原子炉建屋	4.4	4.55	基本	0	換気空調設備系統	B-電動補助給水ポンプ室給気ファン(3VSP40B)	3RB-#N7	原子炉建屋	4.4	4.54	基本	0	換気空調設備系統	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ(3HCD-2670)	3RB-#N6	原子炉建屋	4.90	4.53	観測	0	換気空調設備系統	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ(3HCD-2680)	3RB-#N7	原子炉建屋	4.90	4.54	観測	0	換気空調設備系統	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2670)	3RB-#N6	原子炉建屋	5.44	5.44	基本	0	換気空調設備系統	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2680)	3RB-#N7	原子炉建屋	5.44	5.45	基本	0	換気空調設備系統	A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1)(3TS-2671)	3RB-#N6	原子炉建屋	1.42	5.39	基本	0	換気空調設備系統	A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2)(3TS-2672)	3RB-#N6	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	0	換気空調設備系統	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1)(3TS-2681)	3RB-#N7	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	0	
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ #1(m)	観測定高さ #2(m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油加熱器 (344-303)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	高圧炉心コブレイスポンプ駆動機 (344-304)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	1.240	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	高圧炉心コブレイスポンプ機関 (344-305)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.960	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	排油油冷却ポンプ (344-306)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.950	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ (344-307)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ (344-308)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.970	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	燃料移送ポンプ (344-326)	107-2	燃焼炉付	0.440	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	オイルポンプ駆動スイッチ (344-43310)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.970	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43320)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	燃料ディシット装置 (344-43330)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43340)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.970	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	燃料ハンドリング装置ディシットスイッチ (344-43350)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.970	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43360)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43370)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43380)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43390)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43400)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43410)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43420)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43430)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43440)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43450)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43460)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43470)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43480)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43490)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43500)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43510)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43520)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43530)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43540)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43550)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43560)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43570)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43580)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43590)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43600)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43610)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43620)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43630)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43640)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43650)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43660)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43670)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43680)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43690)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43700)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43710)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43720)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43730)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43740)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43750)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43760)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43770)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43780)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43790)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43800)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43810)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43820)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43830)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43840)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43850)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43860)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43870)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43880)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43890)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43900)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43910)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43920)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43930)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43940)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43950)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43960)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43970)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43980)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-43990)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却系	潤滑油冷却ポンプ駆動スイッチ (344-44000)	0-07-15	原子炉建屋 付属機	0.940	0.000		0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ #1(m)	観測定高さ #2(m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調設備系統	B-ディーゼル発電機室内空気温度(2)(3TS-2750)	3DG-#N1	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.16	基本	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調設備系統	B-ディーゼル発電機室内空気温度(3)(3TS-2753)	3DG-#N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.41	基本	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調設備系統	B-ディーゼル発電機室内空気温度(4)(3TS-2754)	3DG-#N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.42	基本	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調設備系統	A-電動補助給水ポンプ室給気ファン(3VSP40A)	3RB-#N6	原子炉建屋	4.4	4.55	基本	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調設備系統	B-電動補助給水ポンプ室給気ファン(3VSP40B)	3RB-#N7	原子炉建屋	4.4	4.54	基本	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調設備系統	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ(3HCD-2670)	3RB-#N6	原子炉建屋	4.90	4.53	観測	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調設備系統	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ(3HCD-2680)	3RB-#N7	原子炉建屋	4.90	4.54	観測	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調設備系統	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2670)	3RB-#N6	原子炉建屋	5.44	5.44	基本	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調設備系統	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2680)	3RB-#N7	原子炉建屋	5.44	5.45	基本	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調設備系統	A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1)(3TS-2671)	3RB-#N6	原子炉建屋	1.42	5.39	基本	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調設備系統	A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2)(3TS-2672)	3RB-#N6	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調設備系統	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1)(3TS-2681)	3RB-#N7	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																		
	<p>表1 防護対象設備一覧 (27/27)</p> <table border="1" data-bbox="696 252 1272 590"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置階層</th> <th>上L²⁾(m)</th> <th>機能³⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入口監視弁(1749-50-4733)</td><td>9-12-9</td><td>原子炉階層 原子炉棟</td><td>3.294</td><td>①</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4734)</td><td>9-12-9</td><td>原子炉階層 原子炉棟</td><td>3.506</td><td>①</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4735)</td><td>9-12-9</td><td>原子炉階層 原子炉棟</td><td>3.258</td><td>①</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4736)</td><td>9-12-9</td><td>原子炉階層 原子炉棟</td><td>3.494</td><td>①</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4737)</td><td>9-12-10</td><td>原子炉階層 原子炉棟</td><td>1.976</td><td>①</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4741)</td><td>9-12-10</td><td>原子炉階層 原子炉棟</td><td>1.975</td><td>①</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4742)</td><td>9-12-10</td><td>原子炉階層 原子炉棟</td><td>4.438</td><td>①</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4747)</td><td>9-12-10</td><td>原子炉階層 原子炉棟</td><td>1.971</td><td>①</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4748)</td><td>9-12-10</td><td>原子炉階層 原子炉棟</td><td>1.974</td><td>①</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4750)</td><td>9-12-10</td><td>原子炉階層 原子炉棟</td><td>4.439</td><td>①</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：表中より機能喪失する床面からの高さ（※2高さ4.955mを考慮） ※2：取付高さ ※3：①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③蒸気発生抑制機能 ④蒸気発生抑制機能 ⑤蒸気発生抑制機能 ⑥蒸気発生抑制機能 ⑦蒸気発生抑制機能 ⑧蒸気発生抑制機能 ⑨蒸気発生抑制機能 ⑩蒸気発生抑制機能 ⑪蒸気発生抑制機能 ⑫蒸気発生抑制機能 ⑬蒸気発生抑制機能 ⑭蒸気発生抑制機能 ⑮蒸気発生抑制機能 ⑯蒸気発生抑制機能 ⑰蒸気発生抑制機能 ⑱蒸気発生抑制機能 ⑲蒸気発生抑制機能 ⑳蒸気発生抑制機能 ㉑蒸気発生抑制機能 ㉒蒸気発生抑制機能 ㉓蒸気発生抑制機能 ㉔蒸気発生抑制機能 ㉕蒸気発生抑制機能 ㉖蒸気発生抑制機能 ㉗蒸気発生抑制機能 ㉘蒸気発生抑制機能 ㉙蒸気発生抑制機能 ㉚蒸気発生抑制機能 ㉛蒸気発生抑制機能 ㉜蒸気発生抑制機能 ㉝蒸気発生抑制機能 ㉞蒸気発生抑制機能 ㉟蒸気発生抑制機能 ㊱蒸気発生抑制機能 ㊲蒸気発生抑制機能 ㊳蒸気発生抑制機能 ㊴蒸気発生抑制機能 ㊵蒸気発生抑制機能 ㊶蒸気発生抑制機能 ㊷蒸気発生抑制機能 ㊸蒸気発生抑制機能 ㊹蒸気発生抑制機能 ㊺蒸気発生抑制機能 ㊻蒸気発生抑制機能 ㊼蒸気発生抑制機能 ㊽蒸気発生抑制機能 ㊾蒸気発生抑制機能 ㊿蒸気発生抑制機能</p>	系統	設備	区画番号	設置階層	上L ²⁾ (m)	機能 ³⁾	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入口監視弁(1749-50-4733)	9-12-9	原子炉階層 原子炉棟	3.294	①	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4734)	9-12-9	原子炉階層 原子炉棟	3.506	①	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4735)	9-12-9	原子炉階層 原子炉棟	3.258	①	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4736)	9-12-9	原子炉階層 原子炉棟	3.494	①	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4737)	9-12-10	原子炉階層 原子炉棟	1.976	①	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4741)	9-12-10	原子炉階層 原子炉棟	1.975	①	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4742)	9-12-10	原子炉階層 原子炉棟	4.438	①	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4747)	9-12-10	原子炉階層 原子炉棟	1.971	①	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4748)	9-12-10	原子炉階層 原子炉棟	1.974	①	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4750)	9-12-10	原子炉階層 原子炉棟	4.439	①	<p>表1 防護対象設備一覧 (27/35)</p> <table border="1" data-bbox="1279 252 1863 869"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置階層</th> <th>基本設定高さ #1(m)</th> <th>個別測定高さ #2(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2)(3TS-2682)</td><td>3RB-H-57</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.41</td><td>基本</td><td>①</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>A-制御用空気圧縮機室給気ファン(3VSF42A)</td><td>3RB-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>4.56</td><td>4.64</td><td>基本</td><td>①</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>B-制御用空気圧縮機室給気ファン(3VSF42B)</td><td>3RB-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>4.56</td><td>4.64</td><td>基本</td><td>①</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>A-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3BCD-2701)</td><td>3RB-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>5.00</td><td>4.64</td><td>個別</td><td>①</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>B-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3BCD-2711)</td><td>3RB-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>5.00</td><td>4.63</td><td>個別</td><td>①</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>A-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2701)</td><td>3RB-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>5.74</td><td>5.76</td><td>基本</td><td>①</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>B-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2711)</td><td>3RB-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>5.74</td><td>5.75</td><td>基本</td><td>①</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>A-制御用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2702)</td><td>3RB-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.39</td><td>個別</td><td>①</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>A-制御用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2703)</td><td>3RB-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.39</td><td>個別</td><td>①</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>B-制御用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2712)</td><td>3RB-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.39</td><td>個別</td><td>①</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>B-制御用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2713)</td><td>3RB-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.40</td><td>個別</td><td>①</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>A-安全補機開閉器室給気ファン(3VSP27A)</td><td>3AB-D-N1</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.15</td><td>2.16</td><td>基本</td><td>①</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>B-安全補機開閉器室給気ファン(3VSP27B)</td><td>3AB-D-N1</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.15</td><td>2.16</td><td>基本</td><td>①</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると設定した床面からの高さ ※2：汎水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③蒸気発生抑制機能 ④蒸気発生抑制機能 ⑤蒸気発生抑制機能 ⑥蒸気発生抑制機能 ⑦蒸気発生抑制機能 ⑧蒸気発生抑制機能 ⑨蒸気発生抑制機能 ⑩蒸気発生抑制機能 ⑪蒸気発生抑制機能 ⑫蒸気発生抑制機能 ⑬蒸気発生抑制機能 ⑭蒸気発生抑制機能 ⑮蒸気発生抑制機能 ⑯蒸気発生抑制機能 ⑰蒸気発生抑制機能 ⑱蒸気発生抑制機能 ⑲蒸気発生抑制機能 ⑳蒸気発生抑制機能 ㉑蒸気発生抑制機能 ㉒蒸気発生抑制機能 ㉓蒸気発生抑制機能 ㉔蒸気発生抑制機能 ㉕蒸気発生抑制機能 ㉖蒸気発生抑制機能 ㉗蒸気発生抑制機能 ㉘蒸気発生抑制機能 ㉙蒸気発生抑制機能 ㉚蒸気発生抑制機能 ㉛蒸気発生抑制機能 ㉜蒸気発生抑制機能 ㉝蒸気発生抑制機能 ㉞蒸気発生抑制機能 ㉟蒸気発生抑制機能 ㊱蒸気発生抑制機能 ㊲蒸気発生抑制機能 ㊳蒸気発生抑制機能 ㊴蒸気発生抑制機能 ㊵蒸気発生抑制機能 ㊶蒸気発生抑制機能 ㊷蒸気発生抑制機能 ㊸蒸気発生抑制機能 ㊹蒸気発生抑制機能 ㊺蒸気発生抑制機能 ㊻蒸気発生抑制機能 ㊼蒸気発生抑制機能 ㊽蒸気発生抑制機能 ㊾蒸気発生抑制機能 ㊿蒸気発生抑制機能 ㊰安全上特に重要な関連機能 ㊱事故時のプラント状態の把握機能 ㊲制御室外からの安全停止機能 ㊳ヒット冷却機能 ㊴ヒット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置階層	基本設定高さ #1(m)	個別測定高さ #2(m)	設定箇所	安全機能	換気空調設備系統	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2)(3TS-2682)	3RB-H-57	原子炉建屋	1.42	5.41	基本	①	換気空調設備系統	A-制御用空気圧縮機室給気ファン(3VSF42A)	3RB-H-N2	原子炉建屋	4.56	4.64	基本	①	換気空調設備系統	B-制御用空気圧縮機室給気ファン(3VSF42B)	3RB-H-N3	原子炉建屋	4.56	4.64	基本	①	換気空調設備系統	A-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3BCD-2701)	3RB-H-N2	原子炉建屋	5.00	4.64	個別	①	換気空調設備系統	B-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3BCD-2711)	3RB-H-N3	原子炉建屋	5.00	4.63	個別	①	換気空調設備系統	A-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2701)	3RB-H-N2	原子炉建屋	5.74	5.76	基本	①	換気空調設備系統	B-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2711)	3RB-H-N3	原子炉建屋	5.74	5.75	基本	①	換気空調設備系統	A-制御用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2702)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	①	換気空調設備系統	A-制御用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2703)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	①	換気空調設備系統	B-制御用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2712)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	①	換気空調設備系統	B-制御用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2713)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	①	換気空調設備系統	A-安全補機開閉器室給気ファン(3VSP27A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	①	換気空調設備系統	B-安全補機開閉器室給気ファン(3VSP27B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	①	
系統	設備	区画番号	設置階層	上L ²⁾ (m)	機能 ³⁾																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入口監視弁(1749-50-4733)	9-12-9	原子炉階層 原子炉棟	3.294	①																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4734)	9-12-9	原子炉階層 原子炉棟	3.506	①																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4735)	9-12-9	原子炉階層 原子炉棟	3.258	①																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4736)	9-12-9	原子炉階層 原子炉棟	3.494	①																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4737)	9-12-10	原子炉階層 原子炉棟	1.976	①																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4741)	9-12-10	原子炉階層 原子炉棟	1.975	①																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4742)	9-12-10	原子炉階層 原子炉棟	4.438	①																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4747)	9-12-10	原子炉階層 原子炉棟	1.971	①																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4748)	9-12-10	原子炉階層 原子炉棟	1.974	①																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内空気圧モニタ系(31)97ヤンプム入り監視弁(1749-50-4750)	9-12-10	原子炉階層 原子炉棟	4.439	①																																																																																																																																																																																
系統	設備	区画番号	設置階層	基本設定高さ #1(m)	個別測定高さ #2(m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																														
換気空調設備系統	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2)(3TS-2682)	3RB-H-57	原子炉建屋	1.42	5.41	基本	①																																																																																																																																																																														
換気空調設備系統	A-制御用空気圧縮機室給気ファン(3VSF42A)	3RB-H-N2	原子炉建屋	4.56	4.64	基本	①																																																																																																																																																																														
換気空調設備系統	B-制御用空気圧縮機室給気ファン(3VSF42B)	3RB-H-N3	原子炉建屋	4.56	4.64	基本	①																																																																																																																																																																														
換気空調設備系統	A-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3BCD-2701)	3RB-H-N2	原子炉建屋	5.00	4.64	個別	①																																																																																																																																																																														
換気空調設備系統	B-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3BCD-2711)	3RB-H-N3	原子炉建屋	5.00	4.63	個別	①																																																																																																																																																																														
換気空調設備系統	A-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2701)	3RB-H-N2	原子炉建屋	5.74	5.76	基本	①																																																																																																																																																																														
換気空調設備系統	B-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2711)	3RB-H-N3	原子炉建屋	5.74	5.75	基本	①																																																																																																																																																																														
換気空調設備系統	A-制御用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2702)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	①																																																																																																																																																																														
換気空調設備系統	A-制御用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2703)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	①																																																																																																																																																																														
換気空調設備系統	B-制御用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2712)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	①																																																																																																																																																																														
換気空調設備系統	B-制御用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2713)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	①																																																																																																																																																																														
換気空調設備系統	A-安全補機開閉器室給気ファン(3VSP27A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	①																																																																																																																																																																														
換気空調設備系統	B-安全補機開閉器室給気ファン(3VSP27B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	①																																																																																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
		表1 防護対象設備一覧 (28/35)																																																																																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設計高さ #1(m)</th> <th>個別測定高さ #2(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>A-安全系計装盤室内空気温度(3TS-2790)</td> <td>3AB-F-N13</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>B-安全系計装盤室内空気温度(3TS-2791)</td> <td>3AB-F-N2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>A-蓄電池室排気ファン(3VSF31A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.52</td> <td>個別</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>B-蓄電池室排気ファン(3VSF31B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.51</td> <td>個別</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>A-中央制御室循環ファン(3VSF20A)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.17</td> <td>基本</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>B-中央制御室循環ファン(3VSF20B)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.18</td> <td>基本</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>A-中央制御室給気ファン(3VSF21A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>1.12</td> <td>基本</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>B-中央制御室給気ファン(3VSF21B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>1.13</td> <td>基本</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>A-中央制御室給気ファン出口ダンパ(3D-YS-603A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>3.79</td> <td>3.83</td> <td>基本</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>B-中央制御室給気ファン出口ダンパ(3D-YS-603B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>3.79</td> <td>3.83</td> <td>基本</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>A-中央制御室循環ファン入口ダンパ(3D-YS-604A)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.25</td> <td>個別</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>B-中央制御室循環ファン入口ダンパ(3D-YS-604B)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.26</td> <td>個別</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>A-中央制御室循環風量調節ダンパ(3KCD-2836)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.25</td> <td>個別</td> <td>①</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設計高さ #1(m)	個別測定高さ #2(m)	設定箇所	安全機能	換気空調設備系統	A-安全系計装盤室内空気温度(3TS-2790)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	①	換気空調設備系統	B-安全系計装盤室内空気温度(3TS-2791)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	①	換気空調設備系統	A-蓄電池室排気ファン(3VSF31A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.52	個別	①	換気空調設備系統	B-蓄電池室排気ファン(3VSF31B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.51	個別	①	換気空調設備系統	A-中央制御室循環ファン(3VSF20A)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.15	0.17	基本	①	換気空調設備系統	B-中央制御室循環ファン(3VSF20B)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.15	0.18	基本	①	換気空調設備系統	A-中央制御室給気ファン(3VSF21A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.12	基本	①	換気空調設備系統	B-中央制御室給気ファン(3VSF21B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.13	基本	①	換気空調設備系統	A-中央制御室給気ファン出口ダンパ(3D-YS-603A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	①	換気空調設備系統	B-中央制御室給気ファン出口ダンパ(3D-YS-603B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	①	換気空調設備系統	A-中央制御室循環ファン入口ダンパ(3D-YS-604A)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	①	換気空調設備系統	B-中央制御室循環ファン入口ダンパ(3D-YS-604B)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.26	個別	①	換気空調設備系統	A-中央制御室循環風量調節ダンパ(3KCD-2836)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	①	
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設計高さ #1(m)	個別測定高さ #2(m)	設定箇所	安全機能																																																																																																												
換気空調設備系統	A-安全系計装盤室内空気温度(3TS-2790)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	①																																																																																																												
換気空調設備系統	B-安全系計装盤室内空気温度(3TS-2791)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	①																																																																																																												
換気空調設備系統	A-蓄電池室排気ファン(3VSF31A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.52	個別	①																																																																																																												
換気空調設備系統	B-蓄電池室排気ファン(3VSF31B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.51	個別	①																																																																																																												
換気空調設備系統	A-中央制御室循環ファン(3VSF20A)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.15	0.17	基本	①																																																																																																												
換気空調設備系統	B-中央制御室循環ファン(3VSF20B)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.15	0.18	基本	①																																																																																																												
換気空調設備系統	A-中央制御室給気ファン(3VSF21A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.12	基本	①																																																																																																												
換気空調設備系統	B-中央制御室給気ファン(3VSF21B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.13	基本	①																																																																																																												
換気空調設備系統	A-中央制御室給気ファン出口ダンパ(3D-YS-603A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	①																																																																																																												
換気空調設備系統	B-中央制御室給気ファン出口ダンパ(3D-YS-603B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	①																																																																																																												
換気空調設備系統	A-中央制御室循環ファン入口ダンパ(3D-YS-604A)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	①																																																																																																												
換気空調設備系統	B-中央制御室循環ファン入口ダンパ(3D-YS-604B)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.26	個別	①																																																																																																												
換気空調設備系統	A-中央制御室循環風量調節ダンパ(3KCD-2836)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	①																																																																																																												
		<p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑦安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②本館昇降機機能</td> <td>⑧事故時のアラート状態の記憶機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑨制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑩ビット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑪ビット給水機能</td> </tr> </table>	①緊急時停止機能	⑦安全上特に重要な関連機能	②本館昇降機機能	⑧事故時のアラート状態の記憶機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑨制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑩ビット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑪ビット給水機能																																																																																																							
①緊急時停止機能	⑦安全上特に重要な関連機能																																																																																																																		
②本館昇降機機能	⑧事故時のアラート状態の記憶機能																																																																																																																		
③原子炉停止後の除熱機能	⑨制御室外からの安全停止機能																																																																																																																		
④炉心冷却機能	⑩ビット冷却機能																																																																																																																		
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑪ビット給水機能																																																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																								
		表1 防護対象設備一覧 (29/35)																																																																																																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設 定高さ #1(m)</th> <th>識別頭 定高さ #2(m)</th> <th>設定 箇所</th> <th>安全 機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>B-中央制御室前電風量調節 ダンパ(3BCD-2837)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.25</td> <td>個別</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>A-中央制御室前電風量調節 ダンパ流量設定器(3K-2836)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>B-中央制御室前電風量調節 ダンパ流量設定器(3K-2837)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>中央制御室内空気温度(2) (3TS-2846)</td> <td>3AB-F-N8</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>中央制御室内空気温度(3) (3TS-2847)</td> <td>3AB-F-N8</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>A-中央制御室非常用循環 ファン(3VSP22A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.54</td> <td>基本</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>B-中央制御室非常用循環 ファン(3VSP22B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.54</td> <td>基本</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>A-中央制御室非常用循環 ファン出口空気流量(FPS-2867)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>1.35</td> <td>1.34</td> <td>個別</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>B-中央制御室非常用循環 ファン出口空気流量(FPS-2868)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>1.35</td> <td>1.34</td> <td>個別</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>A-中央制御室非常用循環 ファン入口ダンパ(3D-VS-602A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>0.70</td> <td>0.36</td> <td>個別</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>B-中央制御室非常用循環 ファン入口ダンパ(3D-VS-602B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>0.70</td> <td>0.38</td> <td>個別</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>A-中央制御室外気取入風量 調節ダンパ(3BCD-2821)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>5.31</td> <td>5.31</td> <td>個別</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設 定高さ #1(m)	識別頭 定高さ #2(m)	設定 箇所	安全 機能	換気空調 設備系統	B-中央制御室前電風量調節 ダンパ(3BCD-2837)	3AB-D-N52	原子炉補助 建屋	0.80	0.25	個別	◎	換気空調 設備系統	A-中央制御室前電風量調節 ダンパ流量設定器(3K-2836)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.14	1.15	基本	◎	換気空調 設備系統	B-中央制御室前電風量調節 ダンパ流量設定器(3K-2837)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.14	1.15	基本	◎	換気空調 設備系統	中央制御室内空気温度(2) (3TS-2846)	3AB-F-N8	原子炉補助 建屋	1.92	1.30	個別	◎	換気空調 設備系統	中央制御室内空気温度(3) (3TS-2847)	3AB-F-N8	原子炉補助 建屋	1.92	1.30	個別	◎	換気空調 設備系統	A-中央制御室非常用循環 ファン(3VSP22A)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	0.15	0.54	基本	◎	換気空調 設備系統	B-中央制御室非常用循環 ファン(3VSP22B)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	0.15	0.54	基本	◎	換気空調 設備系統	A-中央制御室非常用循環 ファン出口空気流量(FPS-2867)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.35	1.34	個別	◎	換気空調 設備系統	B-中央制御室非常用循環 ファン出口空気流量(FPS-2868)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.35	1.34	個別	◎	換気空調 設備系統	A-中央制御室非常用循環 ファン入口ダンパ(3D-VS-602A)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	0.70	0.36	個別	◎	換気空調 設備系統	B-中央制御室非常用循環 ファン入口ダンパ(3D-VS-602B)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	0.70	0.38	個別	◎	換気空調 設備系統	A-中央制御室外気取入風量 調節ダンパ(3BCD-2821)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	5.31	5.31	個別	◎	
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設 定高さ #1(m)	識別頭 定高さ #2(m)	設定 箇所	安全 機能																																																																																																				
換気空調 設備系統	B-中央制御室前電風量調節 ダンパ(3BCD-2837)	3AB-D-N52	原子炉補助 建屋	0.80	0.25	個別	◎																																																																																																				
換気空調 設備系統	A-中央制御室前電風量調節 ダンパ流量設定器(3K-2836)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.14	1.15	基本	◎																																																																																																				
換気空調 設備系統	B-中央制御室前電風量調節 ダンパ流量設定器(3K-2837)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.14	1.15	基本	◎																																																																																																				
換気空調 設備系統	中央制御室内空気温度(2) (3TS-2846)	3AB-F-N8	原子炉補助 建屋	1.92	1.30	個別	◎																																																																																																				
換気空調 設備系統	中央制御室内空気温度(3) (3TS-2847)	3AB-F-N8	原子炉補助 建屋	1.92	1.30	個別	◎																																																																																																				
換気空調 設備系統	A-中央制御室非常用循環 ファン(3VSP22A)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	0.15	0.54	基本	◎																																																																																																				
換気空調 設備系統	B-中央制御室非常用循環 ファン(3VSP22B)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	0.15	0.54	基本	◎																																																																																																				
換気空調 設備系統	A-中央制御室非常用循環 ファン出口空気流量(FPS-2867)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.35	1.34	個別	◎																																																																																																				
換気空調 設備系統	B-中央制御室非常用循環 ファン出口空気流量(FPS-2868)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.35	1.34	個別	◎																																																																																																				
換気空調 設備系統	A-中央制御室非常用循環 ファン入口ダンパ(3D-VS-602A)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	0.70	0.36	個別	◎																																																																																																				
換気空調 設備系統	B-中央制御室非常用循環 ファン入口ダンパ(3D-VS-602B)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	0.70	0.38	個別	◎																																																																																																				
換気空調 設備系統	A-中央制御室外気取入風量 調節ダンパ(3BCD-2821)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	5.31	5.31	個別	◎																																																																																																				
		<p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ</p> <p>※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0"> <tr> <td>①緊急停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ヒート冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ヒート給水機能</td> </tr> </table>	①緊急停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ヒート冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ヒート給水機能																																																																																															
①緊急停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能																																																																																																										
②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																																										
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能																																																																																																										
④炉心冷却機能	⑨ヒート冷却機能																																																																																																										
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ヒート給水機能																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																								
		表1 防護対象設備一覧 (30/35)																																																																																																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ H1(m)</th> <th>個別測定高さ H2(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ(3BCD-282)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>5.34</td> <td>5.31</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2823)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.64</td> <td>1.65</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2824)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.64</td> <td>1.65</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ(3BCD-2850)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.94</td> <td>4.62</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ(3BCD-2851)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.94</td> <td>5.00</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2850)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2851)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>試料採取室排気隔離ダンパ(3D-VS-653)</td> <td>3AB-B-1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.15</td> <td>3.29</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>試料採取室排気風量制御ダンパ(3FD-2905)</td> <td>3AB-B-1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.15</td> <td>3.61</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>A-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ(VSE3A)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.49</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>B-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ(VSE3B)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.49</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>A-非管理区域空調機器室電気ヒータ(VSE2A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.53</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ H1(m)	個別測定高さ H2(m)	設定箇所	安全機能	換気空調設備系統	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ(3BCD-282)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	⑤	換気空調設備系統	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2823)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	⑤	換気空調設備系統	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2824)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	⑤	換気空調設備系統	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ(3BCD-2850)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	4.94	4.62	個別	⑤	換気空調設備系統	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ(3BCD-2851)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	4.94	5.00	基本	⑤	換気空調設備系統	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2850)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑤	換気空調設備系統	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2851)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑤	換気空調設備系統	試料採取室排気隔離ダンパ(3D-VS-653)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.29	個別	⑤	換気空調設備系統	試料採取室排気風量制御ダンパ(3FD-2905)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.61	個別	⑤	換気空調設備系統	A-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ(VSE3A)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	⑤	換気空調設備系統	B-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ(VSE3B)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	⑤	換気空調設備系統	A-非管理区域空調機器室電気ヒータ(VSE2A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.50	2.53	基本	⑤	
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ H1(m)	個別測定高さ H2(m)	設定箇所	安全機能																																																																																																				
換気空調設備系統	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ(3BCD-282)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	⑤																																																																																																				
換気空調設備系統	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2823)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	⑤																																																																																																				
換気空調設備系統	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2824)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	⑤																																																																																																				
換気空調設備系統	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ(3BCD-2850)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	4.94	4.62	個別	⑤																																																																																																				
換気空調設備系統	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ(3BCD-2851)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	4.94	5.00	基本	⑤																																																																																																				
換気空調設備系統	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2850)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑤																																																																																																				
換気空調設備系統	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3HC-2851)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑤																																																																																																				
換気空調設備系統	試料採取室排気隔離ダンパ(3D-VS-653)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.29	個別	⑤																																																																																																				
換気空調設備系統	試料採取室排気風量制御ダンパ(3FD-2905)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.61	個別	⑤																																																																																																				
換気空調設備系統	A-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ(VSE3A)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	⑤																																																																																																				
換気空調設備系統	B-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ(VSE3B)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	⑤																																																																																																				
換気空調設備系統	A-非管理区域空調機器室電気ヒータ(VSE2A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.50	2.53	基本	⑤																																																																																																				
		<p>※1：保守的に機能喪失すると想定した床面からの高さ</p> <p>※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ヒート交換機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ヒット給水機能</td> </tr> </table>	①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ヒート交換機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ヒット給水機能																																																																																															
①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能																																																																																																										
②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																																										
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能																																																																																																										
④炉心冷却機能	⑨ヒート交換機能																																																																																																										
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ヒット給水機能																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
		表1 防護対象設備一覧 (31/35)																																																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設 備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設 定高さ #1(m)</th> <th>個別測 定高さ #2(m)</th> <th>設定 箇所</th> <th>安全 機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>B-非管理区域空調機器室電気 ヒータ (3VSE2B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>2.57</td> <td>2.58</td> <td>基本</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>C-非管理区域空調機器室電気 ヒータ (3VSE2C)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.51</td> <td>基本</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>D-非管理区域空調機器室電気 ヒータ (3VSE2D)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>2.57</td> <td>2.58</td> <td>基本</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>A-制御用空気圧縮機室電気 ヒータ (3VSE1A)</td> <td>3BB-H-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.80</td> <td>2.80</td> <td>基本</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>B-制御用空気圧縮機室電気 ヒータ (3VSE1B)</td> <td>3BB-H-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.80</td> <td>2.79</td> <td>個別</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>A-原子炉補機冷却水サージ タンク室室内空気温度 (1) (3TS-2970)</td> <td>3BB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>A-原子炉補機冷却水サージ タンク室室内空気温度 (2) (3TS-2971)</td> <td>3BB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>B-原子炉補機冷却水サージ タンク室室内空気温度 (1) (3TS-2980)</td> <td>3BB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.41</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>B-原子炉補機冷却水サージ タンク室室内空気温度 (2) (3TS-2981)</td> <td>3BB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>①</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設 備	区画番号	設置建屋	基本設 定高さ #1(m)	個別測 定高さ #2(m)	設定 箇所	安全 機能	換気空調 設備系統	B-非管理区域空調機器室電気 ヒータ (3VSE2B)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	2.57	2.58	基本	①	換気空調 設備系統	C-非管理区域空調機器室電気 ヒータ (3VSE2C)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	2.50	2.51	基本	①	換気空調 設備系統	D-非管理区域空調機器室電気 ヒータ (3VSE2D)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	2.57	2.58	基本	①	換気空調 設備系統	A-制御用空気圧縮機室電気 ヒータ (3VSE1A)	3BB-H-N2	原子炉建屋	2.80	2.80	基本	①	換気空調 設備系統	B-制御用空気圧縮機室電気 ヒータ (3VSE1B)	3BB-H-N3	原子炉建屋	2.80	2.79	個別	①	換気空調 設備系統	A-原子炉補機冷却水サージ タンク室室内空気温度 (1) (3TS-2970)	3BB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.42	基本	①	換気空調 設備系統	A-原子炉補機冷却水サージ タンク室室内空気温度 (2) (3TS-2971)	3BB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.42	基本	①	換気空調 設備系統	B-原子炉補機冷却水サージ タンク室室内空気温度 (1) (3TS-2980)	3BB-A-N2	原子炉建屋	1.41	1.41	個別	①	換気空調 設備系統	B-原子炉補機冷却水サージ タンク室室内空気温度 (2) (3TS-2981)	3BB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.41	個別	①	
系統	設 備	区画番号	設置建屋	基本設 定高さ #1(m)	個別測 定高さ #2(m)	設定 箇所	安全 機能																																																																												
換気空調 設備系統	B-非管理区域空調機器室電気 ヒータ (3VSE2B)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	2.57	2.58	基本	①																																																																												
換気空調 設備系統	C-非管理区域空調機器室電気 ヒータ (3VSE2C)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	2.50	2.51	基本	①																																																																												
換気空調 設備系統	D-非管理区域空調機器室電気 ヒータ (3VSE2D)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	2.57	2.58	基本	①																																																																												
換気空調 設備系統	A-制御用空気圧縮機室電気 ヒータ (3VSE1A)	3BB-H-N2	原子炉建屋	2.80	2.80	基本	①																																																																												
換気空調 設備系統	B-制御用空気圧縮機室電気 ヒータ (3VSE1B)	3BB-H-N3	原子炉建屋	2.80	2.79	個別	①																																																																												
換気空調 設備系統	A-原子炉補機冷却水サージ タンク室室内空気温度 (1) (3TS-2970)	3BB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.42	基本	①																																																																												
換気空調 設備系統	A-原子炉補機冷却水サージ タンク室室内空気温度 (2) (3TS-2971)	3BB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.42	基本	①																																																																												
換気空調 設備系統	B-原子炉補機冷却水サージ タンク室室内空気温度 (1) (3TS-2980)	3BB-A-N2	原子炉建屋	1.41	1.41	個別	①																																																																												
換気空調 設備系統	B-原子炉補機冷却水サージ タンク室室内空気温度 (2) (3TS-2981)	3BB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.41	個別	①																																																																												
		<p>*1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ *2：設水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑥安全上時に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未離昇維持機能</td> <td>⑦事故時のアラート状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ヒート交換機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ビッド給水機能</td> </tr> </table>	①緊急時停止機能	⑥安全上時に重要な関連機能	②未離昇維持機能	⑦事故時のアラート状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ヒート交換機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ビッド給水機能																																																																							
①緊急時停止機能	⑥安全上時に重要な関連機能																																																																																		
②未離昇維持機能	⑦事故時のアラート状態の把握機能																																																																																		
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能																																																																																		
④炉心冷却機能	⑨ヒート交換機能																																																																																		
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ビッド給水機能																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																											
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (32/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th style="border: 2px solid red;">基本規定高さ #1(m)</th> <th style="border: 2px solid red;">個別高さ #2(m)</th> <th style="border: 2px solid red;">設定 箇所</th> <th style="border: 2px solid red;">安全 機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">換気空調 設備系統</td> <td>A-原子炉補機冷却水サーージ タンク室電気ヒータ(3VSE3A) 出口空気温度(2)(3TS-2973)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td style="border: 2px solid red;">2.65</td> <td>2.58</td> <td style="border: 2px solid red;">個別</td> <td style="border: 2px solid red;">①</td> </tr> <tr> <td>B-原子炉補機冷却水サーージ タンク室電気ヒータ(3VSE3B) 出口空気温度(2)(3TS-2983)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td style="border: 2px solid red;">2.65</td> <td>2.57</td> <td style="border: 2px solid red;">個別</td> <td style="border: 2px solid red;">①</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">換気空調 設備系統</td> <td>A-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(3TS-2930)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td style="border: 2px solid red;">1.42</td> <td>1.42</td> <td style="border: 2px solid red;">基本</td> <td style="border: 2px solid red;">①</td> </tr> <tr> <td>A-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(3TS-2931)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td style="border: 2px solid red;">1.42</td> <td>1.42</td> <td style="border: 2px solid red;">基本</td> <td style="border: 2px solid red;">①</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">換気空調 設備系統</td> <td>B-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(3TS-2934)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td style="border: 2px solid red;">1.42</td> <td>1.41</td> <td style="border: 2px solid red;">個別</td> <td style="border: 2px solid red;">①</td> </tr> <tr> <td>B-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(3TS-2935)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td style="border: 2px solid red;">1.42</td> <td>1.42</td> <td style="border: 2px solid red;">基本</td> <td style="border: 2px solid red;">①</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">換気空調 設備系統</td> <td>C-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(3TS-2950)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td style="border: 2px solid red;">1.42</td> <td>1.42</td> <td style="border: 2px solid red;">基本</td> <td style="border: 2px solid red;">①</td> </tr> <tr> <td>C-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(3TS-2951)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td style="border: 2px solid red;">1.42</td> <td>1.42</td> <td style="border: 2px solid red;">基本</td> <td style="border: 2px solid red;">①</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">換気空調 設備系統</td> <td>D-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(3TS-2954)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td style="border: 2px solid red;">1.42</td> <td>1.42</td> <td style="border: 2px solid red;">基本</td> <td style="border: 2px solid red;">①</td> </tr> <tr> <td>D-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(3TS-2955)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td style="border: 2px solid red;">1.42</td> <td>1.41</td> <td style="border: 2px solid red;">個別</td> <td style="border: 2px solid red;">①</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>A-非管理区域空調機器室電気 ヒータ(3VSE2A)出口空気温度 (2)(3TS-2933)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td style="border: 2px solid red;">2.65</td> <td>2.53</td> <td style="border: 2px solid red;">個別</td> <td style="border: 2px solid red;">①</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;"> #1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ #2：浸水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ヒート交換機能 ⑩ヒート給水機能 </p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本規定高さ #1(m)	個別高さ #2(m)	設定 箇所	安全 機能	換気空調 設備系統	A-原子炉補機冷却水サーージ タンク室電気ヒータ(3VSE3A) 出口空気温度(2)(3TS-2973)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.58	個別	①	B-原子炉補機冷却水サーージ タンク室電気ヒータ(3VSE3B) 出口空気温度(2)(3TS-2983)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.57	個別	①	換気空調 設備系統	A-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(3TS-2930)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	①	A-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(3TS-2931)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	①	換気空調 設備系統	B-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(3TS-2934)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.41	個別	①	B-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(3TS-2935)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	①	換気空調 設備系統	C-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(3TS-2950)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	①	C-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(3TS-2951)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	①	換気空調 設備系統	D-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(3TS-2954)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	①	D-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(3TS-2955)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.41	個別	①	換気空調 設備系統	A-非管理区域空調機器室電気 ヒータ(3VSE2A)出口空気温度 (2)(3TS-2933)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	2.65	2.53	個別	①	
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本規定高さ #1(m)	個別高さ #2(m)	設定 箇所	安全 機能																																																																																							
換気空調 設備系統	A-原子炉補機冷却水サーージ タンク室電気ヒータ(3VSE3A) 出口空気温度(2)(3TS-2973)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.58	個別	①																																																																																							
	B-原子炉補機冷却水サーージ タンク室電気ヒータ(3VSE3B) 出口空気温度(2)(3TS-2983)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.57	個別	①																																																																																							
換気空調 設備系統	A-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(3TS-2930)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	①																																																																																							
	A-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(3TS-2931)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	①																																																																																							
換気空調 設備系統	B-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(3TS-2934)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.41	個別	①																																																																																							
	B-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(3TS-2935)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	①																																																																																							
換気空調 設備系統	C-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(3TS-2950)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	①																																																																																							
	C-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(3TS-2951)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	①																																																																																							
換気空調 設備系統	D-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(3TS-2954)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	①																																																																																							
	D-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(3TS-2955)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.41	個別	①																																																																																							
換気空調 設備系統	A-非管理区域空調機器室電気 ヒータ(3VSE2A)出口空気温度 (2)(3TS-2933)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	2.65	2.53	個別	①																																																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																								
		表1 防護対象設備一覧 (33/35)																																																																																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設 備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設 定高さ #1(m)</th> <th>個別測 定高さ #2(m)</th> <th>設定 箇所</th> <th>安全 機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>B-非管理区域空調機器室電気 ヒータ(VVSE2B)出口空気温度 (2) (3TS-2937)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>2.72</td> <td>2.65</td> <td>個別</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>C-非管理区域空調機器室電気 ヒータ(VVSE2C)出口空気温度 (2) (3TS-2953)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.48</td> <td>個別</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>D-非管理区域空調機器室電気 ヒータ(VVSE2D)出口空気温度 (2) (3TS-2957)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>2.72</td> <td>2.64</td> <td>個別</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>A-制御用空気圧縮機室室内 空気温度(5) (3TS-2910)</td> <td>3RB-H-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.40</td> <td>個別</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>A-制御用空気圧縮機室室内 空気温度(6) (3TS-2911)</td> <td>3RB-H-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.39</td> <td>個別</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>B-制御用空気圧縮機室室内 空気温度(5) (3TS-2920)</td> <td>3RB-H-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.40</td> <td>個別</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>B-制御用空気圧縮機室室内 空気温度(6) (3TS-2921)</td> <td>3RB-H-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.40</td> <td>個別</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>A-制御用空気圧縮機室電気 ヒータ(VVSE1A)出口空気温度 (2) (3TS-2913)</td> <td>3RB-H-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.89</td> <td>2.82</td> <td>個別</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>換気空調 設備系統</td> <td>B-制御用空気圧縮機室電気 ヒータ(VVSE1B)出口空気温度 (2) (3TS-2922)</td> <td>3RB-H-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.89</td> <td>2.82</td> <td>個別</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>空調用 冷水設備 系統</td> <td>A-空調用冷水ポンプ(UCP1A)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>①</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設 備	区画番号	設置建屋	基本設 定高さ #1(m)	個別測 定高さ #2(m)	設定 箇所	安全 機能	換気空調 設備系統	B-非管理区域空調機器室電気 ヒータ(VVSE2B)出口空気温度 (2) (3TS-2937)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	2.72	2.65	個別	①	換気空調 設備系統	C-非管理区域空調機器室電気 ヒータ(VVSE2C)出口空気温度 (2) (3TS-2953)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	2.65	2.48	個別	①	換気空調 設備系統	D-非管理区域空調機器室電気 ヒータ(VVSE2D)出口空気温度 (2) (3TS-2957)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	2.72	2.64	個別	①	換気空調 設備系統	A-制御用空気圧縮機室室内 空気温度(5) (3TS-2910)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	①	換気空調 設備系統	A-制御用空気圧縮機室室内 空気温度(6) (3TS-2911)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	①	換気空調 設備系統	B-制御用空気圧縮機室室内 空気温度(5) (3TS-2920)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	①	換気空調 設備系統	B-制御用空気圧縮機室室内 空気温度(6) (3TS-2921)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	①	換気空調 設備系統	A-制御用空気圧縮機室電気 ヒータ(VVSE1A)出口空気温度 (2) (3TS-2913)	3RB-H-N2	原子炉建屋	2.89	2.82	個別	①	換気空調 設備系統	B-制御用空気圧縮機室電気 ヒータ(VVSE1B)出口空気温度 (2) (3TS-2922)	3RB-H-N3	原子炉建屋	2.89	2.82	個別	①	空調用 冷水設備 系統	A-空調用冷水ポンプ(UCP1A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	①	
系統	設 備	区画番号	設置建屋	基本設 定高さ #1(m)	個別測 定高さ #2(m)	設定 箇所	安全 機能																																																																																				
換気空調 設備系統	B-非管理区域空調機器室電気 ヒータ(VVSE2B)出口空気温度 (2) (3TS-2937)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	2.72	2.65	個別	①																																																																																				
換気空調 設備系統	C-非管理区域空調機器室電気 ヒータ(VVSE2C)出口空気温度 (2) (3TS-2953)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	2.65	2.48	個別	①																																																																																				
換気空調 設備系統	D-非管理区域空調機器室電気 ヒータ(VVSE2D)出口空気温度 (2) (3TS-2957)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	2.72	2.64	個別	①																																																																																				
換気空調 設備系統	A-制御用空気圧縮機室室内 空気温度(5) (3TS-2910)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	①																																																																																				
換気空調 設備系統	A-制御用空気圧縮機室室内 空気温度(6) (3TS-2911)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	①																																																																																				
換気空調 設備系統	B-制御用空気圧縮機室室内 空気温度(5) (3TS-2920)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	①																																																																																				
換気空調 設備系統	B-制御用空気圧縮機室室内 空気温度(6) (3TS-2921)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	①																																																																																				
換気空調 設備系統	A-制御用空気圧縮機室電気 ヒータ(VVSE1A)出口空気温度 (2) (3TS-2913)	3RB-H-N2	原子炉建屋	2.89	2.82	個別	①																																																																																				
換気空調 設備系統	B-制御用空気圧縮機室電気 ヒータ(VVSE1B)出口空気温度 (2) (3TS-2922)	3RB-H-N3	原子炉建屋	2.89	2.82	個別	①																																																																																				
空調用 冷水設備 系統	A-空調用冷水ポンプ(UCP1A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	①																																																																																				
		<p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ</p> <p>※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の停熱機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ヒット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ヒット給水機能</td> </tr> </table>	①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の停熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ヒット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ヒット給水機能																																																																															
①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能																																																																																										
②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																										
③原子炉停止後の停熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能																																																																																										
④炉心冷却機能	⑨ヒット冷却機能																																																																																										
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ヒット給水機能																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (34/35)</p> <table border="1" data-bbox="1288 295 1854 893"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ #1(m)</th> <th>識別設定高さ #2(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>B-空調用冷水ポンプ(3CF1B)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>C-空調用冷水ポンプ(3CF1C)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>D-空調用冷水ポンプ(3CF1D)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>A-空調用冷凍機(3CE1A)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>B-空調用冷凍機(3CE1B)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>C-空調用冷凍機(3CE1C)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>D-空調用冷凍機(3CE1D)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>A-安全補機閉閉器室給気ユニット冷水温度制御弁(3TCV-2774)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.96</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>B-安全補機閉閉器室給気ユニット冷水温度制御弁(3TCV-2775)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.97</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると設定した床面からの高さ ※2：投水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0" data-bbox="1299 933 1758 1005"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑦安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②本屋昇建付機能</td> <td>⑧事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑨制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④原子炉冷却機能</td> <td>⑩ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑪ピット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ #1(m)	識別設定高さ #2(m)	設定箇所	安全機能	空調用冷水設備系統	B-空調用冷水ポンプ(3CF1B)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	⑥	空調用冷水設備系統	C-空調用冷水ポンプ(3CF1C)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	⑥	空調用冷水設備系統	D-空調用冷水ポンプ(3CF1D)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	⑥	空調用冷水設備系統	A-空調用冷凍機(3CE1A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	⑥	空調用冷水設備系統	B-空調用冷凍機(3CE1B)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	⑥	空調用冷水設備系統	C-空調用冷凍機(3CE1C)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	⑥	空調用冷水設備系統	D-空調用冷凍機(3CE1D)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	⑥	空調用冷水設備系統	A-安全補機閉閉器室給気ユニット冷水温度制御弁(3TCV-2774)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.96	基本	⑥	空調用冷水設備系統	B-安全補機閉閉器室給気ユニット冷水温度制御弁(3TCV-2775)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.97	基本	⑥	①緊急時停止機能	⑦安全上特に重要な関連機能	②本屋昇建付機能	⑧事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑨制御室外からの安全停止機能	④原子炉冷却機能	⑩ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑪ピット給水機能	
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ #1(m)	識別設定高さ #2(m)	設定箇所	安全機能																																																																																						
空調用冷水設備系統	B-空調用冷水ポンプ(3CF1B)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	⑥																																																																																						
空調用冷水設備系統	C-空調用冷水ポンプ(3CF1C)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	⑥																																																																																						
空調用冷水設備系統	D-空調用冷水ポンプ(3CF1D)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	⑥																																																																																						
空調用冷水設備系統	A-空調用冷凍機(3CE1A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	⑥																																																																																						
空調用冷水設備系統	B-空調用冷凍機(3CE1B)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	⑥																																																																																						
空調用冷水設備系統	C-空調用冷凍機(3CE1C)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	⑥																																																																																						
空調用冷水設備系統	D-空調用冷凍機(3CE1D)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	⑥																																																																																						
空調用冷水設備系統	A-安全補機閉閉器室給気ユニット冷水温度制御弁(3TCV-2774)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.96	基本	⑥																																																																																						
空調用冷水設備系統	B-安全補機閉閉器室給気ユニット冷水温度制御弁(3TCV-2775)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.97	基本	⑥																																																																																						
①緊急時停止機能	⑦安全上特に重要な関連機能																																																																																												
②本屋昇建付機能	⑧事故時のプラント状態の把握機能																																																																																												
③原子炉停止後の除熱機能	⑨制御室外からの安全停止機能																																																																																												
④原子炉冷却機能	⑩ピット冷却機能																																																																																												
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑪ピット給水機能																																																																																												

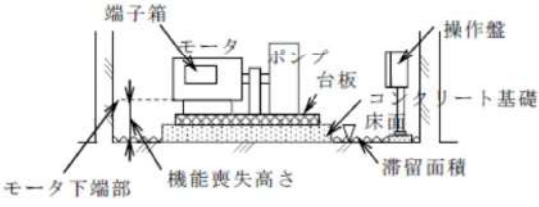
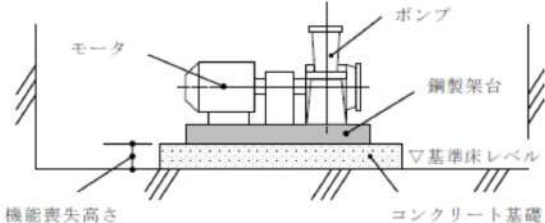
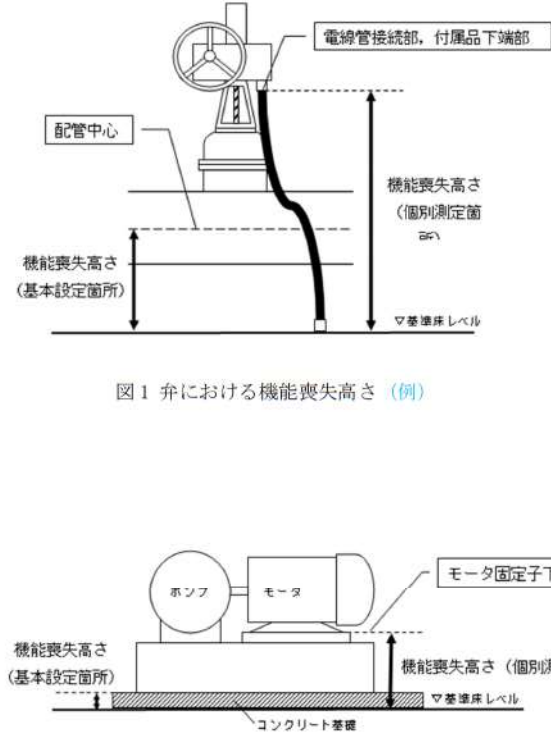
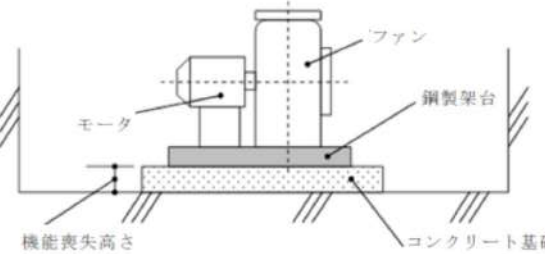
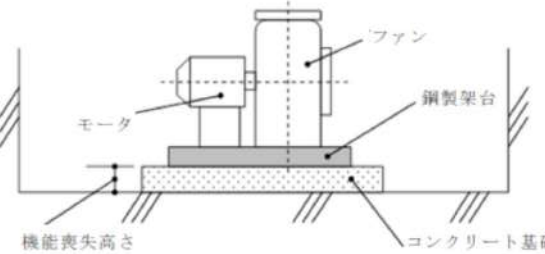
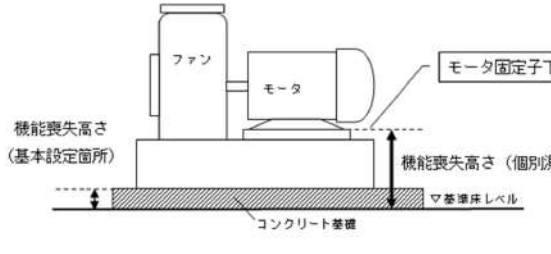
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																		
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (35/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ #1(m)</th> <th>個別測定高さ #2(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>A-中央制御室給気ユニット冷水温度制御弁(3TCV-2827)</td> <td>3RB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.77</td> <td>基本</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>B-中央制御室給気ユニット冷水温度制御弁(3TCV-2828)</td> <td>3RB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.77</td> <td>基本</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>空調用冷水A母管入口隔離弁(3V-CH-012A)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.55</td> <td>2.97</td> <td>基本</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>空調用冷水B母管入口隔離弁(3V-CH-012B)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.53</td> <td>2.97</td> <td>基本</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>空調用冷水C母管入口隔離弁(3V-CH-012C)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.53</td> <td>2.86</td> <td>基本</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>空調用冷水C母管出口隔離弁(3V-CH-013)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.98</td> <td>基本</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>A-空調用冷凍機盤(3VCPA)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.23</td> <td>個別</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>B-空調用冷凍機盤(3VCPB)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.22</td> <td>個別</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>C-空調用冷凍機盤(3VCPD)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.23</td> <td>個別</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>D-空調用冷凍機盤(3VCPD)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.23</td> <td>個別</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>②安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未始昇能内機能</td> <td>③事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>④制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④中心冷却機能</td> <td>⑤ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑥ピット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ #1(m)	個別測定高さ #2(m)	設定箇所	安全機能	空調用冷水設備系統	A-中央制御室給気ユニット冷水温度制御弁(3TCV-2827)	3RB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.77	基本	0	空調用冷水設備系統	B-中央制御室給気ユニット冷水温度制御弁(3TCV-2828)	3RB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.77	基本	0	空調用冷水設備系統	空調用冷水A母管入口隔離弁(3V-CH-012A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.55	2.97	基本	0	空調用冷水設備系統	空調用冷水B母管入口隔離弁(3V-CH-012B)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.53	2.97	基本	0	空調用冷水設備系統	空調用冷水C母管入口隔離弁(3V-CH-012C)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.53	2.86	基本	0	空調用冷水設備系統	空調用冷水C母管出口隔離弁(3V-CH-013)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.65	2.98	基本	0	関連設備	A-空調用冷凍機盤(3VCPA)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	0	関連設備	B-空調用冷凍機盤(3VCPB)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.22	個別	0	関連設備	C-空調用冷凍機盤(3VCPD)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	0	関連設備	D-空調用冷凍機盤(3VCPD)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	0	①緊急時停止機能	②安全上特に重要な関連機能	②未始昇能内機能	③事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	④制御室外からの安全停止機能	④中心冷却機能	⑤ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥ピット給水機能	
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ #1(m)	個別測定高さ #2(m)	設定箇所	安全機能																																																																																														
空調用冷水設備系統	A-中央制御室給気ユニット冷水温度制御弁(3TCV-2827)	3RB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.77	基本	0																																																																																														
空調用冷水設備系統	B-中央制御室給気ユニット冷水温度制御弁(3TCV-2828)	3RB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.77	基本	0																																																																																														
空調用冷水設備系統	空調用冷水A母管入口隔離弁(3V-CH-012A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.55	2.97	基本	0																																																																																														
空調用冷水設備系統	空調用冷水B母管入口隔離弁(3V-CH-012B)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.53	2.97	基本	0																																																																																														
空調用冷水設備系統	空調用冷水C母管入口隔離弁(3V-CH-012C)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.53	2.86	基本	0																																																																																														
空調用冷水設備系統	空調用冷水C母管出口隔離弁(3V-CH-013)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.65	2.98	基本	0																																																																																														
関連設備	A-空調用冷凍機盤(3VCPA)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	0																																																																																														
関連設備	B-空調用冷凍機盤(3VCPB)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.22	個別	0																																																																																														
関連設備	C-空調用冷凍機盤(3VCPD)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	0																																																																																														
関連設備	D-空調用冷凍機盤(3VCPD)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	0																																																																																														
①緊急時停止機能	②安全上特に重要な関連機能																																																																																																				
②未始昇能内機能	③事故時のプラント状態の把握機能																																																																																																				
③原子炉停止後の除熱機能	④制御室外からの安全停止機能																																																																																																				
④中心冷却機能	⑤ピット冷却機能																																																																																																				
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥ピット給水機能																																																																																																				

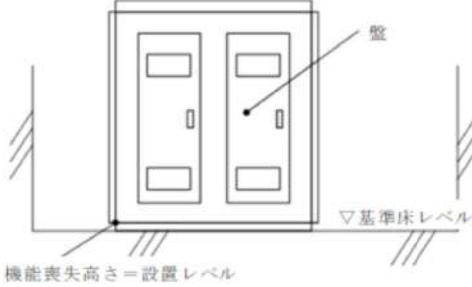
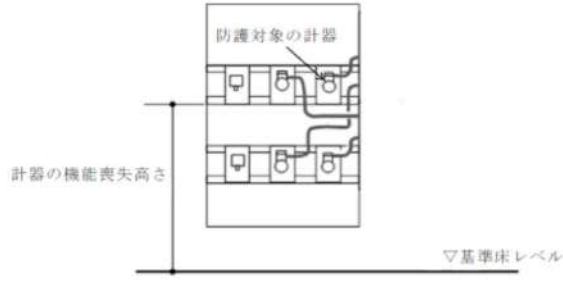
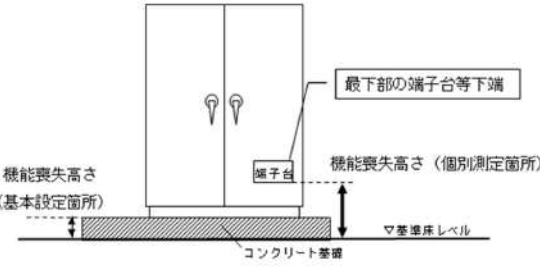
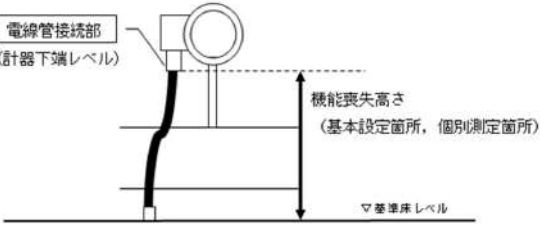
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																														
添付資料 1.2-2 3. 機能喪失高さ 各機器における機能喪失高さの考え方を表1にまとめるとともに図2にポンプの例を示す。	添付資料 5 機能喪失高さの考え方 弁類、ポンプ類、ファン類、電気盤類、計器関係における機能喪失高さ設定の考え方を表1及び図1～図5にそれぞれ示す。	添付資料 5 機能喪失高さの考え方 弁類、ポンプ類、ファン類、電気盤類、計器関係における機能喪失高さ設定の考え方を表1及び図1～図5にそれぞれ示す。 防護対象設備の機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「基本設定箇所」を標準とし、溢水水位に応じて機能喪失高さの実力値である「個別測定箇所」を適用する。 「個別測定箇所」は溢水水位の上昇により機能喪失に至る防護対象設備の構成部位のうち、最も低い位置にある部位を現場調査により確認した結果から設定している。	設計方針の相違 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「基本設定箇所」を標準としているが、基本設定箇所が没水してしまう機器については「個別測定箇所」を適用している。 ・上記の機能喪失高さの設定方針は、先行審査プラントである柏崎6,7号炉及び島根2号炉で実績があり、女川2号炉においても、溢水水位に対して防護対象設備の機能喪失高さの裕度が小さい場合には、実際の機能喪失高さを実測することで実際には十分な裕度が確保されていることを確認している。 【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映																																														
表1 各設備の機能喪失高さの考え方	表1 機能喪失高さ設定の考え方	表1 機能喪失高さ設定の考え方																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁</td> <td>①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ダンパ</td> <td>各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ (操作盤含む)</td> <td>①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>ファン</td> <td>モータは下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>盤</td> <td>盤内の最低高さの計器類の下端部</td> </tr> <tr> <td>計器</td> <td>計器本体下端又は伝送器下端の低い方</td> </tr> </tbody> </table>	機器	機能喪失高さ	弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ポンプ (操作盤含む)	①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方	ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い方	盤	盤内の最低高さの計器類の下端部	計器	計器本体下端又は伝送器下端の低い方	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁類</td> <td>弁が設置される配管の中心レベル</td> </tr> <tr> <td>ポンプ類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> </tr> <tr> <td>ファン類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> </tr> <tr> <td>電気盤類</td> <td>対象機器の設置レベル</td> </tr> <tr> <td>計器関係</td> <td>計器下端レベル</td> </tr> </tbody> </table>	機器	機能喪失高さ	弁類	弁が設置される配管の中心レベル	ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ファン類	コンクリート基礎の高さ	電気盤類	対象機器の設置レベル	計器関係	計器下端レベル	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th colspan="2">機能喪失高さ</th> </tr> <tr> <td></td> <th>基本設定箇所</th> <th>個別測定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁類</td> <td>弁が設置される配管の中心レベル</td> <td>①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> <td>ポンプあるいは電動機のいずれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部</td> </tr> <tr> <td>ファン類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> <td>電動機の下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>電気盤類 (操作盤含む)</td> <td>対象機器の設置レベル</td> <td>盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部</td> </tr> <tr> <td>計器関係</td> <td>計器下端レベル</td> <td>計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方</td> </tr> </tbody> </table>	機器	機能喪失高さ			基本設定箇所	個別測定箇所	弁類	弁が設置される配管の中心レベル	①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部	ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ポンプあるいは電動機のいずれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部	ファン類	コンクリート基礎の高さ	電動機の下端部又は端子箱下端の低い方	電気盤類 (操作盤含む)	対象機器の設置レベル	盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部	計器関係	計器下端レベル	計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方
機器	機能喪失高さ																																																
弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																																																
ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																																																
ポンプ (操作盤含む)	①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方																																																
ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い方																																																
盤	盤内の最低高さの計器類の下端部																																																
計器	計器本体下端又は伝送器下端の低い方																																																
機器	機能喪失高さ																																																
弁類	弁が設置される配管の中心レベル																																																
ポンプ類	コンクリート基礎の高さ																																																
ファン類	コンクリート基礎の高さ																																																
電気盤類	対象機器の設置レベル																																																
計器関係	計器下端レベル																																																
機器	機能喪失高さ																																																
	基本設定箇所	個別測定箇所																																															
弁類	弁が設置される配管の中心レベル	①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部																																															
ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ポンプあるいは電動機のいずれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部																																															
ファン類	コンクリート基礎の高さ	電動機の下端部又は端子箱下端の低い方																																															
電気盤類 (操作盤含む)	対象機器の設置レベル	盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部																																															
計器関係	計器下端レベル	計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方																																															



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図2 ポンプにおける機能喪失高さ</p>	 <p>図2 ポンプにおける機能喪失高さ</p>	 <p>図2 ポンプにおける機能喪失高さ (例)</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。(図2～図5についても同様)</p>
 <p>図3 ファンにおける機能喪失高さ</p>	 <p>図3 ファンにおける機能喪失高さ</p>	 <p>図3 ファンにおける機能喪失高さ (例)</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>機能喪失高さ＝設置レベル</p> <p>▽基準床レベル</p> <p>図4 電気盤における機能喪失高さ</p>  <p>防護対象の計器</p> <p>計器の機能喪失高さ</p> <p>▽基準床レベル</p> <p>図5 計器における機能喪失高さ</p>	 <p>最下部の端子台等下端</p> <p>端子台</p> <p>機能喪失高さ (基本設定箇所)</p> <p>▽基準床レベル</p> <p>コンクリート基礎</p> <p>機能喪失高さ (個別測定箇所)</p> <p>図4 電気盤における機能喪失高さ (例)</p>  <p>電線管接続部 (計器下端レベル)</p> <p>機能喪失高さ (基本設定箇所、個別測定箇所)</p> <p>▽基準床レベル</p> <p>図5 計器における機能喪失高さ (例)</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p style="text-align: right;">別紙1</p> <p style="text-align: center;">機能喪失高さの確認手順</p> <p>機能喪失高さの「個別測定箇所」は、没水した際に機能喪失に至る部位のうち最も低所にある部位を現地調査により確認する。なお、現場確認時に使用した計測機器は、JIS 適合品等、十分な精度を有するものである。</p> <p style="text-align: center;">機能喪失高さの現場確認の様子（例）</p>  <p style="text-align: center;">別紙1-図1 弁類（制御用空気Cヘッド供給弁）</p>  <p style="text-align: center;">別紙1-図2 ポンプ類（電動補助給水ポンプ）</p>	<p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では機能喪失高さは保守的に機能喪失すると仮定した部位（設置レベル等）を基本とするが、溢水水位に応じて機能喪失高さの実力値である個別測定した高さを用いて評価する方針としていることから、機能喪失高さの確認手順について記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1328 555 1805 579">別紙1-図3 電気盤類（パワーコントロールセンタ）</p>  <p data-bbox="1301 1136 1841 1160">別紙1-図4 計装類（原子炉補機冷却水サージタンク水位）</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

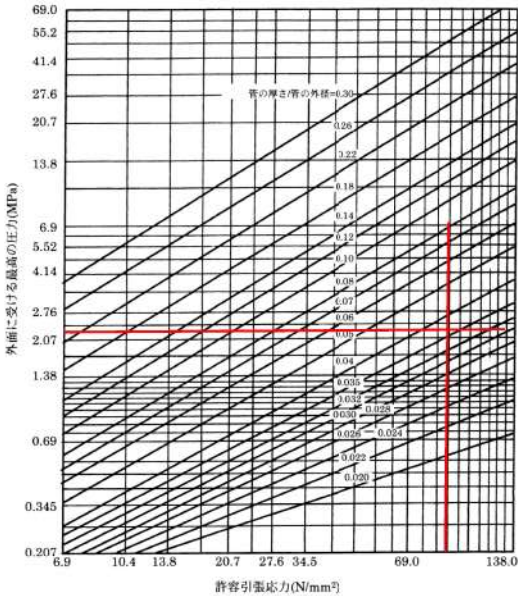
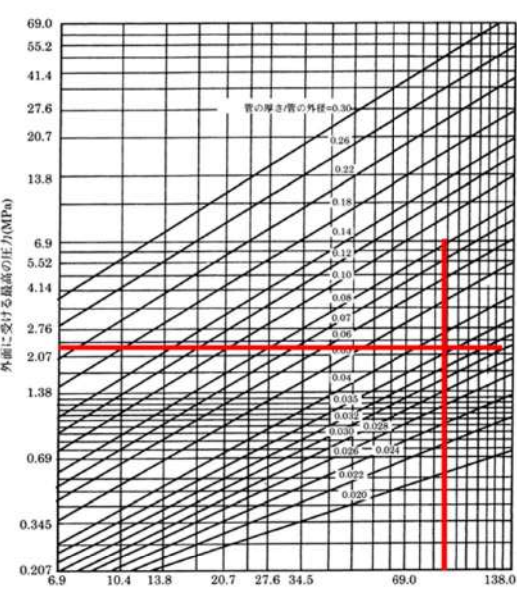
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料5）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p style="text-align: center;">機能喪失高さの確認結果（例）</p> <div data-bbox="1361 204 1787 788" style="border: 2px solid black; height: 366px; margin-bottom: 10px;"></div> <p style="text-align: center;">別紙1-図5 ポンプ類（電動補助給水ポンプ）</p> <div data-bbox="1361 863 1787 1390" style="border: 2px solid black; height: 330px;"></div> <p style="text-align: center;">別紙1-図6 電気盤類（パワーコントロールセンタ）</p> <div data-bbox="1288 1437 1848 1465" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">添付資料6 溢水影響評価の対象外とした設備について</p> <p>1. 溢水影響評価から対象外とした設備 別添1-3の図3-1に示した選定フローにより溢水影響評価対象外とした設備について、系統、設備名及び対象外の理由をリストとしてまとめた。結果を表2に示す。 また、図3-1の選定フローにおける①～④の対象外理由について以下に示す。</p> <p>(1) ①「溢水により機能を喪失しない」について 容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないとし溢水影響評価対象外とした。</p> <p>a. 配管・弁 例として、配管（材質 STPG370、口径 200A、公称肉厚 sch40（管の外径 216.3 mm、管の厚さ 8.2mm）、許容引張応力 S=93MPa（常温））を設計・建設規格 PPD-3411（2）に基づき評価すると、2MPa以上の外圧に対して健全性が確保されるため、内部溢水影響評価上考慮する水頭に対しては十分な余裕がある。（図1参照） 弁は配管に対して肉厚であるため、同様に内部溢水影響評価上考慮する水頭に対して十分余裕がある。 また、弁の軸封部は、スタフィンボックス内に挿入したグランドパッキンを、押さえ金具で締め付ける構造であり、締め付けによって発生する面圧で、内部流体が外部に漏れ出ないようシールするものであるため、溢水によって弁グランドパッキンから内部への溢水の流入及びそれに伴う影響はない。</p>	<p style="text-align: center;">添付資料6 溢水影響評価の対象外とした設備について</p> <p>1. 溢水影響評価から対象外とした設備 別添1-3の図3-1に示した選定フローにより溢水影響評価対象外とした設備について、系統、設備名及び対象外の理由をリストとしてまとめた。結果を表2に示す。 また、図3-1の選定フローにおける①～④の対象外理由について以下に示す。</p> <p>(1) ①「溢水により機能を喪失しない」について 容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないとし溢水影響評価対象外とした。</p> <p>a. 配管・弁 例として、配管（材質 STPG370 口径 200A、公称肉厚 sch40（管の外径 216.3 mm、管の厚さ 8.2mm）、許容引張応力 S=93MPa（常温））を設計・建設規格 PPD-3411（2）に基づき評価すると、2MPa以上の外圧に対して健全性が確保されるため、内部溢水影響評価上考慮する水頭に対しては十分な余裕がある。（図1参照） 弁は配管に対して肉厚であるため、同様に内部溢水影響評価上考慮する水頭に対して十分余裕がある。 また、弁の軸封部は、スタフィンボックス内に挿入したグランドパッキンを、押さえ金具で締め付ける構造であり、締め付けによって発生する面圧で、内部流体が外部に漏れ出ないようシールするものであるため、溢水によって弁グランドパッキンから内部への溢水の流入及びそれに伴う影響はない。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>(備考) 中間の値は、比例法によって計算する。</p> <p>図1 配管の外圧評価例（日本機械学会「発電用原子力設備規格設計建設規格」（JSME S NC1-2012）PPD-3411(2)より抜粋）</p> <p>b. 容器・熱交換器 容器及び熱交換器について、機器ごとに個別に構造及び設置の状況、設置区画における溢水の状況に基づき、図面及び現場調査により溢水による機能喪失の可能性について評価を行い、除外する判断が妥当であることを確認した。結果を表1に示す。</p>	 <p>(備考) 中間の値は、比例法によって計算する。</p> <p>図1 配管の外圧評価例（日本機械学会「発電用原子力設備規格設計建設規格」（JSME S NC1-2012）PPD-3411(2)より抜粋）</p> <p>b. 容器・熱交換器 容器及び熱交換器について、機器ごとに個別に構造及び設置の状況、設置区画における溢水の状況に基づき、図面及び現場調査により溢水による機能喪失の可能性について評価を行い、除外する判断が妥当であることを確認した。結果を表1に示す。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																						
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(1/6)</p> <table border="1" data-bbox="703 256 1223 1252"> <thead> <tr> <th data-bbox="703 1102 824 1252">防護区画番号</th> <th data-bbox="703 802 824 1102">機器</th> <th data-bbox="703 256 824 802">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="824 1102 1070 1252">R-B1F-1</td> <td data-bbox="824 802 1070 1102">CRDアキムレータ CRD窒素容器</td> <td data-bbox="824 256 1070 802">○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1070 1102 1223 1252">R-1F-13, R-1F-16</td> <td data-bbox="1070 802 1223 1102">清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ</td> <td data-bbox="1070 256 1223 802">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水の高さしない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1223 1102 1279 1252">R-B1F-7, R-B1F-11</td> <td data-bbox="1223 802 1279 1102">清水冷却器 潤滑油冷却器</td> <td data-bbox="1223 256 1279 802">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-B1F-1	CRDアキムレータ CRD窒素容器	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-1F-13, R-1F-16	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水の高さしない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。	R-B1F-7, R-B1F-11	清水冷却器 潤滑油冷却器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(1/2)</p> <table border="1" data-bbox="1292 248 1854 1153"> <thead> <tr> <th data-bbox="1292 1038 1469 1153">評価エリア番号</th> <th data-bbox="1292 839 1469 1038">機器</th> <th data-bbox="1292 248 1469 839">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1469 1038 1503 1153">3BB-F-23</td> <td data-bbox="1469 839 1503 1038">ほう殿圧入タンク</td> <td data-bbox="1469 248 1503 839">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1503 1038 1536 1153">3BB-F-1</td> <td data-bbox="1503 839 1536 1038">よう薬部作業品タンク</td> <td data-bbox="1503 248 1536 839">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1536 1038 1570 1153">3BB-A-52</td> <td data-bbox="1536 839 1570 1038">原子炉機械冷却水サージタンク</td> <td data-bbox="1536 248 1570 839">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1570 1038 1603 1153">3BB-A-52</td> <td data-bbox="1570 839 1603 1038">空調用冷水膨張タンク</td> <td data-bbox="1570 248 1603 839">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1603 1038 1637 1153">3BB-W-55</td> <td data-bbox="1603 839 1637 1038">A/B-原子炉機械冷却水高炉器</td> <td data-bbox="1603 248 1637 839">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 1038 1671 1153">3BB-W-52</td> <td data-bbox="1637 839 1671 1038">C/D-原子炉機械冷却水高炉器</td> <td data-bbox="1637 248 1671 839">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1671 1038 1704 1153">3BB-W-53</td> <td data-bbox="1671 839 1704 1038">体積調整タンク</td> <td data-bbox="1671 248 1704 839">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1704 1038 1738 1153">3BB-F-24</td> <td data-bbox="1704 839 1738 1038">ほう殿タンク</td> <td data-bbox="1704 248 1738 839">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1738 1038 1771 1153">3BB-F-19</td> <td data-bbox="1738 839 1771 1038">清水冷却器</td> <td data-bbox="1738 248 1771 839">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 1038 1805 1153">3BB-W-12</td> <td data-bbox="1771 839 1805 1038">B-余熱除去冷却器</td> <td data-bbox="1771 248 1805 839">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1805 1038 1839 1153">3BB-W-19</td> <td data-bbox="1805 839 1839 1038">A-余熱除去冷却器</td> <td data-bbox="1805 248 1839 839">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1839 1038 1868 1153">3BB-W-20</td> <td data-bbox="1839 839 1868 1038">A-余熱除去冷却器</td> <td data-bbox="1839 248 1868 839">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1868 1038 1901 1153">3BB-W-12</td> <td data-bbox="1868 839 1901 1038">B-熱交換器スプレッド冷却器</td> <td data-bbox="1868 248 1901 839">○</td> </tr> </tbody> </table>	評価エリア番号	機器	評価	3BB-F-23	ほう殿圧入タンク	-	3BB-F-1	よう薬部作業品タンク	○	3BB-A-52	原子炉機械冷却水サージタンク	○	3BB-A-52	空調用冷水膨張タンク	○	3BB-W-55	A/B-原子炉機械冷却水高炉器	○	3BB-W-52	C/D-原子炉機械冷却水高炉器	○	3BB-W-53	体積調整タンク	-	3BB-F-24	ほう殿タンク	-	3BB-F-19	清水冷却器	○	3BB-W-12	B-余熱除去冷却器	○	3BB-W-19	A-余熱除去冷却器	○	3BB-W-20	A-余熱除去冷却器	○	3BB-W-12	B-熱交換器スプレッド冷却器	○	<p>記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 （次頁以降同様）</p>
防護区画番号	機器	評価																																																							
R-B1F-1	CRDアキムレータ CRD窒素容器	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																							
R-1F-13, R-1F-16	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水の高さしない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。																																																							
R-B1F-7, R-B1F-11	清水冷却器 潤滑油冷却器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																							
評価エリア番号	機器	評価																																																							
3BB-F-23	ほう殿圧入タンク	-																																																							
3BB-F-1	よう薬部作業品タンク	○																																																							
3BB-A-52	原子炉機械冷却水サージタンク	○																																																							
3BB-A-52	空調用冷水膨張タンク	○																																																							
3BB-W-55	A/B-原子炉機械冷却水高炉器	○																																																							
3BB-W-52	C/D-原子炉機械冷却水高炉器	○																																																							
3BB-W-53	体積調整タンク	-																																																							
3BB-F-24	ほう殿タンク	-																																																							
3BB-F-19	清水冷却器	○																																																							
3BB-W-12	B-余熱除去冷却器	○																																																							
3BB-W-19	A-余熱除去冷却器	○																																																							
3BB-W-20	A-余熱除去冷却器	○																																																							
3BB-W-12	B-熱交換器スプレッド冷却器	○																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																												
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(2/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>防護区画番号</th> <th>機器</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19</td> <td>燃料デライタンク</td> <td>○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のデライタンク測面計の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td>-(軽油タンクピット内)</td> <td>軽油タンク</td> <td>○ピット内には溢水原因となりうる機器・配管はなく、また、ピット上部はハッチが溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td>R-2F-2-2, R-2F-2-3</td> <td>FCS 所結合器 FCS 冷却器 FCS 気水分離器</td> <td>○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度制御系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td>R-3F-1</td> <td>スキマサージタンク</td> <td>○コンクリートへの埋込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。</td> </tr> <tr> <td>R-1F-4</td> <td>燃料プールの冷却浄化系熱交換器</td> <td>○当該機器の機能が求められる際の浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19	燃料デライタンク	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のデライタンク測面計の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	-(軽油タンクピット内)	軽油タンク	○ピット内には溢水原因となりうる機器・配管はなく、また、ピット上部はハッチが溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-2F-2-2, R-2F-2-3	FCS 所結合器 FCS 冷却器 FCS 気水分離器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度制御系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-3F-1	スキマサージタンク	○コンクリートへの埋込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。	R-1F-4	燃料プールの冷却浄化系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価エリア番号</th> <th rowspan="2">機器</th> <th colspan="4">評価</th> </tr> <tr> <th>タンク周辺部 であるベント 管より溢水が 投入し及こ とを確認した。</th> <th>同一区画内に 溢水原因とな りうる機器・配 管は、浸入防 止措置を固 めていること から溢水によ り影響を受け ない。</th> <th>常時高圧され ていることか ら、溢水によ り機械的損傷 が生じること はない。</th> <th>コンクリート に埋込まれ ているため、 溢水により機 器に機械的損 傷が生じない ことを確認 した。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3AB-E-22</td> <td>A-格納容器スプレッド冷却器</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3BB-F-6</td> <td>A/B-1使用済燃料ピット 冷却器</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3BB-F-1</td> <td>燃料取替用水加熱器</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3BB-F-N7</td> <td>A/B-ディーゼル発電機</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3BB-F-59</td> <td>燃料油サービスタンク</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>C/A内</td> <td>再生熱交換器</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>C/A内</td> <td>置圧タンク</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>燃料油貯油槽</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	評価エリア番号	機器	評価				タンク周辺部 であるベント 管より溢水が 投入し及こ とを確認した。	同一区画内に 溢水原因とな りうる機器・配 管は、浸入防 止措置を固 めていること から溢水によ り影響を受け ない。	常時高圧され ていることか ら、溢水によ り機械的損傷 が生じること はない。	コンクリート に埋込まれ ているため、 溢水により機 器に機械的損 傷が生じない ことを確認 した。	3AB-E-22	A-格納容器スプレッド冷却器	-	○	○	○	3BB-F-6	A/B-1使用済燃料ピット 冷却器	○	-	○	○	3BB-F-1	燃料取替用水加熱器	○	-	○	○	3BB-F-N7	A/B-ディーゼル発電機	-	○	-	○	3BB-F-59	燃料油サービスタンク	○	-	○	○	C/A内	再生熱交換器	○	-	○	○	C/A内	置圧タンク	○	-	○	○	屋外	燃料油貯油槽	-	-	-	○	
防護区画番号	機器	評価																																																																													
R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19	燃料デライタンク	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のデライタンク測面計の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																																													
-(軽油タンクピット内)	軽油タンク	○ピット内には溢水原因となりうる機器・配管はなく、また、ピット上部はハッチが溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																																													
R-2F-2-2, R-2F-2-3	FCS 所結合器 FCS 冷却器 FCS 気水分離器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度制御系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																																													
R-3F-1	スキマサージタンク	○コンクリートへの埋込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。																																																																													
R-1F-4	燃料プールの冷却浄化系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																																													
評価エリア番号	機器	評価																																																																													
		タンク周辺部 であるベント 管より溢水が 投入し及こ とを確認した。	同一区画内に 溢水原因とな りうる機器・配 管は、浸入防 止措置を固 めていること から溢水によ り影響を受け ない。	常時高圧され ていることか ら、溢水によ り機械的損傷 が生じること はない。	コンクリート に埋込まれ ているため、 溢水により機 器に機械的損 傷が生じない ことを確認 した。																																																																										
3AB-E-22	A-格納容器スプレッド冷却器	-	○	○	○																																																																										
3BB-F-6	A/B-1使用済燃料ピット 冷却器	○	-	○	○																																																																										
3BB-F-1	燃料取替用水加熱器	○	-	○	○																																																																										
3BB-F-N7	A/B-ディーゼル発電機	-	○	-	○																																																																										
3BB-F-59	燃料油サービスタンク	○	-	○	○																																																																										
C/A内	再生熱交換器	○	-	○	○																																																																										
C/A内	置圧タンク	○	-	○	○																																																																										
屋外	燃料油貯油槽	-	-	-	○																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由									
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(3/6)</p> <table border="1" data-bbox="705 263 1249 1348"> <thead> <tr> <th data-bbox="705 1189 974 1348">防護区画番号</th> <th data-bbox="705 853 974 1189">機器</th> <th data-bbox="705 263 974 853">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="728 1189 974 1348">R-3F-1</td> <td data-bbox="728 853 974 1189">換気空調補機非常用冷却水系 サージタンク</td> <td data-bbox="728 263 974 853"> ○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が 無いことを確認した。 ○換気空調補機非常用冷却水系サージタンクは開放タンクであり 上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放 箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。 また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が 低いことを確認した。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="974 1189 1249 1348">R-1F-15</td> <td data-bbox="974 853 1249 1189">清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ</td> <td data-bbox="974 263 1249 853"> ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に 設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も 低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損 傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、 図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入 しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さ より、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 </td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-3F-1	換気空調補機非常用冷却水系 サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が 無いことを確認した。 ○換気空調補機非常用冷却水系サージタンクは開放タンクであり 上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放 箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。 また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が 低いことを確認した。	R-1F-15	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に 設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も 低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損 傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、 図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入 しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さ より、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。		
防護区画番号	機器	評価										
R-3F-1	換気空調補機非常用冷却水系 サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が 無いことを確認した。 ○換気空調補機非常用冷却水系サージタンクは開放タンクであり 上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放 箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。 また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が 低いことを確認した。										
R-1F-15	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に 設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も 低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損 傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、 図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入 しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さ より、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(4/6)</p>															
<p>防護区画番号 R-2F-3</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="752 274 797 861">評価</th> <th data-bbox="752 868 797 1193">機器</th> <th data-bbox="752 1200 797 1353">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="801 274 976 861"> <p>○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い。また、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も確認されなかった。 ○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり、上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</p> </td> <td data-bbox="801 868 976 1193"> <p>高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク</p> </td> <td data-bbox="801 1200 976 1353"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="981 274 1137 861"> <p>○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区画の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も確認されなかった。</p> </td> <td data-bbox="981 868 1137 1193"> <p>高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器</p> </td> <td data-bbox="981 1200 1137 1353"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1142 274 1245 861"> <p>○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も確認されなかった。</p> </td> <td data-bbox="1142 868 1245 1193"> <p>原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ</p> </td> <td data-bbox="1142 1200 1245 1353"></td> </tr> </tbody> </table>	評価	機器	評価	<p>○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い。また、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も確認されなかった。 ○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり、上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</p>	<p>高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク</p>		<p>○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区画の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も確認されなかった。</p>	<p>高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器</p>		<p>○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も確認されなかった。</p>	<p>原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ</p>			
評価	機器	評価													
<p>○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い。また、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も確認されなかった。 ○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり、上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</p>	<p>高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク</p>														
<p>○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区画の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も確認されなかった。</p>	<p>高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器</p>														
<p>○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も確認されなかった。</p>	<p>原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ</p>														

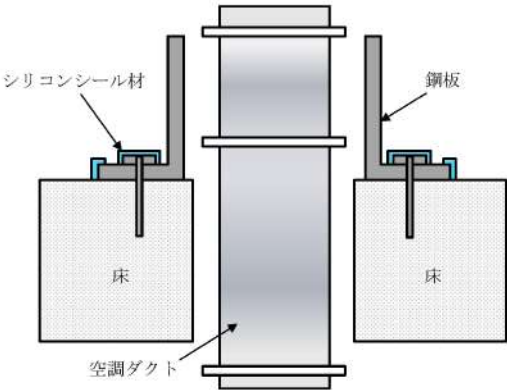
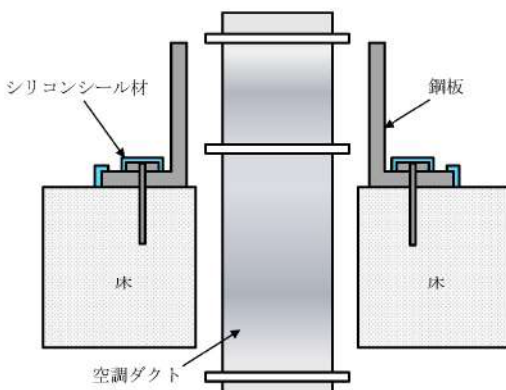
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(5/6)			
防護区画番号 -(PCV内) 主蒸気逃し安全弁遮断機能用 アキユムレータ 主蒸気逃し安全弁アキユムレータ (ADS) 主蒸気第一隔離弁用アキユムレー タ R-B1F-3-2	機器 主蒸気逃し安全弁遮断機能用 アキユムレータ 主蒸気第二隔離弁用アキユムレー タ R-B1F-3-2	評価 ○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じる ことはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じる ことはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と 低いため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○原子炉補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベ ント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想 定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タ ンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いこ とを確認した。	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(6/6)															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th data-bbox="698 1070 1003 1209">防護区画番号</th> <th data-bbox="698 783 1003 1070">機器</th> <th data-bbox="698 268 1003 783">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="698 1070 1003 1209">R-B3F-11, R-D3F-14</td> <td data-bbox="698 783 1003 1070">原子炉補機冷却水系熱交換器</td> <td data-bbox="698 268 1003 783"> ○当該機器の機能が求められる際の区画の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因がないことを確認した。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1003 1070 1270 1209">R-1F-1, R-1F-11</td> <td data-bbox="1003 783 1270 1070">残留熱除去系熱交換器</td> <td data-bbox="1003 268 1270 783"> ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因がないことを確認した。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1003 1070 1270 1209">R-2F-3-1</td> <td data-bbox="1003 783 1270 1070">ほう酸水注入系貯蔵タンク ほう酸水注入系アキユムレータ</td> <td data-bbox="1003 268 1270 783"> ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう酸水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因がないことを確認した。 ○ほう酸水注入系貯蔵タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、区画及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 </td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-B3F-11, R-D3F-14	原子炉補機冷却水系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因がないことを確認した。	R-1F-1, R-1F-11	残留熱除去系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因がないことを確認した。	R-2F-3-1	ほう酸水注入系貯蔵タンク ほう酸水注入系アキユムレータ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう酸水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因がないことを確認した。 ○ほう酸水注入系貯蔵タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、区画及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。		
防護区画番号	機器	評価													
R-B3F-11, R-D3F-14	原子炉補機冷却水系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因がないことを確認した。													
R-1F-1, R-1F-11	残留熱除去系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因がないことを確認した。													
R-2F-3-1	ほう酸水注入系貯蔵タンク ほう酸水注入系アキユムレータ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう酸水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因がないことを確認した。 ○ほう酸水注入系貯蔵タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、区画及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>c. ダクト</p> <p>換気空調系のダクトは構造部材ではないことから、水圧に対して機械的損傷が否定できないダクトについては図2に例示するような対策を講ずることとする。</p> <p>なお、例示のように、床を貫通するダクトに対して堰等の防護対策を施す場合には、現場調査の結果に基づき溢水の滴下による堰内への水の流入の可能性を検討し、必要に応じて流入防止のための配慮を行う。</p>  <p>図2 ダクトに対する溢水対策</p>	<p>c. ダクト</p> <p>換気空調系のダクトは構造部材ではないことから、水圧に対して機械的損傷が否定できないダクトについては図2に例示するような対策を講ずることとする。</p> <p>なお、例示のように、床を貫通するダクトに対して堰等の防護対策を施す場合には、現場調査の結果に基づき溢水の滴下による堰内への水の流入の可能性を検討し、必要に応じて流入防止のための配慮を行う。</p>  <p>図2 ダクトに対する溢水対策</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(4-2 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響について より抜粋)</p> <p>3. 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響評価について 耐環境性仕様である原子炉格納容器内防護対象設備については、LOCA時の原子炉格納容器内環境に対して機能維持が図れるよう、以下のことを確認している。確認結果の一覧は別表に示す。</p> <p>(1)被水影響 LOCAに伴い原子炉格納容器内圧力が上昇すると、格納容器スプレーが動作し、スプレー水により防護対象設備が被水する。原子炉格納容器内防護対象設備は、スプレー水に対しても機能維持が図れることを、1. に述べた環境試験により確認している。</p> <p>(2)没水影響 LOCAに伴う炉心注入及び格納容器スプレーにより、燃料取替用水ビット及び蓄圧タンクの保有水が原子炉格納容器内に注水される。LOCA時に機能要求のある防護対象設備は、1次冷却系の漏えい水の他、これらの保有水全量が原子炉格納容器内にたまった場合においても、没水しない高さに設置している。</p>	<p>(2)②「PCV内耐環境仕様の設備」について 原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、以下に示すように、設計基準事故において最も環境が苛酷な原子炉冷却材喪失事故時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様で設計（設計条件、圧力0.427MPa[gage]、温度：171℃、湿度：100%（蒸気））されているため、溢水影響評価において対象外としている。</p> <p>a. 被水による影響評価 設計基準事故時にドライウェル内が蒸気で満たされた場合、格納容器スプレーの蒸気凝縮効果によって原子炉格納容器を効果的に減圧することができる。格納容器スプレー水はドライウェル内に一樣に噴霧されるため、事故時に動作が必要となる設備については格納容器スプレー時（被水時）にもその動作が保障されなければならない。そのため原子炉格納容器内に設置されており、事故時に動作が必要となる設備は、設計基準事故時の雰囲気下で機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>b. 没水影響評価 原子炉冷却材喪失事故時に原子炉格納容器内に発生する破断口からの溢水、及び格納容器スプレー水は、原子炉格納容器内のドライウェル下部に溜まった後、ドライウェル下部にあるベント管を通り、サブプレッションチェンバへ流れ込む設計となっている。 高圧炉心スプレー系の初期水源は復水貯蔵タンクであるが、サブプレッションチェンバ水位高（0.P.-3800）又は復水貯蔵タンク水位低で、水源はサブプレッションチェンバに切り替わることから、原子炉冷却材喪失事故時にサブプレッションチェンバ水位高（0.P.-3800）よりも高水位まで原子炉格納容器が溢水することは無い。 原子炉格納容器内の防護対象設備は上述したサブプレッションチェンバ水位高（0.P.-3800）以上の高さに設置されていることから、没水により機能喪失することはない。</p>	<p>(2)②「原子炉格納容器内耐環境仕様の設備」について 原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、以下に示すように、設計基準事故において最も環境が苛酷な原子炉冷却材喪失事故時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様で設計（設計条件、圧力0.283MPa[gage]、温度：132℃、湿度：100%（蒸気））されているため、溢水影響評価において対象外としている。</p> <p>a. 被水による影響評価 設計基準事故時に原子炉格納容器内が蒸気で満たされた場合、格納容器スプレーの蒸気凝縮効果によって原子炉格納容器を効果的に減圧することができる。格納容器スプレー水は原子炉格納容器内に一樣に噴霧されるため、事故時に動作が必要となる設備については格納容器スプレー時（被水時）にもその動作が保障されなければならない。そのため原子炉格納容器内に設置されており、事故時に動作が必要となる設備は、設計基準事故時の雰囲気下で機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>b. 没水影響評価 原子炉冷却材喪失事故時に原子炉格納容器内に発生する破断口からの溢水、及び格納容器スプレー水は、原子炉格納容器最下階まで流下した後、原子炉格納容器再循環サンプへ流れ込む設計となっている。 原子炉冷却材喪失事故に伴う炉心注入及び原子炉格納容器スプレーにより、燃料取替用水ビット及び蓄圧タンクの保有水が原子炉格納容器内に注水され、燃料取替用水ビット水位低となり、原子炉格納容器再循環に切り替わる。 原子炉冷却材喪失事故による漏えい水も含めた水的全量が格納容器内に溜まった場合の水位はT.P.15.1mであり、原子炉格納容器内の防護対象設備はT.P.15.1m以上の高さに設置されていることから、没水により機能喪失することはない。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>設計方針の相違 プラント設計の相違により、C/V内の温度・圧力条件が異なる。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>記載方針の相違 PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、原子炉格納容器内で発生する溢水水位の算出過程は異なるが、原子炉格納容器内の防護対象設備が溢水水位以上の高さに設置されており、没水に機能喪失しない評価としていることに相違はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

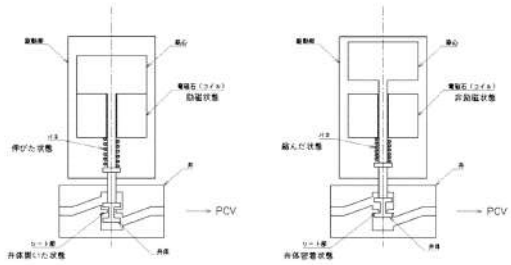
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3)蒸気影響</p> <p>LOCAに伴い原子炉格納容器内には蒸気が充満する。 原子炉格納容器内防護対象設備は、蒸気環境下においても機能維持が図れることを、1.に述べた環境試験により確認している。</p>	<p>c. 蒸気影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故に伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、原子炉格納容器内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に機能要求がある原子炉格納容器内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>被水及び蒸気影響を確認した確認試験は、原子炉格納容器内での再循環配管破断及び主蒸気配管破断時の環境（図3、図4参照）を包絡した条件で行っている。図5に試験条件の代表例を示す。</p> <div data-bbox="705 582 1263 1013" style="border: 1px solid black; height: 270px; width: 249px; margin: 10px 0;"></div> <p style="text-align: center;">図3 原子炉格納容器圧力変化（再循環配管破断）</p> <div data-bbox="705 1061 1263 1380" style="border: 1px solid black; height: 200px; width: 249px; margin: 10px 0;"></div> <p style="text-align: center;">図4 原子炉格納容器温度変化（主蒸気配管破断）</p> <div data-bbox="705 1444 1263 1484" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 </div>	<p>c. 蒸気影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故に伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、原子炉格納容器内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に機能要求がある原子炉格納容器内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>被水及び蒸気影響を確認した確認試験は、原子炉格納容器内での原子炉冷却材喪失事故時の環境条件（図3参照）で行っている。</p> <p>図4に試験条件の代表例を示す。</p> <div data-bbox="1317 805 1825 1141" style="border: 1px solid black; height: 210px; width: 227px; margin: 10px 0;"></div> <p style="text-align: center;">図3 原子炉格納容器圧力変化（原子炉冷却材喪失事故時）</p> <div data-bbox="1288 1244 1854 1276" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 <p>記載方針の相違</p> <p>PWRとDWRの原子炉格納容器の設計の相違により、泊はC/V内環境条件が最も厳しくなるLOCA時の環境条件として試験を行っている。</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>PWRとDWRの原子炉格納容器の設計の相違により、泊はC/V内環境条件が最も厳しくなるLOCA時の環境条件として試験を行っている。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

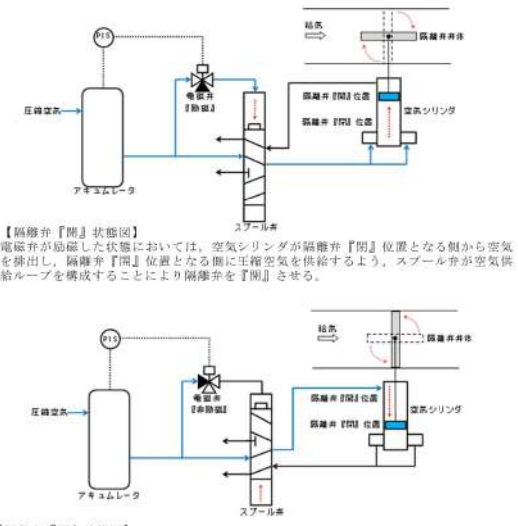
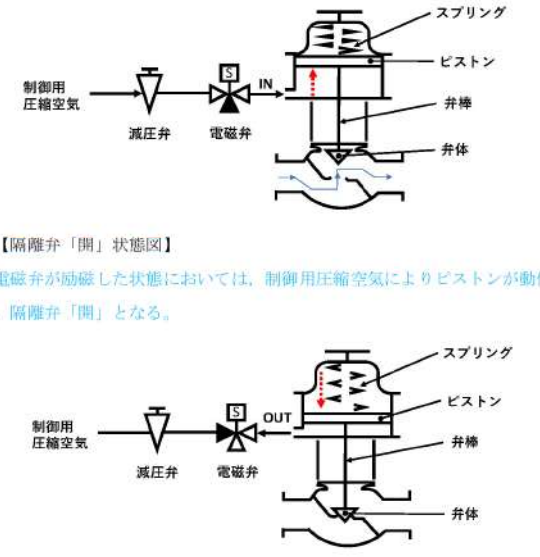
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p>4-3 原子炉格納容器内機器の耐環境性試験におけるスプレイ条件について</p> <p>1. 耐環境性試験の試験条件の考え方</p> <p>原則として、米国の民間規格 IEEE-323 を参考に、実機条件及び試験装置条件を考慮して設定する。</p> <p>なお、格納容器スプレイによる被水については、機器のシール性能が確認できれば機能への影響はないものと判断している。</p> <p>表1 実機条件と試験条件の比較</p> <table border="1" data-bbox="136 469 674 592"> <thead> <tr> <th></th> <th>試験条件 (伝送器の例)</th> <th>実機条件 (大阪3号炉、及び4号炉)</th> <th>実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)</th> <th>IEEE-323</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スプレイ流量</td> <td>63.7 [L/min/m²]</td> <td>13.8 [L/min/m²]</td> <td>12.5 [L/min/m²]</td> <td>6.1 [L/min/m²]</td> </tr> <tr> <td>スプレイ時間</td> <td>24[h]</td> <td>24[h]以上</td> <td>24[h]以上</td> <td>24[h]</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. スプレイ条件の保守性に関する考察</p> <p>格納容器スプレイは下図のとおり、LOCA後の環境温度、圧力が高い条件で24時間実施している。</p> <p>この条件でシール性能に問題のないことを確認できれば、温度、圧力が低下した24時間以降のシール性能についても問題はないと考えられ、IEEE-323にしたがったスプレイ条件は試験条件として妥当と判断している。</p> <div data-bbox="170 866 645 1185" style="border: 1px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div> <p>図1 耐環境性試験プロファイル</p>		試験条件 (伝送器の例)	実機条件 (大阪3号炉、及び4号炉)	実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)	IEEE-323	スプレイ流量	63.7 [L/min/m ²]	13.8 [L/min/m ²]	12.5 [L/min/m ²]	6.1 [L/min/m ²]	スプレイ時間	24[h]	24[h]以上	24[h]以上	24[h]	<p>原子炉格納容器内環境適合性の確認例</p> <div data-bbox="703 220 1265 802" style="border: 1px solid black; height: 365px; width: 100%;"></div> <p>図5 耐環境仕様品の試験条件（代表例）</p> <div data-bbox="703 900 1265 938" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>	<p>原子炉格納容器内環境適合性の確認例</p> <div data-bbox="1285 209 1856 815" style="border: 2px solid black; height: 380px; width: 100%;"></div> <p>図4 耐環境仕様品の試験条件（代表例）</p> <div data-bbox="1308 906 1863 938" style="border: 2px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません</p> </div>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>
	試験条件 (伝送器の例)	実機条件 (大阪3号炉、及び4号炉)	実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)	IEEE-323														
スプレイ流量	63.7 [L/min/m ²]	13.8 [L/min/m ²]	12.5 [L/min/m ²]	6.1 [L/min/m ²]														
スプレイ時間	24[h]	24[h]以上	24[h]以上	24[h]														

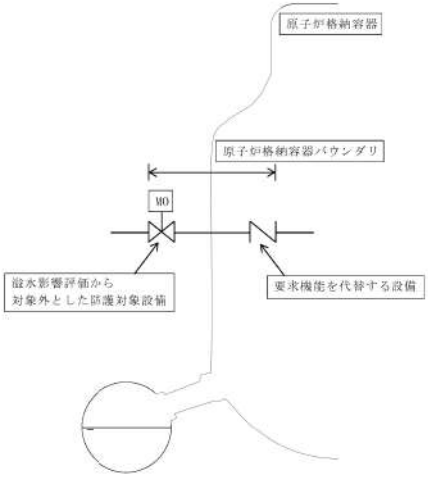
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) ③「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」について</p> <p>フェイル・セイフ機能により溢水影響評価対象外とした設備は空気作動のもの(AO)と電磁石によるもの(SO)に分類される。次項以降でそれぞれその構造を示す。</p> <p>なお、これらの溢水影響評価対象外とした設備については、フェイル動作後には動作要求がないことを確認した。</p> <p>a. 電磁弁(SO)への影響</p> <p>代表例として移動式炉心内校正装置パージ隔離弁の動作概要を図6に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は電磁石を励磁させる。これにより弁閉状態を維持するばね力に打ち勝って鉄心が電磁石に吸着し、弁開となり、またその状態を保持する。溢水によって当該隔離弁の動作機能が喪失した(電磁石が非励磁になった)場合、ばね力により鉄心は電磁石から離れて弁閉になり、また閉状態が維持される。当該弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>弁“開”状態図 電磁石が励磁すると、鉄心が電磁石に吸着し、弁体が押し下げられて、弁体はシート部より離れる。このときばねは伸ばされ、常に弁「閉」側にばね力が加わった状態となる。</p> <p>弁“閉”状態図 電磁石が非励磁となると、鉄心は電磁石から離れられ、ばねがばね力にて弁体がシート部に密着する。</p> <p>図6 移動式炉心内校正装置パージ隔離弁の動作概要図</p>	<p>(3) ③「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」について</p> <p>フェイル・セイフ機能により溢水影響評価対象外とした空気作動弁(AOV)について、次項以降でその構造を示す。</p> <p>なお、これらの溢水影響評価対象外とした設備については、フェイル動作後には動作要求がないことを確認した。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>設計方針(設備)の相違</p> <p>泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無い。</p> <p>設計方針(設備)の相違</p> <p>泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無い。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>b. 空気作動弁（AO）への影響</p> <p>代表例として原子炉棟給気隔離弁の動作概要を図7に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は、電磁弁を励磁させ、圧縮空気によりスプール弁を動作させる。これにより圧縮空気供給ループの構成が変化して隔離弁開となり、また開状態が保持される。溢水によって当該弁の動作機能が喪失した（電磁弁が非励磁となった）場合、スプール弁は通常位置に復帰する。これにより圧縮空気供給ループが変化し、隔離弁閉となり、また閉状態が維持される。当該弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>【隔離弁「開」状態図】 電磁弁が励磁した状態においては、空気シリンダが隔離弁「開」位置となる側から空気を排出し、隔離弁「開」位置となる側から圧縮空気を供給するよう、スプール弁が空気供給ループを構成することにより隔離弁を「開」させる。</p> <p>【隔離弁「閉」状態図】 電磁弁が非励磁の状態においては、空気シリンダが隔離弁「閉」位置となる側から圧縮空気を供給し、隔離弁「閉」位置となる側から空気を排出するよう、スプール弁が空気供給ループを構成することにより隔離弁を「閉」させる。</p> <p>図7 原子炉棟給気隔離弁の動作概要図</p>	<p>a. 空気作動弁（AOV）への影響</p> <p>フェイルポジションが「閉」である空気作動弁（隔離弁）の動作概要を図5に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は、電磁弁を励磁させ、制御用圧縮空気によりピストンを動作させる。これにより隔離弁開となり、また開状態が保持される。溢水によって当該弁の動作機能が喪失した（電磁弁が非励磁となった）場合、ピストンは通常位置に復帰する。これにより隔離弁閉となり、また閉状態が維持される。隔離弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であるため、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>【隔離弁「開」状態図】 電磁弁が励磁した状態においては、制御用圧縮空気によりピストンが動作し、隔離弁「開」となる。</p> <p>【隔離弁「閉」状態図】 電磁弁が非励磁の状態においては、ピストンは通常位置に復帰し、隔離弁「閉」となる。</p> <p>図5 空気作動弁（隔離弁）の動作概要図</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊は具体的な弁を代表例としてあげるのではなく、空気作動弁（隔離弁）の共通的な動作概要として記載している。</p> <p>記載方針の相違</p> <p>隔離弁の構造の相違により、記載方針が異なる。</p> <p>記載方針の相違</p> <p>隔離弁の構造の相違により、記載方針が異なる。</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊は具体的な弁を代表例としてあげるのではなく、空気作動弁（隔離弁）の共通的な動作概要として記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>c. 没水によるフェイル・セーフ動作への影響</p> <p>以下に示すとおり、没水によりフェイル・セーフ機能への影響はないと考える。</p> <p>(a) 基本的には端子箱が没水した時点で電源が遮断され、電磁弁が作動し、弁のフェイル動作が完了する（電源が落ちれば誤作動はしない）。</p> <p>(b) 没水により電源が遮断されない場合は遠隔操作が可能である。</p> <p>(c) 没水により無励磁の箇所が誤って励磁される事象は考えられない。</p> <p>(d) 駆動部が没水状態となったとしても、その時点で空気排出を阻害するほどの水頭圧にならないため、空気排気・弁動作は可能である。</p> <p>(例 計装用圧縮空気系系統圧：約0.7MPa⇒水頭約70m)</p> <p>(4) ④「他の設備で代替できる」について</p> <p>他の設備により要求機能が代替できる防護対象設備は機能喪失しても安全機能に影響しないため溢水影響評価対象外とする。代替する設備はすべて逆止弁であり、またQMSに基づいた保全活動により、その機能維持を図っている。図8に系統構成例を示す。</p>  <p>図8 系統構成例（放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁））</p>	<p>b. 没水によるフェイル・セーフ動作への影響</p> <p>以下に示すとおり、没水によりフェイル・セーフ機能への影響はないと考える。</p> <p>(a) 没水により電源が遮断されない場合は遠隔操作が可能である。</p> <p>(b) 没水により無励磁の箇所が誤って励磁される事象は考えられない。</p> <p>(c) 駆動部が没水状態となったとしても、その時点で空気排出を阻害するほどの水頭圧にならないため、空気排気・弁動作は可能である。</p> <p>(4) ④「他の設備で代替できる」について</p> <p>他の設備により要求機能が代替できる防護対象設備は機能喪失しても安全機能に影響しないため溢水影響評価対象外とする。スクリーニング基準であるが、現状において、泊発電所3号炉の防護対象設備への適用実績はない。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>設計方針（設備）の相違</p> <p>泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無いため、記載していない。</p> <p>記載方針の相違</p> <p>図4に示した通り隔離弁の開閉機構が異なるため、泊では女川のような例示は記載していない。</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では本スクリーニング基準により溢水評価対象外とした設備は無い。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
(2-1 防護対象設備の抽出の考え方 より抜粋)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (1/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (1/9)					
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (1/10)															
事故	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	事故	機器番号	設備	理由*	系統	機器番号	機器名称	理由**			
1次冷却系	3原子炉容器		×	③	AC	F48-F001	バージ用空気供給隔離弁	④	1次冷却系統	3FCV-452A,B	加圧器過がし弁	⑤			
	3A,3B,3C,3D蒸気発生器		×	③	AC	F48-F002	D/Wバージ用入口隔離弁	④	1次冷却系統	3V-RC-054A,B	加圧器過がし弁元弁	⑤			
	3A,3B,3C,3D-1次冷却材ポンプ		×	①	AC	F48-F003	S/Cバージ用入口隔離弁	④	1次冷却系統	3V-RC-055,056,057	加圧器安全弁	①			
	3加圧器		×	②	AC	F48-F004	格納容器外真空過がし逆止隔離弁(A)	④	1次冷却系統	3LCV-451,452	抽出ライン第1(2)止め弁	②			
	3A,3B,3C加圧器安全弁	3V-RC-055,056,057	×	①	AC	F48-F005	格納容器外真空過がし逆止隔離弁(B)	④	1次冷却系統	3LT-451,452,453,454	加圧器水位	②			
	3A,3B加圧器過がし弁	3FCV-452A,B	×	②	AC	F48-F006	格納容器外真空過がし隔離弁(A)	④	1次冷却系統	3PT-451,452,453,454	加圧器圧力	②			
	3A,3B加圧器過がし弁弁弁	3V-RC-054A,B	×	①	AC	F48-F007	格納容器外真空過がし隔離弁(B)	④	1次冷却系統	3PT-410,430	1次冷却材圧力	②			
	3加圧器過がしタンクガス分析ライン格納容器内隔離弁	3V-RC-077	×	②	AC	F48-F008	格納容器外真空過がし隔離弁(B)	④	1次冷却系統	3TE-411A,413A,415A,421A,423A,425A,431A,433A,435A,441A,443A,445A	1次冷却材高温側温度(狭域)	②			
	3加圧器過がしタンクガス分析ライン格納容器外隔離弁	3V-RC-078	×	①	AC	F48-F010	補給用蒸気ガス供給側第二隔離弁	④							
	3加圧器過がしタンク蒸気供給ライン格納容器内隔離弁	3V-RC-084	×	①	AC	F48-F011	D/W補給用蒸気ガス供給用第一隔離弁	④	1次冷却系統	3TE-411B,421B,431B,441B	1次冷却材低温側温度(狭域)	②			
	3格納容器内補給水供給ライン格納容器隔離弁	3V-RC-095	×	①	AC	F48-F012	S/C補給用蒸気ガス供給用第一隔離弁	④	1次冷却系統	3TE-410,420,430	1次冷却材高温側温度(広域)	②			
	3A,3B加圧器スプレイ弁	3FCV-451A,B	×	①	AC	F48-F016	バージ用蒸気ガス供給側第二隔離弁	④	1次冷却系統	3TE-417,427,437	1次冷却材低温側温度(広域)	②			
	3-1次冷却材圧力	3PT-420,430	×	②	AC	F48-F019	D/Wベント用出口隔離弁	④	1次冷却系統	3FT-412,413,414,415,422,423,424,425,432,433,434,435	1次冷却材流量	③			
	3加圧器水位	3LT-451,452,453,454	×	②	AC	F48-F021	ベント用HVAC側隔離弁	④	1次冷却系統	3V-RC-077	加圧器過がしタンク自動ガス分析ラインC/V内側隔離弁	②			
	3A,B,C,D,A-1次冷却材高監視・純度監視度(広域)	3TE-410,415,420,425,430,435,440,445	×	②	AC	F48-F022	S/Cベント用出口隔離弁	④							
	3A,B,C,D,A-1次冷却材高監視・純度監視度(狭域)	3TE-411A,411B,411C,411D,421A,421B,421C,421D,431A,431B,431C,431D,441A,441B,441C,441D	×	②	AC	F48-F023	D/Wベント用出口隔離弁バイパス弁	④	1次冷却系統	3V-RC-078	加圧器過がしタンク自動ガス分析ラインC/V外側隔離弁	⑤			
	3加圧器圧力	3PT-451,452,453,454	×	②	AC	F48-F024	S/Cベント用出口隔離弁バイパス弁	④							
	3A,B,C,D,A-1次冷却材流量	3FT-412,413,414,415,422,423,424,425,432,433,434,435,442,443,444,445	×	②	AC	F48-F043	P/CV組立強化ベント用連絡配管隔離弁	④	1次冷却系統	3V-RC-084	加圧器過がしタンク蒸気供給ラインC/V外側隔離弁	③			
	1次冷却材ポンプ回転数	3SC-418A,428A,438A,448A	×	②	AC	F48-F044	真空破壊弁(A)計量用空気配管隔離弁	④							
	化学水循環系	3A,3Bほう酸ポンプ		○	—	AC	F48-F069	事故後サンプリング設備戻り第一隔離弁	④	*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②原子炉格納容器内貯留環境仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる					
		3A,3B,3C充てんポンプ		○	—	AC	F48-F070	バージ用蒸気供給流量	④						
		3体積制御タンク		×	②	AC	F48-F071	圧力抑制室圧力	④						
		3再生熱交換器		×	③	AC	F48-S0-P042A	真空破壊弁(B)計量用空気配管隔離弁	④						
		3A,3Bほう酸タンク		×	②	AC	F48-S0-P042B	真空破壊弁(C)計量用空気配管隔離弁	④						
3ほう酸フィルタ			×	③	AC	F48-S0-P042C	真空破壊弁(D)計量用空気配管隔離弁	④							
3射水冷却器			×	②	AC	F48-S0-P042D	真空破壊弁(E)計量用空気配管隔離弁	④							
3射水注入フィルタ			×	③	AC	F48-S0-P042E	真空破壊弁	④							
3射水ストレーナ			×	③											
3体積制御タンク出口第1止め弁		3LCV-121B	○	—											
3体積制御タンク出口第2止め弁		3LCV-121C	○	—											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (2/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (2/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (2/9)				
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*1	系統	機器番号	機器名称	理由*1	
化学体積制御系	3緊急10ヶ所注入ライン補給弁	3V-CS-573	○	—	3C	F48-S0-F02F	真空破断弁（F）計装用空気配管隔離弁	③	化学体積制御システム	3FCV-138	充てん流量制御弁	③	
	3充てんポンプ入口燃料取替用ホットヘッド補給弁A,B	3LOP-121B,E	○	—	3C	F48-S0-F108	LSO15 D/W冠水位計装配管（H）側隔離弁	③	化学体積制御システム	3V-CS-167	充てんライン流量制御弁補助オリフィスバイパス弁	③	
	3充てんライン格納容器隔離弁	3V-CS-157	○	—	3C	F48-S0-F110	LSO15 D/W冠水位計装配管（L）側隔離弁	③	化学体積制御システム	3CST1	体積制御タンク	①	
	3充てんライン止め弁	3V-CS-155	○	—	3C	F48-S0-F121	露点サンプリング入口第一隔離弁	③	化学体積制御システム	3V-CS-191	充てんライン止め弁	③	
	3充てんライン流量制御弁	3FCV-138	×	①	3C	F48-S0-F122	露点サンプリング入口第二隔離弁	③	化学体積制御システム	3V-CS-186	加圧器補助スプレイ弁	②	
	31次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁	3FCV-149	×	①	3C	F48-S0-F125	露点サンプリング戻り第二隔離弁	③	化学体積制御システム	3V-CS-186	加圧器補助スプレイ弁	②	
	3抽出ライン第1止め弁	3LOV-351	×	②	3C	F48-S0-F127	露点サンプリング戻り第一隔離弁	③	化学体積制御システム	3CSH1	再生熱交換器	①	
	3抽出ライン第2止め弁	3LOV-352	×	②	3C	F48-S0-F124	露点サンプリング戻り第一隔離弁	③	化学体積制御システム	3CST5A,B	ほう酸タンク	①	
	3A,3B,3C抽出オリフィス出口格納容器第1隔離弁	3V-CS-004A,B,C	×	②	3C	F48-S0-F127	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③	化学体積制御システム	3CST5A,B	ほう酸タンク	①	
	3加圧器補助スプレイ弁	3V-CS-169	×	②	3C	F48-S0-F128	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③	化学体積制御システム	3CSF4	ほう酸フィルタ	①	
	3副えい機出ライン第1止め弁	3V-CS-301	×	②	3C	F48-S0-F129	副えい機出系放射線モニタ戻り第二隔離弁	③	化学体積制御システム	3V-CS-455A,B	ほう酸タンク出口弁	①	
	3副えい機出ライン第2止め弁	3V-CS-301	×	②	3C	F48-S0-F130	副えい機出系放射線モニタ戻り第一隔離弁	③	化学体積制御システム	3V-CS-466A,B	ほう酸ポンプ出口補給ライン切替弁	③	
	3抽出ライン格納容器第2隔離弁	3V-CS-007	×	①	3C	F48-S0-F172	T48-L S O 2.5 D/W水位計装配管（H）側隔離弁	③	化学体積制御システム	3V-CS-473A,B	ほう酸ポンプ出口循環ライン切替弁	③	
	3充てんライン流量制御弁止め弁	3V-CS-151	×	①	3C	F48-S0-F174	T48-L S O 2.5 D/W水位計装配管（H）側隔離弁	③	化学体積制御システム	3V-CS-474A,B	ほう酸フィルタ出口A（B）ほう酸タンク戻り弁	③	
	3Bグループ充てんライン止め弁	3V-CS-163	×	①	3C	F48-S0-F172	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③	化学体積制御システム	3V-CS-499A,B	ほう酸ポンプ入口切替弁	③	
	31次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁止め弁	3V-CS-177	×	①	3C	F48-S0-F172	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③	化学体積制御システム	3V-CS-004A,B,C	抽出オリフィス出口C/V内側隔離弁	②	
	3A,3B,3C,3D-1次冷却材ポンプ封水注入ライン格納容器隔離弁	3V-CS-199A,B,C,D	×	①	3C	F48-S0-F172	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③	化学体積制御システム	3V-CS-006	抽出ライン格納容器外側隔離弁	③	
	31次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第1隔離弁	3V-CS-310	×	②	3C	F48-S0-F172	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③	化学体積制御システム	3CSH4	封水冷却器	①	
	31次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第2隔離弁	3V-CS-312	○	—	3C	F48-S0-F172	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③	化学体積制御システム	3V-CS-224A,B,C	1次冷却材ポンプ封水注入ラインC/V外側隔離弁	③	
	3A,3B,3C,3D-1次冷却材ポンプ封水戻りライン止め弁	3V-CS-208A,B,C,D	×	②	3C	F48-S0-F172	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③	化学体積制御システム	3V-CS-254	1次冷却材ポンプ封水戻りラインC/V内側隔離弁	②	
	3A,3Bほう酸タンク水位	3LT-206,208	○	—	3C	F48-S0-F172	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③	化学体積制御システム	3V-CS-242A,B,C	1次冷却材ポンプ封水戻りオリフィスバイパス弁	③	
	3C充てんポンプ速度制御装置	3CSC	○	—	3C	F48-S0-F172	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③					
	3C充てんポンプ速度制御補助装置	3CSAC	○	—	3C	F48-S0-F172	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③					
	3A,3B,3C,1,3C充てんポンプ/製備操作箱	3LB-9,9,T,6	○	—	3C	F48-S0-F172	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③					
	3A,3Bほう酸ポンプ製備操作箱	3LB-9,10	○	—	3C	F48-S0-F172	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③					
	3A,3B高圧注入ポンプ		○	—	3C	F48-S0-F172	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③					
	3A,3B,3C,3D高圧タンク		×	③	3C	F48-S0-F172	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③					
	3A,3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁	3V-S1-0156A,B	○	—	3C	F48-S0-F172	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③					
	3A,3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁	3V-S1-0156A,B	○	—	3C	F48-S0-F172	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③					
	3A,3B高圧注入ポンプ格納容器再循環サンプリング入口格納容器隔離弁	3V-S1-093A,B	○	—	3C	F48-S0-F172	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③					
	3A,3B高圧注入ポンプ燃料取替用ホットヘッド入口弁	3V-S1-092A,B	○	—	3C	F48-S0-F172	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③					
	3A,3B高圧注入ポンプRWSピット及び再循環サンプリング入口弁	3V-S1-096A,B	○	—	3C	F48-S0-F172	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③					
3A,3B高圧注入ライン格納容器隔離弁	3V-S1-062A,B	×	①	3C	F48-S0-F172	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③						
3A,3B高圧注入ライン出口連絡弁	3V-S1-066A,B	×	②	3C	F48-S0-F172	副えい機出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③						

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②PVI耐環境仕様様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

*1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②原子伊格納容器内耐環境仕様様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (3/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/9)					
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{*1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{*1}		
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ高圧側圧入ライン止め弁	3V-SI-067A, B	×	②	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/24)	CIW	G31-F002	C/UW入口ライン第一隔離弁	②	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/9)	高圧注入系統	3SIT2	ほう酸注入タンク	①
	3A, 3B, 3C, 3D高圧タンク出口弁	3V-SI-132A, B, C, D	×	②		CG	R43-A001A	清水膨張タンク (A)	①		高圧注入系統	3V-SI-061A, B	高圧注入ポンプ出口 C/V 内側隔離弁	②
	3格納容器再循環サンプ水位(狭域)・広域	3LT-470, 471, 472, 473	×	②		CG	R43-A001B	清水膨張タンク (B)	①		高圧注入系統	3V-SI-062A, B	高温側高圧注入 (B) ライン止め弁	②
	3A, 3B高圧注入ポンプ現場操作箱	3LB-12, 13	○	—		CG	R43-A100A	潤滑油サンプタンク (A)	①		高圧注入系統	3V-SI-141	ほう酸注入タンク循環ライン入口止め弁	③
	3A高圧注入流量 (I), 3B高圧注入流量 (II)	3PT-962, 963	○	—		CG	R43-A100B	潤滑油サンプタンク (B)	①		高圧注入系統	3V-SI-145, 146	ほう酸注入タンク循環ライン出口第1 (2) 止め弁	③
	3燃料取扱用水ピット水位 I, II, III, IV	3LT-1409, 1401, 1406, 1403	○	—		CG	R43-A101A	機関付動弁圧油タンク (A)	①		高圧注入系統	3CVT2, 3	格納容器再循環サンプ	①
	3A, 3B余熱除去ポンプ	3PCV-601, 611	○	—		CG	R43-A101B	機関付動弁圧油タンク (B)	①		高圧注入系統	3LT-620, 630	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	②
	3A, 3B余熱除去冷却器	3BCV-603, 613	×	①		CG	R43-A200A	軽油タンク (A)	①		高圧注入系統	3SIT1A, B, C	蓄圧タンク	①
	3A, 3B余熱除去冷却器出口流量設定弁	3PCV-603, 613	×	①		CG	R43-A200B	軽油タンク (B)	①		高圧注入系統	3V-SI-132A, B, C	蓄圧タンク出口弁	②
余熱除去系	3A, 3B余熱除去冷却器ハイパス流量制御弁	3PCV-604, 614	×	①	CG	R43-A200C	軽油タンク (C)	①	高圧注入系統	3V-SI-123A, B, C	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 内側隔離弁	②		
	3A, 3B余熱除去ポンプB, Cグループ高圧側入口止め弁	3PCV-420, 430	×	②	CG	R43-A200D	軽油タンク (D)	①	高圧注入系統	3V-SI-124	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 外側隔離弁	③		
	3A, 3B余熱除去ポンプ入口格納容器隔離弁	3V-RH-002A, B	×	②	CG	R43-A200E	軽油タンク (E)	①	高圧注入系統	3V-SI-164	蓄圧タンク窒素供給ライン C/V 外側隔離弁	③		
	3A, 3B余熱除去冷却器出口格納容器隔離弁	3V-RH-043A, B	×	①	CG	R43-A200F	軽油タンク (F)	①	高圧注入系統	3V-SI-184	安全注入逆止弁テストライン C/V 内側隔離弁	②		
	3A, 3B余熱除去ポンプ出口連絡弁	3V-RH-047A, B	×	②	CG	R43-A201A	燃料デایتンク (A)	①	高圧注入系統	3V-SI-186	安全注入逆止弁テストライン C/V 外側隔離弁	③		
	3B, 3CAグループ高温側低圧注入ライン止め弁	3V-RH-049A, B	×	②	CG	R43-A201B	燃料デایتンク (B)	①	余熱除去系統	3RH1A, B	余熱除去冷却器	①		
	3A, 3B余熱除去ポンプ出口流量	3PT-601, 611	○	—	CG	R43-A201A	燃料デایتンク (A)	①	余熱除去系統	3BCV-603, 613	余熱除去冷却器出口流量調節弁	③		
	3A, 3B余熱除去ポンプ現場操作箱	3LB-14, 15	○	—	CG	R43-A201B	燃料デایتンク (B)	①	余熱除去系統	3PCV-604, 614	余熱除去 (B) ライン流量制御弁	①		
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ	○	—	—	CG	R43-A300A	空気だめ (自動) (A)	①	余熱除去系統	3PCV-410, 430	余熱除去 (B) ライン入口止め弁	②		
	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器	×	③	—	CG	R43-A300B	空気だめ (自動) (B)	①	余熱除去系統	3V-RH-002A, B	余熱除去ポンプ入口 C/V 内側隔離弁	②		
	3A, 3B格納容器スプレイタンク	×	③	—	CG	R43-B001A	清水冷却器 (A)	①	余熱除去系統	3V-RH-029A, B	余熱除去 (B) ライン C/V 外側隔離弁	③		
	3A, 3B格納容器スプレイタンク	×	③	—	CG	R43-B001B	清水冷却器 (B)	①	余熱除去系統	3V-RH-033A, B	余熱除去冷却器出口 C/V 内側隔離弁	②		
格納容器スプレイ系	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第1止め弁	3V-CP-054A, B	○	—	CG	R43-B003A-1	機関付空気冷却器 (L側)	①	主給水系統	3LT-460, 461, 462, 463, 470, 471, 472, 473, 480, 481, 482, 483	蒸気発生器水位 (狭域)	②		
	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第2止め弁	3V-CP-056A, B	○	—	CG	R43-B003A-2	機関付空気冷却器 (R側)	①	主給水系統	3LT-464, 474, 484	蒸気発生器水位 (広域)	②		
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ燃料取扱用水ピット閉入口止め弁	3V-CP-091A, B	○	—	CG	R43-B003B-1	機関付空気冷却器 (L側)	①						
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ再循環サンプ閉入口格納容器隔離弁	3V-CP-003A, B	○	—	CG	R43-B003B-2	機関付空気冷却器 (R側)	①						
	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器出口格納容器隔離弁	3V-CP-024A, B	○	—	CG	R43-B100A	潤滑油冷却器 (A)	①						
	3格納容器圧力 (広域) I, II, III, IV	3PT-959, 951, 952, 953	○	—	CG	R43-B100B	潤滑油冷却器 (B)	①						
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ現場操作箱	3LB-16, 19	○	—	CG	R43-D100A	潤滑油フィルタ (A)	①						
	3タービン補助給水ポンプ	○	—	—	CG	R43-D100B	潤滑油フィルタ (B)	①						
	3A, 3B電動補助給水ポンプ	○	—	—										
	3復水ピット	×	②	—										
主蒸気及び主給水系、補助給水系	3タービン補助給水ポンプ駆動弁A, B	3V-RS-570A, B	○	—										
	3A, 3B, 3C, 3D補助給水隔離弁	3V-FW-574A, B, C, D	×	①										

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②PCV内耐腐蝕仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②原子伊格納容器内部腐蝕仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由		
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト（4/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（4/24）				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（4/9）						
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*1	系統	機器番号	機器名称	理由**			
主蒸気及び 主給水系、 補助給水系	3A, 3B, 3C, 3D電動補助給水ライン流量調節弁	3V-FV-557A, B, C, D	×	①	① 溢水により機能を喪失しない ② PC内耐震構造仕様の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④ 社の設備で代替できる	06	R43-1200A	燃料移送ポンプ吸入ストレーナ（A）	①	主蒸気系統	3HCV-3616, 3625, 3636	主蒸気バイパス隔離弁	③		
	3復水ビット電動補助給水ポンプ阻止弁弁	3V-FV-560	×	①		06	R43-1200B	燃料移送ポンプ吸入ストレーナ（B）	①		主蒸気系統	3V-MS-521A, B, C, 522A, B, C, 523A, B, C, 524A, B, C, 525A, B, C	主蒸気安全弁		①
	3復水ビットタービン補助給水ポンプ阻止弁	3V-FV-561	×	①		06	R43-1201A	D/G燃料移送ポンプ出口フィルタ（A）	①	主蒸気系統		3V-MS-575A, B	タービン補助給水ポンプ駆動蒸気B（C）主蒸気ライン弁弁		③
	3A, 3B, 3C, 3Dタービン補助給水ライン流量調節弁	3BOP-3715, 3725, 3735, 3735	×	①		06	R43-1201B	D/G燃料移送ポンプ出口フィルタ（B）	①			主蒸気系統	3V-MS-518A, B, C		主蒸気逃がし弁弁弁
	3A, 3Bタービン電動補助給水ポンプ駆動蒸気供給ライン止弁	3V-MS-575A, B	×	①		06	R43-1202A-1	燃料油フィルタ（A）-1	①	主蒸気系統			3V-MS-581		非常用タービンブランド蒸気元弁
	3A, 3B, 3C, 3D主給水隔離弁	3V-FW-520A, B, C, D	×	④		06	R43-1202A-2	燃料油フィルタ（A）-2	①		主蒸気系統	3V-MS-601A, B, C	主蒸気隔離弁上流ドレンライン隔離弁		③
	3復水ビット水位III, IV	SLT-3760, 3761	○	—		06	R43-1202B-1	燃料油フィルタ（B）-1	①	補助給水系統		3FW-P	補助給水ビット		①
	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助給水流量	3FT-3716, 3725, 3736, 3736	○	—		06	R43-1202B-2	燃料油フィルタ（B）-2	①		原子炉	3CPT1	よう薬除去薬品タンク		①
	3A, B, C, D蒸気発生器広域水位	SLT-384, 474, 484, 494	×	②		06	R43-1300A	始動用空気ストレーナ（A）	①	原子炉		3CPH1A, B	格納容器スプレイ冷却器		①
	3A, B, C, D蒸気発生器狭域水位	SLT-460, 461, 462, 463, 470, 471, 472, 473, 480, 481, 482, 483, 489, 491, 492, 493	×	②		06	R43-1300B	始動用空気ストレーナ（B）	①		原子炉	3V-CP-056A, B	よう薬除去薬品タンク注入（B）ライン止め弁弁弁		③
	3タービン補助給水ポンプ駆動蒸気B	3TDP-A, B	○	—		06	R43-14S105A	潤滑油フィルタ差圧スイッチ	③	原子炉		3CCT1	原子炉補機冷却水サージタンク		①
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁	3V-MS-523A, B, C, D	○	—		06	R43-14S105B	潤滑油フィルタ差圧スイッチ	③		原子炉補機冷却水系統	3CCH1A, B, C, D	原子炉補機冷却水冷却器		①
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁バイパス弁	3BOP-3615, 3625, 3635, 3635	×	①		06	R43-14S210A	燃料油フィルタ差圧スイッチ	③	原子炉補機冷却水系統		3V-CC-054A, B, C, D	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水出口弁		③
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気逃がし弁	3V-MS-524A, B, C, D	○	—		06	R43-14S210B	燃料油フィルタ差圧スイッチ	③		原子炉補機冷却水系統	3V-CC-526	1次冷却材ポンプ補機冷却水出口 C/V 内側隔離弁		②
	3A, 3B, 3C, 3D-1主蒸気安全弁	3V-MS-528A, B, C, D	×	①		06	R43-11S100A	潤滑油サンプタンク油面指示計（接点付）	③	使用済燃料 ビット水浄化 冷却系統		3A-SFP, 3B-SFP	使用済燃料ビット		①
	3A, 3B, 3C, 3D-2主蒸気安全弁	3V-MS-527A, B, C, D	×	①		06	R43-11S100B	潤滑油サンプタンク油面指示計（接点付）	③						
	3A, 3B, 3C, 3D-3主蒸気安全弁	3V-MS-529A, B, C, D	×	①		06	R43-11S201A	軽油貯蔵タンクA液面計	③						
	3A, 3B, 3C, 3D-4主蒸気安全弁	3V-MS-529A, B, C, D	×	①		06	R43-11S201B	軽油貯蔵タンクB液面計	③						
	3A, 3B, 3C, 3D-5主蒸気安全弁	3V-MS-530A, B, C, D	×	①		06	R43-1S116A	機関行動弁注油タンク油面	③						
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁上流ドレンライン止め弁	3V-MS-585A, B, C, D	×	①		06	R43-1S116B	機関行動弁注油タンク油面	③						
3A, 3B, 3C, 3D主蒸気逃がし弁元弁	3V-MS-523A, B, C, D	×	①	06	R43-1S257A	シリンダー浸水スイッチ	③								
1, II, III, IV, 3A, 3B, 3C, 3D主蒸気圧力	3PT-465, 466, 467, 468, 473, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498	○	—												
3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水ポンプ		○	—												
3原子炉補機冷却水サージタンク		×	③												
3A, 3B原子炉補機冷却水冷却器		×	③												
3A, 3B格納容器スプレイ冷却器冷却水止弁	3V-CC-158A, B	○	—												
3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水供給管遮断弁	3V-CC-056A, B	○	—												
3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水戻り管遮断弁	3V-CC-043A, B	○	—												
3A, 3B余熱除去冷却器冷却水止め弁	3V-CC-114A, B	○	—												
3-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁	3V-CC-403	○	—												
3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器隔離弁	3V-CC-427	×	②												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由		
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (5/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/9)						
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*	系統	機器番号	機器名称	理由**			
原子炉補機冷却系	3-1冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器設置設備	3V-CC-329	○	—	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/24)	06	R43-L8257H	シリンダー設水スイッチ	②	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/9)	使用済燃料ピット水浄化冷却系統	3SPFHA,B	使用済燃料ピット冷却器	①	
	3-100冷却ユニット・全範囲出冷母管冷却水供給ライン内隔離弁	3V-CC-342	○	—		06	R43-P1052A	機関付設水ポンプ出口圧力指示計	③		使用済燃料ピット水浄化冷却系統	3SPDIA,B	使用済燃料ピット脱塩塔	①	
	3-100冷却ユニット・全範囲出冷母管冷却水戻りライン内隔離弁	3V-CC-365	○	—		06	R43-P1052B	機関付設水ポンプ出口圧力指示計	③		使用済燃料ピット水浄化冷却系統	3SPFIA,B	使用済燃料ピットフィルタ	①	
	3A-D,3E-C 格納容器内循環ユニット冷却水供給ライン格納容器設置設備	3V-CC-189A,B	○	—		06	R43-P1101A	機関付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③		原子炉補機冷却海水系統	3S-SW-01A,B,C,D	原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ	①	
	3A,3E,3C,3D 格納容器内循環ユニット冷却水戻りライン格納容器設置設備	3V-CC-198A,B,C,D	○	—		06	R43-P1203A	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	③		原子炉補機冷却海水系統	3S-SW-02A,B,C,D	原子炉補機冷却海水入口ストレーナ	①	
	3-1廃棄物処理建屋冷却球床冷却ライン第1,2止め弁 (3号機用)	34Y-CC-600,601	○	—		06	R43-P1203B	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	③		液体廃棄物処理系統	3V-WL-005	CVDT自動ガス分析ラインC/V内側隔離弁	②	
	3-1原子炉補機冷却水サーチャージタンク水位計,IV	3LT-1200,1201	○	—		06	R43-P1211A	機関入口燃料油圧力指示計	③		液体廃棄物処理系統	3V-WL-006	CVDT自動ガス分析ラインC/V外側隔離弁	③	
	3A,3B,3C,3D原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱	3LS-20,21,22,23	○	—		06	R43-P1211B	機関入口燃料油圧力指示計	③		液体廃棄物処理系統	3V-WL-010	格納容器冷却材ドレンタンクベントラインC/V内側隔離弁	②	
	3A,3B,3C海水ポンプ	—	○	—		06	R43-P1255A	機関入口吸気圧力 (L側) 指示計	③		液体廃棄物処理系統	3V-WL-011	格納容器冷却材ドレンタンクベントラインC/V外側隔離弁	③	
	3海水ポンプ(由)3A,3B,3C,3D海水ストレーナ	3S-SF-01A,B,C,D	×*	③		06	R43-P1255B	機関入口吸気圧力 (R側) 指示計	③		液体廃棄物処理系統	3V-WL-017	格納容器冷却材ドレンタンク窒素供給C/V隔離弁	④	
	3A,3B,3C海水ポンプ備用ストレーナ,II	3S-SF-02A,B,C	×	③		06	R43-P1256A	機関入口吸気圧力 (L側) 指示計	③		液体廃棄物処理系統	3V-WL-031	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V内側隔離弁	②	
	3A,3B原子炉補機冷却水冷却器海水止め弁	3V-SF-070A,B	○	—		06	R43-P1256B	機関入口吸気圧力 (R側) 指示計	③		液体廃棄物処理系統	3V-WL-032	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V外側隔離弁	③	
	3A,3B1,3B2,3C海水ポンプ現場操作箱	3LS-26,27,28,29	○	—		06	R43-P1S108A	機関潤滑油圧力	④		液体廃棄物処理系統	3V-WL-113	格納容器サンポンプ出口C/V内側隔離弁	③	
	3A,3B使用済燃料ピットポンプ	—	○	—		06	R43-P1S108B	機関潤滑油圧力	④		液体廃棄物処理系統	3V-WL-114	格納容器サンポンプ出口C/V外側隔離弁	③	
	3A,3B使用済燃料ピット	—	×**	③		06	R43-P1S113A	潤滑油ブライミングポンプ出口圧力指示計 (接点付)	③		液体廃棄物処理系統	3V-SS-504	加圧器気相部サンプリングラインC/V内側隔離弁	②	
3A,3B,3C使用済燃料ピット冷却器	—	×**	③	06	R43-P1S113B	潤滑油ブライミングポンプ出口圧力指示計 (接点付)	③	液体廃棄物処理系統	3V-SS-509	加圧器液相部サンプリングラインC/V内側隔離弁	②				
3A,3B使用済燃料ピット脱塩塔	—	×	③	06	R43-P1S253A	空気だめ圧力 (自動) 指示計 (接点付)	④	液体廃棄物処理系統	—	—	—				
3A,3B使用済燃料ピットフィルタ	—	×	③	06	R43-P1S253B	空気だめ圧力 (自動) 指示計 (接点付)	④	液体廃棄物処理系統	—	—	—				
3A,3B使用済燃料ピットポンプ現場操作箱	3LS-24,25	○	—	06	R43-P6S260A	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③	燃料採取系統	—	—	—				
3A,3B燃料取替用水ポンプ	—	○	—	06	R43-P6S260B	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③	燃料採取系統	—	—	—				
3燃料取替用水ピット	—	×**	③	06	R43-P6S262A	ターニングハンドル位置異常スイッチ	③	燃料採取系統	—	—	—				
3A,3B燃料取替用水ポンプ現場操作箱	3LS-23,24	○	—	06	R43-P6S262B	ターニングハンドル位置異常スイッチ	③	燃料採取系統	—	—	—				
3A,3B,3C,3Dブローダウンライン格納容器設置設備	3V-BD-101A,B,C,D	×	①	06	R43-PS250A	空気だめ圧力 (自動) スイッチ	③	燃料採取系統	—	—	—				
3A,3B,3C,3D廃棄物処理建屋冷却ライン格納容器設置設備	3V-20-910A,B,C,D	×	①	06	R43-PS250B	空気だめ圧力 (自動) スイッチ	③	燃料採取系統	—	—	—				
3-1原子炉補機冷却水戻りライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-503	×	②	06	R43-PS260R	空気だめ圧力 (自動) スイッチ	④	燃料採取系統	—	—	—				
3-1原子炉補機冷却水戻りライン格納容器第2隔離弁	3V-SS-508	×	②	06	R43-PS260L	空気だめ圧力 (自動) スイッチ	④	燃料採取系統	—	—	—				
3D-1高濃度試料採取ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-522	×	②	06	R43-PS250A	空気だめ圧力 (自動) スイッチ	③	燃料採取系統	—	—	—				
3D-1高濃度試料採取ライン格納容器第2隔離弁	3V-SS-507	×	②	06	R43-PS250B	空気だめ圧力 (自動) スイッチ	③	燃料採取系統	—	—	—				
3D-1高濃度試料採取ライン格納容器第3隔離弁	3V-SS-525	×	②	06	R43-PS260R	空気だめ圧力 (自動) スイッチ	④	燃料採取系統	—	—	—				
3D-1高濃度試料採取ライン格納容器第4隔離弁	3V-SS-526	×	①	06	R43-PS260L	空気だめ圧力 (自動) スイッチ	④	燃料採取系統	—	—	—				
3A,3B,3C,3D高圧タンク試料採取ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-593A,B,C,D	×	②	06	—	—	—	—	—	—	—				
3高圧タンク試料採取ライン格納容器第2隔離弁	3V-SS-594	×	①	06	—	—	—	—	—	—	—				
3-1冷却材試料採取戻りライン格納容器設置設備	3V-SS-574	×	①	06	—	—	—	—	—	—	—				
3A,3B制御用空気圧縮機	—	○	—	06	—	—	—	—	—	—	—	—			

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②2号炉内耐腐蝕仕様設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②原子炉格納容器内耐腐蝕仕様設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (6/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (6/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (6/9)				
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*1	系統	機器番号	機器名称	理由*1	
潤滑用空気系	3A、3B潤滑用空気乾燥器	31A11A, B	×*	③	06	R43-PS251A	空気の圧力（自動）スイッチ	③	06	3V-SS-514, 519	B（C）ループ高濃度サンプリングライン C/V 内側隔離弁	②	
	3A、3B潤滑用空気だめ	31A11A, B	×*	③	06	R43-PS251B	空気の圧力（自動）スイッチ	③	06	3V-SS-521A	Bループ高濃度、加圧器サンプリングライン C/V 外側隔離弁	③	
	3A、3B潤滑用空気系気流遮断弁等供給ラインだめ	3V-1A-505A, B	○	—	06	R43-TE331A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（U相）検出器	③	06	3V-SS-521B	Cループ高濃度サンプリングライン C/V 内側隔離弁	③	
	3A-C、3B-C潤滑用空気系管差検出弁	3V-1A-501A, B	○	—	06	R43-TE331B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（V相）検出器	③	06	3V-SS-718	PASS 1 次冷却材サンプル戻りライン C/V 外側隔離弁	③	
	3A、3B潤滑用空気格納容器隔離弁	3V-1A-508A, B	○	—	06	R43-TE332A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（W相）検出器	③	06	3V-IP-001A, B	格納容器減圧ライン格納容器内側隔離弁	②	
	3A、3B格納容器内副溶2クラス潤滑用空気自家供給止弁	3V-1A-510A, B	×	②	06	R43-TE332B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（W相）検出器	③	06	3V-IP-002A, B	格納容器減圧ライン格納容器外側隔離弁	③	
	3A、3B潤滑用空気供給管圧力	3PT-1800, 1810	○	—	06	R43-TE333A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（WH相）検出器	③	06	3V-IC-304A, B	格納容器水素パーージ給気ライン格納容器外側隔離弁	③	
	3A、3B潤滑用空気圧縮機制御盤	3IAC-A, B	○	—	06	R43-TE333B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（WH相）検出器	③	06	3V-IM-001	格納容器空気サンプル取出し格納容器内側隔離弁	②	
	3格納容器冷却材ドレンタンクガス分岐ライン格納容器第1隔離弁	3V-WL-078	×	②	06	R43-TE333C	非常用D/G（A）固定子巻線温度（WH相）検出器	③	06	3V-IM-002	格納容器空気サンプル取出し格納容器外側隔離弁	③	
3格納容器冷却材ドレンタンクガス分岐ライン格納容器第2隔離弁	3V-WL-079	×	①	06	R43-TE334A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（U相）検出器	③	06	3V-IM-015	格納容器空気サンプル戻り格納容器外側隔離弁	③		
3格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第1隔離弁	3V-WL-082	×	②	06	R43-TE334B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（U相）検出器	③	06	3V-ID-026A, B, C	ブローダウン止め弁	③		
3格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第2隔離弁	3V-WL-084	×	①	06	R43-TE334C	非常用D/G（A）固定子巻線温度（U相）検出器	③	06	3V-ID-008A, B, C	蒸気発生器ブローダウンシステム	③		
3格納容器冷却材ドレンタンク実装供給ライン格納容器第1隔離弁	3V-WL-094	×	①	06	R43-TE335A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（V相）検出器	③	06	3V-ID-026A, B, C	ブローダウンシステム	③		
3格納容器冷却材ドレンポンプ出口格納容器第1隔離弁	3V-WL-042	×	②	06	R43-TE335B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（V相）検出器	③	06	3V-ID-026A, B, C	ブローダウンシステム	③		
3格納容器冷却材ドレンポンプ出口格納容器第2隔離弁	3V-WL-043	×	①	06	R43-TE336A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（WH相）検出器	③	06	3V-ID-026A, B, C	ブローダウンシステム	③		
3格納容器サンプルポンプ出口格納容器第1隔離弁	3V-WL-143	×	②	06	R43-TE336B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（WH相）検出器	③	06	3V-ID-026A, B, C	ブローダウンシステム	③		
3格納容器サンプルポンプ出口格納容器第2隔離弁	3V-WL-144	×	①	06	R43-TE336C	非常用D/G（A）固定子巻線温度（WH相）検出器	③	06	3V-ID-026A, B, C	ブローダウンシステム	③		
3用大水管	3用大水管ライン格納容器隔離弁	3V-FS-502	×	①	06	R43-TE337A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（U相）検出器	③	06	3V-ID-026A, B, C	ブローダウンシステム	③	
炉内放射線測定ガスレーン系	3炉内放射線測定ガスレーン格納容器第1隔離弁	3V-IG-009	×	②	06	R43-TE337B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（U相）検出器	③	06	3V-ID-026A, B, C	ブローダウンシステム	③	
	3炉内放射線測定ガスレーン格納容器第2隔離弁	3V-IG-008	×	①	06	R43-TE338A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（V相）検出器	③	06	3V-ID-026A, B, C	ブローダウンシステム	③	
—	手動弁 一式		×	③	06	R43-TE338B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（V相）検出器	③	06	3V-ID-026A, B, C	ブローダウンシステム	③	
	逆止弁 一式		×	③	06	R43-TE339A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（WH相）検出器	③	06	3V-ID-026A, B, C	ブローダウンシステム	③	
換気空調系	2換気空調盤	2VB	○	—	06	R43-TE339B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（WH相）検出器	③	06	3V-ID-026A, B, C	ブローダウンシステム	③	
	3A、3B中央制御室空調ファン		○	—	06	R43-TE340A	非常用D/G（A）軸受温度検出器	③	06	3V-ID-026A, B, C	ブローダウンシステム	③	
	3A、3B中央制御室補風ファン		○	—	06	R43-TE341A	非常用D/G（A）軸受温度検出器	③	06	3V-ID-026A, B, C	ブローダウンシステム	③	
	3A、3B中央制御室非常用換気ファン	3VSP22A, B	○	—	06	R43-TE341B	非常用D/G（B）軸受温度検出器	③	06	3V-ID-026A, B, C	ブローダウンシステム	③	
	3A、3B中央制御室外気取入止めダンパ	3D-Y5-601A, B	×	①	06	R43-TI051A	機関入口ディーゼル冷却水温度指示計	③	06	3V-ID-026A, B, C	ブローダウンシステム	③	
	3A、3B中央制御室非常用換気ファン入口ダンパ	3D-Y5-602A, B	○	—	06	R43-TI051B	機関入口ディーゼル冷却水温度指示計	③	06	3V-ID-026A, B, C	ブローダウンシステム	③	
	3A、3B中央制御室空調ファン出口ダンパ	3D-Y5-603A, B	○	—	06	R43-TI054A	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計（接点付）	③	06	3V-ID-026A, B, C	ブローダウンシステム	③	
	3A、3B中央制御室補風ファン入口ダンパ	3D-Y5-604A, B	○	—	06	R43-TI054B	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計（接点付）	③	06	3V-ID-026A, B, C	ブローダウンシステム	③	
	3A、3B中央制御室外気取入流量調節ダンパ	3BCD-2874, 2875	○	—	06	R43-TI109A	機関入口潤滑油温度指示計（接点付）	③	06	3V-ID-026A, B, C	ブローダウンシステム	③	
	3A、3B中央制御室循環流電調節ダンパ	3BCD-2885, 2886	○	—	06								
	3A、3B中央制御室大気放出流量調節ダンパ	3BCD-2887, 2888	×	①									
	3A、3B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ	3BCD-2889, 2890	○	—									

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②炉内副環境仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

*1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②原子炉格納容器内副環境仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト（7/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（7/24）				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（7/9）				
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*1	系統	機器番号	機器名称	理由*1	
換気空調系	BA, 3B中央制御室事故時前扉流量調節ダンパ	3RD-2891, 2892	○	—	*1 評価対象外とした理由 ①漏水により機能を喪失しない ②炉内耐震増仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる	06	R43-T1S109B	機関入口潤滑油温度指示計（接点付）	④	燃料取替用水系統	3RF-P	燃料取替用水ヒット	①
	B中央制御室温度(1), (2)	3TS-2908, 2909	○	—		06	R43-T1S343A	非常用D/G (A) 軸受温度指示計（接点付）	④	燃料取替用水系統	3RFH1	燃料取替用水加熱器	①
	BA, 3B中央制御室非常用前扉ファン出口流量	3FS-2904, 2905	○	—		06	R43-T1S343B	非常用D/G (B) 軸受温度指示計（接点付）	④	制御用空気系統	3V-1A-514A, B	制御用空気原子炉格納容器内供給弁	②
	BA, 3B中央制御室空調ファン出口流量	3FS-2910, 2911	○	—		06	R43-TS112A	潤滑油プライミングポンプ入口流量スイッチ	④	換気空調設備系統	3D-VS-291A, B	燃料取扱機事故時排気ライン隔離ダンパ	③
	314クラン付取第1, 2隔離ダンパ	34D-Y8-605, 606	×	②		06	R43-TS112B	潤滑油プライミングポンプ入口温度スイッチ	④	換気空調設備系統	3VSU7A, B	アンニラス空気浄化フィルタユニット	①
	BA, 3B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定	3RC-2874, 2875	○	—		PCS	T49-0091A	FCS再結合器 (A)	①	換気空調設備系統	—	排気筒	①
	BA, 3B中央制御室前扉ダンパ流量設定	3RC-2885, 2886	○	—		PCS	T49-0091B	FCS再結合器 (B)	①	換気空調設備系統	3V-VS-055	格納容器給気ライン格納容器外側隔離弁	③
	A, B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定	3RC-2887, 2888	×	②		PCS	T49-0091A	FCS水分離器 (A)	①	換気空調設備系統	3V-VS-056	格納容器給気ライン格納容器内側隔離弁	③
	BA, 3B中央制御室事故時外気取入調節ダンパ流量設定	3RC-2889, 2890	○	—		PCS	T49-0091B	FCS水分離器 (B)	①	換気空調設備系統	3V-VS-061	格納容器排気ライン格納容器内側隔離弁	③
	BA, 3B中央制御室事故時前扉ダンパ流量設定	3RC-2891, 2892	○	—		PCS	T49-TE001A	FCS (A) 入口ガス温度検出器	④	換気空調設備系統	3V-VS-062	格納容器排気ライン格納容器外側隔離弁	③
	BA, 3B安全補機閉閉器室空調ファン	—	○	—		PCS	T49-TE001B	FCS (B) 入口ガス温度検出器	④	換気空調設備系統	3VSA18A, B	安全補機室冷却ユニット	①
	34C, 34D安全補機閉閉器室空調ファン	—	○	—		PCS	T49-TE009A-1	FCS再結合器 (A) 内ガス温度検出器	④	換気空調設備系統	3D-VS-301A, B	安全補機室給気第1隔離ダンパ	③
	3安全系電気盤室給気止めダンパA, B	3D-Y8-532, 533	○	—		PCS	T49-TE009B-1	FCS再結合器 (B) 内ガス温度検出器	④	換気空調設備系統	3D-VS-302A, B	安全補機室給気第2隔離ダンパ	③
	3安全系電気盤室排気止めダンパA, B	3D-Y8-536, 537	○	—		PCS	T49-TE009B-2	FCS再結合器 (B) 内ガス温度検出器	④	換気空調設備系統	3D-VS-303A, B	安全補機室排気第1隔離ダンパ	③
	BA, 3B安全補機閉閉器室温度	3TS-2817, 2818	○	—		FDW	R21-F052A	F D W第二隔離弁 (A)	④	換気空調設備系統	3D-VS-304A, B	安全補機室排気第2隔離ダンパ	③
	BA, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン	—	○	—		FPV	931	使用済燃料プール	①	換気空調設備系統	3D-VS-402A, B, C, D	ディーゼル発電機室排気ダンパ	③
	3制御用空気圧縮機室温度(1), (2), (3), (4)	3TS-2771, 2772, 2773, 2774	○	—		FPV	641-0001A	スキマサージタンク	①	換気空調設備系統	3D-VS-402A, B, C, D	ディーゼル発電機室排気ダンパ	③
	3制御用空気圧縮機室排気ダンパA, B	3D-Y8-431A, B	○	—		FPV	641-0001B	スキマサージタンク	①	換気空調設備系統	3VS02A, B	原子炉建屋給気ガラリ	①
	BA, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン	—	○	—		FPV	641-0001B	燃料プール冷却浄化系熱交換器 (A)	①	換気空調設備系統	3VSA6A, B	安全補機閉閉器室給気ユニット	①
	BA, 3B電動補助給水ポンプ室温度(1), (2)	3TS-2741, 2742, 2743, 2744	○	—		FPV	641-0001B	燃料プール冷却浄化系熱交換器 (B)	①				
	3電動補助給水ポンプ室排気ダンパA, B	3D-Y8-411A, B	○	—		FPV	641-0006A	プール浄化水戻りディフューザ	①				
	BA1, 3B2, 3B1, 3B2ディーゼル発電機室給気ファン	—	○	—		FPV	641-0006B	プール浄化水戻りディフューザ	①				
	BA, 3Bディーゼル発電機室温度(1), (2), (3), (4)	3TS-2701, 2702, 2703, 2704, 2711, 2712, 2713, 2714	○	—		FPV	641-F013	F P Cろ過処理装置取出口弁	④				
	3ディーゼル発電機室排気ダンパA1, A2, B1, B2	3D-Y8-401A, B, 402A, B	○	—									
	BA, 3B安全補機室冷却ファン	—	○	—									
	BA, 3B安全補機室温度(1), (2)	3TS-2880, 2881, 2886, 2891	○	—									
	BA, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン	—	○	—									
	BA, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン給気加熱コイル	—	○	—									
	BA, 3Bほう酸ポンプ室温度調節計	3TS-2804, 2811	○	—									
	3ほう酸タンク室温度(1), (2), (3), (4)	3TS-2602, 2603, 2612, 2613	○	—									
	BA, 3Bアンニラス空気浄化ファン	3VSP9A, B	○	—									
	アンニラス空気浄化フィルタユニット電気加熱コイル	3VSH18A, B	×	②									
	BA, 3Bアンニラス排気ダンパ	3D-Y8-101A, B	○	—									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (8/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (8/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (8/9)				
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{*1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{*1}	
換気空調系	3A,3Bアニュラス取りダンパ	3D-VS-104A,B	○	—	FTC	641-LS016	燃料貯蔵プール水位スイッチ	③	換気空調設備系統	3VS44A,B	中央制御室給気ユニット	①	
	3A,3Bアニュラス全量排気弁	3V-VS-102A,B	○	—	FTC	641-P1006	F P Cボンプ出口圧力指示計	③	換気空調設備系統	3D-VS-601A,B	中央制御室外気取入ダンパ	③	
	3A,3Bアニュラス少量排気弁	3V-VS-103A,B	○	—	FTC	641-TB001	F P Cボンプ入口温度検出器	③	換気空調設備系統	3D-VS-611,612	中央制御室排気箱1(2)隔離ダンパ	③	
	3A,3Bアニュラス圧力制御器	SPT-2522,2542	×	①	FTC	641-TE014A	F P C熱交換器(A) 出口温度検出器	③	換気空調設備系統	3HCD-2838,2839	中央制御室排気流量調節ダンパ	③	
	3A,3B格納容器排気ファン出口ダンパ	3D-VS-060A,B	×	①	FTC	641-TE014B	F P C熱交換器(B) 出口温度検出器	③	換気空調設備系統	3VSU8	中央制御室非常用精微フィルタユニット	①	
	3格納容器排気止めダンパ	3D-VS-061	×	①	FTC	641-TB015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備系統	3D-VS-053	格納容器給気気密ダンパ	③	
	3補助建屋排気流量調節ダンパ	3HCD-2090	×	①	FMUW	P15-P1001	F P M U Wボンプ入口圧力	③	換気空調設備系統	3D-VS-064	格納容器排気気密ダンパ	③	
	3補助建屋排気止めダンパ	3D-VS-051	×	③	FMUW	P15-P1004	F P M U Wボンプ出口圧力	③	換気空調設備系統	3D-VS-065A,B	格納容器排気ファン出口ダンパ	③	
	34放射線管理室排気流量調節ダンパ	34PCD-2976	×	①	FMUW	P15-P1004	F P M U Wボンプ出口圧力伝送器	③	換気空調設備系統	3D-VS-232	補助建屋排気隔離ダンパ	③	
	34放射線管理室排気止めダンパ	34D-VS-658	×	①	HECW	P25-A002A	換気空調補機非常用冷却水系サージタンク(A)	①	換気空調設備系統	3HCD-2526	補助建屋排気風量制御ダンパ	③	
	3A,3B安全補機室排気ダンパ	3D-VS-105A,B	○	—	HECW	P25-A002B	換気空調補機非常用冷却水系サージタンク(B)	①	換気空調設備系統	3HCD-2526	補助建屋排気風量制御ダンパ	③	
	3安全補機室給気第1,2隔離ダンパ	3D-VS-201,302	×	①	HECW	P25-1007A	中央制御室給気冷却コイル(A) 風度調節弁	③	換気空調設備系統	3HCD-2526	補助建屋排気風量制御ダンパ	③	
	3安全補機室排気第1,2隔離ダンパ	3D-VS-203,304	×	①	HECW	P25-1007B	中央制御室給気冷却コイル(B) 風度調節弁	③	空調用冷水設備系統	3CHT1	空調用冷水膨張タンク	①	
	3アニュラス給気第1,2隔離ダンパ	3D-VS-052,053	×	①	HECW	P25-1018A	計測制御電源(A) 室給気冷却コイル風度調節弁	③	1次系建屋水消火系統	3V-PS-504	消火水C/V外側隔離弁	③	
	3アニュラス排気第1,2隔離ダンパ	3D-VS-056,059	×	①	HECW	P25-1018B	計測制御電源(B) 室給気冷却コイル風度調節弁	③	炉内核計装装置ガスバーン設置系統	3V-IG-008	炉内核計装装置二酸化炭素バーンC/V外側隔離弁	③	
	3格納容器給気第2隔離弁	3V-VS-054	×	①	HECW	P25-1024A	原子炉補機(A) 室給気冷却コイル風度調節弁	③	炉内核計装装置ガスバーン設置系統	3V-IG-009	炉内核計装装置二酸化炭素バーンC/V内側隔離弁	③	
	3格納容器給気第1隔離弁	3V-VS-055	×	②	HECW	P25-1024B	原子炉補機(B) 室給気冷却コイル風度調節弁	③	非常用電源系	3DGT1A,B	燃料油貯油槽	①	
	3格納容器排気第1隔離弁	3V-VS-056	×	②	HECW	P25-LS011A	H E C Wサージタンク(A) 水位スイッチ	③	非常用電源系	3DGT2A,B	ディーゼル発電機燃料油サービスタング	①	
	3格納容器排気第2隔離弁	3V-VS-057	×	①	HECW	P25-LS011B	H E C Wサージタンク(B) 水位スイッチ	③					
	3A,3B安全補機室冷却ファン現場操作箱	3LB-92,93	○	—	HECW	P25-P1001A	H E C W冷水ポンプ(A) 出口圧力	③					
	3A1,3B1,3C1,3Dディーゼル発電機室給気ファン現場操作箱	3LB-94,95	○	—	HECW	P25-P1001B	H E C W冷水ポンプ(B) 出口圧力	③					
	3A,3B電動機給水ポンプ室給気ファン現場操作箱	3LB-96,97	○	—	HECW	P25-P1001C	H E C W冷水ポンプ(C) 出口圧力	③					
	3A,3B積算用空気圧縮機室給気ファン現場操作箱	3LB-90,91	○	—	HECW	P25-P1001D	H E C W冷水ポンプ(D) 出口圧力	③					
	3A,3B中央制御室風量調節ファン現場操作箱	3LB-905,96	○	—	HECW	P25-P1007A	H E C W冷水ポンプ(A) 入口圧力	③					
	3A,3B中央制御室空調ファン現場操作箱	3LB-101,102	○	—	HECW	P25-P1007B	H E C W冷水ポンプ(B) 入口圧力	③					
	34B,34C,34D安全補機室空調ファン現場操作箱	34LB-13,14,20,21	○	—	HECW	P25-P1007C	H E C W冷水ポンプ(C) 入口圧力	③					
	3A,3Bほう機ポンプ室空調ファン現場操作箱	3LB-77,78	○	—	HECW	P25-P1007D	H E C W冷水ポンプ(D) 入口圧力	③					
	3A,3Bアニュラス空気浄化ファン現場操作箱	3LB-92,93	○	—	HECW	P25-P1007E	H E C W冷水ポンプ(E) 入口圧力	③					
	3A,3B中央制御室非常用精微ファン現場操作箱	3LB-97,98	○	—	HECW	P25-P1007F	H E C W冷水ポンプ(F) 入口圧力	③					
	3空調用冷水膨張タンク			×	③								
	3A,3B,3C,3D空調用冷水ポンプ			○	—								
	34C,34D安全補機室空調ユニット冷水温度制御弁	34TCV-2900,2901		○	—								
	3A,3B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁	3TCV-2878,2879		○	—								

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②炉内前照機仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

*1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②原子炉格納容器内副機仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (9/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (9/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (9/9)					
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{※1}		
冷水系	①空調用冷水Nヘック供給、戻りライン止め弁	3V-CI-002,003	○	—	HPCW	F24-F102	HNCW供給フラン第二隔離弁	④	関連設備	3NE41A, B, 3NE42A, B, 3NE43A, B, 3NE44A, B	出力領域検出器	②		
	②昇降機駆動用冷水ユニット冷水入口、出口格納容器隔離弁	3V-CI-053,057	×	①	HPCW	F24-F107	HNCW戻りライン第一隔離弁	②						
	③A, 3B, 3C, 3D空調用冷水ポンプ吸込機作動弁	3LB-105,104,106,106	○	—	HPCS	E22-D010	高圧炉心スプレーストレーナ	①		関連設備	3NE31, 32	中性子源領域検出器	②	
	④A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器第1隔離弁	3V-DP-001A, B	×	②	HPCS	E22-4PT006	HPCSノズル系圧伝送器	①		関連設備	3RF-91A, 92A	格納容器高レンジエリアモニタ（低レンジ）	②	
格納容器減圧装置及び水素制御設備系	⑤A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器第2隔離弁	3V-DP-002A, B	×	①	HPCS	E22-F010	HPCS-S/NC初級検出調整弁	③	関連設備	3RF-91B, 92B	格納容器高レンジエリアモニタ（高レンジ）	②		
	⑥A, 3B格納容器水素バーン給気ライン格納容器第2隔離弁	3V-EC-304A, B	×	①	HPCS	E22-F021	HPCS往入ライン試験可能逆止弁均圧弁	②		—	手動弁一式	①		
	⑦A, 3B格納容器水素バーン給気ライン格納容器第1隔離弁	3V-EC-305A, B	×	①	HPCS	E22-F021	HPCSボンプ出口流量変換器	③		—	逆止弁一式	①		
	⑧格納容器サンプル取り出しライン格納容器第1隔離弁	3V-001-001	×	②	HPCS	E22-F1001	HPCSボンプ入口圧力	③		—	配管一式	①		
放射線監視設備空気サンプルシステム	⑨格納容器サンプル取り出しライン格納容器第2隔離弁	3V-001-002	×	①	HPCS	E22-F1001	HPCSボンプ入口圧力	③						
	⑩格納容器サンプル戻りライン格納容器隔離弁	3V-001-013	×	①	HPCS	E22-F1004	HPCSボンプ出口圧力	③						
	⑪主盤（原子炉盤）	3M0B	○	—	HPCS	E22-F1001A	HPCSボンプ入口圧力伝送器	③						
	⑫原子炉補助盤	3M0A	○	—	HPDSOG	R44-A001	潤滑油補給タンク	①						
電気盤	⑬原子炉安全保護計装盤1, II, III, IV	3BPK-1, II, III, IV	○	—	HPDSOG	R44-A102	潤滑油補給タンク	①						
	⑭A, 3B, 3C, 3D原子炉安全保護ロジック盤	3BPL-A, B, C, D	○	—	HPDSOG	R44-A200	軽油タンク（G）	①						
	⑮安全保護シーケンス盤M1, M2, M3, M4	3BSP-A1, A2, B1, B2	○	—	HPDSOG	R44-A201	燃料デイクタンク	①						
	⑯A1, 3A2, 3A3, 3A4, 3B1, 3B2, 3B3, 3B4プレイブ分盤盤	3BSP-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	○	—	HPDSOG	R44-A300	空気だめ（自動）	①						
	⑰原子炉トリップ遮断器盤	3BTS	○	—	HPDSOG	R44-B001	清水冷却器	①						
	⑱A, 3Bドロップ盤	3BOP-A, B, C, D	○	—	HPDSOG	R44-B003	機関付空気冷却器	①						
	⑳A, 3B直流き電盤	3BOP-A, B	○	—	HPDSOG	R44-B100	潤滑油冷却器	①						
	㉑A, 3B直流分電盤	3BOP-A, B	○	—	HPDSOG	R44-B102	充電機和受潤滑油冷却器	①						
	㉒A, 3B蓄電池	3BOP-A, B	○	—	HPDSOG	R44-D100	機関付潤滑油フィルタ	①						
	㉓A1, 3A2, 3B1, 3B2メタルラッドスイッチボックス	3BPC-A1, A2, B1, B2	○	—	HPDSOG	R44-D200	燃料移送ポンプ入口ストレーナ	①						
	㉔A1, 3A2, 3B1, 3B2パワーセンタ	3BPC-A1, A2, B1, B2	○	—	HPDSOG	R44-D201	HPCS D/G燃料移送ポンプ出口フィルタ	①						
	㉕A1, 3A2, 3B1, 3B2原子炉コントロールセンター	3BCC-A1, A2, B1, B2	○	—	HPDSOG	R44-D202-1	燃料油フィルタ-1	①						
	㉖A, 3B, 3C, 3D計装用電線盤(1)~(3)	3BPC-A, B, C, D	○	—	HPDSOG	R44-D202-2	燃料油フィルタ-2	①						
	㉗A1, 3A2, 3B1, 3B2, 3C1, 3C2, 3D1, 3D2計装用分電盤	3BPD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2	○	—	HPDSOG	R44-D300	始動用空気Y型ストレーナ	①						
	㉘A, 3B, 3C, 3D計装用交流電源切替盤	3BSP-A, B, C, D	○	—	HPDSOG	R44-E001	始動用空気Y型ストレーナ	①						
	㉙内盤	3BES	○	—	HPDSOG	R44-F0112	機関付潤滑油フィルタ差圧	③						
	㉚C, 3D計装用後備分電盤	3BPO-AC, BD	○	—										
	㉛事故時放射線監視盤	3BPS-III, IV	○	—										
	計器	①出力領域中性子束	3N-41, 42, 43, 44	×	②									

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②炉内耐環境仕様設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④その他の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②炉内耐環境仕様設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉	相違理由		
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (10/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (10/24)							
系統	設備	番号	溢水影響評価を施	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}				
計器	S中性子検出棒中性子束	2N-91,32	×	②	HPVSDG	R4-dPS210	燃料油フィルタ差圧スイッチ	③				
	S格納容器高レベルアラームモニタ(監視レンジ・高レベル)	2RE-91A,91B,92A,92B	×	②	HPVSDG	R4-G200	プレキシブルチューブ	①				
非常用電源系	3A,3Bディーゼル機関		○	—	HPVSDG	R4-LIS056	清水排酸タンク水位指示計(接点付)	③				
	3A,3Bディーゼル発電機		○	—	HPVSDG	R4-LS257	シリンダー浸水スイッチ	③				
	3A,3Bディーゼル発電機コントロールセンサ	3GOC-A,B	○	—	HPVSDG	R4-P1052	機関付清水ポンプ出口圧力	③				
	3A,3Bディーゼル発電機機軸調整	2DZC-A,B	○	—	HPVSDG	R4-P1102	機関付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③				
スクリーンアウトの考え方 ①プラント停止操作時に動作要求のない電動弁及び動作機能喪失によりフェイルがシフトとなる空気作動弁並びに安全弁は機能喪失しても安全機能に影響ない(動作要求のない原子格納容器外設置の格納容器隔離弁を含む)。 ②原子格納容器内の防護対象設備は風速、圧力条件及び溢水影響を考慮した耐震設計であるため機能喪失しない。又は、溢水事故が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないもの。 ③タンク、熱交換器、逆弁、手動弁等の静的機器は溢水により機能喪失しない。 ④他の設備で代替できる。					スクリーンアウトの考え方 ※1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない。 ②PCV内耐震仕様設備。 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない。 ④他の設備で代替できる。							
※1 溢水影響評価対象外の注記 ※1 静的機器は溢水により機能喪失しないが、プラント停止の対処設備を明確にするために防護対象設備リストに追加した。一方、機能喪失高さは「—」として溢水影響評価の対象外とした。					HPVSDG R4-P1202 燃料油ストレーン前後圧力指示計 ③							
					HPVSDG R4-P1203 燃料移送ポンプ出口圧力指示計 ③							
					HPVSDG R4-PI211 機関入口燃料油圧力指示計 ③							
					HPVSDG R4-PI256 機関入口換気圧力指示計 ③							
					HPVSDG R4-PI3108 潤滑油ブライミングポンプ出口圧力指示計(接点付) ③							
					HPVSDG R4-PI3113 機関入口潤滑油圧力 ③							
					HPVSDG R4-PI3253 空気だめ圧力(自動)指示計(接点付) ③							
					HPVSDG R4-Ps206 燃料ハンドル位置異常スイッチ ③							
					HPVSDG R4-Ps202 ターニングハンドル位置異常スイッチ ③							
					HPVSDG R4-PS250 空気だめ圧力(自動)スイッチ ③							
					HPVSDG R4-PS251 空気だめ圧力(自動)スイッチ ③							
					HPVSDG R4-TE301H HPCSD/G固定子巻線温度(U相)検出器 ③							
					HPVSDG R4-TE302H HPCSD/G固定子巻線温度(V相)検出器 ③							
					HPVSDG R4-TE303H HPCSD/G固定子巻線温度(W相)検出器 ③							
					HPVSDG R4-TE304H HPCSD/G固定子巻線温度(U相)検出器 ③							
					HPVSDG R4-TE305H HPCSD/G固定子巻線温度(V相)検出器 ③							
					HPVSDG R4-TE306H HPCSD/G固定子巻線温度(W相)検出器 ③							
					HPVSDG R4-TE307H HPCSD/G固定子巻線温度(U相予備)検出器 ③							
					HPVSDG R4-TE308H HPCSD/G固定子巻線温度(V相予備)検出器 ③							
					HPVSDG R4-TE309H HPCSD/G固定子巻線温度(W相予備)検出器 ③							
					HPVSDG R4-TE341H HPCSD/G反直結回転受温度検出器 ③							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (1/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (11/24)										
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}							
1次冷却材系	4号炉予備器		×	②	HPMSG	R44-TI342R	H P C S D / G 直結側軸受温度検出器	②							
	4A, 4B, 4C, 4D号発電機		×	③	HPMSG	R44-TI051	機関入口ディーゼル冷却水温度指示計	③							
	4A, 4B, 4C, 4D-1次冷却材ポンプ		×	①	HPMSG	R44-TI103	機関出口潤滑油温度指示計	②							
	4加圧器		×	③	HPMSG	R44-TI3054	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計（接点付）	③							
	4A, 4B, 4C加圧器安全弁	4F-8C-055, 056, 057	×	③	HPMSG	R44-TI5111	機関潤滑油粘度	③							
	4A, 4B加圧器遮断弁	4FC-452A, B	×	②	HPMSG	R44-TI5343R	H P C S D / G 反式給油軸受温度指示計（接点付）	③							
	4A, 4B加圧器遮断弁前弁	4F-8C-054A, B	×	①	HPMSG	R44-TI5344E	H P C S D / G 直結側軸受温度指示計（接点付）	③							
	4加圧器遮断弁シランタガス分析ライン格納容器1号検出弁	4F-8C-077	×	②	HPMSG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③							
	4加圧器遮断弁シランタガス分析ライン格納容器2号検出弁	4F-8C-078	×	①	HPVC	P47-8001	高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク	①							
	4加圧器遮断弁シランタ酸素供給ライン格納容器1号検出弁	4F-8C-084	×	①	HPVC	P47-8061	高圧炉心スプレイ補機冷却水系統交換器	①							
	4加圧器遮断弁シランタ酸素供給ライン格納容器2号検出弁	4F-8C-096	×	①	HPVC	P47-L1007	H P C Wサージタンク水位	③							
	4A, 4B加圧器スプレイ弁	4FC-451A, B	×	①	HPVC	P47-P1001	H P C Wポンプ出口圧力	②							
	4-1次冷却材圧力	4PT-420, 430	×	②	HPVC	P47-P1005	H P C Wポンプ入口圧力	③							
	4加圧器水位	4LT-451, 452, 453, 454	×	②	HPVC	P47-PT004	H P C W冷却水供給圧力伝送器	②							
	4A, B, C, Dループ1次冷却材高濃側・低濃側温度（1号機）	41E-410, 415, 420, 425, 430, 435, 440, 445	×	②	HPVC	P47-TI003	H P C W冷却水供給温度検出器	③							
	4A, B, C, Dループ1次冷却材高濃側・低濃側温度（2号機）	41E-411A, 411B, 411C, 411D, 421A, 421B, 421C, 421D, 431A, 431B, 431C, 431D, 441A, 441B, 441C, 441D	×	②	HPVC	P48-8001A	高圧炉心スプレイ補機冷却水系統ストレナ（A）	①							
	4加圧器圧力	4PT-451, 452, 453, 454	×	②	HPVC	P48-8001B	高圧炉心スプレイ補機冷却水系統ストレナ（B）	①							
	4PT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435, 442, 443, 444, 445		×	②	HPVC	P48-8PT002	H P S Wストレナ差圧指示計	③							
	1次冷却材ポンプ3000回転数	4SE-418A, 428A, 438A, 448A	×	②	HPVC	P48-8PT003	H P S Wポンプ出口圧力	③							
	化学体積制御系	4A, 4Bほう酸ポンプ		○	—	HPVC	P48-8PT001	H P S Wポンプ出口圧力	③						
		4A, 4B, 4C充てんポンプ		○	—	HPVC	P48-PT001	H P S Wポンプ出口圧力伝送器	②						
		4体積制御タンク		× ^H	③	-	-	排気筒	①						
		4再生熱交換器		×	③	HVAC	V10-H201A	C A M S（A）室非常用給気隔離ダンパ	③						
		4A, 4Bほう酸タンク		× ^H	③	HVAC	V10-H201B	C A M S（B）室非常用給気隔離ダンパ	③						
4ほう酸フィルタ			× ^H	③	HVAC	V10-H202A	C A M S（A）室非常用排気隔離ダンパ	③							
4貯水冷却器			× ^H	③	HVAC	V10-H202B	C A M S（B）室非常用排気隔離ダンパ	③							
4A, 4B貯水注入フィルタ			× ^H	③	HVAC	V10-H203	D C - M C C 2 A室非常用給気隔離ダンパ	③							
4貯水ストレナ			× ^H	③											
4体積制御タンク出口第1止め弁		4LCV-121B	○	—											
4体積制御タンク出口第2止め弁		4LCV-121C	○	—											
4緊急ほう酸注入ライン補給弁		4F-CS-373	○	—											

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②炉内影響低レベルの設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (2/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (12/24)									
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}		
化学体積制御系	4号充てんポンプ入口燃料取扱用ホットヘッド補給装置	4CV-121B, E	○	—	HVAC	V10-R004	D/C-MCC 2A室非常用排気隔離ダンパ	④						
	4号充てんライン格納容器隔離弁	4V-CS-157	○	—	HVAC	V10-P001A	原子炉格納気隔離弁 (A) 用アキュムレータ	①						
	4号充てんライン止め弁	4V-CS-155	○	—	HVAC	V10-P001A	原子炉格納気隔離弁 (A)	③						
	4号充てんライン流量制御弁	4VCS-128	×	①	HVAC	V10-P001B	原子炉格納気隔離弁 (B) 用アキュムレータ	①						
	4号1次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁	4PCV-149	×	①	HVAC	V10-P001B	原子炉格納気隔離弁 (B)	③						
	4号抽出ライン第1止め弁	4LCV-451	×	②	HVAC	V10-P002A	原子炉格納気隔離弁 (A) 用アキュムレータ	①						
	4号抽出ライン第2止め弁	4LCV-452	×	②	HVAC	V10-P002A	原子炉格納気隔離弁 (A)	③						
	4号4B, 4C抽出ホリアイス出口格納容器隔離弁	4V-CS-004A, B, C	×	②	HVAC	V10-P002B	原子炉格納気隔離弁 (B) 用アキュムレータ	①						
	4号圧縮補助スプレイ弁	4V-CS-189	×	②	HVAC	V10-F022A	原子炉格納気隔離弁 (A) 用アキュムレータ (電磁弁)	③						
	4号冷却抽出ライン第1止め弁	4V-CS-301	×	②	HVAC	V10-F022B	原子炉格納気隔離弁 (B) 用アキュムレータ (電磁弁)	③						
	4号冷却抽出ライン第2止め弁	4V-CS-302	×	②	HVAC	V10-F022A	原子炉格納気隔離弁 (A)	③						
	4号抽出ライン格納容器第2隔離弁	4V-CS-007	×	①	HVAC	V10-F022B	原子炉格納気隔離弁 (B)	③						
	4号充てんライン流量制御弁前止め弁	4V-CS-151	×	①	HVAC	V10-F022A	原子炉格納気隔離弁 (A)	③						
	4号ループ充てんライン止め弁	4V-CS-163	×	①	HVAC	V10-F022B	原子炉格納気隔離弁 (B)	③						
	4号1次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁前止め弁	4V-CS-177	×	①	HVAC	V10-F030A	原子炉格納気隔離弁 (A) 用アキュムレータ (電磁弁)	③						
	4号4B, 4C, 4D1次冷却材ポンプ封水注入ライン格納容器隔離弁	4V-CS-196A, B, C, D	×	①	HVAC	V10-F030B	原子炉格納気隔離弁 (B) 用アキュムレータ (電磁弁)	③						
	4号1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器隔離弁	4V-CS-319	×	②	HVAC	V10-PI015A	原子炉格納気隔離弁 (A) 用アキュムレータ圧力	③						
	4号1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第2隔離弁	4V-CS-312	○	—	HVAC	V10-PI015B	原子炉格納気隔離弁 (B) 用アキュムレータ圧力	③						
	4号4B, 4C, 4D1次冷却材ポンプ封水戻りライン止め弁	4V-CS-208A, B, C, D	×	②	HVAC	V10-PI016A	原子炉格納気隔離弁 (A) 用アキュムレータ圧力	③						
	4号4B1号酸タンク水位	4LT-290, 298	○	—	HVAC	V10-PI016B	原子炉格納気隔離弁 (B) 用アキュムレータ圧力	③						
	4号充てんポンプ速度制御装置	4VSC	○	—	HVAC	V11-R001	原子炉補機 (A) 空給気冷却コイル	①						
	4号充てんポンプ速度制御補助装置	4VSC	○	—	HVAC	V11-R002	原子炉補機 (A) 空給気加熱コイル	①						
	4号4B, 4C, 4D充てんポンプ現場操作箱	4LB-5, 6, 7, 8	○	—	HVAC	V11-R001	原子炉補機 (A) 空給気バッグエアフィルタ	①						
	4号4B1号酸ポンプ現場操作箱	4LB-9, 10	○	—	HVAC	V11-R002	D/G (A) 空給気バッグエアフィルタ	①						
	4号4号酸注入ポンプ		○	—	HVAC	V11-4P1001	原子炉補機 (A) 空給気バッグエアフィルタ差圧指示計	③						
	4号4B, 4C, 4D酸注入ポンプ		×	③	HVAC	V11-4P1003	D/G (A) 空給気バッグエアフィルタ差圧指示計	③						
	4号4号高圧注入ポンプミッドマムフローライン第1止め弁	4V-S1-015A, B	○	—	HVAC	V11-2001	原子炉補機 (A) 空給気ルーバ	①						
	4号4号高圧注入ポンプミッドマムフローライン第2止め弁	4V-S1-016A, B	○	—	HVAC	V11-2002	原子炉補機 (A) 空給気ルーバ	①						
	4号4号高圧注入ポンプ格納容器再循環ポンプ個人口格納容器隔離弁	4V-S1-003A, B	○	—	HVAC	V11-2003	D/G (A) 空給気ルーバ	①						
	4号4号高圧注入ポンプ燃料取扱用ホットヘッド個人口弁	4V-S1-002A, B	○	—	HVAC	V11-2004	D/G (A) 空給気ルーバ	①						
	4号4号高圧注入ポンプKWSホットヘッド及び再循環ポンプ個人口弁	4V-S1-006A, B	○	—										
	4号4号高圧注入ライン格納容器隔離弁	4V-S1-002A, B	×	①										
	4号4号高圧注入ポンプ出口連絡弁	4V-S1-005A, B	×	②										
	4号4号高圧注入ポンプ高圧補注ライン止め弁	4V-S1-007A, B	×	②										

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②DCV内耐腐蝕仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (3/10)						表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (13/24)								
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方		系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}					
安全注入系	IA, IB, IC, 中継圧タンク出口弁	IV-S1-132A, B, C, D	×	②		HVAC	V12-B001	原子炉補機 (B) 窒素気冷却コイル	①					
	格納容器再循環ポンプ水位(圧検)・(圧検)	SLT-978, 971, 973, 973	×	②		HVAC	V12-B002	原子炉補機 (B) 窒素気加熱コイル	①					
	IA, 48高圧注入ポンプ異常操作弁	48B-12, 13	○	—		HVAC	V12-B003	原子炉補機 (B) 窒素気バッグエアフィルタ	①					
	燃料貯蔵用水ピット水位 I, II, III, IV	SLT-1400, 1401, 1402, 1403	○	—		HVAC	V12-B002	D/G (B) 窒素気バッグエアフィルタ	①					
	48高圧注入流量(I), 48高圧注入流量(II)	48T-982, 983	○	—		HVAC	V12-4P1001	原子炉補機 (B) 窒素気バッグエアフィルタ差圧指示計	②					
余熱除去系	IA, 48余熱除去ポンプ		○	—		HVAC	V12-4P1003	D/G (B) 窒素気バッグエアフィルタ差圧指示計	②					
	IA, 48余熱除去冷却器		×	②		HVAC	V12-3001	原子炉補機 (B) 窒素気ループ	①					
	IA, 48余熱除去ポンプミニモムフローライン止め弁	48CV-601, 611	○	—		HVAC	V12-3002	原子炉補機 (B) 窒素気ループ	①					
	IA, 48余熱除去冷却器出口流量設定弁	48CV-603, 612	×	①		HVAC	V12-3003	原子炉補機 (B) 窒素気ループ	①					
	IA, 48余熱除去冷却器バイパス流量制御弁	48CV-604, 614	×	①		HVAC	V12-3003	D/G (B) 窒素気ループ	①					
	IA, 48余熱除去ポンプRのループ高置機入口止め弁	48CV-420, 430	×	②		HVAC	V12-3003A	D/G (B) 窒素気ループ (A)	①					
	IA, 48余熱除去ポンプ入口格納容器隔離弁	IV-IB-092A, B	×	②		HVAC	V12-3004B	D/G (B) 窒素気ループ (B)	①					
	IA, 48余熱除去冷却器出口格納容器隔離弁	IV-IB-043A, B	×	①		HVAC	V13-B001A	原子炉補機 (HPCS) 窒素気加熱コイル (A)	①					
	IA, 48余熱除去冷却器出口連絡弁	IV-IB-047A, B	×	②		HVAC	V13-B001B	原子炉補機 (HPCS) 窒素気加熱コイル (B)	①					
	IA, 48ループ高置機圧力注入ライン止め弁	IV-IB-048A, B	×	②		HVAC	V13-B001	原子炉補機 (HPCS) 窒素気バッグエアフィルタ	①					
	IA, 48余熱除去ポンプ出口流量	48T-601, 611	○	—		HVAC	V13-B002	D/G (HPCS) 窒素気バッグエアフィルタ	①					
	IA, 48余熱除去ポンプ異常操作弁	48B-14, 15	○	—		HVAC	V13-4P1001	原子炉補機 (HPCS) 窒素気バッグエアフィルタ差圧	②					
	格納容器スプレイ系	IA, 48格納容器スプレイポンプ		○	—		HVAC	V13-4P1003	D/G (HPCS) 窒素気バッグエアフィルタ差圧指示計	②				
IA, 48格納容器スプレイ冷却器			×	②		HVAC	V13-X001	原子炉補機 (HPCS) 窒素気ループ	①					
4より蒸除去薬品タンク			×	②		HVAC	V13-X002	原子炉補機 (HPCS) 窒素気ループ	①					
4内調整剤タンク			×	②		HVAC	V13-X003	D/G (HPCS) 窒素気ループ	①					
IA, 48より蒸除去薬品注入ライン第1止め弁		IV-CP-054A, B	○	—		HVAC	V13-X004	D/G (HPCS) 窒素気ループ	①					
IA, 48より蒸除去薬品注入ライン第2止め弁		IV-CP-056A, B	○	—		HVAC	V30-B001A	中央制御室給気冷却コイル (A)	①					
IA, 48格納容器スプレイポンプ燃料貯蔵用水ピットレベル止め弁		IV-CP-001A, B	○	—		HVAC	V30-B001B	中央制御室給気冷却コイル (B)	①					
IA, 48格納容器スプレイポンプ再循環ポンプ入口流量制御弁		IV-CP-003A, B	○	—		HVAC	V30-B001C	中央制御室給気冷却コイル (C)	①					
IA, 48格納容器スプレイ冷却器出口格納容器隔離弁		IV-CP-024A, B	○	—		HVAC	V30-B001D	中央制御室給気冷却コイル (D)	①					
4格納容器圧力 (圧検) I, II, III, IV		48T-960, 961, 962, 963	○	—		HVAC	V30-B001E	中央制御室給気冷却コイル (E)	①					
IA, 48格納容器スプレイポンプ異常操作弁		48B-18, 19	○	—		HVAC	V30-B001F	中央制御室給気冷却コイル (F)	①					
主蒸気及び蒸発水蒸気系	4タービン動補給水ポンプ		○	—										
	IA, 48電動補助給水ポンプ		○	—										
	4還水ピット		×	②										
	4タービン動補給水ポンプ起動弁A, B	IV-MS-570A, B	○	—										
IA, IB, IC, 中継圧水隔離弁	IV-IV-574A, B, C, D	×	②											
	IA, IB, IC, 中継圧補助給水ライン流量調整弁	IV-IV-567A, B, C, D	×	①										

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水による機能を喪失しない
 ②PVC内耐腐蝕仕様
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト（4/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（14/24）									
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}		
主蒸気及び 主給水系、 補助給水系	4号炉ボルト電動補助給水ポンプ止め弁	4V-FW-580	×	①	B/C	V30-0002A	中央制御室給気加熱コイル（A）	①	B/C	V30-0002A	中央制御室給気加熱コイル（A）	①		
	4号炉ボルトタービン電動補助給水ポンプ精製弁	4V-FW-581	×	①		V30-0002B	中央制御室給気加熱コイル（B）	①		V30-0002B	中央制御室給気加熱コイル（B）	①		
	4号炉、4Dタービン補助給水ライン従来調整弁	4HV-3713, 3720, 3725, 3735	×	①		V30-0002C	中央制御室給気加熱コイル（C）	①		V30-0002C	中央制御室給気加熱コイル（C）	①		
	4号タービン電動補助給水ポンプ電動調整弁給水ライン止め弁	4V-FW-575A, B	×	①		V30-0002D	中央制御室給気加熱コイル（D）	①		V30-0002D	中央制御室給気加熱コイル（D）	①		
	4号炉、4C、4D主給水隔離弁	4V-FW-620A, B, C, D	×	②		V30-0002E	中央制御室給気加熱コイル（E）	①		V30-0002E	中央制御室給気加熱コイル（E）	①		
	4号炉ボルト水位置器、IV	4LT-3760, 3761	○	—		V30-0002F	中央制御室給気加熱コイル（F）	①		V30-0002F	中央制御室給気加熱コイル（F）	①		
	4号炉、4C、4D蒸気発生器補助給水流量	4FI-3716, 3720, 3730, 3740	○	—		V30-0002G	中央制御室給気加熱コイル（G）	①		V30-0002G	中央制御室給気加熱コイル（G）	①		
	4号炉、4C、4D蒸気発生器給水水位	4LT-384, 374, 384, 484	×	②		V30-0002H	中央制御室給気加熱コイル（H）	①		V30-0002H	中央制御室給気加熱コイル（H）	①		
	4号炉、4C、4D蒸気発生器供給水位	4LT-460, 461, 462, 463, 470, 471, 472, 473, 480, 481, 482, 483, 490, 491, 492, 493	×	②		V30-0001	中央制御室再循環中性化エアフィルタ	①		V30-0001	中央制御室再循環中性化エアフィルタ	①		
	4タービン電動補助給水ポンプ稼働監視A, B	4TF-A, B	○	—		V30-0002A	中央制御室再循環高性能エアフィルタ（A）	①		V30-0002A	中央制御室再循環高性能エアフィルタ（A）	①		
	4号炉、4C、4D主蒸気隔離弁	4V-WS-523A, B, C, D	○	—		V30-0002B	中央制御室再循環高性能エアフィルタ（B）	①		V30-0002B	中央制御室再循環高性能エアフィルタ（B）	①		
	4号炉、4C、4D主蒸気隔離弁バイパス弁	4HV-3813, 3825, 3830, 3849	×	①		V30-0003	中央制御室再循環中性化エアフィルタ	①		V30-0003	中央制御室再循環中性化エアフィルタ	①		
	4号炉、4C、4D主蒸気過熱弁	4V-WS-526A, B, C, D	×	①		V30-0004A	M/C R給気バッグフィルタ（A）	①		V30-0004A	M/C R給気バッグフィルタ（A）	①		
	4号炉、4C、4D主蒸気安全弁	4V-WS-527A, B, C, D	×	①		V30-0004B	M/C R給気バッグフィルタ（B）	①		V30-0004B	M/C R給気バッグフィルタ（B）	①		
	4号炉、4C、4D主蒸気安全弁	4V-WS-528A, B, C, D	×	①		V30-0005A	中央制御室加湿器（A）	②		V30-0005A	中央制御室加湿器（A）	②		
	4号炉、4C、4D主蒸気安全弁	4V-WS-529A, B, C, D	×	①		V30-0005B	中央制御室加湿器（B）	②		V30-0005B	中央制御室加湿器（B）	②		
	4号炉、4C、4D主蒸気安全弁	4V-WS-528A, B, C, D	×	①		V30-0005C	中央制御室加湿器（C）	②		V30-0005C	中央制御室加湿器（C）	②		
	4号炉、4C、4D主蒸気安全弁	4V-WS-530A, B, C, D	×	①		V30-0005D	中央制御室加湿器（D）	②		V30-0005D	中央制御室加湿器（D）	②		
	4号炉、4C、4D主蒸気隔離弁上流ドレンライント止弁	4V-WS-585A, B, C, D	×	①		V30-0P1001A	中央制御室給気バッグエアフィルタ（A）差圧指示計	③		V30-0P1001A	中央制御室給気バッグエアフィルタ（A）差圧指示計	③		
	4号炉、4C、4D主蒸気過熱弁元弁	4V-WS-523A, B, C, D	×	①		V30-0P1001B	中央制御室給気バッグエアフィルタ（B）差圧指示計	③		V30-0P1001B	中央制御室給気バッグエアフィルタ（B）差圧指示計	③		
	I, II, III, IV, 4A, 4B, 4C, 4D主蒸気圧力	4PI-465, 466, 467, 468, 476, 478, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498	○	—		V30-0P1005	中央制御室再循環中性化エアフィルタ差圧指示計	③		V30-0P1005	中央制御室再循環中性化エアフィルタ差圧指示計	③		
	原子炉補機 冷母系	4号炉、4C、4D原子炉補機冷却水ポンプ		○		—	V30-0P1006	中央制御室再循環高性能エアフィルタ（A）差圧指示計		③	V30-0P1006	中央制御室再循環高性能エアフィルタ（A）差圧指示計		③
		4号炉原子炉補機冷却水サージタンク		× ^{※1}		②	V30-0P1007	中央制御室再循環高性能エアフィルタ（B）差圧指示計		③	V30-0P1007	中央制御室再循環高性能エアフィルタ（B）差圧指示計		③
		4号炉原子炉補機冷却水冷却器		× ^{※1}		②	V30-0P1009	中央制御室再循環高性能エアフィルタ（B）差圧指示計		③	V30-0P1009	中央制御室再循環高性能エアフィルタ（B）差圧指示計		③
4号炉、4C、4D原子炉補機冷却水母管管線調整弁		4V-CC-050A, B	○	—	V30-ME1003A	中央制御室湿度測定（A）検出器（差機密付）	②	V30-ME1003A	中央制御室湿度測定（A）検出器（差機密付）	②				
4号炉、4C、4D原子炉補機冷却水戻り母管調整弁		4V-CC-043A, B	○	—	V30-0001	M/C R給気ルーバ	①	V30-0001	M/C R給気ルーバ	①				
4号炉、4C、4D原子炉補機冷却水戻り母管調整弁		4V-CC-114A, B	○	—										
4号炉冷却材ポンプ冷却水供給ライン精製調整機調整弁		4V-CC-403	○	—										
4号炉冷却材ポンプ冷却水戻りライン精製調整機調整弁		4V-CC-427	×	②										
4号炉冷却材ポンプ冷却水戻りライン精製調整機調整弁		4V-CC-429	○	—										

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②FCV内継ぎ手等の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由	
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (5/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (15/24)							
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由①				
原子炉循環冷却系	4-C6高圧冷却ユニット・余熱抽出冷却器冷却水戻りラインCV隔離弁	4V-CC-342	○	—	BVAC	V30-3002	MCR排気ルーバ	①				
	4-C6高圧冷却ユニット・余熱抽出冷却器冷却水戻りラインCV隔離弁	4V-CC-365	○	—	BVAC	V31-3001	計測制御電源 (A) 室給気冷却コイル	①				
	4A, 4B, 4C, 4D高圧冷却器再循環ユニット冷却水戻りライン・格納容器隔離弁	4V-CC-189A, B	○	—	BVAC	V31-3002	計測制御電源 (A) 室給気加熱コイル	①				
	4A, 4B, 4C, 4D高圧冷却器再循環ユニット冷却水戻りライン・格納容器隔離弁	4V-CC-198A, B, C, D	○	—	BVAC	V31-0001	計測制御電源 (A) 室給気バッグフィルタ	①				
	4C高圧冷却器冷却水サージタンク水位計	4V-CC-605, 606	○	—	BVAC	V31-4P1001	計測制御電源 (A) 室給気バッグエアフィルタ差圧指示計	③				
	4A, 4B, 4C, 4D原子炉循環冷却水ポンプ現場操作箱	4LB-1200, 1201	○	—	BVAC	V31-3001	計測制御電源 (A) 室給気ルーバ	①				
	4A, 4B, 4C海水ポンプ	4LB-20, 21, 22, 23	○	—	BVAC	V31-3002	計測制御電源 (A) 室給気ルーバ	①				
	4A, 4B, 4C海水ポンプ出口4A, 4B, 4C, 4D排水ストレーナ	4S-SF-01A, B, C, D	× [※]	③	BVAC	V32-8001	計測制御電源 (B) 室給気冷却コイル	①				
	4A, 4B, 4C海水ポンプ軸流ストレーナB	4S-SF-02A, B, C 4S-SF-03A, B, C	×	③	BVAC	V32-8002	計測制御電源 (B) 室給気加熱コイル	①				
	4A, 4B原子炉循環冷却水冷却器海水止め弁	4V-SF-570A, B	○	—	BVAC	V32-0001	計測制御電源 (B) 室給気バッグフィルタ	①				
	4A, 4B, 4C, 4D海水ポンプ現場操作箱	4LB-26, 27, 28, 29	○	—	BVAC	V32-4P1001	計測制御電源 (B) 室給気バッグエアフィルタ差圧指示計	③				
	燃料ピット冷却浄化系	4A, 4B使用済燃料ピットポンプ		○	—	BVAC	V32-3001	計測制御電源 (B) 室給気ルーバ	①			
		4A, 4B使用済燃料ピット		× [※]	③	BVAC	V32-3002	計測制御電源 (B) 室給気ルーバ	①			
		4A, 4B使用済燃料ピット冷却器		× [※]	③	IA/HPIN	P52-P111	I A第二隔離弁	①			
		4A, 4B使用済燃料ピット脱風塔		×	③	IA/HPIN	P54-P915	H P I N常用第二隔離弁	④			
4A, 4B使用済燃料ピットフィルタ			×	③	IA/HPIN	P54-P068A	H P I N非常用第二隔離弁 (A)	④				
燃料取扱替用水系	4A, 4B燃料取扱替用水ポンプ		○	—	IA/HPIN	P54-P068B	H P I N非常用第二隔離弁 (B)	④				
	4A, 4B燃料取扱替用水ポンプ現場操作箱	4LB-33, 34	○	—	LPCS	E21-0001	低圧研心スプレイスプレーナ	①				
蒸気発生器ブローダウン系	4A, 4B, 4C, 4Dブローダウンライン格納容器隔離弁	4V-BD-101A, B, C, D	×	①	LPCS	E21-0006	L P C S試験用調整弁	③				
	4A, 4B, 4C, 4D蒸気発生器試験採取ライン格納容器隔離弁	4V-BD-010A, B, C, D	×	①	LPCS	E21-7016	L P C S注入ライン試験可能逆止弁	②				
1次系燃料採取系	4D1次蒸気相取燃料採取ライン格納容器第一隔離弁	4V-SS-503	×	②	LPCS	E21-P1001	L P C Sポンプ入口圧力	③				
	4D1次蒸気相取燃料採取ライン格納容器第二隔離弁	4V-SS-505	×	②	LPCS	E21-P1004	L P C Sポンプ出口圧力	③				
	4D1次蒸気相取燃料採取ライン格納容器第三隔離弁	4V-SS-507	×	①	LPCS	E21-P1005	L P C Sポンプ出口圧力	③				
	4D1次蒸気相取燃料採取ライン格納容器第四隔離弁	4V-SS-522	×	②	MS	B21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-クエンチャ (A)	①				
	4D1次蒸気相取燃料採取ライン格納容器第五隔離弁	4V-SS-507	×	①	MS	B21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-クエンチャ (B)	①				
	4D1次蒸気相取燃料採取ライン格納容器第六隔離弁	4V-SS-523	×	②	MS	B21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-クエンチャ (C)	①				
	4D1次蒸気相取燃料採取ライン格納容器第七隔離弁	4V-SS-625	×	①	MS	B21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-クエンチャ (D)	①				
	4A, 4B, 4C, 4D常在圧タンク燃料採取ライン格納容器第一隔離弁	4V-SS-593A, B, C, D	×	②								
	4A, 4B, 4C, 4D常在圧タンク燃料採取ライン格納容器第二隔離弁	4V-SS-594	×	①								
	4A, 4B, 4C, 4D常在圧タンク燃料採取ライン格納容器第三隔離弁	4V-SS-574	×	①								
制御用空気系	4A, 4B制御用空気圧縮機		○	—								
	4A, 4B制御用空気乾燥器	4A4B1A, B	× [※]	③								

※1 評価対象とした理由
 ① 漏れにより機能を喪失しない
 ② PCV内耐震設計の設備
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④ 他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (6/10)						表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (16/24)								
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方		系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}					
制御用空気系	IA. 4#制御用空気ため	4IAT1A, B	×	①		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (E)	①					
	IA. 4#制御用空気主蒸気逃がし弁等供給ライン止め弁	4V-1A-505A, B	○	—		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (F)	①					
	IA-C. 4#-C制御用空気弁管連絡弁	4V-1A-501A, B	○	—		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (G)	①					
	IA. 4#制御用空気格納器隔離弁	4V-1A-508A, B	○	—		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (H)	①					
	IA. 4#格納器空気側3クラス制御用空気目管閉止弁	4V-1A-510A, B	×	②		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (I)	①					
	IA. 4#制御用空気供給母管圧力	4PT-1800, 1810	○	—		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (J)	①					
	IA. 4#制御用空気圧縮機駆動機	4IM-A, B	○	—		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (K)	①					
	4#格納器冷却材ドレンタンクガス分析ライン格納器封塞1隔離弁	4V-RL-078	×	②		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (L)	①					
	4#格納器冷却材ドレンタンクガス分析ライン格納器封塞2隔離弁	4V-RL-079	×	①		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁 (A)	①					
廃棄物処理系	4#格納器冷却材ドレンタンクベントライン格納器封塞1隔離弁	4V-RL-083	×	②		MS	B21-A001A	主蒸気逃がし安全弁 (A)	①					
	4#格納器冷却材ドレンタンクベントライン格納器封塞2隔離弁	4V-RL-084	×	①		MS	B21-A001B	主蒸気逃がし安全弁 (B)	①					
	4#格納器冷却材ドレンタンク蒸気供給ライン格納器封塞1隔離弁	4V-RL-094	×	①		MS	B21-A001C	主蒸気逃がし安全弁 (C)	①					
	4#格納器冷却材ドレンタンク蒸気供給ライン格納器封塞2隔離弁	4V-RL-043	×	①		MS	B21-A001D	主蒸気逃がし安全弁 (D)	①					
	4#格納器冷却材ドレンタンク出口格納器封塞1隔離弁	4V-RL-043	×	①		MS	B21-A001E	主蒸気逃がし安全弁 (E)	①					
	4#格納器冷却材ドレンタンク出口格納器封塞2隔離弁	4V-RL-143	×	②		MS	B21-A001F	主蒸気逃がし安全弁 (F)	①					
	4#格納器冷却材ドレンタンク出口格納器封塞3隔離弁	4V-RL-144	×	②		MS	B21-A001G	主蒸気逃がし安全弁 (G)	①					
	4#格納器冷却材ドレンタンク出口格納器封塞4隔離弁	4V-RL-144	×	②		MS	B21-A001H	主蒸気逃がし安全弁 (H)	①					
	4#格納器冷却材ドレンタンク出口格納器封塞5隔離弁	4V-RL-143	×	②		MS	B21-A001I	主蒸気逃がし安全弁 (I)	①					
	4#格納器冷却材ドレンタンク出口格納器封塞6隔離弁	4V-RL-144	×	②		MS	B21-A001J	主蒸気逃がし安全弁 (J)	①					
消火水系	4#大木ライン格納器隔離弁	4V-FS-502	×	①		MS	B21-A001K	主蒸気逃がし安全弁 (K)	①					
	4#内排計測装置ガスバーンライン格納器封塞1隔離弁	4V-1G-009	×	②		MS	B21-A001L	主蒸気逃がし安全弁 (L)	①					
炉内排計測装置ガスバーン系	4#内排計測装置ガスバーンライン格納器封塞2隔離弁	4V-1G-008	×	①		MS	B21-A001A	主蒸気逃がし安全弁 (A)	①					
	手動弁 一式		×	③		MS	B21-A002A	主蒸気逃がし安全弁 (A) ADS	①					
換気空調系	2#換気空調機	4VB	○	—		MS	B21-A002C	主蒸気逃がし安全弁 (C) ADS	①					
	IA. 4#中央制御室空調ファン		○	—		MS	B21-A002E	主蒸気逃がし安全弁 (E) ADS	①					
	IA. 4#中央制御室換気ファン		○	—		MS	B21-A002H	主蒸気逃がし安全弁 (H) ADS	①					
	IA. 4#中央制御室非常換気ファン	4VSP22A, B	○	—		MS	B21-A002J	主蒸気逃がし安全弁 (J) ADS	①					
	IA. 4#中央制御室外気取入止めダンパ	4D-VS-601A, B	×	①		MS	B21-A002L	主蒸気逃がし安全弁 (L) ADS	①					
	IA. 4#中央制御室非常用換気ファン入口ダンパ	4D-VS-602A, B	○	—		MS	B21-A003A	主蒸気第一隔離弁 (A) 用アキュムレータ	①					
	IA. 4#中央制御室空調ファン出口ダンパ	4D-VS-603A, B	○	—		MS	B21-A003B	主蒸気第一隔離弁 (B) 用アキュムレータ	①					
	IA. 4#中央制御室換気ファン入口ダンパ	4D-VS-604A, B	○	—		MS	B21-A003C	主蒸気第一隔離弁 (C) 用アキュムレータ	①					
	IA. 4#中央制御室外気取入流量調節ダンパ	4HCP-2874, 2875	○	—										
	IA. 4#中央制御室換気流量調節ダンパ	4HCP-2885, 2886	○	—										
	IA. 4#中央制御室大気放出流量調節ダンパ	4HCP-2887, 2888	×	①										
	IA. 4#中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ	4HCP-2889, 2890	○	—										
	IA. 4#中央制御室事故時換気流量調節ダンパ	4HCP-2901, 2902	○	—										

※1 評価対象外とした理由
 ① 溢水により機能を喪失しない
 ② PCV内副機他種の設備
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④ 他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由				
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト（7/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（17/24）														
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}			
換気空調系	4号中央制御室温度(1),(2)	4FS-2908,2909	○	—	MS	R21-A003D	主蒸気第一隔離弁(D)用アクチュエレータ	①	MS	R21-F001A	主蒸気遮り安全弁(A)	②	MS	R21-F001	事故後炉水サンプリング第一隔離弁	⑤			
	4A,4B中央制御室非常用蓄積ファン出口流量	4FS-2904,2905	○	—		R21-A004A	主蒸気第二隔離弁(A)用アクチュエレータ	①		R21-F001B	主蒸気遮り安全弁(B)	②		R21-F002A	主蒸気第一隔離弁(A)	③			
	4A,4B中央制御室空調ファン出口流量	4FS-2910,2911	○	—		R21-A004B	主蒸気第二隔離弁(B)用アクチュエレータ	①		R21-F001C	主蒸気遮り安全弁(C)	③		R21-F002B	主蒸気第一隔離弁(B)	③			
	34キッチン排気第1,2隔離ダンパ	34D-Y5-605,606	×	①		R21-A004C	主蒸気第二隔離弁(C)用アクチュエレータ	①		R21-F001D	主蒸気遮り安全弁(D)	③		R21-F002C	主蒸気第一隔離弁(C)	③			
	4A,4B中央制御室不気取入調節ダンパ流量設定	4HC-2874,2876	○	—		R21-A004D	主蒸気第二隔離弁(D)用アクチュエレータ	①		R21-F001E	主蒸気遮り安全弁(E)	③		R21-F002D	主蒸気第一隔離弁(D)	③			
	4A,4B中央制御室新風ダンパ流量設定	4HC-2885,2886	○	—		R21-F001F	主蒸気遮り安全弁(F)	③		R21-F001G	主蒸気遮り安全弁(G)	③		R21-F003A	主蒸気第二隔離弁(A)	③			
	4A,4B中央制御室外気放出ダンパ流量設定	4HC-2887,2888	×	①		R21-F001H	主蒸気遮り安全弁(H)	③		R21-F001I	主蒸気遮り安全弁(I)	③		R21-F003B	主蒸気第二隔離弁(B)	③			
	4A,4B中央制御室事故材料不気取入調節ダンパ流量設定	4HC-2889,2890	○	—		R21-F001J	主蒸気遮り安全弁(J)	③		R21-F001K	主蒸気遮り安全弁(K)	③		R21-F003C	主蒸気第二隔離弁(C)	③			
	4A,4B中央制御室事故材料蓄積ダンパ流量設定	4HC-2891,2892	○	—		R21-F001L	主蒸気遮り安全弁(L)	③		R21-F001L	主蒸気遮り安全弁(L)	③		R21-F003D	主蒸気第二隔離弁(D)	③			
	34A,34B安全補機間閉路室空調ファン		○	—		R21-F002A	主蒸気第一隔離弁(A)	③		R21-F002A	主蒸気第一隔離弁(A)	③		R21-F004	主蒸気ドレンライン第一隔離弁	③			
	34C,34D安全補機間閉路室空調ファン		○	—		R21-F002B	主蒸気第一隔離弁(B)	③		R21-F002B	主蒸気第一隔離弁(B)	③		R21-F045	主蒸気第二隔離弁リークオフライン隔離弁	④			
	4安全系電気盤室給気止めダンパS,B	4D-Y5-532,533	○	—		R21-F002C	主蒸気第一隔離弁(C)	③		R21-F002C	主蒸気第一隔離弁(C)	③							
	4安全系電気盤室排気止めダンパS,B	4D-Y5-536,537	○	—		R21-F002D	主蒸気第一隔離弁(D)	③		R21-F002D	主蒸気第一隔離弁(D)	③							
	4A,4B安全補機間閉路室温度	4FS-2917,2919	○	—		R21-F003A	主蒸気第二隔離弁(A)	③		R21-F003A	主蒸気第二隔離弁(A)	③							
	4A,4B制御用空気圧縮機室給気ファン		○	—		R21-F003B	主蒸気第二隔離弁(B)	③		R21-F003B	主蒸気第二隔離弁(B)	③							
	4制御用空気圧縮機室排気ダンパS,B	4D-Y5-431A,B	○	—		R21-F003C	主蒸気第二隔離弁(C)	③		R21-F003C	主蒸気第二隔離弁(C)	③							
	4制御用空気圧縮機室温度	4FS-2771,2772,2773,2774	○	—		R21-F003D	主蒸気第二隔離弁(D)	③		R21-F003D	主蒸気第二隔離弁(D)	③							
	4A,4B電動補助給水ポンプ室給気ファン		○	—		R21-F004	主蒸気ドレンライン第一隔離弁	③		R21-F004	主蒸気ドレンライン第一隔離弁	③							
	4電動補助給水ポンプ室排気ダンパS,B	4D-Y5-411A,B	○	—		R21-F045	主蒸気第二隔離弁リークオフライン隔離弁	④		R21-F045	主蒸気第二隔離弁リークオフライン隔離弁	④							
	4A,4B電動補助給水ポンプ室温度(1),(2)	4FS-2741,2742,2743,2744	○	—		R21-F061	事故後炉水サンプリング第一隔離弁	⑤		R21-F061	事故後炉水サンプリング第一隔離弁	⑤							
	4A1,4A2,4B1,4B2ディーゼルの発電機室給気ファン		○	—															
	4ディーゼルの発電機室排気ダンパA1,A2,B1,B2	4D-Y5-401A,B,403A,B	○	—															
	4A,4Bディーゼルの発電機室温度(1),(2),(3),(4)	4FS-2701,2702,2703,2704,2711,2712,2713,2714	○	—															
	4A,4B安全補機室冷却ファン		○	—															
	4A,4B安全補機室温度(1),(2)	4FS-2680,2681,2686,2689	○	—															
	4A,4B予予熱ポンプ室空調ファン		○	—															
	4A,4B予予熱ポンプ室空調ファン給気加熱コイル		○	—															
	4A,4B予予熱ポンプ室温度調節計	4FS-2691,2611	○	—															
	4予予熱タンク室温度(1),(2),(3),(4)	4FS-2692,2693,2612,2613	○	—															
	4A,4Bエアユラス空気浄化ファン	4FS99A,B	○	—															
	4エアユラス空気浄化フィルタユニット露気加熱コイル	4FS108A,B	×	①															
	4A,4Bエアユラス排気ダンパ	4D-Y5-101A,B	○	—															
	4A,4Bエアユラス戻りダンパ	4D-Y5-104A,B	○	—															
	4A,4Bエアユラス全量排気弁	4V-Y5-102A,B	○	—															

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②PCV内耐震又は体の設備
 ③動作機種の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト（8/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（18/24）									
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}		
機気空調系	4A、非アニュウス少量排気弁	4F-VS-103A,B	○	—	MS	821-F002	事故時炉水ポンプリング第二隔離弁	②	PLR	832-F002A	原子炉再循環ポンプ（A）吐出弁	②		
	4A、非アニュウス圧力制御器	4PT-2702,2742	×	①	PLR	832-F002B	原子炉再循環ポンプ（B）吐出弁	②	PLR	832-F002B	原子炉再循環ポンプ（B）吐出弁	②		
	4A、4B格納容器排気ファン出口ダンパ	4F-VS-060A,B	×	①	PLR	832-F013	P.L.R.サブマルチライン第一隔離弁	②	PLR	832-F013	P.L.R.サブマルチライン第一隔離弁	②		
	4格納容器排気止めダンパ	4F-VS-061	×	①	PLR	832-F014	P.L.R.サブマルチライン第二隔離弁	②						
	4閉時建屋排気吸蔵調節ダンパ	4HCD-2590	×	①	BCIC	E51-0004	原子炉隔離時冷却系ストレーナ	①	BCIC	E51-0005	スパーージャ	①		
	4閉時建屋排気止めダンパ	4F-VS-351	×	②	BCIC	E51-0007	R.C.I.C.タービン入口蒸気ライン第一隔離弁	②	BCIC	E51-0007	R.C.I.C.タービン入口蒸気ライン第一隔離弁	②		
	4放射線管理室排気吸蔵調節ダンパ	34FCD-2976	×	①	BCIC	E51-F027	R.C.I.C.タービン入口蒸気ライン緩機弁	②	BCIC	E51-F001	R.C.I.C.ポンプ入口圧力指示計	③		
	4放射線管理室排気止めダンパ	34F-VS-458	×	①	BCIC	E51-F001	R.C.I.C.ポンプ入口圧力指示計	③	BCIC	E51-F003	R.C.I.C.ポンプ出口圧力指示計	③		
	4A、非安全種検査排気ダンパ	4F-VS-105A,B	○	—	BCIC	E51-F007	R.C.I.C.ポンプ駆動用タービン入口蒸気圧力指示計	③	BCIC	E51-F1009	R.C.I.C.タービン排気圧力指示計	③		
	4安全種検査給気第1,2隔離ダンパ	4F-VS-301,302	×	①	BCIC	E51-F1001A	R.C.I.C.ポンプ入口圧力伝送器	④	BCV	P12-A001A	原子炉種機冷却水サージタンク（A）	①		
	4安全種検査排気第1,2隔離ダンパ	4F-VS-303,304	×	①	BCV	P12-A001B	原子炉種機冷却水サージタンク（B）	①	BCV	P12-B001A	原子炉種機冷却水系熱交換器（A）	①		
	4アニュウス給気第1,2隔離ダンパ	4F-VS-052,053	×	①	BCV	P12-B001B	原子炉種機冷却水系熱交換器（B）	①	BCV	P12-B001C	原子炉種機冷却水系熱交換器（C）	①		
	4アニュウス排気第1,2隔離ダンパ	4F-VS-058,059	×	①	BCV	P12-B001D	原子炉種機冷却水系熱交換器（D）	①	BCV	P12-F006A	R.C.W.冷却水供給温度熱交換器（A）物調節弁	③		
	4格納容器給気第2隔離弁	4F-VS-054	×	①	BCV	P12-F006B	R.C.W.冷却水供給温度熱交換器（B）物調節弁	③	BCV	P12-F010A	R.C.W.冷却水供給温度ポンプ（A）物調節弁	③		
	4格納容器給気第1隔離弁	4F-VS-055	×	②	BCV	P12-F010B	R.C.W.冷却水供給温度ポンプ（B）物調節弁	③	BCV	P12-F089A	R.C.W.常用冷却水緊急しゃ断弁（A）	③		
	4格納容器排気第1隔離弁	4F-VS-056	×	②	BCV	P12-F089B	R.C.W.常用冷却水緊急しゃ断弁（B）	③	BCV	P12-F089B	R.C.W.常用冷却水緊急しゃ断弁（B）	③		
	4格納容器排気第2隔離弁	4F-VS-057	×	①	BCV	P12-F089C	R.C.W.常用冷却水緊急しゃ断弁（C）	③						
	4A、非安全種検査冷却ファン駆動操作箱	4LB-92,83	○	—										
	4A1・32,401・42ファンヒール駆動空気ファン駆動操作箱	4LB-84,85	○	—										
	4A、非電動補助給水ポンプ室給気ファン駆動操作箱	4LB-86,87	○	—										
	4A、非閉鎖用空気が圧縮機室給気ファン駆動操作箱	4LB-90,91	○	—										
	4A、非中央制御室循環ファン駆動操作箱	4LB-95,96	○	—										
	4A、非中央制御室空調ファン駆動操作箱	4LB-101,102	○	—										
	4A3,34B,34C,34D安全種機間閉鎖室空調ファン駆動操作箱	34LB-13,14,20,21	○	—										
	4A、非3ヶ所ポンプ室空調ファン駆動操作箱	4LB-77,78	○	—										
	4A、非アニュウス空気浄化ファン駆動操作箱	4LB-82,83	○	—										
	4A、非中央制御室非常用乾燥ファン駆動操作箱	4LB-97,98	○	—										
	4空調用冷水貯蔵タンク			×	④									
	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷凍機			○	—									
	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ			○	—									
	4A、非中央制御室空調ユニット冷水温度調節弁	31CV-2878,2879	○	—										
	4A3,34B安全種機間閉鎖室空調ユニット冷水温度調節弁	341CV-2786,2799	○	—										
	4空調用冷水N-ヘッダ供給、戻りライン止め弁	4F-CH-032,033	○	—										
	4閉鎖用乾燥室冷却ユニット冷水入口、出口給排水調節弁	4F-CH-453,457	×	①										
	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ駆動操作箱	4LB-103,104,105,106	○	—										

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②PCV内耐環境仕様設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (9/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (19/24)						
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}			
格納容器減圧系 及び本蒸射影線 関係	格納容器減圧系風圧差検出装置格納容器 第1段階	4V-DP-001A, B	×	②	R/W	P-2-F0850	R C W 常用冷却水緊急しゃ断弁 (D)	③			
	格納容器減圧系風圧差検出装置格納容器 第2段階	4V-DP-002A, B	×	①	R/W	P-2-F112A	R C W 供給側第二隔離弁 (A)	④			
	格納容器減圧系風圧差検出装置格納容器 第3段階	4V-HC-300A, B	×	①	R/W	P-2-F112B	R C W 供給側第二隔離弁 (B)	④			
	格納容器減圧系風圧差検出装置格納容器 第4段階	4V-HC-300A, B	×	①	R/W	P-2-F115A	R C W 戻り側第一隔離弁 (A)	②			
放射性監視設備 空気のサンプリング 系	格納容器サンプル取り出しライン格納容器 第1段階	4V-09-001	×	②	R/W	P-2-F115B	R C W 戻り側第一隔離弁 (B)	②			
	格納容器サンプル取り出しライン格納容器 第2段階	4V-09-002	×	①	R/W	P-2-F1006A	R C W A 系系統流量発信器	③			
	格納容器サンプル取り出しライン格納容器 第3段階	4V-09-013	×	①	R/W	P-2-F1006B	R C W B 系系統流量発信器	③			
電気盤	圧盤 (原子炉盤)	4R03	○	—	R/W	P-2-F1034A	R C W A 系常用系入口流量発信器	③			
	原子炉補助盤	4R05	○	—	R/W	P-2-F1034B	R C W B 系常用系入口流量発信器	③			
	原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV	4R09-I, II, III, IV	○	—	R/W	P-2-F1034C	R C W B 系常用系入口流量発信器	③			
	4R, 4B, 4C 原子炉安全保護ロジック盤	4R07-A, B, C, D	○	—	R/W	P-2-F1034D	R H R 熱交換器 (A) 冷却水入口流量発信器	③			
電気盤	安全保護シーケンス盤AG1, AG2, BG1, BG2	4SFS-A1, A2, B1, B2	○	—	R/W	P-2-F1016A	R H R 熱交換器 (B) 冷却水入口流量発信器	③			
	4A1, 4A2, 4A3, 4A4, 4B1, 4B2, 4B3, 4B4 プレ イド分電盤	4SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	○	—	R/W	P-2-F1009A	R C W サージタンク (A) 水位	③			
	4R 原子炉トリップ遮断装置	4RTS	○	—	R/W	P-2-L1009B	R C W サージタンク (B) 水位	③			
	4A, 4B ドロップ盤	4RCP-A-1R0P 4RCP-B-1R0P	○	—	R/W	P-2-L1009C	R C W サージタンク (A) 水位発信器	③			
	4A, 4B 直流分電盤	4RDP-A, B	○	—	R/W	P-2-L1009D	R C W サージタンク (B) 水位発信器	③			
	4A, 4B 直流分電盤	4RDP-A, B	○	—	R/W	P-2-L1010A	R C W サージタンク (A) 水位発信器	③			
	4A, 4B 直流分電盤	4RDP-A, B	○	—	R/W	P-2-L1010B	R C W サージタンク (B) 水位発信器	③			
	4A, 4B 直流分電盤	4RCP-A, B	○	—	R/W	P-2-P1001A	R C W ポンプ (A) 出口圧力	③			
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2 金属ラッドスイッチ ボックス	4RC-A1, A2, B1, B2	○	—	R/W	P-2-P1001B	R C W ポンプ (B) 出口圧力	③			
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2 パワーセンター	4PC-A1, A2, B1, B2	○	—	R/W	P-2-P1001C	R C W ポンプ (C) 出口圧力	③			
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2 原子炉コントロールセン ター	4RCC-A1, A2, B1, B2	○	—	R/W	P-2-P1001D	R C W ポンプ (D) 出口圧力	③			
	4A, 4B, 4C, 4D 計装用電源盤 (1) ~ (3)	4RCP-A, B, C, D	○	—	R/W	P-2-P1007A	R C W ポンプ (A) 入口圧力	③			
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2, 4C1, 4C2, 4D1, 4D2 計装用 分電盤	4RPA-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2	○	—	R/W	P-2-P1007B	R C W ポンプ (B) 入口圧力	③			
	4A, 4B, 4C, 4D 計装用交流電源切換装置	4RSP-A, B, C, D	○	—	R/W	P-2-P1007C	R C W ポンプ (C) 入口圧力	③			
	4R 内盤	4RS	○	—	R/W	P-2-P1007D	R C W ポンプ (D) 入口圧力	③			
	4R, 4B 計装用後備分電盤	4RSP-AG, BD	○	—	R/W	P-2-TE005A	R C W A 系冷却水供給温度検出器	③			
4R 事故時放射線監視盤	4RSM-III, IV	○	—	R/W	P-2-TE005B	R C W B 系冷却水供給温度検出器	③				
計器	4R 中性子検出中性子束	4R-41, 42, 43, 44	×	②	R/W	P-2-TE017A	R H R 熱交換器 (A) 冷却水出口温度検出器	③			
	4R 中性子検出中性子束	4R-31, 32	×	②	R/W	P-2-TE017B	R H R 熱交換器 (B) 冷却水出口温度検出器	③			
	4R 格納容器減圧系放射線モニタ (α線レン ダ)・(β線レンダ)	4R2-91A, 91B, 92A, 92B	×	②							

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②4R内前発電機仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替される

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由				
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (10/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (20/24)												
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}									
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル機関		○	—	BD	R11-F003	D/W LCVサンブ第一隔離弁	②									
	4A, 4Bディーゼル発電機		○	—	BD	R11-F103	D/W HCVサンブ第一隔離弁	②									
	4A, 4Bディーゼル発電機コントロールセンサ	400C-A, B	○	—	BE	E11-B001A	残留熱除去系熱交換器(A)	①									
	4A, 4Bディーゼル発電機制御盤	400C-A, B	○	—	BE	E11-B001B	残留熱除去系熱交換器(B)	①									
<p>スクリーンアウトの考え方</p> <p>①プラント停止操作時に動作要求のない電動弁及び動作機軸喪失によりフェイルポジションとなる空気作動弁並びに安全弁は機能喪失しても安全機能に影響しない（動作要求のない原子炉格納容器外設置の格納容器隔離弁を含む）。</p> <p>②原子炉格納容器内の防護対象設備は温度、圧力条件及び溢水影響を考慮した耐環境仕様であるため機能喪失しない。又は、溢水事象が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないもの。</p> <p>③タンク、熱交換器、ポンプ、手動弁等の静的機器は溢水により機能喪失しない。</p> <p>④他の設備で代替できる。</p> <p><溢水影響評価対象機の注記></p> <p>*1 静的機器は溢水により機能喪失しないが、プラント停止の対応設備を明確にするために防護対象設備リストに追加した。一方、機能喪失高さは「—」として溢水影響評価の対象外とした。</p>					BE	E11-D001A	残留熱除去系A系ストレナ	①									
					BE	E11-D001B	残留熱除去系B系ストレナ	①									
					BE	E11-D001C	残留熱除去系C系ストレナ	①									
					BE	E11-4P009A	L P C I系A/L P C S注入ライン差圧伝送器	③									
					BE	E11-4P009B	L P C I系B・C注入ライン差圧伝送器	③									
					BE	E11-F012A	R H R A系試験用調整弁	③									
					BE	E11-F012B	R H R B系試験用調整弁	③									
					BE	E11-F012C	R H R C系試験用調整弁	③									
					BE	E11-F014A	R H R A系停止時冷却吸込元弁	①									
					BE	E11-F014B	R H R B系停止時冷却吸込元弁	①									
					BE	E11-F015A	R H R A系停止時冷却吸込第一隔離弁	②									
					BE	E11-F015B	R H R B系停止時冷却吸込第一隔離弁	②									
					BE	E11-F021	R H R ヘッドスプレイ注入隔離弁	③									
					BE	E11-F044A	R H R A系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②									
					BE	E11-F044B	R H R B系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②									
					BE	E11-F044C	R H R C系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②									
					BE	E11-F045A	R H R A系RW連絡第一弁	③									
					BE	E11-F045B	R H R B系RW連絡第一弁	③									
					BE	E11-F046A	R H R A系系統破機弁	③									
					BE	E11-F046B	R H R B系系統破機弁	③									
BE	E11-F058A	R H R A系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②														
BE	E11-F058B	R H R B系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②														
BE	E11-F014	原子炉ヘッドスプレイ流量変換器	③														
<p>※1 評価対象外とした理由</p> <p>① 溢水により機能を喪失しない</p> <p>② 原子炉格納容器内の設備</p> <p>③ 動作機軸の喪失により安全機能に影響しない</p> <p>④ 他の設備で代替できる</p>																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（21/24）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>RHR</td><td>E11-P1001A</td><td>RHRポンプ（A）入口圧力</td><td>②</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-P1001B</td><td>RHRポンプ（B）入口圧力</td><td>②</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-P1001C</td><td>RHRポンプ（C）入口圧力</td><td>②</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-P1004A</td><td>RHRポンプ（A）出口圧力</td><td>②</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-P1004B</td><td>RHRポンプ（B）出口圧力</td><td>②</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-P1004C</td><td>RHRポンプ（C）出口圧力</td><td>②</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT005A</td><td>RHRポンプ（A）出口圧力伝送器</td><td>②</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT005B</td><td>RHRポンプ（B）出口圧力伝送器</td><td>②</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT005C</td><td>RHRポンプ（C）出口圧力伝送器</td><td>②</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT013A</td><td>RHR A系入口圧力伝送器</td><td>②</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT013B</td><td>RHR B系入口圧力伝送器</td><td>②</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-TE007A</td><td>RHR熱交換器（A）出口温度検出器</td><td>②</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-TE007B</td><td>RHR熱交換器（B）出口温度検出器</td><td>②</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-TE010A</td><td>RHR熱交換器（A）入口温度検出器</td><td>②</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-TE010B</td><td>RHR熱交換器（B）入口温度検出器</td><td>②</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P/S-B001A</td><td>原子炉補機冷却海水系ストレーナ（A）</td><td>①</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P/S-B001B</td><td>原子炉補機冷却海水系ストレーナ（B）</td><td>①</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P/S-B001C</td><td>原子炉補機冷却海水系ストレーナ（C）</td><td>①</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P/S-B001D</td><td>原子炉補機冷却海水系ストレーナ（D）</td><td>①</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P/S-4PT003A</td><td>R C W熱交換器（A）管側差圧指示計</td><td>②</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P/S-4PT003B</td><td>R C W熱交換器（B）管側差圧指示計</td><td>②</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P/S-4PT003C</td><td>R C W熱交換器（C）管側差圧指示計</td><td>②</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P/S-4PT003D</td><td>R C W熱交換器（D）管側差圧指示計</td><td>②</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P/S-P1001A</td><td>R S Wポンプ（A）出口圧力指示計</td><td>②</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P/S-P1001B</td><td>R S Wポンプ（B）出口圧力指示計</td><td>②</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P/S-P1001C</td><td>R S Wポンプ（C）出口圧力指示計</td><td>②</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P/S-P1001D</td><td>R S Wポンプ（D）出口圧力指示計</td><td>②</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由 ① 溢水により機能を喪失しない ② PCV内耐震環境仕様の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④ 他の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	RHR	E11-P1001A	RHRポンプ（A）入口圧力	②	RHR	E11-P1001B	RHRポンプ（B）入口圧力	②	RHR	E11-P1001C	RHRポンプ（C）入口圧力	②	RHR	E11-P1004A	RHRポンプ（A）出口圧力	②	RHR	E11-P1004B	RHRポンプ（B）出口圧力	②	RHR	E11-P1004C	RHRポンプ（C）出口圧力	②	RHR	E11-PT005A	RHRポンプ（A）出口圧力伝送器	②	RHR	E11-PT005B	RHRポンプ（B）出口圧力伝送器	②	RHR	E11-PT005C	RHRポンプ（C）出口圧力伝送器	②	RHR	E11-PT013A	RHR A系入口圧力伝送器	②	RHR	E11-PT013B	RHR B系入口圧力伝送器	②	RHR	E11-TE007A	RHR熱交換器（A）出口温度検出器	②	RHR	E11-TE007B	RHR熱交換器（B）出口温度検出器	②	RHR	E11-TE010A	RHR熱交換器（A）入口温度検出器	②	RHR	E11-TE010B	RHR熱交換器（B）入口温度検出器	②	RSW	P/S-B001A	原子炉補機冷却海水系ストレーナ（A）	①	RSW	P/S-B001B	原子炉補機冷却海水系ストレーナ（B）	①	RSW	P/S-B001C	原子炉補機冷却海水系ストレーナ（C）	①	RSW	P/S-B001D	原子炉補機冷却海水系ストレーナ（D）	①	RSW	P/S-4PT003A	R C W熱交換器（A）管側差圧指示計	②	RSW	P/S-4PT003B	R C W熱交換器（B）管側差圧指示計	②	RSW	P/S-4PT003C	R C W熱交換器（C）管側差圧指示計	②	RSW	P/S-4PT003D	R C W熱交換器（D）管側差圧指示計	②	RSW	P/S-P1001A	R S Wポンプ（A）出口圧力指示計	②	RSW	P/S-P1001B	R S Wポンプ（B）出口圧力指示計	②	RSW	P/S-P1001C	R S Wポンプ（C）出口圧力指示計	②	RSW	P/S-P1001D	R S Wポンプ（D）出口圧力指示計	②		
系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}																																																																																																																
RHR	E11-P1001A	RHRポンプ（A）入口圧力	②																																																																																																																
RHR	E11-P1001B	RHRポンプ（B）入口圧力	②																																																																																																																
RHR	E11-P1001C	RHRポンプ（C）入口圧力	②																																																																																																																
RHR	E11-P1004A	RHRポンプ（A）出口圧力	②																																																																																																																
RHR	E11-P1004B	RHRポンプ（B）出口圧力	②																																																																																																																
RHR	E11-P1004C	RHRポンプ（C）出口圧力	②																																																																																																																
RHR	E11-PT005A	RHRポンプ（A）出口圧力伝送器	②																																																																																																																
RHR	E11-PT005B	RHRポンプ（B）出口圧力伝送器	②																																																																																																																
RHR	E11-PT005C	RHRポンプ（C）出口圧力伝送器	②																																																																																																																
RHR	E11-PT013A	RHR A系入口圧力伝送器	②																																																																																																																
RHR	E11-PT013B	RHR B系入口圧力伝送器	②																																																																																																																
RHR	E11-TE007A	RHR熱交換器（A）出口温度検出器	②																																																																																																																
RHR	E11-TE007B	RHR熱交換器（B）出口温度検出器	②																																																																																																																
RHR	E11-TE010A	RHR熱交換器（A）入口温度検出器	②																																																																																																																
RHR	E11-TE010B	RHR熱交換器（B）入口温度検出器	②																																																																																																																
RSW	P/S-B001A	原子炉補機冷却海水系ストレーナ（A）	①																																																																																																																
RSW	P/S-B001B	原子炉補機冷却海水系ストレーナ（B）	①																																																																																																																
RSW	P/S-B001C	原子炉補機冷却海水系ストレーナ（C）	①																																																																																																																
RSW	P/S-B001D	原子炉補機冷却海水系ストレーナ（D）	①																																																																																																																
RSW	P/S-4PT003A	R C W熱交換器（A）管側差圧指示計	②																																																																																																																
RSW	P/S-4PT003B	R C W熱交換器（B）管側差圧指示計	②																																																																																																																
RSW	P/S-4PT003C	R C W熱交換器（C）管側差圧指示計	②																																																																																																																
RSW	P/S-4PT003D	R C W熱交換器（D）管側差圧指示計	②																																																																																																																
RSW	P/S-P1001A	R S Wポンプ（A）出口圧力指示計	②																																																																																																																
RSW	P/S-P1001B	R S Wポンプ（B）出口圧力指示計	②																																																																																																																
RSW	P/S-P1001C	R S Wポンプ（C）出口圧力指示計	②																																																																																																																
RSW	P/S-P1001D	R S Wポンプ（D）出口圧力指示計	②																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（22/24）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>RSW</td><td>P95-P1001A</td><td>R S Wポンプ（A）出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P95-P1001B</td><td>R S Wポンプ（B）出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P95-P1001C</td><td>R S Wポンプ（C）出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P95-P1001D</td><td>R S Wポンプ（D）出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P95-T1004A</td><td>R C W熱交換器（A）海水出口風度</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P95-T1004B</td><td>R C W熱交換器（B）海水出口風度</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P95-T1004C</td><td>R C W熱交換器（C）海水出口風度</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P95-T1004D</td><td>R C W熱交換器（D）海水出口風度</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T45-4P1002A</td><td>空気乾燥装置（A）デミスタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T45-4P1002B</td><td>空気乾燥装置（B）デミスタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T45-4P1004</td><td>フィルタ装置中性化エアフィルタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T45-4P1005</td><td>フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T45-4P1010</td><td>フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T45-4P1013</td><td>フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T45-F901A</td><td>非常用ガス処理系入口弁（A）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T45-F901B</td><td>非常用ガス処理系入口弁（B）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C4I</td><td>ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C4I-A001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C4I-A003A</td><td>ほう酸水注入系アキュムレータ（A）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C4I-A003B</td><td>ほう酸水注入系アキュムレータ（B）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C4I-B001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C4I-B002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒータ</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C4I-LE001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C4I-L1001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C4I-L1001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C4I-P1010A</td><td>ほう酸水注入系ポンプ（A）潤滑油圧力指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C4I-P1010B</td><td>ほう酸水注入系ポンプ（B）潤滑油圧力指示計</td><td>㊸</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由 ㊸ 溢水により機能を喪失しない ㊹ IAV内蔵機能仕様の設備 ㊺ 動作機番の喪失により安全機能に影響しない ㊻ 他の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	RSW	P95-P1001A	R S Wポンプ（A）出口圧力伝送器	㊸	RSW	P95-P1001B	R S Wポンプ（B）出口圧力伝送器	㊸	RSW	P95-P1001C	R S Wポンプ（C）出口圧力伝送器	㊸	RSW	P95-P1001D	R S Wポンプ（D）出口圧力伝送器	㊸	RSW	P95-T1004A	R C W熱交換器（A）海水出口風度	㊸	RSW	P95-T1004B	R C W熱交換器（B）海水出口風度	㊸	RSW	P95-T1004C	R C W熱交換器（C）海水出口風度	㊸	RSW	P95-T1004D	R C W熱交換器（D）海水出口風度	㊸	SGTS	T45-4P1002A	空気乾燥装置（A）デミスタ差圧指示計	㊸	SGTS	T45-4P1002B	空気乾燥装置（B）デミスタ差圧指示計	㊸	SGTS	T45-4P1004	フィルタ装置中性化エアフィルタ差圧指示計	㊸	SGTS	T45-4P1005	フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊸	SGTS	T45-4P1010	フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計	㊸	SGTS	T45-4P1013	フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊸	SGTS	T45-F901A	非常用ガス処理系入口弁（A）	㊸	SGTS	T45-F901B	非常用ガス処理系入口弁（B）	㊸	SLC	C4I	ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ	㊸	SLC	C4I-A001	ほう酸水注入系貯蔵タンク	㊸	SLC	C4I-A003A	ほう酸水注入系アキュムレータ（A）	㊸	SLC	C4I-A003B	ほう酸水注入系アキュムレータ（B）	㊸	SLC	C4I-B001	ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ	㊸	SLC	C4I-B002	ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒータ	㊸	SLC	C4I-LE001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器	㊸	SLC	C4I-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計	㊸	SLC	C4I-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器	㊸	SLC	C4I-P1010A	ほう酸水注入系ポンプ（A）潤滑油圧力指示計	㊸	SLC	C4I-P1010B	ほう酸水注入系ポンプ（B）潤滑油圧力指示計	㊸		
系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}																																																																																																																
RSW	P95-P1001A	R S Wポンプ（A）出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
RSW	P95-P1001B	R S Wポンプ（B）出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
RSW	P95-P1001C	R S Wポンプ（C）出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
RSW	P95-P1001D	R S Wポンプ（D）出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
RSW	P95-T1004A	R C W熱交換器（A）海水出口風度	㊸																																																																																																																
RSW	P95-T1004B	R C W熱交換器（B）海水出口風度	㊸																																																																																																																
RSW	P95-T1004C	R C W熱交換器（C）海水出口風度	㊸																																																																																																																
RSW	P95-T1004D	R C W熱交換器（D）海水出口風度	㊸																																																																																																																
SGTS	T45-4P1002A	空気乾燥装置（A）デミスタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T45-4P1002B	空気乾燥装置（B）デミスタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T45-4P1004	フィルタ装置中性化エアフィルタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T45-4P1005	フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T45-4P1010	フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T45-4P1013	フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T45-F901A	非常用ガス処理系入口弁（A）	㊸																																																																																																																
SGTS	T45-F901B	非常用ガス処理系入口弁（B）	㊸																																																																																																																
SLC	C4I	ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ	㊸																																																																																																																
SLC	C4I-A001	ほう酸水注入系貯蔵タンク	㊸																																																																																																																
SLC	C4I-A003A	ほう酸水注入系アキュムレータ（A）	㊸																																																																																																																
SLC	C4I-A003B	ほう酸水注入系アキュムレータ（B）	㊸																																																																																																																
SLC	C4I-B001	ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ	㊸																																																																																																																
SLC	C4I-B002	ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒータ	㊸																																																																																																																
SLC	C4I-LE001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器	㊸																																																																																																																
SLC	C4I-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計	㊸																																																																																																																
SLC	C4I-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器	㊸																																																																																																																
SLC	C4I-P1010A	ほう酸水注入系ポンプ（A）潤滑油圧力指示計	㊸																																																																																																																
SLC	C4I-P1010B	ほう酸水注入系ポンプ（B）潤滑油圧力指示計	㊸																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（23/24）</p> <table border="1" data-bbox="705 225 1263 986"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>SLC</td><td>C4I-TS002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C4I-TS003</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C4I-TS004</td><td>S L C貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C4I-TS002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C4I-TS003</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C4I-TS004</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度</td><td>③</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T1I-TE001A</td><td>サブレッシュンブル水温度（1.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T1I-TE001B</td><td>サブレッシュンブル水温度（1.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T1I-TE002A</td><td>サブレッシュンブル水温度（3.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T1I-TE002B</td><td>サブレッシュンブル水温度（3.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T1I-TE003A</td><td>サブレッシュンブル水温度（5.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T1I-TE003B</td><td>サブレッシュンブル水温度（5.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T1I-TE004A</td><td>サブレッシュンブル水温度（7.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T1I-TE004B</td><td>サブレッシュンブル水温度（7.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T1I-TE005A</td><td>サブレッシュンブル水温度（10.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T1I-TE005B</td><td>サブレッシュンブル水温度（10.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T1I-TE006A</td><td>サブレッシュンブル水温度（12.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T1I-TE006B</td><td>サブレッシュンブル水温度（12.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T1I-TE007A</td><td>サブレッシュンブル水温度（14.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T1I-TE007B</td><td>サブレッシュンブル水温度（14.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T1I-TE008A</td><td>サブレッシュンブル水温度（16.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T1I-TE008B</td><td>サブレッシュンブル水温度（16.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T1I-TE009A</td><td>サブレッシュンブル水温度（19.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T1I-TE009B</td><td>サブレッシュンブル水温度（19.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T1I-TE010A</td><td>サブレッシュンブル水温度（21.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T1I-TE010B</td><td>サブレッシュンブル水温度（21.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T1I-TE011A</td><td>サブレッシュンブル水温度（23.6°）</td><td>②</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由 ① 溢水により機能を喪失しない ② PCV内耐腐蝕仕様の設備 ③ 駆動機材の喪失により安全機能に影響しない ④ 他の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	SLC	C4I-TS002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③	SLC	C4I-TS003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③	SLC	C4I-TS004	S L C貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度検出器	③	SLC	C4I-TS002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③	SLC	C4I-TS003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③	SLC	C4I-TS004	ほう酸水注入系貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度	③	SPTM	T1I-TE001A	サブレッシュンブル水温度（1.1°）	②	SPTM	T1I-TE001B	サブレッシュンブル水温度（1.1°）	②	SPTM	T1I-TE002A	サブレッシュンブル水温度（3.4°）	②	SPTM	T1I-TE002B	サブレッシュンブル水温度（3.4°）	②	SPTM	T1I-TE003A	サブレッシュンブル水温度（5.6°）	②	SPTM	T1I-TE003B	サブレッシュンブル水温度（5.6°）	②	SPTM	T1I-TE004A	サブレッシュンブル水温度（7.9°）	②	SPTM	T1I-TE004B	サブレッシュンブル水温度（7.9°）	②	SPTM	T1I-TE005A	サブレッシュンブル水温度（10.1°）	②	SPTM	T1I-TE005B	サブレッシュンブル水温度（10.1°）	②	SPTM	T1I-TE006A	サブレッシュンブル水温度（12.4°）	②	SPTM	T1I-TE006B	サブレッシュンブル水温度（12.4°）	②	SPTM	T1I-TE007A	サブレッシュンブル水温度（14.6°）	②	SPTM	T1I-TE007B	サブレッシュンブル水温度（14.6°）	②	SPTM	T1I-TE008A	サブレッシュンブル水温度（16.9°）	②	SPTM	T1I-TE008B	サブレッシュンブル水温度（16.9°）	②	SPTM	T1I-TE009A	サブレッシュンブル水温度（19.1°）	②	SPTM	T1I-TE009B	サブレッシュンブル水温度（19.1°）	②	SPTM	T1I-TE010A	サブレッシュンブル水温度（21.4°）	②	SPTM	T1I-TE010B	サブレッシュンブル水温度（21.4°）	②	SPTM	T1I-TE011A	サブレッシュンブル水温度（23.6°）	②		
系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}																																																																																																																
SLC	C4I-TS002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③																																																																																																																
SLC	C4I-TS003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③																																																																																																																
SLC	C4I-TS004	S L C貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度検出器	③																																																																																																																
SLC	C4I-TS002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③																																																																																																																
SLC	C4I-TS003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③																																																																																																																
SLC	C4I-TS004	ほう酸水注入系貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度	③																																																																																																																
SPTM	T1I-TE001A	サブレッシュンブル水温度（1.1°）	②																																																																																																																
SPTM	T1I-TE001B	サブレッシュンブル水温度（1.1°）	②																																																																																																																
SPTM	T1I-TE002A	サブレッシュンブル水温度（3.4°）	②																																																																																																																
SPTM	T1I-TE002B	サブレッシュンブル水温度（3.4°）	②																																																																																																																
SPTM	T1I-TE003A	サブレッシュンブル水温度（5.6°）	②																																																																																																																
SPTM	T1I-TE003B	サブレッシュンブル水温度（5.6°）	②																																																																																																																
SPTM	T1I-TE004A	サブレッシュンブル水温度（7.9°）	②																																																																																																																
SPTM	T1I-TE004B	サブレッシュンブル水温度（7.9°）	②																																																																																																																
SPTM	T1I-TE005A	サブレッシュンブル水温度（10.1°）	②																																																																																																																
SPTM	T1I-TE005B	サブレッシュンブル水温度（10.1°）	②																																																																																																																
SPTM	T1I-TE006A	サブレッシュンブル水温度（12.4°）	②																																																																																																																
SPTM	T1I-TE006B	サブレッシュンブル水温度（12.4°）	②																																																																																																																
SPTM	T1I-TE007A	サブレッシュンブル水温度（14.6°）	②																																																																																																																
SPTM	T1I-TE007B	サブレッシュンブル水温度（14.6°）	②																																																																																																																
SPTM	T1I-TE008A	サブレッシュンブル水温度（16.9°）	②																																																																																																																
SPTM	T1I-TE008B	サブレッシュンブル水温度（16.9°）	②																																																																																																																
SPTM	T1I-TE009A	サブレッシュンブル水温度（19.1°）	②																																																																																																																
SPTM	T1I-TE009B	サブレッシュンブル水温度（19.1°）	②																																																																																																																
SPTM	T1I-TE010A	サブレッシュンブル水温度（21.4°）	②																																																																																																																
SPTM	T1I-TE010B	サブレッシュンブル水温度（21.4°）	②																																																																																																																
SPTM	T1I-TE011A	サブレッシュンブル水温度（23.6°）	②																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（24/24）</p> <table border="1" data-bbox="707 229 1263 769"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>SPTW</td><td>T11-TE011B</td><td>サブプレッシャブル水温度（236°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTW</td><td>T11-TE012A</td><td>サブプレッシャブル水温度（259°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTW</td><td>T11-TE012B</td><td>サブプレッシャブル水温度（259°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTW</td><td>T11-TE013A</td><td>サブプレッシャブル水温度（281°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTW</td><td>T11-TE013B</td><td>サブプレッシャブル水温度（281°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTW</td><td>T11-TE014A</td><td>サブプレッシャブル水温度（304°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTW</td><td>T11-TE014B</td><td>サブプレッシャブル水温度（304°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTW</td><td>T11-TE015A</td><td>サブプレッシャブル水温度（326°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTW</td><td>T11-TE015B</td><td>サブプレッシャブル水温度（326°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTW</td><td>T11-TE015A</td><td>サブプレッシャブル水温度（349°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTW</td><td>T11-TE015B</td><td>サブプレッシャブル水温度（349°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>G51-F081A</td><td>T1Pバルブアセンブリ（ボール弁A・爆発弁A）</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>G51-F081B</td><td>T1Pバルブアセンブリ（ボール弁B・爆発弁B）</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>G51-F081C</td><td>T1Pバルブアセンブリ（ボール弁C・爆発弁C）</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>G51-F081D</td><td>T1Pバルブアセンブリ（ボール弁D・爆発弁D）</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>G51-F083</td><td>T1Pバージ隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>手動弁一式</td><td>①</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>逆止弁一式</td><td>①</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>配管一式</td><td>①</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②PCV内耐浸焼止膜の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	SPTW	T11-TE011B	サブプレッシャブル水温度（236°）	②	SPTW	T11-TE012A	サブプレッシャブル水温度（259°）	②	SPTW	T11-TE012B	サブプレッシャブル水温度（259°）	②	SPTW	T11-TE013A	サブプレッシャブル水温度（281°）	②	SPTW	T11-TE013B	サブプレッシャブル水温度（281°）	②	SPTW	T11-TE014A	サブプレッシャブル水温度（304°）	②	SPTW	T11-TE014B	サブプレッシャブル水温度（304°）	②	SPTW	T11-TE015A	サブプレッシャブル水温度（326°）	②	SPTW	T11-TE015B	サブプレッシャブル水温度（326°）	②	SPTW	T11-TE015A	サブプレッシャブル水温度（349°）	②	SPTW	T11-TE015B	サブプレッシャブル水温度（349°）	②	TIP	G51-F081A	T1Pバルブアセンブリ（ボール弁A・爆発弁A）	③	TIP	G51-F081B	T1Pバルブアセンブリ（ボール弁B・爆発弁B）	③	TIP	G51-F081C	T1Pバルブアセンブリ（ボール弁C・爆発弁C）	③	TIP	G51-F081D	T1Pバルブアセンブリ（ボール弁D・爆発弁D）	③	TIP	G51-F083	T1Pバージ隔離弁	③	その他	-	手動弁一式	①	その他	-	逆止弁一式	①	その他	-	配管一式	①		
系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}																																																																																
SPTW	T11-TE011B	サブプレッシャブル水温度（236°）	②																																																																																
SPTW	T11-TE012A	サブプレッシャブル水温度（259°）	②																																																																																
SPTW	T11-TE012B	サブプレッシャブル水温度（259°）	②																																																																																
SPTW	T11-TE013A	サブプレッシャブル水温度（281°）	②																																																																																
SPTW	T11-TE013B	サブプレッシャブル水温度（281°）	②																																																																																
SPTW	T11-TE014A	サブプレッシャブル水温度（304°）	②																																																																																
SPTW	T11-TE014B	サブプレッシャブル水温度（304°）	②																																																																																
SPTW	T11-TE015A	サブプレッシャブル水温度（326°）	②																																																																																
SPTW	T11-TE015B	サブプレッシャブル水温度（326°）	②																																																																																
SPTW	T11-TE015A	サブプレッシャブル水温度（349°）	②																																																																																
SPTW	T11-TE015B	サブプレッシャブル水温度（349°）	②																																																																																
TIP	G51-F081A	T1Pバルブアセンブリ（ボール弁A・爆発弁A）	③																																																																																
TIP	G51-F081B	T1Pバルブアセンブリ（ボール弁B・爆発弁B）	③																																																																																
TIP	G51-F081C	T1Pバルブアセンブリ（ボール弁C・爆発弁C）	③																																																																																
TIP	G51-F081D	T1Pバルブアセンブリ（ボール弁D・爆発弁D）	③																																																																																
TIP	G51-F083	T1Pバージ隔離弁	③																																																																																
その他	-	手動弁一式	①																																																																																
その他	-	逆止弁一式	①																																																																																
その他	-	配管一式	①																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料8）

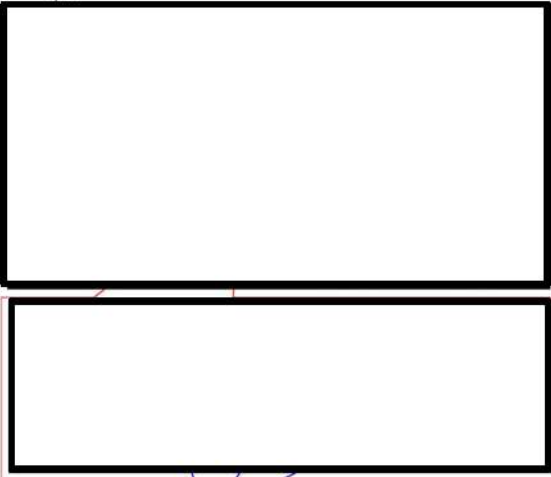
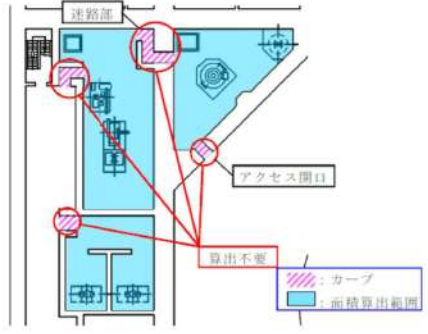
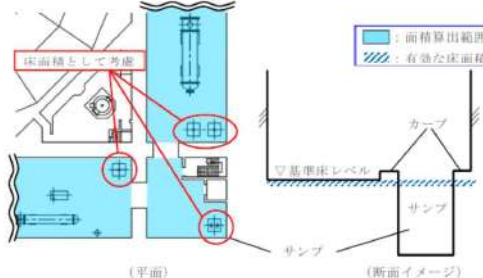
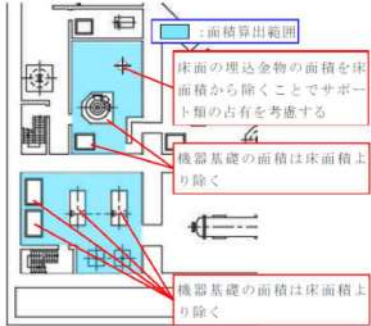
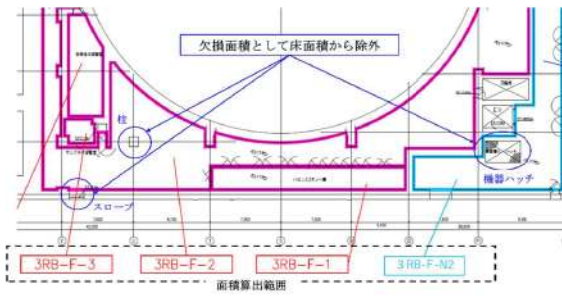
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																							
<p>17 滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価について</p> <p>1. はじめに</p> <p>前回の現場調査以降、火災防護設備、重大事故等対処設備、多様性拡張設備等の追加設置に伴い没水影響評価に用いる滞留面積の減少があることから、今回、滞留面積の精緻化を図り没水影響評価について再評価を実施した。</p> <p>2. 没水影響評価</p> <p>没水影響評価に用いる滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価の変更については、ゆらぎも含め溢水水位の上昇はわずかであり、防護対象設備が機能喪失しないことを確認した。</p> <p>没水評価結果の例を表1に示す。</p> <p>表1 滞留面積を精緻化の伴う没水影響評価について（例）</p> <p>原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m 非管理区域 3EB-N12A 自動スプリンクラー</p> <table border="1" data-bbox="141 754 645 933"> <thead> <tr> <th></th> <th>① 溢水量 [m³]</th> <th>② 滞留面積 [m²]</th> <th>床勾配 [m]</th> <th>③ 溢水水位 [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>④ 機能喪失高さ [m]</th> <th>⑤ 影響評価</th> <th>⑥ 判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>変更前</td> <td>21.6</td> <td>165.7</td> <td>0.00</td> <td>0.131</td> <td rowspan="2">3A、3B 制御用空気圧縮機制御盤 (31AC-A、B)</td> <td rowspan="2">0.44</td> <td rowspan="2">③<④</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td></td> <td>71.8</td> <td>0.00</td> <td>0.301</td> </tr> </tbody> </table>		① 溢水量 [m ³]	② 滞留面積 [m ²]	床勾配 [m]	③ 溢水水位 [m]	防護対象設備	④ 機能喪失高さ [m]	⑤ 影響評価	⑥ 判定	変更前	21.6	165.7	0.00	0.131	3A、3B 制御用空気圧縮機制御盤 (31AC-A、B)	0.44	③<④	○	変更後		71.8	0.00	0.301	<p>添付資料8</p> <p>滞留面積の算出について</p> <p>1. 滞留面積の算出要領</p> <p>滞留面積については、没水影響評価結果に与える影響が大きいため、以下のような条件にて算出することを基本とし、評価における保守性を確保する。</p> <p>(1) インプット</p> <p>a. 原則として、床躯体図を用いて躯体寸法を読み取り、手計算にて床面積を算出する。</p> <p>b. 一部形状が複雑なエリアは計算が複雑となることから、CADデータを使用し床面積を算出する。</p> <p>(2) 算出範囲</p> <p>a. 壁、柱等で囲まれた範囲を単位区画として面積を算出する。(図1参照)</p> <p>b. アクセス開口及び迷路部等は床面積から除く。(図1参照)</p> <p>c. サンプ等、基準床面より掘り込んでいる部分については、有効な床面積として算出する。(図2参照)</p>	<p>添付資料8</p> <p>滞留面積の算出について</p> <p>1. 滞留面積の算出要領</p> <p>滞留面積については、没水影響評価結果に与える影響が大きいため、以下のような条件にて算出することとし、評価における保守性を確保する。</p> <p>(1) 算出方法</p> <p>a. 滞留面積の算出エリアを設定し、その内側の面積を算出する。(以下「全面積」という。)</p> <p>b. エリア内側にあるコンクリート基礎、柱、ピット、スロープ、床開口等、欠損となるコンクリート構造物の面積を算出する。(以下「基礎等欠損面積」という。)</p> <p>c. 常設機器、現場資機材、床貫通部等、滞留面積の欠損となるものの面積を現場調査により算出する。(以下「現場調査欠損面積」という。)</p> <p>d. 上記a. で算出した面積より、b. 及びc. の欠損面積を差し引く。この結果を没水評価に用いる滞留面積とする。</p> <p>(2) インプット</p> <p>a. 全面積及び基礎等欠損面積は、建築図（コンクリート形状図）を用いて躯体寸法を読み取り、手計算にて床面積を算出する。</p> <p>b. 現場調査欠損面積は、現場調査により対象となる機器等の寸法を実測し、欠損面積を算出する。（「別紙1 床面積欠損の現場測定について」参照）</p> <p>(3) 算出範囲</p> <p>a. 壁、柱等で囲まれた範囲を単位区画として面積を算出する。(図1参照)</p> <p>b. コンクリート基礎、柱、ピット、スロープ、床開口は床面積から除く。(図1参照)</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>大阪は没水評価実施後に追加設置した設備等による滞留面積の減少分を精緻化して没水評価の再評価を実施していることを説明しているが、滞留面積の算出方法は泊と同様であり、欠損面積を現場実測している。</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊は滞留面積の算出過程が明確となるよう、最初に算出方法を記載する構成としている。</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊は滞留面積の算出エリアの面積及びエリア内にある基礎等のコンクリート構造物は建築図面より算出し、評価に用いる滞留面積が現場の実態に即した精緻なものであるよう、常設機器等の欠損面積を現場実測により算出している。</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・同上</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊は全エリアに対して同様の算出方法としていることから「原則」という記載はしていない。</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では迷路部も床面積として算出している。</p> <p>・また、ピットは欠損面積として扱っており、有効な床面積として含んでいない。</p>
	① 溢水量 [m ³]	② 滞留面積 [m ²]	床勾配 [m]	③ 溢水水位 [m]	防護対象設備	④ 機能喪失高さ [m]	⑤ 影響評価	⑥ 判定																		
変更前	21.6	165.7	0.00	0.131	3A、3B 制御用空気圧縮機制御盤 (31AC-A、B)	0.44	③<④	○																		
変更後		71.8	0.00	0.301																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																								
	<p>(3) 通常評価</p> <p>没水評価を実施する際は、原則として、算出した床面積の値に0.7倍した値を使用する。基準床面より盛り上がっている部分（機器基礎、床ハッチ、スロープ、ランプ周りのカーブ、サポート類等）は0.7の係数に含まれるものとする。ただし、床面積に対して機器基礎の占有率が30%以上となる区画は、占有率に応じた係数を使用する。機器基礎の占有率に応じた係数使用区画について表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 機器基礎の占有率に応じた係数使用区画</p> <table border="1" data-bbox="698 528 1272 906"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>区画番号</th> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>床面積 [㎡]</th> <th>機器基礎面積 [㎡]</th> <th>機器基礎の占有率 [%]</th> <th>使用する係数</th> <th>エリア名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-B1F-12</td><td>R/B</td><td>B1F</td><td>102.6</td><td>33.5</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>区分II非常用MCC室</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-1F-15</td><td>R/B</td><td>1F</td><td>200.9</td><td>65.2</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>D/G (DFCS) 室</td></tr> <tr><td>3</td><td>R-2F-2-2</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>50.4</td><td>15.7</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>FCS 西結合装置 (A) 室</td></tr> <tr><td>4</td><td>R-2F-2-3</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>50.4</td><td>15.7</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>FCS 西結合装置 (B) 室</td></tr> <tr><td>5</td><td>R-2F-2-5</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>14.5</td><td>5.3</td><td>37.0</td><td>0.6</td><td>CAMS フック (A) 室</td></tr> <tr><td>6</td><td>R-2F-2-6</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>14.5</td><td>5.3</td><td>37.0</td><td>0.6</td><td>CAMS フック (B) 室</td></tr> <tr><td>7</td><td>R-2F-13-1</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>33.1</td><td>11.6</td><td>36.0</td><td>0.6</td><td>D/G (A) 非常用送風機室</td></tr> <tr><td>8</td><td>R-2F-17</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>27.4</td><td>10.2</td><td>38.0</td><td>0.6</td><td>燃料デイトンク (A) 室</td></tr> <tr><td>9</td><td>R-2F-18</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>32.1</td><td>10.2</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>燃料デイトンク (B) 室</td></tr> <tr><td>10</td><td>R-2F-19</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>27.7</td><td>9.1</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>燃料デイトンク (DFCS) 室</td></tr> <tr><td>11</td><td>C-B2F-3</td><td>C/B</td><td>B2F</td><td>113.7</td><td>57.9</td><td>51.0</td><td>0.45</td><td>DC250V バッテリー室</td></tr> <tr><td>12</td><td>C-B1F-2</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>44.4</td><td>13.7</td><td>31.0</td><td>0.65</td><td>DC125V バッテリー室 (A)</td></tr> <tr><td>13</td><td>C-B1F-4</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>70.3</td><td>28.0</td><td>40.0</td><td>0.55</td><td>DC125V バッテリー室 (B)</td></tr> <tr><td>14</td><td>C-B1F-5</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>211.8</td><td>62.1</td><td>30.0</td><td>0.65</td><td>計測制御電機室 (B)</td></tr> <tr><td>15</td><td>C-B1F-6-1</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>32.5</td><td>10.1</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>ISS 盤室</td></tr> </tbody> </table> <p>(4) 詳細評価</p> <p>最終的な溢水の滞留先となる最地下階の共通エリアや、復水器室等の機器の占有率が大きいエリアについては、詳細に算出した面積を使用する。(図3参照)</p> <p>対象とする区画は表2のとおり。</p> <p style="text-align: center;">表2 詳細に面積を算出した区画</p> <table border="1" data-bbox="698 1214 1272 1385"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>区画番号</th> <th>床面積 [㎡]</th> <th>機器基礎面積 [㎡]</th> <th>埋込金物面積 [㎡]</th> <th>合計面積 [㎡]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-B3F-1</td><td>156.7</td><td>0.4</td><td>1.0</td><td>155.3</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-B3F-12</td><td>70.8</td><td>0</td><td>0</td><td>70.8</td></tr> <tr><td>3</td><td>復水器室[※]</td><td>1621.5</td><td>286.0</td><td>73.0</td><td>1262.5</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 復水器室は T-B2F-1 の面積に含め、没水評価で使用している。</p>	No.	区画番号	建屋	フロア	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	機器基礎の占有率 [%]	使用する係数	エリア名称	1	R-B1F-12	R/B	B1F	102.6	33.5	33.0	0.65	区分II非常用MCC室	2	R-1F-15	R/B	1F	200.9	65.2	33.0	0.65	D/G (DFCS) 室	3	R-2F-2-2	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 西結合装置 (A) 室	4	R-2F-2-3	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 西結合装置 (B) 室	5	R-2F-2-5	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS フック (A) 室	6	R-2F-2-6	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS フック (B) 室	7	R-2F-13-1	R/B	2F	33.1	11.6	36.0	0.6	D/G (A) 非常用送風機室	8	R-2F-17	R/B	2F	27.4	10.2	38.0	0.6	燃料デイトンク (A) 室	9	R-2F-18	R/B	2F	32.1	10.2	32.0	0.65	燃料デイトンク (B) 室	10	R-2F-19	R/B	2F	27.7	9.1	33.0	0.65	燃料デイトンク (DFCS) 室	11	C-B2F-3	C/B	B2F	113.7	57.9	51.0	0.45	DC250V バッテリー室	12	C-B1F-2	C/B	B1F	44.4	13.7	31.0	0.65	DC125V バッテリー室 (A)	13	C-B1F-4	C/B	B1F	70.3	28.0	40.0	0.55	DC125V バッテリー室 (B)	14	C-B1F-5	C/B	B1F	211.8	62.1	30.0	0.65	計測制御電機室 (B)	15	C-B1F-6-1	C/B	B1F	32.5	10.1	32.0	0.65	ISS 盤室	No.	区画番号	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	埋込金物面積 [㎡]	合計面積 [㎡]	1	R-B3F-1	156.7	0.4	1.0	155.3	2	R-B3F-12	70.8	0	0	70.8	3	復水器室 [※]	1621.5	286.0	73.0	1262.5	<p>(4) 現場調査欠損面積の算出</p> <p>現場調査欠損面積は、現場実測により算出した欠損面積に対し、すべてのエリアにおいて一律に25%の割り増しを行う。現場調査による欠損面積の対象外とした0.01㎡未満の機器は割り増しに含まれるものとする。</p> <p>現場調査欠損面積の現場実測の例を図2に示す。</p>	<p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は床面積に対する機器等の占有率に応じて通常評価又は詳細評価を実施しているのに対し、泊は全エリアに対して同様の算出方法としている。 ・また、女川は滞留面積の算出時に係数を乗じることで保守性を確保しているのに対し、泊は全区画の欠損面積を一律に25%割り増しすることで保守性を確保している。 <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同上
No.	区画番号	建屋	フロア	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	機器基礎の占有率 [%]	使用する係数	エリア名称																																																																																																																																																																			
1	R-B1F-12	R/B	B1F	102.6	33.5	33.0	0.65	区分II非常用MCC室																																																																																																																																																																			
2	R-1F-15	R/B	1F	200.9	65.2	33.0	0.65	D/G (DFCS) 室																																																																																																																																																																			
3	R-2F-2-2	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 西結合装置 (A) 室																																																																																																																																																																			
4	R-2F-2-3	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 西結合装置 (B) 室																																																																																																																																																																			
5	R-2F-2-5	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS フック (A) 室																																																																																																																																																																			
6	R-2F-2-6	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS フック (B) 室																																																																																																																																																																			
7	R-2F-13-1	R/B	2F	33.1	11.6	36.0	0.6	D/G (A) 非常用送風機室																																																																																																																																																																			
8	R-2F-17	R/B	2F	27.4	10.2	38.0	0.6	燃料デイトンク (A) 室																																																																																																																																																																			
9	R-2F-18	R/B	2F	32.1	10.2	32.0	0.65	燃料デイトンク (B) 室																																																																																																																																																																			
10	R-2F-19	R/B	2F	27.7	9.1	33.0	0.65	燃料デイトンク (DFCS) 室																																																																																																																																																																			
11	C-B2F-3	C/B	B2F	113.7	57.9	51.0	0.45	DC250V バッテリー室																																																																																																																																																																			
12	C-B1F-2	C/B	B1F	44.4	13.7	31.0	0.65	DC125V バッテリー室 (A)																																																																																																																																																																			
13	C-B1F-4	C/B	B1F	70.3	28.0	40.0	0.55	DC125V バッテリー室 (B)																																																																																																																																																																			
14	C-B1F-5	C/B	B1F	211.8	62.1	30.0	0.65	計測制御電機室 (B)																																																																																																																																																																			
15	C-B1F-6-1	C/B	B1F	32.5	10.1	32.0	0.65	ISS 盤室																																																																																																																																																																			
No.	区画番号	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	埋込金物面積 [㎡]	合計面積 [㎡]																																																																																																																																																																						
1	R-B3F-1	156.7	0.4	1.0	155.3																																																																																																																																																																						
2	R-B3F-12	70.8	0	0	70.8																																																																																																																																																																						
3	復水器室 [※]	1621.5	286.0	73.0	1262.5																																																																																																																																																																						



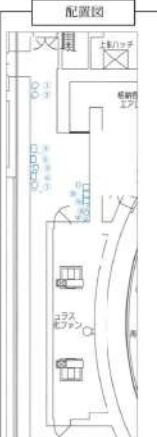

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料8）


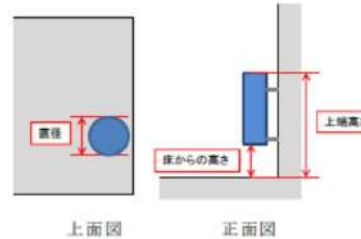
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>9 スロープ部の滞留面積の考え方について</p> <p>大阪発電所の現場にあるスロープ部の考え方については、図1のとおり、スロープ部全面及びフロアレベルよりも高い床面は、滞留面積から除いて評価している。</p> <p>(例)</p>  <p>3号炉 E.L.+26.0m 北側通路部には、勾配が76cmのスロープがあるため、スロープ部全面及びフロアレベルよりも高い床面は、滞留面積から除いている。</p> <p>図1 スロープ部の滞留面積の考え方</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項のため、公開できません。</p>	<p>(5) 数値処理</p> <p>面積の算出は「m²」単位で行い、小数第2位を切り捨てる。(床面積算出後に切り捨てを実施し、更に0.7倍後に切り捨てる。)</p>  <p>図1 面積算出範囲</p>  <p>図2 掘り込み部の扱い (例：最地下階サンプ)</p>  <p>図3 詳細に床面積を算出する場合の算出範囲 (例)</p>	<p>(5) 数値処理</p> <p>面積の算出は「m²」単位で行い、小数第2位を切り捨てる。</p>  <p>図1 面積算出範囲</p>	<p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊では最終的な滞留面積算出時に切り捨て処理を行っている。 <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊では(ビット)は欠損面積として扱っており、有効な床面積として含んでいない。 <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊では全てのエリアに対して同様の算出方法により滞留面積を算出していることから、女川のように「通常評価」と「詳細評価」の区別は無いが、機器基礎を床面積から除外していることは同様である。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

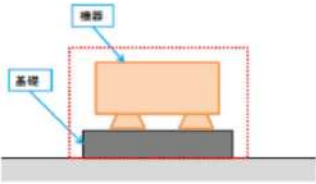
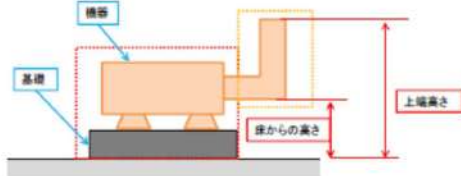
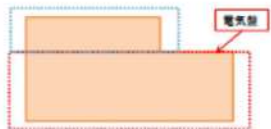
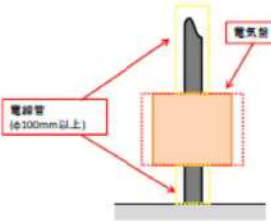
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料8）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																												
<p>(17 滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価について)</p> <p>(例) 大災防護設備(盤)</p> <p>大阪3号炉 床面積精緻化に伴う対象物の調査結果</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" data-bbox="152 359 672 590"> <caption>管理表</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">番号</th> <th rowspan="2">対象物 種類</th> <th colspan="2">測定寸法(mm)</th> <th rowspan="2">欠損面積 (m²)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>形状-口 縦</th> <th>横</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>033</td> <td>① 土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>033</td> <td>② 土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>033</td> <td>③ 土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>033</td> <td>④ 土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>034</td> <td>① 土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>034</td> <td>② 土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1個</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="112 654 425 893" style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 150px; text-align: center;"> <p>配置図</p> </div> <div data-bbox="481 654 672 973" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>写真</p>  <p>No. 33①～④</p>  <p>No. 34①～②</p> </div> </div>	番号	対象物 種類	測定寸法(mm)		欠損面積 (m ²)	備考	形状-口 縦	横	033	① 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個	033	② 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個	033	③ 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個	033	④ 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個	034	① 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個	034	② 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個		<p>(例) R/B33.1m 3RB-C-1通路, エアロック室①</p> <div style="text-align: center; margin-bottom: 20px;"> <table border="1" data-bbox="1288 263 1848 550"> <caption>管理表</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th rowspan="2">設備名称</th> <th colspan="2">形状-口</th> <th colspan="2">内容-口</th> <th colspan="2">水平配置-形状サイズ</th> <th colspan="2">床面積-形状サイズ</th> </tr> <tr> <th>縦</th> <th>横</th> <th>縦</th> <th>横</th> <th>縦</th> <th>横</th> <th>縦</th> <th>横</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>機</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.021</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>機</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.021</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>大規模機器類(冷却機-1)</td> <td>350</td> <td>250</td> <td>0.088</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>200V制御盤(冷却機用) (3R331-0)</td> <td>400</td> <td>200</td> <td>0.080</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>配電盤</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.042</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>大規模機器類(冷却機-2)</td> <td>350</td> <td>250</td> <td>0.088</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>配電盤</td> <td></td> <td></td> <td>110</td> <td>0.01</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>機</td> <td></td> <td></td> <td>320</td> <td>0.022</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>エアロック室(機) (3R331-0)</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>0.060</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>エアロック室(機) (3R331-0)</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>0.060</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>エアロック室(機) (3R331-0)</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>0.060</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1288 566 1444 1005" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>配置図</p>  </div> <div data-bbox="1467 566 1848 1005" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>写真</p>  </div> </div>	No.	設備名称	形状-口		内容-口		水平配置-形状サイズ		床面積-形状サイズ		縦	横	縦	横	縦	横	縦	横	1	機			300	0.021			0	118	2	機			300	0.021			0	118	3	大規模機器類(冷却機-1)	350	250	0.088				300	300	4	200V制御盤(冷却機用) (3R331-0)	400	200	0.080				300	300	5	配電盤			300	0.042			0	120	6	大規模機器類(冷却機-2)	350	250	0.088				0	300	7	配電盤			110	0.01			0	200	8	機			320	0.022			0	400	9	エアロック室(機) (3R331-0)	300	200	0.060				0	300	10	エアロック室(機) (3R331-0)	300	200	0.060				0	300	11	エアロック室(機) (3R331-0)	300	200	0.060				0	300	<p>記載方針の相違</p> <p>・泊では常設機器等の欠損面積を現場実測により算出していることから、現場実測の例を図2に示している。</p>
番号			対象物 種類	測定寸法(mm)			欠損面積 (m ²)	備考																																																																																																																																																																							
	形状-口 縦	横																																																																																																																																																																													
033	① 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個																																																																																																																																																																										
033	② 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個																																																																																																																																																																										
033	③ 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個																																																																																																																																																																										
033	④ 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個																																																																																																																																																																										
034	① 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個																																																																																																																																																																										
034	② 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個																																																																																																																																																																										
No.	設備名称	形状-口		内容-口		水平配置-形状サイズ		床面積-形状サイズ																																																																																																																																																																							
		縦	横	縦	横	縦	横	縦	横																																																																																																																																																																						
1	機			300	0.021			0	118																																																																																																																																																																						
2	機			300	0.021			0	118																																																																																																																																																																						
3	大規模機器類(冷却機-1)	350	250	0.088				300	300																																																																																																																																																																						
4	200V制御盤(冷却機用) (3R331-0)	400	200	0.080				300	300																																																																																																																																																																						
5	配電盤			300	0.042			0	120																																																																																																																																																																						
6	大規模機器類(冷却機-2)	350	250	0.088				0	300																																																																																																																																																																						
7	配電盤			110	0.01			0	200																																																																																																																																																																						
8	機			320	0.022			0	400																																																																																																																																																																						
9	エアロック室(機) (3R331-0)	300	200	0.060				0	300																																																																																																																																																																						
10	エアロック室(機) (3R331-0)	300	200	0.060				0	300																																																																																																																																																																						
11	エアロック室(機) (3R331-0)	300	200	0.060				0	300																																																																																																																																																																						
<p>図1 滞留面積精緻化に伴う資料について</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項のため、公開できません。</p> </div>		<p>図2 床面積欠損対象物の測定結果例</p>																																																																																																																																																																													

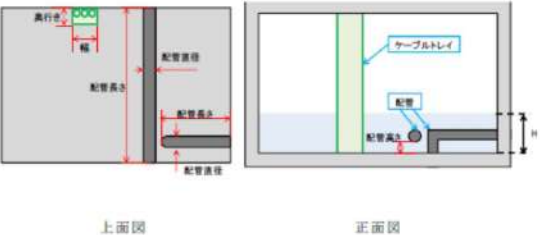
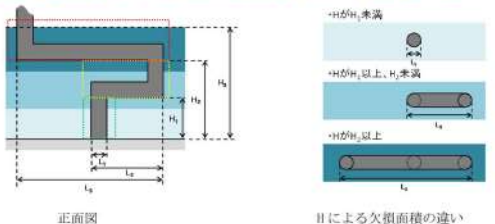
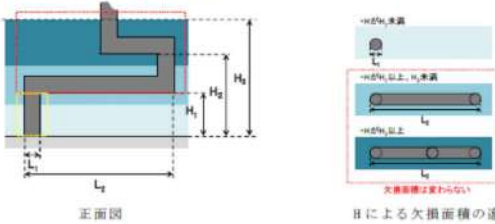
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p style="text-align: right;">別紙1</p> <p style="text-align: center;">床面積欠損の現場測定について</p> <p>1. はじめに 溢水防護区画内に設置されている床面積の欠損となる設置物の現場における測定について示す。</p> <p>2. 測定要領 測定対象物の種類、形状ごとに測定方法を記載する。 欠損面積の対象となる床面からの高さの範囲は、想定される溢水水位の1.5倍が1m以下の場合は1m、溢水水位の1.5倍が1mより高い場合は、溢水水位×1.5となる高さとし、その高さをHとする。</p> <p>(1) 壁に掛けてある設備 ① 形状：直方体 床面からの高さがH以下である機器等の寸法（幅、奥行き、床面からの高さ、上端高さ）を測定する。</p> <div style="text-align: center;">  <p>上面図 正面図</p> </div> <p>② 形状：円柱形 床面からの高さがH以下である機器等の寸法（直径、床面からの高さ、上端高さ）を測定する。</p> <div style="text-align: center;">  <p>上面図 正面図</p> </div> <p>(2) 基礎の土台上に設置されている機器 ① 基礎から機器がはみ出さない場合 基礎の面積を欠損面積とする。基礎のため、基礎等による欠損面積を建屋図面から算出した数値に含まれていることを確認する。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>・泊では常設機器等の欠損面積を現場実測により算出していることから、測定要領について別紙1に記載している。</p>


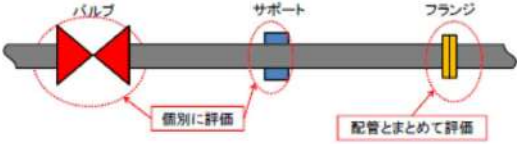

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p data-bbox="1422 183 1736 367">  </p> <p data-bbox="1288 383 1859 478"> ② 基礎から機器がはみ出ている場合 基礎の外にあり、床からの高さがH以下の部分の寸法（幅、奥行き、床からの高さ、上端高さ）を測定する。 </p> <p data-bbox="1344 486 1803 662">  </p> <p data-bbox="1288 686 1859 813"> (3) 電気盤 ① 電気盤の形状が複雑な場合 電気盤を直方体の形状に分割して、すべての分割した直方体の各寸法（幅、奥行き、床からの高さ、上端高さ）を測定する。 </p> <p data-bbox="1444 837 1713 965">  </p> <p data-bbox="1288 997 1859 1220"> ② 電気盤の上下にケーブルトレイや電線管が接続されている場合 ケーブルトレイ・電線管の幅が100mm以上であれば、ケーブルトレイや電線管も欠損面積の対象となり、Hの位置によっては電気盤が欠損面積の対象とならない可能性があるため、電気盤の下に接続しているケーブルトレイや電線管の寸法（直径、床からの高さ、上端高さ）を測定する。 </p> <p data-bbox="1444 1236 1713 1460">  </p>	


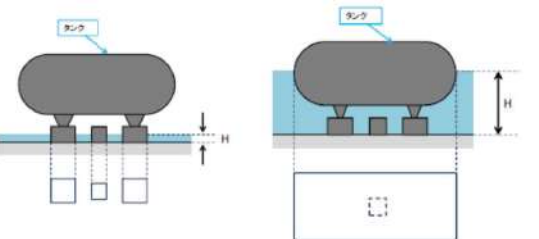
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(4) 配管、ダクト、ケーブルトレイ</p> <p>① 配管、ダクト、ケーブルトレイの測定について 直径100mm以上の配管、短辺100mm以下のケーブルトレイは欠損面積の対象となり、高さH以下にある対象物の寸法(配管：直径・配管長さ・上端高さ・下端高さ、ケーブルトレイ：幅・奥行き・上端高さ・下端高さ)を測定する。角型ダクトの場合はケーブルトレイ、丸型ダクトの場合は配管と同様の測定を行う。</p>  <p>② 配管の形状が複雑な場合 (パターン1) Hの高さによって欠損面積の対象となる配管の範囲が異なり、欠損面積の大きさが変わってくる。Hの高さが変更となる可能性もあるため、配管を分割して、分割したすべての配管の寸法(配管径、配管長さ、下端高さ、上端高さ等)を測定する。</p>  <p>③ 配管の形状が複雑な場合 (パターン2) 下記の形状の場合、欠損面積は2通りの可能性があり、配管を2分割して寸法を測定する。</p> 	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>④ 配管が上下で複数重なる場合</p> <p>配管が上下で複数重なる場合、重なる配管をまとめて評価するとして寸法を測定する。寸法は、重なる配管のうち一番太い配管の直径を配管直径、一番長い配管の長さを配管長さ、一番下の配管の下端を下端高さ、一番上の配管の上端を上端高さとする。</p>  <p>⑤ 配管にバルブ、サポート、フランジ等が付属している場合</p> <p>バルブ、サポートは配管と別に評価することとし、寸法を測定する。フランジについては配管の一部として配管に含めて個別には評価をしない。</p> <p>ただし、配管直径が100mm未満の場合は、弁駆動部を除いて配管の付属品は評価しない。</p>  <p>(5) 堰</p> <p>① 堰の測定について</p> <p>堰本体の高さが50mm以上であれば、欠損面積の対象となるため、堰の寸法（幅と奥行きと上端高さ）を測定する。また、堰によって囲まれて水が浸入しない範囲があれば欠損面積の対象として、その範囲の寸法を測定する。</p> 	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>② 配管貫通部の堰について</p> <p>堰に配管が貫通する場合、配管の直径100mm以上であれば、配管の上端高さを堰の上端高さとする。配管の直径が100mm未満であれば堰本体の高さを堰の上端高さとする。</p>  <p>(6) Hの高さにより形状が変更となるもの</p> <p>Hの高さにより欠損面積となる部分が異なる。Hがタンクの下端高さより下であれば、基礎及びタンクの下の構造物の寸法（幅、奥行き、上端高さ）を測定する。Hがタンクの下端高さより上であれば、タンクの寸法（幅、奥行き、上端高さ、下端高さ）を測定し、さらに考慮するHが低くなる可能性もあるため、基礎及びタンクの下構造物の寸法（幅、奥行き、上端高さ）を測定する。</p> 	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">別紙 18</p> <p>A、B、C 充てんポンプの没水影響評価</p> <p>添付資料 1.4.1-2:「想定破損による溢水影響評価」の備考欄「※トレン分離されており同時に機能喪失しない。隣接する別区画のポンプは機能喪失しない。」について以下に説明する。</p> <p>充てんポンプが設置された各区画には破損を想定する配管が敷設されており、溢水量 44.7m³が流出すると溢水水位はポンプの機能喪失高さを超えるため、破損した区画のポンプが没水する。</p> <div data-bbox="116 635 689 906" style="border: 2px solid green; height: 170px; width: 256px; margin: 10px 0;"></div> <p style="text-align: center;">図1 A、B、C 充てんポンプの配置</p> <p>しかし1つの区画内の破損によって3つの区画の溢水水位がポンプの機能喪失高さを同時に超えることはない。</p> <p>以上により、充てんポンプは設計上多重性を有しており、かつ、別々の区画に設置されていることから、トレン分離されており同時に機能喪失しない。</p> <div data-bbox="159 1252 645 1279" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>		<p style="text-align: right;">補足説明資料 10</p> <p>A、B、C 充てんポンプの没水影響評価</p> <p>添付資料 17「想定破損による溢水影響評価」の備考欄「※トレン分離されており同時に機能喪失しない。隣接する別区画のポンプは機能喪失しない。」について以下に説明する。</p> <p>充てんポンプが設置された各区画には破損を想定する配管が敷設されており、溢水量 37.6m³が流出すると溢水水位はポンプの機能喪失高さを超えるため、破損した区画のポンプが没水する。</p> <div data-bbox="1292 635 1865 954" style="border: 2px solid green; height: 200px; width: 256px; margin: 10px 0;"></div> <p style="text-align: center;">図1 A、B、C 充てんポンプの配置</p> <p>しかし1つの区画内の破損によって3つの区画の溢水水位がポンプの機能喪失高さを同時に超えることはない。</p> <p>以上により、充てんポンプは設計上多重性を有しており、かつ、別々の区画に設置されていることから、トレン分離されており同時に機能喪失しない。</p> <div data-bbox="1335 1252 1821 1279" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<p>記載表現の相違</p> <p>記載内容の相違 想定破損評価結果における溢水量の違い。溢水影響評価方法については、大阪と同様である。</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料 42）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由										
<p style="text-align: right;">別紙3</p> <p>内部溢水影響評価における継続的な管理</p> <p>今後、内部溢水影響評価については、火災荷重や滞留面積の変更等について、継続的に当社にて管理していくことを目的に「内部溢水発生時における原子炉施設の保全のための活動所則」を制定する予定である。</p> <p>本マニュアルに記載する内容について以下の項目を検討している。なお、本マニュアルは当社 QMS 体系に組み込み継続的に一元管理する。</p>		<p style="text-align: right;">補足説明資料 42</p> <p>内部溢水影響評価における継続的な管理</p> <p>今後、内部溢水影響評価については、火災荷重や滞留面積の変更等について、継続的に当社にて管理していくことを目的に、以下のマニュアル類に内部溢水の影響評価に関連する記載を反映する予定である。</p> <p>【反映予定先マニュアル】</p> <p>「泊発電所内部溢水対応要則」、「泊発電所常設物・仮置物管理要則」</p> <p>「泊発電所設計基準事象影響評価要則」、「泊発電所影響評価細則」</p> <p>マニュアルに記載する内容については、以下の項目を検討している。なお、各種マニュアルは当社 QMS 体系に組み込み継続的に管理する。</p> <p>また、常設物・仮置物の設置においては、申請された物品の発熱量を考慮した放水時間、及び申請された物品の欠損面積を考慮した上で溢水影響評価に影響を与えないことを確認している。（別紙1）</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>・常設物・仮置物の設置に関する実運用のフローを記載。</p>										
<p>表1 内部溢水発生時における原子炉施設の保全のための活動所則(1/5)</p>		<p>表1 各種マニュアルへの反映事項(1/3)</p>	<p>記載表現の相違</p>										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>マニュアルへの反映事項</th> <th>記載内容(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 評価を実施する項目 当社において、各種工事及び恒設設備(事務用品、資機材等含む)を計画する段階に確認が必要な内容を記載する。</td> <td>1. 評価する項目の確認 ①水(蒸気含む)を保有する機器(配管含む)を新たに設置又は既設設備を改造する場合 ②設備の新設又は既設設備の改造に伴う火災荷重及び消火設備の見直しがある場合 ③防護対象区画エリア及び溢水経路の見直しがある場合 ④防護対象区画エリア及び溢水経路上に恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置することにより床面積の変更がある場合</td> </tr> </tbody> </table>	マニュアルへの反映事項	記載内容(案)	1. 評価を実施する項目 当社において、各種工事及び恒設設備(事務用品、資機材等含む)を計画する段階に確認が必要な内容を記載する。	1. 評価する項目の確認 ①水(蒸気含む)を保有する機器(配管含む)を新たに設置又は既設設備を改造する場合 ②設備の新設又は既設設備の改造に伴う火災荷重及び消火設備の見直しがある場合 ③防護対象区画エリア及び溢水経路の見直しがある場合 ④防護対象区画エリア及び溢水経路上に恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置することにより床面積の変更がある場合		<table border="1"> <thead> <tr> <th>マニュアルへの反映事項</th> <th>記載内容(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 評価を実施する項目 当社において、各種工事及び恒設設備・資機材の設置を計画する段階で確認が必要な内容を記載する。</td> <td>1. 評価する項目の確認 ①水(蒸気含む)を保有する機器(配管含む)を新たに設置並びに既設設備を改造する場合 ②設備の新設並びに既設設備の改造に伴う火災荷重及び消火設備の見直しがある場合 ③防護対象区画エリア並びに溢水経路の見直しがある場合 ④防護対象区画エリア並びに溢水経路上に恒設設備を設置することにより床面積の変更がある場合</td> </tr> <tr> <td>2. 評価の方法の明記 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」に従い評価内容、評価方法を記載する。</td> <td>2. 評価の方法の明記 ①想定破損による溢水影響評価方法(浸水、被水、蒸気) ②消火放水による溢水影響評価方法(浸水、被水) ③地震による溢水影響評価方法(浸水、被水、蒸気)</td> </tr> </tbody> </table>	マニュアルへの反映事項	記載内容(案)	1. 評価を実施する項目 当社において、各種工事及び恒設設備・資機材の設置を計画する段階で確認が必要な内容を記載する。	1. 評価する項目の確認 ①水(蒸気含む)を保有する機器(配管含む)を新たに設置並びに既設設備を改造する場合 ②設備の新設並びに既設設備の改造に伴う火災荷重及び消火設備の見直しがある場合 ③防護対象区画エリア並びに溢水経路の見直しがある場合 ④防護対象区画エリア並びに溢水経路上に恒設設備を設置することにより床面積の変更がある場合	2. 評価の方法の明記 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」に従い評価内容、評価方法を記載する。	2. 評価の方法の明記 ①想定破損による溢水影響評価方法(浸水、被水、蒸気) ②消火放水による溢水影響評価方法(浸水、被水) ③地震による溢水影響評価方法(浸水、被水、蒸気)	
マニュアルへの反映事項	記載内容(案)												
1. 評価を実施する項目 当社において、各種工事及び恒設設備(事務用品、資機材等含む)を計画する段階に確認が必要な内容を記載する。	1. 評価する項目の確認 ①水(蒸気含む)を保有する機器(配管含む)を新たに設置又は既設設備を改造する場合 ②設備の新設又は既設設備の改造に伴う火災荷重及び消火設備の見直しがある場合 ③防護対象区画エリア及び溢水経路の見直しがある場合 ④防護対象区画エリア及び溢水経路上に恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置することにより床面積の変更がある場合												
マニュアルへの反映事項	記載内容(案)												
1. 評価を実施する項目 当社において、各種工事及び恒設設備・資機材の設置を計画する段階で確認が必要な内容を記載する。	1. 評価する項目の確認 ①水(蒸気含む)を保有する機器(配管含む)を新たに設置並びに既設設備を改造する場合 ②設備の新設並びに既設設備の改造に伴う火災荷重及び消火設備の見直しがある場合 ③防護対象区画エリア並びに溢水経路の見直しがある場合 ④防護対象区画エリア並びに溢水経路上に恒設設備を設置することにより床面積の変更がある場合												
2. 評価の方法の明記 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」に従い評価内容、評価方法を記載する。	2. 評価の方法の明記 ①想定破損による溢水影響評価方法(浸水、被水、蒸気) ②消火放水による溢水影響評価方法(浸水、被水) ③地震による溢水影響評価方法(浸水、被水、蒸気)												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1補足説明資料42）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
<p>表1 内部溢水発生時における原子炉施設の保全のための活動所則(2/5)</p> <table border="1" data-bbox="114 256 680 798"> <thead> <tr> <th>マニュアルへの反映事項</th> <th>記載内容(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2. 評価の方法の明記 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」に従い評価内容、評価方法を記載する。</td> <td>2. 評価の方法の明記 ①想定破損による溢水影響評価方法(没水、被水、蒸気) ②放水による溢水影響評価方法(没水、被水) ③地震による溢水影響評価方法(没水、被水、蒸気)</td> </tr> <tr> <td>3. 溢水源に係る評価 今回の評価結果を基に溢水源の変更の有無の確認</td> <td>3. 溢水源に係る評価 溢水源の追加/変更に伴う評価を行い溢水源リストの変更がある場合は、溢水源リストの変更を行う。</td> </tr> <tr> <td>4. 防護対象設備に係る評価 今回の評価結果を基に抽出した防護対象設備(機能喪失高さ)の確認</td> <td>4. 防護対象設備に係る評価 防護対象設備に対して溢水影響のないことを確認すると共に、防護対象設備リストの変更がある場合は、防護対象設備リストの変更を行う。</td> </tr> </tbody> </table>	マニュアルへの反映事項	記載内容(案)	2. 評価の方法の明記 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」に従い評価内容、評価方法を記載する。	2. 評価の方法の明記 ①想定破損による溢水影響評価方法(没水、被水、蒸気) ②放水による溢水影響評価方法(没水、被水) ③地震による溢水影響評価方法(没水、被水、蒸気)	3. 溢水源に係る評価 今回の評価結果を基に溢水源の変更の有無の確認	3. 溢水源に係る評価 溢水源の追加/変更に伴う評価を行い溢水源リストの変更がある場合は、溢水源リストの変更を行う。	4. 防護対象設備に係る評価 今回の評価結果を基に抽出した防護対象設備(機能喪失高さ)の確認	4. 防護対象設備に係る評価 防護対象設備に対して溢水影響のないことを確認すると共に、防護対象設備リストの変更がある場合は、防護対象設備リストの変更を行う。		<p>表1 各種マニュアルへの反映事項(2/3)</p> <table border="1" data-bbox="1288 256 1854 1114"> <thead> <tr> <th>マニュアルへの反映事項</th> <th>記載内容(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3. 溢水源に係る評価 今回の評価結果を基に溢水源の変更の有無の確認</td> <td>3. 溢水源に係る評価 溢水源の追加/変更に伴う評価を行い、溢水源リストの変更がある場合は、溢水源リストの変更を行う。</td> </tr> <tr> <td>4. 防護対象設備に係る評価 今回の評価結果を基に抽出した防護対象設備(機能喪失高さ)の確認</td> <td>4. 防護対象設備に係る評価 防護対象設備に対して溢水影響のないことを確認するとともに、防護対象設備リストの変更がある場合は、防護対象設備リストの変更を行う。</td> </tr> <tr> <td>5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 今回の評価結果を基に設定した溢水防護区画及び溢水経路の設定の確認</td> <td>5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 溢水防護区画及び溢水経路に対して溢水影響のないことを確認するとともに、必要な対策を実施した場合は溢水防護区画及び溢水経路の変更を行う。また溢水経路上の扉においては、開放する場合も考慮し溢水が他区画へ流入する場合、必要な対策工事(シール等)をけつ。</td> </tr> <tr> <td>6. 消火水放水による溢水影響評価 今回の評価結果を基に火災活動における設備対応の変更有無の確認</td> <td>6. 消火水放水による溢水影響評価 消火活動における放水による時間設定エリアを基に、防護対象設備に対して、各建屋、各フロアで管理区域/非管理区域ごとに、当該エリアで機能喪失高さが最も低い防護対象設備を選定し、消火水の放水による溢水量から算出される溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さを比較し、没水影響について再評価するとともに、必要な対策を実施した場合には、各リストの変更を実施する。</td> </tr> </tbody> </table>	マニュアルへの反映事項	記載内容(案)	3. 溢水源に係る評価 今回の評価結果を基に溢水源の変更の有無の確認	3. 溢水源に係る評価 溢水源の追加/変更に伴う評価を行い、溢水源リストの変更がある場合は、溢水源リストの変更を行う。	4. 防護対象設備に係る評価 今回の評価結果を基に抽出した防護対象設備(機能喪失高さ)の確認	4. 防護対象設備に係る評価 防護対象設備に対して溢水影響のないことを確認するとともに、防護対象設備リストの変更がある場合は、防護対象設備リストの変更を行う。	5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 今回の評価結果を基に設定した溢水防護区画及び溢水経路の設定の確認	5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 溢水防護区画及び溢水経路に対して溢水影響のないことを確認するとともに、必要な対策を実施した場合は溢水防護区画及び溢水経路の変更を行う。また溢水経路上の扉においては、開放する場合も考慮し溢水が他区画へ流入する場合、必要な対策工事(シール等)をけつ。	6. 消火水放水による溢水影響評価 今回の評価結果を基に火災活動における設備対応の変更有無の確認	6. 消火水放水による溢水影響評価 消火活動における放水による時間設定エリアを基に、防護対象設備に対して、各建屋、各フロアで管理区域/非管理区域ごとに、当該エリアで機能喪失高さが最も低い防護対象設備を選定し、消火水の放水による溢水量から算出される溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さを比較し、没水影響について再評価するとともに、必要な対策を実施した場合には、各リストの変更を実施する。	<p>記載表現の相違</p>
マニュアルへの反映事項	記載内容(案)																				
2. 評価の方法の明記 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」に従い評価内容、評価方法を記載する。	2. 評価の方法の明記 ①想定破損による溢水影響評価方法(没水、被水、蒸気) ②放水による溢水影響評価方法(没水、被水) ③地震による溢水影響評価方法(没水、被水、蒸気)																				
3. 溢水源に係る評価 今回の評価結果を基に溢水源の変更の有無の確認	3. 溢水源に係る評価 溢水源の追加/変更に伴う評価を行い溢水源リストの変更がある場合は、溢水源リストの変更を行う。																				
4. 防護対象設備に係る評価 今回の評価結果を基に抽出した防護対象設備(機能喪失高さ)の確認	4. 防護対象設備に係る評価 防護対象設備に対して溢水影響のないことを確認すると共に、防護対象設備リストの変更がある場合は、防護対象設備リストの変更を行う。																				
マニュアルへの反映事項	記載内容(案)																				
3. 溢水源に係る評価 今回の評価結果を基に溢水源の変更の有無の確認	3. 溢水源に係る評価 溢水源の追加/変更に伴う評価を行い、溢水源リストの変更がある場合は、溢水源リストの変更を行う。																				
4. 防護対象設備に係る評価 今回の評価結果を基に抽出した防護対象設備(機能喪失高さ)の確認	4. 防護対象設備に係る評価 防護対象設備に対して溢水影響のないことを確認するとともに、防護対象設備リストの変更がある場合は、防護対象設備リストの変更を行う。																				
5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 今回の評価結果を基に設定した溢水防護区画及び溢水経路の設定の確認	5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 溢水防護区画及び溢水経路に対して溢水影響のないことを確認するとともに、必要な対策を実施した場合は溢水防護区画及び溢水経路の変更を行う。また溢水経路上の扉においては、開放する場合も考慮し溢水が他区画へ流入する場合、必要な対策工事(シール等)をけつ。																				
6. 消火水放水による溢水影響評価 今回の評価結果を基に火災活動における設備対応の変更有無の確認	6. 消火水放水による溢水影響評価 消火活動における放水による時間設定エリアを基に、防護対象設備に対して、各建屋、各フロアで管理区域/非管理区域ごとに、当該エリアで機能喪失高さが最も低い防護対象設備を選定し、消火水の放水による溢水量から算出される溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さを比較し、没水影響について再評価するとともに、必要な対策を実施した場合には、各リストの変更を実施する。																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1補足説明資料42）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																
<p>表1 内部溢水発生時における原子炉施設の保全のための活動所則(3/5)</p> <table border="1" data-bbox="98 255 689 933"> <thead> <tr> <th>マニュアルへの反映事項</th> <th>記載内容(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="98 255 392 598"> 5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 今回の評価結果を基に、設定した溢水防護区画及び溢水経路の設定の確認 </td> <td data-bbox="392 255 689 598"> 5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 溢水防護区画及び溢水経路に対して溢水影響のないことを確認すると共に、必要な対策を実施した場合は溢水防護区画及び溢水経路の変更を行う。また溢水経路上の扉においては、開放する場合も考慮し溢水が他区画へ流入する場合は、必要な対策工事(流出防止対策等)を行う。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="98 598 392 933"> 6. 放水による溢水影響評価 今回の評価結果を基に火災活動における設備対応の変更有無の確認 </td> <td data-bbox="392 598 689 933"> 6. 放水による溢水影響評価 消火活動における放水による時間設定エリアを基に、防護対象設備に対して、各建屋、各フロアで管理区域、非管理区域ごとに、当該エリアで機能喪失高さが最も低い防護対象設備を選定し、消火活動による溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較し溢水影響について再評価すると共に、必要な対策を実施した場合には、各リストの変更を実施する。 </td> </tr> </tbody> </table>	マニュアルへの反映事項	記載内容(案)	5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 今回の評価結果を基に、設定した溢水防護区画及び溢水経路の設定の確認	5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 溢水防護区画及び溢水経路に対して溢水影響のないことを確認すると共に、必要な対策を実施した場合は溢水防護区画及び溢水経路の変更を行う。また溢水経路上の扉においては、開放する場合も考慮し溢水が他区画へ流入する場合は、必要な対策工事(流出防止対策等)を行う。	6. 放水による溢水影響評価 今回の評価結果を基に火災活動における設備対応の変更有無の確認	6. 放水による溢水影響評価 消火活動における放水による時間設定エリアを基に、防護対象設備に対して、各建屋、各フロアで管理区域、非管理区域ごとに、当該エリアで機能喪失高さが最も低い防護対象設備を選定し、消火活動による溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較し溢水影響について再評価すると共に、必要な対策を実施した場合には、各リストの変更を実施する。		<p>表1 各種マニュアルへの反映事項(3/3)</p> <table border="1" data-bbox="1279 255 1868 1149"> <thead> <tr> <th>マニュアルへの反映事項</th> <th>記載内容(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1279 255 1579 654"> 7. 防護対象区画エリア並びに溢水経路上に恒設設備または資機材(常設物、仮設物等)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価。 </td> <td data-bbox="1579 255 1868 654"> 7. 防護対象区画エリア並びに溢水経路上に恒設設備または資機材(常設物、仮設物等)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価 ① 防護対象区画エリア並びに溢水経路ごとに溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さを比較し溢水影響について再評価するとともに、必要な対策を実施した場合は、各リストの変更を実施する。 ② 防護対象区画エリア並びに溢水経路に新たな常設物を設置する場合は、アクセス性を考慮して確実な固縛を実施することを確認する。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1279 654 1579 750"> 8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に用いた帳票類の管理方法 </td> <td data-bbox="1579 654 1868 750"> 8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に必要な帳票の管理方法を構築する。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1279 750 1579 1021"> 9. その他 ① 消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項提示の管理方法 </td> <td data-bbox="1579 750 1868 1021"> 9. その他 ① 防護対象設備が設置されているエリアで消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項を、現場の防護対象設備設置エリアに提示する。  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1279 1021 1579 1149"> ② 管理区域内で消火栓を用いた消火活動実施後の内部溢水影響評価の検証 </td> <td data-bbox="1579 1021 1868 1149"> ② 管理区域内で実際に火災が発生し、消火栓を用いた消火活動を実施した場合、その消火活動の結果を踏まえ、内部溢水影響評価の妥当性について検証を行う。 </td> </tr> </tbody> </table>	マニュアルへの反映事項	記載内容(案)	7. 防護対象区画エリア並びに溢水経路上に恒設設備または資機材(常設物、仮設物等)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価。	7. 防護対象区画エリア並びに溢水経路上に恒設設備または資機材(常設物、仮設物等)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価 ① 防護対象区画エリア並びに溢水経路ごとに溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さを比較し溢水影響について再評価するとともに、必要な対策を実施した場合は、各リストの変更を実施する。 ② 防護対象区画エリア並びに溢水経路に新たな常設物を設置する場合は、アクセス性を考慮して確実な固縛を実施することを確認する。	8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に用いた帳票類の管理方法	8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に必要な帳票の管理方法を構築する。	9. その他 ① 消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項提示の管理方法	9. その他 ① 防護対象設備が設置されているエリアで消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項を、現場の防護対象設備設置エリアに提示する。 	② 管理区域内で消火栓を用いた消火活動実施後の内部溢水影響評価の検証	② 管理区域内で実際に火災が発生し、消火栓を用いた消火活動を実施した場合、その消火活動の結果を踏まえ、内部溢水影響評価の妥当性について検証を行う。	<p>記載表現の相違</p>
マニュアルへの反映事項	記載内容(案)																		
5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 今回の評価結果を基に、設定した溢水防護区画及び溢水経路の設定の確認	5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 溢水防護区画及び溢水経路に対して溢水影響のないことを確認すると共に、必要な対策を実施した場合は溢水防護区画及び溢水経路の変更を行う。また溢水経路上の扉においては、開放する場合も考慮し溢水が他区画へ流入する場合は、必要な対策工事(流出防止対策等)を行う。																		
6. 放水による溢水影響評価 今回の評価結果を基に火災活動における設備対応の変更有無の確認	6. 放水による溢水影響評価 消火活動における放水による時間設定エリアを基に、防護対象設備に対して、各建屋、各フロアで管理区域、非管理区域ごとに、当該エリアで機能喪失高さが最も低い防護対象設備を選定し、消火活動による溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較し溢水影響について再評価すると共に、必要な対策を実施した場合には、各リストの変更を実施する。																		
マニュアルへの反映事項	記載内容(案)																		
7. 防護対象区画エリア並びに溢水経路上に恒設設備または資機材(常設物、仮設物等)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価。	7. 防護対象区画エリア並びに溢水経路上に恒設設備または資機材(常設物、仮設物等)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価 ① 防護対象区画エリア並びに溢水経路ごとに溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さを比較し溢水影響について再評価するとともに、必要な対策を実施した場合は、各リストの変更を実施する。 ② 防護対象区画エリア並びに溢水経路に新たな常設物を設置する場合は、アクセス性を考慮して確実な固縛を実施することを確認する。																		
8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に用いた帳票類の管理方法	8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に必要な帳票の管理方法を構築する。																		
9. その他 ① 消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項提示の管理方法	9. その他 ① 防護対象設備が設置されているエリアで消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項を、現場の防護対象設備設置エリアに提示する。 																		
② 管理区域内で消火栓を用いた消火活動実施後の内部溢水影響評価の検証	② 管理区域内で実際に火災が発生し、消火栓を用いた消火活動を実施した場合、その消火活動の結果を踏まえ、内部溢水影響評価の妥当性について検証を行う。																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料 42）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
<p>表1 内部溢水発生時における原子炉施設の保全のための活動所則(4/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>マニュアルへの反映事項</th> <th>記載内容(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7. 防護対象区画エリア及び溢水経路上に恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価。</td> <td> <p>7. 防護対象区画エリア及び溢水経路上に恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価。</p> <p>①防護対象区画エリア及び溢水経路ごとに溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さを比較し、没水影響について再評価すると共に、必要な対策を実施した場合は、各リストの変更を実施する。</p> <p>②防護対象区画エリア及び溢水経路に新たな設備の設置や恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置する場合は、アクセス性を考慮して確実な因替を実施することを確認する。</p> </td> </tr> <tr> <td>8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に用いた帳票類の管理方法</td> <td>8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に必要な帳票の管理方法を構築する。</td> </tr> </tbody> </table>		マニュアルへの反映事項	記載内容(案)	7. 防護対象区画エリア及び溢水経路上に恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価。	<p>7. 防護対象区画エリア及び溢水経路上に恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価。</p> <p>①防護対象区画エリア及び溢水経路ごとに溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さを比較し、没水影響について再評価すると共に、必要な対策を実施した場合は、各リストの変更を実施する。</p> <p>②防護対象区画エリア及び溢水経路に新たな設備の設置や恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置する場合は、アクセス性を考慮して確実な因替を実施することを確認する。</p>	8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に用いた帳票類の管理方法	8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に必要な帳票の管理方法を構築する。			記載表現の相違
マニュアルへの反映事項	記載内容(案)									
7. 防護対象区画エリア及び溢水経路上に恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価。	<p>7. 防護対象区画エリア及び溢水経路上に恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価。</p> <p>①防護対象区画エリア及び溢水経路ごとに溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さを比較し、没水影響について再評価すると共に、必要な対策を実施した場合は、各リストの変更を実施する。</p> <p>②防護対象区画エリア及び溢水経路に新たな設備の設置や恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置する場合は、アクセス性を考慮して確実な因替を実施することを確認する。</p>									
8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に用いた帳票類の管理方法	8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に必要な帳票の管理方法を構築する。									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料 42）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
<p>表1 内部溢水発生時における原子炉施設の保全のための活動所則(5/5)</p> <table border="1" data-bbox="116 252 680 868"> <thead> <tr> <th data-bbox="116 252 398 284">マニュアルへの反映事項</th> <th data-bbox="407 252 680 284">記載内容(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="116 290 398 699"> 9. その他 ①消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項揭示の管理方法。 </td> <td data-bbox="407 290 680 699"> 9. その他 ①防護対象設備が設置されているエリアで、消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項を現場の防護対象設備設置エリアに掲示する。  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="116 705 398 868"> ②管理区域内で消火栓を用いた消火活動実施後の内部溢水影響評価の検証 </td> <td data-bbox="407 705 680 868"> ②管理区域内で実際に火災が発生し、消火栓及びスプリンクラーを用いた消火活動を実施した場合、その消火活動の結果を踏まえ、内部溢水影響評価の妥当性について検証を行う。 </td> </tr> </tbody> </table>	マニュアルへの反映事項	記載内容(案)	9. その他 ①消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項揭示の管理方法。	9. その他 ①防護対象設備が設置されているエリアで、消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項を現場の防護対象設備設置エリアに掲示する。 	②管理区域内で消火栓を用いた消火活動実施後の内部溢水影響評価の検証	②管理区域内で実際に火災が発生し、消火栓及びスプリンクラーを用いた消火活動を実施した場合、その消火活動の結果を踏まえ、内部溢水影響評価の妥当性について検証を行う。			<p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違 ・泊にはスプリンクラーは設置されていない。</p>
マニュアルへの反映事項	記載内容(案)								
9. その他 ①消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項揭示の管理方法。	9. その他 ①防護対象設備が設置されているエリアで、消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項を現場の防護対象設備設置エリアに掲示する。 								
②管理区域内で消火栓を用いた消火活動実施後の内部溢水影響評価の検証	②管理区域内で実際に火災が発生し、消火栓及びスプリンクラーを用いた消火活動を実施した場合、その消火活動の結果を踏まえ、内部溢水影響評価の妥当性について検証を行う。								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料 42）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p style="text-align: right;">別紙1</p> <p>図1 常設物・仮置物申請フロー</p>	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設物・仮置物の設置に関する実運用のフローを記載。